SONY

PFM-42X1/42X1N

SONY®

2-149-020-**02** (1)

Flat Panel Display

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示してあります。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

PFM-42X1/42X1N

安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品は、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることがあり、危険です。
事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

5(JP)～7(JP)ページの注意事項をよくお読みください。
8(JP)ページの「本機の性能を保持するために」もあわせてお読みください。

定期点検をする

5年に1度は、内部の点検を、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください（有料）。

故障したら使わない

すぐに、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご連絡ください。

万一、異常が起きたら

- 煙が出たら
- 異常な音、においがしたら
- 内部に水、異物が入ったら
- 製品を落としたりキャビネットを破損したときは

➡

1. ディスプレイの電源を切る。
2. ディスプレイの電源コードや接続コードを抜く。
3. お買い上げ店またはソニーのサービス窓口に連絡する。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることがあります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



行為を禁止する記号



行為を指示する記号



目次

⚠警告 火災 感電

下記の注意を守らないと、
火災や感電により死亡や大けがに
つながることがあります。

規定の電源電圧で使う

指示

この取扱説明書に記されている電源電圧でお使いください。
規定外の電源電圧での使用は、火災や感電の原因となります。

油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所では設置・使用しない

禁止

上記のような場所に設置すると、火災や感電の原因となります。
この取扱説明書に記されている仕様条件以外の環境での使用は、火災や感電の原因となります。

分解や改造をしない

分解禁止

分解や改造をすると、火災や感電、けがの原因となることがあります。
内部の点検や修理は、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください。

電源コードを傷つけない

禁止

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。次の項目を必ずお守りください。
- 設置時に、製品と壁やラック、棚などの間に、はさみ込まない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口に交換をご依頼ください。

内部に水や異物をいれない

禁止

水や異物が入ると火災や感電の原因となることがあります。
万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続コードを抜いて、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

設置・取り付けは確実に

指示

不確実な設置を行うと、ディスプレイが転倒してけがや火災・感電の原因となります。設置の際は、以下の注意事項を必ずお守りください。
壁面・天井・台上への設置、または転倒防止のためディスプレイを固定するなど、特殊な設置を行う場合には、必ずお買い上げ店に工事を依頼してください。

衝撃を与えない

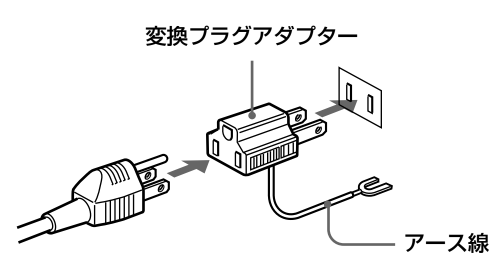
禁止

本機の前面にガラスを使用しているため、衝撃を与えるとガラスが割れ、けがの原因となることがあります。

安全アースを接続する

アース線を接続せよ

安全アースを接続しないと、感電の原因となることがあります。次の方法でアースを接続してください。
- 電源コンセントが３極の場合
  付属の電源コードを使用することで、安全アースが接続されます。
- 電源コンセントが２極の場合
  付属の３極→２極の変換プラグアダプターを使用し、変換プラグアダプターから出ている緑色のアースを、建物に備えられているアース端子に接続する。
- アース接続は、必ず電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。
  また、アース接続をはずす場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。



不明な点はお買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

高温部分に触れない

高温

機器を使用中または使用直後には上面や側面が高温になっているため、やけどをすることがあります。
使用中および電源を切るまたはスタンバイした状態から10分間は触れないでください。

⚠注意

下記の注意を守らないと、
けがをしたり周辺の物品に損害を与える
ことがあります。

重いディスプレイは、2人以上で開梱・運搬する

注意

ディスプレイは見た目より重量があります。開梱・運搬は、けがや事故を防ぐため、必ず2人以上で行ってください。1人で行うと腰を痛めることがあります。

本体を持って運搬する

注意

ディスプレイを運ぶときは、スピーカー部分を持たず、必ず本体を持ってください。スピーカーがディスプレイからはずれて落下し、けがの原因となることがあります。

ぬれた手で電源プラグをさわらない

ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差しすると、感電の原因となることがあります。

水のある場所に設置しない

水ぬれ禁止

水が入ったり、ぬれたりすると、火災や感電の原因となることがあります。雨天や降雪中、海岸や水辺での使用は特にご注意ください。

不安定な場所に設置しない

禁止

ぐらついた台の上や傾いたところなどに設置すると、ディスプレイが落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。また、設置・取り付け場所の強度を充分にお確かめください。

接続の際は電源を切る

注意

電源コードや接続ケーブルを接続するときは、電源を切ってください。感電や故障の原因となることがあります。

指定された電源コード、接続ケーブルを使う

注意

付属の、あるいは取扱説明書に記されている電源コード、接続ケーブルを使わないと、感電や故障の原因となることがあります。
他の電源コードや接続ケーブルを使用する場合は、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

通風孔をふさがない

禁止

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。風通しをよくするために次の項目をお守りください。

- 使用上のご注意の項（16 (JP)ページ）に従って設置してください。
- 密閉された狭い場所に押し込めない。
- 毛足の長い敷物（じゅうたんや布団など）の上に設置しない。
- 布などで包まない。
- あお向けや横倒し、逆さまにしない。

設置時には必ずスタンドを使用する

注意

ディスプレイの転倒によるけがや事故を防ぐため、台・床などに本機を据え置きする際は、別売りの専用スタンド (SU-42B)をご使用ください。

設置時には転倒防止処置を行う

注意

本機を据え置きする際には天災・地震など万一の場合に備え、転倒防止処置を行ってください。

直射日光の当たる場所や熱器具の近くに設置・保管しない

禁止

内部の温度が上がり、火災や故障の原因となることがあります。
真夏の、窓を閉め切った自動車内では50℃を超えることがありますので、ご注意ください。

電源コードのプラグおよびコネクターは突き当たるまで差し込む

指示

まっすぐに突き当たるまで差し込まないと、火災や感電の原因となります。

お手入れの際は、電源を切って電源プラグを抜く

電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

プラグをコンセントから抜く

移動させるときは電源コード、接続ケーブルを抜く

注意

接続したまま移動させると、電源コードや接続ケーブルが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

定期的に内部の掃除を依頼する

注意

長い間、掃除をしないと内部にホコリがたまり、火災や感電の原因となることがあります。1年に1度は、内部の掃除をお買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください（有料）。
特に、湿気の多くなる梅雨の前に掃除をすると、より効果的です。

人が通行するような場所に置かない コード類は正しく配置する

注意

電源コードや信号ケーブルは、足に引っかけると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあります。人が踏んだり、引っかけたりするような恐れのある場所を避け、十分注意して接続・配置してください。

コード類は正しく配置する

指示

電源コードや接続ケーブルは、足に引っかけると本機の落下や転倒などによりけがの原因となることがあります。
十分注意して接続・配置してください。

電池についての安全上のご注意

ここでは、本機での使用が可能なソニー製アルカリ乾電池についての注意事項を記載しています。

万一、異常が起きたら

状況	対処
電池の液が目に入ったら	すぐにきれいな水で洗い、ただちに医師の治療を受ける。
煙が出たら	❶電池を抜く。 ❷お買い上げ店またはソニーのサービス窓口に連絡する。
電池の液が皮膚や衣服に付いたら	すぐにきれいな水で洗い流す。
バッテリー収納部内で液が漏れたら	よくふき取ってから、新しい電池を入れる。

⚠警告 下記の注意事項を守らないと、破裂・発熱・液漏れにより、死亡や大けがなどの人身事故になることがあります。

破裂

- 乾電池は充電しない。
- 火の中に入れない。ショートさせたり、分解、加熱しない。
- 指定された種類の電池を使用する。

高温

⚠注意 下記の注意事項を守らないと、破裂・液漏れにより、けがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

破裂

- 投げつけない。
- 使用推奨期限内（乾電池に記載）の乾電池を使用する。
- ⊕と⊖の向きを正しく入れる。
- 電池を入れたまま長期間放置しない。
- 新しい電池と使用した電池は混ぜて使わない。
- 種類の違う電池を混ぜて使わない。
- 水や海水につけたり濡らしたりしない。

本機の性能を保持するために

PDP（プラズマディスプレイパネル）について

- 画面上に赤や青、緑の点（輝点）が消えなかったり、黒い点（滅点）がある場合がありますが、故障ではありません。パネルは非常に精密な技術で作られており、ごくわずかの画素欠けや常に点灯する画素がある場合があります。ご了承ください。また、画面の上下端および左右端に常に光らない部分がありますが、故障ではありません。すじ状の色むらや明るさのムラが見える場合もありますが、故障ではありません。
- 高山地など気圧の低い所で使用するとプラズマディスプレイパネルの構造上、ブーン音（バズ音）が発生することがあります。
- 一定時間同じ画像を表示し続けると、部分的に残像や焼き付きが発生することがあります。一定時間画像を表示し続けるときは、画面の焼き付きを避けるため、本機のスクリーンセーバー機能を使って、全画面表示してください。焼き付きが発生したときは、スクリーンセーバー機能を使うか、ビデオソフトなど動きのある映像を映してください。焼き付きが軽度の場合は、次第に目立たなくなることがありますが、一度発生した焼き付きは完全には消えません。
- 本機はプラズマディスプレイの保護のため電源ON/STANDBYに時間をかけており、その間リモコンおよび本体の操作ボタンによる操作を受け付けません。約8秒待ってから操作をしてください。

設置についてのご注意

- 他の機器と組み合わせて設置する場合、各機器の設置位置などにより、リモートコマンダーの誤動作や映像の乱れ、雑音などが起こることがあります。この場合は、お買い上げ店、またはソニーのサービス窓口にご連絡ください。
- 赤外線コードレスヘッドホンや、赤外線コードレスマイクロホンなどの赤外線通信システムを本機の近くで使用すると、通信障害が発生する場合があります。赤外線通信システム以外の製品をご使用ください。また、赤外線通信システムをご使用の場合には、ノイズが消える場所まで赤外線通信システムを本機の画面から離すか、赤外線通信システムの送信部と受信部を近づけてご使用ください。

クリーニングについて

- お手入れの際は、必ず本機の電源を切って電源プラグを抜いてください。
- シンナーやベンジンなどの薬品類は、表面の仕上げを傷めたり、表示が消えてしまうことがありますので、使用しないでください。

ディスプレイのガラス表面の取扱いについてのご注意

ディスプレイの表面は傷つきやすいので、硬いものでこすったり、たたいたり、ものをぶつけたりしないでください。

特長

本機は、PDP（プラズマディスプレイパネル）を使用した薄型42V型の16:9マルチメディア対応ディスプレイです。

高画質プラズマディスプレイパネル

PFM-42X1は水平1024ドット×垂直768ラインの高精細プラズマディスプレイパネルを採用。さまざまな映像ソースを高画質で再現します。

デジタル高画質回路

すべての映像信号をデジタルで一貫処理することにより高品質でリアルな画像を再現します。

オーディオアンプ・スピーカーアウトを搭載

高音質デジタルアンプを搭載。オプションスピーカーとの組み合わせにより効果的なプレゼンテーションを実現します。

その他の特長

- スピーカーアウト（L/R）を装備。
- コントロールS（IN/OUT）を装備。
- DVI入力を装備。（コピープロテクション対応）
- 3値同期信号付きHDTV信号の表示が可能。
- NTSC方式のY/C分離に3次元くし形フィルターを使用。
- PAL方式のY/C分離にデジタルくし形フィルターを使用。
- 入力信号を自動判別して表示。
- Windows[1)]98/2000/ME/XP PnP（プラグアンドプレイ）に対応。
- ダイナミックピクチャー機能搭載。
- 様々な調整や設定が可能なオンスクリーンメニュー機能。
- メニュー画面の表示を英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、日本語の6言語から選択可能。
- 画像サイズ、位置の微調整が可能。
- 20種類の画像設定をメモリー可能。
- IDコントロール機能搭載。
- REMOTE（RS-232C）用端子（D-sub 9ピン）を装備。
- SIRCS方式のソニーのリモートコマンダー（ワイヤレス）を使用可能。
- クローズドキャプションデコーダー搭載。
- 残像と焼き付きを低減させるスクリーンセーバー機能搭載。
- オプションスロットを装備し、将来の機能拡張に対応しています。オプションアダプターはスロットイン方式で、迅速かつ手軽にシステムアップが可能です。

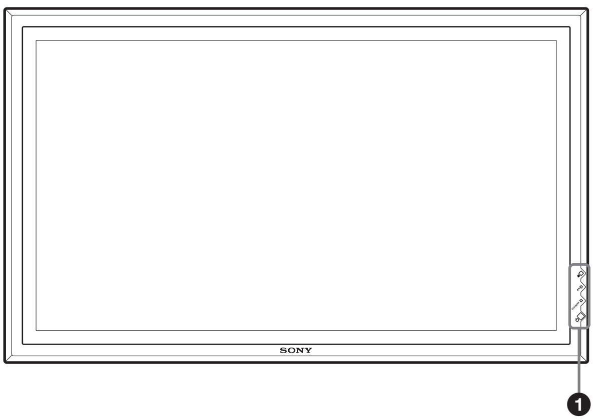
---

1) Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

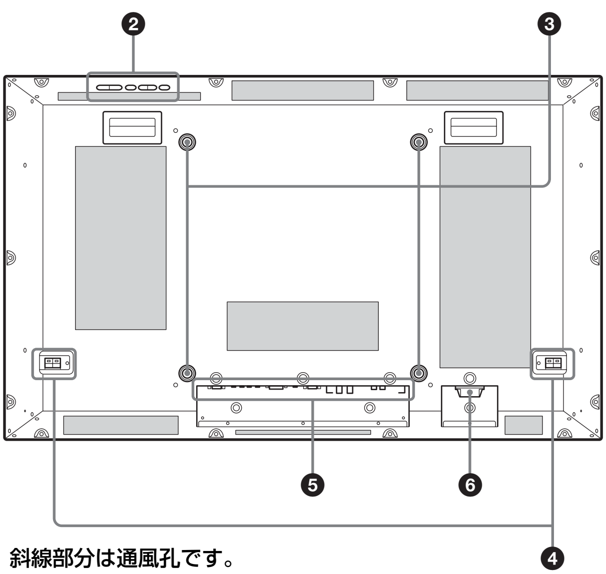
各部の名称と働き

前面／後面／下面

前面

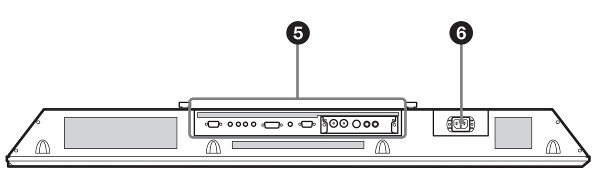


後面



斜線部分は通風孔です。

下面



❶ ⏻（スタンバイ）スイッチ／インジケーター部

◆ ⏻（スタンバイ）スイッチ／インジケーター部について詳しくは、「⏻（スタンバイ）スイッチ／インジケーター部」（11（JP）ページ）をご覧ください。

❷ コントロールボタン部

◆ コントロールボタン部について詳しくは、「コントロールボタン部（上面）」（11（JP）ページ）をご覧ください。

❸ スタンド取り付け用フック

スタンド（別売り）を取り付けるときに使用します。

❹ SPEAKER（スピーカー）端子

スピーカー（別売り）を接続すると、画面に表示されている信号の音声を出力します。

❺ 入出力端子パネル

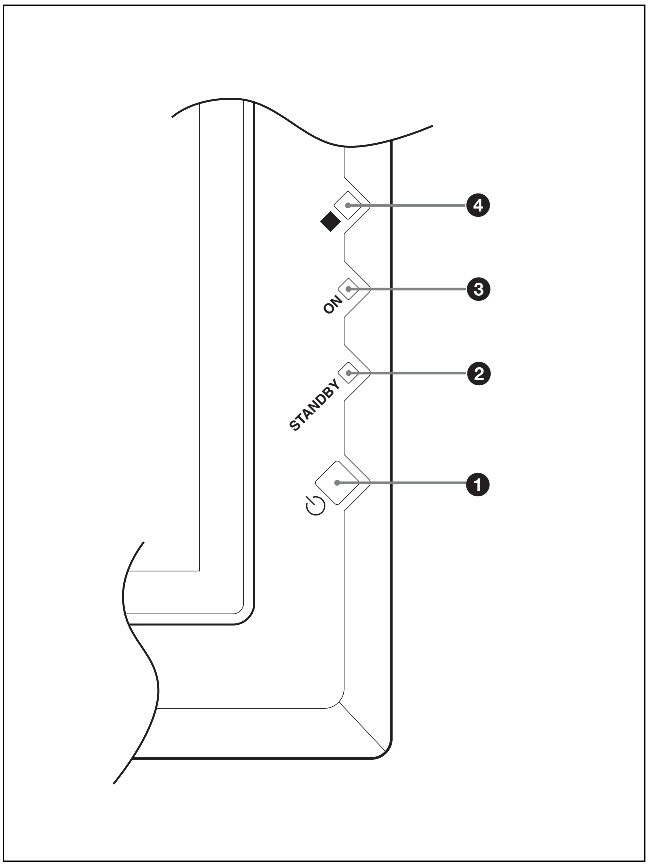
◆ 入出力端子パネルについて詳しくは、「入出力端子パネル」（12（JP）ページ）をご覧ください。

❻ ～AC IN（電源入力）端子

付属の電源コードを使用して、AC電源に接続します。AC電源に接続すると、STANDBYインジケーターが赤色に点灯し、本機はスタンバイ状態になります。

◆ 電源コードの接続について詳しくは、「電源コードの接続」（18（JP）ページ）をご覧ください。

⏻（スタンバイ）スイッチ／インジケーター部



❶ ⏻（スタンバイ）スイッチ

スイッチを押すと電源が入り、もう一度押すとスタンバイ状態に戻ります。

ご注意

パネル保護のため電源ON/STANDBYに時間がかかります。約8秒待ってから押してください。

❷ STANDBY（スタンバイ）インジケーター

スタンバイ状態のとき、インジケーターが赤色に点灯します。

❸ ON（電源）インジケーター

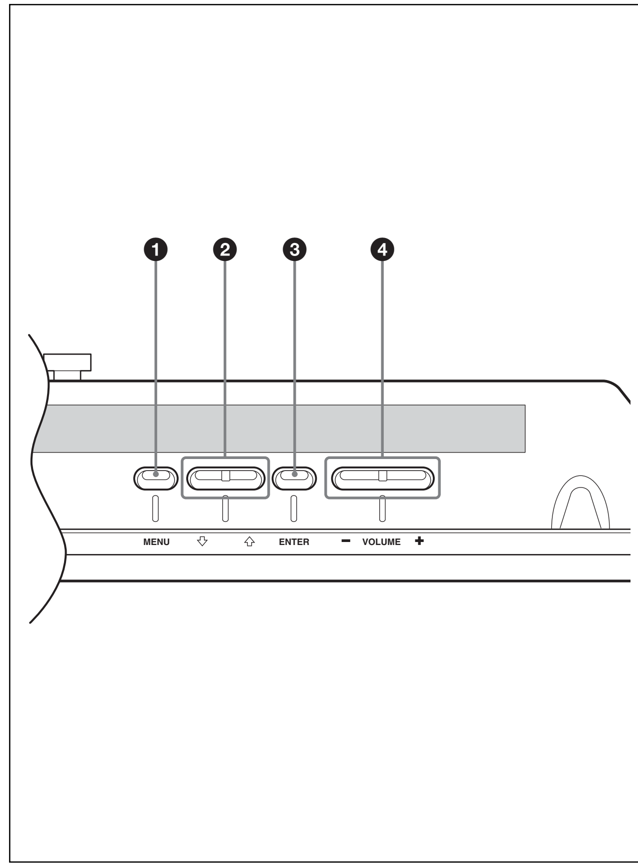
モニターの電源を入れると緑色に点灯します。パワーセービングモードに入ったときは、オレンジ色に点灯します。

◆ パワーセービング機能については、「パワーセービング機能」（51（JP）ページ）をご覧ください。

❹ リモコン受光部

ここでリモートコマンダーの信号を受けます。

コントロールボタン部（上面）



❶ MENU（メニュー）ボタン

画面にメニューを出すときに使用します。もう一度押すとメニューが消えます。

◆ MENUボタンをメニューの階層を戻すために使用する場合は、「初期設定メニュー」（26（JP）ページ）をご覧ください。

❷ ⬇/⬆ボタン

メニューでカーソル（黄色）を移動するとき、また数値などを設定するときに使用します。

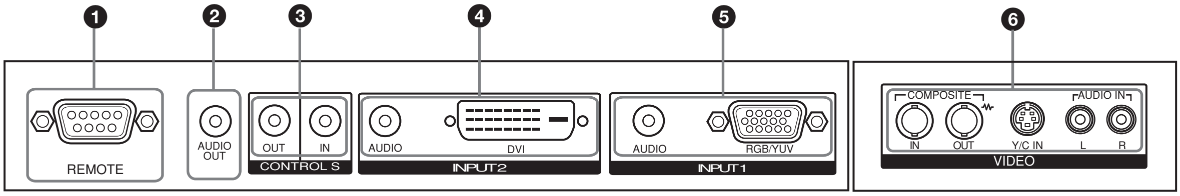
❸ ENTER（エンター）ボタン

メニューで、設定した内容を確定するときに使用します。

❹ VOLUME ＋/－（音量調節）ボタン

スピーカーから出る音量を調節するときに使用します。

入出力端子パネル



❶ REMOTE（RS-232C）用端子（D-sub 9ピン）
RS-232Cプロトコルを使って、リモートコントロールを行う場合に接続します。詳しくはお買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

❷ AUDIO OUT（音声出力）端子（ステレオミニジャック）
AUDIO端子に入力した音声信号のうち、画面に表示されている信号の音声を出力します。

❸ CONTROL S IN/OUT（コントロールS信号入力／出力）端子（ミニジャック）
映像機器や他のディスプレイのCONTROL S端子に接続すると、1台のリモートコマンダーで複数の機器を操作できます。本機のCONTROL S OUT端子と他の機器のCONTROL S IN端子、本機のCONTROL S IN端子と他の機器のCONTROL S OUT端子を接続します。

❹ INPUT 2（デジタルRGB信号入力）端子
DVI（デジタルRGB信号入力）端子：コンピューターのデジタルRGB信号出力端子と接続します。
AUDIO（音声入力）端子（ステレオミニジャック）：音声信号を入力します。コンピューターの音声出力端子と接続します。
DVI端子に接続するケーブルは、付属のものをお使いください。

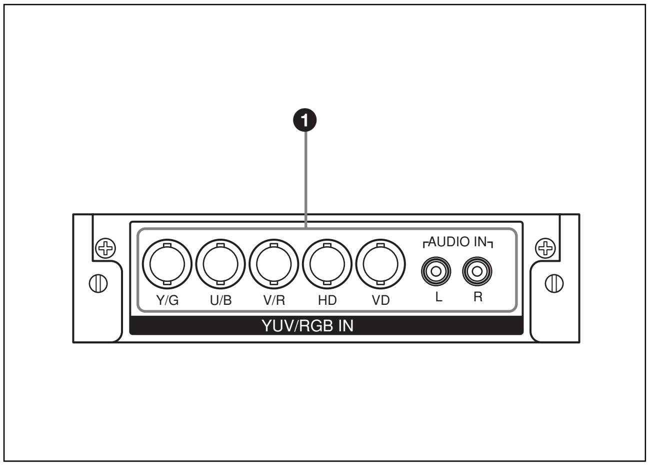
❺ INPUT 1（アナログRGB/コンポーネント信号入力）端子
RGB/YUV（アナログRGB/コンポーネント信号入力）端子（D-sub 15ピン）：コンピューターや映像機器などのアナログRGB信号出力端子、またはコンポーネント（YUV）信号出力端子と接続します。
AUDIO（音声入力）端子（ステレオミニジャック）：音声信号を入力します。コンピューターや映像機器などの音声出力端子と接続します。

❻ VIDEO（ビデオ）端子
COMPOSITE IN（映像入力）端子（BNC型）：映像機器のコンポジット信号出力端子と接続します。
COMPOSITE OUT（映像出力）端子（BNC型）：映像機器のコンポジット信号入力端子と接続します。
Y/C IN（映像入力）端子（ミニDIN4ピン）：映像機器のY/C出力端子と接続します。
AUDIO IN L/R（音声入力）端子（ピンジャック）：音声信号を入力します。映像機器の音声出力端子と接続します。

コンポーネント/RGB入力アダプターBKM-V11（別売り）

VIDEO端子部はスロットイン方式になっていて、別売りのコンポーネント/RGB入力アダプターBKM-V11に付け換えることができます。

◆ BKM-V11の取り付けかたについては、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。



❶ **YUV/RGB IN端子**

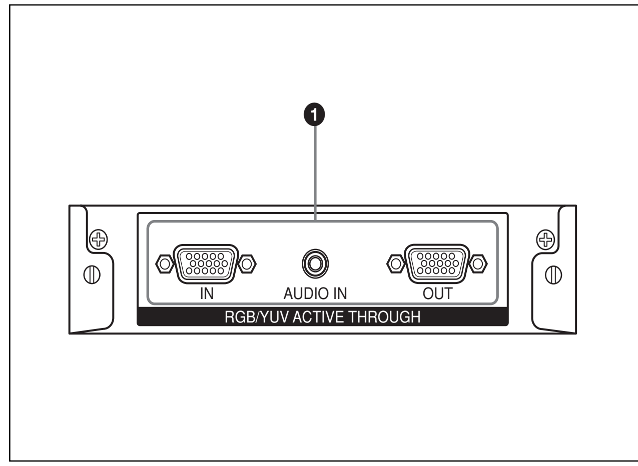
YUV/RGB IN（コンポーネント**/アナログRGB信号入力）端子（BNC型）：**映像機器のコンポーネント（YUV）/アナログ RGB出力端子と接続します。

AUDIO IN L/R（音声入力）端子（ピンジャック）：音声信号を入力します。映像機器の音声出力端子と接続します。

ＲＧＢ/コンポーネントアクティブスルーアダプターBKM-V12（別売り）

VIDEO端子部はスロットイン方式になっていて、別売りのRGB/コンポーネントアクティブスルーアダプターBKM-V12に付け換えることができます。

◆ BKM-V12の取り付けかたについては、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。



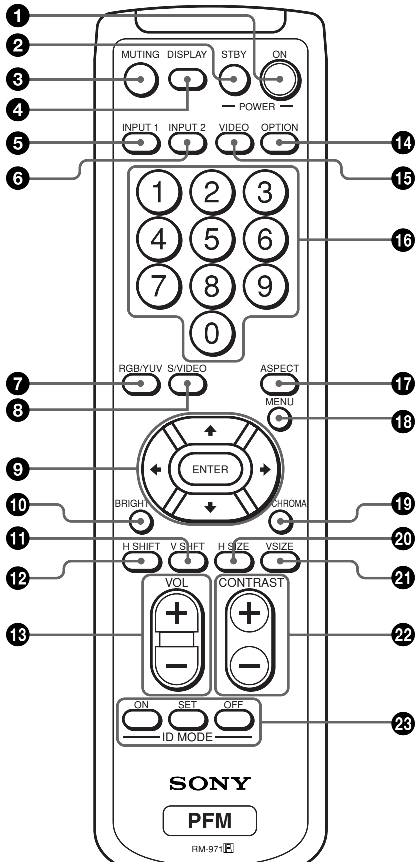
❶ **RGB/YUV ACTIVE THROUGH端子**

RGB/YUV IN(アナログRGB/コンポーネント**信号入力)端子（D-sub 15ピン）：**コンピューターや映像機器などのアナログRGB信号出力端子またはコンポーネント(YUV)信号出力端子と接続します。

AUDIO IN（音声入力）端子（ステレオミニジャック）：音声信号を入力します。コンピューターや映像機器などの音声出力端子と接続します。

RGB/YUV OUT(アナログRGB/コンポーネント**信号アクティブスルー出力）端子（D-sub 15ピン）：**本アダプターのRGB/YUV IN（アナログRGB/コンポーネント信号入力）端子に入力された信号を出力します。

リモートコマンダーRM-971



❶ POWER（電源）ONスイッチ
押すと電源が入ります。

❷ STANDBYボタン
押すとスタンバイ状態になります。

❸ MUTINGボタン
音を消します。もう一度押すと、音が出ます。

❹ DISPLAYボタン
入力されている信号の種類および画質モードを画面に表示します。もう一度押すと表示は消えます。表示された状態でしばらくたつと自動的に表示は消えます。

❺ INPUT1 ボタン
INPUT1 端子に接続した機器からの入力信号を選びます。またENTERボタンとの組み合わせで、ENTERボタン → INPUT1ボタンの順に押すと、2画面表示になります。

❻ INPUT2 ボタン
INPUT2 端子に接続した機器からの入力信号を選びます。

❼ RGB/YUVボタン
INPUT1端子に接続した機器の入力信号フォーマットに合わせます。押すたびに、RGBとコンポーネント（YUV）の間で切り換わります。

❽ S/VIDEOボタン
VIDEO端子からの入力信号を切り換えます。押すたびに、COMPOSITE INとY/C INの間で切り換わります。

❾ ⬆/⬇/⬅/➡/ENTER（エンター）ボタン
⬆/⬇/⬅/➡ ボタンでメニューのカーソル（黄色）を移動させたり、数値などを設定します。ENTERボタンを押すと、選んだメニューや設定した内容を確定します。またINPUT1ボタンとの組み合わせで、ENTERボタン → INPUT1ボタンの順に押すと、2画面表示になります。

❿ BRIGHT（ブライトネス）ボタン
画質モードが「ユーザー1〜3」のとき、画像の明るさを調整します。このボタンを押した後に⬆/⬇または⬅/➡ボタン❾で調整します。

⓫ V SHIFTボタン
垂直方向の画像位置を調整します。このボタンを押した後に、⬆/⬇または⬅/➡ボタン❾で調整します。

⓬ H SHIFTボタン
水平方向の画像位置を調整します。このボタンを押した後に、⬆/⬇または⬅/➡ボタン❾で調整します。

⓭ VOLUME＋/－ボタン
音量を調整します。

⓮ OPTIONボタン
オプションアダプターを装着した際、そこに接続した機器からの入力信号を選びます。

⓯ VIDEOボタン
VIDEO端子のCOMPOSITE IN端子またはY/C IN端子に接続した機器からの入力信号を選びます。

⓰ 数字ボタン
インデックス番号を入力するときに使用します。

⓱ ASPECTボタン
画面の横縦比（ズームモード）を選択します。

⓲ MENU（メニュー）ボタン
画面にメニューを出すときに使用します。もう一度押すとメニューが消えます。

◆ MENUボタンをメニューの階層を戻すために使用する場合は、「初期設定メニュー」（26（JP）ページ）をご覧ください。

⓳ CHROMAボタン
画質モードが「ユーザー1〜3」のとき、画像の色の濃さを調整します。このボタンを押した後に、↑/↓または←/→ボタン❾で調整します。

⓴ H SIZEボタン
水平方向の画像の大きさを調整します。このボタンを押した後に、↑/↓または←/→ボタン❾で調整します。

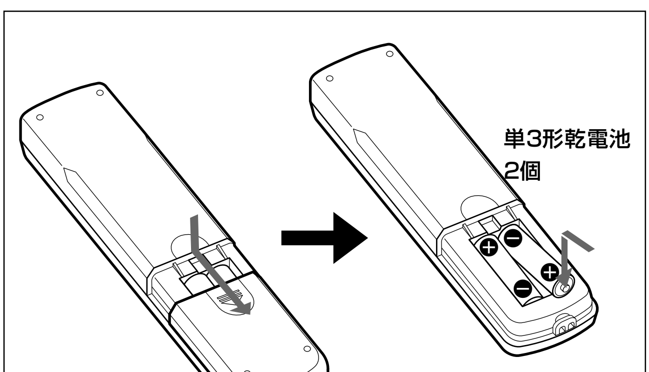
㉑ V SIZEボタン
垂直方向の画像の大きさを調整します。このボタンを押した後に、↑/↓または←/→ボタン❾で調整します。

㉒ CONTRAST（コントラスト）+/−ボタン
画質モードが「ユーザー1〜3」のとき、画像のコントラストを調整します。

㉓ ID MODE（ON/SET/OFF）ボタン
ONボタンを押すとインデックスナンバーが画面に表示されます。数字ボタン⓰で、操作したいディスプレイのインデックスナンバーを入力しSETボタンを押します。OFFボタンを押すと、IDモードを抜けて通常の画面に戻ります。

◆ インデックスナンバーについて詳しくは、「特定のディスプレイをリモートコマンダーで操作する」（51（JP）ページ）をご覧ください。

電池の入れかた



電池の寿命は、通常の使用で約6か月です。リモートコマンダー操作が効かなくなり始めたら寿命ですので、新しい電池とお取り換えください。

リモートコマンダーで操作できないときは
STANDBYインジケーターが点灯しているかどうか確認してください。また、リモートコントロール設定メニューのリモートモードが「切」になっていないかどうか確認してください。ディスプレイ本体の電源が入っているときか、スタンバイ状態のときで、リモートモードが「入」のときのみリモートコマンダーで操作できます。

◆ リモートモードについて詳しくは、「リモートコントロール設定メニュー」（27（JP）ページ）をご覧ください。

ご注意

- 落としたり、踏みつけたり、中に液体をこぼしたりしないよう、ていねいに扱ってください。
- 直射日光が当たるところ、暖房器具のそばの温度が高いところ、湿気が多いところには置かないでください。
- ディスプレイ本体のリモコン受光部に、直射日光や照明器具の強い光が当たらないようにしてください。リモートコマンダーで操作できなくなる場合があります。
- ディスプレイを操作するために必要なボタンがついていますので、紛失しないようにしてください。

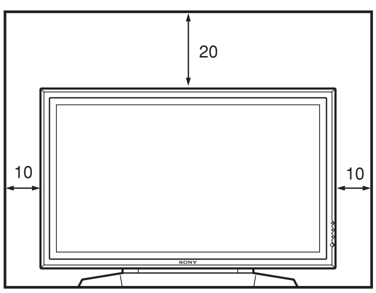
使用上のご注意

周囲に充分なスペースをとる

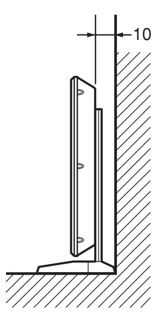
- 内部の温度上昇を防ぐためディスプレイの周囲に以下に示す以上の距離をあけてください（下図参照）。
- 水平方向で使用する場合、スタンドには、専用スタンドSU-42B（別売り）をご使用ください。
- 通電中は高温になる部分があり、やけどの原因となります。通電中やスタンバイにした直後は、本機の上面、後面には手を触れないでください。

スタンド（別売り）を使用する場合

前面



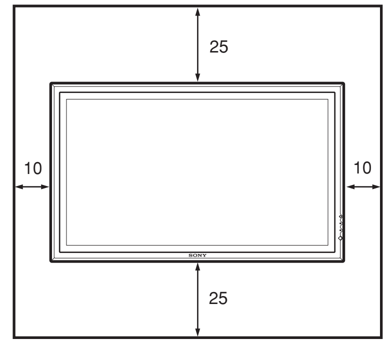
側面



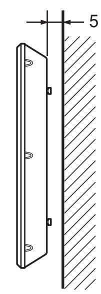
単位: cm

水平方向で使用する場合

前面



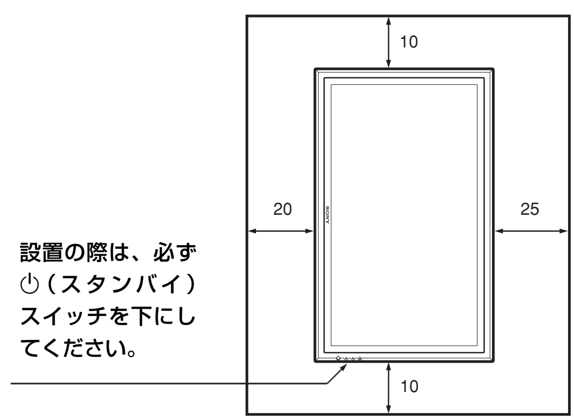
側面



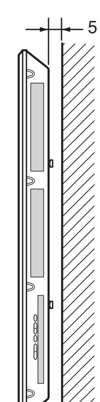
単位: cm

垂直方向で使用する場合

前面



側面



単位: cm

画面の焼き付きや残像についてのご注意

次の 1～ 5のような画像を画面上に一定時間表示し続けると、部分的に焼き付きや残像が発生することがあります。これはプラズマディスプレイパネルの特性上起こるものであり、以下のA～Dの操作を行うことにより、焼き付きや残像を低減できます。

焼き付きや残像が発生しやすい状態

1 上下に帯が表示されるワイド映像（レターボックス映像）
2 画面横縦比4:3の映像
3 ゲーム映像
4 DVDのメニュー画面
5 BSデジタル／デジタルCSチューナー、ビデオデッキなどの映像に切り換えたときに表示されるチャンネル番号やメニューなど

焼き付きや残像を低減させるために

A 画面の焼き付きや残像を低減させるため、「スクリーンセーバー」を使うことをお勧めします。

B BSデジタル／デジタルCSチューナー、ビデオデッキなどの映像に切り換えたときに画面に表示されるチャンネル番号やメニューなどは、BSデジタル／デジタルCSチューナー、ビデオデッキ側の画面表示操作で表示を消すことをお勧めします。詳しくは、お使いのBSデジタル／デジタルCSチューナー、ビデオデッキなどの取扱説明書をご覧ください。

C 画面の「明るさ」を暗くして、画面モードを「ワイドズーム」や「フル」で表示すると、画面の焼き付きや残像が起こりにくくなります。

D 「ノーマル」で表示する場合や、2画面表示をする場合は、「スクリーンセーバー」の「バックグラウンド」機能を使って、映像の部分と映像のない部分の明るさの差を小さくすると、画面の焼き付きや残像が起こりにくくなります。

E 画面の焼き付きや残像が軽度のときは、「スクリーンセーバー」の「画像反転」機能を使って目立たなくすることができますが、一度起こった焼き付きや残像は完全には消えません。

スクリーンセーバー（画像反転）についてのご注意

表示画面が写真のネガフィルムのようになった場合、「スクリーンセーバー」の「画像反転」が「自動」もしくは「入」に設定されている可能性があります。通常の画像に戻すためには、「切」を選ぶか「自動」にて時刻の設定をしてください。
画像反転とは、焼き付いてしまった画像を表示したまま、画面の色あいを反転し（例：白→黒、黒→白）補正します。画像反転中は写真のネガフィルムのような画像になりますが、故障ではありません。

接続

接続上のご注意

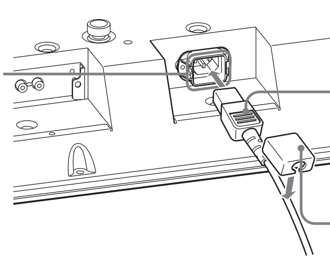
- 各機器の電源を切ってから接続を行ってください。
- 接続ケーブルはそれぞれの端子の形状に合った正しいものをお選びください。
- プラグはしっかり差し込んでください。接続が悪いとノイズの原因となります。
- コードを抜くときは必ずプラグを持って抜いてください。
- 接続の詳細については、各機器の取扱説明書をご覧ください。
- 電源コードのプラグは、AC INソケットに、まっすぐ突き当たるまで差し込んでください。
- 付属のACプラグホルダーは、使用する電源コードのプラグが確実に固定できる方を選んでお使いください。

スピーカーの接続

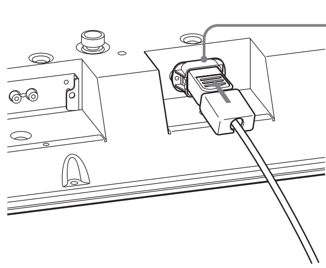
別売りのスピーカー（SS-SP20B）を接続して、より臨場感あふれる映像をお楽しみいただけます。スピーカーの接続について詳しくは、スピーカーに付属の取扱説明書をご覧の上、正しく接続してください。

電源コードの接続

1 電源コードを下面のAC INソケットに差し込み、ACプラグホルダー（付属）を電源コードに取り付ける。



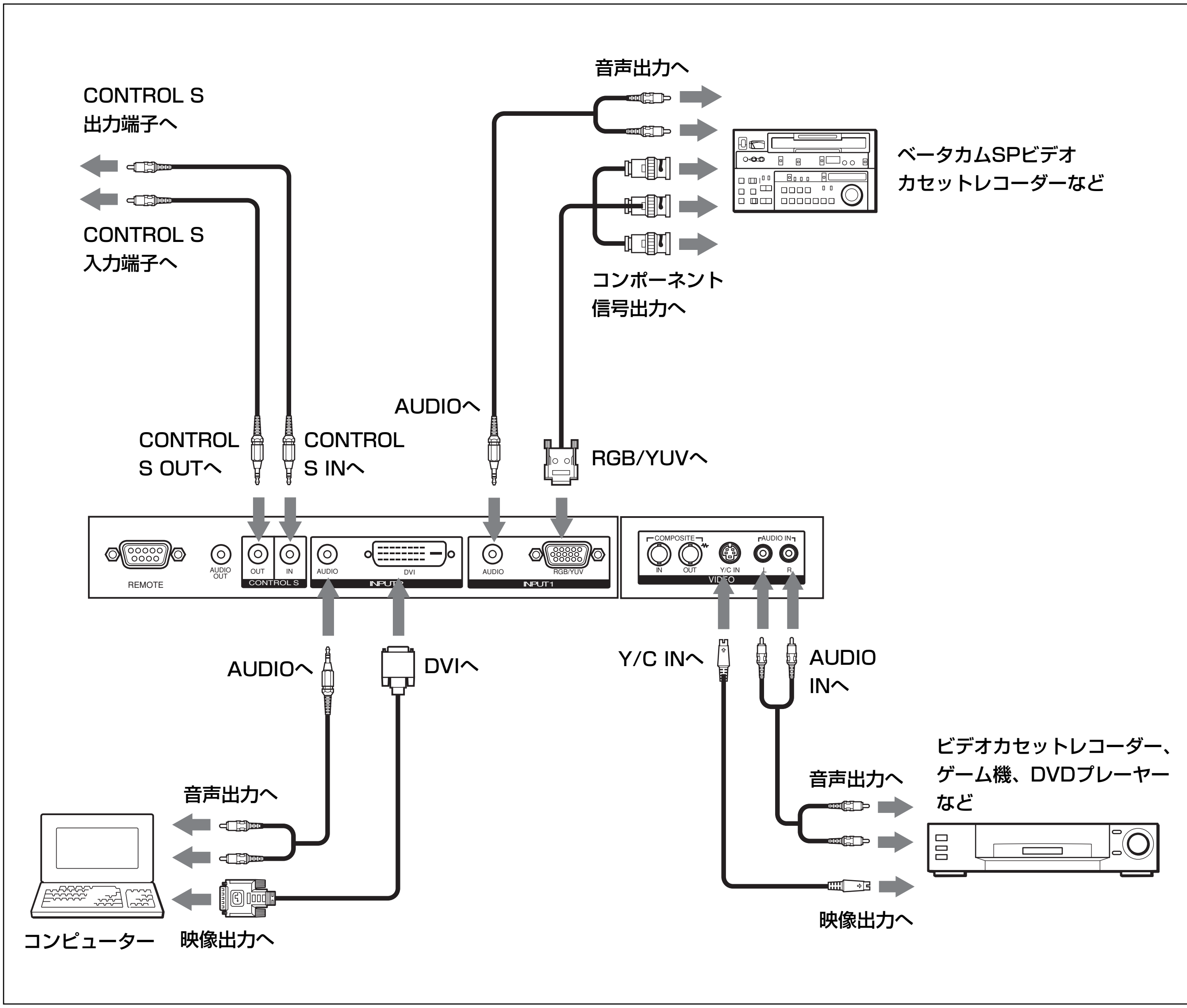
2 ACプラグホルダーをスライドさせて、本体側のAC INソケットカバーにはめ込む。



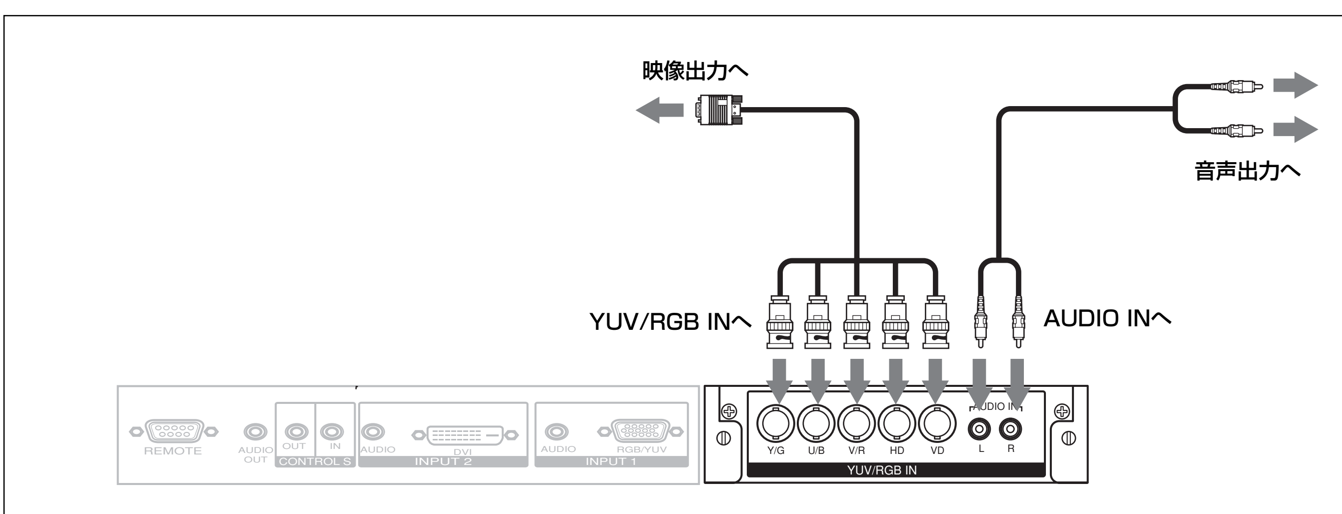
電源コードをはずすには

ACプラグホルダーのつめをはさみ、ロックを解除してからプラグをつかみ、電源コードをはずしてください。

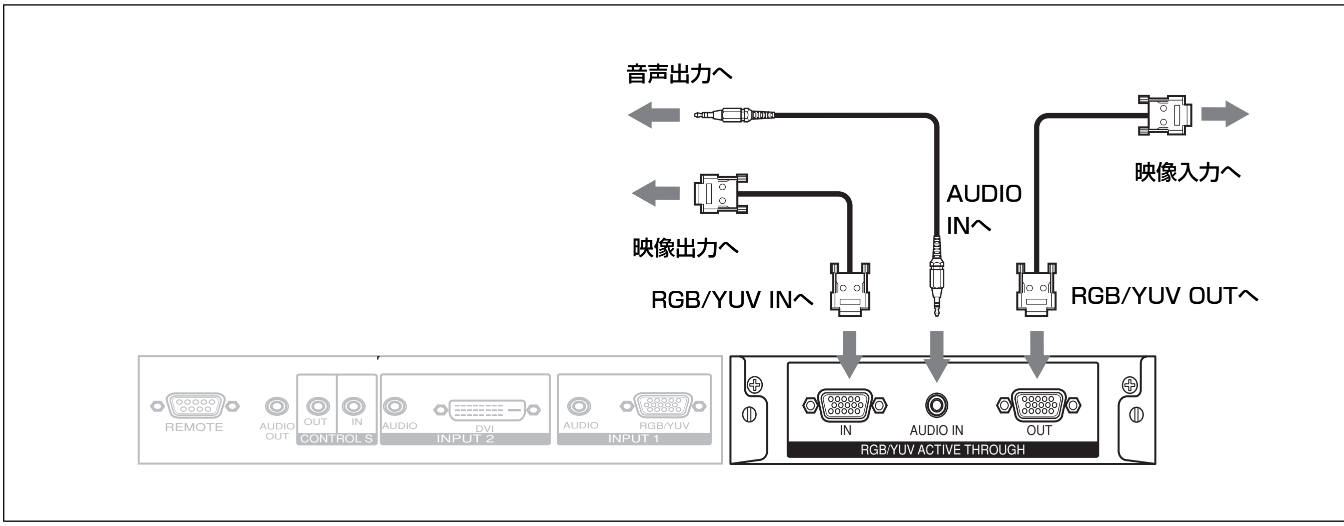
接続例



別売りのコンポーネント/RGB入力アダプターBKM-V11を取り付けた場合の接続例は以下のとおりです。

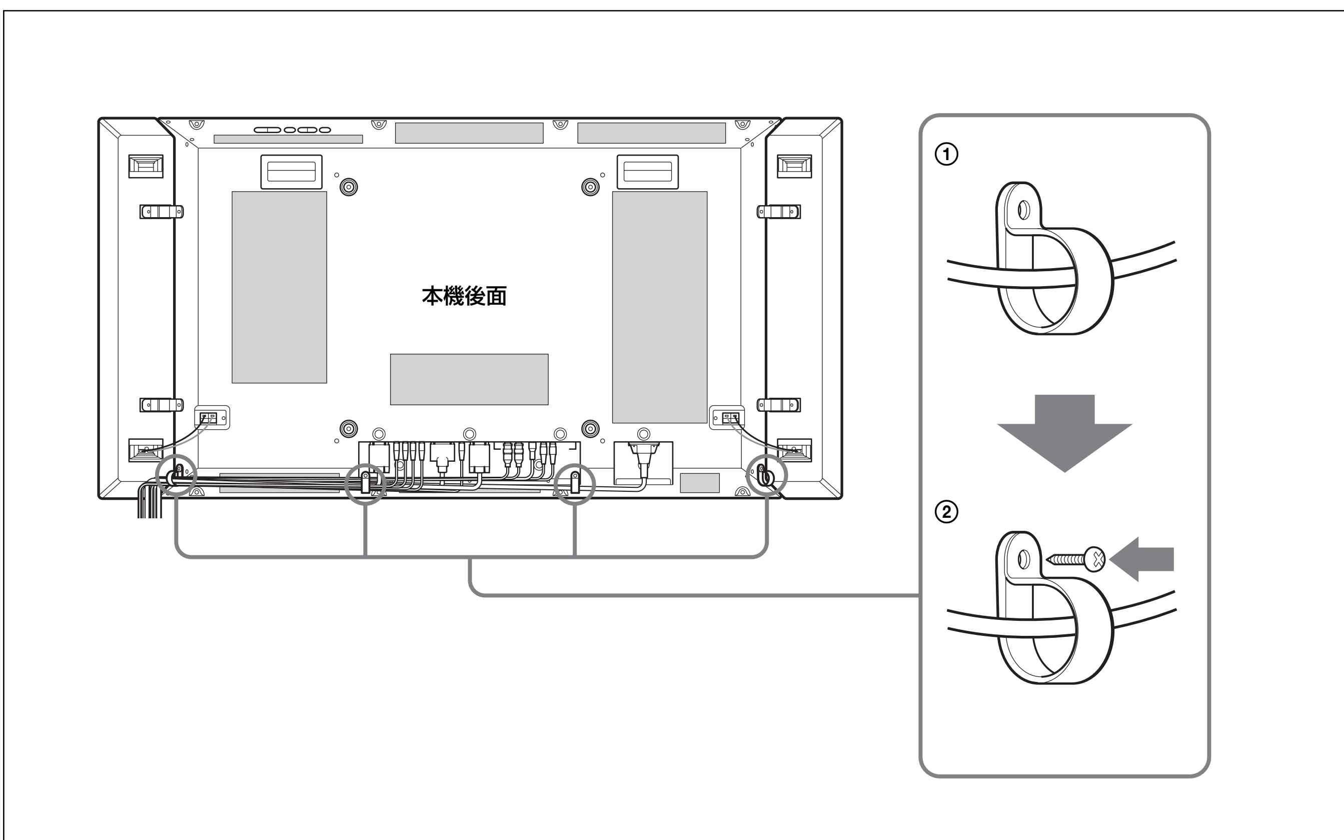


別売りのRGB/コンポーネントアクティブスルーアダプターBKM-V12を取り付けた場合の接続例は以下のとおりです。



ケーブルホルダーを使う

付属のケーブルホルダー（×4）を使って、ケーブル類をすっきりとまとめることができます。ケーブルホルダーは、以下のように取り付けます。



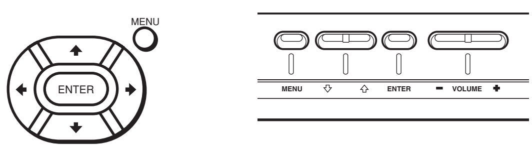
メニューで行う調整と設定

メニューの操作

メニュー操作ボタン

メニューは、リモートコマンダーまたはディスプレイ本体のコントロールボタン部のメニュー操作ボタンを使って操作します。

リモートコマンダー上のメニュー操作ボタン　　ディスプレイのコントロールボタン部のメニュー操作ボタン



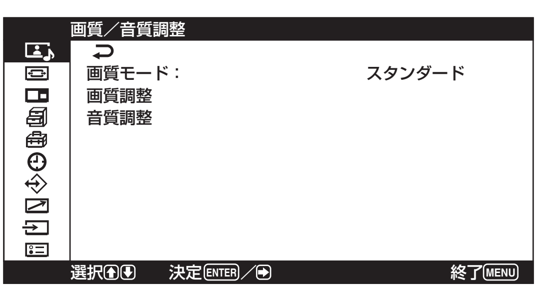
この取扱説明書ではリモートコマンダーを使って操作の説明をしています。リモートコマンダーの⬆/⬇ボタンおよびENTERボタンは本体の⬆/⬇ボタンおよびENTERボタンと、同じ働きをします。

ご注意

本体には⬅/➡ボタンがないため、一部操作が異なる部分があります。

メニューの操作方法

1 MENUボタンを押す。
メインメニューが表示されます。



2 ⬆/⬇ボタンでカーソル（黄色）を動かして、メインメニューを決め、ENTERボタンまたは➡ボタンを押す。
次のメニューにカーソルが移動します。

3 ⬆/⬇ボタンでカーソル（黄色）を動かして、設定する項目を決め、ENTERボタンまたは➡ボタンを押す。
それぞれの項目の設定画面が表示されます。
さらに次のメニューが表示された場合は、同様に設定する項目を選びます。

4 ⬆/⬇ボタンで設定や調整値を選び、ENTERボタンを押す。
設定が決まり、元のメニューに戻ります。

メニューの操作を終了し、通常の画面に戻るには、MENUボタンを押します。

ひとつ前の階層に戻るには、⬆/⬇ボタンでカーソルを動かして⮐を選びENTERボタンを押すか、⬅ボタンを押します。

◆ MENUボタンを階層を戻るボタンとして使用したいときは、「メニューキー動作」（26（JP）ページ）をご覧ください。

メニュー表示言語を切り換えるには

メニュー画面やメッセージの表示言語を6か国語の中からお好きな言語に切り換えることができます。
工場出荷時は「ENGLISH」（英語）に設定されています。

◆ 表示言語の切り換えについて詳しくは、「メニュー表示の言語を選ぶ」（45（JP）ページ）をご覧ください。

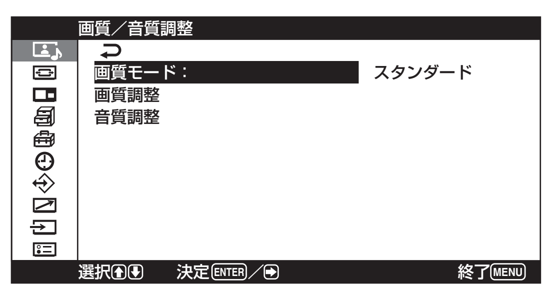
メニューの説明

ご注意

入力信号や設定によって選択や調整ができない項目の文字は濃いグレーになります。

画質／音質調整メニュー

ディスプレイに表示される映像の画質と音質を調整するメニューです。



画質モード

周囲の明るさや絵柄に合った画質モードを設定します。

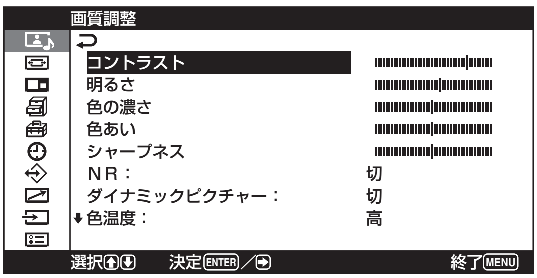
◆ 画質モードについて詳しくは、「画質を選ぶ」（33（JP）ページ）をご覧ください。

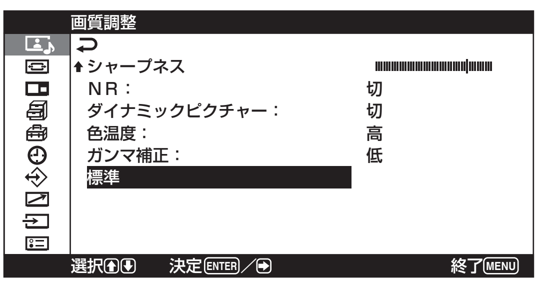
画質調整メニュー

画像を信号処理により調整するメニューです。
画質モードが「ユーザー1〜3」のとき、お好みの画質に調整することができます。

ご注意

画質モードが「スタンダード」「ダイナミック」のときは調整できません。





コントラスト

↑/➡を押すとコントラストが強くなり、↓/⬅を押すと弱くなります。

明るさ

↑/➡を押すと画面が明るくなり、↓/⬅を押すと暗くなります。

色の濃さ

↑/➡を押すと画像の色が濃くなり、↓/⬅を押すと薄くなります。

色あい

↑/➡を押すと画像が緑がかり、↓/⬅を押すと赤みがかります。

シャープネス

↑/➡を押すと映像の輪郭補正レベルが強くなり、↓/⬅を押すと弱くなります。

NR

映像のざらつきや色ノイズを軽減するレベルを「切」「弱」「中」「強」の4段階で設定します。

◆ NRについて詳しくは、「NR（ノイズリダクション）」（34（JP）ページ）をご覧ください。

ダイナミックピクチャー

白をより白く、黒をより黒くしてコントラストを強めます。

◆ ダイナミックピクチャーについて詳しくは、「ダイナミックピクチャー」（34（JP）ページ）をご覧ください。

色温度

色温度を調節します。

◆ 色温度について詳しくは、「色温度」（35（JP）ページ）をご覧ください。

ガンマ補正

映像の明暗部分のバランスを「高」「中」「低」の3段階で設定します。

◆ ガンマ補正について詳しくは、「ガンマ補正」（36（JP）ページ）をご覧ください。

標準

画質調整メニューの調整値を出荷時の値に戻します。

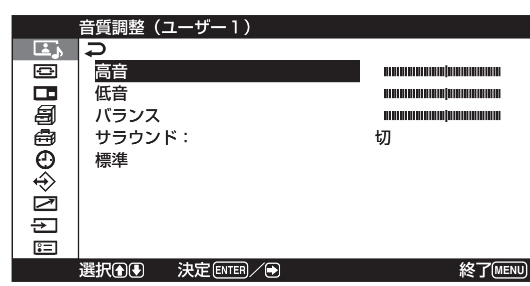
◆ 標準機能について詳しくは、「調整した画質を出荷時の設定値に戻す」（36（JP）ページ）をご覧ください。

音質調整メニュー

音質を信号処理により調整するメニューです。
画質モードが「ユーザー1〜3」のとき、お好みの音質に調整することができます。

ご注意

画質モードが「スタンダード」「ダイナミック」のときは調整できません。



高音

↑/➡を押すと高音が強くなり、↓/⬅を押すと弱くなります。

低音

↑/➡を押すと低音が強くなり、↓/⬅を押すと弱くなります。

バランス

⬆/➡を押すと右側の音が強くなり、⬇/⬅を押すと左側の音が強くなります。

サラウンド

サラウンド機能を「切」「ホール」「シミュレート」の3段階で設定します。

◆ サラウンドについて詳しくは、「サラウンド」(43 (JP) ページ) をご覧ください。

標準

音質調整メニューの調整値を出荷時の値に戻します。

◆ 標準機能について詳しくは、「調整した音質を出荷時の設定に戻す」(43 (JP) ページ) をご覧ください。

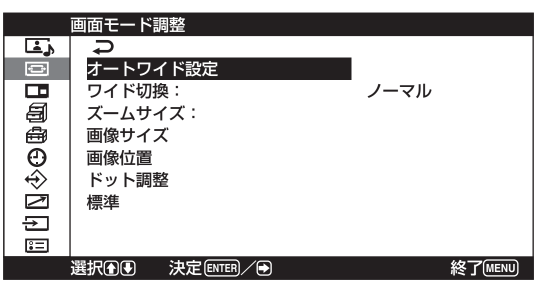
画面モード調整メニュー

画像のサイズや位置を調整するメニューです。

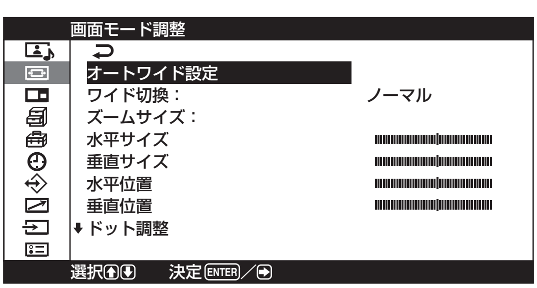
画面モード調整メニューは、メニューキー動作の設定によって画面および操作方法が異なります。

◆ メニューキー動作について詳しくは、「メニューキー動作」(26 (JP) ページ) をご覧ください。

メニューキー動作が「入／切」の場合（出荷時）



メニューキー動作が「戻る」の場合



オートワイド設定

オートワイド機能を設定するメニューです。オートワイド機能とは、通常のテレビ放送やワイドクリアビジョン、ワイドスクリーン画像など、横縦比の異なる映像の種類に対して最適なワイド切換を選び、横縦比16:9のワイド画面いっぱいに自動的に画像を拡大する機能です。

◆ オートワイドについて詳しくは、「オートワイドを設定する」(37 (JP) ページ) をご覧ください。

ワイド切換

映像のサイズや種類に合わせてワイド表示を切り換えます。

◆ ワイド切換について詳しくは、「ワイド切換を設定する」(38 (JP) ページ) をご覧ください。

ズームサイズ

画像を2倍、3倍、4倍に拡大します。

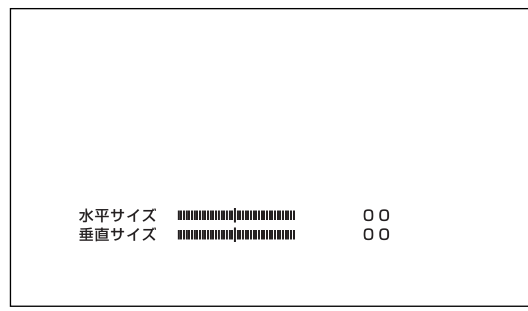
ご注意

ワイド切換が「フル」に設定されているときのみ拡大できます。

画像サイズメニュー

画像のサイズを調整するメニューです。

この画面はメニューキー動作が「入／切」に設定されているときのみ表示されます。



水平サイズ

水平方向に画像の大きさを調整します。➡を押すと大きくなり、⬅を押すと小さくなります。

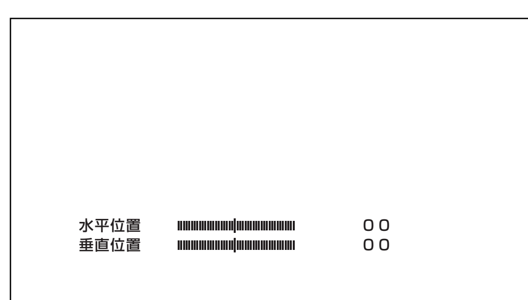
垂直サイズ

垂直方向に画像の大きさを調整します。⬆を押すと大きくなり、⬇を押すと小さくなります。

画像位置メニュー

画像の位置を調整するメニューです。

この画面はメニューキー動作が「入／切」に設定されているときのみ表示されます。



水平位置

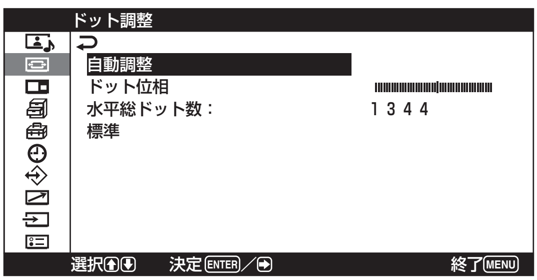
水平方向に画像の位置を調整します。➡を押すと右に移動し、⬅を押すと左に移動します。

垂直位置

垂直方向に画像の位置を調整します。⬆を押すと上に移動し、⬇を押すと下に移動します。

ドット調整メニュー

画像のドットを調整するメニューです。
コンピューターの信号を受信しているときのみ調整できます。



自動調整

ドット位相と水平総ドット数を自動的に調整します。

◆ 自動調整について詳しくは、「ドット位相を調整する」(40 (JP) ページ)をご覧ください。

ドット位相

ドット位相を調整します。⬆/➡を押すと大きくなり、⬇/⬅を押すと小さくなります。

水平総ドット数

水平方向の総ドット数を調整します。⬆/➡を押すと大きくなり、⬇/⬅を押すと小さくなります。

標準

ドット調整メニューの調整値を出荷時の値に戻します。

◆ 標準機能について詳しくは、「ドット調整項目を出荷時の設定に戻すには」(40 (JP) ページ) をご覧ください。

標準

画面モード調整メニューのすべての調整値を出荷時の値に戻します。

◆ 標準機能について詳しくは、「設定した画面モード調整メニューの調整値を出荷時の設定値に戻す」(40 (JP) ページ) をご覧ください。

2画面メニュー

2種類の入力信号の映像を隣り合わせで同時に表示させることができます。



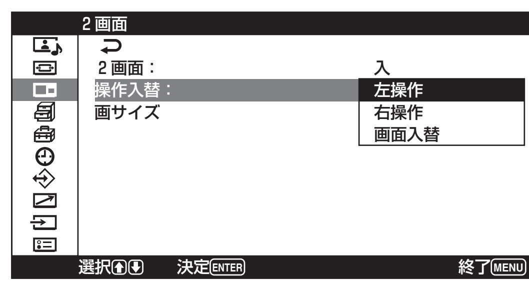
◆ 2画面機能について詳しくは、「2つの画面を表示させる」(41 (JP) ページ) をご覧下さい。

2画面

入にすると、2つの画面を表示させることができます。

以下のメニューは、「2画面：入」にしたときのみ操作できます。

操作入替メニュー



左操作

左の画面を操作するときに選びます。

右操作

右の画面を操作するときに選びます。

画面入替

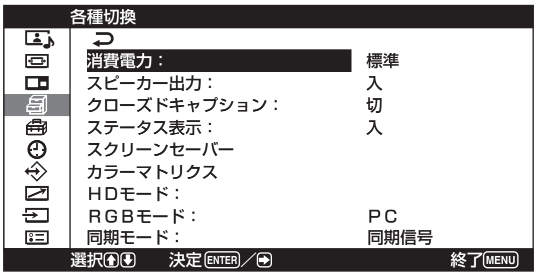
左右の画面の位置を入れ替えます。

画サイズ

左右の画面の大きさを変えることができます。

各種切換メニュー

消費電力を減らしたり、スクリーンセーバーを設定したりするメニューです。



消費電力

節電しながら画面を表示することができます。

◆ 消費電力について詳しくは、「節電モード機能」（32（JP）ページ）をご覧ください。

スピーカー出力

入にすると、スピーカー（SS-SP20B、別売り）から音が出ます。

クローズドキャプション

字幕を画面に表示したいときに使用します。

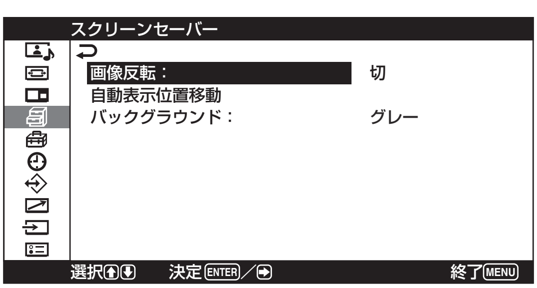
◆ クローズドキャプションについて詳しくは、「字幕を表示させる」（32（JP）ページ）をご覧ください。

ステータス表示

入にすると、ディスプレイの電源投入時や入力信号が切り換わったとき、入力されている信号の種類と画質モードを約5秒間画面左上に表示します。

スクリーンセーバーメニュー

長時間にわたって同じ画面を映したりする場合に生じる画面の焼き付きや残像を補正したり軽減するときに使用します。



画像反転

画像の色あいを反転させるスクリーンセーバーを設定します。

◆ 画像反転について詳しくは、「スクリーンセーバー機能」（46（JP）ページ）をご覧ください。

自動表示位置移動

一定の時間がたつと画像の表示位置が自動的に移動するスクリーンセーバーを設定します。

◆ 自動表示位置移動について詳しくは、「スクリーンセーバー機能」（46（JP）ページ）をご覧ください。

バックグラウンド

アスペクト比4:3の画像や2画面を表示したときのバックグラウンド（映像信号のない部分）の明るさを調整します。

◆ バックグラウンドの明るさ調整について詳しくは、「スクリーンセーバー機能」（46（JP）ページ）をご覧ください。

カラーマトリクス

接続している機器からのコンポーネント信号入力時の映像が自然な色あいになるように設定します。

◆ カラーマトリクスについて詳しくは、「カラーマトリクスを調整する」（48（JP）ページ）をご覧ください。

HDモード

INPUT1、またはオプションアダプターBKM-V11/BKM-V12のYUV端子に入力されるHDアナログコンポーネント信号によってモードを設定します。

1080I：1080Iの信号を受ける場合
1035I：1035Iの信号を受ける場合

RGBモード

RGB/YUV端子に、RGB信号を出力する機器を接続しているときに、モードを設定します。

DTV：RGB信号のデジタルチューナーなどを接続している場合
PC：パソコンを接続している場合

同期モード

RGB/YUV端子の13番ピンに入力される信号によって、モードを設定します。設定できる信号は、575/50I、480/60Iのみです。

同期信号：水平信号またはコンポジット同期信号*が入力される場合
映像信号：映像信号が入力される場合

*コンポジット同期の信号レベルによっては正しく画像が表示されない場合があります。その際は、同期モードの設定を変更してください。

入力信号と同期モードの設定

PIN	D-sub入力信号	同期モード選択
13	480/60I、575/50Iの Composite Video	映像信号
	Composite Sync	同期信号
13/14	H Sync/V Sync	
2	Sync On Green	

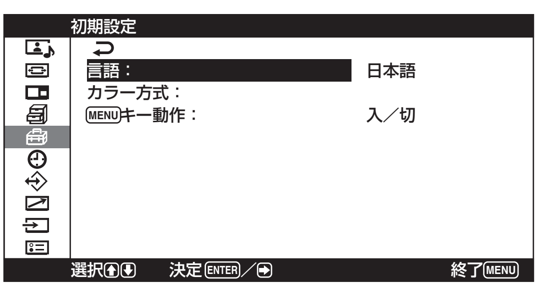
◆ RGB/YUV端子のピン配列については、「ピン配列」（55（JP）ページ）をご覧ください。

ご注意

- 「同期信号」しか選べない入力があります。この場合は13ピンに「映像信号」を入力しても画像は表示されません。水平・垂直同期信号を13、14ピンに入力するか、Sync On Green信号をRGBに入力してください。
- Sync On Greenのときは同期信号に設定しないと画像が表示されません。
- オプションボードでは、同期モードの設定はできません。
- 本機はコンポジットシンクおよび576/60Pの3値シンクには対応していません。

初期設定メニュー

メニュー表示の言語や映像ソースを選んだり、メニューキーの機能を設定したりするメニューです。



言語

メニューを表示する言語を日本語、英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、イタリア語から選びます。

◆ 言語について詳しくは、「メニュー表示の言語を選ぶ」（45（JP）ページ）をご覧ください。

カラー方式

映像ソースを選びます。

自動：NTSC/PAL/SECAM/NTSC4.43またはNTSC/PAL-M/PAL-Nの映像を見る場合
NTSC：NTSCの映像を見る場合
NTSC4.43：NTSC4.43の映像を見る場合
PAL：PALの映像を見る場合
SECAM：SECAMの映像を見る場合
PAL-M：PAL-Mの映像を見る場合
PAL-N：PAL-Nの映像を見る場合
PAL60：PAL60の映像を見る場合

カラー方式が「自動」に設定されている場合、下の階層でさらに自動検出できるカラー方式を設定します。

- NTSC/PAL/SECAM/NTSC 4.43を自動検出
- NTSC/PAL-M/PAL-Nを自動検出

ご注意

ビデオ受信時以外は設定できません。

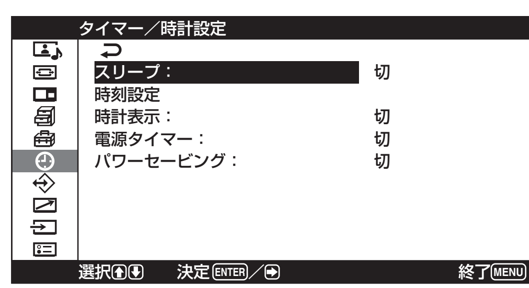
メニューキー動作

メニューキーを押したときの動作を選びます。

入／切：メニューキーを押すたびに、メニューの表示／消去を繰り返します。
戻る：メニューキーを押すと、カーソルが前の階層に戻ります。

タイマー／時計設定メニュー

時刻やタイマーを設定したり、時刻を表示させたり、自動的に電源が入ったり切れたりするように設定するメニューです。



スリープ

設定した時間が過ぎると自動的に電源が切れます。設定できる時間は30分、60分、90分、120分です。

◆ スリープについて詳しくは、「スリープ機能」（48（JP）ページ）をご覧ください。

時刻設定

時刻を設定するときに使用します。

◆ 時刻設定について詳しくは、「時刻を設定する」(49 (JP) ページ) をご覧ください。

時計表示

入にすると画面に設定した時刻が表示されます。

◆ 時計表示について詳しくは、「時計を表示する」(49 (JP) ページ) をご覧ください。

電源タイマー

時間を自由に設定して、自動的に電源を入／切するようにします。

◆ 電源タイマーについて詳しくは、「電源タイマー機能」(50 (JP) ページ) をご覧ください。

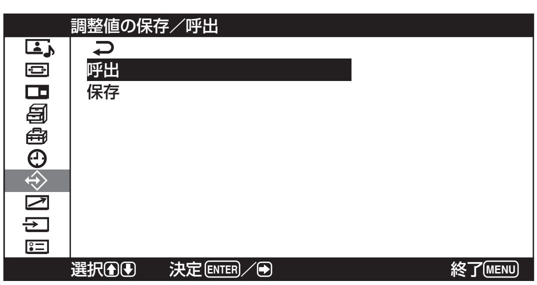
パワーセービング

INPUT1またはINPUT2端子にRGB信号が入力されていない状態のときに、電源が自動的に切れるようにします。

◆ パワーセービングについて詳しくは、「パワーセービング機能」(51 (JP) ページ) をご覧ください。

メモリーメニュー

画質／音質調整メニューと画面モード調整メニューの調整値をナンバー1～20のメモリーに保存したり、呼び出したりするメニューです。



◆ メモリー機能について詳しくは、「メモリーを使う」(44 (JP) ページ) をご覧ください。

呼出

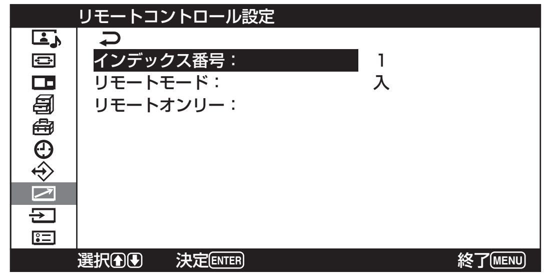
保存した調整値を呼び出します。

保存

調整値を保存します。

リモートコントロール設定メニュー

リモートコマンダーの操作に関する設定を行うメニューです。



インデックス番号

ディスプレイ本体のインデックス番号を設定します。

ご注意

この項目を設定する場合は、ディスプレイ本体のボタンを使用してください。リモートコマンダーでは設定できません。

◆ インデックス番号について詳しくは、「特定のディスプレイをリモートコマンダーで操作する」(51 (JP) ページ) をご覧ください。

リモートモード

リモートコントロールのモードを切り換えます。

入： ディスプレイまたはTVに付属しているリモートコマンダーから操作するとき。

切： リモートコマンダーから操作しないとき。(リモートコマンダーからは操作できなくなります。)

ご注意

モードを切り換える場合は、ディスプレイ本体のボタンを使用してください。リモートコマンダーでは切り換えできません。

◆ 使用できるリモートコマンダーや操作について詳しくは、「他のリモートコマンダーから操作する」(53 (JP) ページ) をご覧ください。

リモートオンリー

「リモートオンリー」を入にすると、ディスプレイ本体のボタンが効かなくなり、ディスプレイの操作はリモートコマンダーでのみ行えるようになります。

リモートオンリーモードを解除するには、リモートコマンダーで「リモートオンリー」を切にしてください。

ご注意

電源コードを抜いたり、リモートコマンダーで電源を入／切してもリモートオンリーモードは解除できません。

リモートコマンダーをなくした場合、本体の電源ボタンをメニューボタンと同時に押すと、リモートオンリーは解除されます。

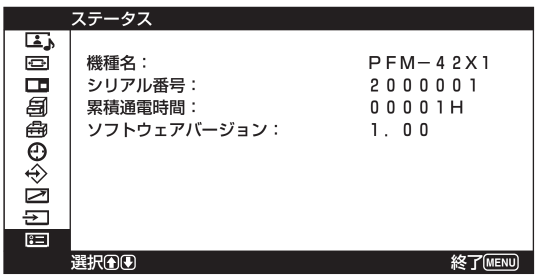
入力切換メニュー

入力信号の切り換えを設定するメニューです。

◆ 入力信号の切り換えについて詳しくは、「入力信号を切り換える」(29（JP）ページ)をご覧ください。

ステータスメニュー

ディスプレイ本体の内部状態を表示するメニューです。



機種名

機種名を表示します。

シリアル番号

シリアル番号を表示します。

累積通電時間

電源を入れていた累積通電時間を1時間単位で表示します。

ご注意

スタンバイ状態は累積通電時間に含まれません。

ソフトウェアバージョン

システムソフトウェアのバージョンを表示します。

画像を見る

準備

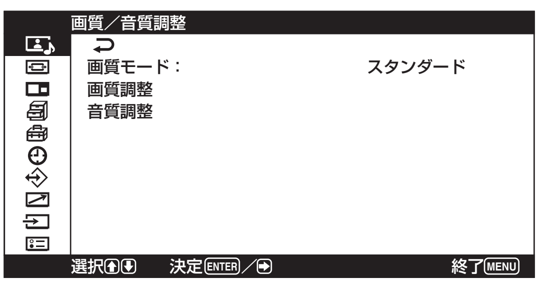
- ディスプレイの電源を入れておきます。
- 接続した機器の電源を入れ、映像ソースを再生します。
- 電源投入時または入力切り換え時に入力信号の種類と画質モードを画面に表示させたいときは、各種切換メニューの「ステータス表示」を入にしておきます。
- メニュー表示は日本語以外の言語にすることもできます。

◆ 詳しくは、「メニュー表示の言語を選ぶ」(45 (JP) ページ)をご覧ください。

入力信号を切り換える

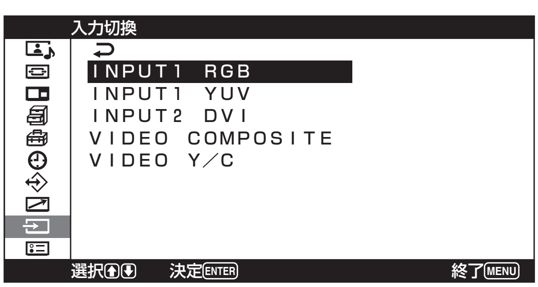
1 MENUボタンを押す。

メインメニューが表示されます。



2 ↑/↓ボタンで「入力切換」を選び、ENTERボタンまたは➡ボタンを押す。

入力切換メニューが表示されます。



3 ↑/↓ボタンで表示したい入力信号を選び、ENTERボタンを押す。

INPUT1 RGB：INPUT1端子に接続した機器の入力信号(アナログRGB信号)を選ぶ場合。

INPUT1 YUV：INPUT1端子に接続した機器の入力信号(コンポーネント信号)を選ぶ場合。

INPUT2 DVI：INPUT2端子に接続した機器の入力信号(デジタルRGB信号)を選ぶ場合。

VIDEO COMPOSITE：VIDEO端子のCOMPOSITE IN端子に接続した機器の入力信号を選ぶ場合。

VIDEO Y/C：VIDEO端子のY/C IN端子に接続した機器の入力信号を選ぶ場合。

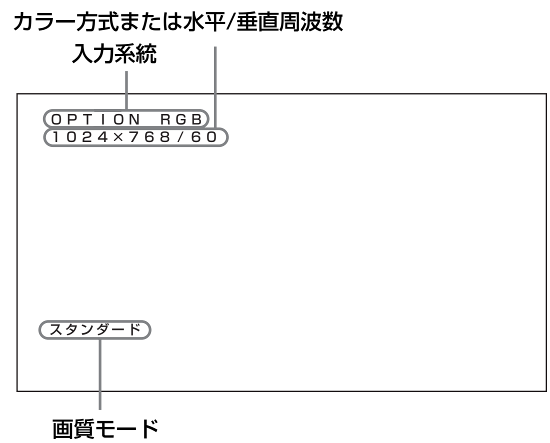
オプションボード「BKM-V11」「BKM-V12」を装着している場合

VIDEO COMPOSITEおよびVIDEO Y/Cのかわりに、以下のメニューが表示されます。

OPTION YUV：YUV/RGB IN端子に接続した機器の入力信号(コンポーネント信号)を選ぶ場合。

OPTION RGB：YUV/RGB IN端子に接続した機器の入力信号(アナログRGB信号)を選ぶ場合。

選んだ入力信号は、ディスプレイ画面に表示されます。



ディスプレイに付属しているリモートコマンダーから入力を切り換えることもできます。

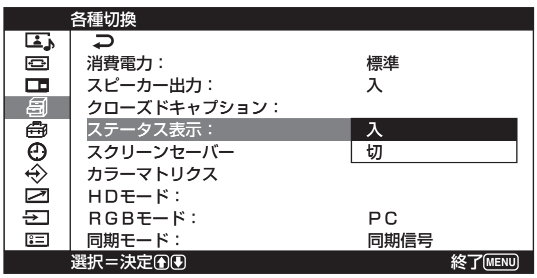
ご注意

- ディスプレイへのビデオ入力信号は、TBC(タイムベースコレクター)付きの入力ソース機器からの入力をおすすめします。TBCのかかっていない信号を入力すると、同期の乱れにより映像が消えることがあります。
- 同じフォーマットの信号を複数の系統から入力している場合、画質モードの設定は最新の設定値になります(同フォーマットのみ)。

入力信号と画質モードの情報とディスプレイの設定状態の表示について

電源投入時または入力切り換え時に、入力信号と画質モードの情報が約5秒間画面に表示されます。
情報を画面に表示しないようにするときは、以下の手順に従って設定してください。

1 各種切換メニューから、↑/↓ボタンで「ステータス表示」を選び、ENTERボタンまたは➡ボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



2 ↑/↓ボタンで「ステータス表示」を切にする。

ステータス表示させるには

手順**2**で「ステータス表示」を入にします。
（工場出荷時は入に設定されています。）

ご注意

本機に付属しているリモートコマンダーのDISPLAYボタンを押して、いつでも必要なときに入力信号の情報および画質モードを表示することもできます。

	入力プリセット信号		
	信号名称	カラー方式または水平／垂直周波数表示	
	コンピューター信号		
1	VGA[a]-1 (VGA 350)	31.5 kHz	70 Hz
2	640×480@60 Hz (VESA[b] STD)	31.5 kHz	60 Hz
3	Mac[c] 13"	35.0 kHz	67 Hz
4	VGA (VGA TEXT)	31.5 kHz	70 Hz
5	800×600@60 Hz (VESA STD)	37.9 kHz	60 Hz
6	Mac 16"	49.7 kHz	75 Hz
7	1024×768@60 Hz (VESA STD)	48.4 kHz	60 Hz
8	1024×768@75 Hz (VESA STD)	60.0 kHz	75 Hz
9	1024×768@85 Hz (VESA STD)	68.7 kHz	85 Hz
10	1152×864@75 Hz (VESA STD)	67.5 kHz	75 Hz
11	Mac 21"	68.7 kHz	75 Hz
12	1280×960@60 Hz (VESA STD)	60.0 kHz	60 Hz
13	1280×1024@60 Hz (VESA STD)	64.0 kHz	60 Hz
14	1600×1200@60 Hz (VESA STD)*	75.0 kHz	60 Hz
15	848×480@60 Hz (VESA STD)	29.8 kHz	60 Hz
16	848×480@60 Hz (VESA STD)	29.5 kHz	60 Hz
17	848×480@75 Hz	37.7 kHz	75 Hz
18	1280×768@60 Hz	47.8 kHz	60 Hz
19	1280×768@60 Hz	47.4 kHz	60 Hz
	SDTV/HDTV		
1	PAL	PAL	
2	NTSC	NTSC	
3	SECAM	SECAM	
4	NTSC4.43	NTSC4.43	
5	PAL60	PAL60	
6	PAL-M	PAL-M	
7	PAL-N	PAL-N	
8	575/50i	575/50I	
9	480/60i	480/60I	
10	1080/24psf	1080/48I	
11	1080/50i	1080/50I	
12	576/50p	576/50P	
13	480/60p	480/60P	
14	1080/60i	1080/60I	
15	720/60p	720/60P	
16	720/50p	720/50P	

a) VGAは米国International Business Machines Corporationの登録商標です。
b) VESAはVideo Electronics Standards Associationの登録商標です。
c) Mac（Macintosh）はApple Computer, Inc.の登録商標です。

ご注意

- HDTV信号を入力する場合、同期信号は3値同期信号をINPUT1のRGB/YUV端子（D-sub 15ピンコネクター）の2番ピンに入力してください。
- PFM-42X1シリーズでDVD信号を入力した場合、画像の色を薄く感じたら、画質調整メニューの「色の濃さ」でお好みの色の濃さに調整してください。
- 位相を再調整すると解像度が低下します。
- *の信号は、デジタルRGB信号入力端子に入力できません。

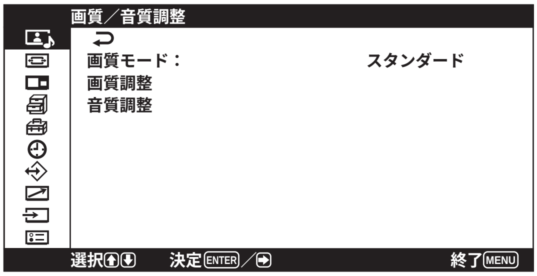
入力信号／ディスプレイ設定情報の画面表示

画面表示	意味
640×480 / 60（例）	コンピューター信号が入力されています。
480 / 60P（例）	コンポーネント信号が入力されています。
NTSC（例）	NTSC信号が入力されています。
標準信号ではありません	受像できない信号が入力されています。
信号が入力されていません	入力信号がありません。
INPUT1 RGB	入力1端子の入力モードはRGBです。
INPUT1 YUV	入力1端子の入力モードはコンポーネントビデオです。
VIDEO COMPOSITE	ビデオ（VIDEO1 IN）端子のCOMPOSITE IN（VIDEO1 IN COMPOSITE）が選択されています。
VIDEO Y/C	ビデオ（VIDEO1 IN）端子のY/C IN（VIDEO1 IN Y/C）が選択されています。

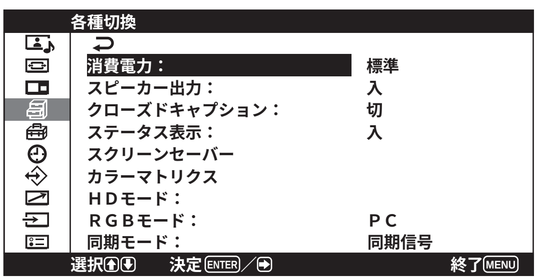
画面表示を切り換える

字幕を表示させる

1 MENUボタンを押す。
メインメニューが表示されます。



2 ↑/↓ボタンで「各種切換」を選び、ENTERボタンまたは➡ボタンを押す。
各種切換メニューが表示されます。



3 ↑/↓ボタンで「クローズドキャプション」を選び、ENTERボタンまたは➡ボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



4 ↑/↓ボタンで表示する字幕のタイプを選ぶ。
切：字幕を表示しない
ＣＣ１～ＣＣ４：画像に重ねて、言語の字幕を表示する

5 ENTERボタンまたは⬅ボタンを押すと、各種切換メニューに戻ります。

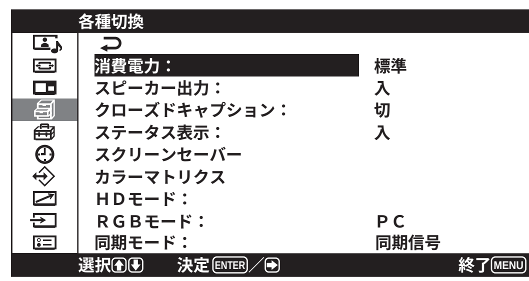
節電モード機能

節電しながら映像を見ることができます。

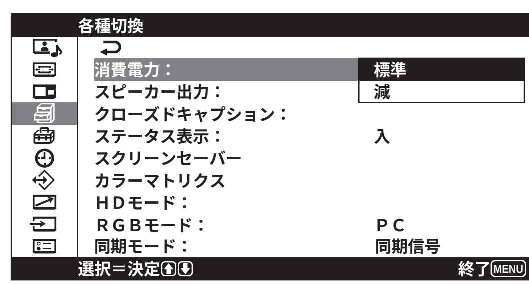
1 MENUボタンを押す。
メインメニューが表示されます。



2 ↑/↓ボタンで「各種切換」を選び、ENTERボタンまたは➡ボタンを押す。
各種切換メニューが表示されます。



3 ↑/↓ボタンで「消費電力」を選び、ENTERボタンまたは➡ボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



4 ↑/↓ボタンで消費電力のモードを選ぶ。
標準：節電しない
減：節電する
節電モードを減にすると、画面の明るさを下げて、節電しながら見ることができます。

5 ENTERボタンまたは⬅ボタンを押すと、各種切換メニューに戻ります。

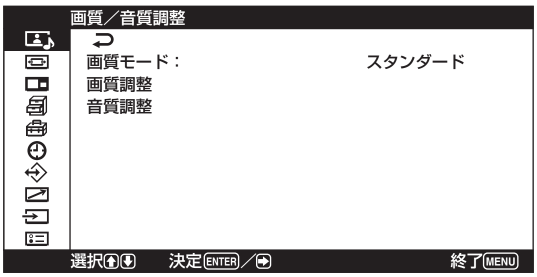
ご注意

- 「消費電力：減」のときに電源を切ると、次に電源を入れたときも「消費電力：減」のままになります。
- 画質モードで「ユーザー1～3」を選んでいるときは、「消費電力：減」でも、画質を調整できます。ただし、コントラストや明るさを上げると節電にならなくなる場合があります。

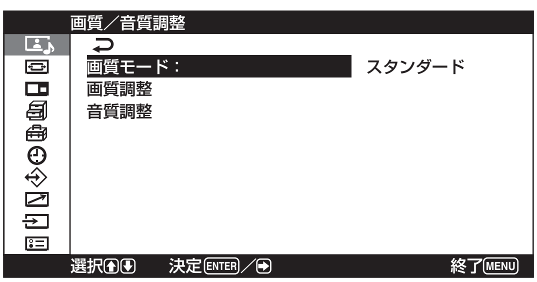
画質を選ぶ

映像の種類や周囲の明るさに合わせて画質を選ぶことができます。

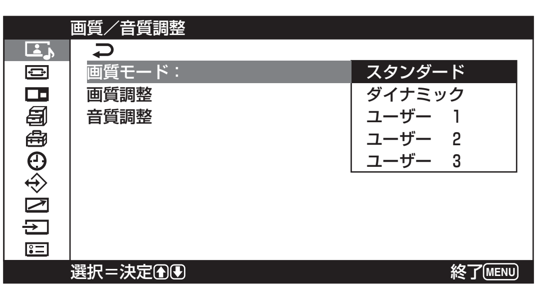
1 MENUボタンを押す。
メインメニューが表示されます。



2 ↑/↓ボタンで「画質／音質」を選び、ENTERボタンまたは→ボタンを押す。
画質／音質調整メニューが表示されます。



3 ↑/↓ボタンで「画質モード」を選び、ENTERボタンまたは→ボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



4 ↑/↓ボタンで画質を選ぶ。
スタンダード：適度なコントラストと輪郭強調によりきめ細かい質感のあるリアルな画質になります。
ダイナミック：映像の輪郭とコントラストを最大限に上げた、メリハリの強い画質になります。
ユーザー1～3：画質調整メニューからお好みの画質を自由に設定できます。

5 ENTERまたは←ボタンを押すと、画質／音質調整メニューに戻ります。

画質を調整する

画像を見ながら、コントラスト、明るさ、色の濃さ、色あいなどを調整することができます。また、入力信号ごとに調整を行い、調整値をメモリーすることができます。
画質モードを「ユーザー1～3」のいずれかにしてください。

コントラスト、明るさ、色の濃さ、色あいなどを調整する

MENUボタンを押してメインメニューを表示し、画質調整メニューから調整したい項目に応じて、「コントラスト」、「明るさ」、「色の濃さ」、「色あい」、「シャープネス」、「NR（ノイズリダクション）」、「ダイナミックピクチャー」、「色温度」、「ガンマ補正」を調整します。

コントラスト

↑/↓ボタンで「コントラスト」を選び、ENTERボタンを押し、↑/↓/←/→ボタンでコントラストを調整します。
最小（0）～最大（100）の範囲で設定できます。
↑/→：コントラストが強くなる
↓/←：コントラストが弱くなる

明るさ

↑/↓ボタンで「明るさ」を選び、ENTERボタンを押し、↑/↓/←/→ボタンで画像の明るさを調整します。
最小（－50）～最大（＋50）の範囲で設定できます。
↑/→：画像が明るくなる
↓/←：画像が暗くなる

色の濃さ

↑/↓ボタンで「色の濃さ」を選び、ENTERボタンを押し、↑/↓/←/→ボタンでクロマを調整します。
最小（－100）～最大（＋100）の範囲で設定できます。
↑/→：色が濃くなる
↓/←：色が薄くなる

色あい

⇧/⇩ボタンで「色あい」を選び、ENTERボタンを押し、⇧/⇩/⇦/⇨ボタンで色あいを調整します。
赤最大（50）～緑最大（50）の範囲で設定できます。
⇧/⇨：画像が緑がかる
⇩/⇦：画像が赤みがかる

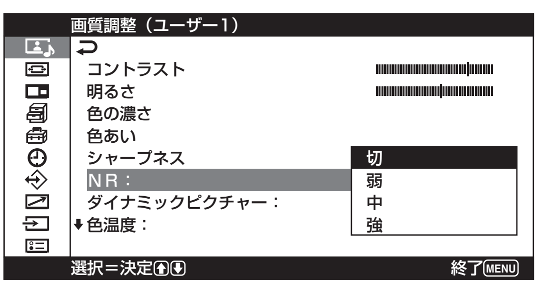
シャープネス

⇧/⇩ボタンで「シャープネス」を選び、ENTERボタンを押し、⇧/⇩/⇦/⇨ボタンで画像のシャープネスを調整します。
最小（－10）～最大（＋10）の範囲で設定できます。
⇧/⇨：画像をくっきりと表示する
⇩/⇦：画像をやわらかく表示する

NR（ノイズリダクション）

映像のざらつきや色ノイズを軽減することができます。

1 ⇧/⇩ボタンで「NR」を選び、ENTERボタンまたは⇨ボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



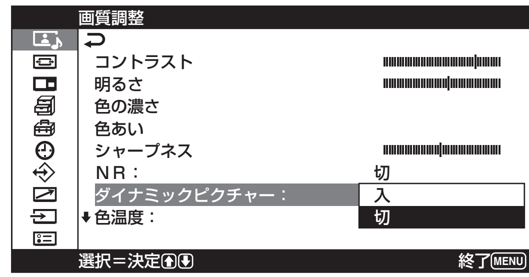
2 ⇧/⇩ボタンでNRのモードを選ぶ。
切：映像信号をそのまま表示する
弱：NR処理を弱く設定するとき
中：NR処理を中程度に設定するとき
強：NR処理を強く設定するとき

3 ENTERボタンまたは⇦ボタンを押すと、画質調整メニューに戻ります。

ダイナミックピクチャー

白をより白く、黒をより黒くしてコントラストを強めます。

1 ⇧/⇩ボタンで「ダイナミックピクチャー」を選び、ENTERボタンまたは⇨ボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



2 ⇧/⇩ボタンでダイナミックピクチャーのモードを選ぶ。
入：ダイナミックピクチャー機能を使う
切：ダイナミックピクチャー機能を使わない

3 ENTERボタンまたは⇦ボタンを押すと、画質調整メニューに戻ります。

色温度

色温度を設定します。「高」「中」「低」のほか、各ゲインを好みに合わせて細かく調整することもできます。調整した色温度は、3つまで登録できます。登録した色温度の名前を変更することもできます（6文字まで）。

1 ↑/↓ボタンで「色温度」を選び、ENTERボタンまたは➡ボタンを押す。

2 ↑/↓ボタンで色温度を選び、ENTERボタンを押す。

高：色温度を高く設定するとき
中：色温度を中程度に設定するとき
低：色温度を低く設定するとき
User1～3：各ゲインを細かく設定するとき

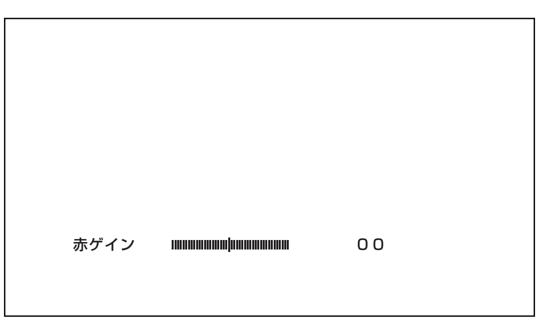
「高」「中」「低」を選んだ場合には、画質調整メニューに戻ります。

「User1～3」を選んだ場合

「User1～3」を選んだ場合には、以下の画面が表示されます。



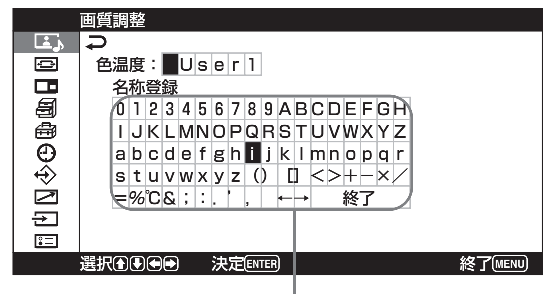
(1) ↑/↓ボタンで設定したいゲインを選び、ENTERボタンまたは➡ボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



(2) ↑/↓/←/➡ボタンでゲインを調整し（－15～＋15）、ENTERボタンを押す。
色温度メニュー画面に戻ります。

調整した色温度の名前の変更は、以下の手順で行います。

(3) ↑/↓ボタンで「名称登録」を選び、ENTERボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



キャラクター一覧

(4) ↑/↓/←/➡ボタンでキャラクター一覧から文字や記号を選び、ENTERボタンを押す。
選んだ文字が入力されます。間違えたときは画面上の「←」を選ぶと1文字戻りますので、選び直してください。

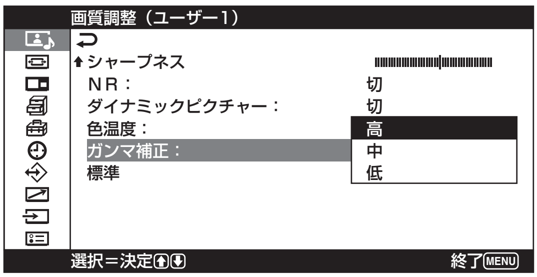
◆ 初期設定メニューの「メニューキー動作」（26（JP）ページ）が「戻る」に設定されているときは、リモコンの↑/↓ボタンはカーソルを左右に移動させます。↑/↓ボタンでカーソルを上下に移動させたい場合は、メニューキー動作の設定を「入/切」にしてください。

(5) 手順(4)を繰り返し、名前の変更が終わったら「終了」を選び、ENTERボタンを押す。
色温度メニュー画面に戻ります。

ガンマ補正

映像の明暗部分のバランスを自動的に調整することができます。

1 ↑/↓ボタンで「ガンマ補正」を選び、ENTERボタンまたは➡ボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



2 ↑/↓ボタンでガンマ補正のモードを選ぶ。
高：ガンマ補正を強くかけるとき
中：ガンマ補正を中程度にかけるとき
低：ガンマ補正を弱くかけるとき

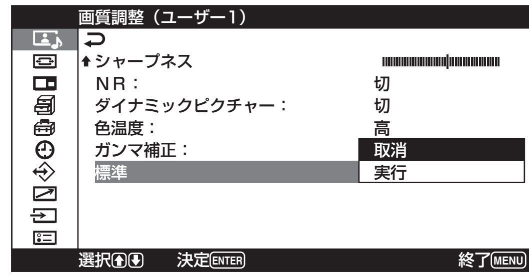
3 ENTERボタンまたは⬅ボタンを押すと、画質調整メニューに戻ります。

ご注意

- RGB信号を入力している場合、色あいと色の濃さは調整できません。
- コンポーネント信号を入力している場合、色あいは調整できません。
- PAL、PAL-M、PAL-N、PAL60およびSECAM方式の入力信号の場合、色あいは調整できません。
- 白黒信号を入力しているときは、色の濃さと色あいは調整できません。

調整した画質を出荷時の設定値に戻す

1 画質調整メニューから、↑/↓ボタンで「標準」を選び、ENTERボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



2 ↑/↓ボタンで「実行」を選び、ENTERボタンを押す。
画質調整メニューの項目が工場出荷時の設定値に戻ります。

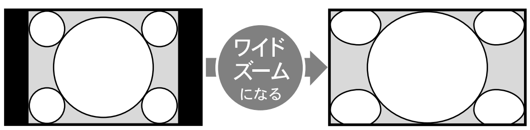
リセットを中止するには

ENTERボタンを押す前にMENUボタンを押してください。または、↑/↓ボタンで「取消」を選びENTERボタンを押してください。

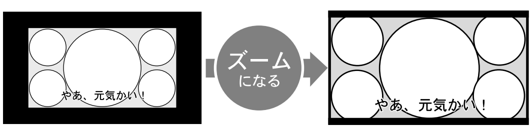
映像を拡大する

通常のテレビ放送やワイドクリアビジョンなど、映像の種類に合わせて画面いっぱいに拡大表示することができます。
ワイドモードには以下の種類があります。

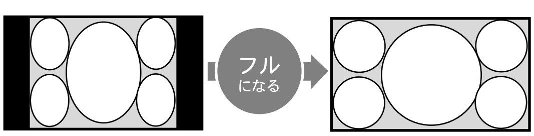
オリジナルの映像（映像の種類）	拡大した映像



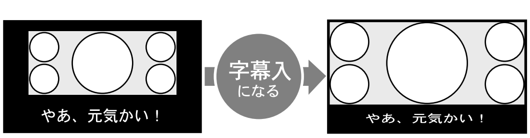
オリジナルの映像（映像の種類）	拡大した映像
• 通常の4:3映像をワイドズームに設定したとき（画面横縦比4:3）	違和感少なく画面いっぱいに拡大します。



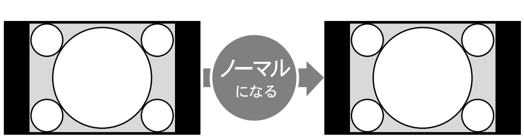
オリジナルの映像（映像の種類）	拡大した映像
• ワイドクリアビジョン放送（横縦比16:9） • ビスタビジョンなど映像中に字幕が入った横長の映画（横縦比1.85:1） • 横縦比情報の入ったビデオカメラやDVDソフトなどの映像（ID-1方式）	画面の左右に合わせていっぱいに拡大します。（映像の種類によって、上下に黒い帯が残ることがあります。）



オリジナルの映像（映像の種類）	拡大した映像
• 横縦比情報の入ったビデオカメラやDVDソフトなどの映像（ID-1方式）	天地はそのままで、左右を画面いっぱいに引き伸ばします。



オリジナルの映像（映像の種類）	拡大した映像
• シネマビジョンなど映像の外に字幕のある横長の映画（横縦比2.35:1）	画面の左右に合わせていっぱいに拡大しながら、字幕部分だけを圧縮して画面に入れます。



オリジナルの映像（映像の種類）	拡大した映像
• オートワイド「入」で、4:3映像を「ノーマル」（出荷時は「ノーマル」）に設定したとき	拡大せずに、横縦比4:3のままの映像になります。

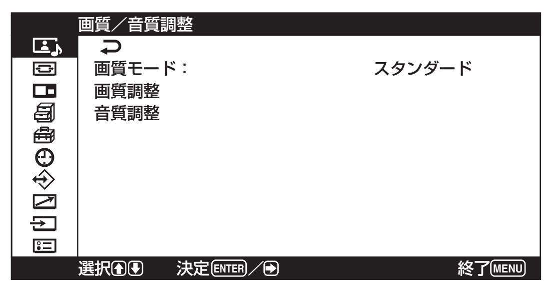
オートワイドを設定する

一部の通常のテレビ放送やワイドクリアビジョン放送などでは、映像を判別するための識別制御信号が映像信号と重ねて送られています。オートワイド機能は、識別制御信号に基づいて映像を忠実に再現したり、識別制御信号に関係なくあらゆる映像を最適なサイズで拡大表示することができます。
また、横縦比が4:3の通常のテレビ放送やBS放送を、横縦比16:9に拡大して表示することもできます。

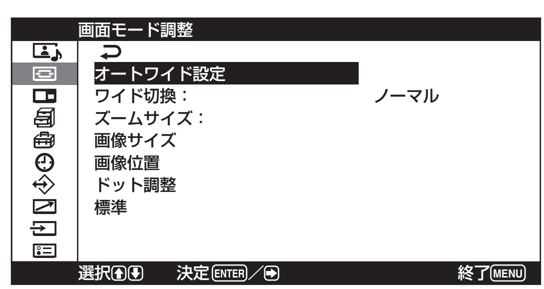
識別制御信号とは

オリジナル映像の横縦比を画面上に忠実に再現するためのコントロール信号です。この信号を含む映像には以下のものがあります。
• ワイドクリアビジョン放送
• 横縦比情報の入ったビデオカメラなどの記録映像（ID-1 方式）
• 横縦比を4:3 にする信号の入ったテレビ放送

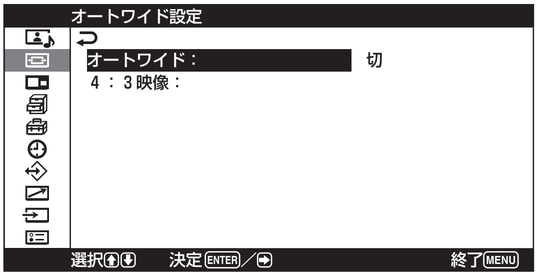
1 MENU ボタンを押す。
メインメニューが表示されます。



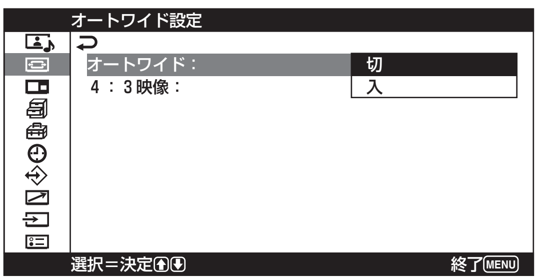
2 ↑/↓ボタンで「画面モード」を選び、ENTER ボタンまたは➡ボタンを押す。
画面モード調整メニューが表示されます。



3 ↑/↓ボタンで「オートワイド設定」を選び、ENTER ボタンまたは➡ボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



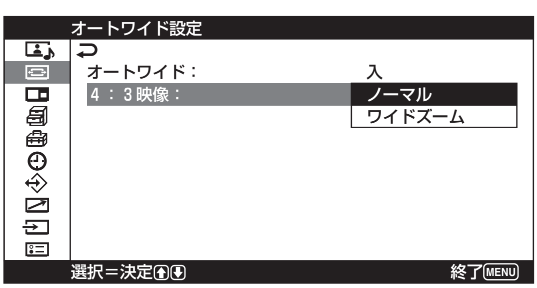
4 ↑/↓ボタンで「オートワイド」を選び、ENTER ボタンまたは➡ボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



5 ↑/↓ボタンでオートワイドの設定を選ぶ。
切：映像をそのまま表示する
入：最適な横縦比に拡大して映像を表示する

6 ENTER ボタンまたは⬅ボタンを押す。
3の画面に戻ります。

7 ↑/↓ボタンで「4:3 映像」を選び、ENTER ボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



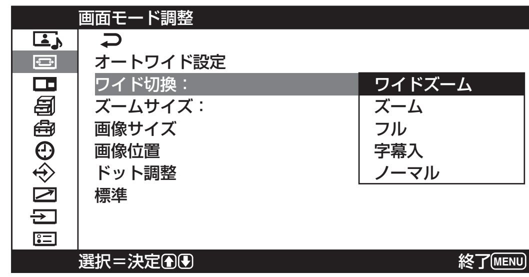
8 ↑/↓ボタンで4:3 映像のモードを選ぶ。
ノーマル：4:3 の映像をそのまま表示する
ワイドズーム：4:3 の映像を16:9 に拡大して表示する（識別制御信号のない場合）

9 ENTER ボタンまたは⬅ボタンを押す。
オートワイド設定に戻ります。

ワイド切換を設定する

映像の種類に関係なく、お好きなワイドモードで画面を拡大表示することができます。入力信号がPC 信号の場合は、フルとノーマルの2 モードのみ選択できます。

1 画面モード調整メニューから、↑/↓ボタンで「ワイド切換」を選び、ENTER ボタンまたは➡ボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



2 ↑/↓ボタンでワイドモードを選ぶ。
ワイドズーム：4 :3 の画像を16 :9 に画面いっぱいに拡大する
ズーム：画面の左右に合わせていっぱいに拡大する（映像の種類によっては上下に黒い帯が残ることがあります。）
フル：天地をそのままにして、映像の左右を画面いっぱいに引き伸ばす
字幕入：画面の左右に合わせていっぱいに拡大し、字幕部分のみを圧縮して表示する
ノーマル：拡大せずにそのまま表示する

3 ENTER ボタンまたは⬅ボタンを押す。
画面モード調整メニューに戻ります。

ご注意

- ワイド切換を設定すると、オートワイド機能が働きません。オートワイド機能を使いたい場合は、「入」に再設定してください。
- 映像の種類やサイズによっては、画面の上下が欠けたり、字幕が入りきらない場合があります。そのような場合は、画像のサイズや位置を調整してください。
- 本機を営利目的、または公衆に視聴させることを目的として喫茶店、ホテルなどに置き、ワイド切換機能等を利用して画面の圧縮や引き伸ばし等を行いますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。
- 本機は、各種のワイド切換機能を備えています。テレビ番組などソフトの映像比率と異なるモードを選択されますと、オリジナルの映像とは見え方に差が出ます。この点にご留意の上、ワイド切換をお選びください。

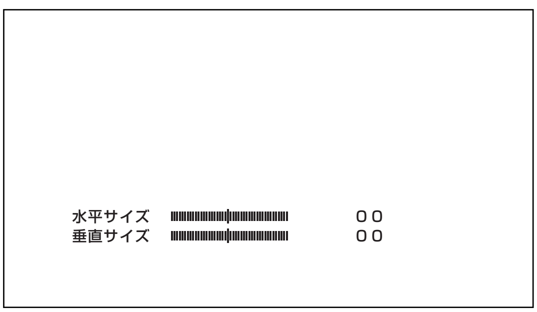
画像のサイズや位置を調整する

画像の大きさや位置がディスプレイ画面に合っていないときは、位置を調整したり、縦・横方向に画像のサイズを変えたりすることができます。

◆ この取扱説明書では、メニューキー動作が「入／切」に設定されている状態での操作を説明しています。画面モード調整メニューについて詳しくは、「画面モード調整メニュー」(23 (JP) ページ)をご覧ください。

画像のサイズを変える

1 画面モードメニューから⬆/⬇ボタンで「画像サイズ」を選び、ENTER ボタンを押す。
以下の画面が表示されます。

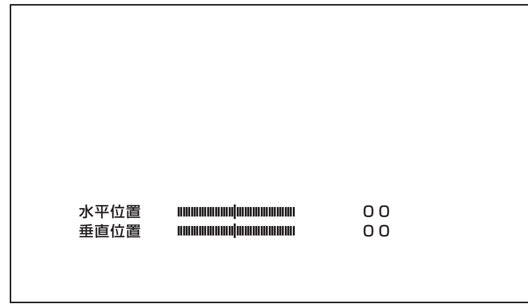


2 ⬆/⬇/⬅/➡ボタンで水平方向／垂直方向のサイズを調整する。
⬅/➡：水平方向のサイズを調整する
⬆/⬇：垂直方向のサイズを調整する
画像の水平方向のサイズは、画面上に最小(−30)〜最大(+30)の調整値で表示されます。垂直方向のサイズは、画面上に最小(−30)〜最大(+30)の調整値で表示されます。工場出荷時は00 (標準位置)に設定されています。

3 ENTER ボタンを押す。
画面モード調整メニューに戻ります。

画像の位置を調整する

1 画面モード調整メニューから、⬆/⬇ボタンで「画像位置」を選び、ENTER ボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



2 ⬆/⬇/⬅/➡ボタンで水平方向／垂直方向に動かす。
⬅/➡：画像が左／右に動く
⬆/⬇：画像が上／下に動く
画像の水平位置は、画面上に左最大(30)〜右最大(30)の調整値で表示されます。画像の垂直位置は、画面上に下最大(30)〜上最大(30)の調整値で表示されます。工場出荷時は00 (標準位置)に設定されています。

3 ENTER ボタンを押す。
画面モード調整メニューに戻ります。

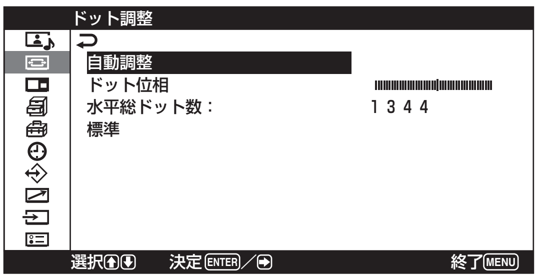
ドット位相を調整する

文字や縦線のエッジにチリチリとしたノイズが多いときに、ドット位相と水平総ドット数を調整します。

ご注意

コンピューター信号に対して有効です。

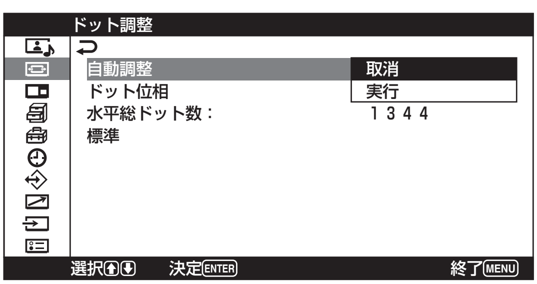
1 画面モード調整メニューから↑/↓ボタンで「ドット調整」を選び、ENTER ボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



2 ドット位相と水平総ドット数の調整には、自動調整と手動調整の2 通りがあります。

自動調整する場合

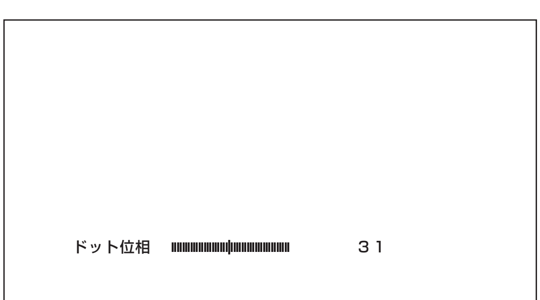
(1) ↑/↓ボタンで「自動調整」を選び、ENTERボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



(2) ↑/↓ボタンで「実行」を選び、ENTER ボタンを押す。
自動的にドット位相と水平総ドット数が調整されます。

手動調整する場合

(1) ↑/↓または←/→ボタンで「ドット位相」または「水平総ドット数」を選び、ENTER ボタンを押す。
以下の画面が表示されます。(「ドット位相」を選んだ場合)



(2) ↑/↓または←/→ボタンで文字や縦線が最もきれいに見える状態に調整し、ENTER ボタンを押す。

ご注意

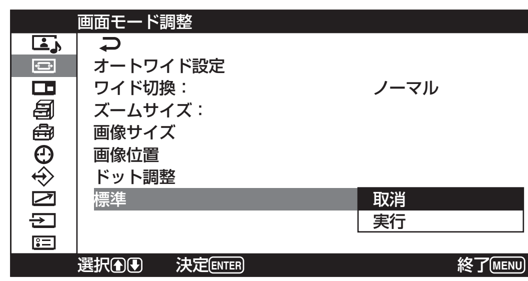
絵柄によっては自動調整でもノイズが消えないときがあります。この場合は手動調整をしてください。

ドット調整項目を出荷時の設定に戻すには

ドット調整メニューから↑/↓ボタンで「標準」を選び、ENTER ボタンを押します。次に↑/↓ボタンで「実行」を選び、ENTER ボタンを押してください。

設定した画面モード調整メニューの調整値を出荷時の設定値に戻す

1 画面モード調整メニューから、↑/↓ボタンで「標準」を選び、ENTER ボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



2 ↑/↓ボタンで「実行」を選び、ENTER ボタンを押す。
画面モード調整メニューの項目が工場出荷時の設定値に戻ります。

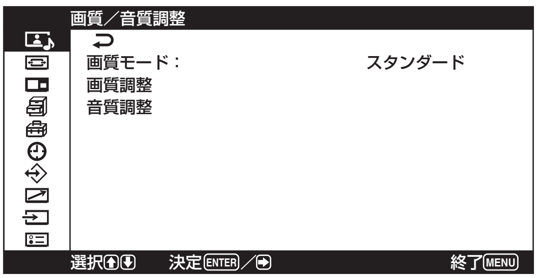
リセットを中止するには

ENTER ボタンを押す前にMENU ボタンを押してください。または、↑/↓ボタンで「取消」を選びENTER ボタンを押してください。

2つの画面を表示させる

2種類の入力信号の映像を隣り合わせで同時に表示させることができます。なおリモコンにて、ENTERボタン → INPUT1ボタンの順に押すと、2画面表示させることができます。

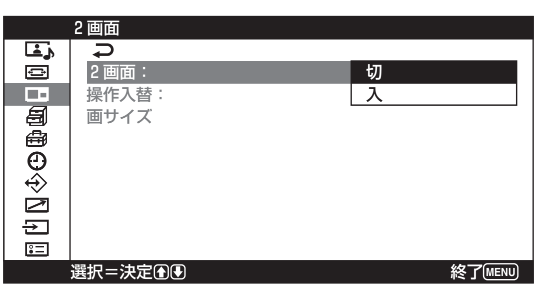
1 MENUボタンを押す。
メインメニューが表示されます。



2 ↑/↓ボタンで「2画面」を選び、ENTERボタンまたは➡ボタンを押す。
2画面メニューが表示されます。



3 ↑/↓ボタンで「2画面」を選び、ENTERボタンまたは➡ボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



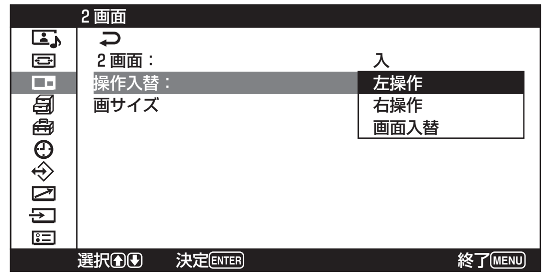
4 ↑/↓ボタンで「入」を選ぶ。

5 ENTERボタンまたは⬅ボタンを押すと、前の画面に戻ります。

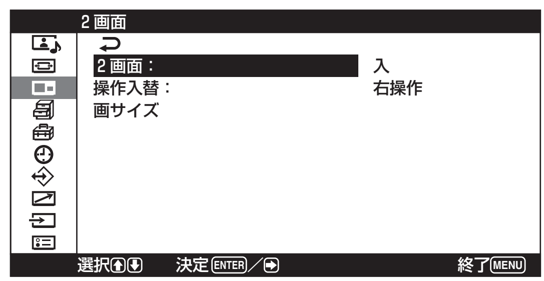
操作する画面を選ぶ

操作する画面を選ぶ（例：右の画面を操作したいとき）

1 ↑/↓ボタンで「操作入替」を選び、ENTERボタンまたは➡ボタンを押す。
以下の画面が表示されます。

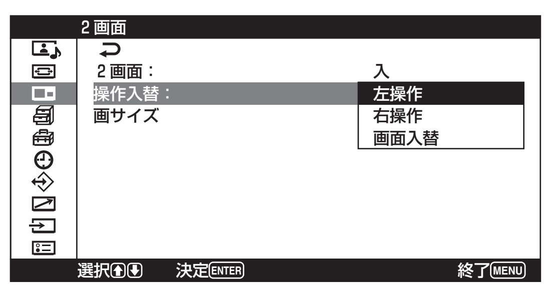


2 ↑/↓ボタンで「右操作」を選び、ENTERボタンを押す。
右の画面が操作可能画面になります。



画面の位置を入れ替える

1 ↑/↓ボタンで「操作入替」を選び、ENTERボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



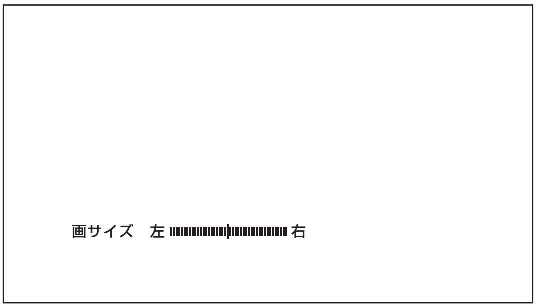
2 ↑/↓ボタンで「画面入替」を選び、ENTERボタンを押す。
左右の画面が入れ替わります。

ご注意

左右の画面を入れ替えても、操作上の左右はかわりません。（右に表示されるのが「右画面」、左が「左画面」になります。）

画面の大きさを変える

1 ↑/↓ボタンで「画サイズ」を選び、ENTERボタンを押す。



2 拡大したい方の画面が希望の大きさになるまで←/→ボタンを押しながら調整する。

3 ENTERボタンを押して決定する。

ご注意

- リモコンにて、ENTERボタン → INPUT1ボタンの順に押すと、2画面モードに入ることができます。
- 2画面表示できる信号の組み合わせは以下の通りです。

	デジタルRGB	アナログRGB	コンポーネント	Y/C	コンポジット
デジタルRGB			○	○	○
アナログRGB			○*	○	○
コンポーネント	○	○*		○	○
Y/C	○	○	○		
コンポジット	○	○	○		

＊ 本体のINPUT1と、オプションのBKM-V11もしくはBKM-V12との組み合わせ

音質を調整する

別売りスピーカーSS-SP20Bを接続しているとき、音の高音、低音、バランスを調整することができます。また、サラウンドモードを設定することができます。

高音、低音、バランスなどを調整する

MENUボタンを押してメインメニューを表示し、音質調整メニューから調整したい項目に応じて、「高音」、「低音」、「バランス」、「サラウンド」を調整します。

高音

↑/↓ボタンで「高音」を選び、ENTERボタンを押し、↑/↓/←/→ボタンで高音を調整します。
最小（−50）〜最大（＋50）の範囲で設定できます。

- ↑/→：高音が強くなる
- ↓/←：高音が弱くなる

低音

↑/↓ボタンで「低音」を選び、ENTERボタンを押し、↑/↓/←/→ボタンで低音を調整します。
最小（−50）〜最大（＋50）の範囲で設定できます。

- ↑/→：低音が強くなる
- ↓/←：低音が弱くなる

バランス

↑/↓ボタンで「バランス」を選び、ENTERボタンを押し、↑/↓/←/→ボタンでバランスを調整します。
左（50）〜右（50）の範囲で設定できます。

- ↑/→：右側の音が強くなる
- ↓/←：左側の音が強くなる

サラウンド

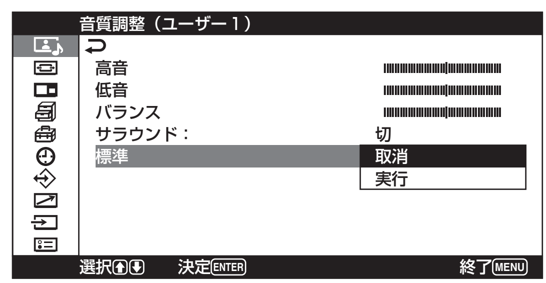
映像の種類に合わせて、サラウンドモードを選ぶことができます。

1 ↑/↓ボタンで「サラウンド」を選び、ENTERボタンを押す。

2 ↑/↓ボタンでモードを選び、ENTERボタンを押す。
切：サラウンド出力はしない
ホール：映画や音楽などのステレオ音声をより臨場感のある音にする場合
シミュレート：通常の放送やニュース番組のモノラル音声を擬似的にステレオ音声にして臨場感を高める場合

調整した音質を出荷時の設定に戻す

1 音質調整メニューから、↑/↓ボタンで「標準」を選び、ENTERボタンまたは→ボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



2 ↑/↓ボタンで「実行」を選び、ENTERボタンを押す。
音質調整メニューの項目が工場出荷時の設定値に戻ります。

リセットを中止するには

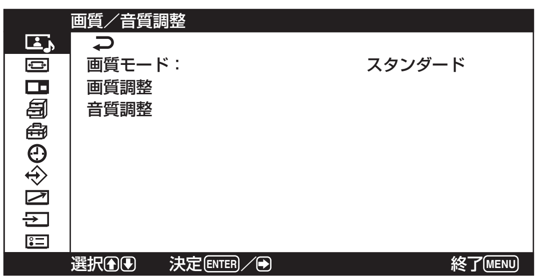
ENTERボタンを押す前にMENUボタンを押してください。または、↑/↓ボタンで「取消」を選びENTERボタンを押してください。

メモリーを使う

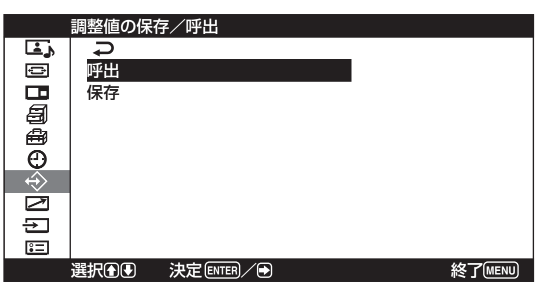
ある入力ソースからの映像がうまく表示されるように調整したら、その調整値をメモリーに保存しておくことができます。画質／音質調整メニューと画面モード調整メニューの調整値をナンバー1～20のメモリーに保存できます。保存する設定に名前を付けることもできます（6文字まで）。
複数の調整状態をすばやく切り換えられるので便利です。

現在の調整状態をメモリーする

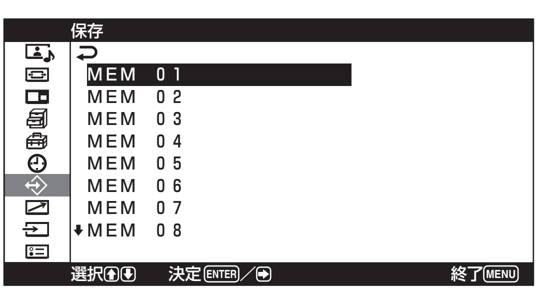
1 MENUボタンを押す。
メインメニューが表示されます。



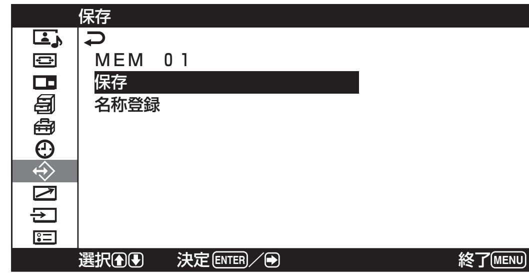
2 ⬆/⬇ボタンで「メモリー」を選び、ENTERボタンまたは➡ボタンを押す。
調整値の保存／呼出メニューが表示されます。



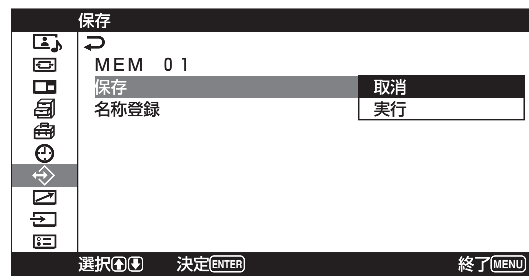
3 ⬆/⬇ボタンで「保存」を選び、ENTERボタンまたは➡ボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



4 ⬆/⬇ボタンで設定を保存したいメモリーナンバー（01～20）を選び、ENTERボタンまたは➡ボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



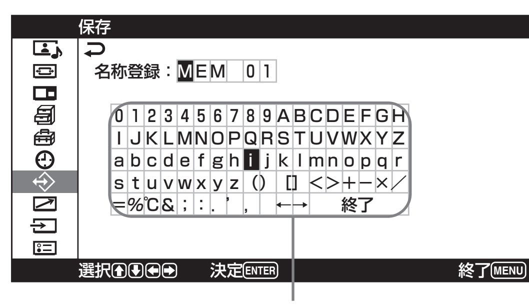
5 ⬆/⬇ボタンで「保存」を選び、ENTERボタンまたは➡ボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



6 ⬆/⬇ボタンで「実行」を選びENTERボタンを押す。
選んだメモリーナンバーに現在の調整値が保存されます。

設定に名前を付ける場合は、以下の手順で行います。

7 ⬆/⬇ボタンで「名称登録」を選び、ENTERボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



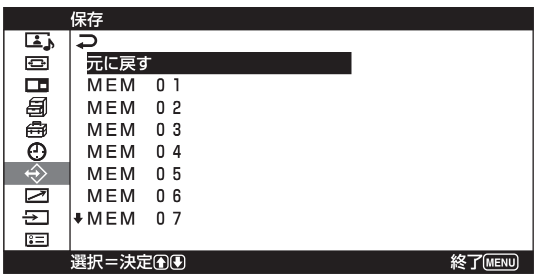
キャラクター一覧

8 ⬆/⬇/⬅/➡ボタンでキャラクター一覧から文字や記号を選び、ENTERボタンを押す。
選んだ文字が入力されます。間違えたときは画面上の「⬅」を選ぶと1文字戻りますので、選び直してください。
◆ 初期設定メニューの「メニューキー動作」（26（JP）ページ）が「戻る」に設定されているときは、リモコンの⬆/⬇ボタンはカーソルを左右に移動させます。⬆/⬇ボタンでカーソルを上下に移動させたい場合は、メニューキー動作の設定を「入/切」にしてください。

9 手順**8**を繰り返し、名前の入力が終わったら「終了」を選び、ENTERボタンを押す。
4の画面に戻ります。

メモリーした設定値を呼び出す

1 調整値の保存／呼出メニューから、↑/↓ボタンで「呼出」を選び、ENTERボタンまたは➡ボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



2 ↑/↓ボタンで設定を呼び出したいメモリーナンバー（01～20）にカーソルを移動する。
保存された調整値が呼び出されます。

呼び出す前の調整値に戻すには

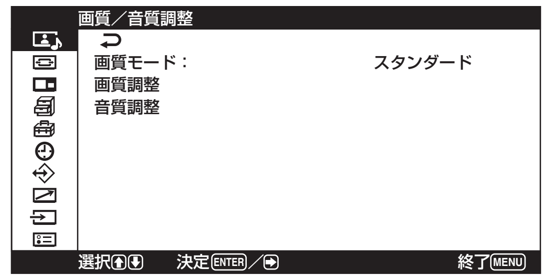
「元に戻す」にカーソルを移動してください。

3 ENTERボタンまたは⬅ボタンを押す。
調整値の保存／呼出メニュー画面に戻ります。

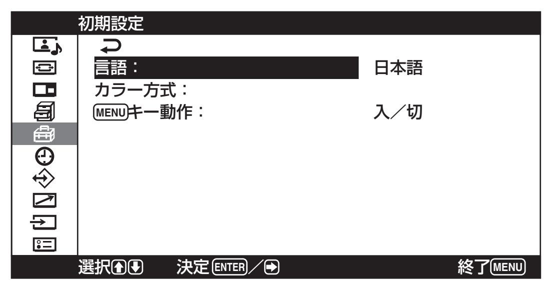
メニュー表示の言語を選ぶ

メニュー表示に使う言語を、日本語、英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、イタリア語の6つの言語の中から選ぶことができます。

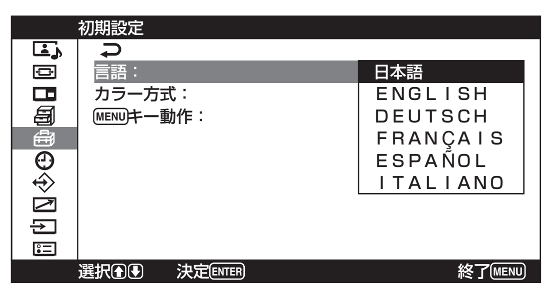
1 MENUボタンを押す。
メインメニューが表示されます。



2 ↑/↓ボタンで「初期設定」を選び、ENTERボタンまたは➡ボタンを押す。
初期設定メニューが表示されます。



3 ↑/↓ボタンで「言語」を選び、ENTERボタンまたは➡ボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



4 ↑/↓ボタンで表示したい言語を選ぶ。
メニュー画面の言語が切り換わります。

日本語: 日本語
ENGLISH: 英語
DEUTSCH: ドイツ語
FRANÇAIS: フランス語
ESPAÑOL: スペイン語
ITALIANO: イタリア語

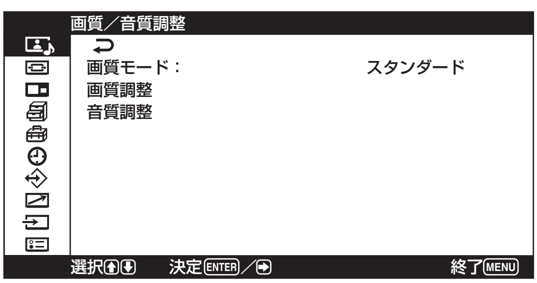
5 ENTERボタンまたは⬅ボタンを押すと、初期設定メニューに戻ります。

スクリーンセーバー機能

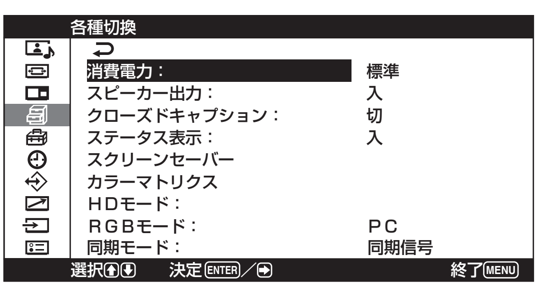
コンピューターの画像のように、輝度の変化しない画像や静止画の映像を長時間表示すると、画面に焼き付きや残像が生じることがあります。
これを補正したり、軽減させるため、本機にはスクリーンセーバー機能が搭載されています。スクリーンセーバー機能には、画像の色あいを反転させる（画像反転）、一定の時間がたつと画像の表示位置を自動的に変える（自動表示位置移動）、「ノーマル」での表示時や2画面表示時の映像のない部分の明るさを調整する（バックグラウンド）の3種類があります。

画像の色あいを反転させる

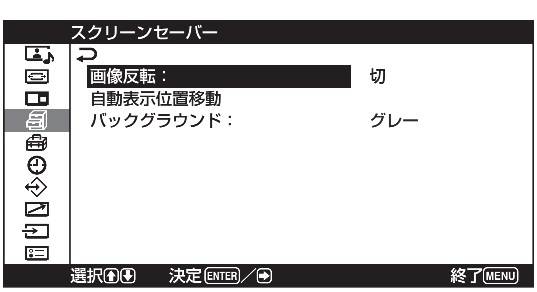
1 MENUボタンを押す。
メインメニューが表示されます。



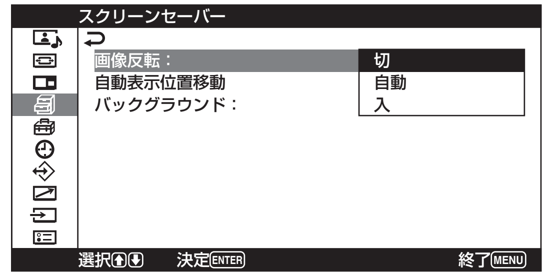
2 ↑/↓ボタンで「各種切換」を選び、ENTERボタンまたは➡ボタンを押す。
各種切換メニューが表示されます。



3 ↑/↓ボタンで「スクリーンセーバー」を選び、ENTERボタンまたは➡ボタンを押す。
以下の画面が表示されます。

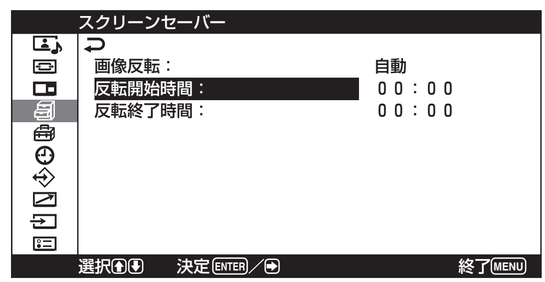


4 ↑/↓ボタンで「画像反転」を選び、ENTERボタンを押す。
以下の画面が表示されます。

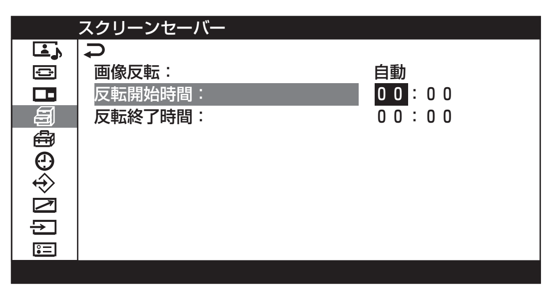


5 ↑/↓ボタンで画像反転のモードを選ぶ。
切：画像を反転しない
自動：1日1回、設定した時刻に画像の色あいを反転する
入：画像の色あいを反転する

「自動」を選びENTERボタンを押すと、以下の画面が表示されます。



(1) ↑/↓ボタンで「反転開始時間」を選び、ENTERボタンを押す。
以下の画面が表示され、時間の背景が黄色で表示されます。



(2) ↑/↓ボタンで時間を設定し、ENTERボタンを押す。
時間が確定し、分の背景が黄色に変わります。

(3) ↑/↓ボタンで分を設定し、ENTERボタンを押す。
分が確定します。⬅ボタンを押すと**5** の画面に戻ります。

◆ 本体のボタンで操作する場合はMENUボタンを押してメニューを閉じ、初期設定メニューで「メニューキー動作」(26 (JP) ページ)を「戻る」に設定します。本体のMENUボタンが⬅ボタンと同じ動作をします。

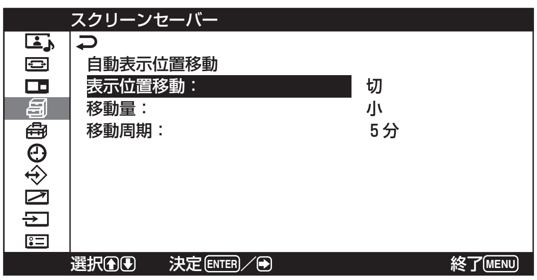
(4) 反転開始時間と同様に、反転終了時間を設定する。
1日1回、反転開始時間に反転が始まり、反転終了時間に反転表示が終了する設定になります。

ご注意

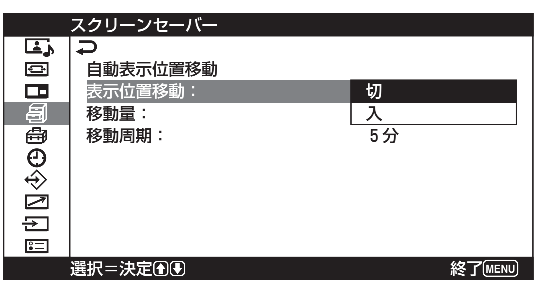
反転開始時間と反転終了時間に同じ時刻を設定すると、反転開始時間の設定が優先され、反転終了時間になっても反転表示は終了しません。

画像の表示位置を自動的に変える

1 スクリーンセーバーメニューから、↑/↓ボタンで「自動表示位置移動」を選び、ENTERボタンまたは➡ボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



2 ↑/↓ボタンで「表示位置移動」を選び、ENTERボタンまたは➡ボタンを押す。
以下の画面が表示されます。

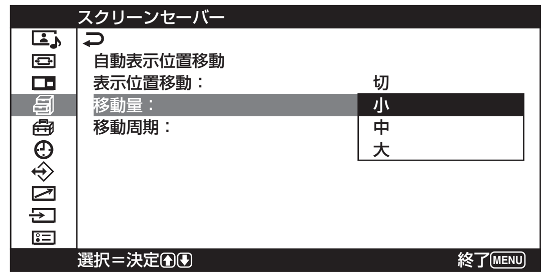


3 ↑/↓ボタンで表示位置移動のモードを選ぶ。
切：表示位置を移動しない
入：表示位置を移動する

4 ENTERボタンまたは⬅ボタンを押す。
1 の画面に戻ります。

5 ↑/↓ボタンで「移動量」（移動の大きさ）または「移動周期」（移動の時間）を選び、ENTERボタンを押す。
選択できる移動量、移動周期は以下のとおりです。
移動量：小、中、大
移動周期：10秒、30秒、1分、5分

以下の画面が表示されます。（「移動量」を選んだ場合）



6 ↑/↓ボタンで移動量または移動周期を設定する。

7 ENTERボタンまたは⬅ボタンを押すと、前の画面に戻ります。

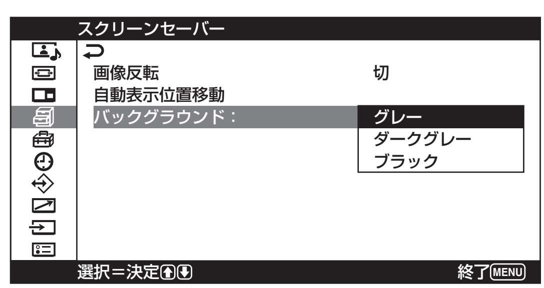
画像反転と自動表示位置移動の両方を入にすると

画像反転中に一定時間がたつと、反転した画像が表示位置を変えて表示されます。

バックグラウンド（映像信号のない部分）の明るさを調整する

アスペクト比4:3の画像（「ノーマル」での表示）や2画面を表示するとき、映像の表示部分とバックグラウンド（映像信号のない部分）の明るさが異なると、焼き付きが発生しやすくなります。この差が小さくなるようにバックグラウンドの明るさを調整することができます。

1 スクリーンセーバーメニューから、↑/↓ボタンで「バックグラウンド」を選び、ENTERボタンまたは➡ボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



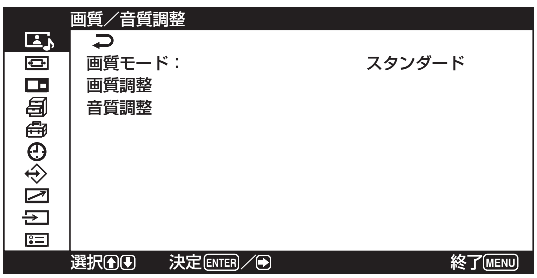
2 ↑/↓ボタンでバックグラウンドの明るさを選ぶ。
デフォルトの設定はグレーです。

3 ENTERボタンまたは⬅ボタンを押すと、前の画面に戻ります。

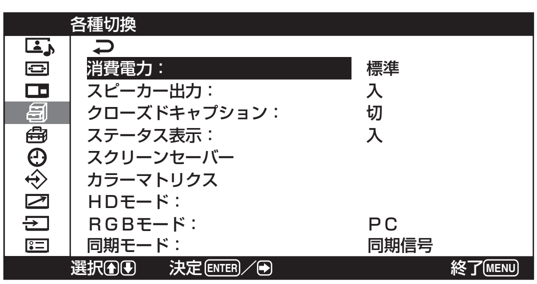
カラーマトリクスを調整する

コンポーネント入力アダプターに接続したBSデジタルチューナー、デジタルCSチューナーおよびDVDプレーヤーなどからの入力が、480P(525P)、1080I(1125I)、720P(750P)の各信号フォーマットのとき、映像が自然な色あいになるように設定できます。

1 MENUボタンを押す。
メインメニューが表示されます。



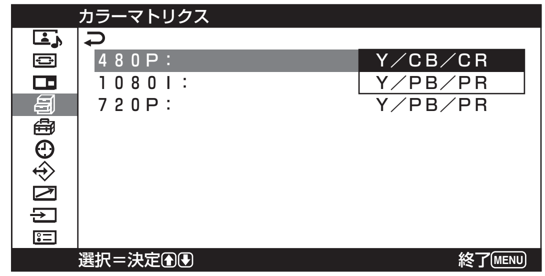
2 ↑/↓ボタンで「各種切換」を選び、ENTERボタンまたは➡ボタンを押す。
各種切換メニューが表示されます。



3 ↑/↓ボタンで「カラーマトリクス」を選び、ENTERボタンまたは➡タンを押す。
以下の画面が表示されます。



4 ↑/↓ボタンで信号フォーマットを選び、ENTERボタンまたは➡タンを押す。
以下の画面が表示されます。



5 ↑/↓ボタンでカラーマトリクスを選ぶ。
Y/CB/CR：信号フォーマットが480Pの場合
Y/PB/PR：信号フォーマットが1080Iまたは720Pの場合

◆ 設定について詳しくは、各機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

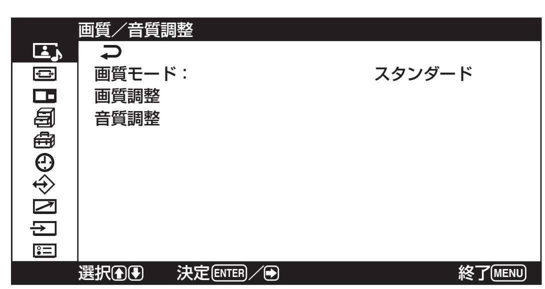
6 ENTERボタンまたは⬅ボタンを押すと、前の画面に戻ります。

電源のオン/オフを自動的に制御する（タイマー機能）

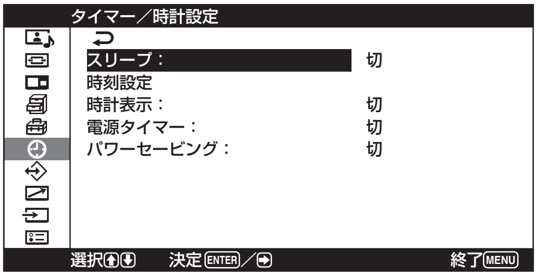
本機に信号が入力されていない状態のときに、電源を自動的に切るパワーセービング機能と、電源を入／切する時間を自由に設定できる電源タイマー機能があります。また、画面を表示したままにしても、設定した時間が過ぎると電源を自動的に切るスリープ機能もあります。

スリープ機能

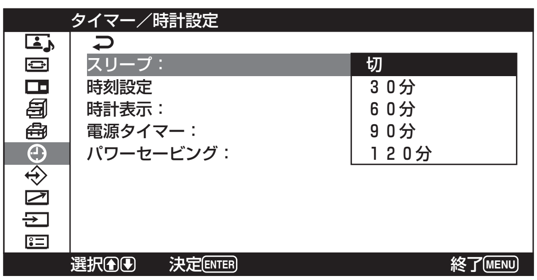
1 MENUボタンを押す。
メインメニューが表示されます。



2 ↑/↓ ボタンで「タイマー」を選び、ENTERボタンまたは → ボタンを押す。
タイマー／時計設定メニューが表示されます。



3 ↑/↓ ボタンで「スリープ」を選び、ENTERボタンまたは → ボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



4 ↑/↓ ボタンで電源が切れるまでの時間を選ぶ。
切：電源は切れない
30分：30分過ぎると電源が切れる
60分：60分過ぎると電源が切れる
90分：90分過ぎると電源が切れる
120分：120分過ぎると電源が切れる

5 ENTERボタンまたは ← ボタンを押すと、前の画面に戻ります。

時刻を設定する

1 タイマー／時計設定メニューから、↑/↓ ボタンで「時刻設定」を選び、ENTERボタンまたは → ボタンを押す。
以下の画面が表示され、時間の背景が黄色に変わります。



2 ↑/↓ ボタンで時間を設定し、ENTERボタンを押す。
時間が確定し、分の背景が黄色に変わります。

3 時間と同様に、分を設定し、ENTERボタンを押す。
分が確定し、秒の背景が黄色に変わります。

4 ENTERボタンを押す。
秒がリセットされ、「00」になります。

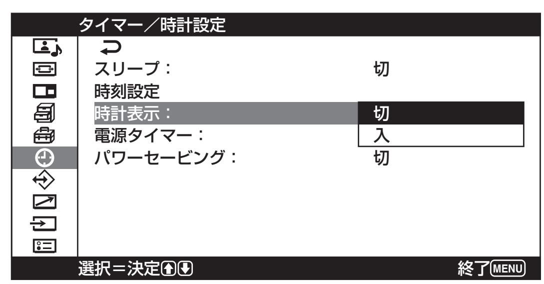
5 MENUボタンを押す。
通常の画面に戻ります。再度設定が必要な場合は、手順**1** から繰り返してください。

ご注意

時刻が大幅にずれたりするときは、内蔵電池の消耗が考えられます。お買い上げ店またはソニーのサービス窓口に電池の交換をご依頼ください（有料）。

時計を表示する

1 タイマー／時計設定メニューから、↑/↓ ボタンで「時計表示」を選び、ENTERボタンを押す。
以下の画面が表示されます。

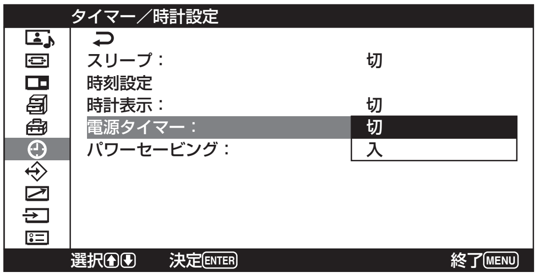


2 ↑/↓ ボタンで「入」を選ぶ。
メニューを消すと、画面右下に時計が表示されます。

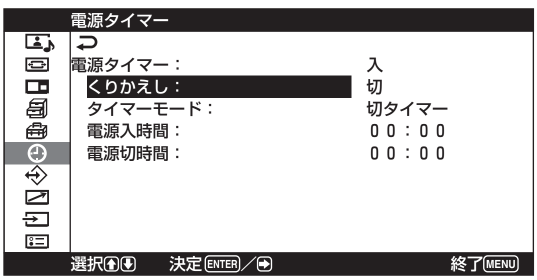
リモートコマンダーのDISPLAYボタンを押すと時計表示は消えて、入力されている信号および画質モードが表示されます。もう一度DISPLAYボタンを押すと時計が表示されます。表示された状態で約10秒たつと表示は自動的に消えます。また、時計表示「入」の設定は電源が切れた後は保存されません。

電源タイマー機能

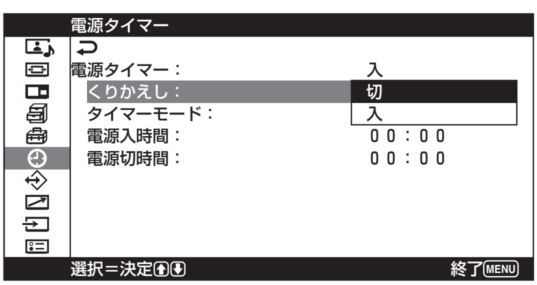
1 タイマー／時計設定メニューから、↑/↓ ボタンで「電源タイマー」を選び、ENTERボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



2 ↑/↓ ボタンで「入」を選び、ENTERボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



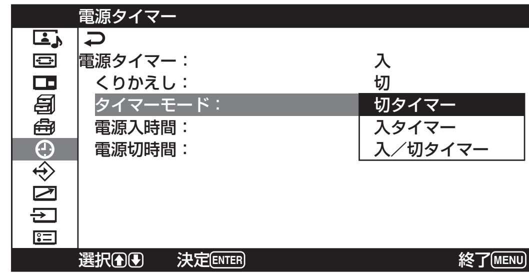
3 ↑/↓ ボタンで「くりかえし」を選び、ENTERボタンまたは → ボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



4 ↑/↓ ボタンでくりかえしのモードを選ぶ。
切：1回だけ電源の入／切を行う
入：毎日設定した時刻に電源の入／切を行う

5 ENTERボタンまたは ←ボタンを押す。
2　の画面に戻ります。

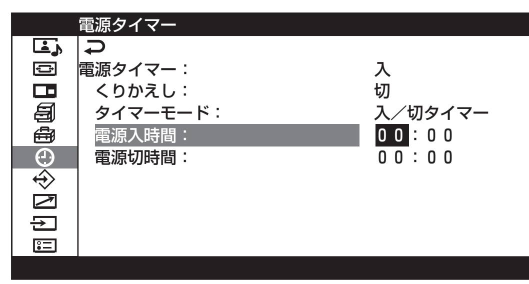
6 ↑/↓ ボタンで「タイマーモード」を選び、ENTERボタンまたは →ボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



7 ↑/↓ ボタンでタイマーモードを選ぶ。
切タイマー：「電源切時間」で設定した時刻になると電源が切れる
入タイマー：「電源入時間」で設定した時刻になると電源が入る
入／切タイマー：「電源入時間」で設定した時刻になると電源が入り、「電源切時間」で設定した時刻になると電源が切れる

8 ENTERボタンまたは ←ボタンを押す。
2　の画面に戻ります。

9 ↑/↓ ボタンで「電源入時間」を選び、ENTERボタンまたは →ボタンを押す。
以下の画面が表示され、時間の背景が黄色で表示されます。



10 ↑/↓ ボタンで時間を設定し、ENTERボタンを押す。
時間が確定し、分の背景が黄色で表示されます。

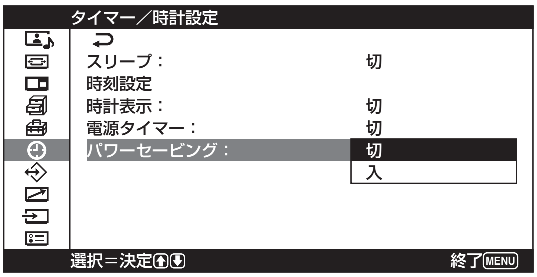
11 ↑/↓ ボタンで分を設定し、ENTERボタンを押す。
←ボタンを押すと**2**　の画面に戻ります。
◆ 本体のボタンで操作する場合はMENUボタンを押してメニューを閉じ、初期設定メニューで「メニューキー動作」(26 (JP) ページ)を「戻る」に設定します。本体のMENUボタンが ← ボタンと同じ動作をします。

12 ↑/↓ ボタンで「電源切時間」を選び、ENTERボタンを押して、電源入時間と同様に時間と分を設定する。

パワーセービング機能

INPUT1またはINPUT2端子にRGB信号が入力されていないときに、自動的に電源が切れるようにします。

1 タイマー／時計設定メニューから、⇧/⇩ボタンで「パワーセービング」を選び、ENTERボタンまたは➡ボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



2 ⇧/⇩ボタンでパワーセービングモードに入るまでの時間を選ぶ。
切：パワーセービングしない
入：パワーセービングする

本機がパワーセービングモードのとき、ON（電源）インジケーターがオレンジ色に点灯します。

3 ENTERボタンまたは⬅ボタンを押すと、前の画面に戻ります。

パワーセービングモードを解除するには

再び信号が入力されるか、⏻（スタンバイ）スイッチ／インジケーター部の⏻スイッチ、またはリモートコマンダーのPOWER ONスイッチを押すと、電源が入ります。

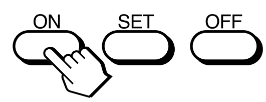
ご注意

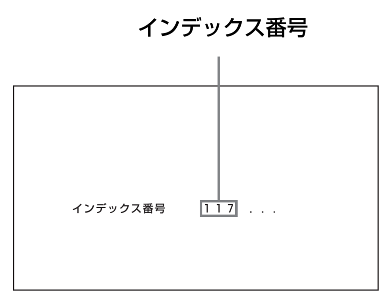
パワーセービングモード中も、入力切換が可能です。

特定のディスプレイをリモートコマンダーで操作する

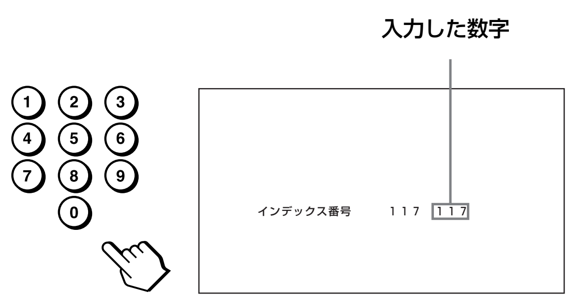
複数のディスプレイを使用しているとき、インデックス番号を指定して、特定のディスプレイのみを操作することができます。

1 リモートコマンダーのID MODE ONボタンを押す。
インデックス番号が、画面中央に白い文字で表示されます。（インデックス番号は、1から255の範囲で、あらかじめ各ディスプレイに設定されています。）
◆ インデックス番号を変更したいときは、「インデックス番号を変更するには」（52（JP）ページ）をご覧ください。



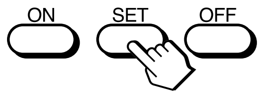


2 リモートコマンダーの数字ボタンで、操作したいディスプレイのインデックス番号を入力する。
すべてのディスプレイのインデックス番号の右に、入力した数字が表示されます。



3 ID MODE SETボタンを押す。

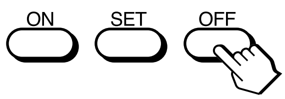
選択したディスプレイのメニュー表示が緑色に変わり、その他のディスプレイのメニュー表示は赤色に変わります。



これで特定のディスプレイ（メニュー表示が緑色に変わったディスプレイ）のみを操作できます（電源ON/STANDBYは他のディスプレイにも有効です）。

4 設定変更等の操作が終了したら、ID MODE OFFボタンを押す。

ディスプレイは通常の画面に戻ります。

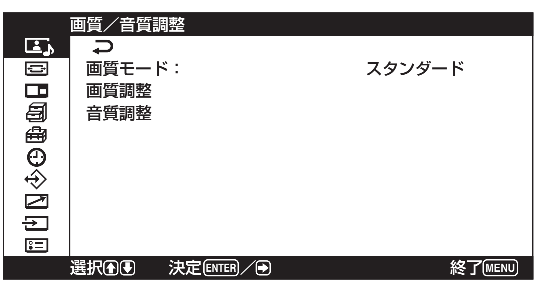


インデックス番号を変更するには

必要に応じてインデックス番号を変更できます。変更する場合は、ディスプレイ本体のコントロールボタン部のボタンをお使いください。

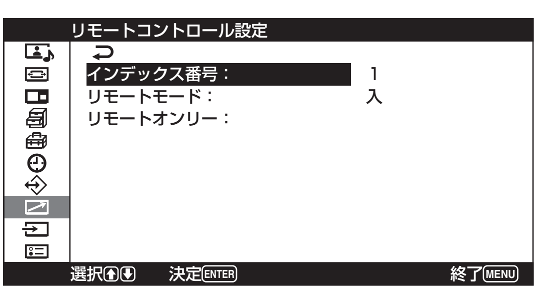
1 MENUボタンを押す。

メインメニューが表示されます。



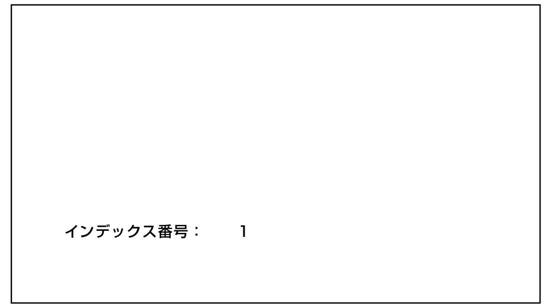
2 ↑/↓ボタンで「リモートコントロール設定」を選び、ENTERボタンを押す。

リモートコントロール設定メニューが表示されます。



3 ↑/↓ボタンで「インデックス番号」を選び、ENTERボタンを押す。

以下の画面が表示されます。



4 ↑/↓ボタンでインデックス番号を選び、ENTERボタンを押す。

リモートコントロール設定メニューに戻ります。

他のリモートコマンダーから操作する

他のリモートコマンダーから以下の操作ができます。

- 電源の入/切
- 入力の切り換え
- メニュー操作
- 画質調整（コントラスト、色の濃さ、色あい）
- 画面表示の入/切

リモートコマンダーの種類により、使用するボタンは以下のようになります。

リモコンの型名		RM-921
REMOTE MODEの設定		入
入力切換	INPUT1	RGB1
	INPUT2	RGB2
	VIDEO	LINE
メニュー操作	MENU	MENU
	ENTER	ENTER
	⬆	⬆
	⬇	⬇
画質の調整	コントラスト	CONTRAST＋/−
	色の濃さ	CHROMA
	色あい	—
画面表示		DISPLAY

電源接続時のご注意

それぞれの地域に合った電源コードをお使いください。

PFM-42X1シリーズ

	アメリカ合衆国、カナダ	ヨーロッパ諸国		イギリス、アイルランド、オーストラリア、ニュージーランド	日本
プラグ型名	VM0233	COX-07	636	—[1)]	VM1296
コネクタ型名	VM0089	COX-02	VM0310B	VM0303B	VM1313
コード型名	SVT	H05VV-F		CEE (13) 53rd (O.C)	HVCTF
定格電圧・電流	10A/125V	10A/250V		10A/250V	10A/125V
安全規格	UL/CSA	VDE		VDE	電安法

1) プラグに関しては各国規制に適合し、使用に適した定格のものを使用してください。

仕様

映像処理系

プリセット信号	入力プリセット信号（31（JP）ページ）参照
サンプリング周波数	13.5 MHz～140 MHz
パネル方式	プラズマディスプレイパネル
解像度	1024ドット（水平）×768ライン（垂直）
ピクセルピッチ	0.90（水平）×0.676（垂直）mm
有効表示寸法	920.1（水平）×518.4（垂直）mm
画面サイズ	42（V）型（対角1058 mm）

入出力

INPUT1

RGB/YUV　D-sub 15ピン（メス）（×1）
（「ピン配列」参照）

AUDIO　ステレオミニジャック（×1）
500 mVrms、ハイインピーダンス

INPUT2

DVI　DVI（DVI規格1.0準拠）、HDCP（コピープロテクション対応）

AUDIO　ステレオミニジャック（×1）
500 mVrms、ハイインピーダンス

CONTROL S IN/OUT

AUDIO OUT　ステレオミニジャック（×1）

REMOTE（RS-232C）

D-sub 9ピン（×1）

VIDEO（NTSC、PAL、SECAM、NTSC4.43、PAL60、PAL-M、PAL-N）

COMPOSITE IN　BNC型（×1）
コンポジットビデオ 1 Vp-p ± 2 dB 同期負、75 Ω自動終端

COMPOSITE OUT　BNC型（×1）ループスルー

Y/C IN　ミニDIN4ピン（×1）
Y（輝度）:1 Vp-p ± 2 dB 同期負、75 Ω終端
C（クロマ）:バースト 0.286 Vp-p ±2 dB（NTSC）、75 Ω終端
バースト0.3 Vp-p ± 2 dB（PAL）、75 Ω終端

AUDIO IN　ピンジャック（×2）
500 mVrms、ハイインピーダンス

SPEAKER　7 W＋7 W（6 Ω）
適合負荷インピーダンス6～16 Ω

コンポーネント/RGB入力アダプターBKM-V11（別売り）

YUV/RGB IN

YUV/RGB　BNC型（×5）

AUDIO　ピンジャック（×2）
500 mVrms、ハイインピーダンス

RGB/コンポーネントアクティブスルーアダプターBKM-V12（別売り）

RGB/YUV ACTIVE THROUGH

RGB/YUV IN　D-sub 15ピン（メス）（×1）

AUDIO IN　ステレオミニジャック（×1）
500 mVrms、ハイインピーダンス

RGB/YUV OUT　D-sub 15ピン（メス）（×1）

その他

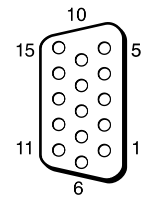
電源	AC 100 V～240 V、50/60 Hz、 4.2 A～1.8 A
消費電力	400 W
動作条件	温度：0～＋35 ℃ 湿度：20～90%（結露のないこと） 気圧：800～1100 hPa
保存・輸送条件	温度：－10～＋40 ℃ 湿度：20～90%（結露のないこと） 気圧：700～1100 hPa
外形寸法	1033×631×102 mm （幅／高さ／奥行き、最大突起部含まず）
質量	約29.7 kg
付属品	電源コード（1） ACプラグホルダー（2） デジタルRGB (DVI-D)信号ケーブル（シングルリンク）（1） ケーブルホルダー（4） 変換プラグアダプター（1） リモートコマンダーRM-971（1） 単3形乾電池（2） 取扱説明書（1） 保証書（1）
別売りアクセサリー	スタンド SU-42B スピーカー SS-SP20B コンポーネント/RGB入力アダプター BKM-V11 RGB/コンポーネントアクティブスルーアダプターBKM-V12

安全規格　電安法、VCCIクラスB
本機は「高調波ガイドライン適合品」です。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

ピン配列

RGB/YUV端子（D-sub 15ピン）



ピンNo.	信　号
1	赤映像信号またはR-Y信号またはPR信号
2	緑映像信号またはY信号またはSync On Green信号
3	青映像信号またはB-Y信号またはPB信号
4	接地 (GND)
5	接地 (GND)
6	赤接地 (GND)
7	緑接地 (GND)
8	青接地 (GND)
9	未使用
10	接地 (GND)
11	接地 (GND)
12	SDA
13	水平同期信号または複合同期信号
14	垂直同期信号
15	SCL

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

お買い上げ店、または添付の「サービス窓口・ご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理をさせていただきます。

WARNING

Owner's Record

The model and serial numbers are located on the rear. Record the model and serial numbers in the spaces provided below. Refer to these numbers whenever you call upon your Sony dealer regarding this product.

Model No.__________ Serial No.__________

To prevent fire or shock hazard, do not expose the unit to rain or moisture.

To avoid electrical shock, do not open the cabinet. Refer servicing to qualified personnel only.

On transportation

When you carry the display unit, hold the unit itself, not the speakers. If you fail to do so, the speakers may come out of the unit and the unit may fall. This can cause injury.

For customers in the U.S.A.

If you have any questions about this product, you may call; Sony Customer Information Services Center 1-800-222-7669 or http://www.sony.com/

Declaration of Conformity

Trade Name:	SONY
Model:	PFM-42X1
Responsible Party:	Sony Electronics Inc.
Address:	16450 W. Bernardo Dr, San Diego, CA 92127 U.S.A.
Telephone Number:	858-942-2230

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

You are cautioned that any changes or modifications not expressly approved in this manual could void your authority to operate this equipment.

For customers in Canada

This class B digital apparatus complies with Canadian ICES-003.

Voor de klanten in Nederland

- Dit apparaat bevat een vast ingebouwde batterij die niet vervangen hoeft te worden tijdens de levensduur van het apparaat.
- Raadpleeg uw leverancier indien de batterij toch vervangen moet worden. De batterij mag alleen vervangen worden door vakbekwaam servicepersoneel.
- Gooi de batterij niet weg maar lever deze in als klein chemisch afval (KCA).
- Lever het apparaat aan het einde van de levensduur in voor recycling, de batterij zal dan op correcte wijze verwerkt worden.

The socket-outlet should be installed near the equipment and be easily accessible.

Caution

Risk of explosion if batteries are replaced by an incorrect type. Dispose of used batteries according to the instructions.

Table of Contents

Precautions

On safety

- A nameplate indicating operating voltage, power consumption, etc. is located on the rear of the unit.
- Should any solid object or liquid fall into the cabinet, unplug the unit and have it checked by qualified personnel before operating it any further.
- Unplug the unit from the wall outlet if it is not to be used for several days or more.
- To disconnect the AC power cord, pull it out by grasping the plug. Never pull the cord itself.
- When you install the unit on the floor, be sure to use the optional stand.

On installation

- Allow adequate air circulation to prevent internal heat build-up. Do not place the unit on surfaces (rugs, blankets, etc.) or near materials (curtains, draperies) that may block the ventilation holes.
- Do not install the unit in a location near heat sources such as radiators or air ducts, or in a place subject to direct sunlight, excessive dust, mechanical vibration or shock.
- When you install multiple equipment with the unit, the following problems, such as malfunction of the Remote Commander, noisy picture, noisy sound, may occur depending on the position of the unit and other equipment.
- Communication problems may occur if the infrared communication equipment (e.g., infrared cordless headphones or microphones) is used near the display. Please use headphones or microphones other than infrared cordless headphones or microphones. If you must use the infrared communication equipment, move it away from the display until the noise is eliminated, or move the transmitter and receiver of the infrared communication equipment closer together.

On the PDP (Plasma Display Panel)

- You may see some bright spots of red, blue or green, or dark spots appearing on the screen. These do not indicate a malfunction. Although the plasma display panel is manufactured with extremely high precision technology, it can generate a few dark or bright pixels. Dark spots on the edge of the screen, or striped color and brightness irregularities do not indicate a malfunction.
- Do not display the same still image on the screen for a long time. Otherwise, an afterimage or ghost may appear on a part of the panel. Use the screen saver function to equalize use of the screen display.
- Because of the way it is made, when this plasma display panel is used in places with low air pressure, such as at high altitudes, a buzzing or humming noise may emanate from the unit.
- If you continue to display the same image on the screen for a long period of time, part of that image may burn into the screen and leave a ghosting image behind. To avoid this, please use the screen saver function provided to equalize use over the entire screen. If ghosting occurs, use the screen saver function, or use video or imaging softwares to provide constant movement on the screen. If slight ghosting (image burn-in) occurs, it may become less conspicuous, but once burn-in occurs, it will never completely disappear.
- To protect the plasma display, this unit will not accept commands from the Remote Commander or from the function buttons on the unit for a certain period of time after the unit has been switched ON/STANDBY. After one of these operations, wait about 8 seconds before entering a command.

On cleaning

To keep the unit looking brand-new, clean it periodically with a mild detergent solution. Never use strong solvents such as thinner or benzine, or abrasive cleansers since these will damage the cabinet. As a safety precaution, unplug the unit before cleaning it.

Notes on handling and cleaning the display panel

The display panel’s special surface finish should be treated with care when cleaning or handling the TV. When cleaning it, use a soft cleaning cloth to avoid touching the panel directly.

On repacking

Do not throw away the carton and packing materials. They make an ideal container in which to transport the unit. When shipping the unit, repack it as illustrated on the carton.

If you have any questions on this unit, contact your authorized Sony dealers.

Features

The PFM-42X1 Series is 16:9 42-inch flat panel display utilizing a PDP (Plasma Display Panel), which can accept various types of signals with the built-in scan converter.

Bright and clear image

The PFM-42X1 Series utilizes a high definition plasma display panel with 1024 dots × 768 lines. This allows bright and clear image reproduction from a variety of image sources.

Digital high picture quality circuit

Consistent digital processing of all image signals results in faithful reproduction of high-quality images.

Audio amp and speaker out sockets

This display is equipped with high sound quality digital amps, which when combined with optional speakers, provides you with effective presentation.

Other features

- Speaker out (L/R) sockets
- Control S (IN/OUT)
- DVI-HDCP input *
- Displays an HDTV signal with a tri-level sync signal.
- Three dimensional comb filter for NTSC Y/C separation
- Line correlation comb filter for PAL Y/C separation.
- Automatic input signal detection with on-screen indication
- Windows[1)]98/2000/ME/XP PnP (Plug and Play) compatibility
- Dynamic picture function
- On-screen menu for various adjustments and settings
- On-screen display in six languages for user-friendly access (Languages: English, German, French, Italian, Spanish, and Japanese)
- Fine adjustment of image size and position
- Memory function for storage of up to twenty picture settings
- ID control
- Remote (RS-232C) connector (D-sub 9-pin)
- Accepts commands from infrared Sony Remote Commanders using SIRCS code
- Closed caption decoder
- Screen saver to reduce afterimage or ghosting
- An option slot is in place for future expansion. The slot-in optional adaptor allows for quick and easy system upgrades.

* Except for the PFM-42X1N

Warning on power connection

Use the proper power cord for your local power supply.

PFM-42X1 Series

	United States, Canada	Continental Europe		United Kingdom, Ireland, Australia, New Zealand	Japan
Plug type	VM0233	COX-07	636	—[a)]	VM1296
Female end	VM0089	COX-02	VM0310B	VM0303B	VM1313
Cord type	SVT	H05VV-F		CEE (13) 53rd (O.C)	HVCTF
Minimum cord set rating	10A/125V	10A/250V		10A/250V	10A/125V
Safety approval	UL/CSA	VDE		VDE	DENAN-HO

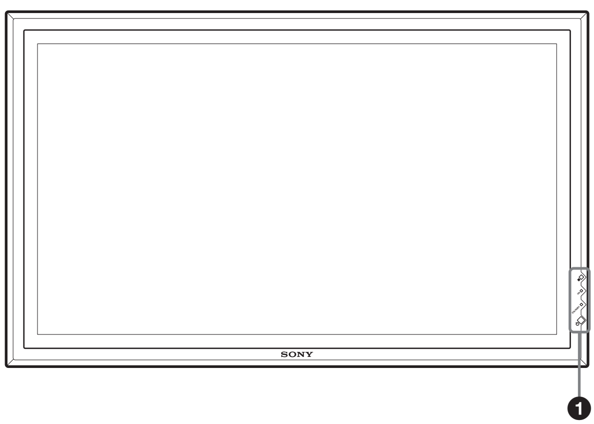
a) Note: Use an appropriate rating plug which complies with local regulations.

1) Windows is a registered trademark of the Microsoft Corporation (U.S.A. and other countries).

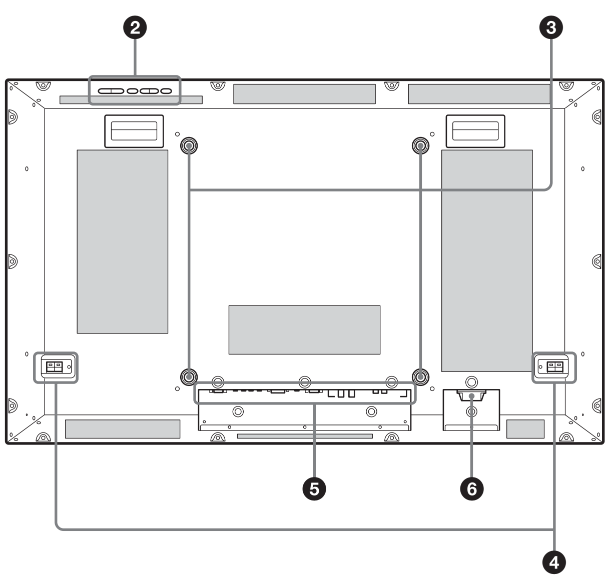
Location and Function of Parts and Controls

Front / Rear / Bottom

Front

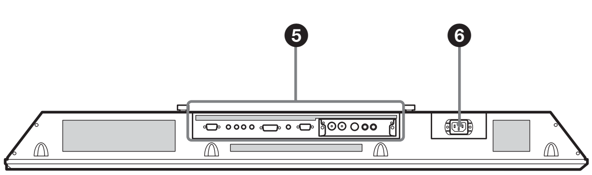


Rear



The shaded areas shown in the illustration above are all ventilation holes.

Bottom



❶ ⏻ (standby) switch / indicator section
For details on the ⏻ (standby) switch / indicator section, see "⏻ (standby) Switch / Indicator Section" on page 8 (GB).

❷ Control button section
For details on the control button section, see "Control Button Section (Top)" on page 8 (GB).

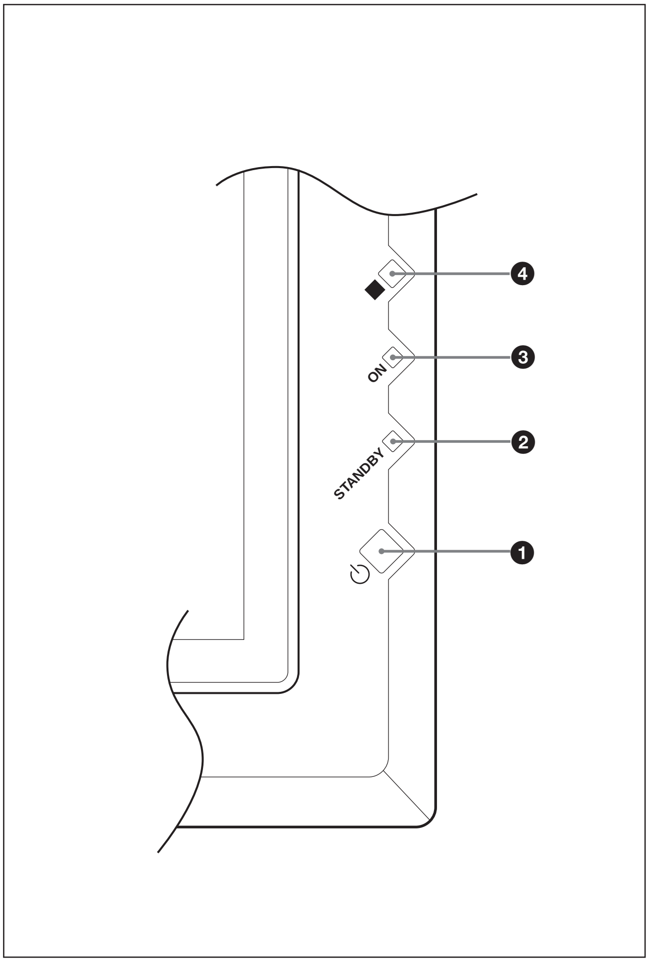
❸ Stand installation hooks
Use these hooks to install the stand (not supplied).

❹ SPEAKER Socket
Connects the speakers (not supplied) to this socket to output the audio matching the signal displayed on the screen.

❺ Connector panel
For details on the connector panel, see "Connector Panel" on page 9 (GB).

❻ ∿ AC IN socket
Connect the supplied AC power cord to this socket and to a wall outlet. Once you connect the AC power cord, the STANDBY indicator lights up in red and the display goes into the standby mode.
For more details on the power cord, see "Connecting the AC Power Cord" on page 15 (GB).

⏻ (standby) Switch / Indicator Section



❶ ⏻ (standby) switch
Press to power on the display unit. Press again to return to the standby mode.

Note

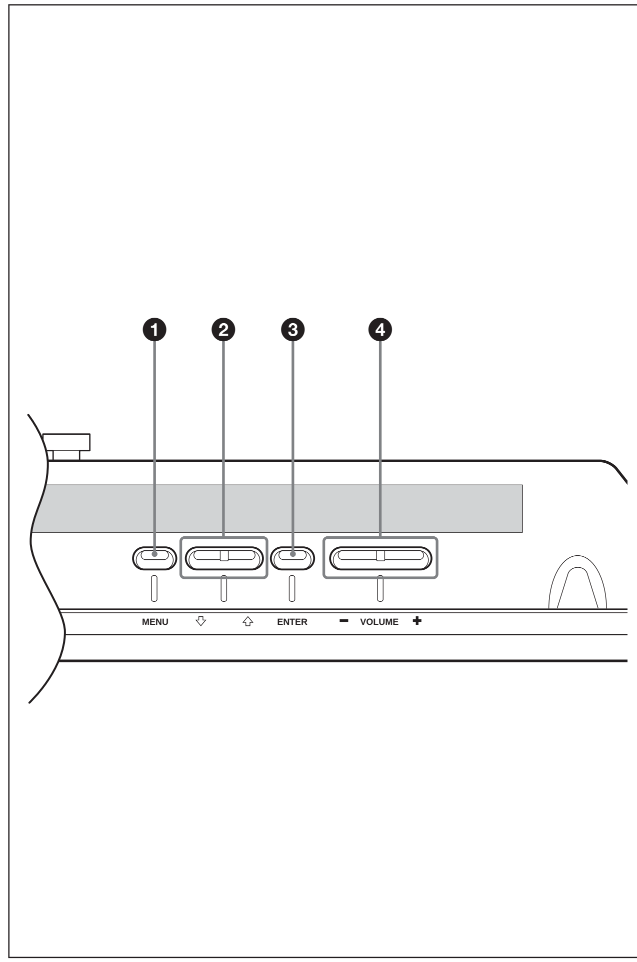
To protect the panel, a certain amount of time is required to turn the unit ON/STANDBY. Wait about 8 seconds after one of these operations before pressing this switch again.

❷ STANDBY indicator
Lights up in red in the standby mode.

❸ ON indicator
Lights up in green when the display unit is powered on. Lights up in orange when the display unit is in the power saving mode.
For more details on the power saving function, see "Power Saving Function" on page 48 (GB).

❹ Remote control detector
Receives the signals from the Remote Commander.

Control Button Section (Top)



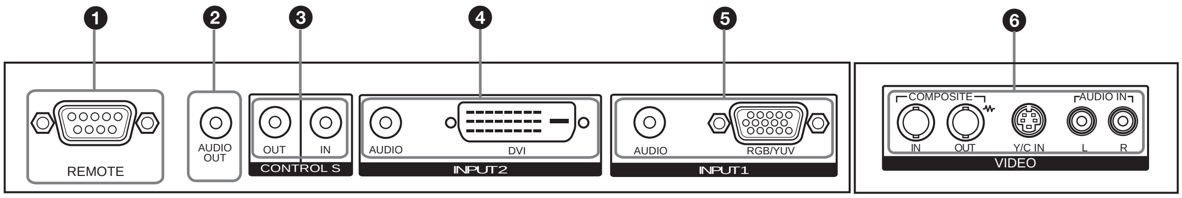
❶ MENU button
Press to show menus. Press again to hide them.
To use the MENU button to return to the previous menu level, see "Initial Setup menu" on page 23 (GB).

❷ ⬇/⬆ buttons
Press to move the cursor (yellow) to an item you want to select or to adjust a value in a menu.

❸ ENTER button
Press to set your choice.

❹ VOLUME +/– button
Press to adjust the speaker volume.

Connector Panel



❶ REMOTE (RS-232C) connector (D-sub 9-pin)
This connector allows remote control of the display using the RS-232C protocol. For details, contact your authorized Sony dealers.

❷ AUDIO OUT (Stereo minijack)
Outputs an audio of the signal currently indicated on the screen.

❸ CONTROL S IN/OUT (Control S Signal Input/ Output) Connector (Minijack)
You can control multiple devices with a single remote commander when connected to the CONTROL S connector of a video device or other display. Connect the CONTROL S OUT connector on this display to the CONTROL S IN connector of the other device, and connect the CONTROL S IN connector on this display to the CONTROL S OUT connector of the other device.

❹ INPUT2 (digital RGB signal input) connectors *
DVI : Connects to the digital RGB signal output of a computer.
AUDIO (Stereo minijack) : Inputs an audio signal. Connects to the audio output of a computer.

Connect the supplied cable to the DVI connector.

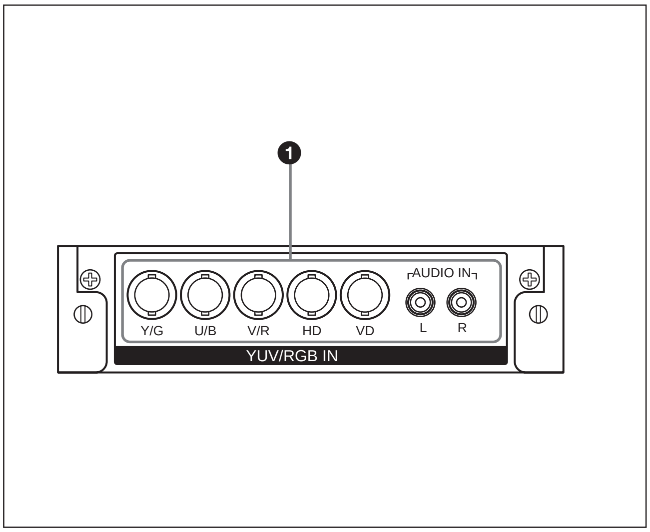
❺ INPUT1 (analog RGB/component signal input) connectors
RGB/YUV (D-sub 15-pin) : Connects to the analog RGB signal or component (YUV) signal output of a piece of video equipment or a computer.
AUDIO (Stereo minijack) : Inputs an audio signal. Connects to the audio output of a piece of video equipment or a computer.

❻ VIDEO connectors
The PFM-42X1N is not equipped with VIDEO connectors. For the PFM-42X1N, composite video and Y/C input can be input when a Video Input Adaptor BKM-V10 (not supplied) is installed in the display.
COMPOSITE IN (BNC) : Connects to the composite video signal output of a piece of video equipment.
COMPOSITE OUT (BNC) : Connects to the composite video signal input of a piece of video equipment.
Y/C IN (Mini DIN 4-pin) : Connects to the Y/C signal output of a piece of video equipment.
AUDIO IN L/R (Pinjack) : Inputs an audio signal. Connects to the audio output of a piece of video equipment.

* The PFM-42X1N is not equipped with the INPUT2 connectors.

Component/RGB Input Adaptor BKM-V11 (not supplied)

The VIDEO connectors are slot-in connectors. You can replace the VIDEO connectors (Video Input Adaptor BKM-V10) with a Component/RGB Input Adaptor BKM-V11 (not supplied.)
For the PFM-42X1N, you can install either a BKM-V11, a BKM-V10, or a BKM-V12.
For details on installation, contact your authorized Sony dealer.



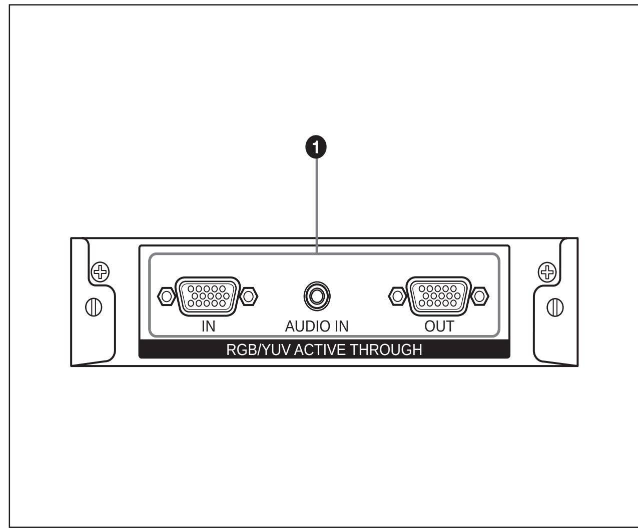
❶ **YUV/RGB IN connectors**

YUV/RGB IN (component/analog RGB signal input) (BNC) : Connects to the analog RGB signal or component (YUV) signal output of a piece of video equipment.

AUDIO IN L/R (Pinjack) : Inputs an audio signal. Connects to the audio output of a piece of video equipment.

RGB/Component Active Through Adaptor BKM-V12 (not supplied)

The VIDEO connectors are slot-in connectors. You can replace the VIDEO connectors (Video Input Adaptor BKM-V10) with an RGB/Component Active Through Adaptor BKM-V12 (not supplied.)
For the PFM-42X1N, you can install either a BKM-V11, a BKM-V10, or a BKM-V12.
For details on installation, contact your authorized Sony dealer.



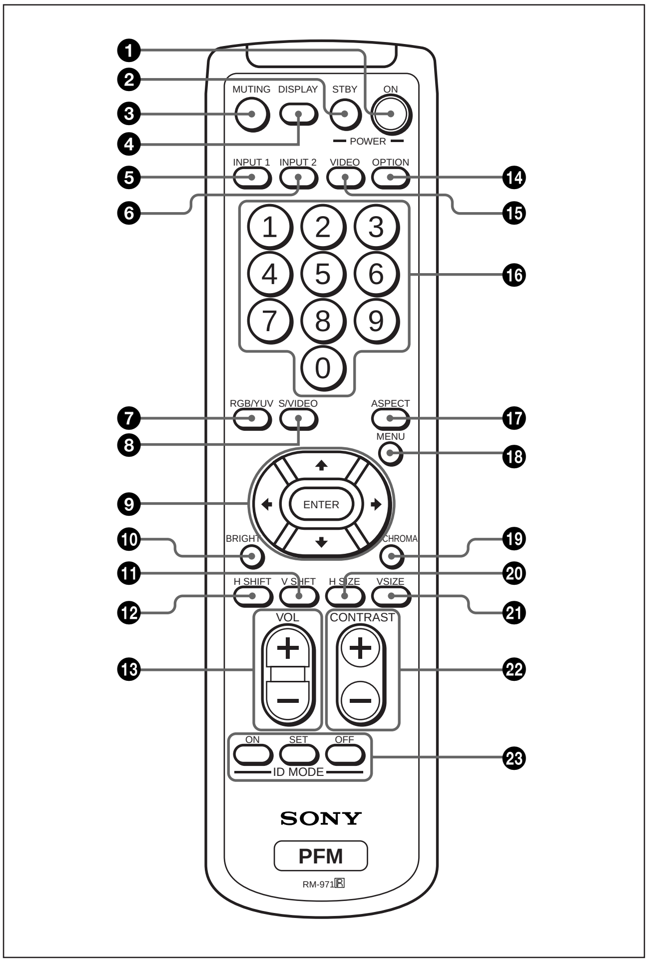
❶ **RGB/YUV ACTIVE THROUGH connectors**

RGB/YUV IN (analog RGB/component signal input) (D-sub 15-pin) : Connects to the analog RGB signal or component (YUV) signal output of a piece of video equipment or a computer.

AUDIO IN (Stereo minijack) : Inputs an audio signal. Connects to the audio output of a piece of video equipment or a computer.

RGB/YUV OUT (analog RGB/component signal active through output) (D-sub 15-pin) : Outputs the signal input through the RGB/YUV IN (analog RGB/component signal input) connectors on this adaptor.

Remote Commander RM-971



❶ POWER ON switch
Press to power on the display.

❷ STANDBY button
Press to change the display to the standby mode.

❸ MUTING button
Press to mute the sound. Press again to restore sound.

❹ DISPLAY button
Press to display the input signal information and the picture mode on the screen. Press again to hide them. If this displayed information is left undisturbed for a short time, it will disappear automatically.

❺ INPUT1 button
Press to select the signal input to the INPUT1 connectors. Using this button together with the ENTER button, you can change to the “Picture And Picture (PAP)” (dual picture display) mode by pressing the ENTER button and then pressing the INPUT1 button.

❻ INPUT2 button
Press to select the signal input to the INPUT2 connectors.

❼ RGB/YUV button
Press to select the format matching that of the input signal connected to the INPUT1 connector. Each press toggles between RGB and component (YUV).

❽ S/VIDEO button
Press to select the signal input to the VIDEO connectors when standard equipment or an optional adaptor BKM-V10 is installed. Each press toggles between COMPOSITE IN and Y/C IN.

❾ ↑/↓/←/→/ENTER buttons
The ↑/↓/←/→ buttons move the menu cursor (yellow) and set values, etc. Pressing the ENTER button sets the selected menu or setting items. Using this button together with the INPUT1 button, you can change to the “Picture And Picture (PAP)” (dual picture display) mode by pressing the ENTER button and then pressing the INPUT1 button.

❿ BRIGHT button
Adjusts the brightness when Picture Mode is set to any of “User1“ to “User3.” Press this button, then adjust the brightness with ↑/↓ or ←/→ buttons ❾.

⓫ V SHIFT button
Adjusts the vertical centering. Press this button, then adjust the vertical centering with ↑/↓ or ←/→ buttons ❾.

⓬ H SHIFT button
Adjusts the horizontal centering. Press this button, then adjust the horizontal centering with ↑/↓ or ←/→ buttons ❾.

⓭ VOLUME +/– button
Press to adjust the volume.

⓮ OPTION button
Selects the signal input to an optional adaptor (except BKM-V10) when you install one in the unit.

⓯ VIDEO button
Press to select the signal input to the COMPOSITE IN or Y/C IN of the VIDEO connectors when standard equipment or an optional adaptor BKM-V10 is installed.

⓰ Number buttons
Press to enter index numbers.

⑰ ASPECT button
Press to change the aspect ratio (Wide Mode).

⑱ MENU button
Press to show menus. Press again to hide them.
To use the MENU button to return to the previous menu level, see "Initial Setup menu" on page 23 (GB).

⑲ CHROMA button
Adjusts the chroma when the picture mode is set to any of "User1" to "User3." Press this button and adjust the chroma with the ↑/↓ or ←/→ buttons ❾.

⑳ H SIZE button
Adjusts the horizontal picture size. Press this button, then adjust the horizontal picture size with ↑/↓ or ←/→ buttons ❾.

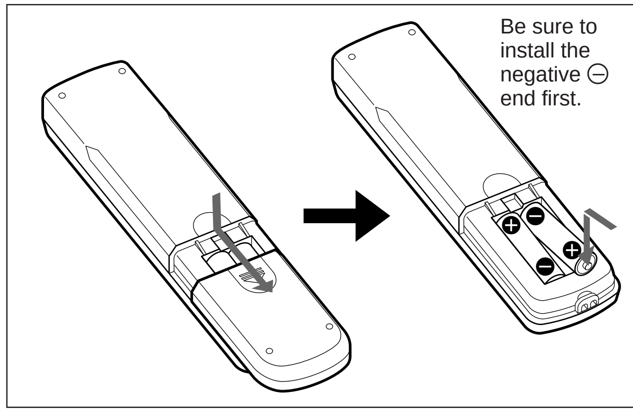
㉑ V SIZE button
Adjusts the vertical picture size. Press this button, then adjust the vertical picture size with ↑/↓ or ←/→ buttons ❾.

㉒ CONTRAST +/– button
Adjusts the contrast when Picture Mode is set to any of "User1" to "User3."

㉓ ID MODE (ON/SET/OFF) buttons
Press ON to show an index number on the screen. Enter the index number of the display you want to operate with Number buttons ⑯, then press SET. Press OFF to return to the normal mode.
For details on the index numbers, see "Operating a Specific Display With the Remote Commander" on page 49 (GB).

Installing batteries

Insert two size AA (R6) batteries in correct polarity.



- In normal operation, batteries will last up to half a year. If the Remote Commander does not operate properly, the batteries might be exhausted sooner. Replace them with new ones.
- To avoid damage from possible battery leakage, remove the batteries if you do not plan to use the Remote Commander for a fairly long time.

Caution
Risk of explosion if batteries are replaced by an incorrect type. Dispose of used batteries according to the instructions.

When the Remote Commander does not work
Check that the STANDBY indicator lights up and the Remote Mode in the Remote menu is not set to Off.
The Remote Commander operates the display only when both of the two conditions below are met.
- The display is turned on, or it is in the standby mode.
- The Remote Mode in the Remote menu is set to "ON."

For details on the Remote Mode, see "Remote menu" on page 24 (GB).

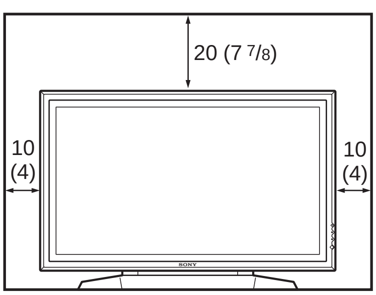
Caution

Provide an ample amount of space around the display

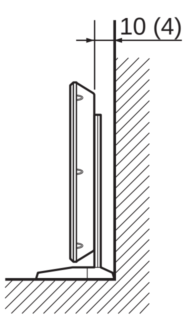
- When you use the display, make sure there is more space around the display than that shown in the figure below. This will allow for proper ventilation.
- The ambient temperature must be 0 °C to +35 °C (32 °F to 95 °F).
- When installing the display horizontally, use the display stand SU-42B (not supplied) as a stand.
- Regarding the installation of hardware such as brackets, screws, or bolts, we cannot specify the products. Actual installation is up to the authorized local dealers. Consult with qualified Sony personnel for installation.
- While the unit is on, a certain amount of heat builds up inside. This can cause burns. Avoid touching the top or rear of the unit when it is powered on or just after it has entered standby mode.

When using the stand (not supplied)

Front



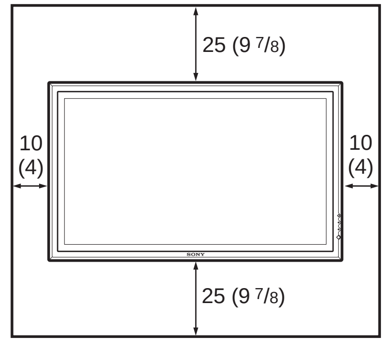
Side



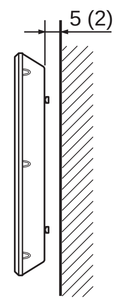
Units: cm (inches)

When mounting the display horizontally

Front



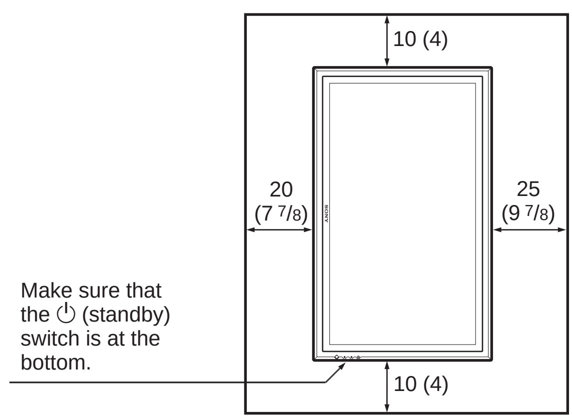
Side



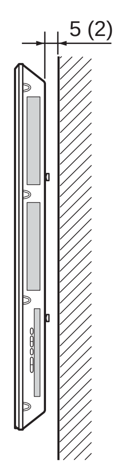
Units: cm (inches)

When mounting the display vertically

Front



Side



Units: cm (inches)

Notes on Image Retention

If the 1 – 5 are displayed for an extended period of time, image retention (afterimage) in areas of the screen may result due to the characteristics of the Plasma Display Panel. It is possible to reduce image retention by following steps A – D.

Situations which can result in burn-in and picture retention

1 Black bars at the top and bottom that appear with a wide video source (Letter box picture)
2 Black bars to the left and right that appear with a 4:3 video source (conventional TV broadcast)
3 Video game
4 DVD on-screen menu displays
5 On-screen menus, channel numbers, etc., of connected equipment such as DSS, Cable boxes, video decks, etc.

Precautions to avoid/reduce burn-in and picture retention

A Use the automatic orbiting Screen Saver function.
B Avoid displaying channel numbers, on-screen menus etc., of connected equipment such as DSS, Cable boxes, video decks, etc. To erase channel numbers, on-screen menus, refer to the user manual of connected equipment.
C Reduce brightness of the picture and/or display video source in “Expd. 4:3” mode or “16:9” mode.
D When you use the “4:3” mode or the “Picture And Picture (PAP)” mode, you can adjust the brightness of the background using the “Background” function of the “Screen Saver” to lessen the difference in brightness between the picture area and the background area with no video signal. This helps to prevent screen burn-in or picture retention.
E It is possible to reduce minor image retention with the “Pic. Inversion” (Picture Inversion) function of “Screen Saver,” however, you cannot remove it once it has occurred.

Notes on the “Pic. Inversion (Picture Inversion)” function of “Screen Saver”

If the displayed image appears as an image like a film negative, “Pic.Inversion (Picture Inversion)” of “Screen Saver” may be set to “Auto,” or “On.” To return to a normal image, select “Off” or reset the specified time in “Auto.”
Pic. Inversion (Picture Inversion) inverts the tint of the picture (Example: white to black, black to white) and corrects the image retention (afterimage) with displayed image on. The image looks like a film negative during picture inversion. This is not a malfunction.

Connections

Before you start

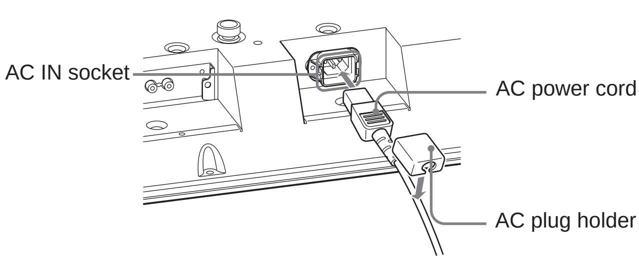
- First make sure that the power to each piece of equipment is turned off.
- Use connecting cables suitable for the equipment to be connected.
- The cable connectors should be fully inserted into the jacks. A loose connection may cause hum and other noise.
- To disconnect the cable, pull it out by grasping the plug. Never pull the cable itself.
- Refer to the instruction manual of the equipment to be connected.
- Insert the plug securely into the AC IN socket.
- Use one of the two AC plug holders (supplied) that will securely hold the AC plug.

Connecting the Speakers

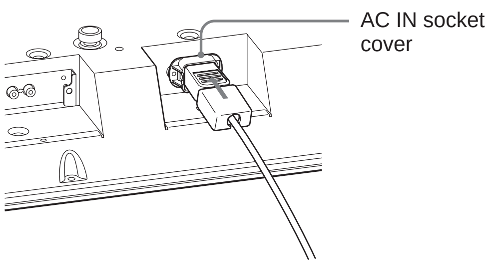
You can enjoy viewing with a greater sense of presence by connecting speakers SS-SP20B (not supplied). Please be sure to connect the speakers correctly. For more details on connecting the speakers, see the operating manual that came with the speakers.

Connecting the AC Power Cord

1 Plug the AC power cord into the AC IN socket. Then, attach the AC plug holder (supplied) to the AC power cord.



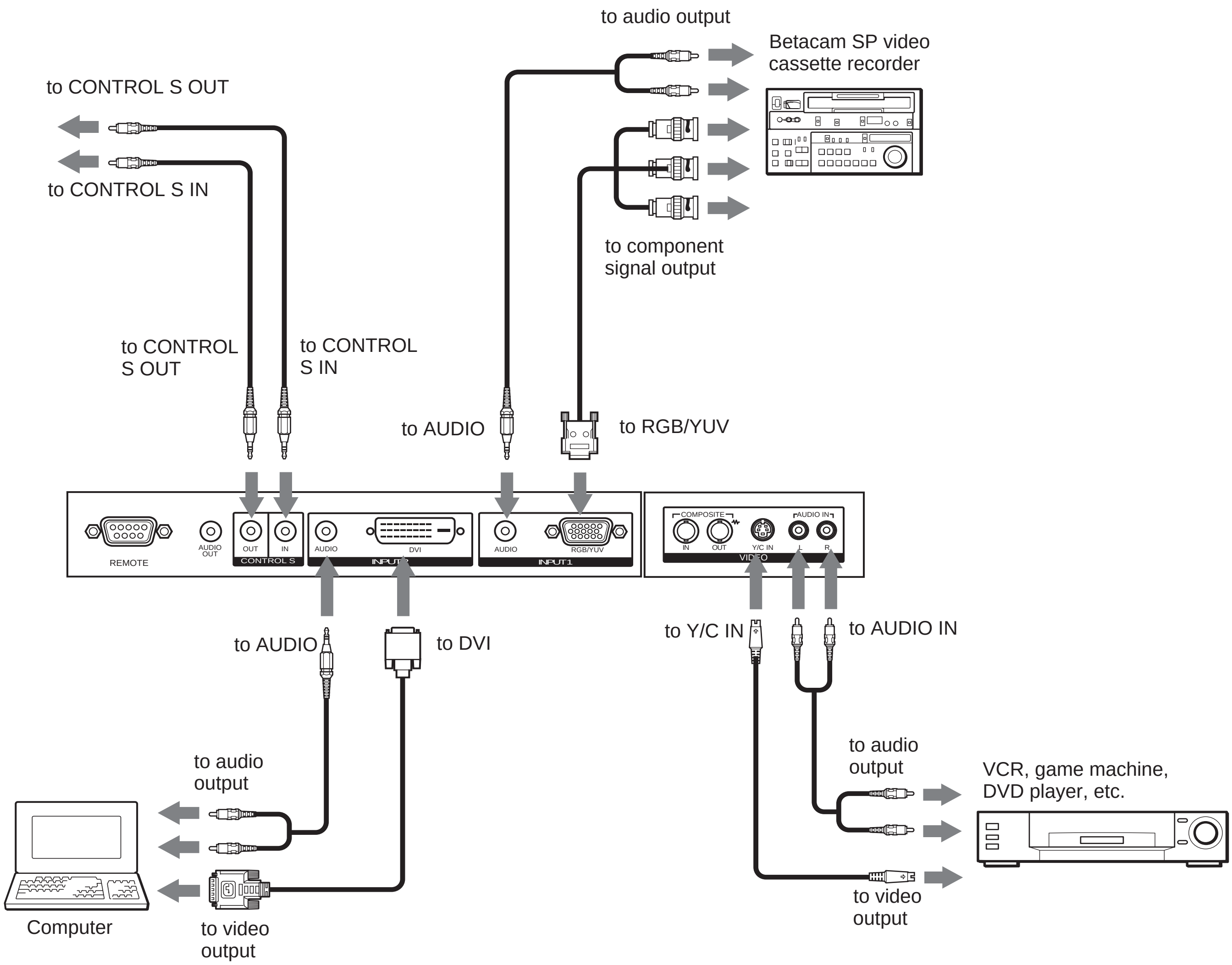
2 Slide the AC plug holder over the cord until it connects to the AC IN socket cover.



To remove the AC power cord

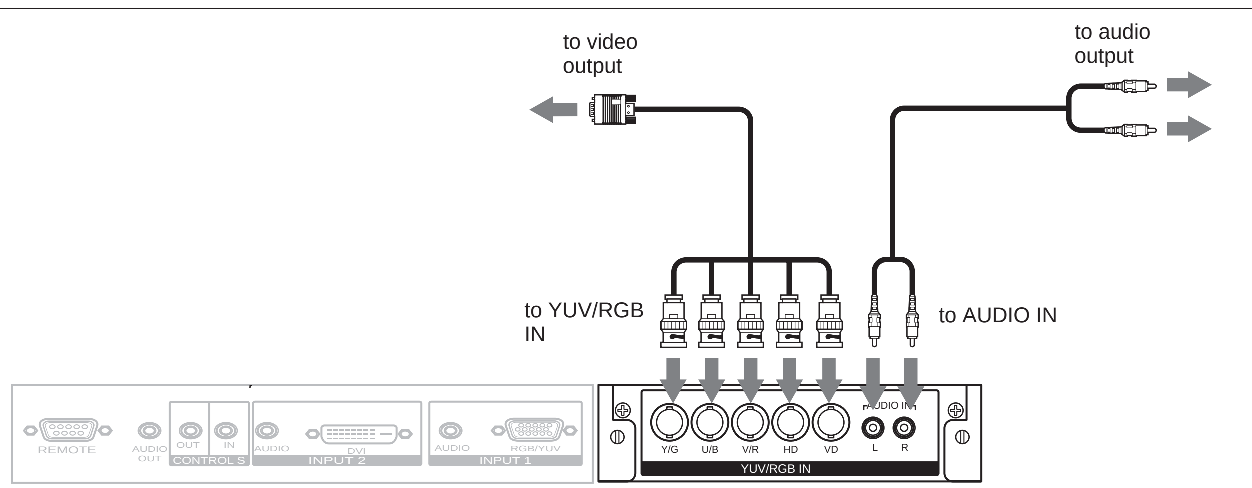
After squeezing the AC plug holder and freeing it, grasp the plug and pull out the AC power cord.

Connection Example

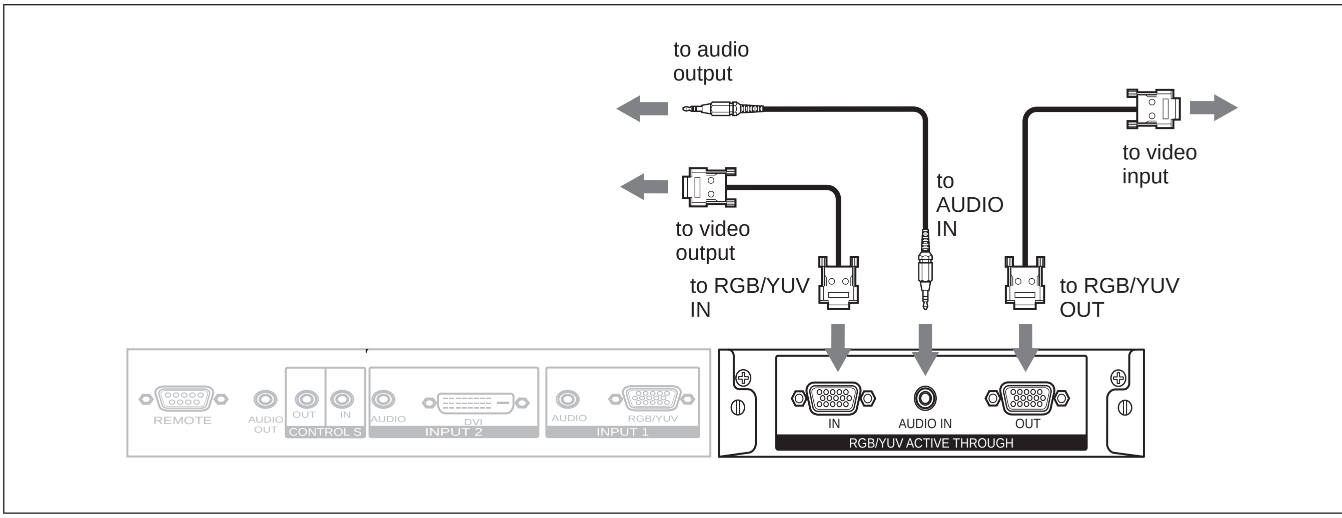


For the PFM-42X1N, the connection example applies when a Video Input Adaptor BKM-V10 is installed.
The PFM-42X1N is not equipped with the INPUT2 connectors.

When an optional Component/RGB Input Adaptor BKM-V11 is installed

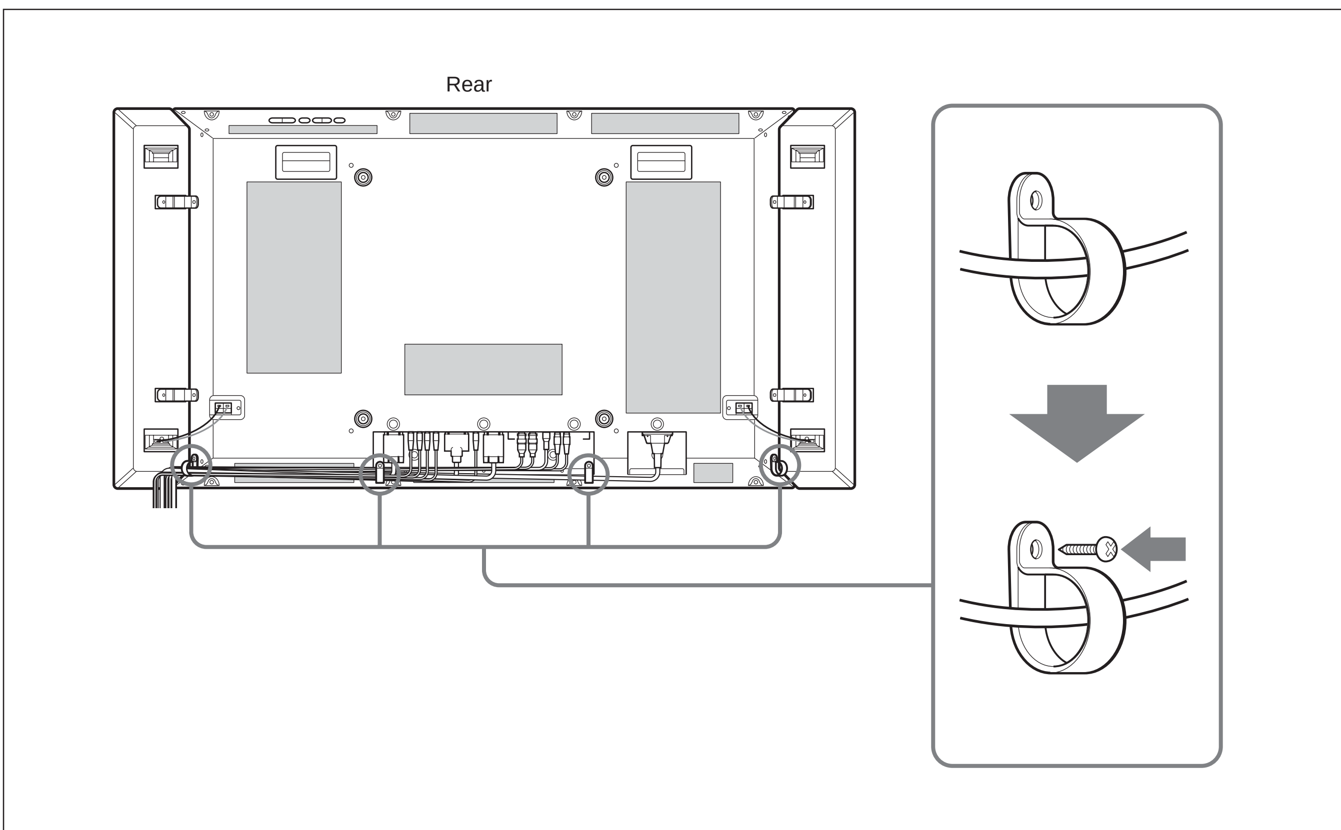


When an optional RGB/Component Active Through Adaptor BKM-V12 is installed



Using the cable holders

You can neatly bundle the cables with the cable holders (×4) provided. Attach the cable holders as shown in the illustration below.

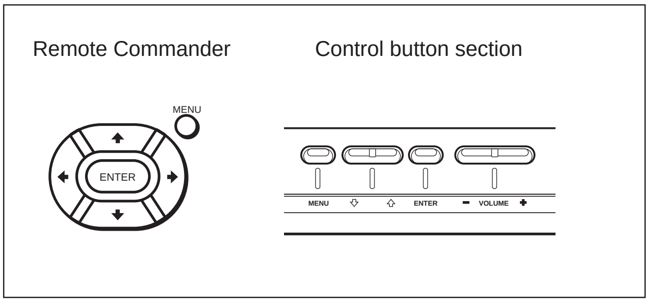


Using On-screen Menus

Operating Through Menus

Menu operating buttons

Use the buttons on the display unit or the Remote Commander for menu operations.



Operation of the unit is explained in these operating instructions for the case of operation using the Remote Commander. The ↑/↓ and ENTER buttons on the Remote Commander have the same functions as the ↑/↓ and ENTER buttons on the display.

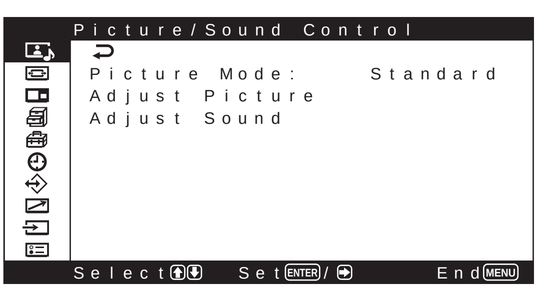
Note

Operation may differ in some cases since there is no ←/→ button on the display.

Configuration of the menu

To select the language of the menus, see "Selecting the On-screen Language" on page 42 (GB).

1 Press MENU.
The main menu appears on the screen.



2 Press ↑/↓ to move the cursor (yellow) to the main menu items you want to select and press ENTER or →.
The cursor moves to the next menu.

3 Press ↑/↓ to move the cursor (yellow) to the item you want to select and press ENTER or →.
The menu for the selected item appears.
Select an different item by repeating this procedure.

4 Press ↑/↓ to adjust or select the setting and press ENTER to set it.
The setting is registered and the menu returns to the previous menu.

To complete the configuration and return to the normal screen, press MENU.
To return to the previous menu level, press ↑/↓ to move the cursor to ⮐ and press ENTER or ←.
If you want to use the MENU button to return to the previous menu level, see "MENU Function" on page 23 (GB).

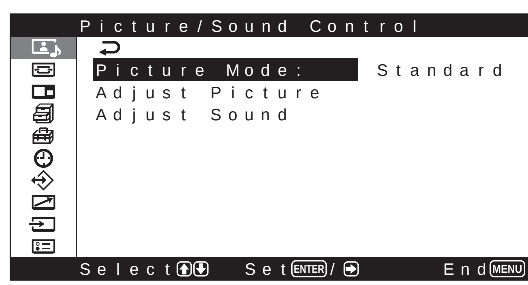
Menu Guide

Note

Items that cannot be set or adjusted (depending on the setting or the type of signal input) show in dark gray.

Picture/Sound Control menu

Adjusts the quality of sound and picture.



Picture Mode

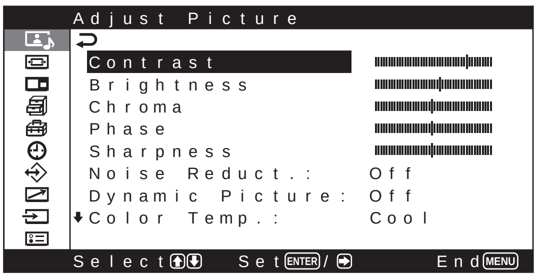
Sets the image quality suitable for the type of picture or the brightness of the location where the unit is installed.
For details, see "Selecting Image Quality" on page 30 (GB).

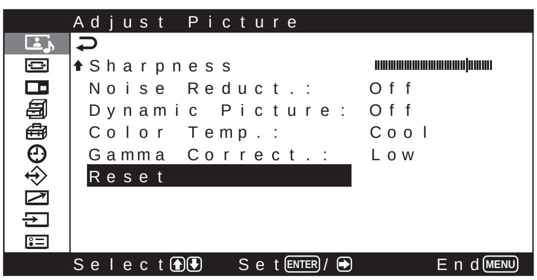
Adjust Picture menu

You can make fine adjustment of the picture.
Set Picture Mode to any of "User1" to "User3" first.

Note

You cannot adjust the following items when Picture Mode is set to "Standard" or "Vivid."





Contrast
Press ↑/→ to increase the contrast and press ↓/← to decrease it.

Brightness
Press ↑/→ to make the picture brighter and press ↓/← to make it darker.

Chroma
Press ↑/→ to increase color saturation and press ↓/← to decrease it.

Phase
Press ↑/→ to make the overall picture greenish and press ↓/← to make it purplish.

Sharpness
Press ↑/→ to increase the outline correction level of the image and press ↓/← to decrease it.

Noise Reduct.
Sets the level by which image graininess and color noise are reduced to one of four levels, consisting of "Off", "Low", "Mid" and "High".
For details, see "Noise Reduct." on page 31 (GB).

Dynamic Picture
Enhances contrast by making white brighter and black darker.
For details, see "Dynamic Picture" on page 31 (GB).

Color Temp.
Changes the color temperature.
For details, see "Color Temp." on page 31 (GB).

Gamma Correct.
Sets the balance of the light and dark portions of images to one of three levels consisting of "High", "Mid," or "Low."
For details, see "Gamma Correct." on page 33 (GB).

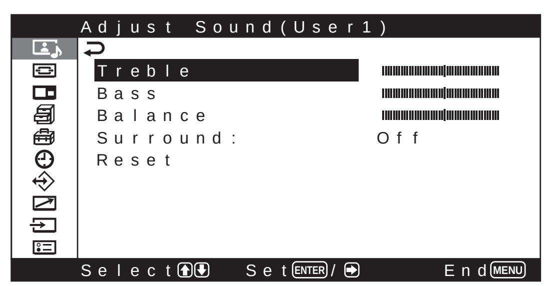
Reset
Restores the factory presettings to the Adjust Picture menu items.
For details on using the reset function, see "Restoring the Adjust Picture Menu Items to Their Original Settings" on page 33 (GB).

Adjust Sound menu

You can make fine adjustment of the sound.
Set Picture Mode to any of "User1" to "User3" first.

Note

You cannot adjust the following items when Picture Mode is set to "Standard" or "Vivid."



Treble
Press ↑/→ to increase the treble and press ↓/← to decrease it.

Bass
Press ↑/→ to increase the bass and press ↓/← to decrease it.

Balance
Pressing ↑/→ increases the volume on the right side, while pressing ↓/← increases the volume on the left side.

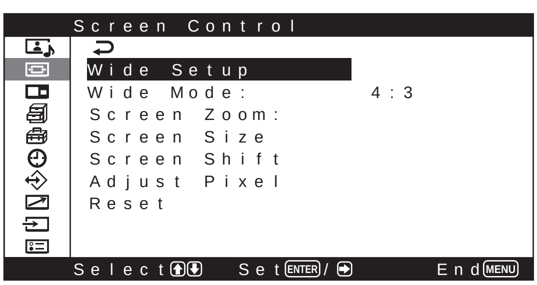
Surround
The surround function can be set to one of three levels, consisting of "Off," "Hall," or "Simul."
For details, see "Surround" on page 40 (GB).

Reset
Restores the factory presettings to the Adjust Sound menu items.
For details on using the reset function, see "Restoring the Adjust Sound Menu Items to Their Original Settings" on page 40 (GB).

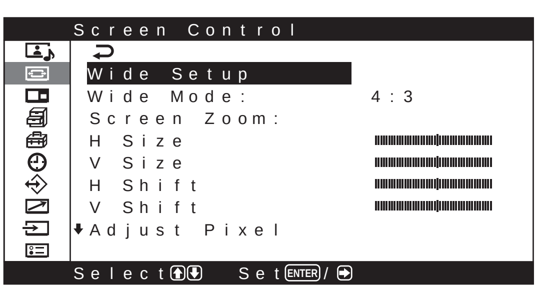
Screen Control menu

You can resize or adjust the position of a picture. The screen and operating method of the Screen Control menu vary depending on the setting of the MENU Function.
For more details, see "MENU Function" on page 23 (GB).

When MENU Function is set to "On/Off" (Factory presetting)



When MENU Function is set to "Return"



Wide Setup
Sets the Auto Wide function. The Auto Wide function is a function which chooses from among ordinary television broadcasts, or wide screen images, all having different proportions for horizontal and vertical display, and automatically expands the picture to a wide screen image with a 16:9 aspect ratio, enabling the most appropriate display of different types of images.
For details, see "Setting Auto Wide" on page 34 (GB).

Wide Mode
Switches the wide screen display to match the size and type of the picture.
For details, see "Setting the Wide Mode" on page 35 (GB).

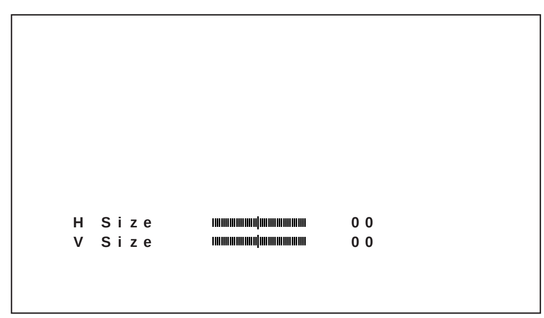
Screen Zoom
Enlarges the image (in order) to double (×2), triple (×3) and quadruple (×4) the original size.

Note

The enlargement function works only when the Wide Mode is set to "16:9."

Screen Size menu

This menu is used for adjusting the picture size. The following screen appears when MENU Function is set to "On/Off."



H Size
Adjust the horizontal picture size. Press → to enlarge the horizontal size and press ← to diminish it.

V Size
Adjust the vertical picture size. Press ↑ to enlarge the vertical size and press ↓ to diminish it.

Screen Shift menu

This menu is used for adjusting the centering of the picture.
The following screen appears when MENU Function is set to "On/Off."

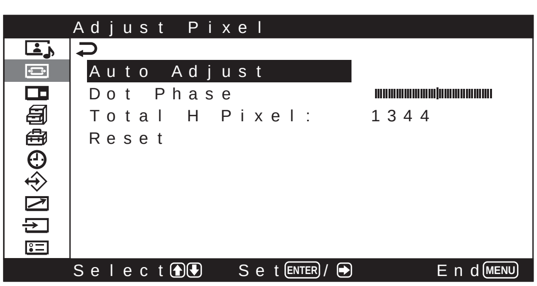


H Shift
Adjust the horizontal centering. Press → to move the picture to the right and press ← to move it to the left.

V Shift
Adjust the vertical centering. Press ↑ to move the picture up and press ↓ to move it down.

Adjust Pixel menu

This menu is used for adjusting the number of picture pixels.
Adjustment can only be made when a computer signal is being received.



Auto Adjust
Automatically adjusts the dot phase and total number of horizontal pixels.
For details, see "Adjusting the Pixels" on page 37 (GB).

Dot Phase
Adjusts the dot phase. Press ↑/→ to increase the dot phase and press ↓/← to decrease it.

Total H Pixel
Adjusts the total number of horizontal pixels. Press ↑/→ to increase the number of pixels and press ↓/← to decrease it.

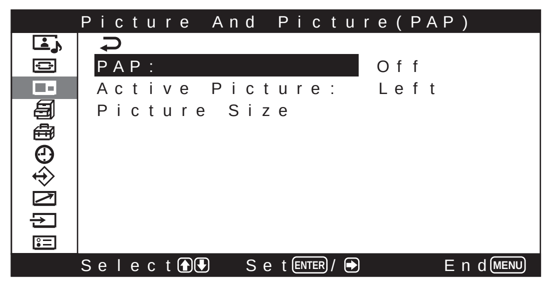
Reset
Restores the factory presettings to the Adjust Pixel menu items.
For details on using the reset function, see "To restore Adjust Pixel menu items to their original settings" on page 37 (GB).

Reset

Restores the factory presettings to the Screen Control menu items.
For details on using the reset function, see "Restoring the Screen Control Menu Adjustment Values" on page 37 (GB).

Picture And Picture (PAP) menu

You can show two pictures from different kinds of source signals side by side at the same time.

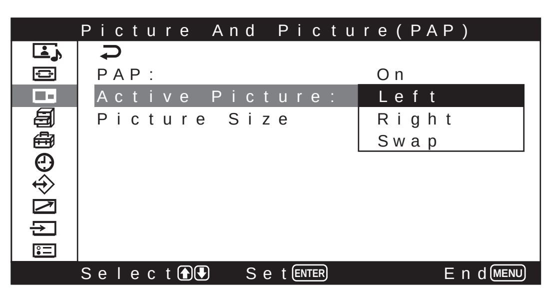


For details, see "Viewing two pictures at the same time" on page 38 (GB).

PAP
Set it to "ON" to show two pictures at the same time.

The following menus are available when PAP is set to "ON."

Active Picture menu



Left
Activates the left picture for operations.

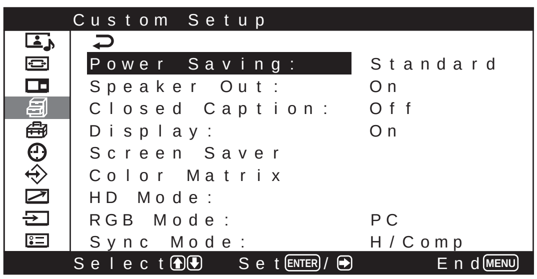
Right
Activates the right picture for operations.

Swap
Switches the position of the two pictures.

Picture Size
Zooms in on one of the two pictures.

Custom Setup menu

You can reduce power consumption or set a screen saver and so forth.



Power Saving
Reduces power consumption while showing pictures.
For details, see “Energy Saving Function” on page 29 (GB).

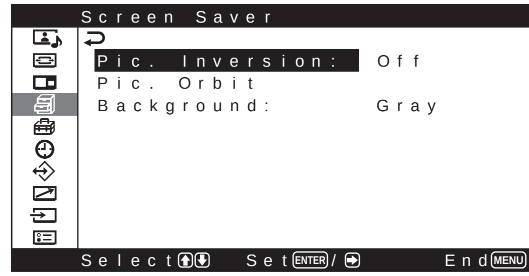
Speaker Out
Set it to ON to cause sound to be emmited from the speakers SS-SP20B (not supplied.)

Closed Caption
Displays closed captions.
For details, see “Displaying closed captions” on page 29 (GB).

Display
Select On to display the input signal information and Picture Mode for about five seconds on the upper left corner of the screen when you turn on the unit or switch the input signal.

Screen Saver menu

Corrects or lessens damage caused by ghosting or burn-in that may result from the same image being displayed on the screen for long periods of time.



Pic. Inversion
Sets the Screen Saver that inverts the image hue.
For details, see “Screen Saver Function” on page 42 (GB).

Pic. Orbit
Sets the Screen Saver that automatically moves the position of images after a predetermined amount of time has elapsed.
For details, see “Screen Saver Function” on page 42 (GB).

Background
Adjusts the brightness of the background (area with no video signal) while the 4:3 aspect ratio mode or the “Picture And Picture (PAP)” mode is used.
For details, see “Screen Saver Function” on page 42 (GB).

Color Matrix
Sets the Color Matrix to show pictures in natural color tones when a component signal is input.
For details, see “Adjusting Color Matrix” on page 45 (GB).

HD Mode
Selects a mode according to an HD analog component signal input to the YUV connectors on INPUT1, BKM-V11 or BKM-V12.
1080I: When a 1080I signal is input
1035I: When a 1035I signal is input

RGB Mode
Sets the mode when a device that outputs RGB signals is connected to the RGB/YUV IN.
DTV: When connected to an RGB signal digital tuner, etc.
PC: When connected to a PC.

Sync Mode

Sets the mode according to the signal input at pin 13 of the RGB/YUV IN. Signals can be set only to 575/50I or 480/60I.

H/Comp: When a horizontal signal or a composite synchronous signal* is input

Video: When a video signal is input

*Depending on the level of the composite synchronous signal, the image may not be displayed correctly. In that case, change the Sync Mode setting.

Input signal and Synchronous mode settings

PIN	Signal input over the D-sub	Synchronous mode setting
13	480/60I, 575/50I Composite Video	Video signal
	Composite Sync	Synchronizing signal
13/14	H Sync/V Sync	
2	Sync On Green	

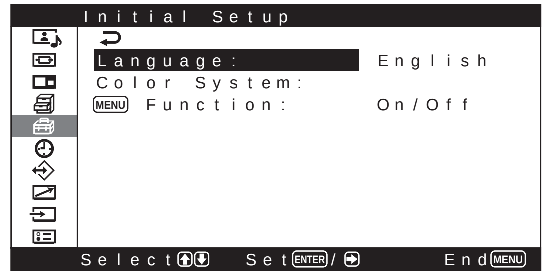
See "Pin assignment" on page 52 (GB) for more information on the pin assignments of RGB/YUV IN.

Notes

- There are some inputs for which only synchronizing signals can be selected. In this case, an image will not be displayed even if a video signal is input to the 13 pin connector. Input horizontal/vertical synchronization signals through the 13 or 14 pin connectors, or input Sync On Green signals through the RGB connector.
- With Sync On Green, if the unit is not set to accept synchronizing signals, the image will not be displayed.
- Sync Mode settings cannot be carried out using option boards.
- This unit does not support the three value sync format of composite sync and 576/60P.

Initial Setup menu

You can select the on-screen language and the color system, and set the MENU Function.



Language

Selects the on-screen language (Japanese, English, German, French, Spanish, or Italian).

For details, see "Selecting the On-screen Language" on page 42 (GB).

Color System

Selects the input signal.

Auto: to display NTSC, PAL, SECAM/NTSC4.43 or NTSC/PAL-M/PAL-N signals

NTSC: to display NTSC signals

NTSC4.43: to display NTSC4.43 signals

PAL: to display PAL signals

SECAM: to display SECAM signals

PAL-M: to display PAL-M signals

PAL-N: to display PAL-N signals

PAL60: to display PAL60 signals

When the Color System is set to "Auto," an additional color system capable of automatic detection is set in the level below.

- Automatic detection of NTSC/PAL/SECAM/NTSC4.43
- Automatic detection of NTSC/PAL-M/PAL-N

Note

This can only be set when a video signal is being received.

MENU Function

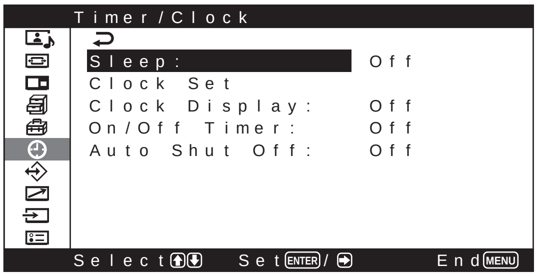
Selects the operation when the menu key is pressed.

On/Off: The menu display toggles between on and off each time the menu key is pressed.

Return: The cursor returns to the previous level each time the menu key is pressed.

Timer/Clock menu

You can set the timer, adjust time, display the built-in clock, or make the unit power on/off at a predetermined time.



Sleep

Automatically turns off the power when a preset amount of time elapses. The sleep time can be set to 30, 60, 90 or 120 minutes.
For details, see "Sleep Function" on page 45 (GB).

Clock Set

Sets the time.
For details, see "Adjusting the time" on page 46 (GB).

Clock Display

Displays the currently set time on the screen when set to On.
For details, see "Displaying the time" on page 46 (GB).

On/Off Timer

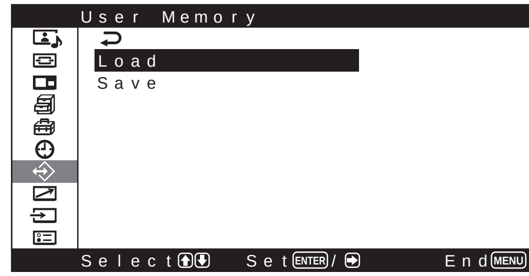
Sets the time at which the power is automatically turned on or off.
For details, see "On/Off Timer Function" on page 47 (GB).

Auto Shut Off

Automatically turns off the power when there is no input signal to the INPUT1 or INPUT2 connectors when the input mode is set to RGB.
For details, see "Power Saving Function" on page 48 (GB).

User Memory menu

You can save or recall various settings in the Picture/Sound Control and Screen Control menus.



For details, see "Using the Memory Function" on page 40 (GB).

Load

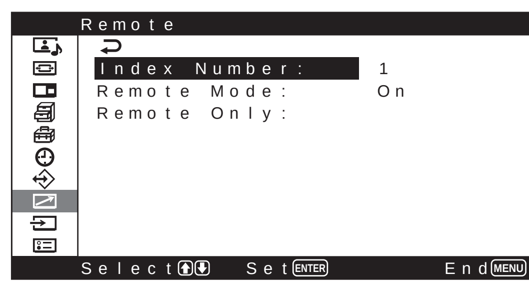
Recalls your settings.

Save

Saves your settings.

Remote menu

This menu is used for remote control settings.



Index Number

Sets the index number of the display.

Note

When you set the index number, use the buttons on the display unit. The index number cannot be set with the Remote Commander.
For details on the Index Number, see "Operating a Specific Display With the Remote Commander" on page 49 (GB).

Remote Mode
Selects the function of the Remote Commander.
ON: Activates a remote commander supplied with the display or a TV.
Off: Disables the remote control function.

Note

When you change the Remote Commander mode, use the buttons on the display unit. You cannot change the Remote Commander mode using the Remote Commander.
For details, see “Using Other Remote Commander Models” on page 50 (GB).

Remote Only
Select On to disable the control buttons on the display unit. The display can only be operated with the Remote Commander.
To cancel the Remote Only mode, set “Remote Only” to “Off” with the Remote Commander.

Note

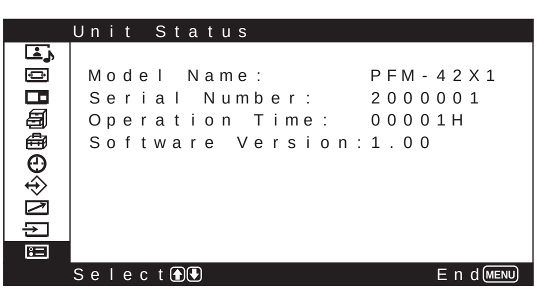
The setting in this item is still retained when the AC power cord is disconnected or when you turn on/off the display with the Remote Commander.
If you lose the Remote Commander, you can cancel the Remote Only mode by pressing the POWER button and MENU button on the display unit at the same time.

Input Select menu

This menu is used to switch the input signal.
For details on switching the input signal, see “Switching the Input Signal” on page 26 (GB).

Unit Status menu

This menu is used for displaying various information, including information on the internal status of the display unit.



Model Name
Indicates the model name.

Serial Number
Indicates the serial number.

Operation Time
Indicates the total number of hours of operation.

Note

Time spent in standby mode is not counted as part of the Operation Time.

Software Version
Indicates the system software version.

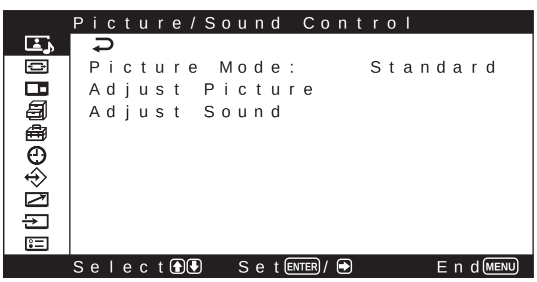
Watching the Picture

Before you start

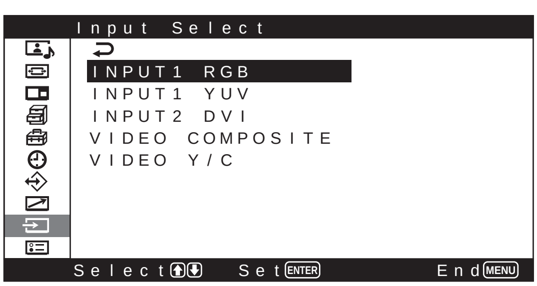
- Power on the display.
- Power on the connected equipment and play a video source.
- To display the input signal information and Picture Mode on the screen when turning on the power or switching the input signal, set “Display” in the Custom Setup menu to On.
- To select the language of the menus, see “Selecting the On-screen Language” on page 42 (GB).

Switching the Input Signal

1 Press MENU.
The main menu appears on the screen.



2 Press ⬆/⬇ to move the cursor (yellow) to “Input Select” and press ENTER or ➡.
The Input Select menu appears on the screen.



3 Press ⬆/⬇ to move the cursor (yellow) to the input source to be displayed and press ENTER.

INPUT1 RGB: Selects the signal (analog RGB) input to the INPUT1 connectors.

INPUT1 YUV: Selects the signal (component) input to the INPUT1 connectors.

INPUT2 DVI * : Selects the signal (digital RGB) input to the INPUT2 connectors.

VIDEO COMPOSITE: Selects the signal input to the COMPOSITE IN of the VIDEO connectors.

VIDEO Y/C: Selects the signal input to the Y/C IN of the VIDEO connectors.

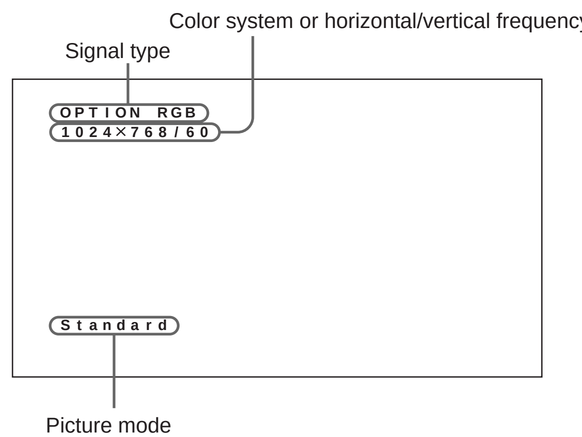
* When using the PFM-42X1N, you cannot select this item because this model is not equipped with the INPUT2 connectors.

When a Component/RGB Input Adaptor BKM-V11 or an RGB/Component Active Through Adaptor BKM-V12 is installed

OPTION YUV: Selects the signal (component) input to the YUV/RGB IN connectors.

OPTION RGB: Selects the signal (analog RGB) input to the YUV/RGB IN connectors.

The selected input signal appears on the screen.



You can switch the input signal using the supplied Remote Commander.

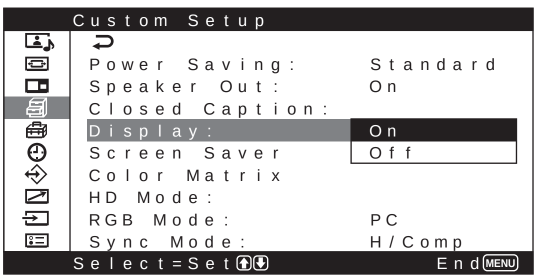
Notes

- We recommend input source video equipment equipped with a TBC (time base corrector). If the display receives a signal without TBC, the picture may disappear due to disturbance of the sync signal.
- If signals of the same format are input from multiple systems, the Picture Quality setting will default to the most recently set value (Only when the signal formats are identical).

Input Signal, Picture Mode and Display Status Information

Input signal and Picture Mode information appear on the screen for about five seconds when the power is turned on or when the input signal is switched.
To disable this function, follow the steps below.

1 In the Custom Setup menu, press ↑/↓ to move the cursor (yellow) to "Display" and press ENTER or →.
The following menu appears on the screen.



2 Press ↑/↓ to set "Display" to "Off."

To display the information

Set "Display" to "On" in step **2** above. The factory default setting is "On."

Note

You can display the input signal information and the time anytime by pressing the DISPLAY button on the Remote Commander, regardless of the above setting.

Preset input signals			
	Signal name	Color system or horizontal/ vertical frequency	
	Computer signals		
1	VGA[a)]-1 (VGA 350)	31.5 kHz	70 Hz
2	640×480@60 Hz (VESA[b)] STD)	31.5 kHz	60 Hz
3	Mac[c)] 13"	35.0 kHz	67 Hz
4	VGA (VGA TEXT)	31.5 kHz	70 Hz
5	800×600@60 Hz (VESA STD)	37.9 kHz	60 Hz
6	Mac 16"	49.7 kHz	75 Hz
7	1024×768@60 Hz (VESA STD)	48.4 kHz	60 Hz
8	1024×768@75 Hz (VESA STD)	60.0 kHz	75 Hz
9	1024×768@85 Hz (VESA STD)	68.7 kHz	85 Hz
10	1152×864@75 Hz (VESA STD)	67.5 kHz	75 Hz
11	Mac 21"	68.7 kHz	75 Hz
12	1280×960@60 Hz (VESA STD)	60.0 kHz	60 Hz
13	1280×1024@60 Hz (VESA STD)	64.0 kHz	60 Hz
14	1600×1200@60 Hz (VESA STD)*	75.0 kHz	60 Hz
15	848×480@60 Hz (VESA STD)	29.8 kHz	60 Hz
16	848×480@60 Hz (VESA STD)	29.5 kHz	60 Hz
17	848×480@75 Hz	37.7 kHz	75 Hz
18	1280×768@60 Hz	47.8 kHz	60 Hz
19	1280×768@60 Hz	47.4 kHz	60 Hz
	SDTV/HDTV		
1	PAL	PAL	
2	NTSC	NTSC	
3	SECAM	SECAM	
4	NTSC4.43	NTSC4.43	
5	PAL60	PAL60	
6	PAL-M	PAL-M	
7	PAL-N	PAL-N	
8	575/50i	575/50I	
9	480/60i	480/60I	
10	1080/24psf	1080/48I	
11	1080/50i	1080/50I	
12	576/50p	576/50P	
13	480/60p	480/60P	
14	1080/60i	1080/60I	
15	720/60p	720/60P	
16	720/50p	720/50P	

a) VGA is a registered trademark of International Business Machines Corporation, U.S.A.
b) VESA is a registered trademark of the Video Electronics Standards Association.
c) Mac (Macintosh) is a registered trademark of Apple Computer, Inc.

Notes

- When inputting an HDTV signal, input the tri-level sync signal to the 2nd pin of RGB/YUV (D-sub 15 pin) on the INPUT1 connector.
- If colors appear too light after inputting a DVD signal to PFM-42X1 series, adjust the "Chroma" setting in the Adjust Picture menu.
- When the phase is readjusted, the resolution will be reduced.
- You cannot input the signal indicated with * to DVI IN.

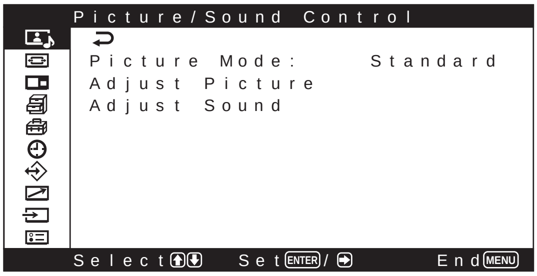
Actual on-screen display of the unit's status

On-screen display	Significance
640×480 / 60 (e.g.)	The selected input signal is computer RGB.
480 / 60P (e.g.)	The selected input signal is component video.
NTSC (e.g.)	The selected input signal is NTSC.
Out of Range	The input signal is out of the capture range.
No Sync	There is no input signal.
INPUT1 RGB	The signal mode of INPUT1 is set to RGB.
INPUT1 YUV	The signal mode of INPUT1 is set to component video.
VIDEO COMPOSITE	Composite video input is selected for VIDEO.
VIDEO Y/C	Y/C video input is selected for VIDEO.

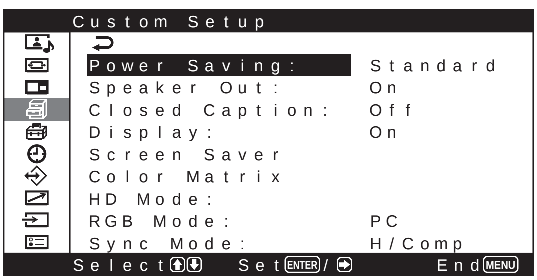
Switching the Display Mode

Displaying closed captions

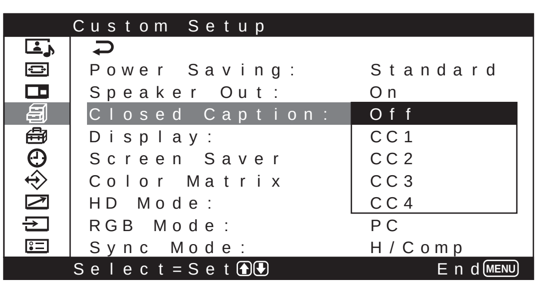
1 Press MENU.
The main menu appears on the screen.



2 Press ↑/↓ to move the cursor (yellow) to "Custom Setup" and press ENTER or →.
The Custom Setup menu appears on the screen.



3 Press ↑/↓ to move the cursor (yellow) to "Closed Caption" and press ENTER or →.
The following menu appears on the screen.



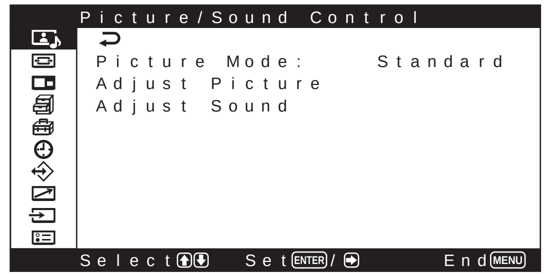
4 Select the caption type with ↑/↓.
Off: The caption is not displayed.
CC1-4 : Superimposes captions.

5 Press ENTER or ← to return to the Custom Setup menu.

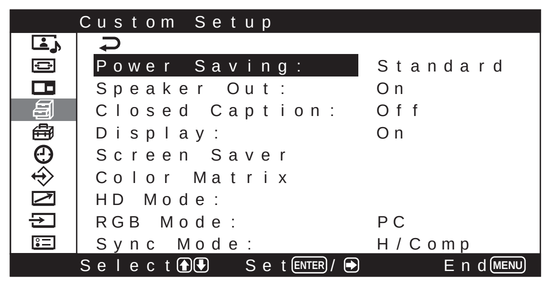
Energy Saving Function

You can enjoy viewing pictures while reducing power consumption.

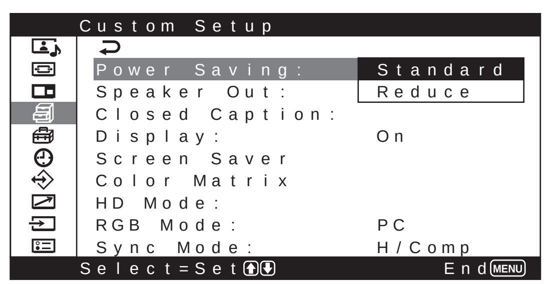
1 Press MENU.
The main menu appears on the screen.



2 Press ↑/↓ to move the cursor (yellow) to "Custom Setup" and press ENTER or →.
The Custom Setup menu appears on the screen.



3 Press ↑/↓ to move the cursor (yellow) to "Power Saving" and press ENTER or →.
The following menu appears on the screen.



4 Press ↑/↓ to select the Power Saving mode.
Standard: No energy saving
Reduce: Save energy
When you select "Reduce," the brightness of the picture is reduced so that you can enjoy viewing pictures while reducing power consumption.

5 Press ENTER or ← to return to the Custom Setup menu.

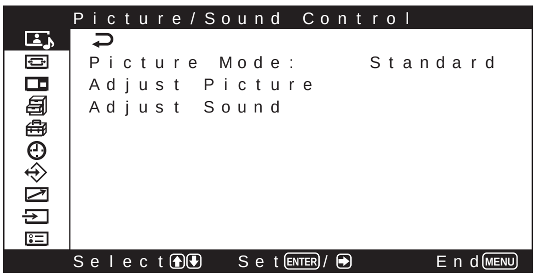
Notes

- "Power Saving: Reduce" will be resumed when you power on the unit again.
- Even when Power Saving is set to "Reduce", you can still adjust the quality of the picture. However, note that you may lose the energy saving effects if you increase Contrast or Brightness.

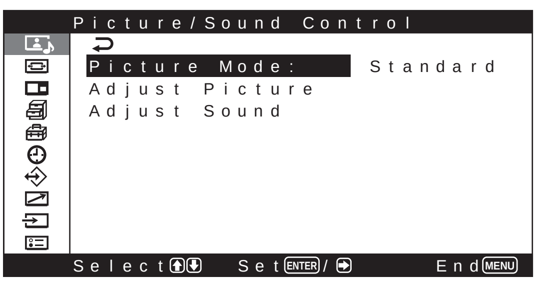
Selecting Image Quality

You can set an image quality suitable for the type of picture or the brightness of the location where the unit is installed.

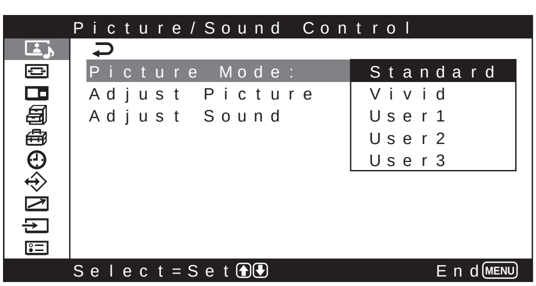
1 Press MENU.
The main menu appears on the screen.



2 Press ↑/↓ to move the cursor (yellow) to "Picture/Sound Control" and press ENTER or →.
The Picture/Sound Control menu appears on the screen.



3 Press ↑/↓ to move the cursor (yellow) to "Picture Mode" and press ENTER or →.
The following menu appears on the screen.



4 Select the Picture Mode with ↑/↓.
Standard: Pictures look real with moderate contrast and image contour.
Vivid: Pictures get intense sharpness with image contour and contrast maximized.
User1-3: You can set the image quality to suit your taste using the Adjust Picture menu.

5 Press ENTER or ← to return to the Picture/Sound Control menu.

Adjusting the Picture

While watching the picture, you can adjust contrast, brightness, chroma, phase, and so on, to suit your taste. The adjustments can be carried out for each input signal separately. You can also store the adjusted levels in memory.
Set the Picture Mode to any of "User1" to "User3."

Adjusting the Contrast, Brightness, Chroma, and Phase, etc.

Press MENU to show the main menu and adjust "Contrast," "Brightness," "Chroma," "Phase," "Sharpness," "Noise Reduct.," "Dynamic Picture," "Color Temp.," or "Gamma Correct." of the Adjust Picture menu.

Contrast

Select "Contrast" with ↑/↓ and press ENTER.
Adjust the contrast with ↑/↓/←/→ within the range of MIN (0) to MAX (100).
↑/→: to increase picture contrast
↓/←: to decrease picture contrast

Brightness

Select "Brightness" with ↑/↓ and press ENTER.
Adjust the brightness with ↑/↓/←/→ within the range of MIN (–50) to MAX (+50).
↑/→: to make the picture brighter
↓/←: to make the picture darker

Chroma

Select "Chroma" with ↑/↓ and press ENTER.
Adjust the chroma with ↑/↓/←/→ within the range of MIN (–100) to MAX (+100).
↑/→: Increase color intensity.
↓/←: Decrease color intensity.

Phase

Select “Phase” with ↑/↓ and press ENTER.
Adjust the phase with ↑/↓/←/→ within the range of RMax (50) to GMax (50).

↑/→: Makes the overall picture greenish.
↓/←: Makes the overall picture reddish.

Sharpness

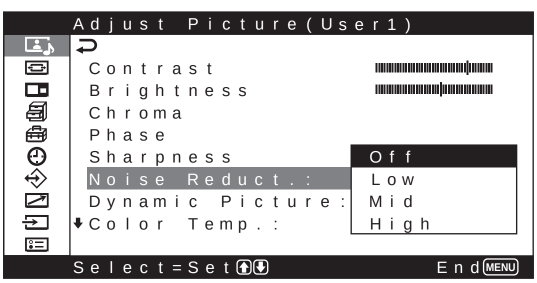
Select “Sharpness” with ↑/↓ and press ENTER.
Adjust the sharpness with ↑/↓/←/→ within the range of MIN (–10) to MAX (+10).

↑/→: Increases the sharpness of the image.
↓/←: Decreases the sharpness of the image.

Noise Reduct.

Reduces image graininess and color noise.

1 Select “Noise Reduct.” with ↑/↓ and press ENTER or →.
The following menu appears on the screen.



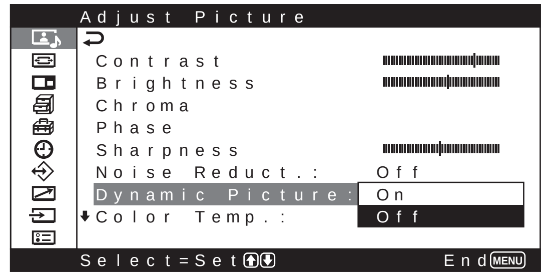
2 Select the Noise Reduct. mode with ↑/↓.
Off: The image signal is displayed directly.
Low: Sets the Noise Reduct. processing to low.
Mid: Sets the Noise Reduct. processing to medium.
High: Sets the Noise Reduct. processing to high.

3 Press ENTER or ← to return to the Adjust Picture menu.

Dynamic Picture

Enhances contrast by making white brighter and black darker.

1 Select “Dynamic Picture” with ↑/↓ and press ENTER or →.
The following menu appears on the screen.



2 Select the Dynamic Picture mode with ↑/↓.
On: Activates Dynamic Picture function.
Off: Activates Dynamic Picture function.

3 Press ENTER or ← to return to the Adjust Picture menu.

Color Temp.

You can set color temperature. Either select one from “Cool,” “Neutral,” or “Warm,” or set values for each gain separately. You can store up to three settings and rename them (up to six characters in length.)

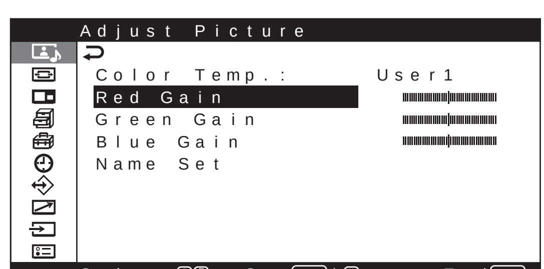
1 Select “Color Temp.” with ↑/↓ and press ENTER or →.

2 Select the color temperature with ↑/↓ and press ENTER.
Cool: Sets the color temperature to high.
Neutral: Sets the color temperature to neutral.
Warm: Sets the color temperature to low.
User1 – 3: Sets values for each gain separately.

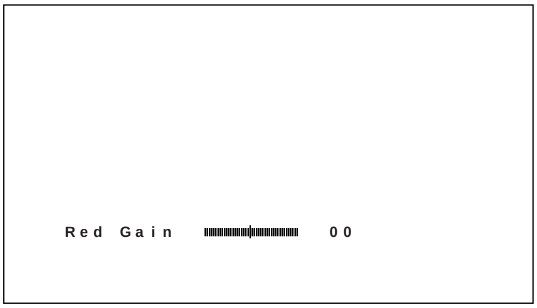
When you select “Warm,” “Neutral,” or “Cool,” the menu returns to the Adjust Picture menu.

When you select “User1” to “User3”

When you select any of “User1” to “User3,” the following menu appears on the screen.



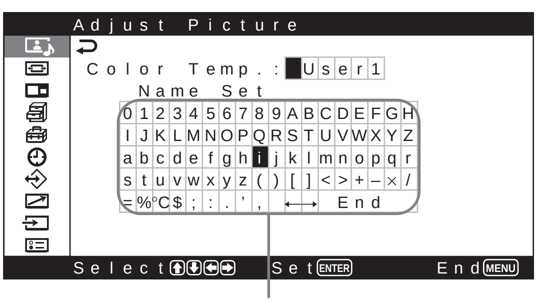
(1) Press ↑/↓ to move the cursor (yellow) to the gain that you want to adjust and press ENTER or →.
The following menu appears on the screen.



(2) Adjust the gain (–15 to +15) with ↑/↓/←/→ and press ENTER.
The menu returns to the Color Temp. menu.

To rename the adjusted color temperature, follow the steps below.

(3) Press ↑/↓ to move the cursor (yellow) to "Name Set" and press ENTER.
The following menu appears on the screen.



Character list

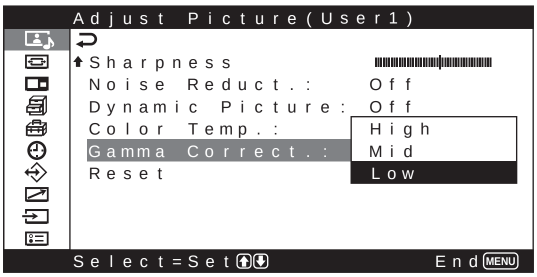
(4) Select a character or symbol from the character list with ↑/↓/←/→ and press ENTER. The selected character is input. If you input a wrong character or symbol, select "←" on the screen to backspace the cursor one character and reselect the right one.
When "MENU Function" (page 23 (GB)) in the Initial Setup menu is set to "Return," the ↑/↓ buttons on the Remote Commander move the cursor left and right. To make the ↑/↓ buttons move the cursor up and down, set "MENU Function" to "On/Off."

(5) Repeat step (4) and after you have finished entering the name, select "End" and press ENTER.
The menu returns to the Color Temp. menu.

Gamma Correct.

Balances the light and dark portions of pictures automatically.

1 Select "Gamma Correct." with ↑/↓ and press ENTER or →.
The following menu appears on the screen.



2 Select the Gamma Correct. mode with ↑/↓.
High: Sets the Gamma Correct. to high.
Mid: Sets the Gamma Correct. to medium.
Low: Sets the Gamma Correct. to low.

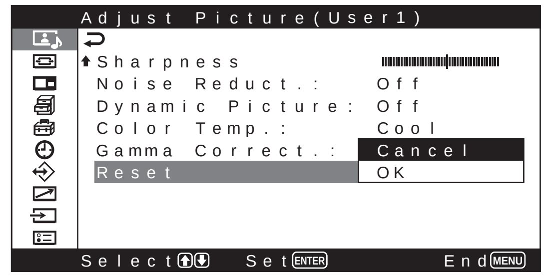
3 Press ENTER or ← to return to the Adjust Picture menu.

Notes

- You cannot adjust Chroma and Phase when an RGB signal is input.
- You cannot adjust Phase when a component signal is input.
- You cannot adjust Phase with a PAL, PAL-M, PAL-N, PAL60, or SECAM color system.
- You cannot adjust Chroma or Phase when a black-and-white signal is input.

Restoring the Adjust Picture Menu Items to Their Original Settings

1 In the Adjust Picture menu, press ↑/↓ to move the cursor (yellow) to "Reset" and press ENTER.
The following menu appears on the screen.



2 Press ↑/↓ to move the cursor (yellow) to "OK" and press ENTER.
The Adjust Picture menu items are restored to their factory presettings.

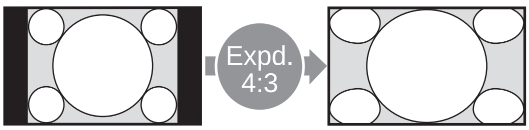
To cancel the reset function

Press MENU before pressing ENTER. Alternatively, select "Cancel" with ↑/↓ and press ENTER.

Picture Enlargement

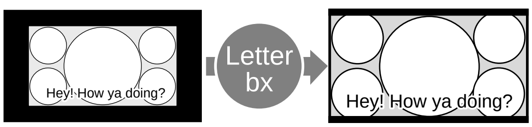
You can enlarge pictures to suite your taste.
For Wide Mode, the following choices are available.

Original Picture (Picture Type) | **Enlarged Picture**



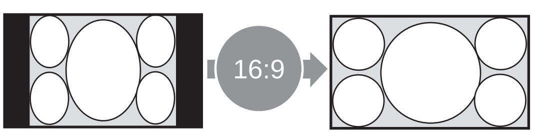
Allows ordinary pictures with a 4:3 aspect ratio to be set to Wide Zoom (screen aspect ratio: 4:3).

Images are enlarged naturally to full screen size.



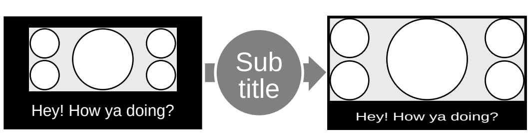
- Movies filmed in VistaVision and so forth that appear long in the horizontal direction of the screen and contain captions within the picture (aspect ratio: 1.85:1)
- Images from a video camera or DVD software with aspect ratio information (ID-1 type)

Images are enlarged to full screen size aligned with the right and left sides of the screen. (Black bars may remain at the top and bottom of the screen, depending on the type of picture.)



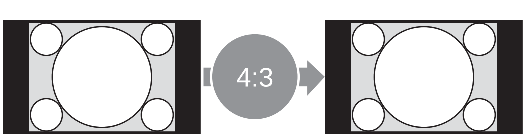
Images from a video camera or DVD software containing aspect ratio information (ID-1 type)

The left and right edges of the picture are enlarged to full screen size without changing the top and bottom.



Movies filmed in CinemaVision and so forth that appear long in the horizontal direction of the screen and contain captions outside the picture (aspect ratio: 2.35:1)

The picture is displayed on the screen by compressing only the area where captions are displayed while enlarging to full screen size and aligning with the left and right sides of the screen.



When pictures having an aspect ratio of 4:3 are set to “4:3” (“4:3” is the factory setting) and Auto Wide is set to On.

Pictures are displayed in the original 4:3 aspect ratio without being enlarged.

Setting Auto Wide

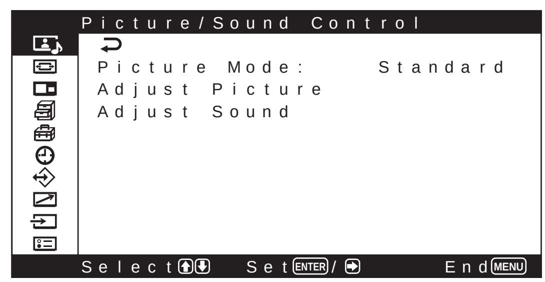
The auto wide function faithfully reproduces images based on this identification control signal or enlarges various types of pictures to the optimum size regardless of this identification control signal.

Identification Control Signal

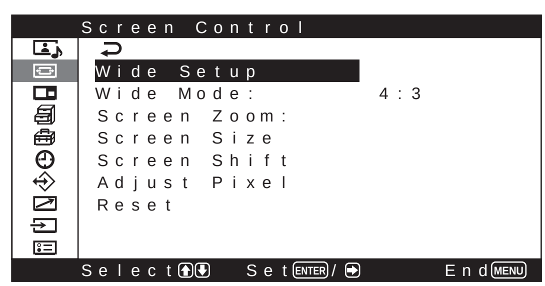
This is a control signal for faithfully reproducing the aspect ratio of the original image on a display screen. Images that contain this signal consist of the following:

- Images recorded with a television camera with aspect ratio information (ID-1 format).
- Television broadcasts containing a signal for setting the aspect ratio to 4:3.

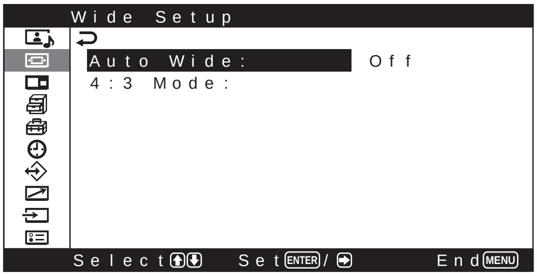
1 Press MENU.
The main menu appears on the screen.



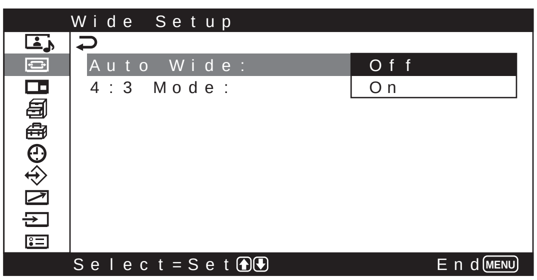
2 Press ⬆/⬇ to move the cursor (yellow) to “Screen Control” and press ENTER or ➡.
The Screen Control menu appears on the screen.



3 Press ↑/↓ to move the cursor (yellow) to “Wide Setup” and press ENTER or ➡.
The following menu appears on the screen.



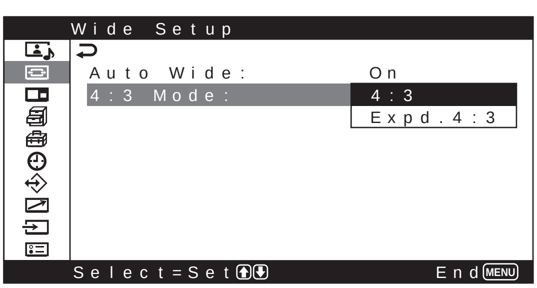
4 Press ↑/↓ to move the cursor (yellow) to “Auto Wide” and press ENTER or ➡.
The following menu appears on the screen.



5 Select the Auto Wide setting with ↑/↓.
Off: Images are reproduced as-is.
On: The image is enlarged and displayed in the most appropriate aspect ratio.

6 Press ENTER or ⬅.
The menu returns to the Wide Setup menu.

7 Select “4:3 Mode” with ↑/↓ and press ENTER.
The following menu appears on the screen.



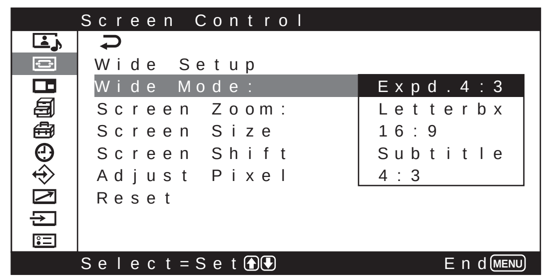
8 Select the 4:3 Mode with ↑/↓.
4:3: Pictures with a 4:3 aspect ratio are displayed as-is.
Expd.4:3: Pictures with a 4:3 aspect ratio are displayed after being enlarged to an aspect ratio of 16:9. (When there is no distinguishing control signal.)

9 Press ENTER or ⬅.
The menu returns to the Wide Setup menu.

Setting the Wide Mode

Pictures can also be enlarged to the desired wide mode regardless of the type of picture. When the signal is input from a computer, you can select either “16:9” or “4:3.”

1 In the Screen Control menu, press ↑/↓ to move the cursor (yellow) to “Wide Mode” and press ENTER or ➡.
The following menu appears on the screen.



2 Select the Wide Mode with ↑/↓.
Expd.4:3: Enlarges 4:3 pictures full-screen to 16:9 pictures.
Letterbx: Enlarges the picture all the way to the left and right edges of the screen. (Black bars may remain on the top and bottom of the screen, depending on the type of picture.)
16:9: Extends the left and right sides of the picture to cover the entire screen without changing the top and bottom.
Subtitle: Enlarges the picture all the way to the left and right edges of the screen and compresses only the area where captions are displayed.
4:3: Displays the picture without enlarging it.

3 Press ENTER or ⬅.
The menu returns to the Screen Control menu.

Notes

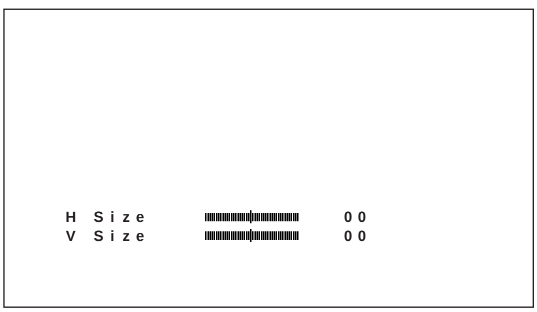
- If you set Wide Mode, the Auto Wide function is disabled. If you want to use the Auto Wide function, reset it to “On.”
- The top or bottom of the picture may be cut off or the captions may not completely be displayed on the screen depending on the type and size of picture.
- Please note that showing enlarged/compressed pictures for commercial purposes or public viewing at hotels or coffee shops can be copyright infringement as defined under the copyright laws.

Resizing and Positioning the Picture

You can shift the position of the picture to fit the screen, or adjust the vertical and horizontal size of the picture separately.
Operation is explained in these operating instructions for the situation in which the MENU Function is set to "On/Off." Refer to "Screen Control menu" on page 20 (GB) for further details regarding the Screen Control menu.

Resizing the Picture

1 In the Screen Control menu, press ↑/↓ to move the cursor (yellow) to "Screen Size" and press ENTER.
The following menu appears on the screen.

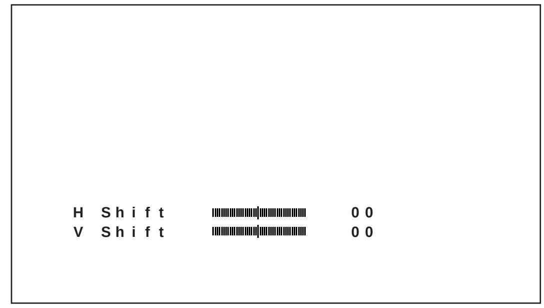


2 Resize the picture vertically or horizontally with ↑/↓/←/→.
←/→: Resizes the picture horizontally.
↑/↓: Resizes the picture vertically.
Horizontal picture size is displayed on the screen within the adjustable range of MIN (–30) to MAX (+30). Vertical picture size is displayed on the screen within the adjustable range of MIN (–30) to MAX (+30). The factory presetting is 00.

3 Press ENTER.
The menu returns to the Screen Control menu.

Adjusting the Picture Position

1 In the Screen Control menu, press ↑/↓ to move the cursor (yellow) to "Screen Shift" and press ENTER.
The following menu appears on the screen.



2 Move the picture vertically and horizontally with ↑/↓/←/→.
←/→: Moves the picture left and right.
↑/↓: Moves the picture up and down.
Horizontal picture position is displayed on the screen within the adjustable range of L Max (30) to R Max (30). Vertical picture position is displayed on the screen within the adjustable range of B Max (30) to T Max (30). The factory presetting is 00.

3 Press ENTER.
The menu returns to the Screen Control menu.

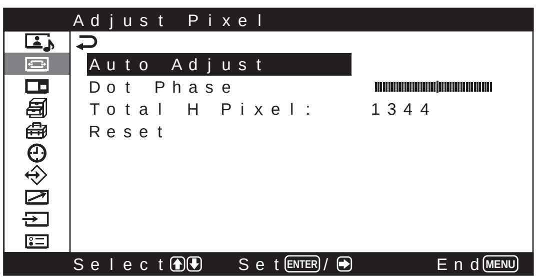
Adjusting the Pixels

If there is too much noise on the edges of characters or vertical lines, adjust the dot phase and the total number of horizontal pixels.

Note

This item depends on the computer signal being used.

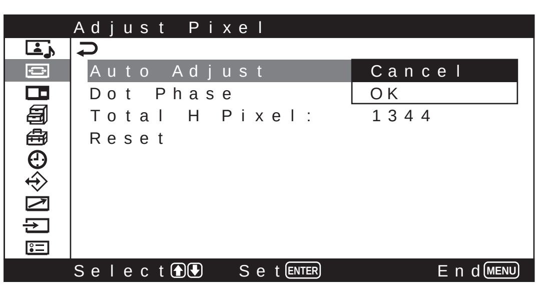
1 In the Screen Control menu, press ↑/↓ to move the cursor (yellow) to “Adjust Pixel” and press ENTER.
The following menu appears on the screen.



2 You can adjust the dot phase and the total number of horizontal pixels either automatically or manually.

Adjusting automatically

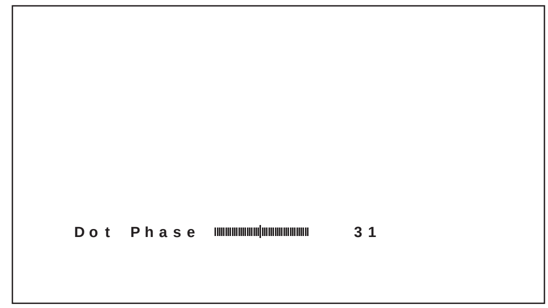
(1) Select “Auto Adjust” with ↑/↓ and press ENTER.
The following menu appears on the screen.



(2) Select “OK” with ↑/↓ and press ENTER.
The dot phase and the total number of horizontal pixels are adjusted automatically.

Adjusting manually

(1) Select “Dot Phase” or “Total H Pixel” with ↑/↓ or ←/→ and press ENTER.
The following appears on the screen. (When you select “Dot Phase”)



(2) Adjust the dot phase or the total number of horizontal pixels with ↑/↓ or ←/→ and press ENTER.

Note

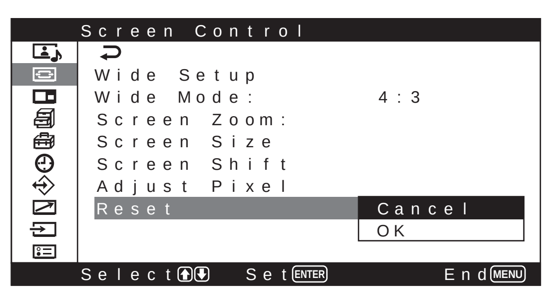
Due to patterns in the image, there may be times when noise continues to occur even after you have used Auto Adjust. In such cases, adjust the dot phase manually.

To restore Adjust Pixel menu items to their original settings

In the Adjust Pixel menu, press ↑/↓ to move the cursor (yellow) to “Reset” and press ENTER. Then select “OK” with ↑/↓ and press ENTER.

Restoring the Screen Control Menu Adjustment Values

1 In the Screen Control menu, press ↑/↓ to move the cursor (yellow) to “Reset” and press ENTER.
The following menu appears on the screen.



2 Press ↑/↓ to move the cursor (yellow) to “OK” and press ENTER.
The Screen Control menu items are restored to their original setting.

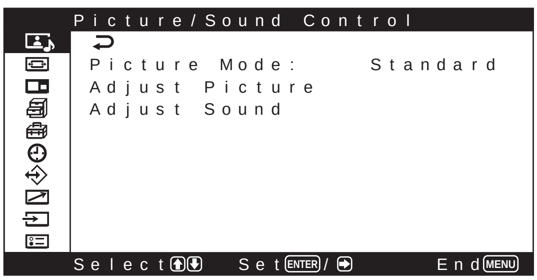
To cancel the reset function

Press MENU before pressing ENTER. Alternatively, select “Cancel” with ↑/↓ and then press ENTER.

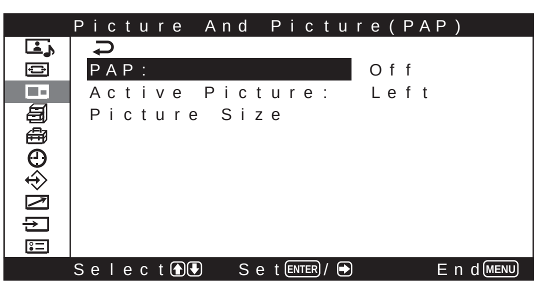
Viewing two pictures at the same time

You can show two pictures from different kinds of source signals side by side at the same time. You can change to the Picture And Picture (PAP) mode also by pressing the ENTER button and then pressing the INPUT1 button on the Remote Commander.

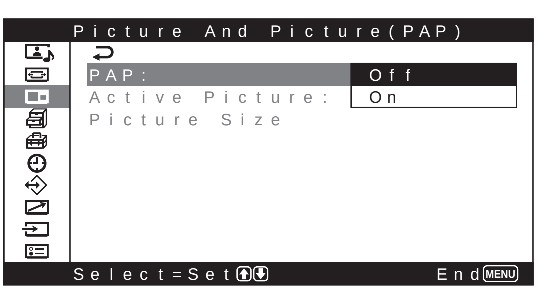
1 Press MENU.
The main manu appears on the screen.



2 Press ↑/↓ to move the cursor (yellow) to “Picture And Picture (PAP)” and press ENTER or ➡.
The Picture And Picture (PAP) menu appears on the screen.



3 Press ↑/↓ to move the cursor (yellow) to “PAP” and press ENTER or ➡.
The following menu appears on the screen.



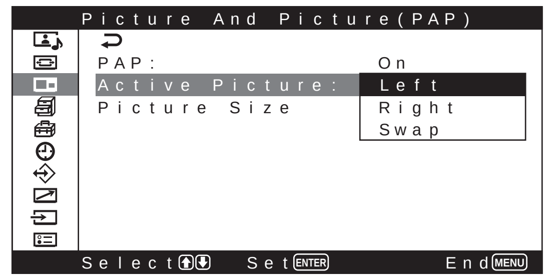
4 Select “On” with ↑/↓.

5 Press ENTER or ⬅ to return to the previous screen.

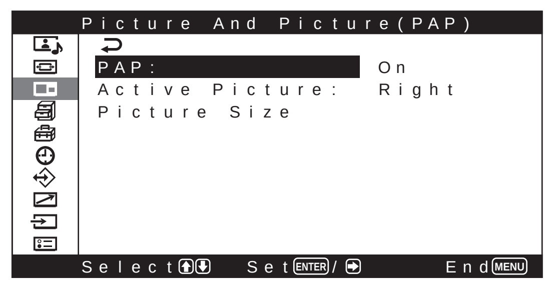
Activating a picture

Activate one of the two pictures for operation. (When you want to perform an operation on the right picture, for example.)

1 Press ↑/↓ to move the cursor (yellow) to “Active Picture” and press ENTER or ➡.
The following menu appears on the screen.

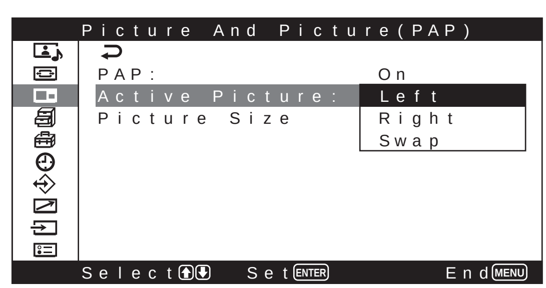


2 Select “Right” with ↑/↓ and press ENTER.
Now you can operate the right picture.



Switching the position of the two pictures

1 Press ↑/↓ to move the cursor (yellow) to “Active Picture” and press ENTER.
The following menu appears on the screen.



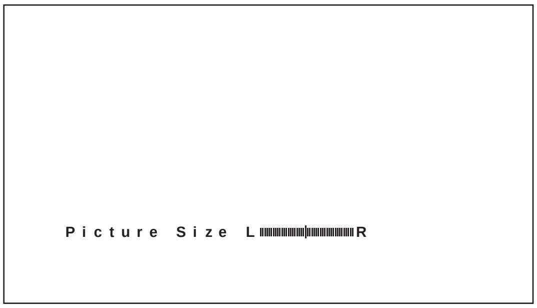
2 Select “Swap” with ↑/↓ and press ENTER.
The positions of the two pictures reversed.

Note

Please note that we always call the picture showing on the left “the left picture,” and the one on the right “the right picture.”

Zooming in on a picture

1 Press ↑/↓ to move the cursor (yellow) to "Picture Size" and press ENTER.



2 Keep pressing ←/→ to change the size of the picture.

3 Press ENTER to set the size you have selected.

Notes

- You can change to the Picture And Picture (PAP) mode by pressing the ENTER button and then pressing the INPUT1 button on the Remote Commander.
- The combination of the signals the pictures of which you can show side by side is shown below.

	Digital RGB**	Analog RGB	Component	Y/C	Composite
Digital RGB**	-	-	Supported	Supported	Supported
Analog RGB	-	-	Supported*	Supported	Supported
Component	Supported	Supported*	-	Supported	Supported
Y/C	Supported	Supported	Supported	-	-
Composite	Supported	Supported	Supported	-	-

* The combination of the signals input through the INPUT1 on the unit and through the optional BKM-V11 or BKM-V12

** The PFM-42X1N is not equipped with the Digtal Input connectors.

Adjusting the Sound Quality

When a speaker SS-SP20B (not supplied) installed, you can adjust sound treble level, bass level, or balance of the speaker (left and right) volume. The surround mode can also be set.

Adjusting the Treble, Bass, and Balance, etc.

Press MENU to show the main menu and adjust "Treble," "Bass," "Balance," or "Surround" from the Adjust Sound menu.

Treble

Select "Treble" with ↑/↓ and press ENTER.
Adjust the treble with ↑/↓/←/→ within the range of MIN (–50) to MAX (+50).

↑/→: Increases sound treble.
↓/←: Decreases sound treble.

Bass

Select "Bass" with ↑/↓ and press ENTER.
Adjust the bass with ↑/↓/←/→ within the range of MIN (–50) to MAX (+50).

↑/→: Increases sound bass.
↓/←: Decreases sound bass.

Balance

Select "Balance" with ↑/↓ and press ENTER.
Adjust the balance with ↑/↓/←/→ within the range of LEFT (50) to RIGHT (50).

↑/→: Increases the volume on the right side.
↓/←: Increases the volume on the left side.

Surround

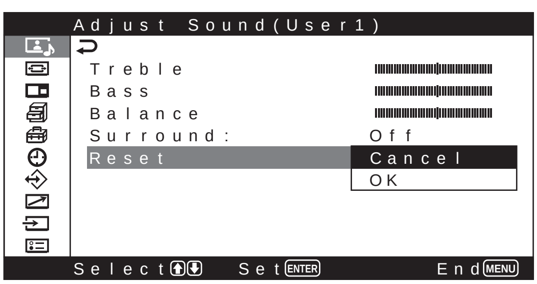
Select the Surround mode according to the type of picture.

1 Select “Surround” with ↑/↓ and press ENTER.

2 Select the Surround mode with ↑/↓ and press ENTER.
Off: No surround output
Hall: When desiring to give the stereo sound of movies or music programs a greater sense of presence.
Simul.: When desiring to give ordinary monaural programs or news telecasts an enhanced sense of presence using simulated stereo sound.

Restoring the Adjust Sound Menu Items to Their Original Settings

1 In the Adjust Sound menu, press ↑/↓ to move the cursor (yellow) to “Reset” and press ENTER or →.
The following menu appears on the screen.



2 Press ↑/↓ to move the cursor (yellow) to “OK” and press ENTER.
The Adjust Sound menu items restore their factory presettings.

To cancel the reset function

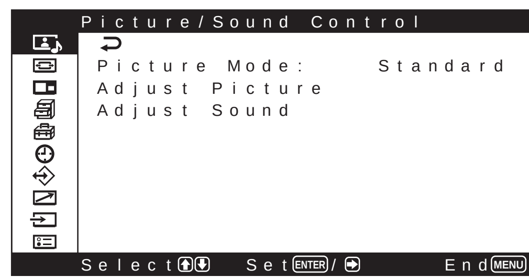
Press MENU before pressing ENTER. Alternatively, select “Cancel” with ↑/↓ and press ENTER.

Using the Memory Function

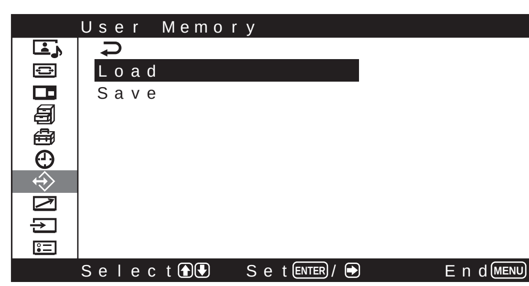
You can save your settings for each input signal using the Memory function. The saved settings can be restored whenever necessary. The settings for the Picture/Sound Control and Screen Control menus can be memorized. You can save up to twenty settings. You can name the settings (up to 6 characters in length) as well.

Storing the Current Setting

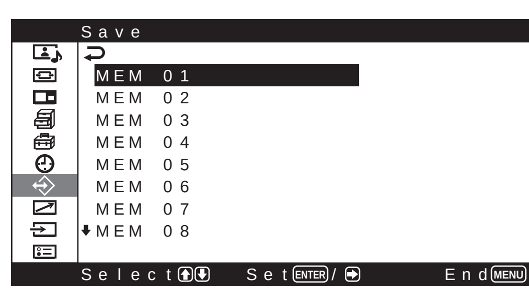
1 Press MENU.
The main menu appears on the screen.



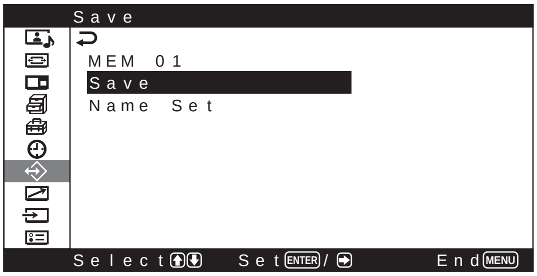
2 Press ↑/↓ to move the cursor (yellow) to “User Memory” and press ENTER or →.
The User Memory menu appears on the screen.



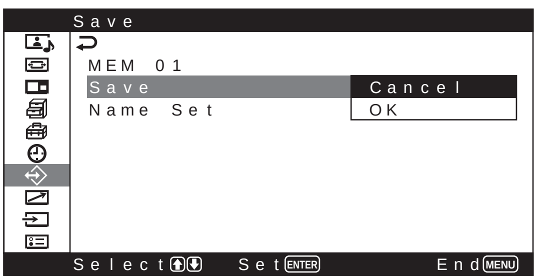
3 Press ↑/↓ to move the cursor (yellow) to “Save” and press ENTER or →.
The following menu appears on the screen.



4 Select a memory number (01 to 20) with ↑/↓ and press ENTER or ➡.
The following menu appears on the screen.



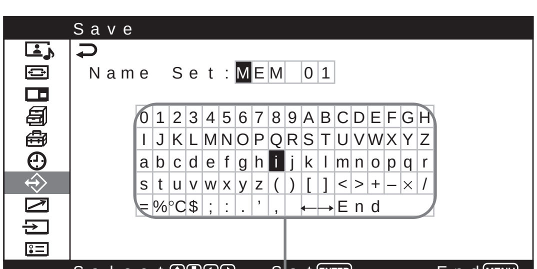
5 Press ↑/↓ to move the cursor (yellow) to “Save” and press ENTER or ➡.
The following menu appears on the screen.



6 Press ↑/↓ to move the cursor (yellow) to “OK” and press ENTER.
The current data is stored under the selected memory number.

When you name the setting, follow the steps below.

7 Press ↑/↓ to move the cursor (yellow) to “Name Set” and press ENTER again.
The following menu appears on the screen.



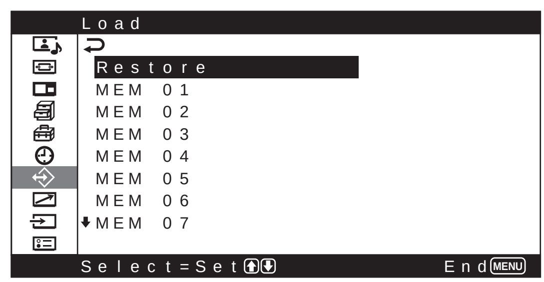
Character list

8 Select a character or symbol from the character list with ↑/↓/⬅/➡ and press ENTER. The selected character is input. If you input a wrong character or symbol, select “⬅” on the screen to backspace the cursor one character and reselect the right one.
When “MENU Function” (page 23 (GB)) in the Initial Setup menu is set to “Return”, the ↑/↓ buttons on the Remote Commander move the cursor left and right. To make the ↑/↓ buttons move the cursor up and down, set “MENU Function” to “On/Off.”

9 Repeat step **8** and after you have finished entering the name, select “End” and press ENTER.
The menu returns to the Save menu.

Calling Up a Stored Setting

1 In the User Memory menu, press ↑/↓ to move the cursor (yellow) to “Load” and press ENTER or ➡.
The following menu appears on the screen.



2 Move the cursor to the Memory Number (01 to 20) of the setting that you want to recall with ↑/↓.
The stored adjustment value is recalled.

To restore the previous value

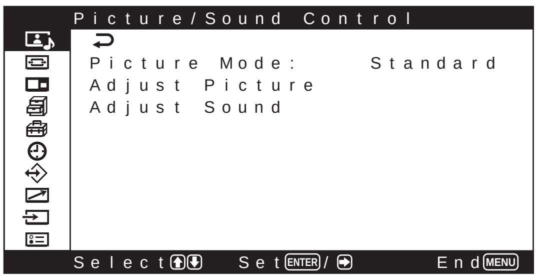
Move the cursor to “Restore.”

3 Press the ENTER or ⬅.
The display returns to the User Memory menu.

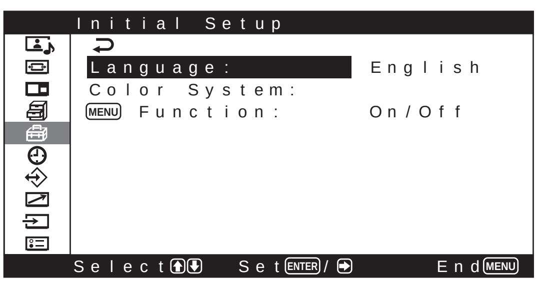
Selecting the On-screen Language

You can select the on-screen language from Japanese, English, German, French, Spanish or Italian.

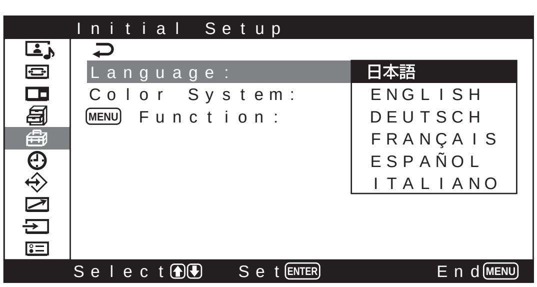
1 Press MENU.
The main menu appears on the screen.



2 Press ↑/↓ to move the cursor (yellow) to “Initial Setup” and press ENTER or ➡.
The Initial Setup menu appears on the screen.



3 Press ↑/↓ to move the cursor (yellow) to “Language” and press ENTER or ➡.
The following menu appears on the screen.



4 Press ↑/↓ to move the cursor (yellow) to the language of your choice.
The on-screen language is switched to the one you have selected.

日本語: Japanese
ENGLISH: English
DEUTSCH: German
FRANÇAIS: French
ESPAÑOL: Spanish
ITALIANO: Italian

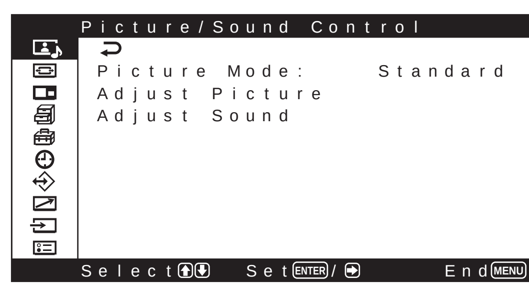
5 Press ENTER or ⬅ to return to the Initial Setup menu.

Screen Saver Function

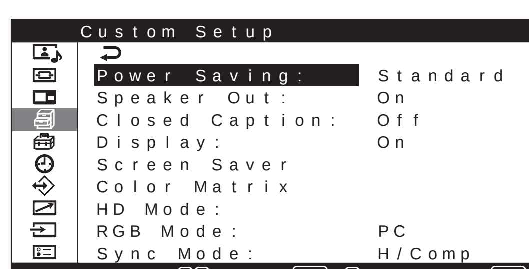
Leaving a still image or an image with poor change in brightness (such as the images of computer) showing for a long time can cause a burn-in or ghosting.
The unit has a screen saver function to fix or reduce the damage from them.
There are three types of screen saver: one reverses the color tones of the image (Pic. Inversion), another automatically moves the image around on the screen at a preset interval (Pic. Orbit), and the other adjusts the brightness of the background area with no video signal when the “4:3” mode or the Picture And Picture (PAP) mode is used (Background).

Reversing the Color Tones of the Image

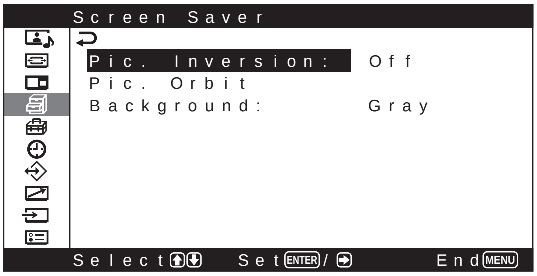
1 Press MENU.
The main menu appears on the screen.



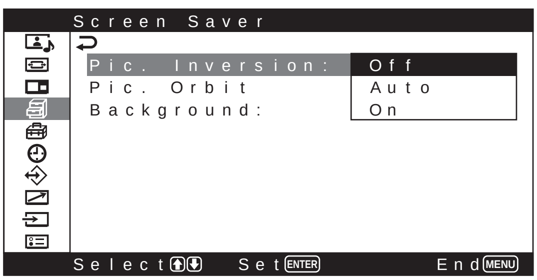
2 Press ↑/↓ to move the cursor (yellow) to “Custom Setup” and press ENTER or ➡.
The Custom Setup menu appears on the screen.



3 Press ↑/↓ to move the cursor (yellow) to "Screen Saver" and press ENTER or →.
The following menu appears on the screen.

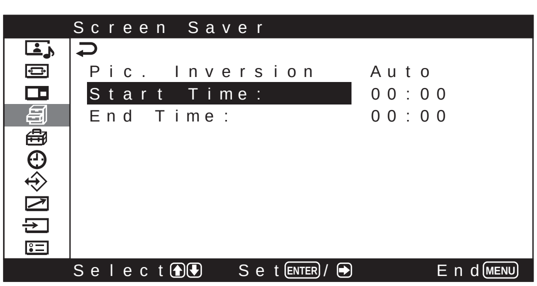


4 Press ↑/↓ to move the cursor (yellow) to "Pic. Inversion" and press ENTER.
The following menu appears on the screen.

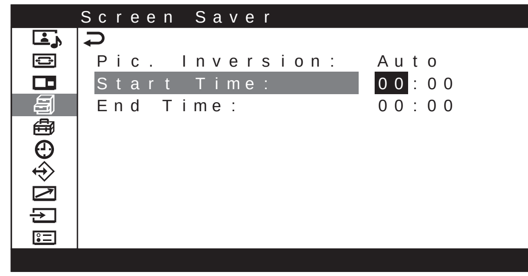


5 Select Pic. Inversion mode with ↑/↓.
Off: Sets Pic. Inversion to Off.
Auto: Carries out the Pic. Inversion process once a day.
On: Reverses the color tones of the image.

When you select "Auto" and press ENTER, the following menu appears on the screen.



(1) Press ↑/↓ to move the cursor (yellow) to "Start Time" and press ENTER.
The following menu appears and the background of the hour is displayed in yellow.



(2) Set the hour when the image is to be reversed with ↑/↓ and press ENTER.
The setting for the hour is entered and the background of the minute is displayed in yellow.

(3) Set the minute with ↑/↓ and press ENTER.
The setting for the minute is entered. Press ← to return to the screen shown in step **5**.
When you use the buttons on the unit, press the MENU button to close the menu. Set "MENU Function" (page 23 (GB)) on the Initial Setup menu to "Return". The MENU button on the unit then has the same function as the ← button.

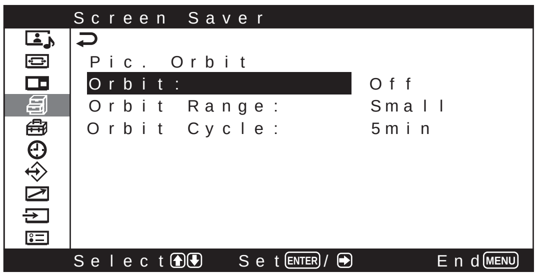
(4) Similarly, set the End Time of the Pic. Inversion.
The picture will be reversed at the Start Time and will return to the original display image at the End Time. This cycle is automatically carried out once a day.

Note

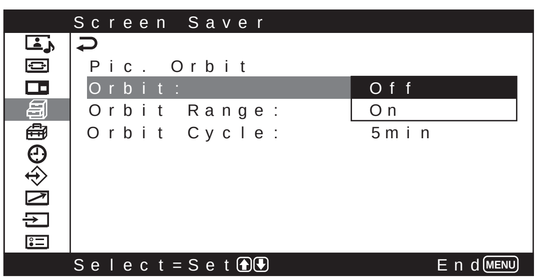
If you set Start Time and End Time to the same time, the setting of Start Time takes priority over that of End Time. The display image does not return to the original image at the End Time.

Changing the Image Position Automatically

1 In the Screen Saver menu, press ↑/↓ to move the cursor (yellow) to “Pic. Orbit” and press ENTER or →.
The following menu appears on the screen.



2 Press ↑/↓ to move the cursor (yellow) to “Orbit” and press ENTER or →.
The following menu appears on the screen.

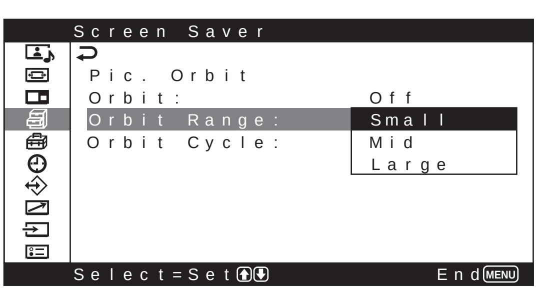


3 Select the Orbit mode with ↑/↓.
Off: Cancel the Pic. Orbit function.
On: Set the Pic. Orbit function.

4 Press ENTER or ←.
The menu returns to the Pic. Orbit menu.

5 Select “Orbit Range” (moving distance) or “Orbit Cycle” (time) with ↑/↓ and press ENTER.
The following values can be selected:
Orbit Range: Small, Mid, Large
Orbit Cycle: 10sec, 30sec, 1min, 5min

The following menu appears on the screen.
(When you select “Orbit Range”)



6 Adjust the Orbit Range or Orbit Cycle with ↑/↓.

7 Press ENTER or ← to return to the previous screen.

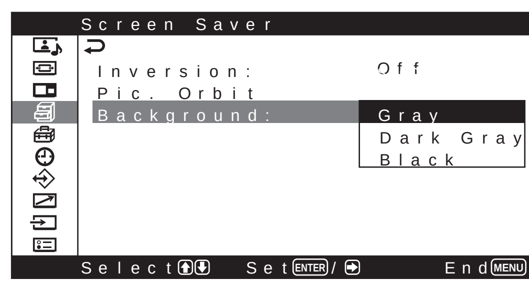
When both Pic. Inversion and Pic. Orbit are set to ON

If the Pic. Orbit function is actuated while the picture is reversed, the reversed picture is displayed with changing its position.

Adjusting the Brightness of the Background (area with no video signal)

When you use the “4:3” mode or the Picture And Picture (PAP) mode, if the brightness of the picture area and the background (area with no video signal) differs greatly, screen burn-in is likely to happen. You can adjust the brightness of the background to help prevent this.

1 In the Screen Saver menu, press ↑/↓ to move the cursor (yellow) to “Background” and press ENTER or →.
The following menu appears on the screen.



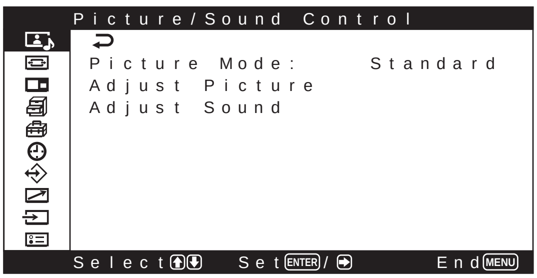
2 Select the brightness of the background with ↑/↓.
The default setting is Gray.

3 Press ENTER or ← to return to the previous screen.

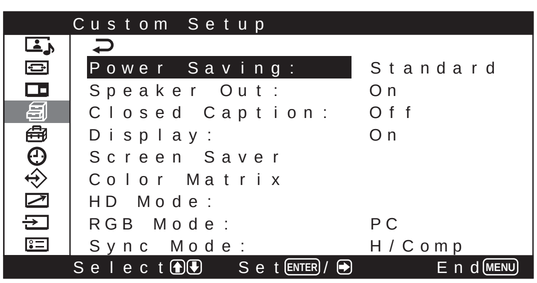
Adjusting Color Matrix

You can set Color Matrix to show pictures in natural colors when a signal with a signal format (480P(525P), 1080I(1125I), or 720P(750P)) is input to the component input adapter.

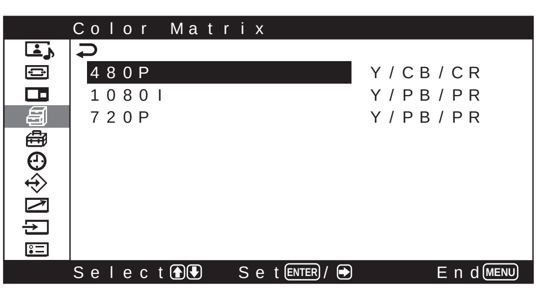
1 Press MENU.
The main menu appears on the screen.



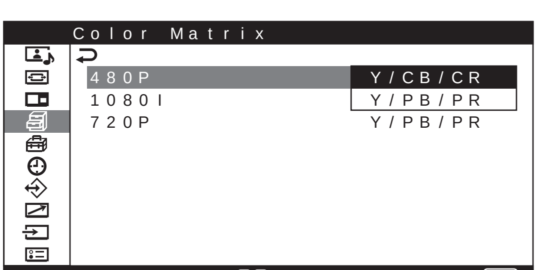
2 Press ↑/↓ to move the cursor (yellow) to "Custom Setup" and press ENTER or →.
The Custom Setup menu appears on the screen.



3 Press ↑/↓ to move the cursor (yellow) to "Color Matrix" and press ENTER or →.
The following menu appears on the screen.



4 Select the signal format with ↑/↓ and press ENTER or →.
The following menu appears on the screen.



5 Select the color matrix with ↑/↓.
Y/CB/CR: When signal format is 480P.
Y/PB/PR: When signal format is 1080I or 720P.
Refer to the operating instructions of each device for details on the settings.

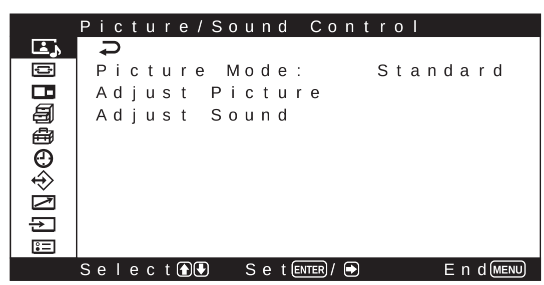
6 Press ENTER or ← to return to the previous screen.

Controlling Power On/Off Automatically (Timer Function)

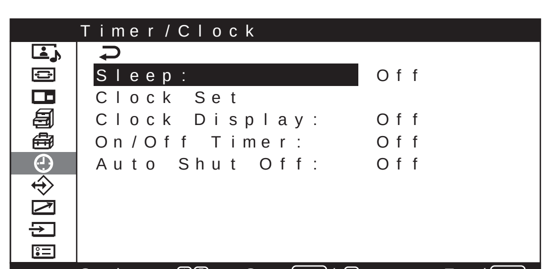
This display has three power controlling functions. You can set one to turn off the power automatically if there is no input signal (Power Saving function). You can set the time when the power automatically turns on/off (On/Off Timer function). In addition, a sleep function is provided that automatically turns off the power after a preset amount of time has elapsed even while the screen is displayed.

Sleep Function

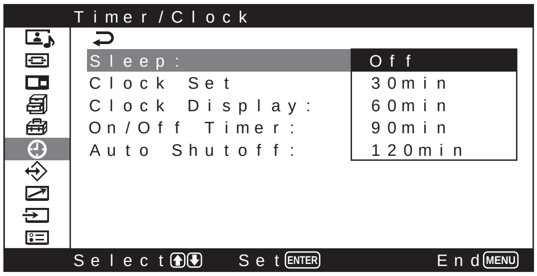
1 Press MENU.
The main menu appears on the screen.



2 Press ↑/↓ to move the cursor (yellow) to "Timer/Clock" and press ENTER or →.
The Timer/Clock menu appears on screen.



3 Press ↑/↓ to move the cursor (yellow) to “Sleep” and press ENTER or →.
The following menu appears on the screen.

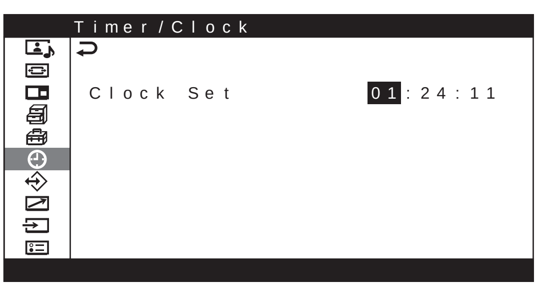


4 Select the period of time to power off the display with ↑/↓.
Off: Power is not turned off.
30 min: Power off after 30 minutes.
60 min: Power off after 60 minutes.
90 min: Power off after 90 minutes.
120 min: Power off after 120 minutes.

5 Press ENTER or ← to return to the previous screen.

Adjusting the time

1 In the Timer/Clock menu, press ↑/↓ to move the cursor (yellow) to “Clock Set” and press ENTER or →.
The following menu appears, and the background color of the time turns to yellow.



2 Adjust the hour with ↑/↓ and press ENTER.
The setting for the hour is entered and the background of the minute is displayed in yellow.

3 Similarly, adjust the minute and press ENTER.
The setting for the minute is entered and the background of the second turns to yellow.

4 Press ENTER.
The second is reset to 00.

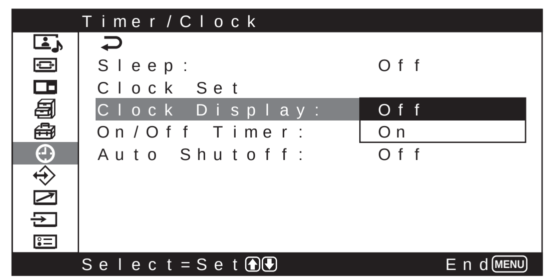
5 Press MENU.
The display returns to the normal screen. If you must make further adjustments, or the setting must be made again, repeat the process from step **1**.

Note

If the built-in clock tends to lose time, the internal battery may be exhausted. Please contact your authorized Sony dealer to have the battery replaced.

Displaying the time

1 In the Timer/Clock menu, press ↑/↓ to move the cursor (yellow) to “Clock Display” and press ENTER.
The following menu appears on the screen.

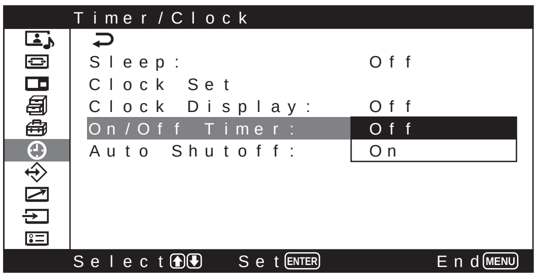


2 Select “On” with ↑/↓.
When you hide the menu, the clock appears on the lower right corner of the screen.

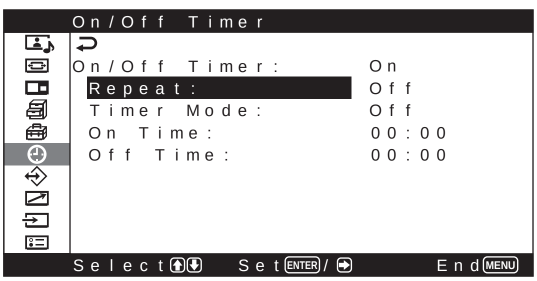
When you press the DISPLAY button on the Remote Commander, the clock disappears, and the signal currently input and the Picture Mode appear. If you press the DISPLAY button again, the clock appears again.
If the information is displayed undisturbed for about 10 seconds, it will disappear automatically.
“Clock Display : ON” will not be saved after the unit is powered off.

On/Off Timer Function

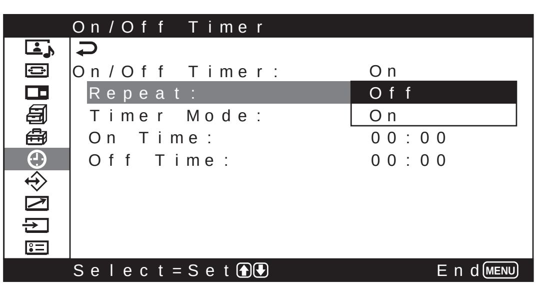
1 In the Timer/Clock menu, press ↑/↓ to move the cursor (yellow) to “On/Off Timer” and press ENTER.
The following menu appears on the screen.



2 Select “On” with ↑/↓ and press ENTER.
The following menu appears on the screen.



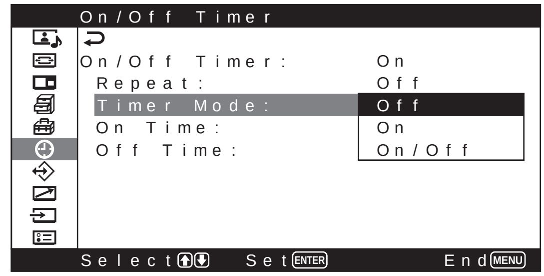
3 Select “Repeat” with ↑/↓ and press ENTER or ➡.
The following menu appears on the screen.



4 Select the repeat mode with ↑/↓.
Off: Power on/off only once.
On: Power on/off at the predetermined time every day.

5 Press ENTER or ⬅.
The menu returns to the On/Off Timer menu.

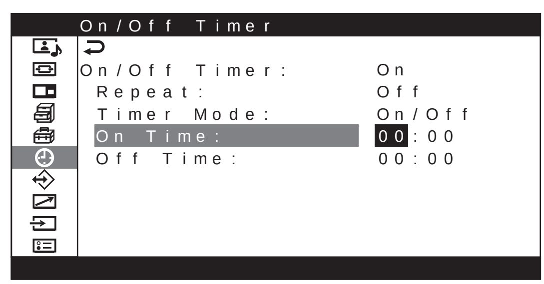
6 Select “Timer Mode” with ↑/↓ and press ENTER or ➡.
The following menu appears on the screen.



7 Press ↑/↓ to select the Timer Mode.
Off: Power off at the time set for Off Time.
On: Power on at the time set for On Time.
On/Off: Power on at the time set for On Time, and power off at the time set for Off Time.

8 Press ENTER or ⬅.
The menu returns to the On/Off Timer menu.

9 Press ↑/↓ to move the cursor (yellow) to “On Time” and press ENTER or ➡.
The following menu appears on the screen. The background of the hour is displayed in yellow.



10 Press ↑/↓ to set the hour and press ENTER or ➡.
The time is entered and the background of the minutes is displayed in yellow.

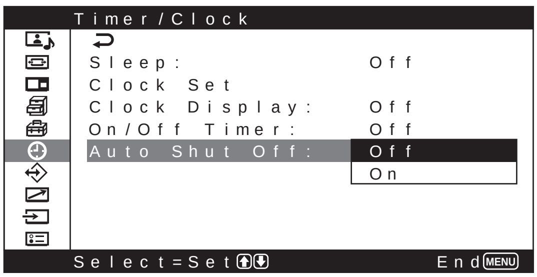
11 Press ↑/↓ to set the minute and press ENTER.
Press ⬅ to return to the screen shown in step **2**.
When you use the buttons on the unit, press the MENU button to close the menu. Set “MENU Function” (page 23 (GB)) on the Initial Setup menu to “Return”. The MENU button on the unit then has the same function as the ⬅ button.

12 Press ↑/↓ to move the cursor (yellow) to “Off Time” and press ENTER. Do the same thing for the power on hour and minute.

Power Saving Function

Automatically turns off the power when there is no input signal to the INPUT1 or INPUT2 connectors when the input mode is set to RGB.

1 In the Timer/Clock menu, press ↑/↓ to move the cursor (yellow) to "Auto Shutoff" and press ENTER or →.
The following menu appears on the screen.



2 Press ↑/↓ to select the length of time until the change to power saving mode.
Off: The power saving function does not work.
On: The power saving function will work.

Note

Input selection is available during power saving mode.

The ON indicator lights up in orange when the unit is in the power saving mode.

3 Press ENTER or ← to return to the previous screen.

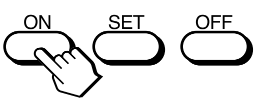
To cancel the power saving function

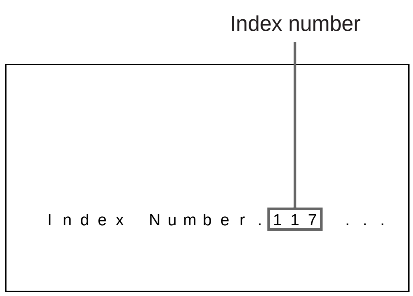
Input the signal again, or press the ⏻ switch on the ⏻ (standby) switch / indicator section or the POWER ON switch on the Remote Commander.

Operating a Specific Display With the Remote Commander

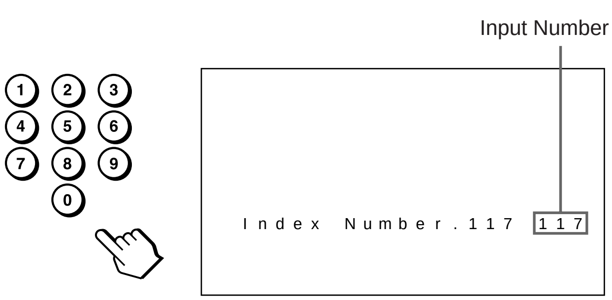
Using the supplied Remote Commander, you can operate a specific display without affecting other displays installed at the same time.

1 Press ID MODE ON on the Remote Commander.
Monitor index numbers appear in white characters on all the displays. (Every display is allocated an individual preset index number from 1 to 255.)
For details, see "To change the index number" on page 49 (GB).

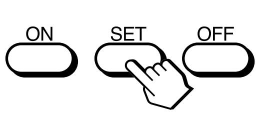




2 Input the index number of the display you want to operate using the 0 – 9 buttons on the Remote Commander.
The input number appears right next to the index number of each display.

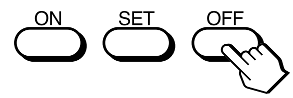


3 Press ID MODE SET.
The characters on the selected display change to green while the others change to red.



You can operate the specified display only. (Power ON/STANDBY apply to the other displays, as well.)

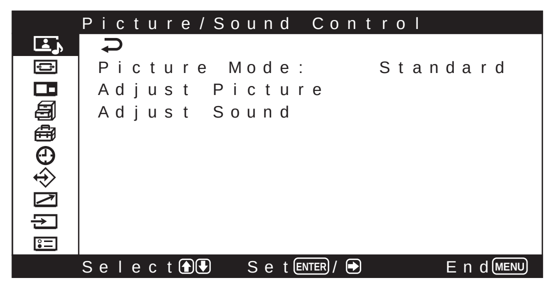
4 When all of the setting changes have been completed, press the ID MODE OFF button.
The display returns to the normal screen.



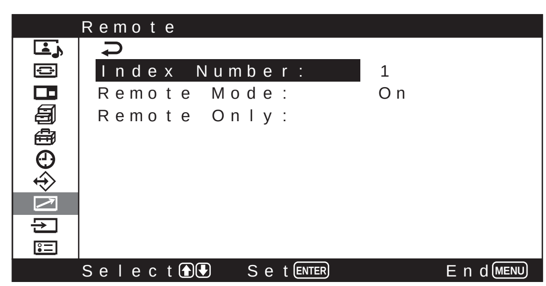
To change the index number

You can change the index number if necessary. When you change the number, use the buttons on the control button section of the display unit.

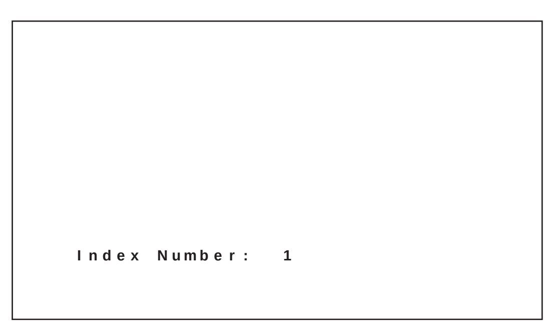
1 Press MENU.
The main menu appears on the screen.



2 Press ↑/↓ to move the cursor (yellow) to "Remote" and press ENTER.
The Remote menu appears on the screen.



3 Press ↑/↓ to move the cursor (yellow) to "Index Number" and press ENTER.
The following menu appears on the screen.



4 Select the index number with ↑/↓ and press ENTER.
The menu returns to the Remote menu.

Using Other Remote Commander Models

The following operations can be carried out using other Remote Commander models.

- Power on/off
- Input selection
- Menu operations
- Picture adjustments: Contrast, Phase and Chroma
- On-screen display on/off

The operations available and the buttons to be used for each operation are limited depending on each Remote Commander. See the table below.

<table>
<tr><th colspan="2">Remote Commander model</th><th>RM-921</th></tr>
<tr><th colspan="2">REMOTE MODE setting</th><th>ON</th></tr>
<tr><td rowspan="3">Input selection</td><td>INPUT1</td><td>RGB1</td></tr>
<tr><td>INPUT2</td><td>RGB2</td></tr>
<tr><td>VIDEO</td><td>LINE</td></tr>
<tr><td rowspan="4">Menu operation</td><td>MENU</td><td>MENU</td></tr>
<tr><td>ENTER</td><td>ENTER</td></tr>
<tr><td>⬆</td><td>⬆</td></tr>
<tr><td>⬇</td><td>⬇</td></tr>
<tr><td rowspan="3">Picture adjustment</td><td>Contrast</td><td>CONTRAST+/–</td></tr>
<tr><td>Chroma</td><td>CHROMA</td></tr>
<tr><td>Phase</td><td>—</td></tr>
<tr><td colspan="2">On-screen information</td><td>DISPLAY</td></tr>
</table>

Specifications

Video processing

Preset signal	*See page 28 (GB).*
Sampling rate	13.5 MHz to 140 MHz
Panel system	AC-type Plasma Display Panel
Display resolution	1024 dots (horizontal) × 768 lines (vertical)
Pixel pitch	0.90 (horizontal) × 0.676 (vertical) mm (1/16 × 1/32 inches)
Picture size	920.1 (horizontal) × 518.4 (vertical) mm (36 7/32 × 20 13/32 inches)
Panel size	42-inch (diagonal 1058 mm)

Inputs and Outputs

INPUT1

RGB/YUV: D-sub 15-pin (female) (×1) *(See "Pin assignment" on page 52 (GB).)*

AUDIO: Stereo minijack (×1)
500 mVrms, high impedance

INPUT2 [1)]

DVI: DVI-HDCP (DVI Specification Rev. 1.0 compliant)

AUDIO: Stereo minijack (×1)
500 mVrms, high impedance

CONTROL S IN/OUT

AUDIO OUT Stereo minijack (×1)

REMOTE (RS-232C)
D-sub 9-pin (×1)

VIDEO (NTSC, PAL, SECAM, NTSC4.43, PAL60, PAL-M, PAL-N) [2)]

COMPOSITE IN
BNC (×1)
Composite video, 1 Vp-p ±2 dB sync negative, 75 ohms (automatic termination)

COMPOSITE OUT
BNC (×1) Loop-through

Y/C IN: Mini DIN 4-pin (×1)
Y (luminance): 1 Vp-p ±2 dB sync negative, 75 ohms terminated
C (chrominance): Burst 0.286 Vp-p ±2 dB (NTSC), 75 ohms terminated
Burst 0.3 Vp-p ±2 dB (PAL), 75 ohms terminated

AUDIO IN: Pinjack (×2)
500 mVrms, high impedance

SPEAKER 7 W + 7 W (6 ohms), direct unbalanced impedance: 6-16 ohms

Component/RGB Input Adaptor BKM-V11 (Not supplied)

YUV/RGB IN

YUV/RGB: BNC (×5)

AUDIO: Pinjack (×2)
500 mVrms, high impedance

RGB/Component Active Through Adaptor BKM-V12 (Not supplied)

RGB/YUV ACTIVE THROUGH

RGB/YUV IN: D-sub 15-pin (female) (×1)

AUDIO IN: Stereo minijack (×1)
500 mVrms, high impedance

RGB/YUV OUT: D-sub 15-pin (female) (×1)

General

Power requirements
100 V to 240 V AC, 50/60 Hz, 4.2 A to 1.8 A

Power consumption
400 W

Operating conditions
Temperature: 0 °C to 35 °C (32 °F to 95 °F)
Humidity: 20% to 90% (no condensation)
Atmospheric pressure: 800 to 1100 hPa

---

1) The PFM-42X1N is not equipped with the INPUT2 connectors.
2) The PFM-42X1N is not equipped with VIDEO connectors. For the PFM-42X1N, composite video and Y/C input can be input to the display when the video input adaptor BKM-V10 (not supplied) is installed in the display.

Storing/transporting conditions
Temperature: –10 °C to +40 °C (14 °F to 104 °F)
Humidity: 20% to 90% (no condensation)
Atmospheric pressure: 700 to 1100 hPa

Dimensions 1033 × 631 × 102 mm (40 ¾ × 24 ⅞ × 4 ⅛ inches) (w/h/d, excluding projections)

Mass 29.7 kg (65 lb 8 oz)

Supplied accessories
AC power cord (1)
AC plug holder (2)
Digital RGB (DVI-D) signal cable: TMDS (Single Link) (1) *
Cable holder (4)
Remote Commander RM-971 (1)
Size AA (R6) batteries (2)
Operating instructions (1)
* Except for the PFM-42X1N

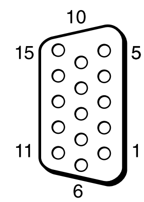
Optional accessories
Display stand SU-42B
Speaker SS-SP20B
Video Input Adaptor BKM-V10 (for the PFM-42X1N only)
Component/RGB Input Adaptor BKM-V11
RGB/Component Active Through Adaptor BKM-V12

Safety regulations
UL1950, CSA No. 950 (c-UL), FCC Class B, IC Class B, EN60 950 (NEMKO), CE, C-Tick

Design and specifications are subject to change without notice.

Pin assignment

RGB/YUV connector (D-sub 15-pin)



Pin No.	Signal
1	Red video or R-Y or P_R
2	Green video or Y or Sync On Green
3	Blue video or B-Y or P_B
4	Ground
5	Ground
6	Red ground
7	Green ground
8	Blue ground
9	Not used
10	Ground
11	Ground
12	SDA
13	H sync or composite sync
14	V sync
15	SCL

AVERTISSEMENT

Pour prévenir tout risque d’incendie ou d’électrcution, garder cet appareil à l’abri de la pluie et de l’humidité.

De dangereuses hautes tensions circulent à l’intérieur de cet appareil. N’ouvrez pas le châssis.
Confiez-en l’entretien exclusivement à un personnel qualifié.

Transport

Lorsque que vous transportez l’écran, tenez le par l’appareil lui même et non par les haut parleurs. Dans le cas contraire, ces derniers peuvent se détacher et l’appareil risque de tomber. Ceci pourrait entraîner des blessures.

Pour les utilisateurs au Canada

Cet appareil est numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

La prise doit être près de l’appareil et facile d’accès.

Attention

Risque d’explosion en cas de remplacement des piles par des piles de type incorrect.
Jetez les piles usées conformément aux instructions.

Table des matières

Précautions

Sécurité

- Une plaque signalétique indiquant la tension de service, la consommation électrique, etc. est située à l'arrière de l'appareil.
- Si des solides ou des liquides pénètrent à l'intérieur du châssis, débranchez le moniteur et faites-le vérifier par un technicien qualifié avant de le remettre en service.
- Débranchez le cordon de la prise si vous prévoyez de ne plus utiliser le moniteur pendant quelques jours.
- Pour débrancher le cordon, tirez-le par la fiche. Ne tirez jamais sur le cordon lui-même.
- Lorsque l'appareil est installé sur le sol, utilisez le support en option.

Installation

- Veillez à assurer une circulation d'air adéquate pour éviter une surchauffe interne de l'appareil. Ne placez pas l'appareil sur des surfaces textiles (tapis, couvertures, etc.) ni à proximité de rideaux ou de draperies susceptibles d'obstruer les orifices de ventilation.
- N'installez pas l'appareil à proximité de sources de chaleur comme un radiateur ou une bouche d'air chaud, ni dans un endroit exposé au rayonnement solaire direct, à des poussières excessives, à des vibrations ou à des chocs mécaniques.
- Lorsque vous installez plusieurs équipements avec cet appareil, des problèmes tels qu'un dysfonctionnement de la télécommande, une image parasitée ou un son parasité peuvent se produire en fonction de la position de l'appareil et des autres équipements.
- Des problèmes de communication risquent de se produire si un équipement de communication à infrarouges (par exemple, un microphone ou un casque d'écoute à infrarouges sans fil) est utilisé près de l'écran. Dans ce cas, utilisez un autre type de microphone ou de casque d'écoute. De plus, si vous utilisez un équipement à infrarouges sans fil, éloignez-le de l'écran jusqu'à disparition des interférences ou rapprochez l'émetteur et le récepteur de l'équipement de communication à infrarouges.

Ecran d'affichage à Plasma (PDP)

- Des points lumineux ou sombres (rouges, bleus ou verts) peuvent apparaître à l'écran. Ce phénomène n'est pas le signe d'un problème de fonctionnement. Bien que cet écran à plasma soit issu d'une technologie de haute précision, il est possible qu'il génère des pixels sombres ou lumineux. Des points sombres à la périphérie de l'écran ou des bandes ou des couleurs irrégulières n'indiquent pas un dysfonctionnement.
- N'affichez pas une même image fixe à l'écran pendant une période prolongée. Sinon, une image rémanente ou une image fantôme peut apparaître sur une partie du panneau. Utilisez la fonction d'économiseur d'écran pour égaliser l'affichage sur écran.
- En raison de sa conception, lorsqu'il est utilisé dans des endroits avec une faible pression d'air, comme à haute altitude, cet écran à plasma peut émettre un bourdonnement.
- Si vous affichez la même image sur l'écran pendant une durée prolongée, une partie de cette image peut s'imprimer sur l'écran et laisser une image fantôme. Afin d'éviter ce phénomène, utilisez la fonction d'économiseur d'écran pour rétablir l'équilibre sur l'ensemble de l'écran. Si une image fantôme est occasionnée, utilisez la fonction d'économiseur d'écran ou un logiciel de vidéo ou de traitement des images pour obtenir un mouvement permanent sur l'écran. Si une image fantôme légère (image imprimée) est occasionnée, elle peut s'atténuer mais ce phénomène ne disparaît jamais complètement après s'être produit.
- Pour protéger l'écran à plasma, cet appareil n'accepte pas les commandes émises par la télécommande ou les touches de fonction sur l'appareil pendant un certain laps de temps après la mise en position ON/STANDBY de l'appareil. A la suite de l'une de ces opérations, attendez environ 8 secondes avant de transmettre une commande.

Nettoyage

Pour garder l'aspect neuf de l'appareil, nettoyez-le régulièrement à l'aide d'une solution détergente douce. N'utilisez jamais de solvants tels que de l'alcool ou de l'essence ni de nettoyants abrasifs sous peine de ternir le revêtement de l'appareil. Par mesure de sécurité, débranchez l'appareil avant de le nettoyer.

Remarques sur la manipulation et l'entretien de l'écran

La surface spéciale de cet écran exige des précautions spéciales lors de la manipulation et de l'entretien du téléviseur. Pour le nettoyer, utilisez un chiffon de nettoyage doux et évitez de toucher directement la surface de l'écran.

Remballage

Conservez les cartons ainsi que les matériaux d'emballage. Vous pourrez en avoir de nouveau besoin en cas de déplacement et de transport de l'appareil. Lors du transport de l'appareil, remballez-le comme illustré sur le carton.

Pour toute question au sujet de cet appareil, consultez un distributeur Sony agréé.

Caractéristiques

Une série de PFM-42X1 est des écrans 16:9 à panneau plat de 42 pouces utilisant un écran PDP (écran d'affichage à plasma) et acceptant différents types de signaux grâce au convertisseur à balayage intégré.

Une image nette et lumineuse

La série PFM-42X1 utilise un écran plasma à haute définition de 1.024 points × 768 lignes. Ceci permet d'obtenir une reproduction d'image nette et lumineuse à partir de nombreuses sources d'images.

Circuit numérique à haute qualité d'image

Le traitement numérique cohérent de tous les signaux d'images offre une reproduction fidèle des images de grande qualité.

Enceintes avec amplification audio

Cet écran est équipé d'amplificateurs numériques dotés d'un son de qualité supérieure, qui vous offrent une bonne présentation lorsqu'ils sont associés avec des enceintes en option.

Autres caractéristiques

- Prises de sortie de haut-parleurs gauche et droit (L/R)
- Connecteurs Control S (IN/OUT)
- Entrée DVI-HDCP*
- Affiche le signal HDTV avec le signal de synchro à trois niveaux.
- Filtre en peigne tridimensionnel pour la séparation NTSC Y/C.
- Filtre en peigne à corrélation de ligne pour la séparation Y/C PAL.
- Détection automatique du signal d'entrée avec indication sur écran.
- Compatible avec Windows[1)]98/2000/ME/XP PnP (Plug and Play).
- Fonction d'image dynamique
- Menus d'affichage sur écran pour différents réglages et sélections
- Affichage sur écran en six langues pour un accès plus convivial. (Langues : anglais, allemand, français, italien, espagnol et japonais)
- Réglage fin de la taille et de la position de l'image
- Fonction de mémoire pour l'enregistrement d'un maximum de vingt réglages d'image.
- Commande ID
- Connecteur REMOTE (RS-232C) (D-sub à 9 broches)
- Accepte les signaux des télécommandes infrarouges Sony utilisant le code SIRCS.
- Décodeur de sous-titres
- Economiseur d'écran pour réduire les phénomènes d'image rémanente ou d'image fantôme.
- Un connecteur optionnel est prévu pour une extension future.

* Sauf pour le PFM-42X1N

Avertissement sur le raccordement électrique

Utilisez un cordon d'alimentation approprié à votre tension secteur locale.

Série de PFM-42X1

	Etats-Unis, Canada	Europe continentale		Royaume-Uni, Irlande, Australie, Nouvelle-Zélande	Japon
Type de fiche	VM0233	COX-07	636	—[a)]	VM1296
Extrémité femelle	VM0089	COX-02	VM0310B	VM0303B	VM1313
Type de cordon	SVT	H05VV-F		CEE (13) 53rd (O.C)	HVCTF
Tension et courant minimum	10A/125V	10A/250V		10A/250V	10A/125V
Homologation de sécurité	UL/CSA	VDE		VDE	DENAN-HO

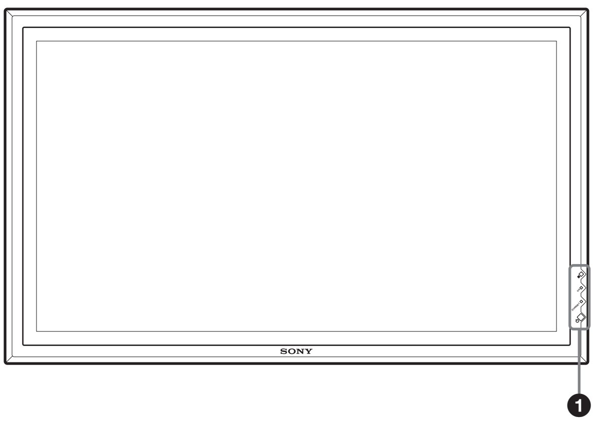
a) Remarque : Utilisez une fiche appropriée conforme à la réglementation locale.

1) Windows est une marque commerciale déposée de Microsoft Corporation (aux Etats-Unis et dans d'autres pays).

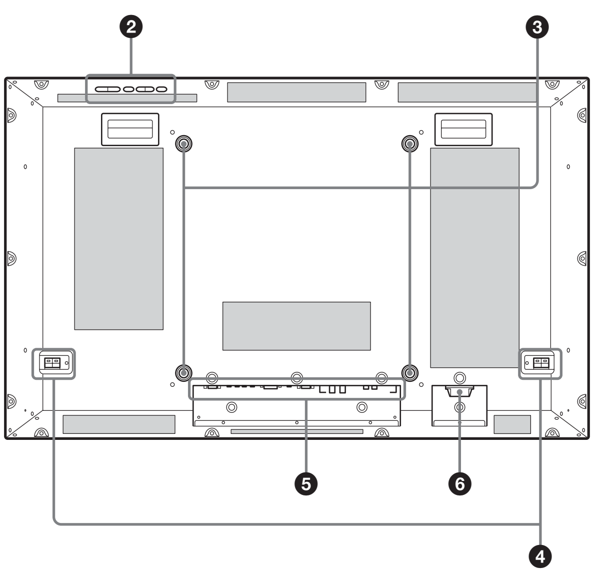
Emplacement et fonction des pièces et commandes

Avant / Arrière / Bas

Avant

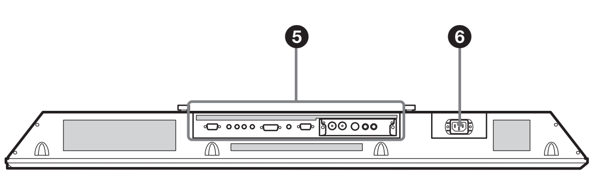


Arrière



Les zones grisées du schéma ci-dessus représentent les orifices de ventilation.

Bas



❶ Section du commutateur / indicateur ⏻ (veille)
Pour obtenir des détails sur la section du commutateur / indicateur ⏻ (veille), reportez-vous à la section « Section du Commutateur / Indicateur ⏻ (veille) », page 8 (FR).

❷ Section des touches de commande
Pour plus de détails sur la section des touches de commande, reportez-vous à la section « Section des touches de commande (Haut) », page 8 (FR).

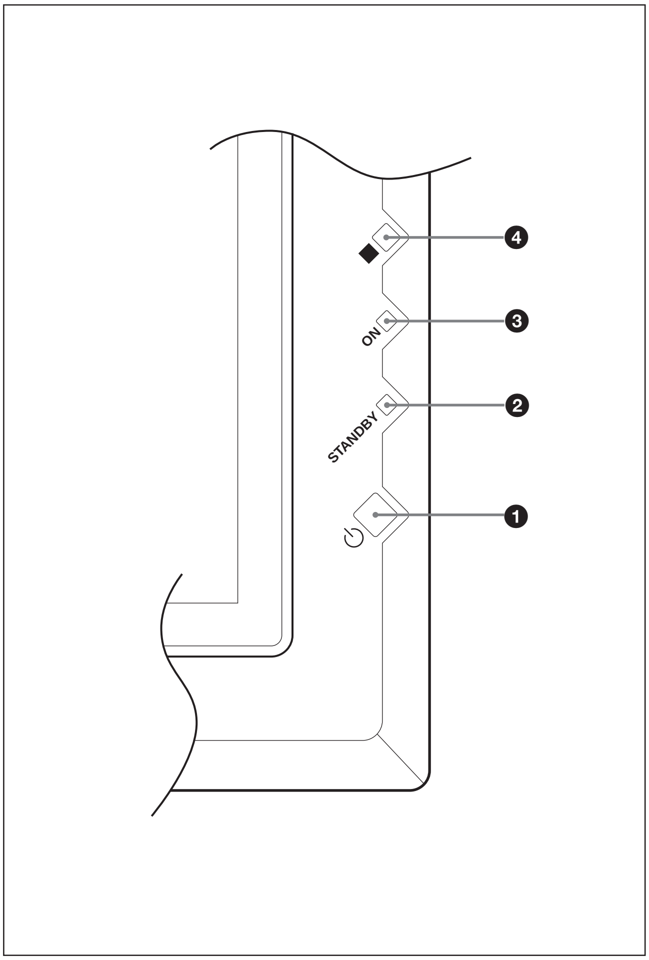
❸ Crochets d'installation du support
Utilisez ces crochets pour installer le support (non fourni).

❹ Prise SPEAKER (sortie audio)
Permet la sortie du signal audio correspondant au signal vidéo à l'écran lorsque des enceintes vendues séparément sont raccordées à cette prise.

❺ Panneau des connecteurs
Pour plus de détails sur le panneau des connecteurs, reportez-vous à la section « Panneau des connecteurs », page 9 (FR).

❻ Prise ∿ AC IN
Raccordez le cordon d'alimentation secteur fourni à cette prise et à une prise murale. Dès que vous branchez le cordon d'alimentation secteur, l'indicateur STANDBY s'allume et le moniteur passe en mode de veille.
Pour plus d'informations sur le cordon d'alimentation, reportez-vous à la section « Raccordement de la prise d'alimentation secteur » page 15 (FR).

Section du Commutateur / Indicateur ⏻ (veille)



❶ Commutateur ⏻ (veille)
Appuyez sur ce commutateur pour mettre l'écran sous tension. Appuyez de nouveau pour revenir en mode de veille.

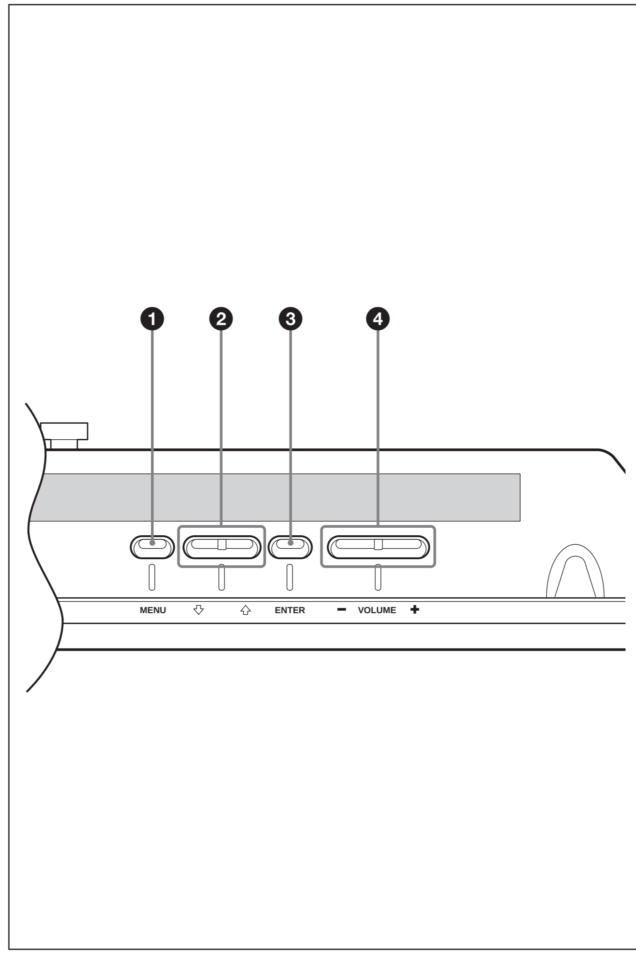
Remarque
Pour protéger le panneau, un certain temps est nécessaire pour mettre l'appareil en position ON/ STANDBY. Attendez environ 8 secondes avant d'appuyer une nouvelle fois sur ce commutateur.

❷ Indicateur STANDBY
S'allume en rouge en mode de veille.

❸ Indicateur ON
S'allume en vert lorsque l'écran est sous tension. S'allume en orange lorsque l'écran est en mode d'économie d'énergie.
Pour plus de détails sur la fonction d'économie d'énergie, reportez-vous à la section « Fonction d'économie d'énergie », page 49 (FR).

❹ Capteur de télécommande
Capte le signal de la télécommande.

Section des touches de commande (Haut)



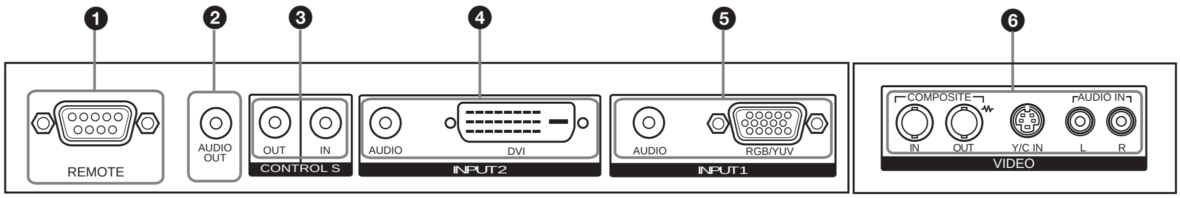
❶ Touche MENU
Appuyez sur cette touche pour faire apparaître les menus. Appuyez de nouveau pour les faire disparaître.
Lorsque vous utilisez la touche MENU pour revenir au niveau de menu précédent, reportez-vous à la section « Menu Réglage initial » page 24 (FR).

❷ Touches ⬇/⬆
Appuyez sur ces touches pour déplacer le curseur (jaune) sur une option que vous souhaitez sélectionner ou pour ajuster une valeur dans un menu.

❸ Touche ENTER
Appuyez sur cette touche pour valider votre choix.

❹ Touche VOLUME +/–
Appuyez sur cette touche pour régler le volume des haut-parleurs.

Panneau des connecteurs



❶ Connecteurs REMOTE (RS-232C) (D-sub à 9 broches)
Ce connecteur vous permet de commander l'écran à distance à l'aide du protocole RS-232C. Pour plus de détails, contactez votre revendeur Sony agréé.

❷ AUDIO OUT (miniprise stéréo)
Emet un signal audio du signal indiqué à l'écran.

❸ CONTROL S IN/OUT (entrée/sortie de signal de commande S) (mini-prise)
En raccordant ce connecteur au connecteur CONTROL S d'un appareil vidéo ou d'un autre écran, vous pouvez commander plusieurs appareils à partir d'une seule télécommande. Raccordez le connecteur CONTROL S OUT de cet écran au connecteur CONTROL S IN de l'autre appareil, puis raccordez le connecteur CONTROL S IN de cet écran au connecteur CONTROL S OUT de l'autre appareil.

❹ Connecteurs INPUT2 (entrée de signal RVB numérique)*
DVI: Se raccorde à la sortie numérique du signal RVB d'un ordinateur.
AUDIO (miniprise stéréo): Transmet un signal audio. Se raccorde à la sortie audio d'un ordinateur.

Raccordez le câble fourni au connecteur DVI.

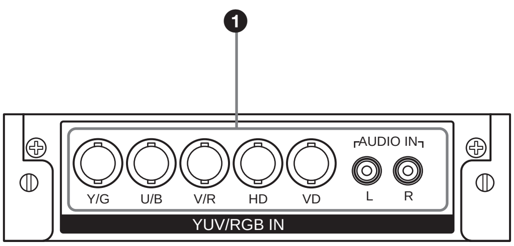
❺ Connecteurs INPUT1 (entrée de signal RVB analogique/composant)
RGB/YUV (D-sub à 15 broches): Se raccorde à la sortie du signal RVB analogique ou du signal composant (YUV) d'un équipement vidéo ou d'un ordinateur.
AUDIO (miniprise stéréo): Emet un signal audio. Se raccorde à la sortie audio d'un équipement vidéo ou d'un ordinateur.

❻ Connecteur VIDEO
Le PFM-42X1N n'est pas doté de connecteurs VIDEO. Pour le modèle PFM-42X1N, les entrées de la vidéo composite et Y/C peuvent être transmises lorsque l'adaptateur d'entrée vidéo BKM-V10 (non fourni) est installé sur l'appareil.
COMPOSITE IN (type BNC): se raccorde à la sortie du signal vidéo composite d'un équipement vidéo.
COMPOSITE OUT (type BNC): se raccorde à l'entrée du signal vidéo composite d'un équipement vidéo.
Y/C IN (mini DIN à 4 broches): se raccorde à la sortie du signal Y/C d'un équipement vidéo.
AUDIO IN L/R (prise à broches): Entre un signal audio. Se raccorde à la sortie audio d'un équipement vidéo.

* Le PFM-42X1N n'est pas doté de connecteurs INPUT2.

Adaptateur d'entrée composant/RGB BKM-V11 (non fourni)

Les connecteurs VIDEO sont des connecteurs enfichables. Vous pouvez remplacer les connecteurs VIDEO (Adaptateur d'entrée vidéo BKM-V10) par un adaptateur d'entrée composant/RGB BKM-V11 (non fourni).
Pour le modèle PFM-42X1N, vous avez le choix entre le BKM-V10, le BKM-V11 ou le BKM-V12.
Pour plus de détails sur l'installation, consultez votre revendeur Sony agréé.



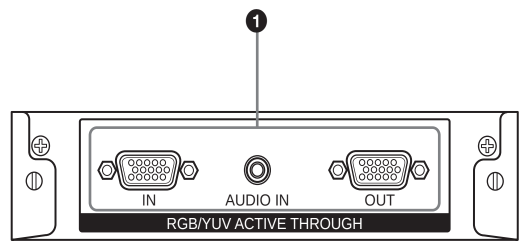
❶ **Connecteur YUV/RGB IN**

YUV/RGB IN (entrée de signal composant/RVB analogique) (type BNC) : Se raccorde à la sortie analogique du signal RVB ou du signal composant (YUV) d'un équipement vidéo.

AUDIO IN L/R (prise à broches) : Entre un signal audio. Se raccorde à la sortie audio d'un équipement vidéo.

Adaptateur actif RVB/composant BKM V12 (non fourni)

Les connecteurs VIDEO sont des connecteurs enfichables. Vous pouvez remplacer les connecteurs VIDEO (adaptateur d'entrée vidéo BKM-V10) par un adaptateur actif RVB/composant BKM-V12 (non fourni).
Pour le modèle PFM-42X1N, vous avez le choix entre le BKM-V10, le BKM-V11 ou le BKM-V12.
Pour plus de détails sur l'installation, consultez votre revendeur Sony agréé.



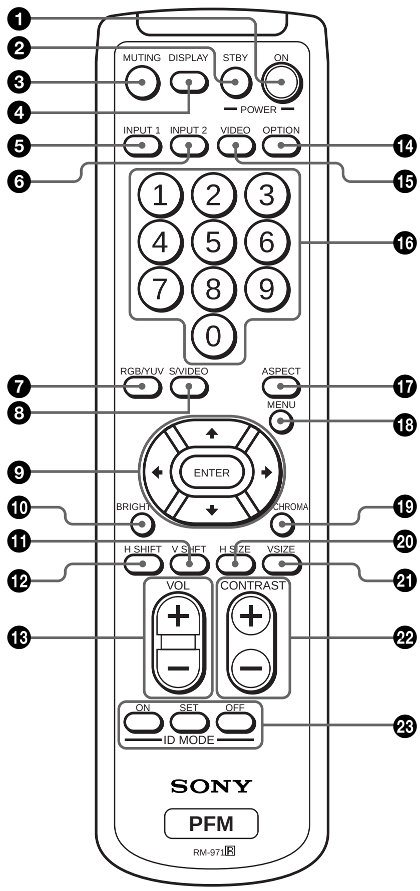
❶ **Connecteurs RGB/YUV ACTIVE THROUGH**

RGB/YUV IN (entrée de signal RVB analogique/ composant) (D-sub à 15 broches) : se raccorde à la sortie du signal RVB analogique ou du signal composant (YUV) d'un équipement vidéo ou d'un ordinateur.

AUDIO IN (miniprise stéréo) : émet un signal audio. Se raccorde à la sortie audio d'un équipement vidéo ou d'un ordinateur.

RGB/YUV OUT (sortie active de signal RVB analogique/composant) (D-sub à 15 broches) : émet l'entrée de signal via les connecteurs RGB/ YUV IN (entrée de signal RVB analogique/ composant) de cet adaptateur.

Télécommande RM-971



❶ Commutateur POWER ON
Appuyez sur ce commutateur pour mettre l'écran sous tension.

❷ Touche STANDBY
Appuyez sur cette touche pour mettre l'écran en mode de veille.

❸ Touche MUTING
Permet de couper le son. Appuyez à nouveau pour restaurer le son.

❹ Touche DISPLAY
Affiche les informations du signal d'entrée et le mode image dans la partie supérieure du panneau d'affichage. Appuyez de nouveau pour les faire disparaître.
Si ces informations affichées ne sont pas modifiées pendant quelques instants, elles disparaissent automatiquement.

❺ Touche INPUT1
Sélectionne l'entrée du signal depuis les connecteurs INPUT1. En utilisant cette touche et la touche ENTER, vous pouvez passer en mode « Picture And Picture (PAP) » (affichage de deux images en même temps) en appuyant sur la touche ENTER, puis sur la touche INPUT1.

❻ Touche INPUT2
Sélectionne l'entrée du signal depuis les connecteurs INPUT2.

❼ Touche RGB/YUV
Appuyez sur cette touche pour sélectionner le format correspondant à celui du signal d'entrée raccordé au connecteur INPUT1. Chaque activation de cette touche permet de basculer entre RVB et composant (YUV).

❽ Touche S/VIDEO
Appuyez sur cette touche pour sélectionner l'entrée de signal vers les connecteurs VIDEO lorsqu'un équipement standard ou un adaptateur BKM-V10 en option est installé.
Chaque activation de cette touche permet de basculer entre COMPOSITE IN et Y/C IN.

❾ Touches ⬆/⬇/⬅/➡/ENTER
Les touches ⬆/⬇/⬅/➡ permettent, entre autres, de déplacer le curseur (jaune) du menu et de régler des paramètres. Appuyez sur la touche ENTER pour valider le menu ou les paramètres de réglage sélectionné(s). En utilisant cette touche et la touche INPUT1, vous pouvez passer en mode « Picture And Picture (PAP) » (affichage de deux images en même temps) en appuyant sur la touche ENTER, puis sur la touche INPUT1.

❿ Touche BRIGHT
Permet de régler la luminosité lorsque le mode image est réglé sur l'un des « Util. 1 » à « Util. 3 ».
Appuyez sur cette touche, puis réglez la luminosité avec la touche ⬆/⬇ ou ⬅/➡ ❾.

⓫ Touche V SHIFT
Ajuste le centrage vertical. Appuyez sur cette touche puis ajustez le centrage vertical à l'aide de la touche ⬆/⬇ ou ⬅/➡ ❾.

⓬ Touche H SHIFT
Ajuste le centrage horizontal. Appuyez sur cette touche puis ajustez le centrage horizontal à l'aide de la touche ⬆/⬇ ou ⬅/➡ ❾.

⑬ Touche VOLUME +/–
Permet de régler le volume.

⑭ Touche OPTION
Sélectionne l'entrée du signal à partir de l'adaptateur en option (sauf pour le BKM-V10) lorsque vous l'installez sur l'appareil.

⑮ Touche VIDEO
Appuyez sur cette touche pour sélectionner le signal émis vers les entrées COMPOSITE IN ou Y/C IN des connecteurs VIDEO lorsqu'un équipement standard ou un adaptateur BKM-V10 en option est installé.

⑯ Touches numériques
Appuyez sur ces touches pour entrer le numéro d'index.

⑰ Touche ASPECT
Permet de définir le format de l'image (Mode gr. format).

⑱ Touche MENU
Appuyez pour faire apparaître les menus. Appuyez de nouveau sur cette touche pour faire disparaître le menu.
Lorsque vous utilisez la touche MENU pour revenir au niveau de menu précédent, reportez-vous à la section « Menu Réglage initial » page 24 (FR).

⑲ Touche CHROMA
Ajuste le chroma lorsque le Mode image est réglé sur l'un des « Util. 1 » à « Util. 3 ». Appuyez sur cette touche et ajustez le centrage horizontal à l'aide des touches ↑/↓ ou ←/→, touche ❾.

⑳ Touche H SIZE
Règle la taille horizontale de l'image. Appuyez sur cette touche puis ajustez la taille horizontale de l'image à l'aide de la touche ↑/↓ ou ←/→ ❾.

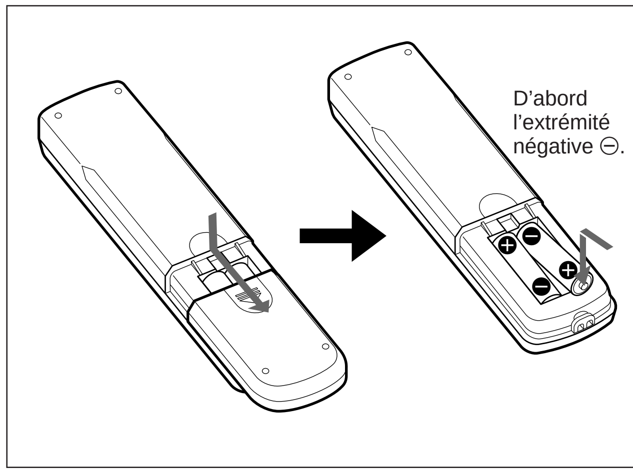
㉑ Touche V SIZE
Ajuste la taille verticale de l'image. Appuyez sur cette touche puis ajustez la taille verticale de l'image à l'aide de la touche ↑/↓ ou ←/→ ❾.

㉒ Touche CONTRAST +/–
Régle le contraste. Ajuste le contraste lorsque le Mode image est réglé sur l'un des « Util. 1 » à « Util. 3 ».

㉓ Touches ID MODE (ON/SET/OFF)
Appuyez sur la touche ON pour faire apparaître un numéro d'index à l'écran. Saisissez ensuite le numéro d'index de l'écran que vous souhaitez utiliser à l'aide du pavé numérique ⑯, puis appuyez sur la touche SET. Une fois l'opération terminée, appuyez sur la touche OFF pour passer du mode ID au mode normal.
Pour plus d'informations sur le numéro d'index, reportez-vous au paragraphe « Utilisation d'un écran spécifique avec la télécommande » page 50 (FR).

Installation des piles

Introduisez deux piles AA (R6) en respectant la polarité.



- En mode d'utilisation normale, les piles devraient durer environ six mois. Si la télécommande ne fonctionne pas correctement, il est possible que les piles soient vides. Remplacez-les par des piles neuves.
- Pour éviter des dommages découlant de la fuite des piles, retirez-les de la télécommande si vous prévoyez de ne pas l'utiliser pendant une période prolongée.

Attention

Risque d'explosion en cas de remplacement des piles par des piles de type incorrect. Jetez les piles usées conformément aux instructions.

Lorsque la télécommande ne fonctionne pas

Vérifiez que le voyant STANDBY s'allume et que Mode télécomm. du menu Télécommande est activé. La télécommande actionne l'écran uniquement lorsque les deux conditions énoncées ci-après sont remplies.
- L'écran est sous tension ou est en mode de veille.
- Le Mode télécomm. du menu Télécommande est réglé sur « Marche ».

Pour plus d'informations sur le Mode télécomm., reportez-vous au paragraphe « Menu Télécommande » page 25 (FR).

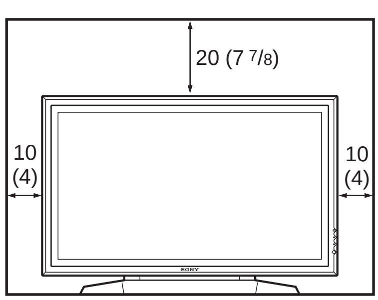
Attention

Laissez suffisamment d'espace autour de l'écran d'affichage

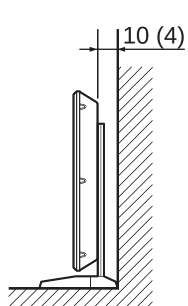
- Lorsque vous utilisez l'écran, assurez-vous que l'espace présent autour de l'affichage est plus important que celui indiqué dans l'illustration ci-dessous. Ceci permettra d'assurer une ventilation correcte.
- La température ambiante doit être comprise entre 0 °C et +35 °C (32 °F à 95 °F).
- Lors du montage de l'écran à l'horizontale, utilisez le support d'écran SU-42B (non fourni).
- Concernant l'installation du matériel, tel que les supports, les vis ou les boulons, il n'est pas possible de spécifier les produits. L'installation actuelle dépend des revendeurs locaux autorisés. Contactez un personnel Sony qualifié lors de l'installation.
- Lorsque l'appareil est sous tension, certaines pièces peuvent chauffer et provoquer des brûlures. Lorsque l'écran est sous tension ou juste au moment où il passe en mode de veille, ne touchez pas la partie supérieure ou l'arrière de l'appareil.

Lorsque vous utilisez le support (non fourni)

Avant



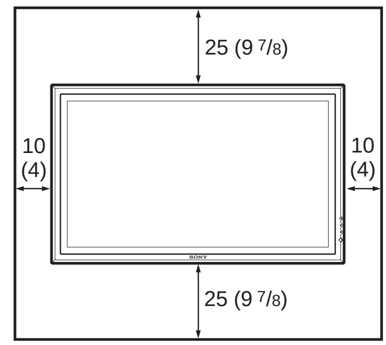
Côté



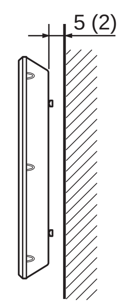
Unités : cm (pouces)

Utilisation de l'écran à l'horizontale

Avant



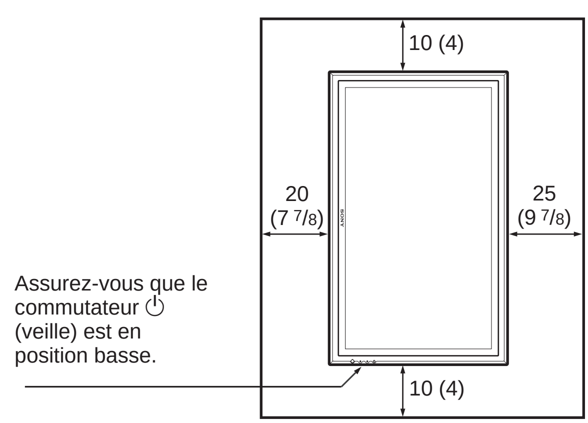
Côté



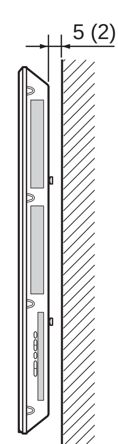
Unités : cm (pouces)

Utilisation de l'écran à la verticale

Avant



Côté



Unités : cm (pouces)

Remarques sur le phénomène d’image rémanente

Si des images des types 1 à 5 (ci-dessous) restent affichées pendant une longue période, une image rémanente peut apparaître dans certaines zones de l’écran à cause des caractéristiques propres à l’écran à plasma. Pour réduire l’effet d’image rémanente, suivez les étapes A à D.

Situations susceptibles d’entraîner la formation de traînées de lumière ou d’une image rémanente

1 Bandes noires apparaissant dans le haut et le bas de l’écran lors du visionnage d’une source vidéo au format grand écran (image au format Letter box)

2 Bandes noires apparaissant sur la gauche et la droite de l’écran lors du visionnage d’une source vidéo au format d’écran 4:3 (diffusions d’émissions de télévision normales)

3 Sources de jeux vidéo

4 Affichages des menus à l’écran des DVD

5 Menus à l’écran, numéros des canaux, etc., des appareils raccordés tels qu’un récepteur satellite DSS, un décodeur de câblodistribution, des platines vidéo, etc.

Précautions permettant d’éviter ou de réduire les phénomènes de traînées de lumière et d’image rémanente

A Utiliser la fonction automatique d’économiseur d’écran actif.

B Éviter d’afficher les numéros de canaux, les menus à l’écran, etc., des appareils raccordés tels qu’un récepteur satellite DSS, un décodeur de câblodistribution, des platines vidéo, etc. Pour désactiver l’affichage des numéros de canaux ou des menus à l’écran, reportez-vous au manuel de l’utilisateur de l’appareil raccordé.

C Réduire la luminosité de l’image et afficher la source vidéo en mode « Agr. 4:3 » ou « 16:9 ».

D Lorsque vous utilisez le mode « 4:3 » ou le mode « Picture And Picture (PAP) », vous pouvez régler la luminosité de l’arrière-plan en utilisant la fonction « Arrière-plan » du menu « Economiseur d’écran » afin de réduire la différence de luminosité entre la zone de l’image et la zone de l’arrière-plan sans signal vidéo. Ceci permet d’éviter l’impression d’une image sur l’écran ainsi que les images rémanentes.

E Il est possible de réduire une image rémanente peu marquée avec l’option « Invers. image » (Inversion de l’image) du menu « Economiseur d’écran », mais il n’est pas possible de l’éliminer entièrement une fois qu’elle s’est formée.

Remarques sur l’option « Invers. image » (Inversion de l’image) du menu « Economiseur d’écran »

Si l’image s’affiche comme un négatif de film, « Invers. image » (Inversion de l’image) dans « Economiseur d’écran » est peut-être réglé sur « Auto » ou « Marche ». Pour revenir à une image normale, sélectionnez « Arrêt » ou modifiez le délai spécifié dans « Auto ».
L’option « Invers. image » (Inversion de l’image) permet d’intervertir les teintes de l’image (p. ex. le blanc devient noir et le noir devient blanc) et de corriger le phénomène d’image rémanente de l’image affichée. En mode d’inversion de l’image, celle-ci ressemble à un négatif de film. Ceci n’a rien d’anormal.

Raccordements

Avant de commencer

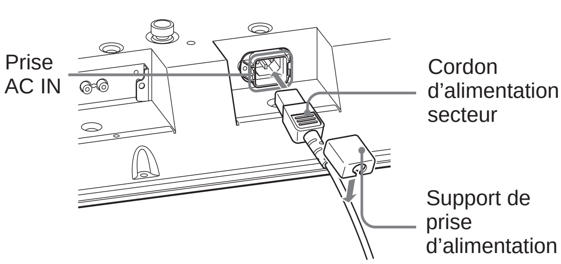
- Assurez-vous dans un premier temps que tous les appareils sont hors tension.
- Utilisez des câbles de connexion adaptés aux appareils à raccorder.
- Les connecteurs de câbles doivent être complètement insérés dans les prises. Une connexion lâche risque de provoquer du souffle ou d'autres parasites.
- Pour débrancher le câble, saisissez-le par la fiche. Ne tirez jamais sur le câble lui-même.
- Référez-vous au mode d'emploi de l'appareil à raccorder.
- Insérez bien le connecteur dans la prise AC IN.
- Utiliser l'un des deux supports de la prise secteur (fournis) qui maintiennent en place la prise secteur.

Raccordement des haut-parleurs

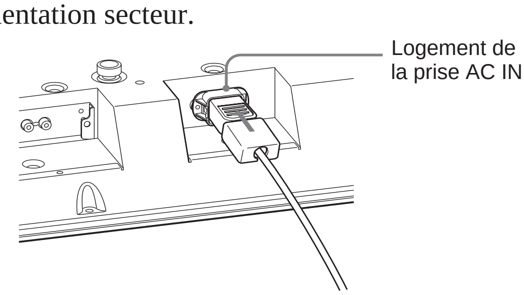
Vous pouvez bénéficier d'une ambiance plus réelle en raccordant les enceintes (SS-SP20B, non fournies). Assurez-vous de raccorder les enceintes correctement. Pour plus d'informations sur le raccordement des enceintes, reportez-vous à leur mode d'emploi.

Raccordement de la prise d'alimentation secteur

1 Branchez le cordon d'alimentation secteur dans la prise AC IN. Fixez ensuite le support de prise AC (fourni) au cordon d'alimentation secteur.



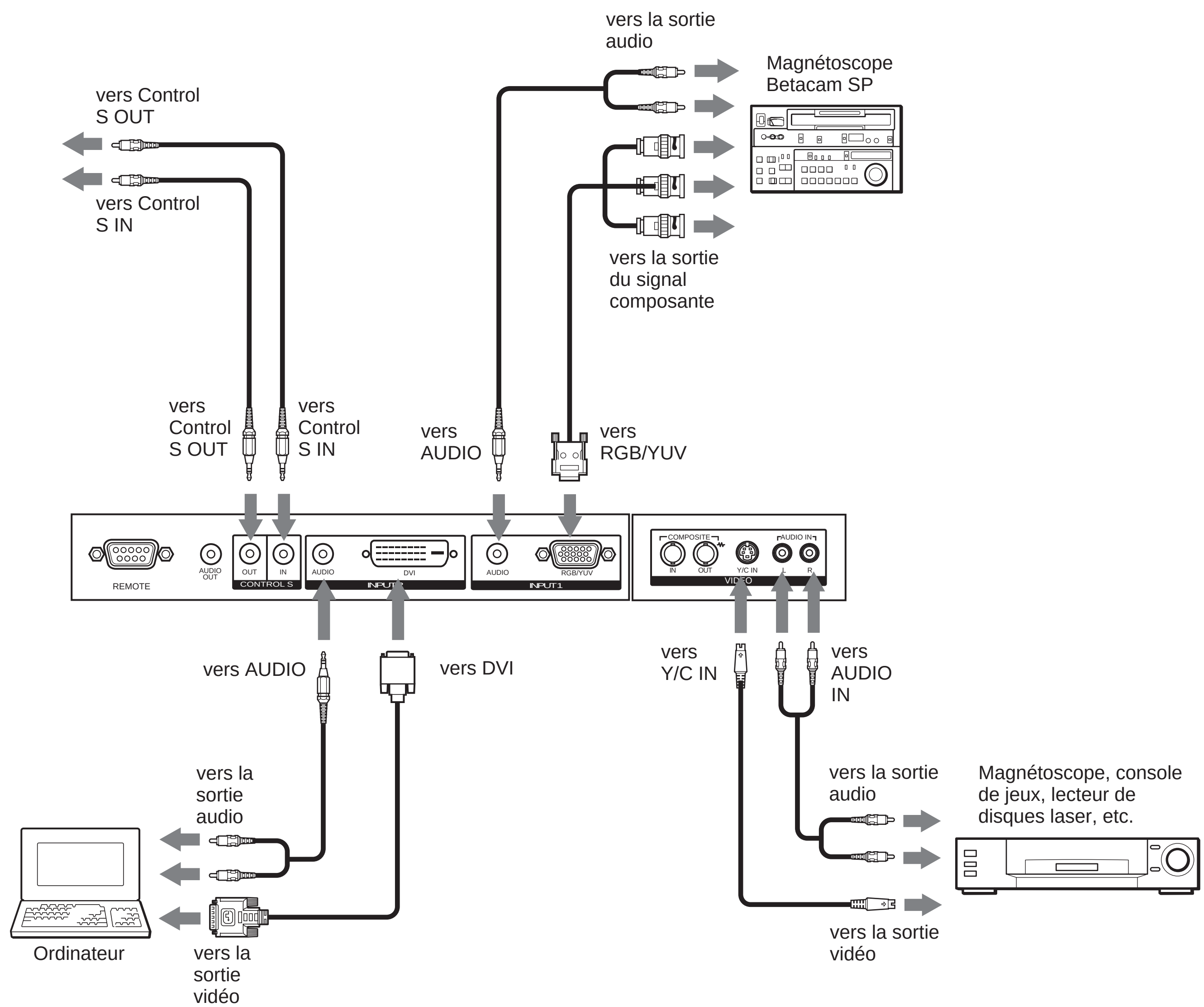
2 Faites glisser le support de prise d'alimentation secteur par-dessus le cordon jusqu'à ce qu'il s'enclenche dans le logement de la prise d'alimentation secteur.



Pour ôter le cordon d'alimentation secteur

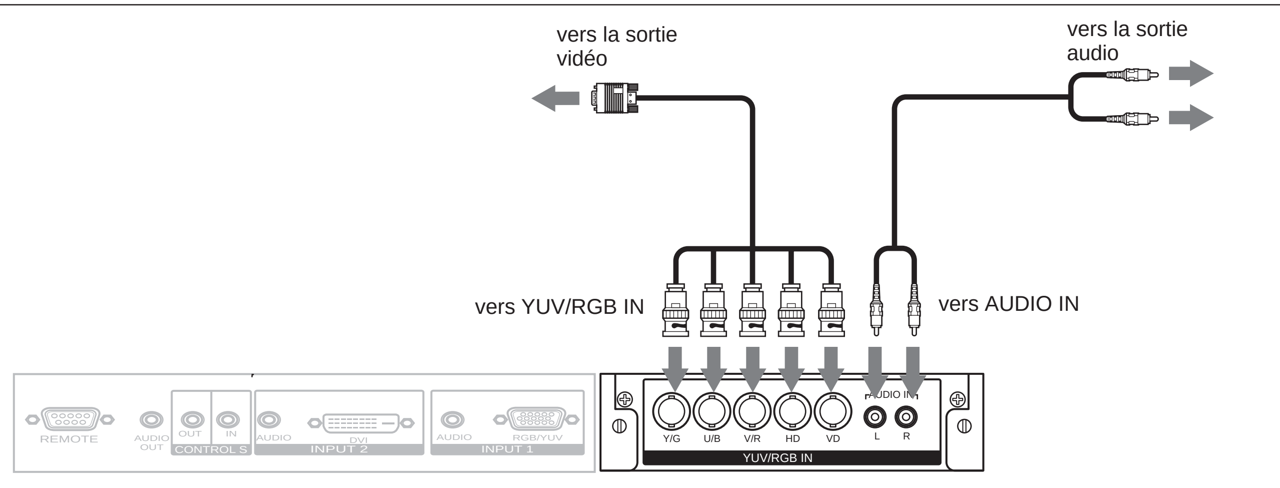
Après avoir pincé le support de la prise de courant alternatif pour la libérer, saisissez la prise et retirez le cordon d'alimentation secteur.

Exemple de raccordement

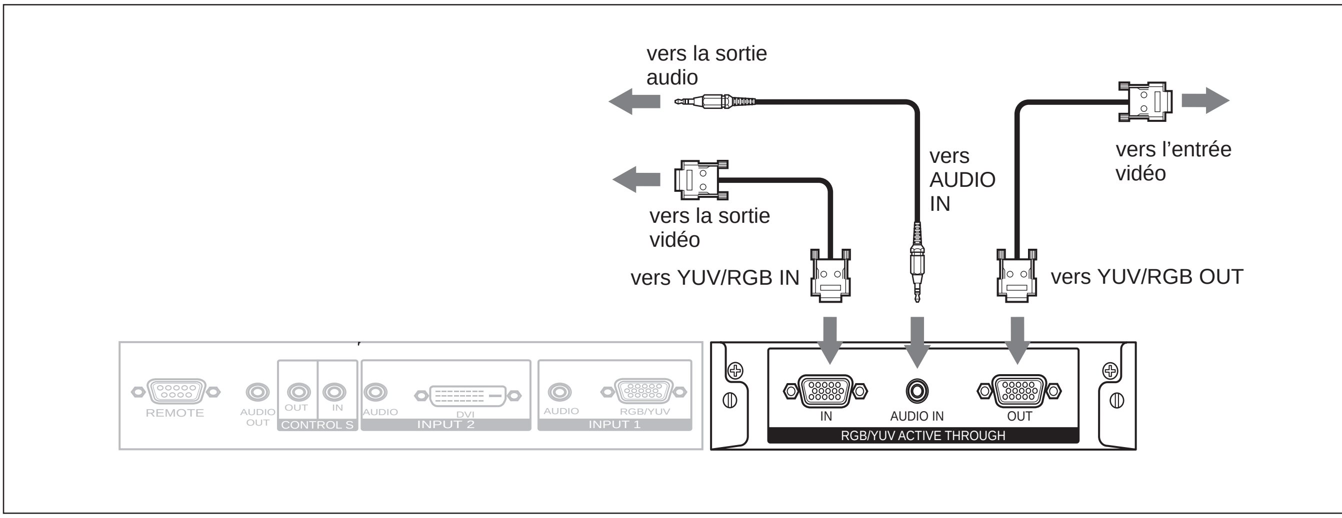


Pour le PFM-42X1N, l'exemple de raccordement s'applique lorsqu'un adaptateur d'entrée vidéo BKM-V10 est installé.
Le PFM-42X1N n'est pas doté de connecteurs INPUT2.

Si un adaptateur d'entrée composant/RVB BKM-V11 en option est installé

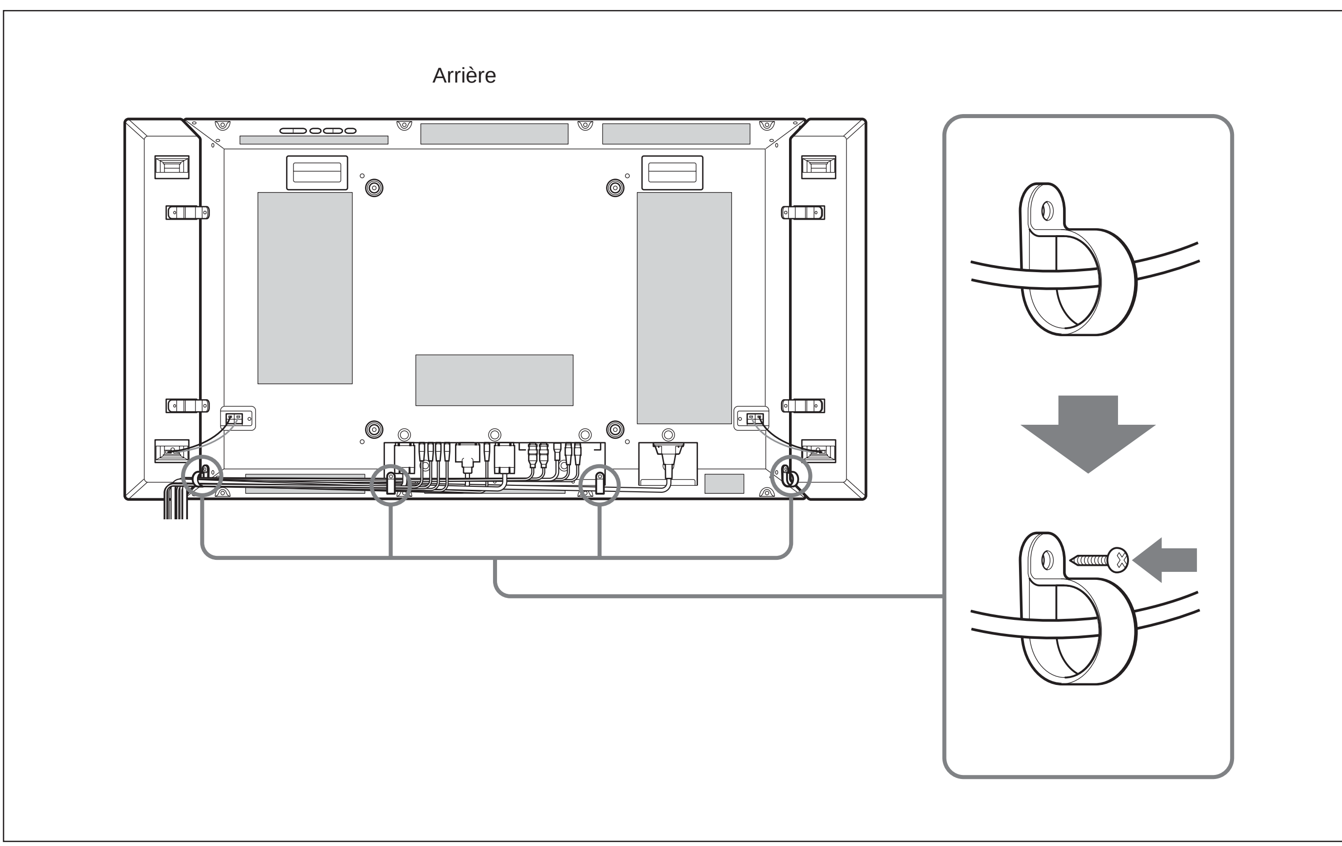


Si un adaptateur actif RVB/composant BKM-V12 en option est installé



Utilisation des attaches de câbles

Les porte-câbles (×4) fournis vous permettent de regrouper correctement les câbles en faisceau. Fixez les porte-câbles comme indiqué dans l'illustration ci-dessous.

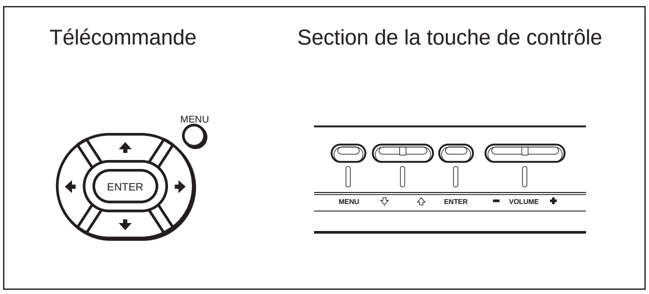


Utilisation des menus d'affichage

Exploitation des menus

Touches d'exploitation des menus

Utilisez les touches de l'écran ou de la télécommande pour les opérations de menu.



L'utilisation à l'aide de la télécommande est expliquée dans ce mode d'emploi. Les touches ↑/↓ et ENTER de la télécommande possèdent les mêmes fonctions que les touches ↑/↓ et ENTER de l'écran.

Remarque

Le fonctionnement peut être différent dans certains cas, puisqu'il n'y a pas de touche ←/→ sur l'écran.

Configuration des menus

Pour sélectionner la langue d'affichage des menus, reportez-vous à la section « Sélection de la langue d'affichage à l'écran » à la page 43 (FR).

1 Appuyez sur MENU.
Le menu principal apparaît à l'écran.



2 Appuyez sur ↑/↓ pour déplacer le curseur (jaune) vers le menu principal que vous souhaitez sélectionner, puis appuyez sur ENTER ou la touche →. Le curseur passe au menu suivant.

3 Appuyez sur ↑/↓ pour déplacer le curseur (jaune) vers le paramètre que vous souhaitez sélectionner, puis appuyez sur ENTER ou la touche →.
Le menu correspondant au paramètre sélectionné apparaît.
Sélectionnez les paramètres en répétant cette procédure.

4 Appuyez sur ↑/↓ pour régler ou sélectionner le réglage et appuyez sur ENTER pour confirmer.
Ce réglage est alors enregistré et l'affichage revient au menu précédent.

Pour terminer la configuration et revenir à l'écran normal, appuyez sur MENU.
Pour revenir au niveau du menu précédent, appuyez sur ↑/↓ pour déplacer le curseur sur ↩, puis appuyez sur ENTER ou sur la touche ←.
Si vous souhaitez utiliser la touche MENU pour revenir au niveau du menu précédent, reportez-vous à « Fonction MENU » à la page 24 (FR).

Guide de menu

Remarque

Les paramètres ne pouvant être réglés ni ajustés (en fonction du réglage ou du type d'entrée du signal) s'affichent en gris foncé.

Menu Commande image/son

Permet de régler la qualité visuelle et sonore des signaux dont les images sont affichées à l'écran.



Mode image

Définit la qualité d'image correspondant au type d'image ou à la luminosité de l'endroit où est installé l'appareil.
Pour obtenir plus de détails, reportez-vous à la section « Sélection du mode de qualité de l'image » à la page 30 (FR).

Menu Réglage de l'image

Ce menu permet le fin réglage de l'image.
Réglez le Mode Image sur l'un des Util. 1 à 3.

Remarque

Il est impossible d'ajuster les paramètres suivants lorsque le Mode Image est réglé sur « Standard » ou « Eclatant ».





Contraste

Appuyez sur ↑/→ pour augmenter le contraste et appuyez sur ↓/← pour le diminuer.

Luminosité

Appuyez sur ↑/→ pour rendre l'image plus lumineuse et appuyez sur ↓/← pour la rendre plus sombre.

Chroma

Appuyez sur ↑/→ pour augmenter la saturation des couleurs et appuyez sur ↓/← pour la diminuer.

Phase

Appuyez sur ↑/→ pour rendre l'image plus verdâtre et appuyez sur ↓/← pour la rendre plus rougeâtre.

Netteté

Appuyez sur ↑/↓ pour augmenter le niveau de correction du contour de l'image et appuyez sur ↑/↓ pour le réduire.

Réd. du bruit

Permet de régler le niveau de réduction de la granularité et des interférences de couleur de l'image. Quatre niveaux de réduction sont possibles : « Arrêt », « Faible », « Moyen » et « Elevé ».
Pour obtenir plus de détails, reportez-vous à la section « Réd. du bruit » à la page 31 (FR).

Image dynamique

Permet d'améliorer le contraste en rendant les blancs plus vifs et les noirs plus foncés.
Pour obtenir plus de détails, reportez-vous à la section « Image dynamique » à la page 32 (FR).

Temp. couleur

Modifie la température des couleurs.
Pour plus de détails, reportez-vous à la section « Temp. couleur » à la page 32 (FR).

Correct. gamma

Permet de régler l'équilibre entre les portions lumineuses et sombres de l'image. Trois niveaux de correction sont possibles : « Elevé », « Moyen » et « Faible ».
Pour obtenir plus de détails, reportez-vous à la section « Correct. gamma » à la page 33 (FR).

Réinit.

Restaure les réglages par défaut des options du menu Réglage de l'image.
Pour plus de détails sur l'utilisation de la fonction de réinitialisation, reportez-vous à la section « Restauration des réglages par défaut des options du menu Réglage de l'image » à la page 34 (FR).

Menu Réglage du son

Ce menu permet le fin réglage du son.
Réglez le Mode Image sur l'un des Util. 1 à 3.

Remarque

Il est impossible d'ajuster les paramètres suivants lorsque le Mode Image est réglé sur « Standard » ou « Eclatant ».



Aigus
Appuyez sur ↑/→ pour augmenter le niveau des sons aigus ou sur ↓/← pour le réduire.

Graves
Appuyez sur ↑/→ pour augmenter le niveau des sons graves ou sur ↓/← pour le réduire.

Equilibrage
Appuyez sur ↑/→ pour augmenter le volume du côté droit ou sur ↓/← pour augmenter le volume du côté gauche.

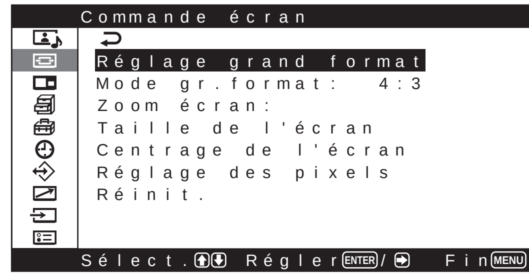
Stéréophonique
La fonction ambiophonique (surround) offre quatre réglages différents : « Arrêt », « Hall », « Simul. »
Pour obtenir plus de détails, reportez-vous à la section « Stéréophonique » à la page 41 (FR).

Réinit.
Restaure les réglages par défaut des options du menu Réglage du son.
Pour obtenir plus de détails sur la fonction de réinitialisation, reportez-vous à la section « Restauration des paramètres du menu Réglage du son à leurs valeurs initiales » à la page 41 (FR).

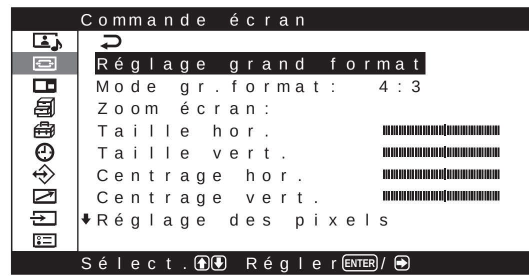
Menu Commande écran

Ce menu permet d'ajuster la taille de l'image et de la repositionner à l'écran.
L'écran et la méthode de fonctionnement du menu Taille image peuvent varier, selon le réglage de la touche Menu.
Pour obtainir plus de détails, reportez-vous à la section « Fonction MENU » à la page 24 (FR).

Lorsque la fonction MENU est réglée sur « Mar/arr. » (Réglage par défaut)



Lorsque la fonction MENU est réglée sur « Retour »



Réglage grand format
Permet de régler la fonction de grand format automatique. La fonction de grand format automatique permet de sélectionner des émissions de télévision classiques ou des images plein écran, ayant toutes un affichage horizontal et vertical différent et agrandit automatiquement l'image avec un rapport d'aspect de 16:9, permettant d'afficher de manière appropriée différents types d'images.
Pour obtenir plus de détails, reportez-vous à la section « Réglage du grand format automatique » à la page 35 (FR).

Mode gr. format
Permet de changer le mode d'affichage de l'écran large pour le faire correspondre au type de l'image et à ses proportions.
Pour obtenir plus de détails, reportez-vous à la section « Réglage du Mode gr. format » à la page 36 (FR).

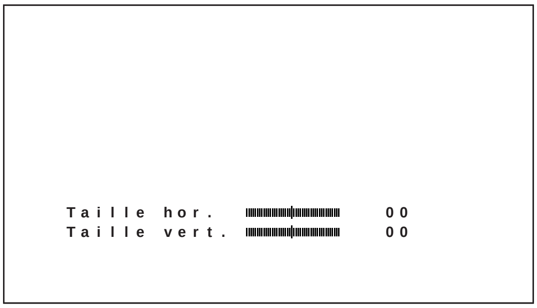
Zoom écran
Agrandit l'image au double (×2), au triple (×3) ou au quadruple (×4), dans cet ordre.

Remarque

Les réglages d'agrandissement de l'image peuvent uniquement être utilisés lorsque le Mode gr. format est réglée sur « 16:9 ».

Menu Taille de l'écran

Ce menu permet d'ajuster la taille de l'image.
L'écran suivant apparaît lorsque la fonction MENU est réglée sur « Mar/arr. »

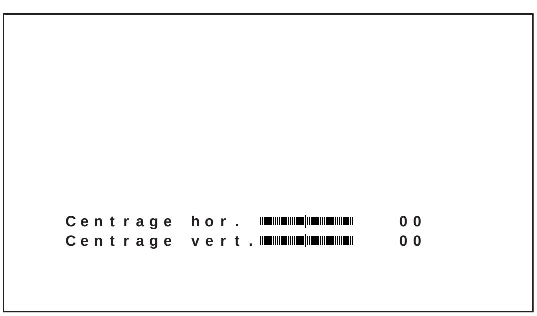


Taille hor.
Réglage horizontal de la taille de l'image. Appuyez sur → pour augmenter la largeur de l'image ou sur ← pour la réduire.

Taille vert.
Réglage vertical de la taille de l'image. Appuyez sur ↑ pour augmenter la hauteur de l'image ou sur ↓ pour la réduire.

Menu Centrage de l'écran

Ce menu permet de régler le centrage de l'image.
L'écran suivant apparaît lorsque la fonction MENU est réglée sur « Mar/arr. »



Centrage hor.
Réglage horizontal du centrage de l'image. Appuyez sur → pour déplacer l'image vers la droite ou sur ← pour la déplacer vers la gauche.

Centrage vert.
Réglage vertical du centrage de l'image. Appuyez sur ↑ pour déplacer l'image vers le haut ou sur ↓ pour la déplacer vers le bas.

Menu Réglage des pixels

Ce menu permet de régler les pixels de l'image.
Le réglage de ce paramètre est possible uniquement lorsque le signal de l'ordinateur est en cours de réception.



Auto réglage
Réglage automatique de la phase des points et du nombre total de pixels horizontaux.
Pour obtenir plus de détails, reportez-vous à la section « Réglage des pixels » à la page 37 (FR).

Phase de points
Permet de régler la phase des points. Appuyez sur ↑/→ pour augmenter le niveau de phase des points ou sur ↓/← pour le réduire.

Total pixels h.
Réglage du nombre total de pixels horizontaux. Appuyez sur ↑/→ pour augmenter le nombre de pixels ou sur ↓/← pour le réduire.

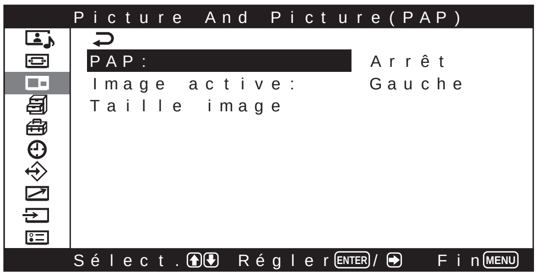
Réinit.
Restaure les réglages par défaut des options du menu Réglage des pixels.
Pour obtenir plus de détails sur la fonction de réinitialisation, reportez-vous à la section « Pour restaurer les options de menu Réglage des pixels à leurs aigus d'origine » à la page 38 (FR).

Réinit.

Restaurez les réglages par défaut des options du menu Commande écran.
Pour plus d'informations sur l'utilisation de la fonction de réinitialisation, reportez-vous à la section « Restauration des paramètres du menu Commande écran à leurs valeurs initiales » page 38 (FR).

Menu Picture And Picture (PAP) (Image et image)

Vous pouvez afficher deux images de signaux source différents côte à côte.

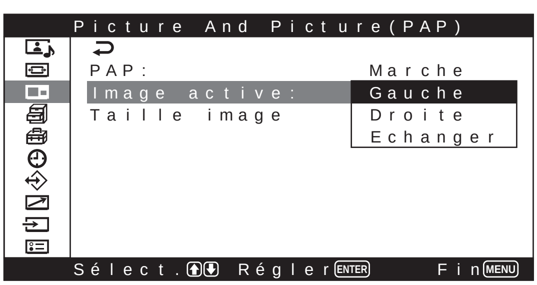


Pour de plus amples détails, reportez-vous à la section « Affichage de deux images en même temps » à la page 39 (FR).

PAP
Pour afficher deux images en même temps, réglez sur « Marche ».

Les menus suivants sont accessibles lorsque PAP est réglé sur « Marche ».

Menu Image active



Gauche
Active l'image de gauche pour pouvoir l'utiliser.

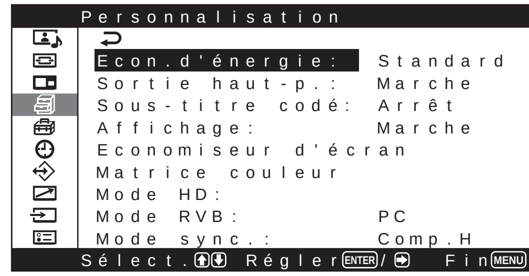
Droite
Active l'image de droite pour pouvoir l'utiliser.

Echanger
Echange la position des deux images.

Taille image
Zoom avant sur l'une des deux images.

Menu Personnalisation

Restaure les réglages par défaut des options du menu Commande écran.



Econ. d'énergie
Permet d'économiser l'électricité tout en continuant d'utiliser l'écran.
Pour obtenir plus de détails, reportez-vous à la section « Fonction d'économie d'énergie » à la page 29 (FR).

Sortie haut-p.
Permet la sortie du son sur les haut-parleurs SS-SP20B (non fournis) lorsqu'il est réglé sur Marche.

Sous-titre codé
Permet l'affichage des sous-titres.
Pour obtenir plus de détails, reportez-vous à la section « Affichage de sous-titres » à la page 29 (FR).

Affichage
Sélectionnez Marche pour afficher les informations du signal d'entrée pendant environ cinq secondes dans le coin supérieur gauche de l'écran lorsque l'appareil est mis sous tension ou lors de la commutation du signal d'entrée.

Menu Economiseur d'écran

Permet de corriger ou réduire les dommages dus à une image rémanente ou imprimée résultant de l'affichage prolongé de la même image sur l'écran.



Invers. image
Permet de régler l'économiseur d'écran qui inverse les couleurs de l'image.
Pour obtenir plus de détails, reportez-vous à la section « Fonction d'économiseur d'écran » à la page 43 (FR).

Mouvement image
Permet de régler un économiseur d'écran qui déplace automatiquement les images après un délai prédéterminé.
Pour obtenir plus de détails, reportez-vous à la section « Fonction d'économiseur d'écran » à la page 43 (FR).

Arriére-plan
Permet de régler la luminosité de l'arrière-plan (zone sans signal vidéo) alors que le mode du format 4:3 ou le mode « Picture And Picture (PAP) » est utilisé.
Pour plus de détails, reportez-vous à la section « Fonction d'économiseur d'écran », page 43 (FR).

Matrice couleur
Permet de régler la matrice couleur de façon à obtenir des couleurs naturelles lors de la réception d'un signal composant.
Pour plus de détails, voir « Réglage de la matrice de couleurs » à la page 46 (FR).

Mode HD
Permet de sélectionner un mode selon la réception des signaux composants analogiques de haute définition (HD) vers les connecteurs YUV sur INPUT1, un BKM-V11 ou un BKM-V12.
1080I: Lors de l'entrée d'un signal 1080I
1035I: Lors de l'entrée d'un signal 1035I

Mode RVB
Définit le mode lorsqu'un appareil émettant des signaux RVB est raccordé à la borne RGB/YUV IN.
DTV: lors du raccordement à un récepteur numérique RVB ou à un autre apareil de ce type.
PC: lors du raccordement à un ordinateur ou autre.

Mode sync.
Définit le mode selon le signal d'entrée sur la 13ème broche de la borne RGB/YUV IN. Les signaux peuvent uniquement être réglés sur 575/50I ou 480/60I.
Comp.H: lors de l'entrée d'un signal horizontal ou d'un signal de synchronisation composite*
Vidéo: lors de l'entrée d'un signal vidéo
*Selon le niveau du signal de synchronisation composite, il est possible que l'image ne soit pas affichée correctement. Dans ce cas, modifiez le réglage du Mode sync.

Réglages du mode de synchronisation et du signal d'entrée

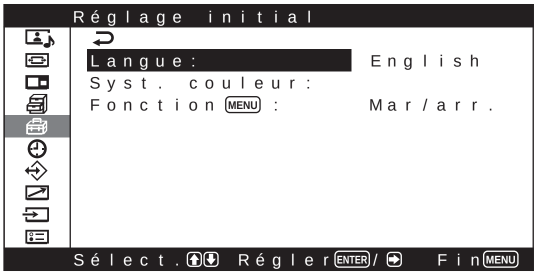
Broches	Entrée du signal sur le connecteur D	Réglage du mode de synchronisation
13	Vidéo composite 480/60I, 575/50I	Vidéo
	Synchronisation composite	Comp. H
13/14	H Sync/V Sync	
2	Sync On Green	

Pour de plus amples informations sur le brochage du connecteur RGB/YUV IN, reportez-vous à la section « Attribution des broches », page 54 (FR).

Remarques
- Certaines entrées acceptent des signaux de synchronisation uniquement. Dans ce cas, l'image ne s'affiche pas même si un signal vidéo est transmis via le connecteur 13 broches. Entrez des signaux de synchronisation horizontaux/verticaux via les connecteurs 13 ou 14 ou entrez des signaux Sync On Green via le connecteur RGB.
- Avec Sync On Green, si l'appareil n'est pas réglé pour accepter les signaux de synchronisation, l'image ne s'affiche pas.
- Les réglages du Mode sync. ne peuvent pas être utilisés avec des cartes en option.
- Cet appareil ne prend pas en charge de synchronisation à trois valeurs du signal de synchronisation composite et du réglage 576/60P.

Menu Réglage initial

Vous pouvez sélectionner la langue des menus et le système couleur ou régler la Fonction MENU.



Langue

Sélection de la langue d'affichage des menus (japonais, anglais, allemand, français, espagnol ou italien).
Pour obtenir plus de détails, reportez-vous à la section « Sélection de la langue d'affichage à l'écran » à la page 43 (FR).

Syst. couleur

Permet de sélectionner le type de signal d'entrée.

Auto : pour afficher les signaux NTSC, PAL, SECAM/NTSC4.43 ou NTSC/PAL-M/PAL-N
NTSC : affichage des signaux NTSC.
NTSC4.43 : affichage des signaux NTSC4.43.
PAL : affichage des signaux PAL.
SECAM : affichage des signaux SECAM.
PAL-M : affichage des signaux PAL-M.
PAL-N : affichage des signaux PAL-N.
PAL60 : affichage des signaux PAL60.

Lorsque le Syst. couleur est réglé sur « Auto », un système de couleur supplémentaire capable d'une détection automatique est réglé au niveau inférieur.

- Détection automatique des systèmes NTSC, PAL, SECAM ou NTSC4.43
- Détection automatique des systèmes NTSC, PAL-M ou PAL-N

Remarque

Le réglage de ce paramètre n'est possible que lorsqu'un signal vidéo est en cours de réception.

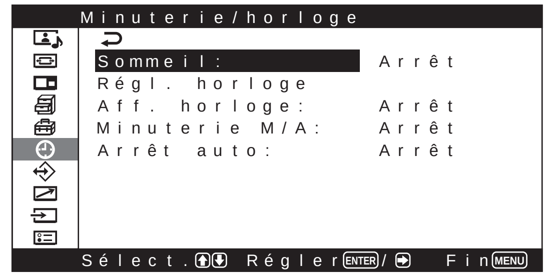
Fonction MENU

La touche MENU permet d'effectuer les opérations suivantes :

Mar/arr. : le menu s'affiche ou s'éteint chaque fois que la touche MENU est enfoncée.
Retour : le curseur revient au niveau de menu précédent chaque fois que la touche MENU est enfoncée.

Menu Minuterie/horloge

Permet de régler la minuterie et l'heure, d'afficher l'horloge intégrée ou de mettre l'appareil sous et hors tension à heure fixe.



Sommeil

L'alimentation est automatiquement coupée après un délai prédéterminé. Le délai de veille peut être réglé à 30, 60, 90 ou 120 minutes.
Pour obtenir plus de détails, reportez-vous à la section « Fonction de sommeil » à la page 47 (FR).

Régl. horloge

Permet de régler l'heure.
Pour obtenir plus de détails, reportez-vous à la section « Réglage de l'heure » à la page 47 (FR).

Aff. horloge

Lorsque cette fonction est active, l'heure réglée s'affiche à l'écran.
Pour obtenir plus de détails, reportez-vous à la section « Affichage de l'heure » à la page 48 (FR).

Minuterie M/A

Permet de régler l'heure à laquelle l'appareil est automatiquement mis sous tension ou hors tension.
Pour obtenir plus de détails, reportez-vous à la section « Activation/désactivation de la fonction de minuterie » à la page 48 (FR).

Arrêt auto

Met automatiquement l'appareil hors tension lorsqu'aucun signal n'est envoyé aux connecteurs INPUT1 ou INPUT2 quand le mode d'entrée est réglé sur RGB.
Pour obtenir plus de détails, reportez-vous à la section « Fonction d'économie d'énergie (MODE ECO) » à la page 49 (FR).

Menu Mémoire utilisateur

Ce menu permet de sauvegarder et de rappeler les réglages des menus Commande image/son et Commande écran.



Pour obtenir plus de détails, reportez-vous à la section « Utilisation des fonctions de la mémoire » à la page 41 (FR).

Charger
Rappelle les réglages prédéfinis.

Sauvegarder
Sauvegarde les réglages prédéfinis.

Menu Télécommande

Ce menu sert au réglage de la télécommande.



Numéro d'index
Définit le numéro d'index de l'écran.

Remarque

Lorsque vous définissez le numéro, utilisez les touches de l'écran. Le numéro d'index ne peut pas être réglé avec la télécommande.
Pour plus d'informations sur le numéro d'index, reportez-vous au paragraphe « Utilisation d'un écran spécifique avec la télécommande » page 50 (FR).

Mode télécomm.
Permet de sélectionner le mode de la télécommande.
Marche : Télécommande de l'écran ou du téléviseur Sony
Arrêt : Désactive la télécommande.

Remarque

Pour changer de mode de télécommande, utilisez les touches de l'écran. Vous ne pouvez pas changer de mode de télécommande avec la télécommande.
Pour obtenir plus de détails, reportez-vous à la section « Utilisation d'autres modèles de télécommande », page 52 (FR).

Téléc. seulem.
Sélectionnez Marche pour désactiver les touches de commande de l'écran. L'écran ne peut être commandé qu'au moyen de la télécommande.
Pour désactiver le mode Tèlèc. seulem., réglez « Tèlèc. seulem. » sur « Arr » à l'aide de la télécommande.

Remarque

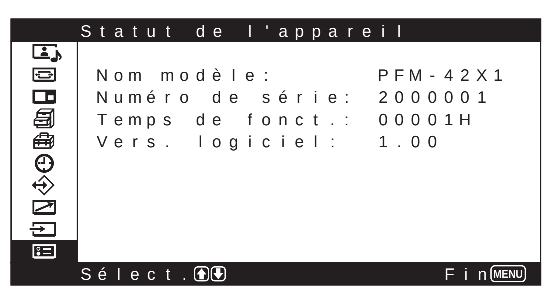
Le réglage de cette option reste en mémoire lorsque vous débranchez le cordon d'alimentation secteur ou lorsque vous mettez l'écran sous ou hors tension.
En cas de perte de la télécommande, vous pouvez désactiver le mode Téléc. seulem. (Remote Only) en appuyant simultanément sur la touche POWER et sur la touche MENU de l'écran.

Menu Sélection entrée

Ce menu sert à passer d'un signal d'entrée à l'autre.
Pour plus d'informations sur la commutation du signal d'entrée, reportez-vous à la section « Commutation du signal d'entrée » à la page 26 (FR).

Menu Statut de l'appareil

Ce menu sert à afficher l'état interne de l'écran.



Nom modèle
Indique le nom du modèle.

Numéro de série
Indique le numéro de série.

Temps de fonct.
Indique le nombre total d’heures d’utilisation.

Remarque

Le mode de veille n’est pas comptabilisé dans les heures d’utilisation.

Vers. logiciel
Indique la version logiciel du système.

Visualisation de l’image

Avant de commencer

- Mettez l’écran sous tension.
- Mettez l’appareil raccordé sous tension et activez la lecture d’une source vidéo.
- Pour afficher sur l’écran les informations du signal d’entrée au moment de la mise sous tension ou de la commutation du signal d’entrée, définissez « Affichage » sur Marche dans le menu Personnalisation.
- Pour sélectionner la langue d’affichage des menus, reportez-vous à la section « Sélection de la langue d’affichage à l’écran » à la page 43 (FR).

Commutation du signal d’entrée

1 Appuyez sur MENU.
Le menu principal apparaît à l’écran.



2 Appuyez sur ⬆/⬇ pour déplacer le curseur (jaune) sur « Selection entrée », puis appuyez sur ENTER ou la touche ➡.
Le menu Selection entrée apparaît à l’écran.



3 Appuyez sur ⬆/⬇ pour déplacer le curseur (jaune) sur la source d’entrée à afficher puis appuyez sur ENTER.

INPUT1 RGB (ENTRÉE1 RVB) : Sélectionne le signal d’entrée (analogique RVB) transmis aux connecteurs INPUT1.

INPUT1 YUV (ENTRÉE1 YUV) : Sélectionne le signal d’entrée (composant) transmis aux connecteurs INPUT1.

INPUT2 DVI (ENTRÉE2 DVI)* : Sélectionne le signal d’entrée (numérique RVB) transmis aux connecteurs INPUT2.

VIDEO COMPOSITE (VIDÉO COMP) : Sélectionne le signal d'entrée transmis au connecteur COMPOSITE IN des connecteurs VIDEO.

VIDEO Y/C (VIDÉO Y-C) : Sélectionne le signal d'entrée transmis au connecteur Y/C IN des connecteurs VIDEO.

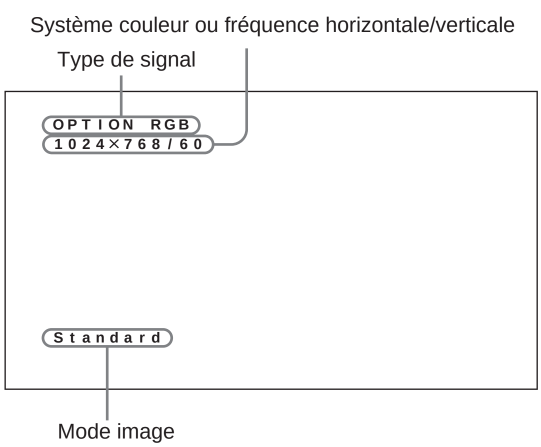
* Lorsque vous utilisez le PFM-42X1N, vous ne pouvez pas sélectionner cette option, car ce modèle n'est pas doté de connecteurs INPUT2.

Si un adaptateur d'entrée composant/RVB BKM-V11 ou un adaptateur actif RVB/ composant BKM-V12 est installé

OPTION YUV : Sélectionne le signal d'entrée (composant) transmis aux connecteurs YUV/RGB IN.

OPTION RGB : Sélectionne le signal d'entrée (analogique RVB) transmis aux connecteurs YUV/RGB IN.

Le signal d'entrée sélectionné apparaît à l'écran.



Vous pouvez commuter le signal d'entrée à l'aide de la télécommande fournie avec l'écran.

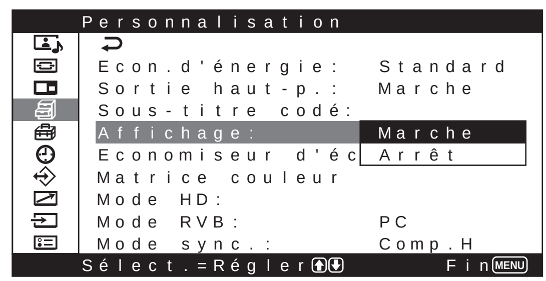
Remarques

- Nous vous recommandons d'utiliser comme source d'entrée un appareil vidéo doté d'un correcteur de base de temps (TBC). Si l'écran reçoit un signal sans TBC, il se peut que l'image disparaisse en raison de perturbations du signal de synchronisation.
- Si des signaux du même format sont transmis par de multiples systèmes, le réglage de la qualité d'image prendra par défaut la valeur définie la plus récente (Uniquement lorsque les formats des signaux sont identiques).

Données relatives au signal d'entrée, au mode image et au statut de l'affichage

Les données relatives au signal d'entrée et au statut de l'affichage sont visibles pendant cinq secondes sur le panneau d'affichage lorsque l'appareil est mis sous tension ou lorsque le signal d'entrée est commuté.
Pour désactiver cette fonction, suivez cette procédure:

1 Dans le menu Personnalisation, appuyez sur les touches ⬆/⬇ pour déplacer le curseur (jaune) sur « Affichage » et appuyez sur ENTER ou la touche ➡.
Le menu suivant apparaît à l'écran.



2 Appuyez sur les touches ⬆/⬇ pour définir « Affichage » sur « Arrêt ».

Pour afficher les informations

Réglez « Affichage » sur « Marche » à l'étape **2** ci-dessus. La valeur par défaut est « Marche ».

Remarque

Vous pouvez à tout moment afficher les données du signal d'entrée et le mode Picture en appuyant sur la touche DISPLAY de la télécommande, indpendamment des réglages cités plus haut.

Signaux d'entrée présélectionnés			
	Nom du signal	Système couleur ou fréquence horizontale/verticale	
	Signaux de l'ordinateur		
1	VGA[a)]-1 (VGA 350)	31,5 kHz	70 Hz
2	640×480@60 Hz (VESA[b)] STD)	31,5 kHz	60 Hz
3	Mac[c)] 13"	35,0 kHz	67 Hz
4	VGA (VGA TEXT)	31,5 kHz	70 Hz
5	800×600@60 Hz (VESA STD)	37,9 kHz	60 Hz
6	Mac 16"	49,7 kHz	75 Hz
7	1024×768@60 Hz (VESA STD)	48,4 kHz	60 Hz
8	1024×768@75 Hz (VESA STD)	60,0 kHz	75 Hz
9	1024×768@85 Hz (VESA STD)	68,7 kHz	85 Hz
10	1152×864@75 Hz (VESA STD)	67,5 kHz	75 Hz
11	Mac 21"	68,7 kHz	75 Hz
12	1280×960@60 Hz (VESA STD)	60,0 kHz	60 Hz
13	1280×1024@60 Hz (VESA STD)	64,0 kHz	60 Hz
14	1600×1200@60 Hz (VESA STD)*	75,0 kHz	60 Hz
15	848×480@60 Hz (VESA STD)	29,8 kHz	60 Hz
16	848×480@60 Hz (VESA STD)	29,5 kHz	60 Hz
17	848×480@75 Hz	37,7 kHz	75 Hz
18	1280×768@60 Hz	47,8 kHz	60 Hz
19	1280×768@60 Hz	47,4 kHz	60 Hz
	SDTV/HDTV		
1	PAL	PAL	
2	NTSC	NTSC	
3	SECAM	SECAM	
4	NTSC4.43	NTSC4.43	
5	PAL60	PAL60	
6	PAL-M	PAL-M	
7	PAL-N	PAL-N	
8	575/50i	575/50I	
9	480/60i	480/60I	
10	1080/24psf	1080/48I	
11	1080/50i	1080/50I	
12	576/50p	576/50P	
13	480/60p	480/60P	
14	1080/60i	1080/60I	
15	720/60p	720/60P	
16	720/50p	720/50P	

a) VGA est une marque déposée de International Business Machines Corporation, USA.
b) VESA est une marque déposée de Video Electronics Standards Association.
c) Mac (Macintosh) est une marque déposée de Apple Computer, Inc.

Remarques

- Lors de l'entrée d'un signal HDTV, entrez le signal de synchronisation à 3 niveaux vers la deuxième broche du connecteur RVB/YUV (D-sub à 15 broches) sur INPUT1.
- Si la couleur est trop claire après l'entrée d'un signal DVD dans la série PFM-42X1, réglez la couleur dans l'option « Chroma » du menu Réglage de l'image.
- Lorsque la phase est réajustée, la résolution diminue.
- Le signal suivi de * ne peut pas être transmis à DVI IN.

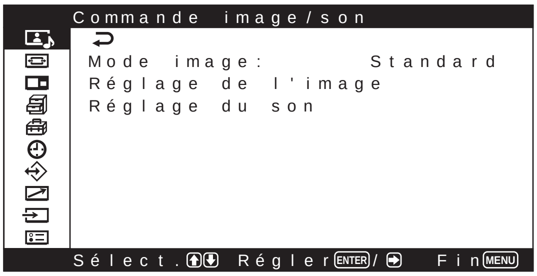
Affichage à l'écran du statut de l'appareil

Affichage à l'écran	Signification
640×480 / 60 (exemple)	Le signal d'entrée sélectionné est le signal RVB d'un ordinateur.
480 / 60P (exemple)	Le signal d'entrée sélectionné est le signal vidéo composante.
NTSC (exemple)	Le signal d'entrée sélectionné est un signal NTSC.
Hors plage	Le signal d'entrée sort de la plage de saisie.
Pas de sync.	Il n'y a pas de signal d'entrée.
INPUT1 RGB	Le mode de signal de INPUT1 est réglé sur RGB.
INPUT1 YUV	Le mode de signal de INPUT1 est réglé sur le signal vidéo composante.
VIDEO COMPOSITE	L'entrée vidéo composite est sélectionnée sur VIDEO.
VIDEO Y/C	L'entrée vidéo Y/C est sélectionnée sur VIDEO.

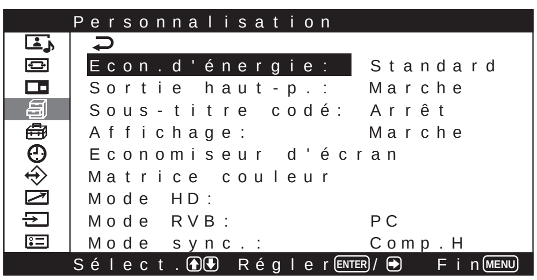
Commutation du mode d'affichage

Affichage de sous-titres

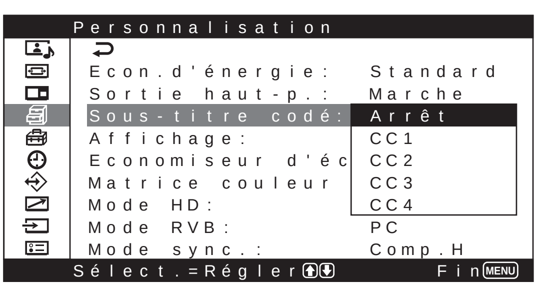
1 Appuyez sur MENU.
Le menu principal apparaît à l'écran.



2 Appuyez sur les touches ↑/↓ pour déplacer le curseur (jaune) sur « Personnalisation » puis appuyez sur ENTER ou la touche →.
Le menu Personnalisation apparaît à l'écran.



3 Appuyez sur les touches ↑/↓ pour déplacer le curseur (jaune) sur « Sous-titre codé » puis appuyez sur ENTER ou la touche →.
Le menu suivant apparaît à l'écran.



4 Sélectionnez le type de sous-titres à l'aide des touches ↑/↓.
Arrêt : Le sous-titre n'est pas affiché.
CC1-4 : Superpose des sous-titres.

5 Appuyez sur ENTER ou sur ← pour revenir au menu Personnalisation.

Fonction d'économie d'énergie

Ceci vous permet de regarder l'écran tout en économisant l'électricité.

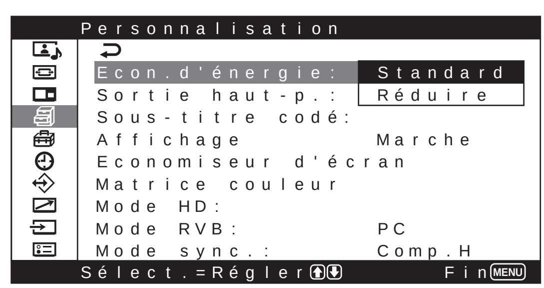
1 Appuyez sur MENU.
Le menu principal apparaît dans la fenêtre d'affichage.



2 Appuyez sur ↑/↓ pour déplacer le curseur (jaune) sur « Personnalisation », puis appuyez sur ENTER ou la touche →.
Le menu Personnalisation apparaît dans la fenêtre d'affichage.



3 Appuyez sur ↑/↓ pour déplacer le curseur (jaune) sur « Econ. d'énergie », puis appuyez sur ENTER ou la touche →.
Le menu suivant apparaît dans la fenêtre d'affichage.



4 Appuyez sur ↑/↓ pour sélectionner le mode Econ. d'énergie.
Standard : Pas d'économie d'énergie
Réduire : Economie d'énergie
Si vous sélectionnez « Réduire », la luminosité de l'image est réduite et vous pouvez regarder des images tout en économisant de l'énergie.

5 Appuyez sur ENTER ou sur ← pour revenir au menu Personnalisation.

Remarques

- Lorsque vous remettez l'appareil sous tension, celui-ci revient automatiquement à « Econ. d'énergie : Réduire ».
- Même si vous avez réglé Econ. d'énergie sur « Réduire », vous pouvez tout de même régler la qualité de l'image. Toutefois, vous risquez de perdre les effets d'économie d'énergie si vous augmentez le contraste ou la luminosité.

Sélection du mode de qualité de l'image

Vous pouvez régler la qualité de l'image correspondant au type d'image ou à la luminosité de l'endroit où est installé l'appareil.

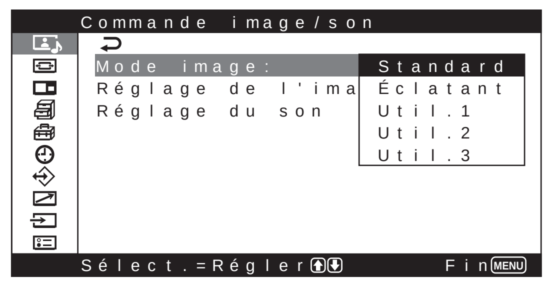
1 Appuyez sur MENU.
Le menu principal s'affiche à l'écran.



2 Appuyez sur ↑/↓ pour déplacer le curseur (jaune) sur « Commande image/son », puis appuyez sur ENTER ou la touche →.
Le menu Commande image/son s'affiche à l'écran.



3 Appuyez sur ↑/↓ pour déplacer le curseur (jaune) sur « Mode image », puis appuyez sur ENTER ou la touche →.
Le menu suivant s'affiche à l'écran.



4 Sélectionnez le mode image souhaité avec la touche ↑/↓.
Standard : Les images sont réalistes avec un réglage moyen des contrastes et du contour.
Éclatant : Les images sont d'une grande netteté avec un réglage maximal des contrastes et des contours.
Util. 1 à 3 : Vous pouvez régler la qualité de l'image à votre convenance à l'aide du menu Réglage de l'image.

5 Appuyez sur ENTER ou sur ← pour revenir au menu Commande image/son.

Réglage de l'image

Pendant que vous visionnez l'image, vous pouvez régler à votre gré le contraste, la luminosité, l'intensité des couleurs, la phase, etc. Ces réglages peuvent être exécutés séparément pour chacun des signaux d'entrée. Vous pouvez également mémoriser les réglages effectués.
Réglez le Mode image sur l'un des « Util. 1 » à « Util. 3 ».

Réglage du contraste, de la luminosité, de l'intensité des couleurs, de la phase, etc.

Appuyez sur la touche MENU pour pour afficher le menu principal et sélectionnez et sélectionnez « Contraste », « Luminosité », « Chroma », « Phase », « Netteté », « Réd. du bruit », « Image dynamique », « Temp. couleur » ou « Correct. gamma » dans le menu Réglage de l'image à l'aide des flèches.

Contraste

Sélectionnez « Contraste » à l'aide des touches ↑/↓ et appuyez sur ENTER.
Ajustez le contraste à l'aide des touches ↑/↓/←/→ dans la plage allant de MIN (0) à MAX (100).

↑/→ : pour augmenter le contraste de l'image
↓/← : pour diminuer le contraste de l'image

Luminosité

Sélectionnez « Luminosité » à l'aide des touches ↑/↓ et appuyez sur ENTER.
Ajustez la luminosité à l'aide des touches ↑/↓/←/→ dans la plage allant de MIN (–50) à MAX (+50).

↑/→ : pour rendre l'image plus brillante
↓/← : pour rendre l'image plus sombre

Chroma

Sélectionnez « Chroma » à l'aide des touches ↑/↓ et appuyez sur ENTER.
Ajustez l'intensité des couleurs à l'aide des touches ↑/↓/←/→ dans la plage allant de MIN (–100) à MAX (+100).

↑/→ : pour augmenter l'intensité des couleurs
↓/← : pour diminuer l'intensité des couleurs

Phase

Sélectionnez « Phase » à l'aide des touches ↑/↓ et appuyez sur ENTER.
Ajustez la phase à l'aide des touches ↑/↓/←/→ dans la plage allant de MMax (50) à VMax (50).

↑/→ : pour donner à l'image une teinte verdâtre
↓/← : pour donner à l'image une teinte rougeâtre

Netteté

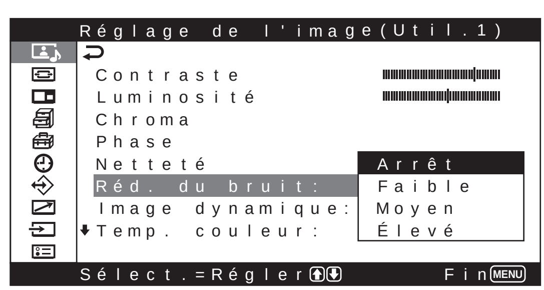
Sélectionnez « Netteté » avec la touche ↑/↓, puis appuyez sur ENTER.
Réglez la netteté avec la touche ↑/↓/←/→. La plage de réglage va de MIN (–10) à MAX (+10).

↑/→ : pour augmenter la netteté de l'image.
↓/← : pour diminuer la netteté de l'image.

Réd. du bruit

Réduction du bruit électrostatique causant de la granularité et des interférences de couleur dans l'image.

1 Sélectionnez « Réd. du bruit » avec la touche ↑/↓, puis appuyez sur ENTER ou la touche →.
Le menu suivant s'affiche à l'écran.



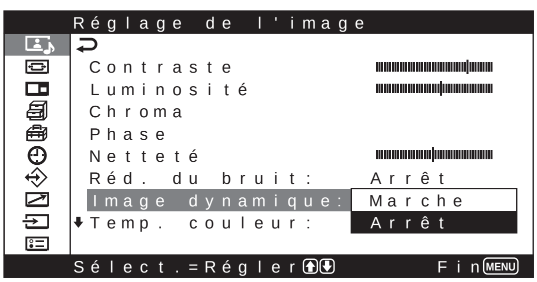
2 Sélectionnez le mode de Réd. du bruit souhaité avec la touche ↑/↓.
Arrêt : Le signal vidéo est affiché directement, sans modification.
Faible : faible réduction des bruits parasites.
Moyen : réduction moyenne des bruits parasites.
Élevé : réduction importante des bruits parasites.

3 Appuyez sur ENTER ou sur ← pour revenir au menu Réglage de l'image.

Image dynamique

Permet d'améliorer le contraste en rendant les blancs plus vifs et les noirs plus foncés.

1 Sélectionnez « Image dynamique » avec la touche ↑/↓, puis appuyez sur ENTER ou la touche →.
Le menu suivant s'affiche à l'écran.



2 Sélectionnez le mode d'image dynamique souhaité avec la touche ↑/↓.
Marche : fonction Image dynamique activée
Arrêt : fonction Image dynamique désactivée

3 Appuyez sur ENTER ou sur ← pour revenir au menu Réglage de l'image.

Temp. couleur

Vous pouvez également régler la température des couleurs. Vous pouvez sélectionner « Frais », « Neutre » ou « Chaud » ou effectuer des réglages plus précis. Vous pouvez utiliser jusqu'à six températures de couleurs. Ces couleurs peuvent être renommées (jusqu'à six caractères au maximum).

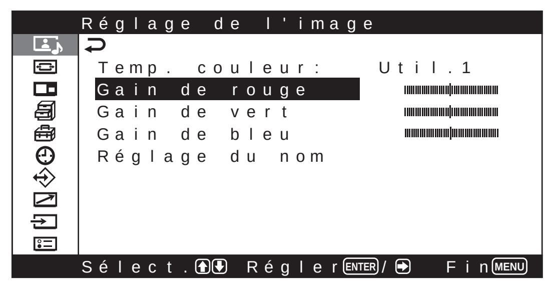
1 Sélectionnez « Temp. couleur » à l'aide des touches ↑/↓ et appuyez sur ENTER ou la touche →.

2 Sélectionnez la température de couleur à l'aide des touches ↑/↓ et appuyez sur ENTER.
Frais : pour définir la température de couleur sur HAUT.
Neutre : pour régler la température de couleur au neutre.
Chaud : pour définir la température de couleur sur BAS.
Util.1 – 3 : pour régler les valeurs de chaque gain séparément.

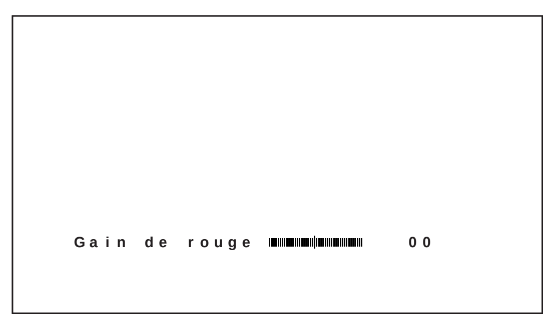
Lorsque vous sélectionnez « Frais », « Neutre » ou « Chaud », le menu Réglage de l'image réapparaît.

Lorsque vous sélectionnez une valeur comprise entre « Util.1 » à « Util.3 »

Lorsque vous sélectionnez une valeur comprise entre « Util.1 » à « Util.3 », le menu suivant apparaît à l'écran.



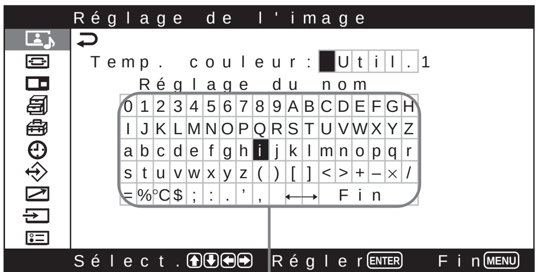
(1) Appuyez sur ↑/↓ pour déplacer le curseur (jaune) vers l'option de gain souhaitée puis appuyez sur ENTER ou la touche →.
Le menu suivant apparaît à l'écran.



(2) Réglez le gain (–15 à +15) à l'aide de ↑/↓/←/→ puis appuyez sur ENTER.
Le menu revient au menu Temp. couleur.

Lorsque vous renommez la température de la couleur réglée, suivez les étapes ci-dessous.

(3) Appuyez sur ↑/↓ pour déplacer le curseur (jaune) sur « Réglage du nom » , puis appuyez sur ENTER.
Le menu suivant apparaît à l'écran.



Liste de caractères

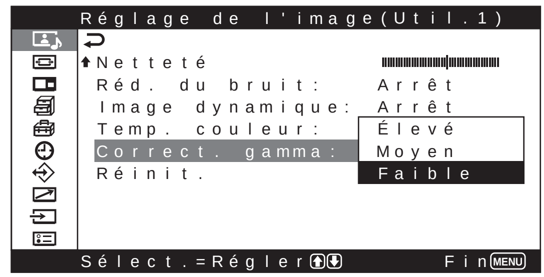
(4) Sélectionnez un caractère ou un symbole dans la liste des caractères à l'aide de ↑/↓/←/→, puis appuyez sur ENTER. Le caractère sélectionné est validé. Si vous vous trompez en saisissant un caractère ou un symbole, sélectionnez « ← » sur l'écran pour faire revenir le curseur d'un caractère, puis sélectionnez le caractère souhaité.
Lorsque la «Fonction MENU» (page 24 (FR)) est réglée sur «Retour» dans le menu Réglage initial, les touches ↑/↓ sur la télécommande déplacent le curseur vers la droite et la gauche. Pour que les touches ↑/↓ déplacent le curseur vers le haut et le bas, réglez la «Fonction MENU» sur «Mar/arr.».

(5) Répétez les étapes (4) et après avoir terminé la saisie du nom, sélectionnez « Fin » puis appuyez sur ENTER.
Le menu revient au menu Temp. couleur.

Correct. gamma

Réglage automatique de l'équilibre entre les portions lumineuses et sombres de l'image.

1 Sélectionnez « Correct. gamma » avec la touche ↑/↓, puis appuyez sur ENTER ou la touche →.
Le menu suivant s'affiche à l'écran.



2 Sélectionnez le mode de correction gamma souhaité avec la touche ↑/↓.
Élevé : pour un niveau élevé de correction gamma.
Moyen : pour un niveau moyen de correction gamma.
Faible : pour un faible niveau de correction gamma.

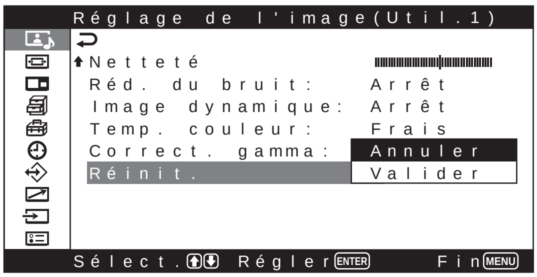
3 Appuyez sur ENTER ou sur ← pour revenir au menu Réglage de l'image.

Remarques

- Les commandes Chroma et Phase sont inopérantes avec un signal RVB.
- La commande Phase est inopérante avec un signal composante.
- La commande Phase est inopérante avec une source de couleur PAL, PAL-M, PAL-N, PAL60 ou SECAM.
- Les commandes Chroma et Phase sont inopérantes avec un signal noir et blanc.

Restauration des réglages par défaut des options du menu Réglage de l’image

1 Dans le menu Réglage de l’image, appuyez sur les touches ↑/↓ pour déplacer le curseur (jaune) sur « Réinit. » et appuyez sur ENTER.
Le menu suivant apparaît à l’écran.



2 Appuyez sur les touches ↑/↓ pour déplacer le curseur (jaune) sur « Valider » puis appuyez sur ENTER.
Les options du menu Réglage de l’image restaurent leurs valeurs par défaut.

Pour annuler la fonction de réinitialisation

Appuyez sur MENU puis ENTER.
Tour à tour, sélectionnez « Annuler » avec ↑/↓, puis appuyez sur ENTER.

Agrandissement de l’image

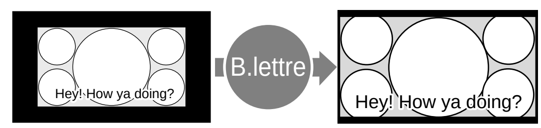
Vous pouvez agrandir des images selon vos préférences.
En Mode gr. format, les choix suivants sont disponibles.

Images d’origine (type d’image) | **Images agrandies**



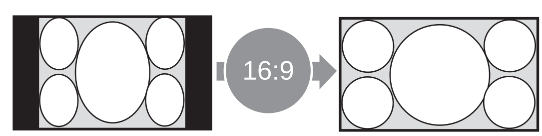
Permet d’afficher les images ordinaires (format 4:3) avec leur apparence naturelle lorsqu’elles sont agrandies au plein écran en format zoom large (format d’écran : 4:3).

Agrandit les images en plein écran de la taille 4:3 à 16:9.



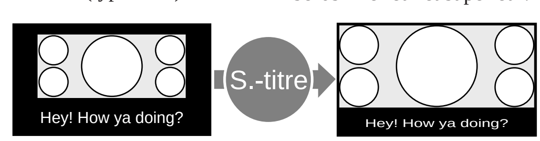
- Films tournés au format VistaVision ou autres formats similaires, dont l’image semble longe horizontalement et contient des sous-titres à l’intérieur de l’image (format d’écran : 1.85:1)
- Images provenant d’un caméscope ou d’un logiciel de DVD contenant des informations sur le format d’écran (type ID-1)

Les images sont agrandies au format plein écran pendant l’alignement avec les côtés droit et gauche de l’écran. (Il se peut que des bandes noires subsistent en haut et en bas de l’écran, selon le type d’image).



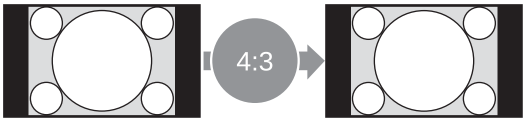
Images provenant d’un caméscope ou d’un logiciel de DVD contenant des informations sur le format d’écran (type ID-1)

Les bords gauche et droit de l’image sont agrandis au format plein écran sans modification des bords inférieur et supérieur.



Films tournés au format CinemaVision ou autres, dont l’image semble longe horizontalement et dont les sous-titres apparaissent à l’extérieur de l’image (format d’écran : 2.35:1)

Dans l’image à l’écran, seule la zone d’affichage des sous-titres est comprimée. Le reste de l’image est agrandi au format plein écran et s’aligne aux bords gauche et droit de l’écran.



Les images sont affichées au format d’écran d’origine de 4:3 sans être agrandies lorsque les images ayant un format d’écran de 4:3 sont réglées sur « 4:3 » (réglage par défaut) et que Gr. format auto est réglé sur Marche.

Le signal vidéo est affiché sans agrandissement.

Réglage du grand format automatique

Suivant le réglage, la fonction de grand format automatique reproduit fidèlement les images selon les informations du signal d’identification, ou agrandit divers types d’images au format idéal, peu importe le signal d’identification.

Signal d’identification et de contrôle

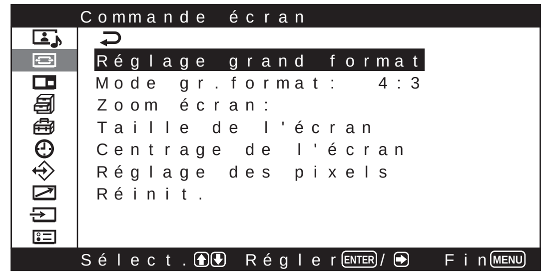
Il s’agit d’un signal de contrôle permettant une reproduction fidèle du format de l’image d’origine sur un écran d’affichage. Les types d’images comportant ce signal sont les suivantes :

- Images enregistrées par une caméra de télévision et comportant des informations sur le format d’écran (format ID-1)
- Emissions de télévision comportant un signal indiquant le réglage au format 4:3.

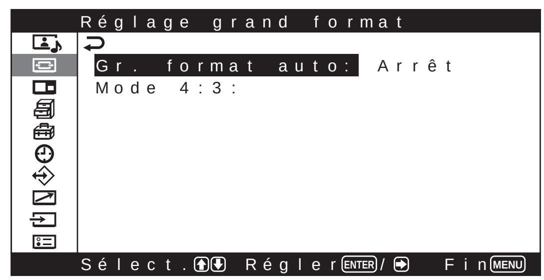
1 Appuyez sur MENU.
Le menu principal s’affiche à l’écran.



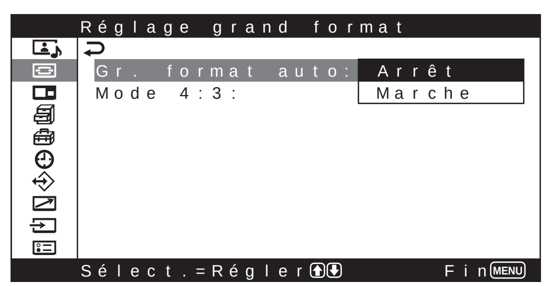
2 Appuyez sur ↑/↓ pour déplacer le curseur (jaune) sur « Commande écran », puis appuyez sur ENTER ou la touche →.
Le menu Commande écran s’affiche à l’écran.



3 Appuyez sur ↑/↓ pour déplacer le curseur (jaune) sur « Réglage grand format », puis appuyez sur ENTER ou la touche →.
Le menu suivant s’affiche à l’écran.



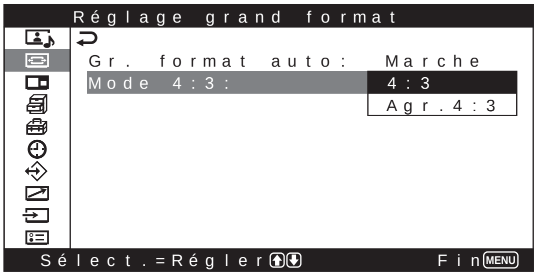
4 Appuyez sur ↑/↓ pour déplacer le curseur (jaune) sur « Gr. format auto », puis appuyez sur ENTER ou la touche →.
Le menu suivant s’affiche à l’écran.



5 Sélectionnez le réglage Gr. format auto à l’aide de la touche ↑/↓.
Arrêt : Les images sont reproduites telles quelles.
Marche : L’image est agrandie et affichée selon le rapport d’aspect approprié.

6 Appuyez sur ENTER ou la touche ←.
Le menu Réglage grand format s’affiche de nouveau.

7 Sélectionnez « Mode 4:3 » avec la touche ↑/↓, puis appuyez sur ENTER.
Le menu suivant s'affiche à l'écran.



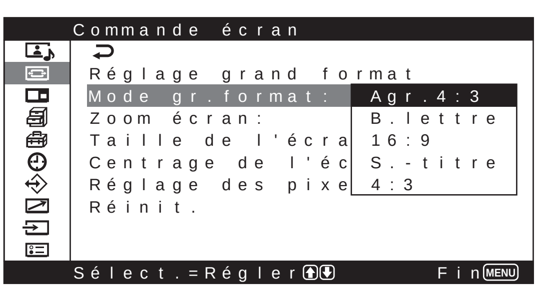
8 Sélectionnez le mode d'image 4:3 avec la touche ↑/↓.
4:3 : Les images ayant un rapport d'aspect de 4:3 sont affichées telles quelles.
Agr. 4:3 : Les images ayant un rapport d'aspect de 4:3 sont affichées après avoir été agrandies à un rapport d'aspect de 16:9. (En l'absence de signal de commande sélectif.)

9 Appuyez sur ENTER ou la touche ←.
Le menu Réglage grand format s'affiche de nouveau.

Réglage du Mode gr. format

Avec cette fonction, toutes les images peuvent être agrandies au format souhaité, quel que soit leur type. Lorsque le signal est émis par un ordinateur, vous pouvez sélectionner « 16:9 » ou « 4:3 ».

1 Dans le menu Commande écran, appuyez sur ↑/↓ pour déplacer le curseur (jaune) sur « Mode gr. format », puis appuyez sur ENTER ou la touche →.
Le menu suivant s'affiche à l'écran.



2 Sélectionnez le mode zoom avec la touche ↑/↓.
Agr. 4:3 : Agrandit les images en plein écran de la taille 4:3 à 16:9.
B.lettre : Elargit l'image vers la droite et la gauche, jusqu'aux bords de l'écran. (Il se peut que des bandes noires subsistent en haut et en bas de l'écran, selon le type d'image).
16:9 : Elargit l'image vers la droite et la gauche jusqu'aux bords de l'écran, mais sans modifier le haut ni le bas de l'image.
S.-titre : Elargit l'image vers la droite et la gauche, jusqu'aux bords de l'écran, et comprime la zone d'affichage des sous-titres.
4:3 : Le signal vidéo est affiché sans agrandissement.

3 Appuyez sur ENTER ou la touche ←.
Le menu Commande écran s'affiche de nouveau.

Remarques

- Si vous définissez le Mode gr. format, la fonction Gr. format auto est désactivée. Pour utiliser la fonction Gr. format auto, réglez-la à nouveau sur « Marche. »
- Selon le type et le format de l'image, le haut ou le bas de l'image peuvent être coupés, ou les sous-titres peuvent ne pas être affichés au complet.
- Le fait de présenter des images agrandies ou comprimées à des fins commerciales ou lors de diffusions dans des lieux publics (hôtels ou cafés) peut constituer une violation des droits d'auteur tels que définis dans la loi sur la protection des droits d'auteur.

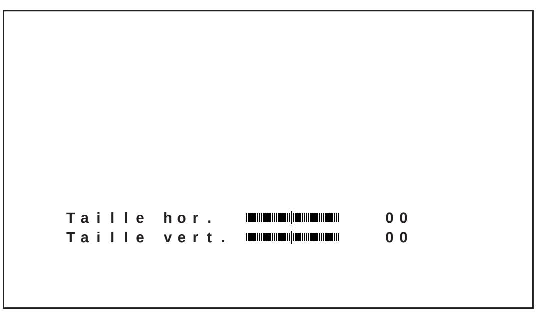
Redimensionnement et positionnement de l'image

Vous pouvez décaler la position de l'image de manière qu'elle s'adapte à l'écran ou régler séparément la taille verticale et horizontale de l'image.

Le fonctionnement décrit dans ce mode d'emploi est valable lorsque la fonction MENU est réglée sur « Mar/arr. ». Reportez-vous à la section « Menu Commande écran » (page 20 (FR)) pour de plus de détails sur le réglage de la Commande écran.

Réglage de la taille de l'image

1 Dans le menu Commande écran, appuyez sur les touches ↑/↓ pour déplacer le curseur (jaune) sur « Taille de l'écran » puis appuyez sur ENTER.
Le menu suivant apparaît à l'écran.

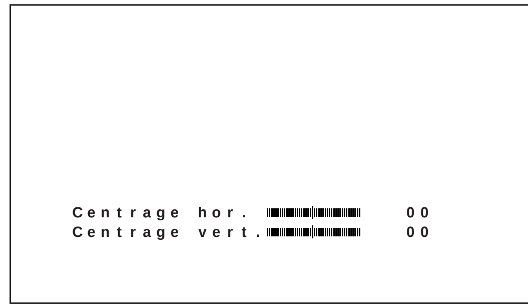


2 Réglez la taille de l'image verticalement et horizontalement à l'aide des touches ↑/↓/←/→.
←/→ : règle la taille de l'image horizontalement.
↑/↓ : règle la taille de l'image verticalement.
La taille horizontale de l'image à l'écran est réglable selon une échelle allant de Min (–30) à Max (+30). La taille verticale de l'image à l'écran est réglable selon une échelle allant de Min (–30) à Max (+30). Le réglage par défaut est 00.

3 Appuyez sur ENTER.
Le menu Commande écran s'affiche de nouveau.

Réglage de la position de l'image

1 Dans le menu Commande écran, appuyez sur les touches ↑/↓ pour déplacer le curseur (jaune) sur « Centrage de l'écran » et appuyez sur ENTER.
Le menu suivant apparaît à l'écran.



2 Déplacez l'image verticalement ou horizontalement à l'aide des touches ↑/↓/←/→.
←/→ : déplace l'image vers la gauche et vers la droite.
↑/↓ : déplace l'image vers le haut et vers le bas.
La position horizontale de l'image à l'écran est réglable selon une échelle allant de GMax (maximum gauche) (30) à DMax (maximum droite) (30). La position verticale de l'image à l'écran est réglable selon une échelle allant de BMax (maximum bas) (30) à HMax (maximum haut) (30). Le réglage par défaut est 00.

3 Appuyez sur ENTER.
Le menu Commande écran s'affiche de nouveau.

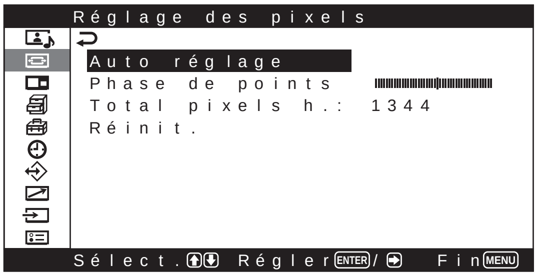
Réglage des pixels

S'il y a trop de parasites sur les contours des caractères ou des lignes verticales, vous pouvez ajuster la phase de points et le nombre total de pixels horizontaux.

Remarque

Cette option dépend du signal de l'ordinateur utilisé.

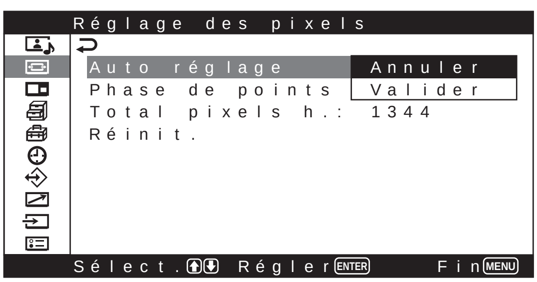
1 Dans le menu Commande écran, appuyez sur les touches ↑/↓ pour déplacer le curseur (jaune) sur « Réglage des pixels » puis appuyez sur ENTER.
Le menu suivant apparaît à l'écran.



2 Vous pouvez ajuster la phase de point et le nombre total de pixels horizontaux automatiquement ou manuellement.

Ajustement automatique

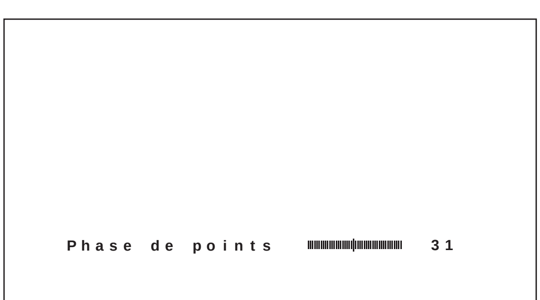
(1) Sélectionnez « Auto réglage » à l'aide des touches ↑/↓ et appuyez sur ENTER.
Le menu suivant apparaît à l'écran.



(2) Sélectionnez « Valider » à l'aide des touches ↑/↓ et appuyez sur ENTER.
La phase de points et le nombre total de pixels horizontaux sont ajustés automatiquement.

Ajustement manuel

(1) Ajustez la phase de points ou le nombre total de pixels horizontaux à l'aide de ↑/↓ ou ←/→ et appuyez sur ENTER.
Le menu suivant apparaît à l'écran. (Lorsque vous sélectionnez « Phase de points »).



(2) Ajustez la phase de points ou le nombre total de pixels horizontaux à l'aide de ↑/↓ ou ←/→ et appuyez sur ENTER.

Remarque

En raison des motifs de l'image, il est possible que celle-ci soit toujours parasitée même après avoir utilisé la fonction Auto réglage. Dans ce cas, réglez la phase de points manuellement.

Pour restaurer les options de menu Réglage des pixels à leurs aigus d'origine

Dans le menu Réglage des pixels, appuyez sur les touches ↑/↓ pour déplacer le curseur (jaune) sur « Réinit. » et appuyez sur ENTER. Sélectionnez « Valider » à l'aide des touches ↑/↓ et appuyez sur ENTER.

Restauration des paramètres du menu Commande écran à leurs valeurs initiales

1 Dans le menu Commande écran, appuyez sur les touches ↑/↓ pour déplacer le curseur (jaune) sur « Réinit. » et appuyez sur ENTER.
Le menu suivant apparaît à l'écran.



2 Appuyez sur les touches ↑/↓ pour déplacer le curseur (jaune) sur « Valider » puis appuyez sur ENTER.
Les paramètres du menu Commande écran sont rétablis aux valeurs par défaut.

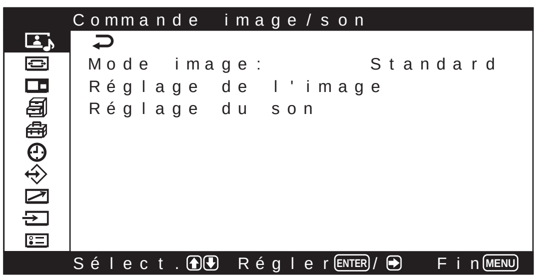
Pour annuler la fonction de réinitialisation

Appuyez sur MENU puis ENTER.
Tour à tour, sélectionnez « Annuler » avec ↑/↓ , puis appuyez sur ENTER.

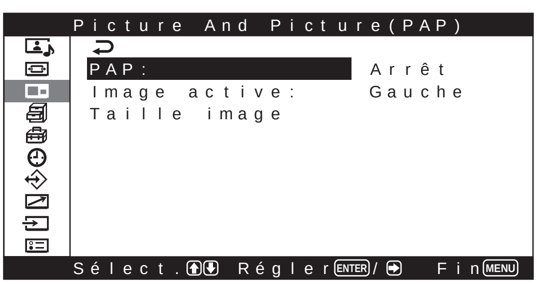
Affichage de deux images en même temps

Vous pouvez afficher deux images de signaux source différents côte à côte. Vous pouvez également passer en mode Picture And Picture (PAP) (en appuyant sur la touche ENTER, puis sur la touche INPUT1 de la télécommande.

1 Appuyez sur MENU.
Le menu principal apparaît à l'écran.



2 Appuyez sur ↑/↓ pour déplacer le curseur (jaune) sur « Picture And Picture (PAP) » (Image et image), puis appuyez sur ENTER ou la touche →.
Le menu Picture And Picture (PAP) apparaît à l'écran.



3 Appuyez sur ↑/↓ pour déplacer le curseur (jaune) sur « PAP », puis appuyez sur ENTER ou la touche →.
Le menu suivant apparaît à l'écran.



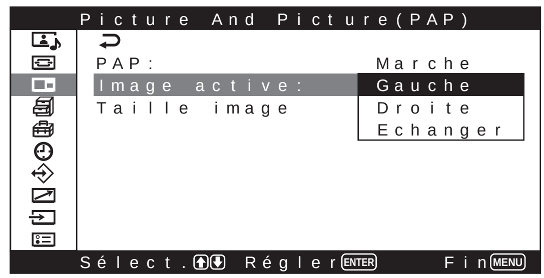
4 Sélectionnez « Marche » avec ↑/↓, puis appuyez sur ENTER.

5 Appuyez sur ENTER ou sur ← pour revenir à l'écran précédent.

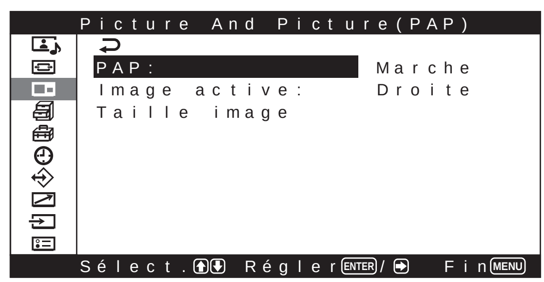
Activation d'une image

Active l'une des deux images pour pouvoir la traiter. (Lorsque vous souhaitez traiter l'image de droite).

1 Appuyez sur ↑/↓ pour déplacer le curseur (jaune) sur « Image active », puis appuyez sur ENTER ou la touche →.
Le menu suivant apparaît à l'écran.

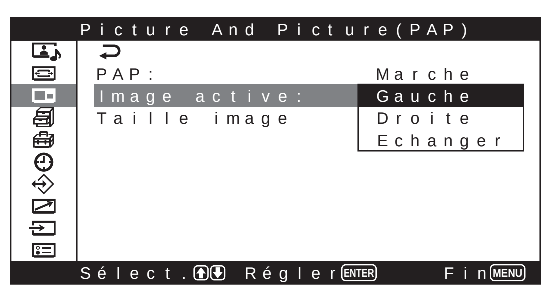


2 Sélectionnez « Droite » avec ↑/↓, puis appuyez sur ENTER.
Vous pouvez maintenant traiter l'image de droite.



Echange de la position des deux images

1 Appuyez sur ↑/↓ pour déplacer le curseur (jaune) sur « Image active », puis appuyez sur ENTER.
Le menu suivant apparaît à l'écran.



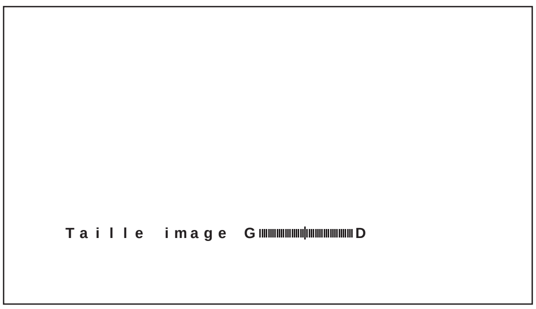
2 Sélectionnez « Echanger » avec ↑/↓, puis appuyez sur ENTER.
La position des deux images est inversée.

Remarque

L’image présentée à gauche est toujours appelée « l’image de gauche » et celle placée à droite « l’image de droite ».

Zoom avant sur une image

1 Appuyez sur ↑/↓ pour déplacer le curseur (jaune) sur « Taille image », puis appuyez sur ENTER.



2 Continuez à appuyer sur ←/→ pour modifier la taille des images.

3 Appuyez sur ENTER pour valider le réglage.

Remarques

- Vous pouvez passer en mode Picture And Picture (PAP) (en appuyant sur la touche ENTER, puis sur la touche INPUT1 de la télécommande.
- La combinaison des signaux dont vous pouvez afficher les images côte à côte est indiquée ci-dessous.

	RVB numérique**	RVB analogique	Composant	Y/C	Composite
RVB numérique**	-	-	Pris en charge	Pris en charge	Pris en charge
RVB analogique	-	-	Pris en charge*	Pris en charge	Pris en charge
Composant	Pris en charge	Pris en charge*	-	Pris en charge	Pris en charge
Y/C	Pris en charge	Pris en charge	Pris en charge	-	-
Composite	Pris en charge	Pris en charge	Pris en charge	-	-

* Combinaison des signaux captés via INPUT1 sur l’appareil et via le BKM-V11 ou BKM-V12 en option

** Le PFM-42X1N n’est pas doté de connecteurs d’entrée numérique.

Réglage de la qualité du son

Si une enceinte SS-SP20B (non fournie) est installée, vous pouvez régler la balance (gauche et droite) et les niveaux des aigus et des graves. Il permet également de régler le mode ambiophonique.

Réglage des aigus, des graves et de la balance

Appuyez sur MENU pour afficher le menu principal à l’écran, puis, avec la touche ↑/↓, sélectionnez « Aigus », « Graves », « Equilibrage » ou « Stéréophonique » dans le menu Réglage du son.

Aigus

Sélectionnez « Aigus » avec la touche ↑/↓, puis appuyez sur ENTER.
Réglez le niveau des aiguës avec la touche ↑/↓/←/→. La plage de réglage va de MIN (–50) à MAX (+50).

↑/→ **:** pour augmenter le niveau des aiguës.
↓/← **:** pour réduire le niveau des aiguës.

Graves

Sélectionnez « Graves » avec la touche ↑/↓, puis appuyez sur ENTER.
Réglez le niveau des graves avec la touche ↑/↓/←/→. La plage de réglage va de MIN (–50) à MAX (+50).

↑/→ **:** pour augmenter le niveau des graves.
↓/← **:** pour réduire le niveau des graves.

Equilibrage

Sélectionnez « Equilibrage » avec la touche ↑/↓, puis appuyez sur ENTER.
Réglez la balance avec la touche ↑/↓/←/→. La plage de réglage va de GAUCHE (50) à DROITE (50).

↑/→ **:** pour augmenter le volume du côté droit.
↓/← **:** pour augmenter le volume du côté gauche.

Stéréophonique

Permet de régler le mode de sortie ambiophonique selon le type des signaux.

1 Sélectionnez « Stéréophonique » avec la touche ↑/↓, puis appuyez sur ENTER.

2 Sélectionnez le mode ambiophonique souhaité avec la touche ↑/↓, puis appuyez sur ENTER.
Arrêt : aucun effet ambiophonique ajouté au signal de sortie.
Hall : Lorsque vous souhaitez augmenter la sensation d’enveloppement du son stéréo de vos films et programmes musicaux.
Simul. : Lorsque vous souhaitez augmenter la présence audio de vos programmes mono ordinaires ou d’actualités télévisées à l’aide d’un son stéréo simulé.

Restauration des paramètres du menu Réglage du son à leurs valeurs initiales

1 Dans le menu Réglage du son, appuyez sur ↑/↓ pour déplacer le curseur (jaune) sur « Réinit. », puis appuyez sur ENTER ou la touche ➡.
Le menu suivant s’affiche à l’écran.



2 Appuyez sur ↑/↓ pour déplacer le curseur (jaune) sur « Valider », puis appuyez sur ENTER.
Les options du menu Réglage du son restaurent leur valeurs par défaut.

Pour annuler la fonction de réinitialisation

Appuyez sur MENU puis ENTER.
Tour à tour, sélectionnez « Annuler » avec ↑/↓ , puis appuyez sur ENTER.

Utilisation des fonctions de la mémoire

Vous pouvez sauvegarder les réglages actuels de l’image pour chaque signal d’entrée à l’aide de la fonction Mémoire. Les réglages enregistrés peuvent être rappelés à tout moment. Les éléments des menus Commande image/son et Commande écran peuvent être mémorisés. Vous pouvez enregistrer les paramètres d’image de vingt signaux d’entrée au maximum. Ces paramètres peuvent être nommés (jusqu’à six caractères au maximum).

Mémorisation des réglages actuels

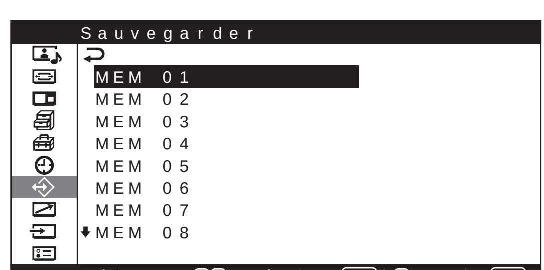
1 Appuyez sur MENU.
Le menu principal apparaît à l’écran.



2 Appuyez sur les touches ↑/↓ pour déplacer le curseur (jaune) sur « Mémoire utilisateur » puis appuyez sur ENTER ou la touche ➡.
Le menu Mémoire utilisateur apparaît à l’écran.



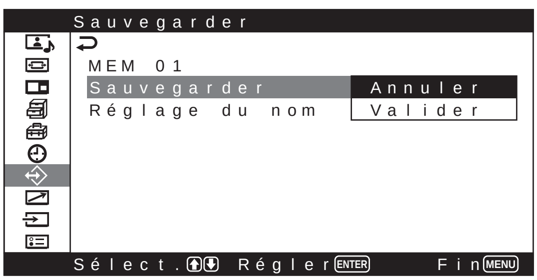
3 Appuyez sur les touches ↑/↓ pour déplacer le curseur (jaune) sur « Sauvegarder » puis appuyez sur ENTER ou la touche ➡.
Le menu suivant apparaît à l’écran.



4 Sélectionnez un numéro de mémoire (de 01 à 20) à l'aide des touches ↑/↓ et appuyez sur ENTER ou la touche →.
Le menu suivant apparaît à l'écran.



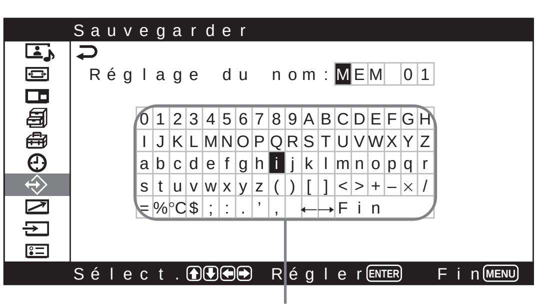
5 Appuyez sur les touches ↑/↓ pour déplacer le curseur (jaune) sur « Sauvegarder » puis appuyez sur ENTER ou la touche →.
Le menu suivant apparaît à l'écran.



6 Appuyez sur les touches ↑/↓ pour déplacer le curseur (jaune) sur « Valider » puis appuyez sur ENTER.
Les réglages en cours sont enregistrés sous le numéro de mémoire sélectionné.

Pour donner un nom au réglage, suivez les étapes ci-dessous.

7 Appuyez sur les touches ↑/↓ pour déplacer le curseur (jaune) vers « Réglage du nom » et appuyez de nouveau sur ENTER.
Le menu suivant apparaît sur l'écran.



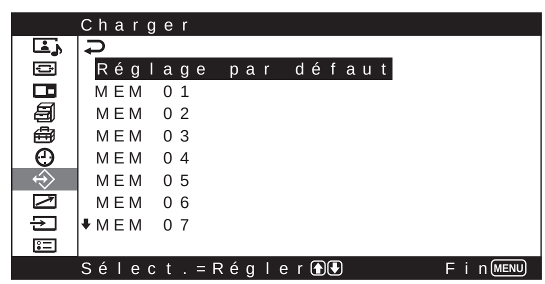
Liste de caractères

8 Sélectionnez un caractère ou un symbole dans la liste des caractères à l'aide de ↑/↓/←/→, puis appuyez sur ENTER. Le caractère sélectionné est validé. Si vous vous trompez en saisissant un caractère ou un symbole, sélectionnez « ← » sur l'écran pour faire revenir le curseur d'un caractère, puis sélectionnez le caractère souhaité.
Lorsque la « Fonction MENU » (page 24 (FR)) est réglée sur « Retour » dans le menu Réglage initial, les touches ↑/↓ sur la télécommande déplacent le curseur vers la droite et la gauche. Pour que les touches ↑/↓ déplacent le curseur vers le haut et le bas, réglez la « Fonction MENU » sur « Mar/arr. ».

9 Répétez l'étape **8** jusqu'à la fin de la saisie du nom, puis sélectionnez « Fin » et appuyez sur ENTER.
Le menu Sauvegarder s'affiche à nouveau.

Appel d'un paramètre sélectionné

1 Dans le menu Mémoire utilisateur, appuyez sur les touches ↑/↓ pour déplacer le curseur (jaune) sur « Charger » et appuyez sur ENTER ou la touche →.
Le menu suivant apparaît à l'écran.



2 Déplacez le curseur vers le numéro de mémoire (01 à 20) du réglage que vous souhaitez rappeler à l'aide des touches ↑/↓.
La valeur du réglage mémorisée est rappelée.

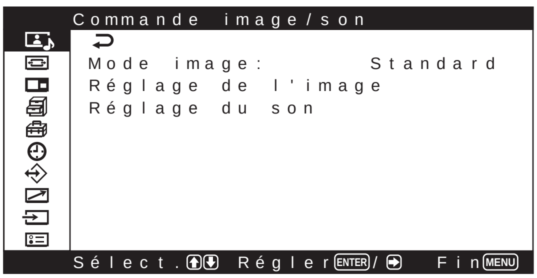
Restauration de la valeur précédente
Déplacez le curseur sur « Réglage par défaut ».

3 Appuyez sur la touche ENTER ou la touche ←.
L'écran revient au menu Mémoire utilisateur.

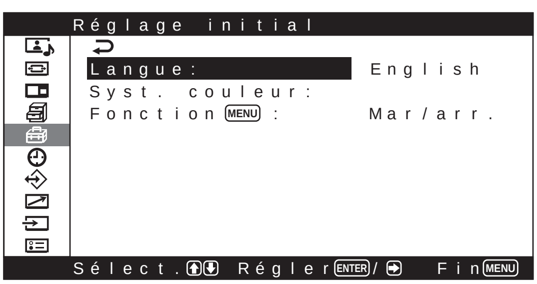
Sélection de la langue d’affichage à l’écran

Les langues d’affichage possibles sont le japonais, l’anglais, l’allemand, le français, l’espagnol ou l’italien.

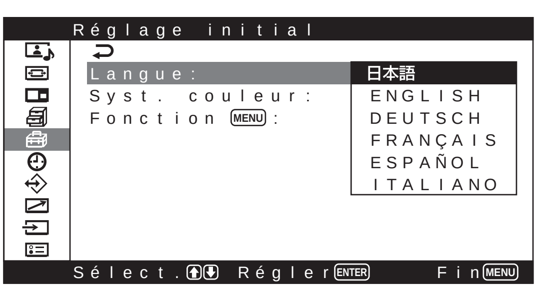
1 Appuyez sur MENU.
Le menu principal apparaît à l’écran.



2 Appuyez sur les touches ↑/↓ pour déplacer le curseur (jaune) sur « Réglage initial » puis appuyez sur ENTER ou la touche ➡.
Le menu Réglage initial apparaît à l’écran.



3 Déplacez le curseur (jaune) à l’aide des touches ↑/↓ vers « Langue » puis appuyez sur ENTER ou la touche ➡.
Le menu suivant apparaît à l’écran.



4 Appuyez sur les touches ↑/↓ pour déplacer le curseur (jaune) sur la langue de votre choix.
La langue d’affichage que vous avez sélectionnée est activée.

日本語 **:** japonais
ENGLISH : anglais
DEUTSCH : allemand
FRANÇAIS : français
ESPAÑOL : espagnol
ITALIANO : italien

5 Appuyez sur ENTER ou sur ⬅ pour revenir au menu Réglage initial.

Fonction d’économiseur d’écran

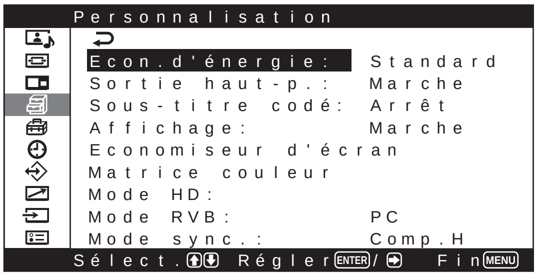
Si une image dont la luminosité ne change pas ou une image fixe, telle qu’une image affichée sur un ordinateur, est affichée pendant longtemps, une image rémanente (image fantôme) peut être imprimée sur l’écran.
Cet appareil possède une fonction d’économiseur d’écran permettant de corriger ou de réduire ce phénomène.
Il existe trois types d’économiseur d’écran : le premier inverse les tons de couleur de l’image (Invers. image), le second déplace automatiquement l’image sur l’écran suivant à un intervalle prédéfini (Mouvement image) et le dernier permet de régler la luminosité de la zone d’arrière-plan sans signal vidéo lorsque le mode « 4:3 » ou le mode « Picture And Picture (PAP) » est utilisé (Arrière-plan).

Inverse les tons de couleur de l’image

1 Appuyez sur MENU.
Le menu principal apparaît à l’écran.



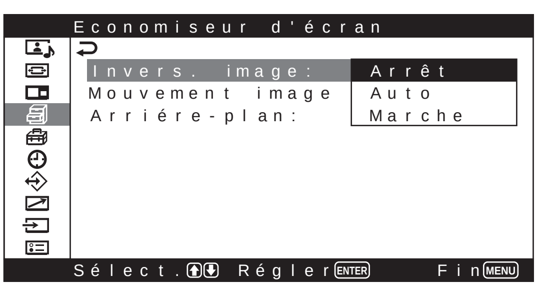
2 Appuyez sur les touches ↑/↓ pour déplacer le curseur (jaune) sur « Personnalisation » puis appuyez sur ENTER ou la touche ➡.
Le menu Personnalisation apparaît à l'écran.



3 Appuyez sur les touches ↑/↓ pour déplacer le curseur (jaune) sur « Economiseur d'écran » puis appuyez sur ENTER ou la touche ➡.
Le menu suivant apparaît à l'écran.



4 Appuyez sur les touches ↑/↓ pour déplacer le curseur (jaune) sur « Invers. image » puis appuyez sur ENTER.
Le menu suivant apparaît à l'écran.



5 Sélectionnez le mode Invers. image à l'aide des touches ↑/↓.
Arrêt : pour désactiver le mode Invers. image
Auto : pour effectuer le mode Invers. image une fois par jour
Marche : Inversement des tons de couleur de l'image

Lorsque vous sélectionnez « Auto » et que vous appuyez sur ENTER, le menu suivant s'affiche.



(1) Appuyez sur les touches ↑/↓ pour déplacer le curseur (jaune) sur « Heure de début » puis appuyez sur ENTER.
Le menu ci-dessous apparaît et l'heure est affichée en jaune.



(2) Définissez l'heure à laquelle l'image doit être inversée à l'aide des touches ↑/↓ et appuyez sur ENTER.
Le réglage des heures est validé et l'arrière-plan des minutes s'affiche en jaune.

(3) Réglez les minutes à l'aide des touches ↑/↓ puis appuyez sur ENTER. Le réglage des minutes est validé. Appuyez sur ⬅ pour revenir à l'écran affiché à l'étape **5**.
Lorsque vous utilisez les touches de l'appareil, appuyez sur la touche MENU pour fermer le menu et réglez « Fonction MENU » (page 24 (FR)) dans le menu de configuration initiale sur « Retour ». A partir de ce moment, la touche MENU de l'appareil possède la même fonction que la touche ⬅.

(4) De la même façon, définissez l'heure à laquelle le mode Invers. image doit être annulé.
L'image affichée sera inversée à l'Heure de debut et retrouvera son aspect d'origine à l'Heure de fin. Ce cycle a lieu automatiquement une fois par jour.

Remarque

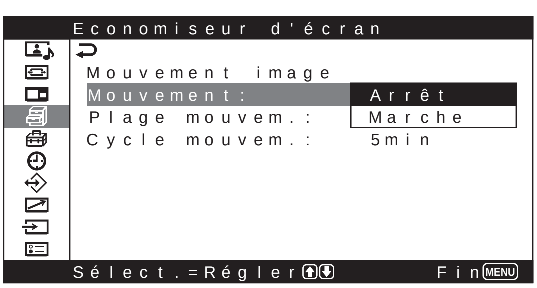
Si vous définissez Heure de début et Heure de fin sur la même heure, la valeur Heure de début l'emporte sur celle de Heure de fin. L'affichage ne revient pas à la l'image initiale à l'Heure de fin.

Changement automatique de la position de l'image

1 Dans le menu Economiseur d'écran, appuyez sur les touches ↑/↓ pour déplacer le curseur (jaune) sur « Mouvement image » et appuyez sur ENTER ou la touche →.
Le menu suivant apparaît à l'écran.



2 Appuyez sur les touches ↑/↓ pour déplacer le curseur (jaune) sur « Mouvement » puis appuyez sur ENTER ou la touche →.
Le menu suivant apparaît sur l'écran.

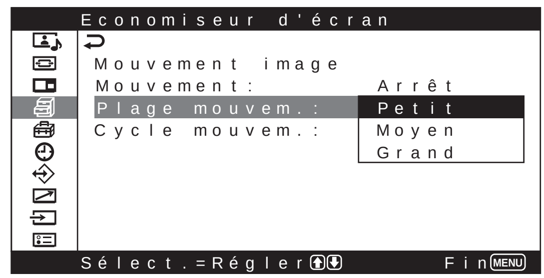


3 Sélectionnez le mode Mouvement à l'aide des touches ↑/↓.
Arrêt : pour annuler la fonction Mouvement image
Marche : pour activer la fonction Mouvement image

4 Appuyez sur ENTER ou la touche ←.
Le menu Mouvement image réapparaît.

5 Sélectionnez « Plage mouvem. » (distance de déplacement) ou « Cycle mouvem. » (heure) à l'aide des touches ↑/↓ et appuyez sur ENTER.
Les valeurs suivantes peuvent être sélectionnées:
Plage mouvem. : Petit, Moyen, Grand
Cycle mouvem. : 10 sec, 30 sec, 1 min, 5 min

Le menu suivant apparaît sur l'écran du moniteur. (Lorsque vous sélectionnez « Plage mouvem. »)



6 Ajustez la fonction Plage mouvem. ou Cycle mouvem. à l'aide des touches ↑/↓.

7 Appuyez sur ENTER ou la touche ← pour revenir à l'écran précédent.

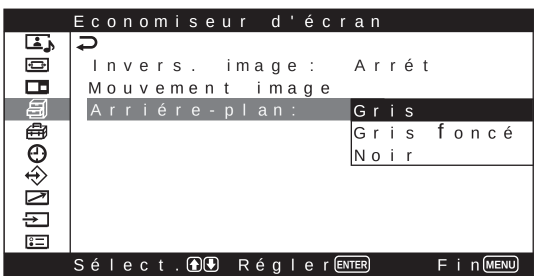
Lorsque les fonctions Invers. image et Mouvement image réglées sur Marche

Si la fonction Mouvement image est activée pendant que l'image est inversée, l'image inversée s'affiche dans une autre position.

Réglage de la luminosité de l'arrière- plan (zone sans signal vidéo)

Lorsque vous utilisez le mode « 4:3 » ou le mode « Picture And Picture (PAP) », si la luminosité de la zone de l'image et de l'arrière-plan (zone sans signal vidéo) varie fortement, une brûlure de l'écran risque de se produire. Vous pouvez régler la luminosité de l'arrière-plan afin d'éviter ce phénomène.

1 Dans le menu Economiseur d'écran, appuyez sur ↑/↓ pour déplacer le curseur (jaune) vers « Arriére-plan », puis appuyez sur ENTER ou sur →.
Le menu suivant apparaît à l'écran.



2 Sélectionnez la luminosité de l'arrière-plan avec ↑/↓.
Le réglage par défaut est Gris.

3 Appuyez sur ENTER ou sur ← pour revenir à l'écran précédent.

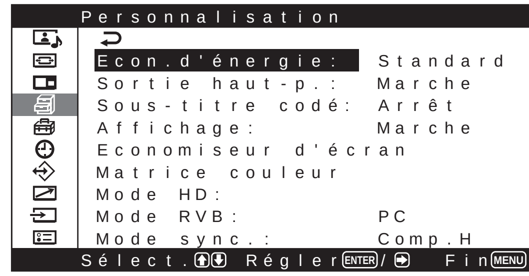
Réglage de la matrice de couleurs

Vous pouvez régler la matrice de couleurs de façon que les images s'affichent avec des teintes naturelles si un signal au format (480P (525P), 1080I (1125I) ou 720P (750P)) est transmis à l'adaptateur d'entrée composant.

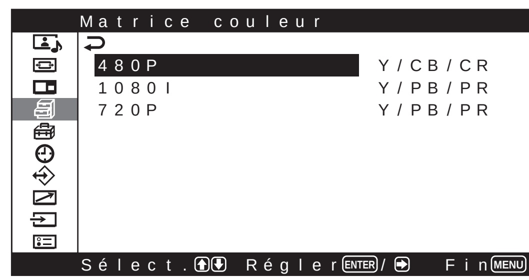
1 Appuyez sur MENU.
Le menu principal apparaît à l'écran.



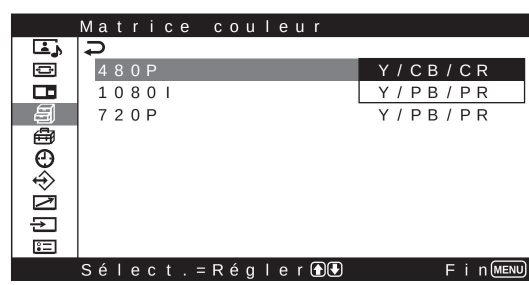
2 Appuyez sur ↑/↓ pour déplacer le curseur (jaune) sur « Personnalisation », puis appuyez sur ENTER ou la touche →.
Le menu Personnalisation apparaît à l'écran.



3 Appuyez sur ↑/↓ pour déplacer le curseur (jaune) sur « Matrice couleur », puis appuyez sur ENTER ou la touche →.
Le menu suivant apparaît à l'écran.



4 Sélectionnez le format du signal à l'aide de ↑/↓, puis appuyez sur ENTER ou la touche →.
Le menu suivant apparaît à l'écran.



5 Sélectionnez la matrice des couleurs à l'aide de ↑/↓.
Y/CB/CR : lorsque le format du signal est 480P.
Y/PB/PR : lorsque le format du signal est 1080I ou 720P.
Pour plus d'informations sur le réglage, reportez-vous au mode d'emploi fourni avec chaque appareil.

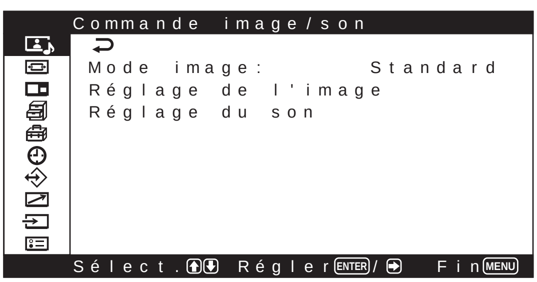
6 Appuyez sur ENTER ou la touche ← pour revenir à l'écran précédent.

Contrôle automatique de la fonction de mise sous/ hors tension

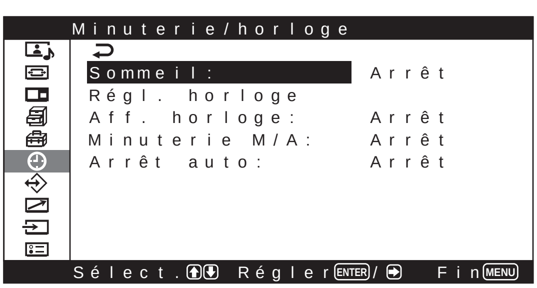
Cet écran possède trois fonctions de contrôle de l'énergie. Vous pouvez choisir le réglage un pour mettre automatiquement l'appareil hors tension si aucun signal d'entrée n'est reçu (fonction d'économie d'énergie). Vous pouvez définir l'heure à laquelle l'alimentation de l'appareil est automatiquement mise sous/hors tension. Enfin, la fonction de veille permet à l'alimentation d'être automatiquement coupée après un délai prédéterminé, même si l'écran est en train d'afficher une image.

Fonction de sommeil

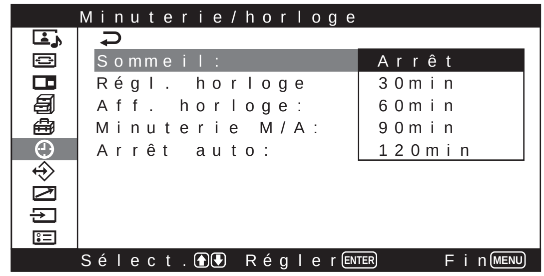
1 Appuyez sur MENU.
Le menu principal s'affiche à l'écran.



2 Appuyez sur ↑/↓ pour déplacer le curseur (jaune) sur « Minuterie/horloge », puis appuyez sur ENTER ou la touche →.
Le menu Minuterie/horloge s'affiche à l'écran.



3 Appuyez sur ↑/↓ pour déplacer le curseur (jaune) sur « Sommeil », puis appuyez sur ENTER ou la touche →.
Le menu suivant s'affiche à l'écran.

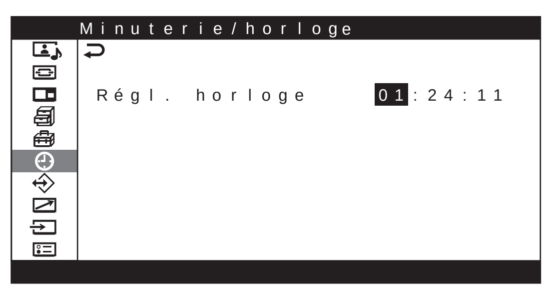


4 Avec la touche ↑/↓, réglez le délai au bout duquel l'appareil sera automatiquement mis hors tension.
Arrêt : l'appareil ne s'éteint pas.
30 min : l'appareil s'éteint au bout de 30 minutes.
60 min : l'appareil s'éteint au bout de 60 minutes.
90 min : l'appareil s'éteint au bout de 90 minutes.
120 min : l'appareil s'éteint au bout de 120 minutes.

5 Appuyez sur ENTER ou la touche ← pour revenir à l'écran précédent.

Réglage de l'heure

1 Dans le menu Minuterie/horloge, appuyez sur ↑/↓ pour déplacer le curseur (jaune) sur « Régl. horloge » puis appuyez sur ENTER ou la touche →.
Le menu suivant est affiché et l'arrière-plan devient jaune.



2 Réglez l'heure avec ↑/↓ puis appuyez sur ENTER.
Le réglage de l'heure est entré et la minute est affichée en arrière-plan en jaune.

3 Réglez les minutes de la même manière puis appuyez sur ENTER.
Le réglage des minutes est saisi et l'arrière-plan des secondes s'affichent en jaune.

4 Appuyez sur ENTER.
Les secondes sont réinitialisées sur 00.

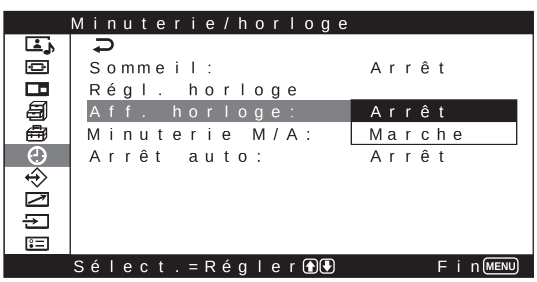
5 Appuyez sur MENU.
L'affichage revient à l'écran normal. Si vous devez procéder à d'autres réglages ou si vous devez recommencer le paramétrage, répétez la procédure à partir de l'étape **1**.

Remarque

Si l'affichage de l'heure est très lent, il est possible que la pile interne soit en train de se décharger. Contactez votre revendeur agréé Sony pour faire remplacer la pile.

Affichage de l'heure

1 Dans le menu Minuterie/horloge, appuyez sur ↑/↓ pour déplacer le curseur (jaune) sur « Aff. horloge », puis appuyez sur ENTER.
Le menu suivant s'affiche à l'écran.

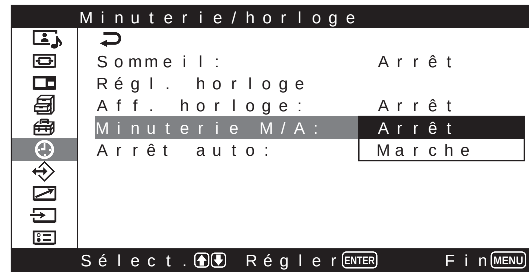


2 Sélectionnez « Marche » avec la touche ↑/↓.
Lorsque vous masquez le menu, l'horloge apparaît dans le coin inférieur droit de l'écran.

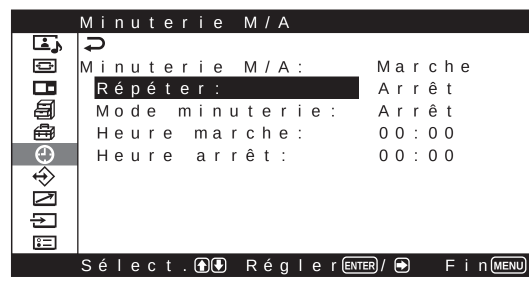
Lorsque vous appuyez sur la touche DISPLAY de la télécommande, l'horloge affichée dans le coin de l'écran disparaît et, à sa place, le signal en entrée et le Mode image sont affichés. Si vous appuyez de nouveau sur la touche DISPLAY, l'horloge réapparaît dans le coin de l'écran.
Si les informations sont affichées sans modification pendant 10 secondes environ, elles disparaîtront automatiquement. « Aff. horloge : Marche » se sera pas sauvegardé après la mise hors tension de l'appareil.

Activation/désactivation de la fonction de minuterie

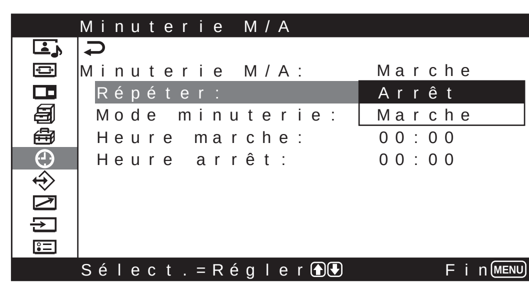
1 Dans le menu Minuterie/horloge, appuyez sur les touches ↑/↓ pour déplacer le curseur (jaune) sur « Minuterie M/A » et appuyez sur ENTER.
Le menu suivant apparaît sur l'écran du moniteur.



2 Sélectionnez « Marche » à l'aide des touches ↑/↓ et appuyez sur ENTER.
Le menu suivant apparaît à l'écran.



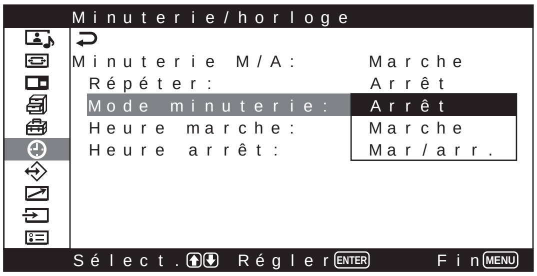
3 Sélectionnez « Répéter » avec la touche ↑/↓, puis appuyez sur ENTER ou la touche →.
Le menu suivant s'affiche à l'écran.



4 Sélectionnez le mode de répétition avec la touche ↑/↓.
Arrêt : l'appareil est allumé ou éteint une seule fois.
Marche : l'appareil est allumé ou éteint une fois par jour, à la même heure préréglée.

5 Appuyez sur ENTER ou la touche ←.
Le menu Minuterie M/A s'affiche de nouveau.

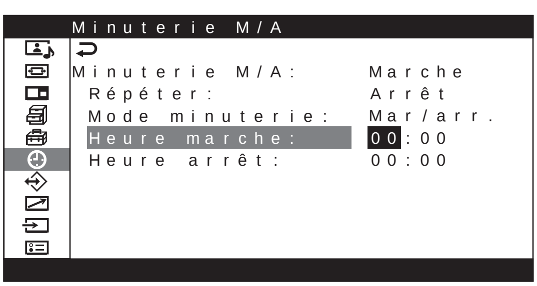
6 Sélectionnez « Mode minuterie » à l'aide des touches ↑/↓ et appuyez sur ENTER ou la touche →.
Le menu suivant apparaît dans la fenêtre d'affichage.



7 Appuyez sur ↑/↓ pour sélectionner le mode de la minuterie.
Arrêt : l'appareil s'éteint à l'heure réglée sous Heure arret.
Marche : l'appareil s'allume à l'heure réglée sous Heure marche.
Mar/arr. : l'appareil s'allume à l'heure réglée sous Heure marche, et s'éteint à l'heure réglée sous Heure arret.

8 Appuyez sur ENTER ou la touche ←.
Le menu Minuterie M/A s'affiche de nouveau.

9 Appuyez sur ↑/↓ pour déplacer le curseur (jaune) sur « Heure marche », puis appuyez sur ENTER ou la touche →.
Le menu suivant apparaît dans la fenêtre d'affichage. L'arrière-plan des heures s'affiche en jaune.



10 Appuyez sur ↑/↓ pour régler l'heure, puis appuyez sur ENTER.
L'heure est saisie et l'arrière-plan des minutes s'affiche en jaune.

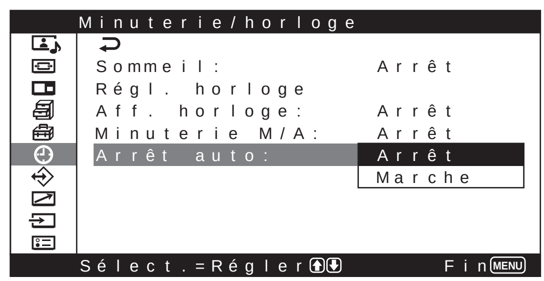
11 Appuyez sur ↑/↓ pour régler les minutes, puis appuyez sur ENTER.
Appuyez sur ← pour revenir à l'écran affiché à l'étape **2**.
Lorsque vous utilisez les touches de l'appareil, appuyez sur la touche MENU pour fermer le menu et réglez « Fonction MENU » (page 24 (FR)) dans le menu de configuration initiale sur « Retour ». A partir de ce moment, la touche MENU de l'appareil possède la même fonction que la touche ←.

12 Appuyez sur ↑/↓ pour déplacer le curseur (jaune) sur « Heure arrêt », puis appuyez sur ENTER.
Procédez de la même façon que pour le réglage de l'heure et des minutes d'activation de l'alimentation.

Fonction d'économie d'énergie (MODE ECO)

Met automatiquement l'appareil hors tension lorsqu'aucun signal n'est envoyé aux connecteurs INPUT1 ou INPUT2 quand le mode d'entrée est réglé sur RGB.

1 Dans le menu Minuterie/horloge, appuyez sur ↑/↓ pour déplacer le curseur (jaune) sur « Arrêt auto », puis appuyez sur ENTER ou la touche →.
Le menu suivant apparaît à l'écran.



2 Appuyez sur les touches ↑/↓ pour définir le laps de temps après lequel le moniteur doit passer en mode d'économie d'énergie.
Arrêt : la fonction d'économie d'énergie ne fonctionne pas.
Marche : la fonction d'économie d'énergie fonctionne.

Remarque

La sélection d'entrée est disponible en mode d'économie d'énergie.

L'indicateur ON s'allume en orange lorsque l'écran est en mode d'économie d'énergie.

3 Appuyez sur ENTER ou la touche ← pour revenir à l'écran précédent.

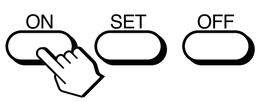
Pour annuler la fonction d'économie d'énergie

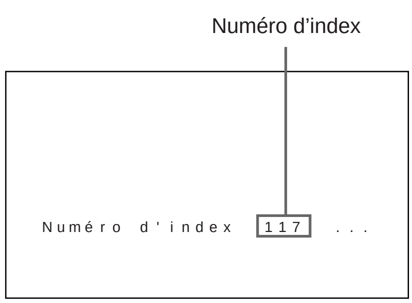
Envoyez de nouveau le signal, ou appuyez sur le commutateur ⏻ de la section du commutateur / indicateur ⏻ (veille) ou sur le commutateur POWER ON de la télécommande.

Utilisation d’un écran spécifique avec la télécommande

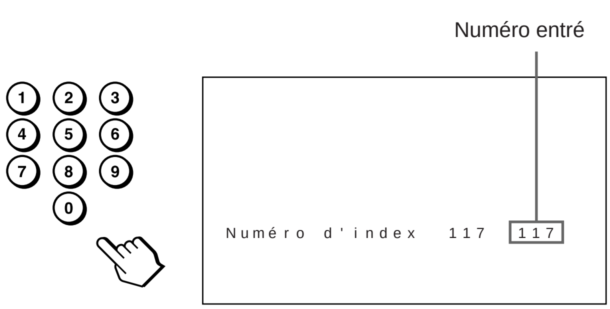
A l’aide de la télécommande fournie, vous pouvez utiliser un écran spécifique sans agir sur d’autres écrans également installés.

1 Appuyez sur ID MODE ON de la télécommande.
Les numéros d’index de l’écran apparaissent en caractères blancs sur tous les écrans. (Chaque écran reçoit un numéro d’index prédéfini individuel compris entre 1 et 255).
Pour de plus amples détails, reportez-vous à la section « Pour modifier le numéro d’index » à la page 51 (FR).

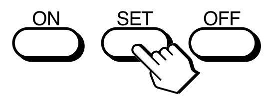




2 Entrez le numéro d’index de l’écran que vous souhaitez utiliser à l’aide des touches 0 – 9 de la télécommande.
Le numéro entré apparaît à droite du numéro d’index de chaque écran.

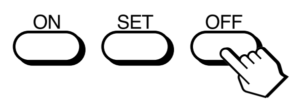


3 Appuyez sur ID MODE SET.
Les caractères de l’affichage sélectionné deviennent vert tandis que les autres deviennent rouge.



Vous pouvez utiliser uniquement l’écran spécifié. (L’alimentation ON/STANDBY s’applique également aux autres affichages.)

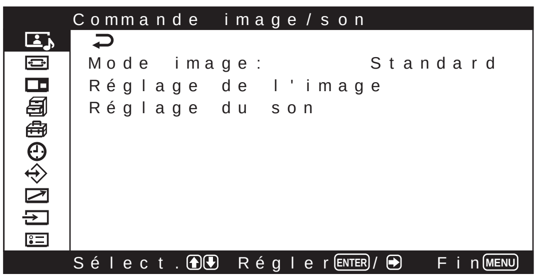
4 Lorsque toutes les modifications de paramétrage sont terminées, appuyez sur la touche ID MODE OFF.
L’écran revient au mode normal.



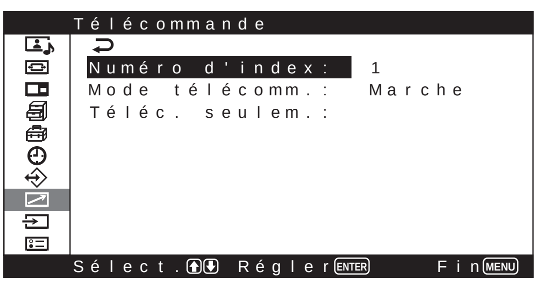
Pour modifier le numéro d'index

Vous pouvez modifier le numéro d'index si nécessaire.
Lorsque vous modifiez le numéro, utilisez les touches de la partie de l'écran contenant les touches de commande.

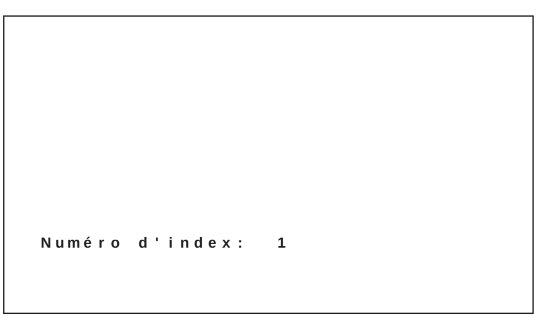
1 Appuyez sur MENU.
Le menu principal apparaît à l'écran.



2 Appuyez sur les touches ↑/↓ pour déplacer le curseur (jaune) sur « Télécommande » puis appuyez sur ENTER.
Le menu Télécommande apparaît à l'écran.



3 Appuyez sur les touches ↑/↓ pour déplacer le curseur (jaune) sur « Numéro d'index » puis appuyez sur ENTER.
Le menu suivant apparaît à l'écran.



4 Sélectionnez le numéro d'index à l'aide des touches ↑/↓ et appuyez sur ENTER.
Le menu Télécommande réapparaît.

Utilisation d'autres modèles de télécommande

Les opérations suivantes peuvent être effectuées à l'aide d'autres modèles de télécommande.
- Mise sous/hors tension
- Sélection de l'entrée
- Exploitation des menus
- Réglages d'image: contraste, phase et intensité des couleurs
- Activation/désactivation de l'affichage à l'écran

Les opérations et les touches disponibles pour chaque opération sont limitées en fonction de la télécommande utilisée. Voir le tableau ci-dessous.

Modèle de télécommande		**RM-921**
paramètre MODE TELECOM		**Marche**
Sélection de l'entrée	INPUT1	RGB1
	INPUT2	RGB2
	VIDEO	LINE
Exploitation des menus	MENU	MENU
	ENTER	ENTER
	⬆	⬆
	⬇	⬇
Réglage d'image	Contraste	CONTRAST +/–
	Chroma	CHROMA
	Phase	—
Informations à l'écran		DISPLAY

Spécifications

Traitement du signal vidéo

Signal présélectionné
: *voir page 28 (FR)*

Phase de décalage
: 13,5 MHz à 140 MHz

Ecran
: Ecran à plasma de type CA

Résolution d'affichage
: 1.024 points (horizontal) × 768 lignes (vertical)

Profondeur de pixel
: 0,90 (horizontal) × 0,676 (vertical) mm ($^1/_{16}$ × $^1/_{32}$ pouces)

Taille d'image
: 920,1 (horizontal) × 518,4 (vertical) mm (36 $^7/_{32}$ × 20 $^{13}/_{32}$ pouces)

Taille de l'écran
: 42 pouces (diagonale 1.058 mm)

Entrées et sorties

INPUT1

RGB/YUV
: D-sub à 15 broches (femelle) (× 1) *(voir « Attribution des broches », page 54 (FR))*

AUDIO
: Miniprise stéréo (× 1) 500 m Vrms, haute impédance

INPUT2[1)]

DVI
: DVI-HDCP (Compatible avec la spécification DVI rév. 1.0)

AUDIO
: Miniprise stéréo (× 1) 500 m Vrms, haute impédance

CONTROL S IN/OUT

AUDIO OUT

Miniprise stéréo (×1)

REMOTE (RS-232C)

D-sub à 9 broches (×1)

VIDEO (NTSC, PAL, SECAM, NTSC4.43, PAL60, PAL-M, PAL-N)[2)]

COMPOSITE IN
: Type BNC (×1)
: Vidéo composite, 1 Vcc ±2 dB sync négatif, 75 ohms (termination automatique)

COMPOSITE OUT
: Type BNC (×1) boucle directe

Y/C IN
: Miniconnecteur DIN à 4 broches (×1)
: Y (luminosité) : 1 Vcc ±2 dB négatif, 75 ohms (termination)
: C (chrominance) : Salve 0,286 Vcc ±2 dB (NTSC), 75 ohms (termination) Slave 0,3 Vcc ± 2 dB (PAL), 75 ohms (termination)

AUDIO IN
: Prise à broches (× 2) 500 mVrms, haute impédance

H.P.
: 7 W + 7 W (6 ohms), impédance directe asymétrique : 6 à 16 ohms

Adaptateur d'entrée composant/RGB BKM-V11 (non fourni)

YUV/RGB IN

YUV/RGB
: Type BNC (×5)

AUDIO
: Prise à broches (× 2) 500 mVrms, haute impédance

Adaptateur actif RVB/composant BKM-V12 (non fourni)

RGB/YUV ACTIVE THROUGH

RGB/YUV IN
: D-sub à 15 broches (femelle) (×1)

AUDIO IN
: Miniprise stéréo (×1) 500 mVrms, haute impédance

RGB/YUV OUT
: D-sub à 15 broches (femelle) (×1)

Caractéristiques générales

Alimentation nécessaire
: de 100 à 240 V AC, 50/60 Hz, 4,2 à 1,8 A

Consommation électrique
: 400 W

1) Le PFM-42X1N n'est pas doté de connecteurs INPUT2.
2) Le PFM-42X1N n'est pas doté de connecteurs VIDEO. Pour le modèle PFM-42X1N, les entrées de la vidéo composite et Y/C peuvent être transmises lorsque l'adaptateur d'entrée vidéo BKM-V10 (non fourni) est installé sur l'appareil.

Conditions d'utilisation
Température : 0 à 35 °C (32 °F à 95 °F)
Humidité : de 20 à 90% (sans condensation)
Pression atmosphérique : de 800 à 1.100 hPa

Conditions de stockage/transport
Température : de –10 °C à +40 °C (14 °F à 104 °F)
Humidité : de 20 à 90% (sans condensation)
Pression atmosphérique: de 700 à 1.100 hPa

Dimensions 1.033 × 631 × 102 mm (40 ¾ × 24 ⅞ × 4 ⅛ pouces) (l/h/p, hors éléments saillants)

Masse 29,7 kg (65 lb 8 oz)

Accessoires fournis
Cordon d'alimentation secteur (1)
Support de prise secteur (2)
Câble du signal (DVI-D) RGB numérique : TMDS (à liaison simple) (1)*
Porte-câble (4)
Télécommande RM-971 (1)
Piles R6 (AA) (2)
Mode d'emploi (1)
* Sauf pour le PFM-42X1N

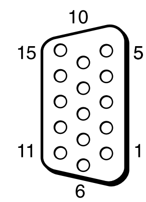
Accessoires en option
Support d'écran SU-42B
Haut-parleur SS-SP20B
Adaptateur d'entrée vidéo BKM-V10 (uniquement pour le modèle PFM-42X1N)
Adaptateur d'entrée composant/ RGB BKM-V11
Adaptateur actif RVB/composant BKM-V12

Réglementations de sécurité
UL1950, CSA No. 950 (c-UL), FCC Class B, IC Class B, EN60 950 (NEMKO), CE, C-Tick

La conception et les spécifications sont sujettes à modifications sans préavis.

Attribution des broches

Connecteur RGB/YUV (D-sub à 15 broches)



N° de broche	Signal
1	Vidéo rouge ou R-Y ou P_R
2	Vidéo vert ou Y ou Sync On Green
3	Vidéo bleu ou B-Y ou P_B
4	Masse
5	Masse
6	Masse du rouge
7	Masse du vert
8	Masse du bleu
9	Non utilisé
10	Masse
11	Masse
12	SDA
13	Sync H ou sync composite
14	Sync V
15	SCL

ACHTUNG

Um Feuergefahr und die Gefahr eines elektrischen Schlags zu vermeiden, setzen Sie das Gerät weder Regen noch sonstiger Feuchtigkeit aus.

Im Inneren des Geräts liegen gefährlich hohe Spannungen an. Öffnen Sie daher das Gehäuse nicht. Überlassen Sie Wartungsarbeiten stets nur qualifiziertem Fachpersonal.

Transport

Wenn Sie den Bildschirm transportieren, halten Sie ihn nicht an den Lautsprechern, sondern halten Sie das Gerät selbst. Andernfalls könnten sich die Lautsprecher vom Gerät lösen und das Gerät könnte herunterfallen. Dadurch kann es zu Verletzungen kommen.

Vorsicht

Wenn falsche Batterietypen eingelegt werden, besteht Explosionsgefahr.
Entsorgen Sie gebrauchte Batterien gemäß den jeweiligen Vorschriften.

Inhalt

DE
Deutsch

Sicherheitsmaßnahmen

Sicherheit

- Ein Typenschild mit Betriebsspannung, Leistungsaufnahme usw. befindet sich an der Geräterückseite.
- Sollten Fremdkörper oder Flüssigkeiten in das Gehäuse gelangen, trennen Sie das Gerät von der Netzsteckdose. Lassen Sie das Gerät von qualifiziertem Fachpersonal überprüfen, bevor Sie es wieder benutzen.
- Wollen Sie das Gerät einige Tage oder länger nicht benutzen, ziehen Sie den Netzstecker aus der Steckdose.
- Um das Gerät vom Netzstrom zu trennen, ziehen Sie den Netzstecker aus der Netzsteckdose. Ziehen Sie nicht am Kabel.
- Wenn der Monitor aufgestellt wird, verwenden Sie bitte unbedingt den gesondert erhältlichen Ständer.

Aufstellung

- Achten Sie auf ausreichende Luftzufuhr, damit sich im Gerät kein Wärmestau bildet. Stellen Sie das Gerät nicht auf Oberflächen wie Teppichen oder Decken oder in der Nähe von Materialien wie Gardinen und Wandbehängen auf, die die Lüftungsöffnungen blockieren könnten.
- Stellen Sie das Gerät nicht in der Nähe von Wärmequellen wie Heizkörpern oder Warmluftauslässen oder an Orten auf, an denen es direktem Sonnenlicht, außergewöhnlich viel Staub, mechanischen Vibrationen oder Stößen ausgesetzt ist.
- Wenn Sie mehrere andere Geräte an dieses Gerät anschließen, kann es je nach Standort dieses Geräts und der anderen Geräte zu folgenden Problemen kommen: Fehlfunktionen der Fernbedienung, Bildstörungen und Tonstörungen.
- Kommunikationsprobleme können auftreten, wenn Infrarotkommunikationsgeräte (z. B. schnurlose Infrarotkopfhörer oder -mikrofone) in der Nähe eines Bildschirms verwendet werden. Verwenden Sie in diesem Fall bitte andere Kopfhörer oder Mikrofone als schnurlose Infrarotkopfhörer oder -mikrofone. Wenn Sie Infrarotkommunikationsgeräte verwenden, entfernen Sie diese so weit vom Bildschirm, dass keine Störungen mehr auftreten, oder stellen Sie Sender und Empfänger der Infrarotkommunikationsgeräte näher beieinander auf.

Plasmabildschirm

- Möglicherweise sind ständig einige helle Lichtpunkte (rot, blau oder grün) oder vorübergehend schwarze Punkte auf dem Bildschirm zu sehen. Dabei handelt es sich nicht um eine Fehlfunktion. Der Plasmabildschirm wird mit einer Hochpräzisionstechnologie hergestellt. Dennoch können einige wenige dunkle oder helle Pixel auftreten. Dunkle Punkte am Bildschirmrand oder Farbstreifen und Helligkeitsunregelmäßigkeiten deuten nicht auf eine Fehlfunktion hin.
- Lassen Sie nicht für lange Zeit dasselbe Standbild ununterbrochen anzeigen. Andernfalls können auf einem Teil des Bildschirms ein Nachbild oder Doppelbilder zu sehen sein. Aktivieren Sie in einem solchen Fall die Bildschirmschonerfunktion, damit die Anzeige wechselt.
- Wenn dieser Plasmabildschirm an Orten mit niedrigem Luftdruck, wie z. B. in großer Höhe, verwendet wird, kann aufgrund des Herstellungsverfahrens ein Brummen oder Summen vom Gerät zu hören sein.
- Wenn Sie für lange Zeit dasselbe Standbild ununterbrochen auf dem Bildschirm anzeigen lassen, kann das Bild auf dem Bildschirm einbrennen, so dass ständig ein Nachbild zu sehen ist. Um dies zu vermeiden, verwenden Sie bitte die Bildschirmschonerfunktion, die dafür sorgt, dass die Anzeige gleichmäßig wechselt. Wenn Nachbilder auftreten, verwenden Sie die Bildschirmschonerfunktion oder eine andere Video- oder Bildsoftware, die eine ständig bewegte Anzeige erzeugt. Wenn die durch das Einbrennen des Bildes entstandenen Nachbilder schwach sind, lassen sie möglicherweise auch wieder nach, doch vollständig verschwinden werden sie nicht.
- Nachdem das Gerät eingeschaltet oder in den Bereitschaftsmodus geschaltet wurde, akzeptiert es zum Schutz des Plasmabildschirms einige Sekunden lang keine Befehle von der Fernbedienung oder den Funktionstasten am Gerät. Warten Sie etwa 8 Sekunden lang, bevor Sie einen Befehl eingeben.

Reinigung

Damit das Gerät immer wie neu aussieht, reinigen Sie es regelmäßig mit einer milden Reinigungslösung. Verwenden Sie keine Lösungsmittel wie Verdünner oder Benzin und keine Scheuermittel, da sie die Gehäuseoberfläche angreifen. Trennen Sie zur Sicherheit das Gerät vor dem Reinigen von der Stromversorgung.

Hinweise zur Handhabung und Reinigung des Bildschirms

Die spezielle Bildschirmoberfläche sollte mit entsprechender Sorgfalt beim Tragen und Reinigen behandelt werden. Verwenden Sie zum Reinigen ein weiches Reinigungstuch, um ein direktes Berühren des Bildschirms zu vermeiden.

Verpacken

Werfen Sie den Karton und die Verpackungsmaterialien nicht weg. Sie sind ideal für den Transport des Geräts geeignet. Wenn Sie das Gerät transportieren müssen, verpacken Sie es wie auf dem Karton abgebildet.

Wenn Sie Fragen zu dem Gerät haben, wenden Sie sich bitte an einen autorisierten Sony-Händler.

Merkmale und Funktionen

Der PFM-42X1 ist ein 16:9-Flachmonitor (42 Zoll) mit einem Plasmabildschirm (PDP). Dank des integrierten Bildrasterwandlers ist dieses Gerät für verschiedene Signaltypen geeignet.

Helles und scharfes Bild

Die Geräte der Serie PFM-42X1 zeichnen sich durch einen High Definition-Plasmabildschirm mit 1.024 Punkten × 768 Zeilen aus. So lässt sich auch bei unterschiedlichen Bildquellen eine helle und scharfe Bildschirmanzeige erzielen.

Digitaler Schaltkreis für hohe Bildqualität

Die konsistente digitale Verarbeitung aller Bildsignale ermöglicht die originalgetreue Reproduktion von qualitativ hochwertigen Bildern.

Audioverstärker und Lautsprecherausgangsbuchsen

Dieser Bildschirm ist mit digitalen Verstärkern ausgestattet, die in Kombination mit gesondert erhältlichen Lautsprechern eine hohe Tonqualität ermöglichen und Ihre Präsentationen noch wirkungsvoller machen.

Weitere Merkmale und Funktionen

- Lautsprecherausgangsbuchsen (L/R)
- Control S (IN/OUT)
- DVI-HDCP-Eingang*
- Zeigt das HDTV-Signal mit dreistufigem Synchronisationssignal an.
- Dreidimensionaler Kammfilter für die Trennung der Y/C-Signale bei NTSC.
- Zeilenkorrelationskammfilter für die Trennung der Y/C-Signale bei PAL.
- Automatische Eingangssignalerkennung mit Anzeige auf dem Bildschirm.
- Kompatibel mit PnP (Plug and Play) von Windows[1)] 98/2000/ME/XP.
- Funktion für dynamisches Bild
- Bildschirmmenü für verschiedene Einstellungen und Anpassungen
- Benutzerfreundliche Bildschirmmenüs in sechs Sprachen (Englisch, Deutsch, Französisch, Italienisch, Spanisch und Japanisch).
- Feineinstellung von Bildgröße und -position
- Speicher für bis zu zwanzig Bildeinstellungen.
- ID-Steuerung
- Fernsteuerungsanschluss RS-232C (D-Sub, 9-polig)
- Kann mit Infrarot-Fernbedienungen von Sony eingesetzt werden, sofern diese mit dem SIRCS-Code arbeiten.
- Untertitel-Decoder
- Bildschirmschoner zum Verringern von Nach- oder Doppelbildern.
- Ein Steckplatz dient als Reserve für zukünftige Erweiterungen.

* außer beim PFM-42X1N

Warnhinweis zum Netzanschluss

Verwenden Sie das für die Stromversorgung in Ihrem Land geeignete Netzkabel.

PFM-42X1

	USA, Kanada	Kontinental-europa		Großbritannien, Irland, Australien, Neuseeland	Japan
Steckertyp	VM0233	COX-07	636	—[a)]	VM1296
Weibliches Ende	VM0089	COX-02	VM0310B	VM0303B	VM1313
Kabeltyp	SVT	H05VV-F		CEE (13) 53rd (O.C)	HVCTF
Mindestwerte (Kabel)	10A/125V	10A/250V		10A/250V	10A/125V
Sicherheitszertifizierung	UL/CSA	VDE		VDE	DENAN-HO

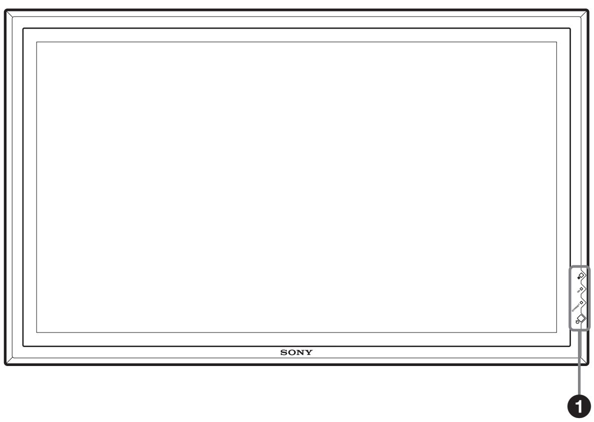
a) Hinweis: Verwenden Sie einen geeigneten Netzstecker, der die örtlichen Bestimmungen erfüllt.

1) Windows ist ein eingetragenes Warenzeichen der Microsoft Corporation in den USA und anderen Ländern.

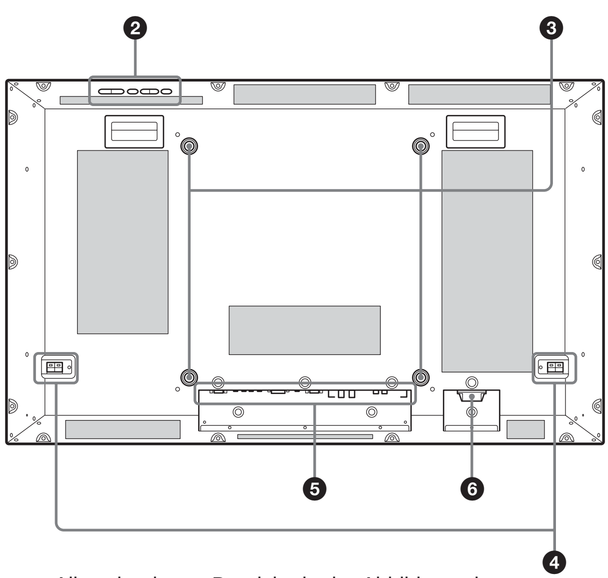
Lage und Funktion der Teile und Bedienelemente

Vorderseite / Rückseite / Unterseite

Vorderseite

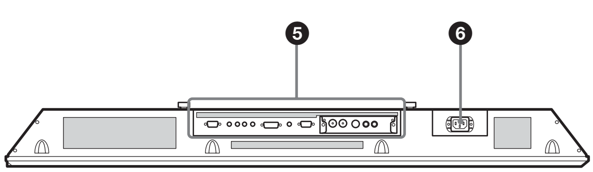


Rückseite



Alle schattierten Bereiche in der Abbildung oben zeigen Lüftungsöffnungen.

Unterseite



1 Bereich für Netzschalter ⏻ (Bereitschaft) / Netzanzeige
Näheres zum Bereich für Netzschalter ⏻ (Bereitschaft) / Netzanzeige finden Sie unter „Bereich für Netzschalter ⏻ (Bereitschaft) / Netzanzeige“ auf Seite 8 (DE).

2 Steuertastenbereich
Näheres zum Steuertastenbereich finden Sie unter „Steuertastenbereich (Oberseite)“ auf Seite 8 (DE).

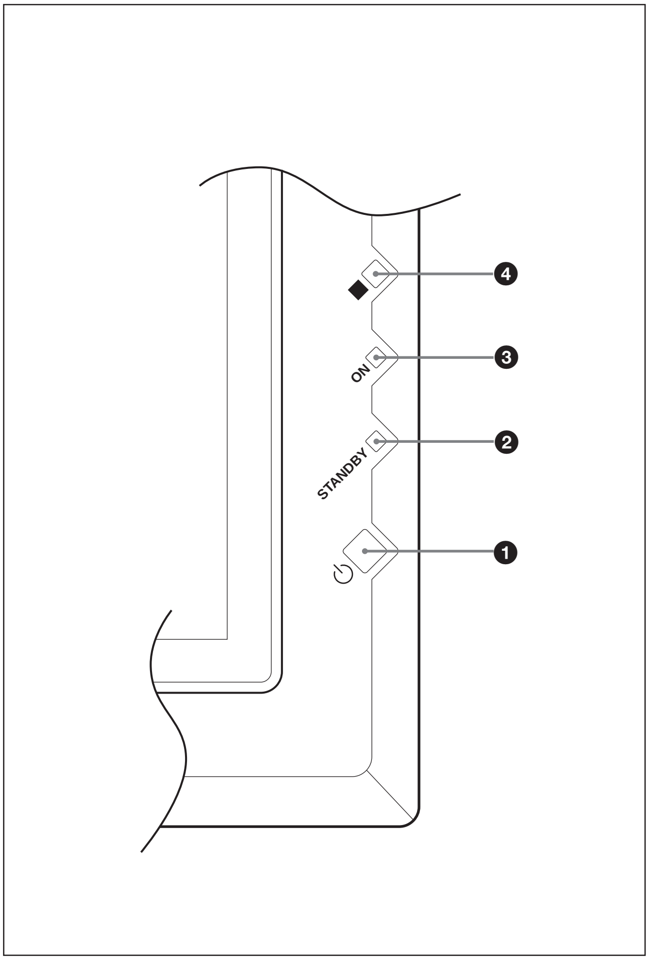
3 Haken für Ständerbefestigung
Befestigen Sie mit diesen Haken den Ständer (nicht mitgeliefert).

4 Buchse SPEAKER
Die Audiosignale der auf dem Bildschirm angezeigten Bilder werden ausgegeben, wenn an dieser Buchse gesondert erhältliche Lautsprecher angeschlossen sind.

5 Anschlussfeld
Einzelheiten zum Anschlussfeld finden Sie unter „Anschlussfeld“ auf Seite 9 (DE).

6 Netzbuchse ∿ AC IN
Schließen Sie das mitgelieferte Netzkabel an diese Buchse und an eine Netzsteckdose an. Sobald Sie das Netzkabel angeschlossen haben, leuchtet die Anzeige STANDBY rot, und der Monitor wechselt in den Bereitschaftsmodus.
Nähere Informationen zum Netzkabel finden Sie unter „Anschließen des Netzkabels“ auf Seite 15 (DE).

Bereich für Netzschalter ⏻ (Bereitschaft) / Netzanzeige



❶ Netzschalter ⏻ (Bereitschaft)
Zum Einschalten des Monitors. Durch erneutes Drücken schalten Sie wieder in den Bereitschaftsmodus.

Hinweis

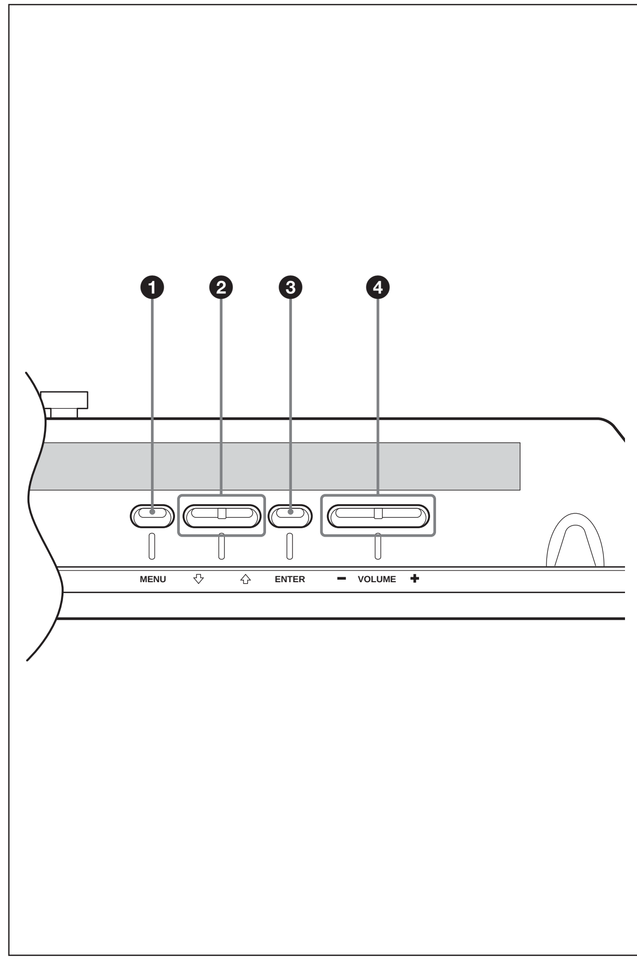
Zum Schutz des Bildschirms dauert es einige Sekunden, bis das Gerät eingeschaltet wird bzw. in den Bereitschaftsmodus wechselt. Nachdem Sie den Schalter einmal betätigt haben, warten Sie etwa 8 Sekunden, bevor Sie den Schalter erneut drücken.

❷ Anzeige STANDBY
Leuchtet im Bereitschaftsmodus rot auf.

❸ Anzeige ON
Leuchtet grün, wenn der Monitor eingeschaltet ist. Leuchtet orange, wenn sich der Monitor im Energiesparmodus befindet.
Einzelheiten zur Energiesparfunktion finden Sie unter „Energiesparfunktion“ auf Seite 50 (DE).

❹ Fernbedienungsdetektor
Hier geht das Signal von der Fernbedienung ein.

Steuertastenbereich (Oberseite)



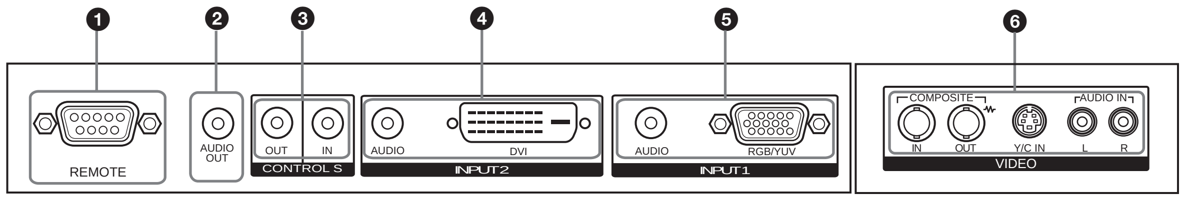
❶ Taste MENU
Zum Aufrufen von Menüs. Wenn Sie die Taste erneut drücken, werden die Menüs wieder ausgeblendet.
Wenn Sie mit der Taste MENU zur vorherigen Menüebene zurückwechseln, schlagen Sie unter „Menü Anfangseinstellungen“ auf Seite 23 (DE) nach.

❷ Tasten ⬇ / ⬆
Zum Bewegen des Cursors (gelb) zu einer auszuwählenden Option bzw. zum Einstellen eines Werts in einem Menü.

❸ Taste ENTER
Zum Bestätigen der Auswahl.

❹ Taste VOLUME +/–
Zum Einstellen der Lautsprecherlautstärke.

Anschlussfeld



❶ RS-232C-Anschluss REMOTE (D-Sub, 9-polig)
Mit diesem Anschluss können Sie den Monitor über das RS-232C-Protokoll fernsteuern. Näheres dazu erfahren Sie bei Ihrem autorisierten Sony-Händler.

❷ AUDIO OUT (Stereominibuchse)
Zum Ausgeben des Tons zu dem Signal, das gerade auf dem Bildschirm angezeigt wird.

❸ Anschluss CONTROL S IN/OUT (Ein-/ Ausgang für Control-S-Signal) (Minibuchse)
Sie können mehrere Geräte mit nur einer Fernbedienung steuern, wenn das Gerät an den Anschluss CONTROL S eines Videogeräts oder eines anderen Bildschirms angeschlossen wird. Verbinden Sie den Anschluss CONTROL S OUT an diesem Bildschirm mit dem Anschluss CONTROL S IN am anderen Gerät und verbinden Sie den Anschluss CONTROL S IN an diesem Bildschirm mit dem Anschluss CONTROL S OUT am anderen Gerät.

❹ INPUT2 (digitaler RGB-Signaleingang)-Anschlüsse*

DVI: Zum Anschließen an den digitalen RGB-Signalausgang eines Computers.

AUDIO (Stereominibuchse): Eingang für das Audiosignal. Zum Anschließen an den Audioausgang eines Computers.

Schließen Sie das mitgelieferte Kabel an den DVI-Anschluss an.

❺ INPUT1 (analoger RGB-/ Farbdifferenzsignaleingang)-Anschlüsse

RGB/YUV (D-Sub, 15-polig): Zum Anschließen an den analogen RGB- oder Farbdifferenzsignalausgang (YUV) eines Videogeräts oder Computers.

AUDIO (Stereominibuchse): Eingang für das Audiosignal. Zum Anschließen an den Audioausgang eines Videogeräts oder Computers.

❻ VIDEO-Anschlüsse
Der PFM-42X1N ist nicht mit VIDEO-Anschlüssen ausgestattet. Beim PFM-42X1N können FBAS-Video- und Y/C-Eingangssignale eingespeist werden, wenn der Videoeingangsadapter BKM-V10 (nicht mitgeliefert) im Gerät installiert ist.

COMPOSITE IN (BNC-Anschluss): Zum Anschließen an den FBAS-Videosignalausgang eines Videogeräts.

COMPOSITE OUT (BNC-Anschluss): Zum Anschließen an den FBAS-Videosignaleingang eines Videogeräts.

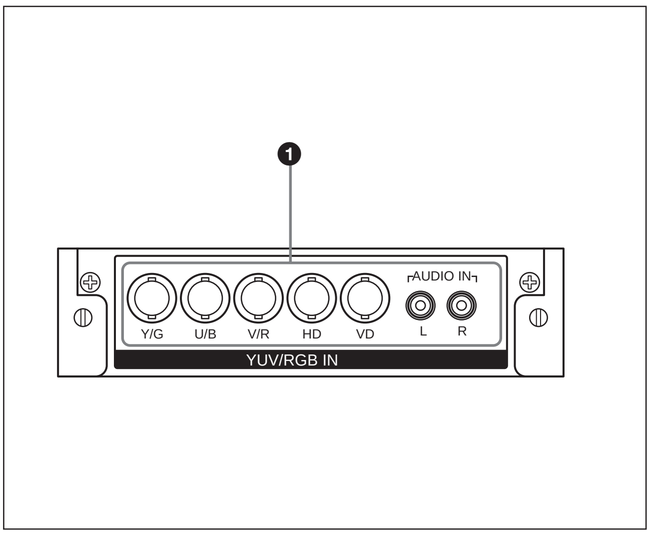
Y/C IN (Mini-DIN, 4-polig): Zum Anschließen an den Y/C-Signalausgang eines Videogeräts.

AUDIO IN L/R (Stiftbuchse): Eingang für das Audiosignal. Zum Anschließen an den Audioausgang eines Videogeräts.

* Der PFM-42X1N ist nicht mit INPUT2-Anschlüssen ausgestattet.

Farbdifferenz-/RGB-Eingangssignaladapter BKM-V11 (nicht mitgeliefert)

Bei den VIDEO-Anschlüssen handelt es sich um Einsteckanschlüsse. Sie können die VIDEO-Anschlüsse (Videoeingangsadapter BKM-V10) gegen einen Farbdifferenz-/RGB-Eingangssignaladapter BKM-V11 (nicht mitgeliefert) austauschen.
Beim PFM-42X1N können Sie einen BKM-V10, BKM-V11 oder BKM-V12 installieren.
Einzelheiten zum Installieren erfahren Sie bei Ihrem autorisierten Sony-Händler.



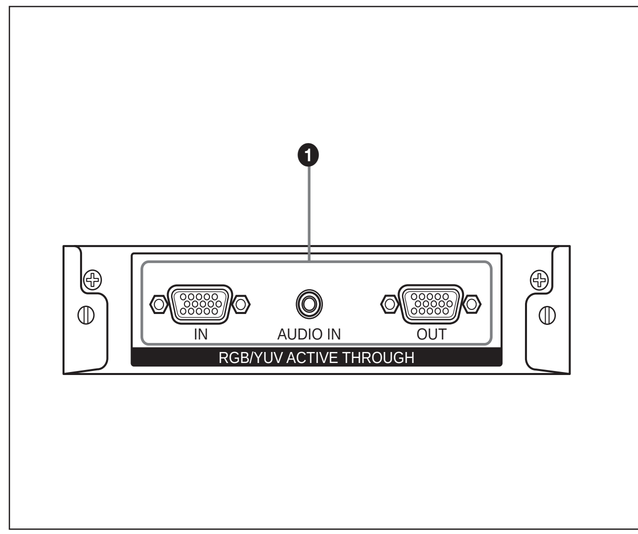
1 YUV/RGB IN-Anschlüsse

YUV/RGB IN (Farbdifferenz-/analoger RGB-Signaleingang) (BNC-Anschluss): Zum Anschließen an den analogen RGB- oder Farbdifferenzsignalausgang (YUV) eines Videogeräts.

AUDIO IN L/R (Stiftbuchse): Eingang für das Audiosignal. Zum Anschließen an den Audioausgang eines Videogeräts.

Aktiver Durchschleifadapter BKM-V12 für RGB-/Farbdifferenzsignale (nicht mitgeliefert)

Bei den VIDEO-Anschlüssen handelt es sich um Einsteckanschlüsse. Sie können die VIDEO-Anschlüsse (Videoeingangsadapter BKM-V10) durch einen aktiven Durchschleifadapter BKM-V12 für RGB-/Farbdifferenzsignale (nicht mitgeliefert) ersetzen.
Beim PFM-42X1N können Sie einen BKM-V10, BKM-V11 oder BKM-V12 installieren.
Einzelheiten zum Installieren erfahren Sie bei Ihrem autorisierten Sony-Händler.



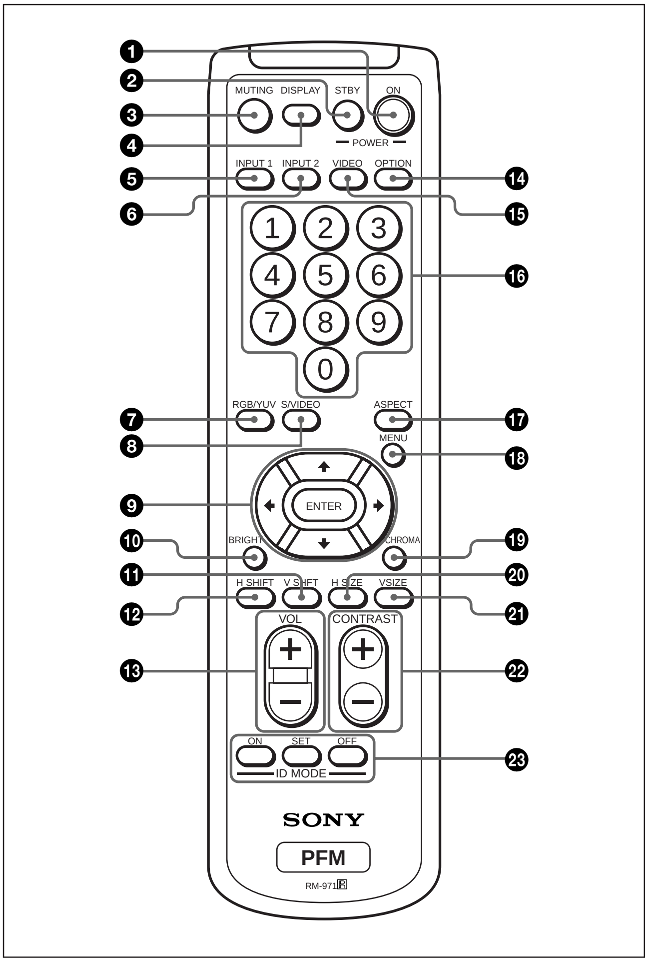
1 RGB/YUV ACTIVE THROUGH-Anschlüsse

RGB/YUV IN (analoger RGB-/Farbdifferenzsignaleingang) (D-Sub, 15-polig): Zum Anschließen an den analogen RGB- oder Farbdifferenzsignalausgang (YUV) eines Videogeräts oder Computers.

AUDIO IN (Stereominibuchse): Eingang für das Audiosignal. Zum Anschließen an den Audioausgang eines Videogeräts oder Computers.

RGB/YUV OUT (aktiver Durchschleifausgang für analoge RGB-/Farbdifferenzsignale) (D-Sub, 15-polig): Zum Ausgeben der Signale, die über die Anschlüsse RGB/YUV IN (analoger RGB-/Farbdifferenzsignaleingang) an diesem Adapter eingespeist werden.

Fernbedienung RM-971



❶ Schalter POWER ON
Zum Einschalten des Monitors.

❷ Taste STANDBY
Mit diesem Schalter wird der Monitor in den Bereitschaftsmodus geschaltet.

❸ Taste MUTING
Zum Stummschalten des Tons. Erneut drücken, um den Ton wieder einzuschalten.

❹ Taste DISPLAY
Zum Anzeigen von Informationen zum Eingangssignal und zum Bildmodus am Bildschirm. Drücken Sie die Taste nochmals, wenn Sie die Informationen wieder ausblenden wollen.
Wenn die angezeigte Information eine kurze Zeit lang unberührt belassen wird, verschwindet sie automatisch.

❺ Taste INPUT1
Zum Auswählen des Signals, das über die INPUT1-Anschlüsse eingespeist wird. Wenn Sie diese Taste zusammen mit der Taste ENTER verwenden, können Sie den Modus „Picture And Picture (PAP)“ (Zweibildanzeige) wechseln, indem Sie die Taste ENTER und dann die Taste INPUT1 drücken.

❻ Taste INPUT2
Zum Auswählen des Signals, das über die INPUT2-Anschlüsse eingespeist wird.

❼ Taste RGB/YUV
Zum Auswählen des Formats, das dem Eingangssignal an Anschluss INPUT1 entspricht. Mit jedem Tastendruck wird zwischen RGB und YUV gewechselt.

❽ Taste S/VIDEO
Zum Auswählen des Signaleingangs an den VIDEO-Anschlüssen, wenn Standardzubehör oder ein gesondert erhältlicher Adapter BKM-V10 installiert ist. Mit jedem Tastendruck wird zwischen COMPOSITE IN und Y/C IN gewechselt.

❾ Tasten ↑/↓/←/→/ENTER
Mit den Tasten ↑/↓/←/→ können Sie den Cursor (gelb) im Menü bewegen und Werte einstellen usw. Wenn Sie die Taste ENTER drücken, werden das ausgewählte Menü oder die Einstelloptionen bestätigt. Wenn Sie diese Taste zusammen mit der Taste INPUT1 verwenden, können Sie den Modus „Picture And Picture (PAP)“ (Zweibildanzeige) wechseln, indem Sie die Taste ENTER und dann die Taste INPUT1 drücken.

❿ Taste BRIGHT
Zum Einstellen der Helligkeit, wenn der Bildmodus auf „Benutz. 1-3“ eingestellt ist. Drücken Sie diese Taste und stellen Sie dann die Helligkeit mit der Taste ↑/↓ oder ←/→ ❾ ein.

⓫ Taste V SHIFT
Zum Einstellen der vertikalen Zentrierung. Drücken Sie diese Taste, und stellen Sie dann die vertikale Zentrierung mit der Taste ↑/↓ oder ←/→ ❾ ein.

⓬ Taste H SHIFT
Zum Einstellen der horizontalen Zentrierung. Drücken Sie diese Taste, und stellen Sie dann die horizontale Zentrierung mit der Taste ↑/↓ oder ←/→ ❾ ein.

⓭ Taste VOLUME +/–
Zum Einstellen der Lautstärke.

⓮ Taste OPTION
Zum Auswählen des Signals, das über den gesondert erhältlichen Adapter (außer BKM-V10) eingespeist wird, falls ein solcher im Gerät installiert wird.

⓯ Taste VIDEO
Zum Auswählen des Signaleingangs an COMPOSITE IN oder Y/C IN der VIDEO-Anschlüsse, wenn Standardzubehör oder ein gesondert erhältlicher Adapter BKM-V10 installiert ist.

⓰ Zahlentasten
Dienen zum Eingeben der Indexnummer.

⓱ Taste ASPECT
Zum Auswählen des Bildformats (Breitbildmodus).

⓲ Taste MENU
Wenn das Menü auf dem Monitorbildschirm angezeigt wird, wechseln Sie mit dieser Taste zur vorherigen Menüebene zurück. Das Menü wird ausgeblendet, wenn Sie diese Taste erneut drücken.
Wenn Sie mit der Taste MENU zur vorherigen Menüebene zurückwechseln, schlagen Sie unter „Menü Anfangseinstellungen“ auf Seite 23 (DE) nach.

⓳ Taste CHROMA
Zum Einstellen der Farbe, wenn der Bildmodus auf „Benutz.1-3“ eingestellt ist. Drücken Sie diese Taste und stellen Sie dann die horizontale Zentrierung mit der Taste ⬆/⬇ oder ⬅/➡ ❾ ein.

⓴ Taste H SIZE
Zum Einstellen der Bildbreite. Drücken Sie diese Taste und stellen Sie dann die Bildbreite mit der Taste ⬆/⬇ oder ⬅/➡ ❾ ein.

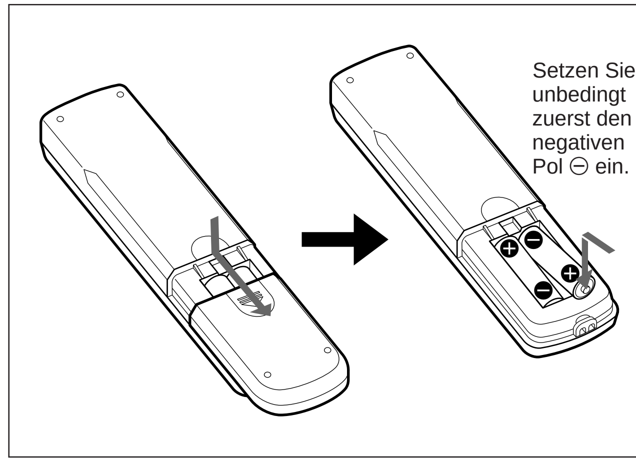
㉑ Taste V SIZE
Zum Einstellen der Bildhöhe. Drücken Sie diese Taste und stellen Sie dann die Bildhöhe mit der Taste ⬆/⬇ oder ⬅/➡ ❾ ein.

㉒ Taste CONTRAST +/–
Zum Einstellen des Kontrasts, wenn der Bildmodus auf „Benutz.1–3“ eingestellt ist.

㉓ ID MODE-Tasten (ON/SET/OFF)
Wenn Sie die Taste ON drücken, erscheint eine Indexnummer auf dem Bildschirm. Geben Sie dann mit den Zahlentasten ⓰ die Indexnummer des Monitors ein, den Sie bedienen wollen, und drücken Sie die Taste SET. Danach schalten Sie mit der Taste OFF aus dem ID-Modus wieder in den normalen Modus.
Näheres zum Einstellen der Indexnummer finden Sie unter „Steuern eines bestimmten Monitors über die Fernbedienung“ auf Seite 51 (DE).

Einlegen der Batterien

Legen Sie zwei R6-Batterien der Größe AA polaritätsrichtig ein.



- Unter normalen Bedingungen halten die Batterien bis zu einem halben Jahr lang. Wenn die Fernbedienung nicht ordnungsgemäß funktioniert, sind die Batterien möglicherweise früher erschöpft. Tauschen Sie sie gegen neue aus.
- Wenn Sie die Fernbedienung längere Zeit nicht benutzen wollen, nehmen Sie die Batterien heraus, um Schäden durch auslaufende Batterien zu vermeiden.

Vorsicht
Wenn falsche Batterietypen eingelegt werden, besteht Explosionsgefahr.
Entsorgen Sie gebrauchte Batterien gemäß den jeweiligen Vorschriften.

Wenn die Fernbedienung nicht funktioniert
Vergewissern Sie sich, dass die Anzeige STANDBY leuchtet und „Fernbed.-Modus“ im Menü „Fernbedienung“ nicht auf „AUS“ gesetzt ist. Mit der Fernbedienung kann der Monitor nur gesteuert werden, wenn beide Bedingungen unten erfüllt sind.
- Der Monitor ist eingeschaltet oder befindet sich im Bereitschaftsmodus.
- Die Option „Fernbed.-Modus“ im Menü „Fernbedienung“ ist auf „Ein“ gesetzt.

Näheres zur Option „Fernbed.-Modus“ finden Sie unter „Menü Fernbedienung“ auf Seite 25 (DE).

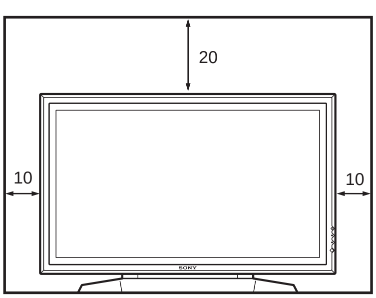
Vorsicht

Lassen Sie um den Bildschirm herum viel Platz.

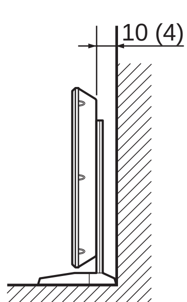
- Achten Sie beim Aufstellen bzw. Aufhängen des Monitors darauf, dass der Platz um den Bildschirm herum größer ist als in der Abbildung unten dargestellt, damit eine ausreichende Belüftung möglich ist.
- Die Umgebungstemperatur muss bei 0 °C bis +35 °C liegen.
- Wenn Sie den Bildschirm in horizontaler Position verwenden wollen, benötigen Sie den Bildschirmständer SU-42B (nicht mitgeliefert).
- Zu Metallteilen für die Montage wie Halterungen, Schrauben oder Bolzen können wir keine genauen Produktangaben machen. Die Montage ist Aufgabe der autorisierten Händler vor Ort. Wenden Sie sich für die Montage bitte an qualifiziertes Personal von Sony.
- Wenn das Gerät eingeschaltet ist, können sich einige Teile stark erhitzen und es besteht Verbrennungsgefahr. Berühren Sie nicht die Ober- und Rückseite des Monitors, wenn dieser eingeschaltet ist oder gerade in den Bereitschaftsmodus geschaltet wurde.

Bei Verwendung des Ständers (nicht mitgeliefert)

Vorderseite



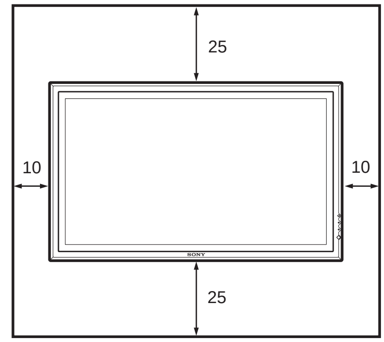
Seite



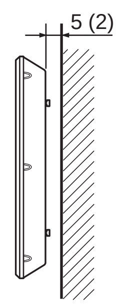
Einheit: cm

Wenn Sie den Monitor horizontal verwenden

Vorderseite



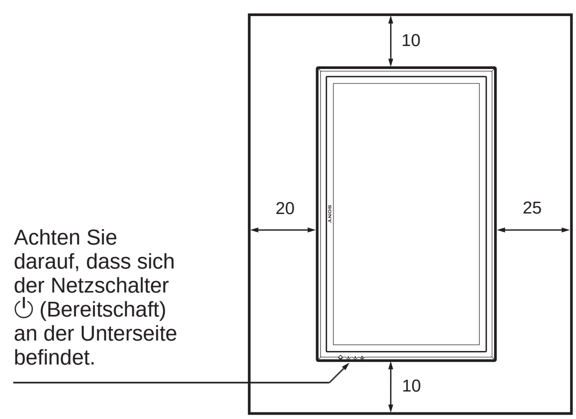
Seite



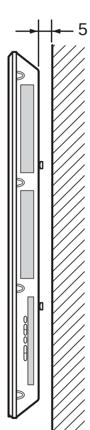
Einheit: cm

Wenn Sie den Monitor vertikal verwenden

Vorderseite



Seite



Einheit: cm

Hinweise zu Nachbildern

Wenn die Bilder 1 – 5 unten längere Zeit unverändert auf dem Bildschirm angezeigt werden, kann es aufgrund der charakteristischen Merkmale von Plasmabildschirmen in einigen Bildschirmbereichen zu dauerhaften Nachbildern kommen. Sie können Nachbilder verringern, indem Sie wie in Schritt A – D erläutert vorgehen.

In folgenden Fällen kann es zu Einbrennen und Nachbildern kommen

1 Schwarze Streifen oben und unten bei Videoquellen im Breitbildformat (Letter Box-Bilder)

2 Schwarze Streifen links und rechts bei Videoquellen im 4:3-Format (normale Fernsehsendungen)

3 Bilder von Videospielen

4 DVD-Bildschirmmenüs

5 Bildschirmmenüs, Kanalnummern usw. von angeschlossenen Geräten wie DSS, Kabeltuner, Videodecks usw.

Maßnahmen zum Vermeiden/Verringern von Einbrennen und Nachbildern

A Verwenden Sie die automatische Bildverschiebung als Bildschirmschonerfunktion.

B Vermeiden Sie das Anzeigen von Kanalnummern, Bildschirmmenüs usw. von angeschlossenen Geräten wie DSS, Kabeltuner, Videodecks usw. Wie Sie Kanalnummern, Bildschirmmenüs usw. ausblenden, schlagen Sie bitte in der Bedienungsanleitung zum angeschlossenen Gerät nach.

C Verringern Sie die Helligkeit von Bildern und/ oder lassen Sie Videobilder im Modus „4:3 erw.“ oder im Modus „16:9“ (in voller Größe) anzeigen.

D Wenn Sie den Modus „4:3“ oder den Modus „Picture And Picture (PAP)“ verwenden, können Sie die Helligkeit des Hintergrundes mit der Funktion „Hintergrund“ unter „Bildschirmschoner“ einstellen und so den Helligkeitsunterschied zwischen dem Bildbereich und dem Hintergrundbereich ohne Videosignal verringern. Dadurch können ein Einbrennen auf dem Bildschirm oder Nachbilder vermieden werden.

E Geringe Nachbilder können Sie mit der Funktion „Bildumkehrung“ unter „Bildschirmschoner“ verringern. Wenn Nachbilder bereits entstanden sind, können sie mit dieser Funktion allerdings nicht vollständig entfernt werden.

Hinweise zu „Bildumkehrung“ unter „Bildschirmschoner“

Wenn das angezeigte Bild wie ein Negativ erscheint, ist die Option „Bildumkehrung“ unter „Bildschirmschoner“ möglicherweise auf „Autom.“ oder „Ein“ gesetzt. Wenn das Bild wieder normal angezeigt werden soll, wählen Sie „Aus“ oder stellen die unter „Autom.“ angegebene Zeit neu ein.
Bei der Bildumkehrung werden die Farben des Bildes umgekehrt (Beispiel: weiß wird schwarz und schwarz wird weiß). Nachbilder können durch die Anzeige der entsprechenden umgekehrten Bilder bis zu einem gewissen Grad korrigiert werden. Das Bild sieht bei der Bildumkehrung wie ein Filmnegativ aus. Dies ist keine Fehlfunktion.

Anschließen des Monitors

Vorbereitungen

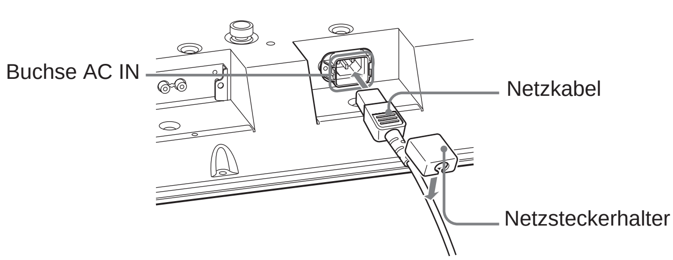
- Achten Sie darauf, dass alle Geräte ausgeschaltet sind.
- Verwenden Sie nur Kabel, die für die anzuschließenden Geräte geeignet sind.
- Achten Sie darauf, die Kabelstecker fest in die Buchsen zu stecken. Eine lose Verbindung kann Störungen verursachen.
- Um ein Kabel zu lösen, ziehen Sie immer am Stecker. Ziehen Sie auf keinen Fall am Kabel selbst.
- Schlagen Sie in den Bedienungsanleitungen zu den anzuschließenden Geräten nach.
- Stecken Sie den Stecker fest in die Buchse AC IN.
- Verwenden Sie einen der beiden Netzsteckerhalter (mitgeliefert), die den Netzstecker sicher halten.

Anschließen der Lautsprecher

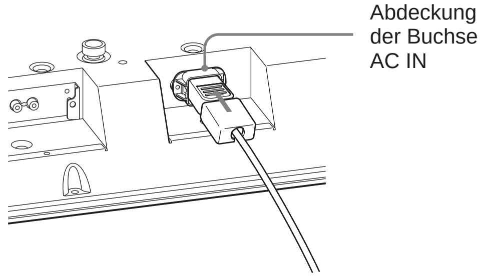
Die Wirkung der Wiedergabe wird verstärkt, wenn Sie Lautsprecher anschließen (SS-SP20B, nicht mitgeliefert). Achten Sie darauf, die Lautsprecher korrekt anzuschließen. Nähere Informationen zum Anschließen der Lautsprecher finden Sie in der Bedienungsanleitung zu den Lautsprechern.

Anschließen des Netzkabels

1 Schließen Sie das Netzkabel an die Buchse AC IN an. Bringen Sie dann den Netzsteckerhalter (mitgeliefert) am Netzkabel an.



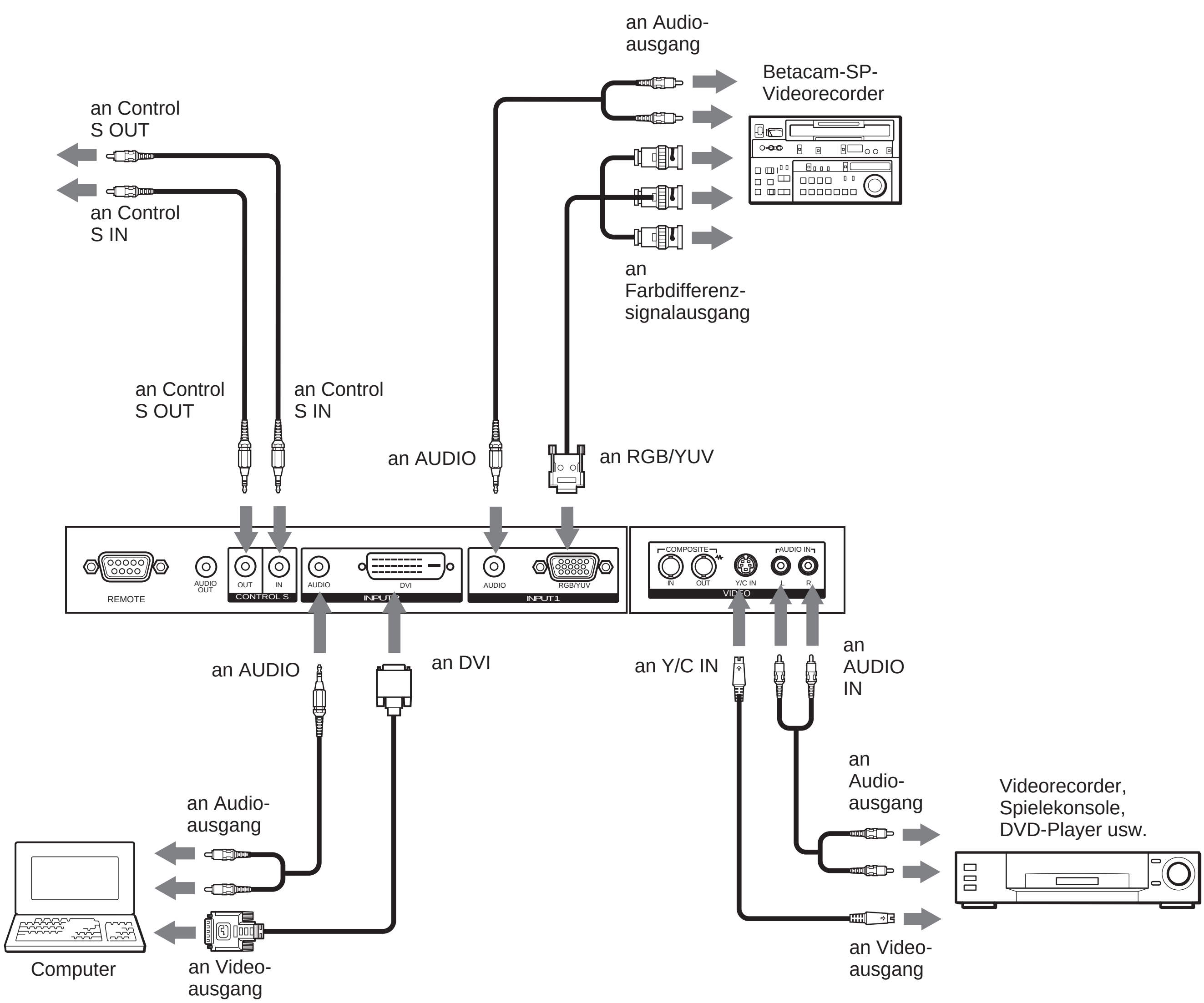
2 Schieben Sie den Netzsteckerhalter über das Kabel, bis er mit der Abdeckung der Buchse AC IN verbunden ist.



So nehmen Sie das Netzkabel ab

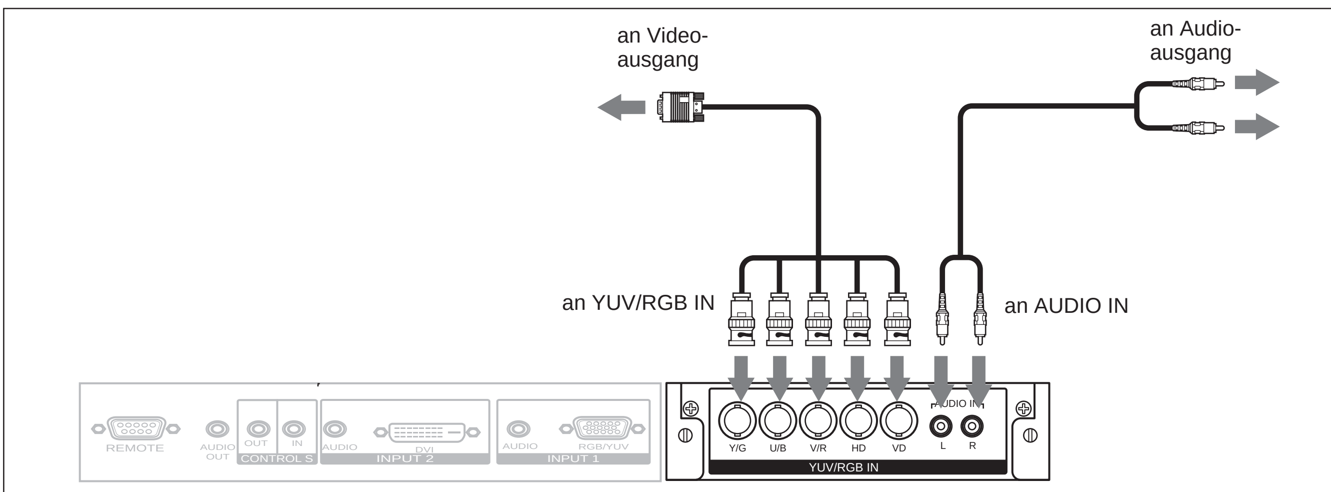
Nachdem Sie auf beide Seiten des Netzsteckerhalters gedrückt und ihn gelöst haben, ziehen Sie das Netzkabel am Stecker heraus.

Anschlussbeispiel

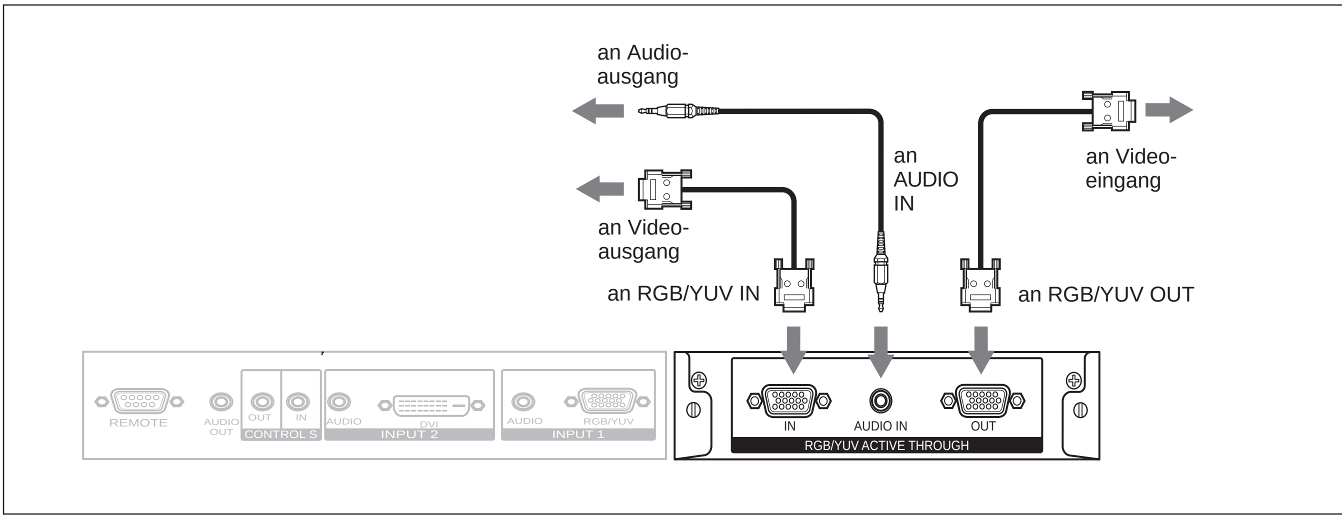


Das Anschlussbeispiel für den PFM-42X1N gilt, wenn ein Videoeingangsadapter BKM-V10 installiert ist.
Der PFM-42X1N ist nicht mit INPUT2-Anschlüssen ausgestattet.

Wenn ein gesondert erhältlicher Farbdifferenz-/RGB-Eingangssignaladapter BKM-V11 installiert ist

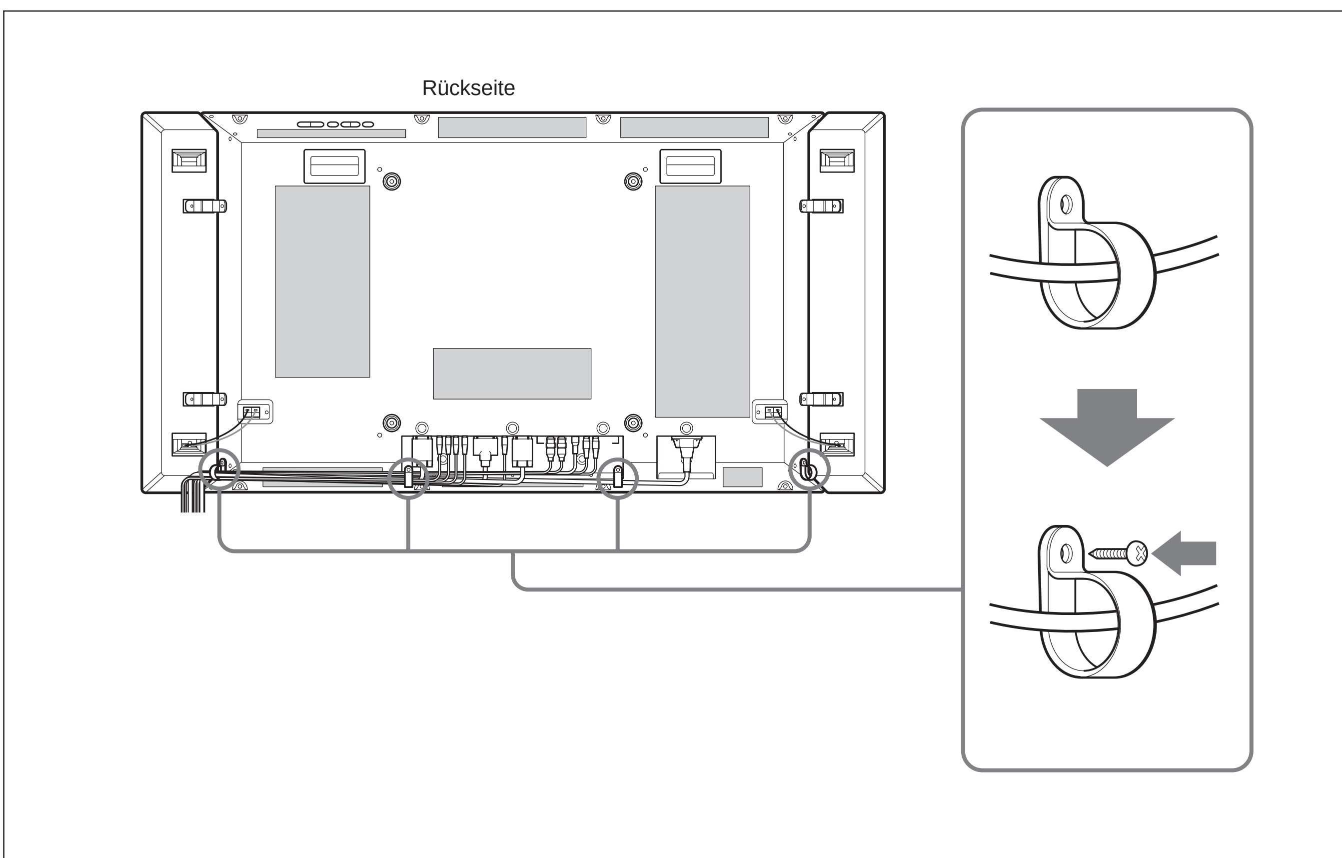


Wenn ein gesondert erhältlicher, aktiver Durchschleifadapter BKM-V12 für RGB-/Farbdifferenzsignale installiert ist



Anbringen der Kabelhalter

Die Kabel lassen sich mit den mitgelieferten Kabelhaltern (×4) ideal bündeln. Bringen Sie die Kabelhalter wie in der Abbildung unten dargestellt an.

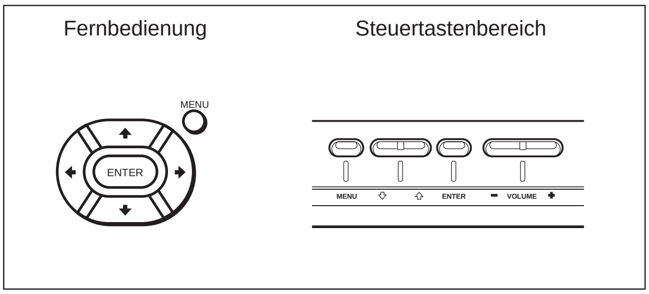


Die Bildschirmmenüs

Arbeiten mit den Menüs

Menütasten

Zur Arbeit mit den Menüs können Sie die Tasten am Monitor oder auf der Fernbedienung verwenden.



Bei den Anweisungen in dieser Bedienungsanleitung wird der Betrieb mit der Fernbedienung zugrunde gelegt. Die Tasten ↑/↓ und ENTER auf der Fernbedienung haben dieselben Funktionen wie die Tasten ↑/↓ und ENTER am Bildschirm.

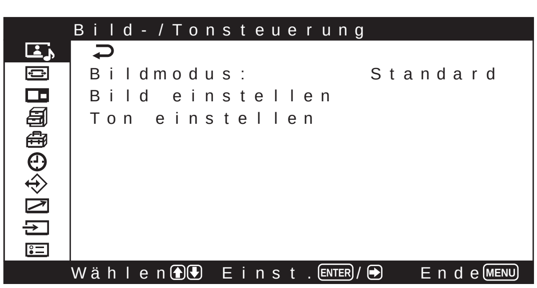
Hinweis

Das Vorgehen kann sich in einigen Fällen unterscheiden, da der Bildschirm nicht über eine Taste ←/→ verfügt.

Menükonfiguration

Erläuterungen zum „Auswählen der Menüsprache“ finden Sie auf Seite 43 (DE).

1 Drücken Sie MENU.
Das Hauptmenü erscheint auf dem Bildschirm.



2 Stellen Sie den Cursor (gelb) mit ↑/↓ auf das gewünschte Hauptmenü und drücken Sie ENTER oder →.
Der Cursor wechselt zum nächsten Menü.

3 Stellen Sie den Cursor (gelb) mit ↑/↓ auf die gewünschte Option und drücken Sie ENTER oder →.
Das Menü zur ausgewählten Option erscheint. Wählen Sie Optionen aus, indem Sie dieses Vorgehen wiederholen.

4 Mit ↑/↓ können Sie eine Einstellung ändern oder auswählen, mit ENTER können Sie diese Einstellung bestätigen.
Die entsprechende Einstellung wird gespeichert und es erscheint wieder das vorhergehende Menü.

Um die Konfiguration abzuschließen und zum normalen Bildschirm zurückzuschalten, drücken Sie MENU.
Wenn Sie zur vorherigen Menüebene zurückschalten wollen, stellen Sie den Cursor mit ↑/↓ auf ⮐ und drücken Sie ENTER oder ←.
Wenn Sie mit der Taste MENU zur vorherigen Menüebene zurückschalten wollen, schlagen Sie unter „MENU-Funktion“ auf Seite 24 (DE) nach.

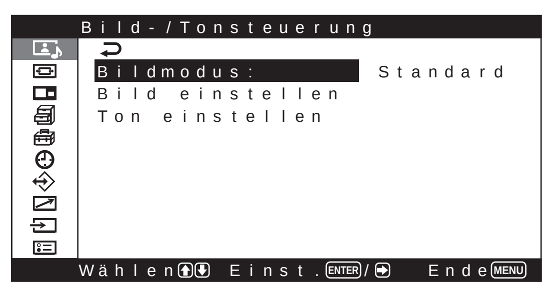
Übersicht über die Menüs

Hinweis

Die Optionen, die nicht eingestellt werden können (je nach Einstellung oder Eingangssignaltyp) werden dunkelgrau angezeigt.

Menü Bild-/Tonsteuerung

Dient zum Einstellen der Bild- und Tonqualität der auf dem Bildschirm angezeigten Bilder.



Bildmodus

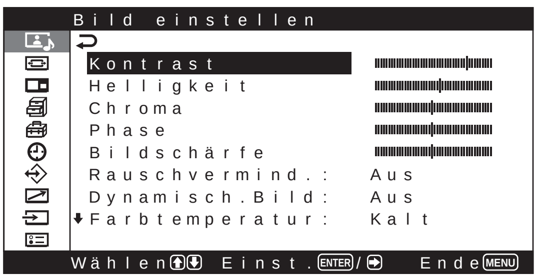
Stellt die Bildqualität ein, die für den Bildtyp bzw. für das Umgebungslicht an dem Ort, an dem das Gerät installiert ist, am besten geeignet ist.
Einzelheiten dazu finden Sie unter „Auswählen der Bildqualität“ auf Seite 30 (DE).

Menü Bild einstellen

Sie können das Bild feineinstellen.
Setzen Sie „Bildmodus“ zunächst auf eine der Einstellungen „Benutz.1“ bis „Benutz.3“.

Hinweis

Die folgenden Optionen können nicht eingestellt werden, wenn „Bildmodus“ auf „Standard“ oder „Lebhaft“ gesetzt wird.





Kontrast
Mit ↑/→ verstärken Sie den Kontrast, mit ↓/← schwächen Sie ihn ab.

Helligkeit
Mit ↑/→ stellen Sie das Bild heller, mit ↓/← dunkler ein.

Chroma
Mit ↑/→ verstärken Sie die Farbsättigung, mit ↓/← schwächen Sie sie ab.

Phase
Mit ↑/→ verstärken Sie im Bild den Grünanteil, mit ↓/← den Rotanteil.

Bildschärfe
Mit ↑/→ erhöhen Sie die Kontureneinstellstufe des Bildes, mit ↓/← verringern Sie sie.

Rauschvermind.
Stellt die Stufe ein, mit der die Körnigkeit des Bildes und das Farbrauschen reduziert werden. Die vier Stufen „Aus“, „Niedrig“, „Mittel“ und „Hoch“ stehen zur Verfügung.
Einzelheiten dazu finden Sie unter „Rauschvermind.“ auf Seite 31 (DE).

Dynamisch. Bild
Verbessert den Kontrast, indem Weiß heller und Schwarz dunkler erscheint.
Einzelheiten dazu finden Sie unter „Dynamisch. Bild“ auf Seite 32 (DE).

Farbtemperatur
Zum Ändern der Farbtemperatur.
Näheres dazu finden Sie unter „Farbtemperatur“ auf Seite 32 (DE).

Gamma-Korrektur
Zum Einstellen der Balance der hellen und dunklen Bildbereiche auf eine der Stufen „Hoch“, „Mittel“ und „Niedrig“.
Einzelheiten dazu finden Sie unter „Gamma-Korrektur“ auf Seite 33 (DE).

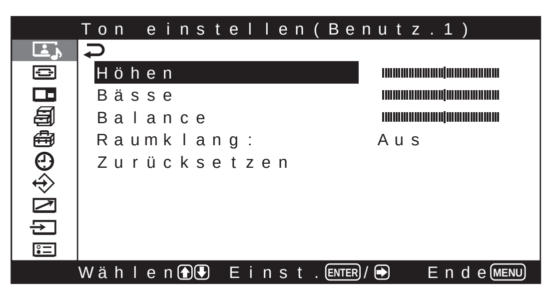
Zurücksetzen
Zum Zurücksetzen der Optionen im Menü Bild einstellen auf die werkseitig eingestellten Werte.
Erläuterungen zum Zurücksetzen finden Sie unter „Zurücksetzen der Optionen im Menü Bild einstellen auf ihre ursprünglichen Werte“ auf Seite 34 (DE).

Menü Ton einstellen

Sie können den Ton feineinstellen.
Setzen Sie „Bildmodus“ zunächst auf eine der Einstellungen „Benutz.1“ bis „Benutz.3“.

Hinweis

Die folgenden Optionen können nicht eingestellt werden, wenn „Bildmodus“ auf „Standard“ oder „Lebhaft“ gesetzt wird.



Höhen
Mit ↑/→ verstärken Sie die Höhen, mit ↓/← verringern Sie sie.

Bässe
Mit ↑/→ verstärken Sie die Bässe, mit ↓/← verringern Sie sie.

Balance
Mit ↑/→ wird die Lautstärke auf der rechten Seite verstärkt, mit ↓/← die Lautstärke auf der linken.

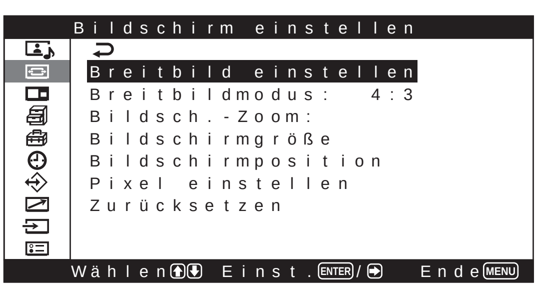
Raumklang
Für die Raumklangfunktionen können Sie eine der Stufen „Aus“, „Saal“ und „Simul.“ einstellen.
Einzelheiten dazu finden Sie unter „Raumklang“ auf Seite 41 (DE).

Zurücksetzen
Zum Zurücksetzen der Optionen im Menü Ton einstellen auf die werkseitig eingestellten Werte.
Erläuterungen zum Zurücksetzen finden Sie unter „Zurücksetzen der Optionen im Menü Ton einstellen auf die ursprünglichen Werte“ auf Seite 41 (DE).

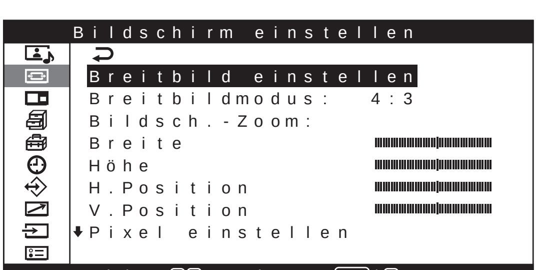
Menü Bildschirm einstellen

Mit diesem Menü können Sie die Größe und Position des Bildes ändern.
Der Bildschirm und das Vorgehen im Menü Bildschirm einstellen unterscheiden sich je nach Einstellung von MENU-Funktion.
Einzelheiten dazu finden Sie unter „MENU-Funktion“ auf Seite 24 (DE).

Wenn MENU-Funktion auf „Ein/Aus“ gesetzt ist (werkseitige Einstellung)



Wenn MENU-Funktion auf „Zurück“ gesetzt ist



Breitbild einstellen
Zum Einstellen der automatischen Breitbildfunktion. Bei der automatischen Breitbildfunktion wird zwischen dem Format normaler Fernsehsendungen und dem Breitbildformat gewählt. Diese Formate weisen unterschiedliche Bildseitenverhältnisse auf. Das Bild wird automatisch auf ein Breitbildformat mit einem Bildseitenverhältnis von 16:9 vergrößert, so dass bei verschiedenen Bildformaten immer eine optimale Darstellung erzielt wird.
Einzelheiten dazu finden Sie unter „Einstellen der automatischen Breitbildfunktion“ auf Seite 35 (DE).

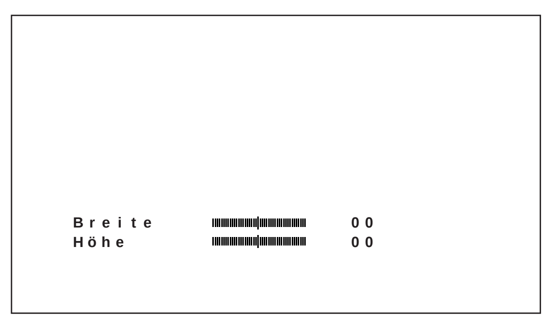
Breitbildmodus
Zum Wechseln der Breitbildanzeige, um sie auf Größe und Typ des Bildes einzustellen.
Einzelheiten dazu finden Sie unter „Einstellen des Breitbildmodus“ auf Seite 36 (DE).

Bildsch.-Zoom
Zum Vergrößern des Bildes auf das Doppelte (×2), Dreifache (×3) bzw. Vierfache (×4).

Hinweis
Die Vergrößerungseinstellungen können nur verwendet werden, wenn der Breitbildmodus auf „16:9“ gesetzt ist.

Menü Bildschirmgröße

Mit diesem Menü können Sie die Bildgröße einstellen. Der folgende Bildschirm erscheint, wenn MENU-Funktion auf „Ein/Aus“ gesetzt ist.

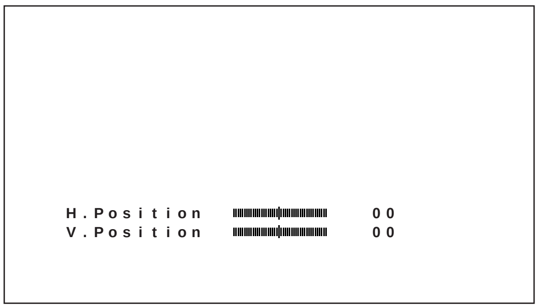


Breite
Zum Einstellen der Bildbreite. Mit → stellen Sie das Bild breiter, mit ← schmaler ein.

Höhe
Zum Einstellen der Bildhöhe. Mit ↑ stellen Sie das Bild höher, mit ↓ niedriger ein.

Menü Bildschirmposition

Mit diesem Menü können Sie die Bildzentrierung einstellen.
Der folgende Bildschirm erscheint, wenn MENU-Funktion auf „Ein/Aus“ gesetzt ist.



H. Position
Zum Einstellen der horizontalen Zentrierung. Mit → verschieben Sie das Bild nach rechts, mit ← nach links.

V. Position
Zum Einstellen der vertikalen Zentrierung. Mit ↑ verschieben Sie das Bild nach oben, mit ↓ nach unten.

Menü Pixel einstellen

Mit diesem Menü können Sie die Bildpunkte einstellen.
Die Einstellung kann nur vorgenommen werden, wenn Computersignale eingespeist werden.



Auto. Einstell.
Die Punktphase und die Gesamtzahl der horizontalen Pixel werden automatisch eingestellt.
Einzelheiten dazu finden Sie unter „Einstellen der Pixel“ auf Seite 38 (DE).

Punktphase
Zum Einstellen der Punktphase. Mit der Taste ↑/→ erhöhen Sie die Punktphase, mit der Taste ↓/← verringern Sie sie.

Pixel H gesamt
Zum Einstellen der Gesamtzahl der horizontalen Pixel. Mit ↑/→ erhöhen Sie die Anzahl der Pixel, mit ↓/← verringern Sie sie.

Zurücksetzen
Zum Zurücksetzen der Optionen im Menü Pixel einstellen auf die werkseitig eingestellten Werte.
Erläuterungen zum Zurücksetzen finden Sie unter „So setzen Sie die Optionen des Menüs „Pixel einstellen“ auf ihre ursprünglichen Werte zurück“ auf Seite 38 (DE).

Zurücksetzen

Zum Zurücksetzen der Optionen im Menü Bildschirm einstellen auf die werkseitig eingestellten Werte.
Erläuterungen zum Zurücksetzen finden Sie unter „Zurücksetzen der Optionen im Menü „Bildschirm einstellen“ auf die ursprünglichen Werte“ auf Seite 38 (DE).

Menü Picture And Picture (PAP) (Bild und Bild)

Sie können zwei Bilder von unterschiedlichen Signalquellentypen gleichzeitig nebeneinander anzeigen.

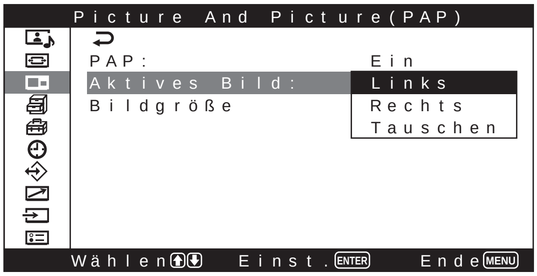


Einzelheiten dazu finden Sie unter „Anzeigen von zwei Bildern gleichzeitig“ auf Seite 39 (DE).

PAP
Wenn Sie diese Option auf „Ein“ setzen, werden zwei Bilder gleichzeitig angezeigt.

Die folgenden Menüs stehen zur Verfügung, wenn PAP auf „Ein“ gesetzt ist.

Menü Aktives Bild



Links
Aktiviert das linke Bild.

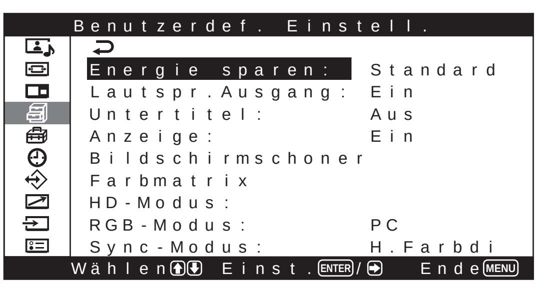
Rechts
Aktiviert das rechte Bild.

Tauschen
Wechselt die Position der beiden Bilder.

Bildgröße
Vergrößert eins der beiden Bilder.

Menü Benutzerdef. Einstell.

In diesem Menü können Sie die Leistungsaufnahme verringern oder die Bildschirmschonerfunktion aktivieren usw.



Energie sparen
Zum Energiesparen, während Sie mit dem Bildschirm arbeiten.
Einzelheiten dazu finden Sie unter „Energiesparfunktion“ auf Seite 29 (DE).

Lautspr.Ausgang
Wenn Sie diese Option auf Ein setzen, wird der Ton über die Lautsprecher SS-SP20B (nicht mitgeliefert) ausgegeben.

Untertitel
Zum Anzeigen von Untertiteln.
Einzelheiten dazu finden Sie unter „Anzeigen von Untertiteln“ auf Seite 29 (DE).

Anzeige
Wählen Sie Ein, so werden beim Einschalten oder nach einem Wechsel des Eingangssignals etwa fünf Sekunden lang in der linken oberen Ecke des Bildschirms Informationen zum Eingangssignal angezeigt.

Menü Bildschirmschoner

Zum Korrigieren oder Verringern von Schäden durch Nachbilder oder eingebrannte Bilder, die darauf zurückzuführen sind, dass lange Zeit dasselbe Bild auf dem Bildschirm angezeigt wird.



Bildumkehrung
Zum Einstellen des Bildschirmschoners, bei dem die Bildfarben umgekehrt werden.
Einzelheiten dazu finden Sie unter „Bildschirmschonerfunktion“ auf Seite 44 (DE).

Bildverschiebung
Zum Einstellen eines Bildschirmschoners, bei dem die Anzeigeposition von Bildern nach einer voreingestellten Zeitspanne automatisch verschoben wird.
Einzelheiten dazu finden Sie unter „Bildschirmschonerfunktion“ auf Seite 44 (DE).

Hintergrund
Zum Einstellen der Helligkeit des Hintergrundes (Bereich ohne Videosignal), während das 4:3-Bildseitenverhältnis oder der Modus „Picture And Picture (PAP)“ eingestellt ist.
Näheres dazu finden Sie unter „Bildschirmschonerfunktion“ auf Seite 44 (DE).

Farbmatrix
Zum Einstellen von „Farbmatrix“, so dass Bilder mit natürlichen Farbtönen angezeigt werden, wenn Farbdifferenzsignale eingespeist werden.
Näheres dazu finden Sie unter „Einstellen der Farbmatrix“ auf Seite 46 (DE).

HD-Modus

Zum Einstellen des Modus je nach dem analogen HD-Farbdifferenzsignal, das an den YUV-Anschlüssen an INPUT1, an einem BKM-V11 oder an einem BKM-V12 eingespeist wird.

1080I: Wenn ein 1080I-Signal eingespeist wird
1035I: Wenn ein 1035I-Signal eingespeist wird

RGB-Modus

Zum Einstellen des Modus, wenn an RGB/YUV IN ein Gerät angeschlossen ist, das RGB-Signale ausgibt.

DTV: Wenn ein digitaler Tuner mit RGB-Signalen usw. angeschlossen ist.
PC: Wenn ein PC usw. angeschlossen ist.

Sync-Modus

Zum Einstellen des Modus je nach dem Signal, das an Stift 13 von RGB/YUV IN eingespeist wird. Die Signale können nur auf 575/50I oder 480/60I eingestellt werden.

H.Farbdi: Wenn ein horizontales Signal oder ein zusammengesetztes Synchronisationssignal* eingespeist wird.
Video: Wenn ein Videosignal eingespeist wird.

*Je nach dem Pegel des zusammengesetzten Synchronisationssignals wird das Bild unter Umständen nicht korrekt angezeigt. Ändern Sie in diesem Fall die Einstellung des Sync-Modus.

Eingangssignal und Einstellungen des Synchronisationsmodus

STIFT	Signaleingang über D-Sub	Einstellung des Synchronisationsmodus
13	FBAS-Videosignal 480/60I, 575/50I	Videosignal
	Zusammengesetztes Synchronisationssignal	Synchronisationssignal
13/14	H. Sync./V. Sync.	
2	Grünsignal mit Synchronisation	

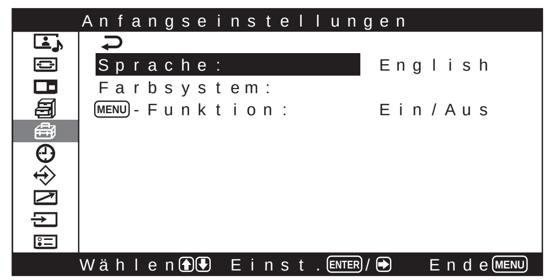
Unter „Stiftbelegung“ auf Seite 54 (DE) finden Sie weitere Informationen zur Stiftbelegung an RGB/YUV IN.

Hinweise

- Es gibt einige Eingänge, für die nur Synchronisationssignale ausgewählt werden können. In diesem Fall wird kein Bild angezeigt, auch wenn ein Videosignal über den 13-poligen Anschluss eingespeist wird. Speisen Sie horizontale/vertikale Synchronisationssignale über die 13- oder 14-poligen Anschlüsse oder Grünsignale mit Synchronisation über den RGB-Anschluss ein.
- Wenn das Gerät nicht so eingestellt ist, dass Synchronisationssignale akzeptiert werden, und ein Grünsignal mit Synchronisation eingespeist wird, wird kein Bild angezeigt.
- Eine Einstellung des Sync-Modus kann nicht über Zusatzkarten vorgenommen werden.
- Dieses Gerät unterstützt keine zusammengesetzten Synchronisationssignale und 576/60P-Signale mit dreiwertiger Synchronisation.

Menü Anfangseinstellungen

In diesem Menü können Sie die Sprache und das Farbsystem auswählen sowie die MENU-Funktion einstellen.



Sprache

Zum Auswählen der Sprache für die Bildschirmanzeigen (Japanisch, Englisch, Deutsch, Französisch, Spanisch oder Italienisch).
Einzelheiten dazu finden Sie unter „Auswählen der Menüsprache“ auf Seite 43 (DE).

Farbsystem

Dient zum Auswählen des Eingangssignals.

Autom.: Zum Anzeigen von NTSC-, PAL-, SECAM-, NTSC4.43- oder NTSC-/PAL-M-/PAL-N-Signalen
NTSC: Zum Anzeigen von NTSC-Signalen
NTSC4.43: Zum Anzeigen von NTSC4.43-Signalen
PAL: Zum Anzeigen von PAL-Signalen
SECAM: Zum Anzeigen von SECAM-Signalen
PAL-M: Zum Anzeigen von PAL-M-Signalen
PAL-N: Zum Anzeigen von PAL-N-Signalen
PAL60: Zum Anzeigen von PAL60-Signalen

Wenn das Farbsystem auf „Autom.“ eingestellt ist, können Sie in der Menüebene darunter zusätzlich ein Farbsystem einstellen, das die automatische Erkennung unterstützt.

- Automatische Erkennung von NTSC/PAL/SECAM/NTSC4.43
- Automatische Erkennung von NTSC/PAL-M/PAL-N

Hinweis

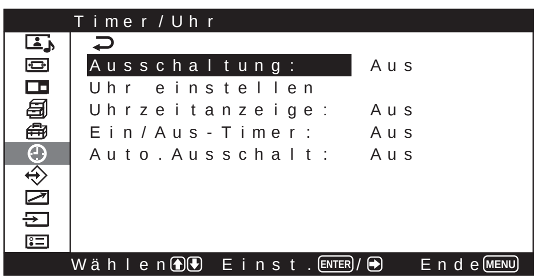
Diese Einstellung kann nur vorgenommen werden, wenn ein Videosignal empfangen wird.

MENU-Funktion
Zum Auswählen der Funktion, wenn die Menütaste gedrückt wird.
Ein/Aus: Die Menüanzeige wird mit jedem Drücken der Menütaste ein- und ausgeblendet.
Zurück: Der Cursor wechselt mit jedem Drücken der Menütaste zur vorherigen Ebene zurück.

Auto. Ausschalt
Das Gerät wird automatisch ausgeschaltet, wenn kein Eingangssignal in die Anschlüsse INPUT1 oder INPUT2 eingespeist wird, wenn der Eingangsmodus auf RGB gestellt ist.
Einzelheiten dazu finden Sie unter „Energiesparfunktion" auf Seite 50 (DE).

Menü Timer/Uhr

Mit diesem Menü können Sie den Timer und die Uhrzeit einstellen, die Uhrzeit anzeigen lassen oder das Gerät so einstellen, dass es sich zur voreingestellten Zeit ein- bzw. ausschaltet.



Ausschaltung
Das Gerät wird automatisch ausgeschaltet, wenn eine voreingestellte Zeitspanne verstrichen ist. Sie können für diese Zeitspanne 30, 60, 90 oder 120 Minuten einstellen.
Näheres dazu finden Sie unter „Sleep-Funktion" auf Seite 47 (DE).

Uhr einstellen
Zum Einstellen der Uhrzeit.
Einzelheiten dazu finden Sie unter „Einstellen der Uhrzeit" auf Seite 48 (DE).

Uhrzeitanzeige
Wenn diese Option aktiviert ist, wird die eingestellte Uhrzeit auf dem Bildschirm angezeigt.
Einzelheiten dazu finden Sie unter „Anzeigen der Uhrzeit" auf Seite 48 (DE).

Ein/Aus-Timer
Zum Einstellen der Uhrzeit für das automatische Ein- oder Ausschalten des Geräts.
Einzelheiten dazu finden Sie unter „Timer-Funktion zum Ein-/Ausschalten" auf Seite 49 (DE).

Menü Benutzerspeicher

Dieses Menü dient zum Speichern und Wiederaufrufen der Einstellungen in den Menüs Bild-/Tonsteuerung und Bildschirm einstellen.



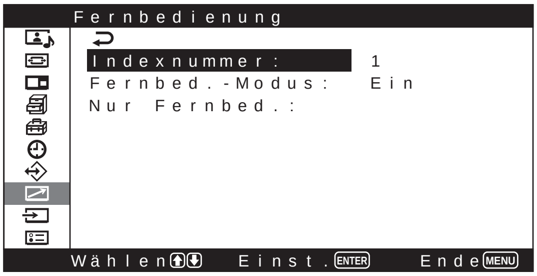
Erläuterungen dazu finden Sie unter „Die Speicherfunktion" auf Seite 42 (DE).

Laden
Ruft Ihre Einstellungen ab.

Speichern
Speichert Ihre Einstellungen.

Menü Fernbedienung

Dieses Menü dient zum Einstellen des Fernbedienungsmodus.



Indexnummer

Zum Einstellen der Indexnummer für den Monitor.

Hinweis

Verwenden Sie zum Einstellen der Nummer die Tasten am Monitor.
Die Indexnummer kann nicht mit der Fernbedienung eingestellt werden.
Näheres zum Einstellen der Indexnummer finden Sie unter „Steuern eines bestimmten Monitors über die Fernbedienung“ auf Seite 51 (DE).

Fernbed.-Modus

Zum Auswählen des Fernbedienungsmodus.

Ein: Aktiviert die Fernbedienung vom Monitor oder Fernsehgerät

Aus: Deaktiviert die Fernbedienung.

Hinweis

Verwenden Sie zum Ändern des Fernbedienungsmodus die Tasten am Monitor. Sie können den Fernbedienungsmodus nicht mit der Fernbedienung ändern.
Näheres dazu finden Sie unter „Verwenden anderer Fernbedienungsmodelle“ auf Seite 52 (DE).

Nur Fernbed.

Wählen Sie Ein, um die Steuertasten am Monitor zu deaktivieren. Der Monitor lässt sich jetzt nur noch über die Fernbedienung steuern.
Setzen Sie „Nur Fernbed.“ mit der Fernbedienung auf „Aus“, wenn Sie die Tasten am Bedienfeld vorn wieder aktivieren wollen.

Hinweis

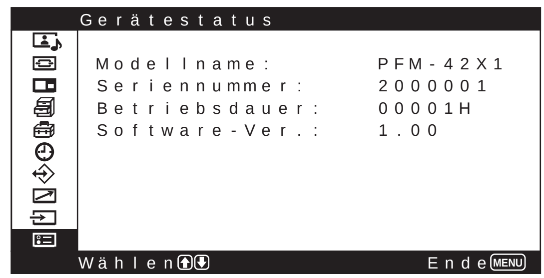
Diese Einstellung bleibt auch dann erhalten, wenn Sie das Netzkabel lösen oder den Monitor mit der Fernbedienung ein- bzw. ausschalten.
Wenn Sie die Fernbedienung verlieren, können Sie den Modus „Nur Fernbed.“ deaktivieren, indem Sie gleichzeitig die Taste POWER und die Taste MENU am Bildschirm drücken.

Menü Eingangswahl

Dieses Menü dient zum Wechseln des Eingangssignals.
Weitere Informationen zum Wechseln des Eingangssignals finden Sie unter „Wechseln des Eingangssignals“ auf Seite 26 (DE).

Menü Gerätestatus

Dieses Menü dient zum Anzeigen von Informationen zum Status des Monitors.



Modellname
Hier wird der Modellname angegeben.

Seriennummer
Hier wird die Seriennummer angegeben.

Betriebsdauer
Gibt die Gesamtzahl der Betriebsstunden an.

Hinweis

Der Bereitschaftsmodus zählt nicht zur Betriebsdauer.

Software-Ver.
Gibt die Version der Systemsoftware an.

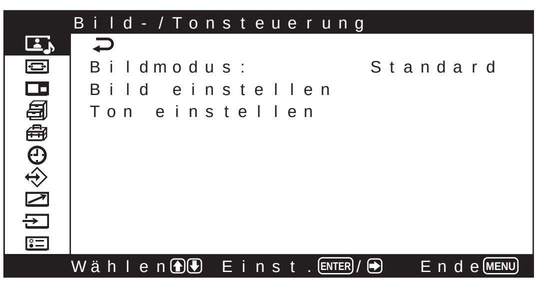
Die Anzeigefunktionen

Vorbereitungen

• Schalten Sie den Monitor ein.
• Schalten Sie die angeschlossenen Geräte ein und starten Sie die Wiedergabe einer Videoquelle.
• Wenn beim Einschalten des Monitors oder bei einem Wechsel des Eingangssignals Informationen zum Eingangssignal und Bildmodus angezeigt werden sollen, setzen Sie „Anzeige“ im Menü „Benutzerdef. Einstell.“ auf Ein.
• Erläuterungen zum Auswählen der Menüsprache finden Sie unter „Auswählen der Menüsprache“ auf Seite 43 (DE).

Wechseln des Eingangssignals

1 Drücken Sie MENU.
Das Hauptmenü erscheint auf dem Bildschirm.



2 Stellen Sie den Cursor (gelb) mit ↑/↓ auf „Eingangswahl“ und drücken Sie ENTER oder ➡.
Das Menü „Eingangswahl“ erscheint auf dem Bildschirm.



3 Stellen Sie den Cursor (gelb) mit ↑/↓ auf die Eingangsquelle, die angezeigt werden soll, und drücken Sie ENTER.

INPUT1 RGB (EINGANG1 RGB): Zum Auswählen des Signals (analoges RGB), das an den INPUT1-Anschlüssen eingespeist wird.

INPUT1 YUV (EINGANG1 YUV): Zum Auswählen des Signals (Farbdifferenzsignal), das an den INPUT1-Anschlüssen eingespeist wird.

INPUT2 DVI (EINGANG2 DVI)* : Zum Auswählen des Signals (digitales RGB), das an den INPUT2-Anschlüssen eingespeist wird.

VIDEO COMPOSITE: Zum Auswählen des Signals, das an COMPOSITE IN der VIDEO-Anschlüsse eingespeist wird.

VIDEO Y/C: Zum Auswählen des Signals, das an Y/C IN der VIDEO-Anschlüsse eingespeist wird.

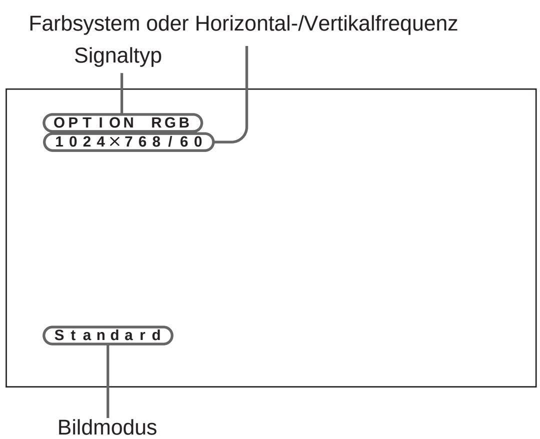
* Beim PFM-42X1N steht diese Option nicht zur Verfügung, da dieses Modell nicht mit INPUT2-Anschlüssen ausgestattet ist.

Wenn ein Farbdifferenzsignal-/RGB-Eingangssignaladapter BKM-V11 oder ein aktiver Durchschleifadapter BKM-V12 für RGB-/Farbdifferenzsignale installiert ist

OPTION YUV: Zum Auswählen des Signals (Farbdifferenzsignal), das an den YUV/RGB IN eingespeist wird.

OPTION RGB: Zum Auswählen des Signals (analoges RGB), das an den YUV/RGB IN eingespeist wird.

Das ausgewählte Eingangssignal erscheint auf dem Bildschirm.



Sie können das Eingangssignal auch mit der mitgelieferten Fernbedienung auswählen.

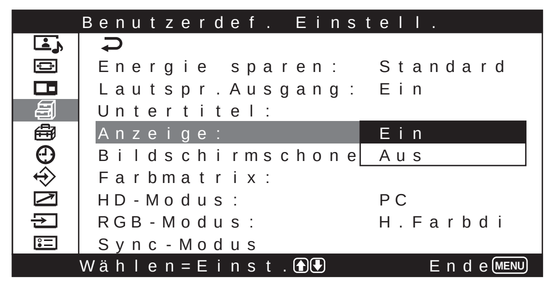
Hinweise

- Es empfiehlt sich, als Eingangssignalquelle ein Videogerät mit TBC-Funktion (Time Base Corrector) zu verwenden. Wenn am Monitor ein Signal ohne TBC eingespeist wird, wird aufgrund einer Störung des Synchronisationssignals unter Umständen kein Bild angezeigt.
- Wenn Signale desselben Formats von mehreren Systemen eingespeist werden, wird die Einstellung für die Bildqualität auf den zuletzt eingestellten Wert zurückgesetzt. Dies gilt nur, wenn die Signalformate identisch sind.

Anzeige von Eingangssignal, Bildmodus und Monitorstatus

Informationen zum Eingangssignal und zum Bildmodus erscheinen beim Einschalten des Geräts oder bei einem Wechsel des Eingangssignals etwa fünf Sekunden lang auf dem Monitorbildschirm. Wollen Sie diese Funktion ausschalten, gehen Sie bitte wie im Folgenden beschrieben vor.

1 Stellen Sie im Menü „Benutzerdef. Einstell.“ den Cursor (gelb) mit den Tasten ↑/↓ auf „Anzeige“ und drücken Sie ENTER oder ➡.
Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



2 Setzen Sie „Anzeige“ mit der Taste ↑/↓ auf „Aus“.

So lassen Sie die Informationen anzeigen

Setzen Sie „Anzeige“ in Schritt **2** oben auf „Ein“. Als werkseitiger Standard ist „Ein“ eingestellt.

Hinweis

Unabhängig von der Einstellung oben können Sie die Informationen zum Eingangssignal und zum Bildmodus jederzeit abrufen, indem Sie die Taste DISPLAY auf der Fernbedienung drücken.

Voreingestellte Eingangssignale			
	Signalname	Farbsystem oder Horizontal-/ Vertikalfrequenz	
	Computersignale		
1	VGA[a]-1 (VGA 350)	31,5 kHz	70 Hz
2	640×480@60 Hz (VESA[b] STD)	31,5 kHz	60 Hz
3	Mac[c] 13 Zoll	35,0 kHz	67 Hz
4	VGA (VGA TEXT)	31,5 kHz	70 Hz
5	800×600@60 Hz (VESA STD)	37,9 kHz	60 Hz
6	Mac 16 Zoll	49,7 kHz	75 Hz
7	1024×768@60 Hz (VESA STD)	48,4 kHz	60 Hz
8	1024×768@75 Hz (VESA STD)	60,0 kHz	75 Hz
9	1024×768@85 Hz (VESA STD)	68,7 kHz	85 Hz
10	1152×864@75 Hz (VESA STD)	67,5 kHz	75 Hz
11	Mac 21 Zoll	68,7 kHz	75 Hz
12	1280×960@60 Hz (VESA STD)	60,0 kHz	60 Hz
13	1280×1024@60 Hz (VESA STD)	64,0 kHz	60 Hz
14	1600×1200@60 Hz (VESA STD)*	75,0 kHz	60 Hz
15	848×480@60 Hz (VESA STD)	29,8 kHz	60 Hz
16	848×480@60 Hz (VESA STD)	29,5 kHz	60 Hz
17	848×480@75 Hz	37,7 kHz	75 Hz
18	1280×768@60 Hz	47,8 kHz	60 Hz
19	1280×768@60 Hz	47,4 kHz	60 Hz
	SDTV/HDTV		
1	PAL	PAL	
2	NTSC	NTSC	
3	SECAM	SECAM	
4	NTSC4.43	NTSC4.43	
5	PAL60	PAL60	
6	PAL-M	PAL-M	
7	PAL-N	PAL-N	
8	575/50i	575/50I	
9	480/60i	480/60I	
10	1080/24psf	1080/48I	
11	1080/50i	1080/50I	
12	576/50p	576/50P	
13	480/60p	480/60P	
14	1080/60i	1080/60I	
15	720/60p	720/60P	
16	720/50p	720/50P	

a) VGA ist ein eingetragenes Warenzeichen der International Business Machines Corporation, USA.
b) VESA ist ein eingetragenes Warenzeichen der Video Electronics Standards Association.
c) Mac (Macintosh) ist ein eingetragenes Warenzeichen der Apple Computer, Inc.

Hinweise

- Wenn ein HDTV-Signal eingeht, speisen Sie das dreistufige Synchronisationssignal über Stift 2 von RGB/YUV (D-Sub, 15-polig) an INPUT 1 ein.
- Wenn die Farben beim Einspeisen von DVD-Signalen in die Serie PFM-42X1 zu hell sind, korrigieren Sie die Einstellung von „Chroma“ im Menü „Bild einstellen“.
- Wenn die Phase neu eingestellt wird, wird die Auflösung reduziert.
- Sie können nicht das mit * markierte Signal in DVI IN einspeisen.

Anzeigen zum Monitorstatus auf dem Bildschirm

Bildschirmanzeige	Bedeutung
640×480 / 60 (Beispiel)	Bei dem ausgewählten Eingangssignal handelt es sich um ein Computersignal im RGB-Format.
480 / 60P (Beispiel)	Bei dem ausgewählten Eingangssignal handelt es sich um ein Farbdifferenzvideosignal.
NTSC (Beispiel)	Bei dem ausgewählten Eingangssignal handelt es sich um ein NTSC-Signal.
Unzulässiger Bereich	Das Eingangssignal liegt außerhalb des Fangbereichs.
Keine sync	Es ist kein Eingangssignal vorhanden.
INPUT1 RGB	Für INPUT1 gilt der Signalmodus RGB.
INPUT1 YUV	Für INPUT1 gilt als Signalmodus das Farbdifferenzsignal.
VIDEO COMOSITE	Für VIDEO wurde als Eingangssignal das FBAS-Videosignal ausgewählt.
VIDEO Y/C	Für VIDEO wurde als Eingangssignal das Y/C-Videosignal ausgewählt.

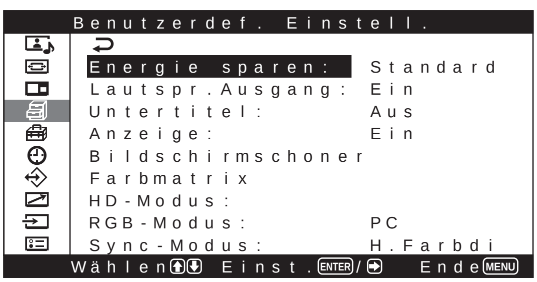
Wechseln des Anzeigemodus

Anzeigen von Untertiteln

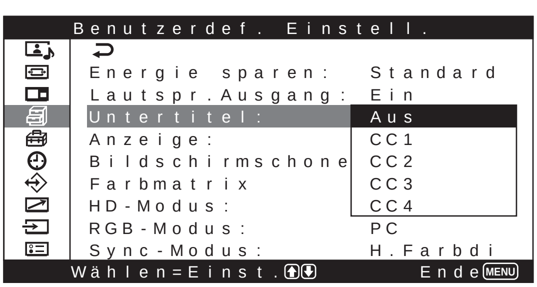
1 Drücken Sie MENU.
Das Hauptmenü erscheint auf dem Bildschirm.



2 Stellen Sie den Cursor (gelb) mit den Tasten ↑/↓ auf „Benutzerdef. Einstell.“ und drücken Sie ENTER oder →.
Das Menü Benutzerdef. Einstell. erscheint auf dem Bildschirm.



3 Stellen Sie den Cursor (gelb) mit den Tasten ↑/↓ auf „Untertitel“ und drücken Sie ENTER oder →.
Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



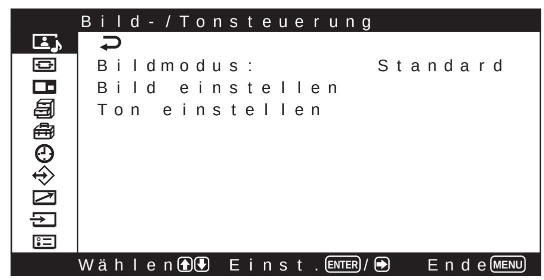
4 Wählen Sie mit ↑/↓ den Untertiteltyp aus.
Aus: Untertitel werden nicht angezeigt.
CC1-4 : Untertitel werden eingeblendet.

5 Schalten Sie mit ENTER oder ← zum Menü Benutzerdef. Einstell. zurück.

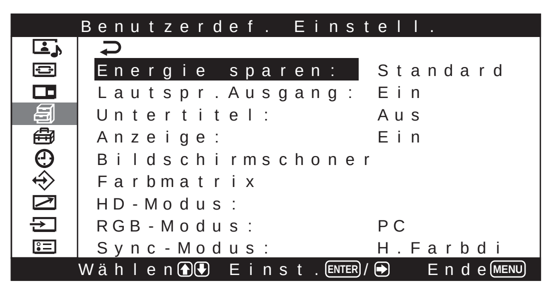
Energiesparfunktion

Damit ist die Anzeige auf dem Bildschirm weiterhin zu erkennen und gleichzeitig sparen Sie Energie.

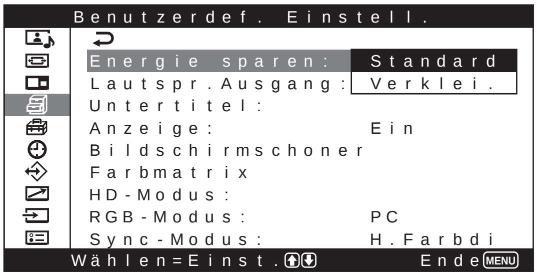
1 Drücken Sie MENU.
Das Hauptmenü erscheint auf dem Bildschirm.



2 Stellen Sie den Cursor (gelb) mit ↑/↓ auf „Benutzerdef. Einstell.“ und drücken Sie ENTER oder →.
Das Menü Benutzerdef. Einstell. erscheint auf dem Bildschirm.



3 Stellen Sie den Cursor (gelb) mit ↑/↓ auf „Energie sparen“ und drücken Sie ENTER oder →.
Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



4 Wählen Sie mit ↑/↓ den Energie sparen aus.
Standard: Der Monitor wechselt nicht in den Energiesparmodus.
Verklei.: Der Monitor wechselt in den Energiesparmodus.
Wenn Sie „Verklei.“ auswählen, wird die Bildschirmhelligkeit verringert. Die Anzeige ist noch zu erkennen und Sie sparen gleichzeitig Energie.

5 Schalten Sie mit ENTER oder ← zum Menü Benutzerdef. Einstell. zurück.

Hinweise

- „Energie sparen: Verklei.“ gilt weiter, wenn Sie das Gerät aus- und wieder einschalten.
- Auch wenn Energie sparen auf „Verklei.“ gesetzt ist, können Sie die Bildqualität einstellen. Beachten Sie jedoch, dass der Energiespareffekt möglicherweise verloren geht, wenn Sie die Werte für Kontrast oder Helligkeit erhöhen.

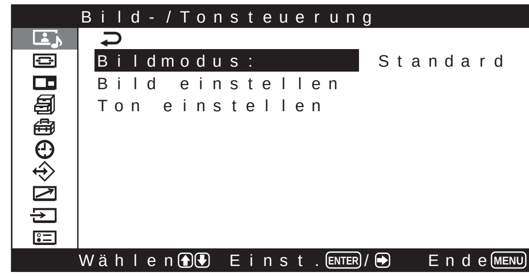
Auswählen der Bildqualität

Sie können die Bildqualität einstellen, die für den Bildtyp bzw. für das Umgebungslicht an dem Ort, an dem das Gerät installiert ist, am besten geeignet ist.

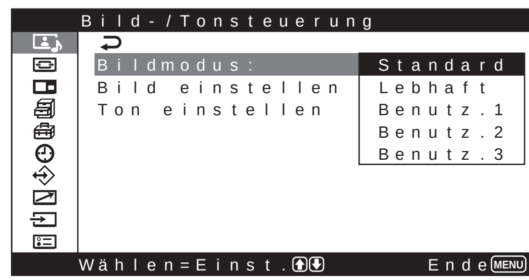
1 Drücken Sie MENU.
Das Hauptmenü erscheint auf dem Bildschirm.



2 Stellen Sie den Cursor (gelb) mit ↑/↓ auf „Bild-/Tonsteuerung“ und drücken Sie ENTER oder →.
Das Menü Bild-/Tonsteuerung erscheint auf dem Bildschirm.



3 Stellen Sie den Cursor (gelb) mit ↑/↓ auf „Bildmodus“ und drücken Sie ENTER oder →.
Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



4 Wählen Sie mit ↑/↓ den Bildmodus aus.
Standard: Mit mittlerem Kontrast und mittlerer Bildschärfe wird ein echt wirkendes Bild erzielt.
Lebhaft: Bilder mit außergewöhnlicher Schärfe werden erzielt, wobei Bildkonturen und Kontrast auf maximale Werte eingestellt sind.
Benutz.1-3: Sie können die Bildqualität mit dem Menü „Bild einstellen“ nach Belieben einstellen.

5 Schalten Sie mit ENTER oder ← zum Menü Bild-/Tonsteuerung zurück.

Einstellen der Bildqualität

Sie können das Bild anzeigen lassen und dabei Kontrast, Helligkeit, Chroma (Farbintensität), Phase usw. einstellen. Diese Werte können Sie für die einzelnen Eingangssignale unabhängig voneinander einstellen. Darüber hinaus können Sie die eingestellten Werte im Gerät speichern.
Stellen Sie als Bildmodus eine der Einstellungen „Benutz.1-3“ ein.

Einstellen von Kontrast, Helligkeit, Farbe, Phase usw.

Drücken Sie MENU, so dass das Hauptmenü angezeigt wird. Wählen Sie dann im Menü Bild einstellen eine der Optionen „Kontrast“, „Helligkeit“, „Chroma“, „Phase“, „Bildschärfe“, „Rauschvermind.“, „Dynamisch. Bild“, „Farbtemperatur“ oder „Gamma-Korrektur“.

Kontrast

Wählen Sie mit ↑/↓ die Option „Kontrast“ aus und drücken Sie ENTER.
Stellen Sie mit ↑/↓/←/→ für den Kontrast einen Wert zwischen MIN (0) und MAX (100) ein.
↑/→: Der Kontrast wird verstärkt.
↓/←: Der Kontrast wird abgeschwächt.

Helligkeit

Wählen Sie mit ↑/↓ die Option „Helligkeit“ aus und drücken Sie ENTER.
Stellen Sie mit ↑/↓/←/→ für die Helligkeit einen Wert zwischen MIN (–50) und MAX (+50) ein.
↑/→: Das Bild wird heller.
↓/←: Das Bild wird dunkler.

Chroma

Wählen Sie mit ↑/↓ die Option „Chroma“ aus und drücken Sie ENTER.
Stellen Sie mit ↑/↓/←/→ für die Farbe einen Wert zwischen MIN (–100) und MAX (+100) ein.
↑/→: Die Farbintensität wird verstärkt.
↓/←: Die Farbintensität wird abgeschwächt.

Phase

Wählen Sie mit ↑/↓ die Option „Phase“ aus, und drücken Sie ENTER.
Stellen Sie mit ↑/↓/←/→ für die Phase einen Wert zwischen RMax (50) und OMax (50) ein.
↑/→: Der Grünanteil im Bild wird verstärkt.
↓/←: Der Rotanteil im Bild wird verstärkt.

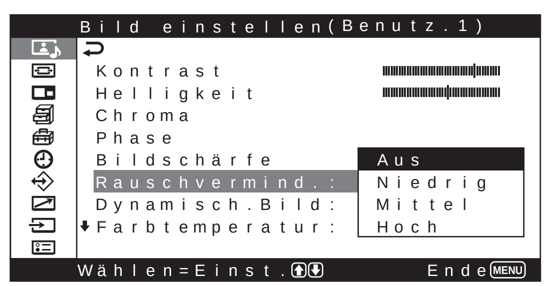
Bildschärfe

Wählen Sie mit ↑/↓ die Option „Bildschärfe“ aus und drücken Sie ENTER.
Stellen Sie mit ↑/↓/←/→ für die Schärfe einen Wert zwischen MIN (–10) und MAX (+10) ein.
↑/→: Die Bildschärfe wird erhöht.
↓/←: Die Bildschärfe wird verringert.

Rauschvermind.

Zum Reduzieren der Körnigkeit des Bildes und des Farbrauschens.

1. Wählen Sie mit ↑/↓ die Option „Rauschvermind.“ und drücken Sie ENTER oder →.
   Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



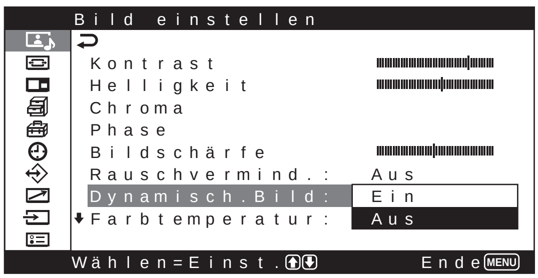
2. Wählen Sie mit ↑/↓ den gewünschten Modus aus.
   Aus: Das Bildsignal wird direkt angezeigt.
   Niedrig: Die Rauschverminderung wird auf einen niedrigen Wert gesetzt.
   Mittel: Die Rauschverminderung wird auf einen mittleren Wert gesetzt.
   Hoch: Die Rauschverminderung wird auf einen hohen Wert gesetzt.

3. Schalten Sie mit ENTER oder ← zum Menü Bild einstellen zurück.

Dynamisch. Bild

Verbessert den Kontrast, indem Weiß heller und Schwarz dunkler erscheint.

1 Wählen Sie mit ↑/↓ die Option „Dynamisch. Bild“ aus und drücken Sie ENTER oder ➡. Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



2 Wählen Sie mit ↑/↓ den dynamischen Bildmodus aus.

Ein: Funktion für dynamisches Bild wird verwendet.

Aus: Funktion für dynamisches Bild wird nicht verwendet.

3 Schalten Sie mit ENTER oder ⬅ zum Menü Bild einstellen zurück.

Farbtemperatur

Sie können auch die Farbtemperatur einstellen. Sie können „Warm“ oder „Kalt“ auswählen oder die einzelnen Gain-Werte separat einstellen. Bis zu drei eingestellte Farbtemperaturen können Sie abspeichern und einen Namen dafür eingeben (bis zu sechs Zeichen pro Name).

1 Wählen Sie mit ↑/↓ die Option „Farbtemperatur“ aus und drücken Sie ENTER oder ➡.

2 Wählen Sie mit ↑/↓ die Farbtemperatur aus und drücken Sie ENTER.

Kalt: Die Farbtemperatur wird auf einen hohen Wert eingestellt.

Neutral: Die Farbtemperatur wird auf einen neutralen Wert eingestellt.

Warm: Die Farbtemperatur wird auf einen niedrigen Wert eingestellt.

Benutz.1 – 3: Die Werte für die einzelnen Gain-Einstellungen lassen sich getrennt einstellen.

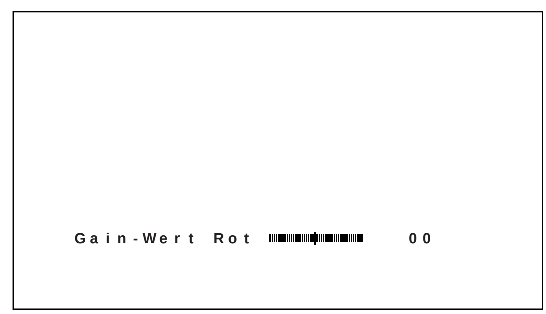
Wenn Sie „Warm“, „Neutral“ oder „Kalt“ auswählen, wird wieder das Menü Bild einstellen angezeigt.

Wenn Sie „Benutz.1“ bis „Benutz.3“ auswählen

Wenn Sie „Benutz.1“ bis „Benutz.3“ auswählen, erscheint folgendes Menü auf dem Bildschirm.



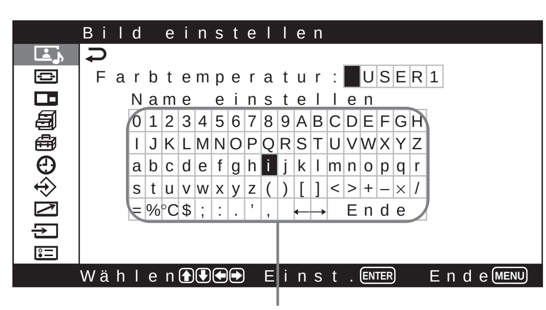
(1) Stellen Sie den Cursor (gelb) mit ↑/↓ auf den einzustellenden Gain-Wert und drücken Sie ENTER oder ➡. Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



(2) Stellen Sie den Gain-Wert (–15 bis +15) mit ↑/↓/⬅/➡ ein und drücken Sie ENTER. Nun erscheint wieder das Menü Farbtemperatur.

Wenn Sie einen neuen Namen für die eingestellte Farbtemperatur eingeben wollen, gehen Sie wie im Folgenden beschrieben vor.

(3) Stellen Sie den Cursor (gelb) mit ↑/↓ auf „Name einstellen“ und drücken Sie ENTER. Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



Zeichenliste

(4) Wählen Sie mit ↑/↓/←/→ ein Zeichen oder Symbol in der Zeichenliste aus und drücken Sie ENTER. Das ausgewählte Zeichen wird eingegeben. Wenn Sie ein falsches Zeichen oder Symbol eingeben, wählen Sie „←“ auf dem Bildschirm, um den Cursor um ein Zeichen nach links zurückzusetzen. Wählen Sie dann das richtige Zeichen aus.
Wenn „MENU-Funktion“ (Seite 24 (DE)) im Menü Anfangseinstellungen auf „Zurück“ gesetzt wurde, können Sie mit den Tasten ↑/↓ auf der Fernbedienung den Cursor nach links bzw. rechts verschieben. Wenn Sie den Cursor mit den Tasten ↑/↓ nach oben bzw. unten verschieben wollen, setzen Sie „MENU-Funktion“ auf „Ein/Aus“.

(5) Gehen Sie wie in Schritt (4) erläutert vor. Wenn Sie den Namen eingegeben haben, wählen Sie „Ende“ und drücken ENTER. Nun erscheint wieder das Menü Farbtemperatur.

Gamma-Korrektur

Zum automatischen Einstellen der Balance der hellen und dunklen Bildbereiche.

1 Wählen Sie mit ↑/↓ die Option „Gamma-Korrektur“ aus und drücken Sie ENTER oder →. Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



2 Wählen Sie mit ↑/↓ den Gammakorrekturmodus aus.
Hoch: Die Gammakorrektur wird auf einen hohen Wert eingestellt.
Mittel: Die Gammakorrektur wird auf einen mittleren Wert eingestellt.
Niedrig: Die Gammakorrektur wird auf einen niedrigen Wert eingestellt.

3 Schalten Sie mit ENTER oder ← zum Menü Bild einstellen zurück.

Hinweise

- Für ein RGB-Signal können Sie Chroma und Phase nicht einstellen.
- Für ein Farbdifferenzsignal können Sie Phase nicht einstellen.
- Für ein Eingangssignal im PAL-, PAL-M-, PAL-N-, PAL60- oder SECAM-Format können Sie Phase nicht einstellen.
- Wenn ein Schwarzweißsignal eingespeist wird, können Sie Chroma und Phase nicht einstellen.

Zurücksetzen der Optionen im Menü Bild einstellen auf ihre ursprünglichen Werte

1 Stellen Sie im Menü Bild einstellen den Cursor (gelb) mit den Tasten ↑/↓ auf „Zurücksetzen", und drücken Sie ENTER.
Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



2 Stellen Sie den Cursor (gelb) mit den Tasten ↑/↓ auf „Ausführ." und drücken Sie ENTER.
Die Optionen im Menü Bild einstellen werden auf die werkseitigen Werte zurückgesetzt.

So brechen Sie das Zurücksetzen ab

Drücken Sie MENU, bevor Sie ENTER drücken.
Sie können mit ↑/↓ auch „Abbruch" auswählen und dann ENTER drücken.

Bildvergrößerung

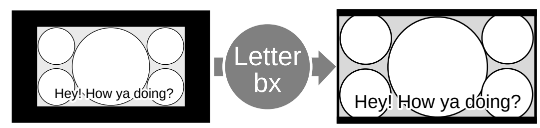
Sie können das Bild nach Bedarf vergrößern.
Im Breitbildmodus stehen die folgenden Optionen zur Auswahl.

Originalbilder (Bildtyp) | **Vergrößerte Bilder**



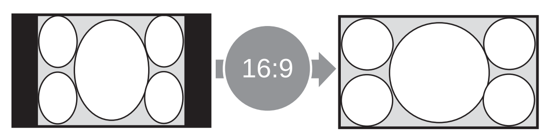
Normale Bilder mit einem Bildformat von 4:3 werden ohne Veränderungen angezeigt, wenn sie im Breitbild-Zoom auf volle Bildschirmgröße vergrößert werden (Bildformat: 4:3).

Vergrößert Bilder im Format 4:3 in voller Bildschirmgröße.



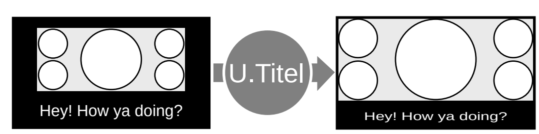
- Filme in VistaVision und ähnlichen, sehr breiten Formaten mit Untertiteln innerhalb des Bildes (Bildformat: 1,85:1)
- Bilder von einer Videokamera oder DVD-Software mit Bildformatinformationen (Typ ID-1)

Die Bilder werden so vergrößert, dass sie den Bildschirm bis zum linken und rechten Rand ausfüllen. Je nach Bildtyp sind am oberen und unteren Bildrand schwarze Streifen zu sehen.



Bilder von einer Videokamera oder DVD-Software mit Bildformatinformationen (Typ ID-1)

Das Bild wird horizontal auf die volle Bildschirmgröße verbreitert, ohne dass die Höhe verändert wird.



Filme in CinemaVision und ähnlichen, sehr breiten Formaten mit Untertiteln außerhalb des Bildes (Bildformat: 2,35:1)

Nur der Bereich mit den Untertiteln wird komprimiert. Das Bild füllt den Bildschirm bis zum linken und rechten Rand.



Bilder mit einem Bildformat von 4:3 werden ohne Vergrößerung im ursprünglichen Format (4:3) angezeigt, wenn für sie die Einstellung „4:3" (werkseitige Einstellung) ausgewählt ist und Auto. Breitbild auf Ein gesetzt ist.

Das Bild wird ohne Vergrößerung angezeigt.

Einstellen der automatischen Breitbildfunktion

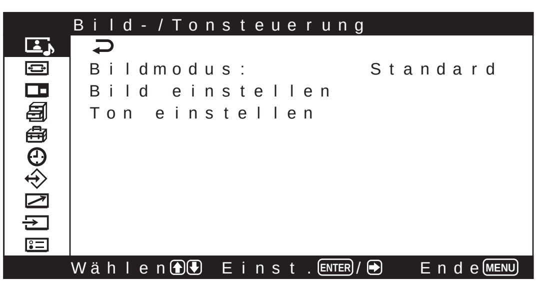
Dank der automatischen Breitbildfunktion werden Bilder, die auf diesem Identifikationssteuersignal basieren, originalgetreu reproduziert oder verschiedene Bildtypen werden unabhängig von diesem Identifikationssteuersignal optimal vergrößert.

Identifikationssteuersignal

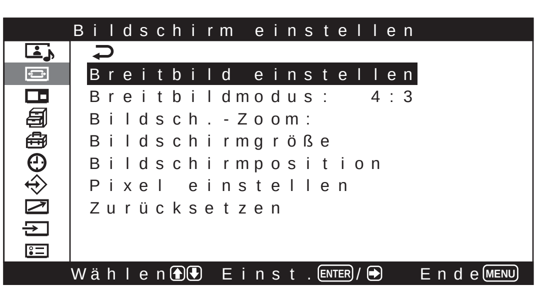
Dieses Steuersignal dient dazu, das Bildseitenverhältnis des Originalbildes originalgetreu auf einem Bildschirm zu reproduzieren. Folgende Bilder enthalten dieses Signal:

- Bilder, die mit einer Fernsehkamera mit Informationen zum Bildseitenverhältnis aufgenommen wurden (ID-1-Format).
- Fernsehsendungen mit einem Signal, mit dem das Bildseitenverhältnis auf 4:3 eingestellt wird.

1 Drücken Sie MENU.
Das Hauptmenü erscheint auf dem Bildschirm.



2 Stellen Sie den Cursor (gelb) mit ↑/↓ auf „Bildschirm einstellen" und drücken Sie ENTER oder ➡.
Das Menü Bildschirm einstellen erscheint auf dem Bildschirm.



3 Stellen Sie den Cursor (gelb) mit ↑/↓ auf „Breitbild einstellen" und drücken Sie ENTER oder ➡.
Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



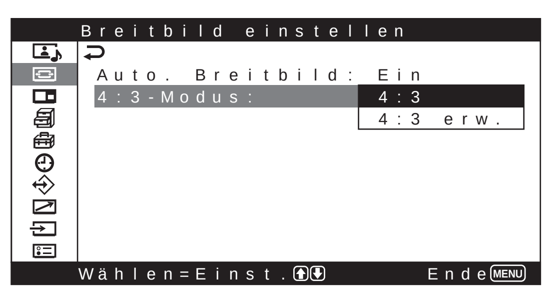
4 Stellen Sie den Cursor (gelb) mit ↑/↓ auf „Auto. Breitbild" und drücken Sie ENTER oder ➡.
Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



5 Wählen Sie mit ↑/↓ die Einstellung für die automatische Breitbildfunktion.
Aus: Die Bilder werden unverändert reproduziert.
Ein: Das Bild wird vergrößert und mit dem optimalen Bildseitenverhältnis angezeigt.

6 Drücken Sie ENTER oder ⬅.
Nun erscheint wieder das Menü Breitbild einstellen.

7 Wählen Sie mit ↑/↓ die Option „4:3-Modus" aus und drücken Sie ENTER.
Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



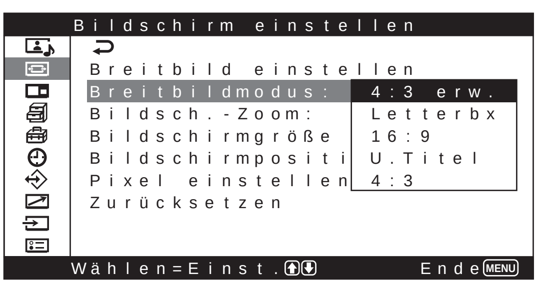
8 Wählen Sie mit ↑/↓ den 4:3-Bildmodus aus.
4:3: Bilder mit einem Seitenverhältnis von 4:3 werden unverändert angezeigt.
4:3 erw.: Bilder mit einem Bildseitenverhältnis von 4:3 werden auf ein Bildseitenverhältnis von 16:9 vergrößert und dann angezeigt. (Wenn kein Erkennungssteuersignal vorhanden ist.)

9 Drücken Sie ENTER oder ←.
Nun erscheint wieder das Menü „Breitbild einstellen".

Einstellen des Breitbildmodus

Die Bilder können auch unabhängig vom Bildtyp im gewünschten „Breitbildmodus" vergrößert werden. Wenn das Signal von einem Computer eingespeist wird, können Sie nur „16:9" oder „4:3" auswählen.

1 Stellen Sie im Menü Bildschirm einstellen den Cursor (gelb) mit ↑/↓ auf „Breitbildmodus" und drücken Sie ENTER oder →.
Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



2 Wählen Sie mit ↑/↓ den „Breitbildmodus" aus.
4:3 erw.: Vergrößert Bilder im Format 4:3 in voller Bildschirmgröße auf das Format 16:9.
Letterbx: Das Bild wird ganz bis zum linken und rechten Rand des Bildschirms vergrößert. Je nach Bildtyp können schwarze Streifen oben und unten am Bildrand erscheinen.
16:9: Das Bild erstreckt sich links und rechts über den gesamten Bildschirm, ohne die Höhe zu ändern.
U.Titel: Das Bild wird ganz bis zum linken und rechten Rand des Bildschirms vergrößert und der Bereich, in dem Untertitel angezeigt werden, wird komprimiert.
4:3: Das Bild wird ohne Vergrößerung angezeigt.

3 Drücken Sie ENTER oder ←.
Nun erscheint wieder das Menü Bildschirm einstellen.

Hinweise

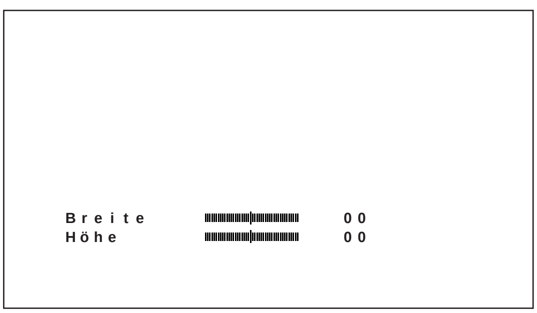
- Wenn Sie den Breitbildmodus wählen, wird die automatische Breitbildfunktion deaktiviert. Wenn Sie die automatische Breitbildfunktion nutzen wollen, stellen Sie wieder „Ein" ein.
- Je nach Bildtyp und -größe wird das Bild oben oder unten abgeschnitten oder die Untertitel werden nicht vollständig auf dem Bildschirm angezeigt.
- Wenn Sie vergrößerte/komprimierte Bilder zu kommerziellen Zwecken oder in der Öffentlichkeit zeigen, stellt dies gemäß den Bestimmungen des Urheberrechts möglicherweise eine Verletzung von Urheberrechten dar.

Einstellen von Bildgröße und Bildposition

Sie können das Bild verschieben, so dass es auf den Bildschirm passt, bzw. Bildhöhe und Bildbreite unabhängig voneinander einstellen.
Die Anweisungen in dieser Bedienungsanleitung gelten für den Fall, dass die Menütaste auf „Ein/Aus“ steht. Unter „Menü „Bildschirm einstellen““ (Seite 20 (DE)) finden Sie weitere Informationen zum Menü „Bildschirm einstellen“.

Einstellen der Bildgröße

1 Stellen Sie im Menü „Bildschirm einstellen“ den Cursor (gelb) mit den Tasten ↑/↓ auf „Bildschirmgröße“ und drücken Sie ENTER.
Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.

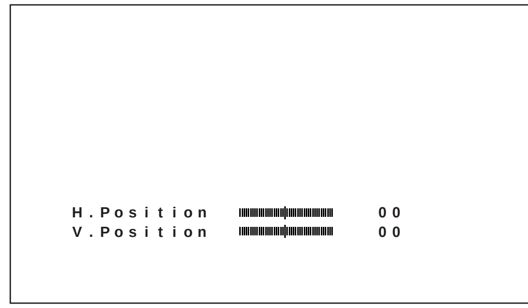


2 Stellen Sie die Bildhöhe und die Bildbreite mit den Tasten ↑/↓/←/→ ein.
←/→: Zum Einstellen der Bildbreite.
↑/↓: Zum Einstellen der Bildhöhe.
Die Bildbreite kann auf dem Bildschirm auf einen Wert zwischen –30 (Minimum) und +30 (Maximum) eingestellt werden. Die Bildhöhe kann auf dem Bildschirm auf einen Wert zwischen –30 (Minimum) und +30 (Maximum) eingestellt werden. Der werkseitige Standardwert ist 00.

3 Drücken Sie ENTER.
Nun erscheint wieder das Menü „Bildschirm einstellen“.

Einstellen der Bildposition

1 Stellen Sie im Menü Bildschirm einstellen den Cursor (gelb) mit den Tasten ↑/↓ auf „Bildschirmposition“ und drücken Sie ENTER.
Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



2 Verschieben Sie das Bild mit ↑/↓/←/→ vertikal oder horizontal.
←/→: Zum Verschieben des Bildes nach links bzw. rechts.
↑/↓: Zum Verschieben des Bildes nach unten bzw. oben.
Die horizontale Bildposition auf dem Bildschirm kann auf einen Wert zwischen UMax (30) und RMax (30) eingestellt werden. Die vertikale Bildposition auf dem Bildschirm kann auf einen Wert zwischen BMax (30) und TMax (30) eingestellt werden. Der werkseitige Standardwert ist 00.

3 Drücken Sie ENTER.
Nun erscheint wieder das Menü Bildschirm einstellen.

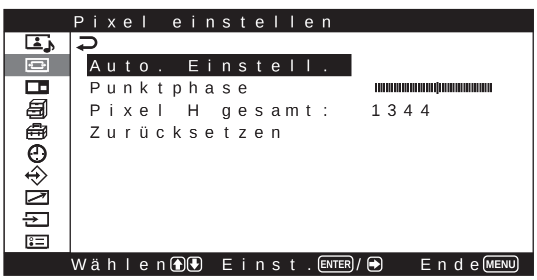
Einstellen der Pixel

Wenn am Rand von Zeichen und vertikalen Linien zu starke Bildstörungen zu sehen sind, können Sie die Punktphase und die Gesamtzahl der horizontalen Pixel einstellen.

Hinweis

Diese Option hängt vom verwendeten Computersignal ab.

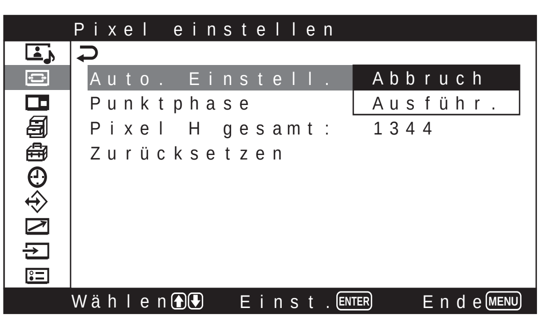
1 Stellen Sie im Menü Bildschirm einstellen den Cursor (gelb) mit den Tasten ↑/↓ auf „Pixel einstellen“ und drücken Sie ENTER.
Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



2 Sie können die Punktphase und die Gesamtzahl der horizontalen Pixel automatisch oder manuell einstellen.

Automatisches Einstellen

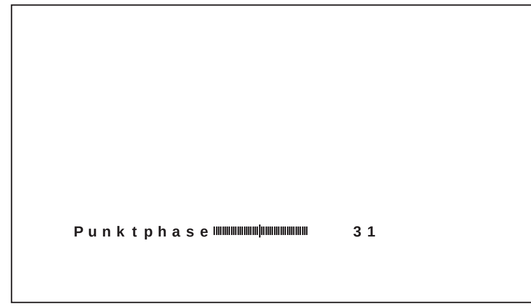
(1) Wählen Sie mit ↑/↓ die Option „Auto. Einstell.“ aus und drücken Sie ENTER.
Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



(2) Wählen Sie mit ↑/↓ die Option „Ausführ.“ und drücken Sie ENTER.
Die Punktphase und die Gesamtzahl der horizontalen Pixel werden automatisch eingestellt.

Manuelles Einstellen

(1) Wählen Sie mit ↑/↓ oder ←/→ die Option „Punktphase“ oder „Pixel H gesamt“ und drücken Sie ENTER.
Folgendes erscheint auf dem Bildschirm, wenn Sie „Punktphase“ auswählen.



(2) Stellen Sie die Punktphase oder die Gesamtzahl der horizontalen Pixel mit ↑/↓ oder ←/→ ein und drücken Sie ENTER.

Hinweis

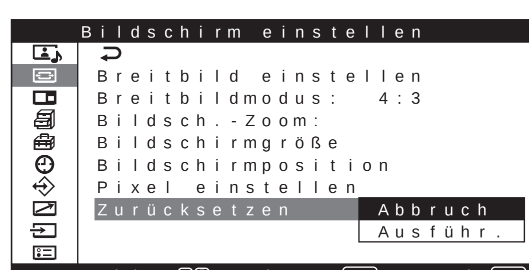
Aufgrund von bestimmten Bildmustern können weiterhin Störungen auftreten, auch wenn Sie Auto. Einstell. verwendet haben. Stellen Sie in diesem Fall die Punktphase manuell ein.

So setzen Sie die Optionen des Menüs „Pixel einstellen“ auf ihre ursprünglichen Werte zurück

Stellen Sie im Menü „Pixel einstellen“ den Cursor (gelb) mit den Tasten ↑/↓ auf „Zurücksetzen“ und drücken Sie ENTER. Wählen Sie anschließend mit ↑/↓ die Option „Ausführ.“ und drücken Sie ENTER.

Zurücksetzen der Optionen im Menü Bildschirm einstellen auf die ursprünglichen Werte

1 Stellen Sie im Menü Bildschirm einstellen den Cursor (gelb) mit den Tasten ↑/↓ auf „Zurücksetzen“ und drücken Sie ENTER.
Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



2 Stellen Sie den Cursor (gelb) mit den Tasten ↑/↓ auf „Ausführ." und drücken Sie ENTER.
Die Optionen im Menü Bildschirm einstellen werden auf die ursprünglichen Werte zurückgesetzt.

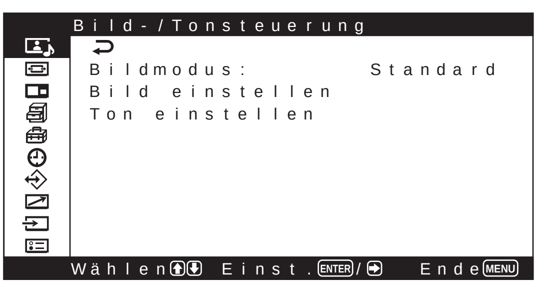
So brechen Sie das Zurücksetzen ab

Drücken Sie MENU, bevor Sie ENTER drücken.
Sie können mit ↑/↓ auch „Abbruch" auswählen und dann ENTER drücken.

Anzeigen von zwei Bildern gleichzeitig

Sie können zwei Bilder von unterschiedlichen Signalquellentypen gleichzeitig nebeneinander anzeigen. Sie können auch in den Modus „Picture And Picture (PAP)" wechseln, indem Sie die Taste ENTER und dann die Taste INPUT1 auf der Fernbedienung drücken.

1 Drücken Sie MENU.
Das Hauptmenü erscheint auf dem Bildschirm.



2 Stellen Sie den Cursor (gelb) mit ↑/↓ auf „Picture And Picture (PAP)" (Bild und Bild) und drücken Sie ENTER oder →.
Das Menü Picture And Picture (PAP) wird auf dem Bildschirm angezeigt.



3 Stellen Sie den Cursor (gelb) mit ↑/↓ auf „PAP" und drücken Sie ENTER oder →.
Das folgende Menü wird auf dem Bildschirm angezeigt.



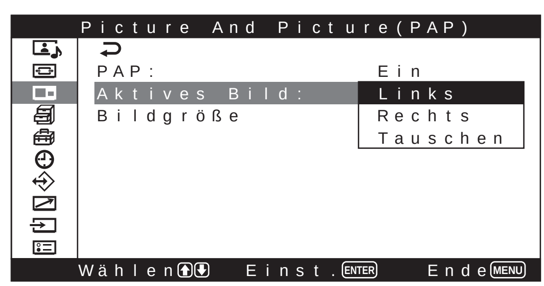
4 Wählen Sie mit ↑/↓ die Option „Ein" .

5 Schalten Sie mit ENTER oder ← zum vorherigen Menü zurück.

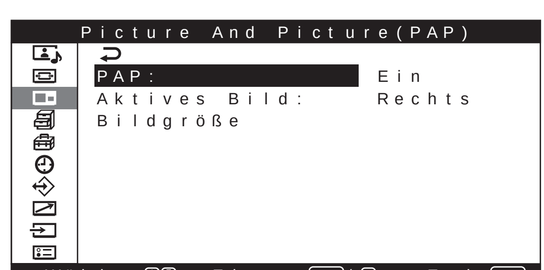
Aktivieren eines Bildes

Aktivieren Sie eins der beiden Bilder, um damit arbeiten zu können. (Wenn Sie mit dem rechten Bild arbeiten wollen:)

1 Stellen Sie den Cursor (gelb) mit ↑/↓ auf „Aktives Bild" und drücken Sie ENTER oder →.
Das folgende Menü wird auf dem Bildschirm angezeigt.

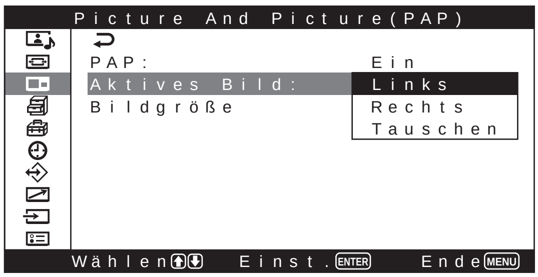


2 Wählen Sie mit ↑/↓ die Option „Rechts" und drücken Sie ENTER.
Nun können Sie mit dem rechten Bild arbeiten.



Wechseln der Position der beiden Bilder

1 Stellen Sie den Cursor (gelb) mit ↑/↓ auf „Aktives Bild“ und drücken Sie ENTER.
Das folgende Menü wird auf dem Bildschirm angezeigt.



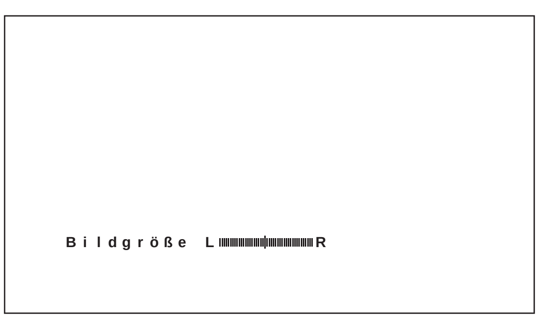
2 Wählen Sie mit ↑/↓ die Option „Tauschen“ und drücken Sie ENTER.
Die Position der beiden Bilder wird getauscht.

Hinweis

Bitte beachten Sie, dass das auf der linken Seite angezeigte Bild als „das linke Bild“ und das Bild auf der rechten Seite als „das rechte Bild“ bezeichnet wird.

Vergrößern eines Bildes

1 Stellen Sie den Cursor (gelb) mit ↑/↓ auf „Bildgröße“ und drücken Sie ENTER.



2 Drücken Sie mehrmals ←/→, um die Bildgröße zu ändern.

3 Wählen Sie mit ENTER die Einstellung aus.

Hinweise

- Sie können in den Modus „Picture And Picture (PAP)“ wechseln, indem Sie die Taste ENTER und dann die Taste INPUT1 auf der Fernbedienung drücken.
- Die Kombinationen der Signale, deren Bilder Sie nebeneinander anzeigen können, sind unten aufgeführt.

	Digitales RGB**	Analoges RGB	Farbdifferenz	Y/C	FBAS
Digitales RGB**	-	-	Unterstützt	Unterstützt	Unterstützt
Analoges RGB	-	-	Unterstützt*	Unterstützt	Unterstützt
Farbdifferenz	Unterstützt	Unterstützt*	-	Unterstützt	Unterstützt
Y/C	Unterstützt	Unterstützt	Unterstützt	-	-
FBAS	Unterstützt	Unterstützt	Unterstützt	-	-

* Kombination der Signale, die über INPUT1 am Gerät und über den gesondert erhältlichen BKM-V11 oder BKM-V12 eingespeist werden

** Der PFM-42X1N ist nicht mit Digitaleingängen ausgestattet.

Einstellen der Tonqualität

Wenn die Lautsprecher SS-SP20B (nicht mitgeliefert) installiert sind, können Sie die Höhen, die Bässe und die Lautstärkebalance der Lautsprecher (links und rechts) einstellen. Darüber hinaus können Sie den Raumklangmodus einstellen.

Einstellen der Höhen, Bässe, Balance usw.

Rufen Sie mit MENU das Hauptmenü auf dem Bildschirm auf und wählen Sie die Option „Höhen“, „Bässe“, „Balance“ oder „Raumklang“ aus dem Menü „Ton einstellen“.

Höhen

Wählen Sie mit ↑/↓ die Option „Höhen“ und drücken Sie ENTER.
Stellen Sie mit ↑/↓/←/→ für die Höhen einen Wert zwischen –50 (Minimum) und +50 (Maximum) ein.
↑/→: Die Höhen werden verstärkt.
↓/←: Die Höhen werden abgeschwächt.

Bässe

Wählen Sie mit ↑/↓ die Option „Bässe“ und drücken Sie ENTER.
Stellen Sie mit ↑/↓/←/→ für die Bässe einen Wert zwischen –50 (Minimum) und +50 (Maximum) ein.
↑/→: Die Bässe werden verstärkt.
↓/←: Die Bässe werden abgeschwächt.

Balance

Wählen Sie mit ↑/↓ die Option „Balance“ und drücken Sie ENTER.
Stellen Sie mit ↑/↓/←/→ für die Balance einen Wert zwischen 50 (links) und 50 (rechts) ein.
↑/→: Die Lautstärke auf der rechten Seite wird erhöht.
↓/←: Die Lautstärke auf der linken Seite wird erhöht.

Raumklang

Wählen Sie je nach Bildtyp den Raumklangmodus aus.

1 Wählen Sie mit ↑/↓ die Option „Raumklang“ und drücken Sie ENTER.

2 Wählen Sie mit ↑/↓ den Raumklangmodus aus und drücken Sie ENTER.
Aus: Kein Raumklang wird ausgegeben.
Saal: Die Stereowirkung des Tons wird bei Filmen oder Musiksendungen intensiviert.
Simul.: Bei normalen Mono-Sendungen oder Nachrichtensendungen erzielen Sie mit simuliertem Stereoklang eine bessere Wirkung.

Zurücksetzen der Optionen im Menü Ton einstellen auf die ursprünglichen Werte

1 Stellen Sie im Menü Ton einstellen den Cursor (gelb) mit ↑/↓ auf „Zurücksetzen“ und drücken Sie ENTER oder →.
Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



2 Stellen Sie den Cursor (gelb) mit ↑/↓ auf „Ausführ.“ und drücken Sie ENTER.
Die Optionen im Menü Ton einstellen werden auf die werkseitigen Werte zurückgesetzt.

So brechen Sie das Zurücksetzen ab

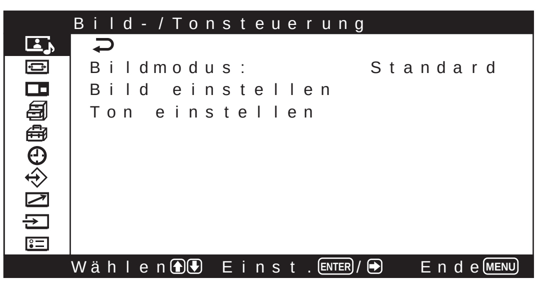
Drücken Sie MENU, bevor Sie ENTER drücken.
Sie können mit ↑/↓ auch „Abbruch“ auswählen und dann ENTER drücken.

Die Speicherfunktion

Mit der Speicherfunktion können Sie die aktuelle Bildeinstellung für die einzelnen Eingangssignale speichern. Die gespeicherten Einstellungen können Sie danach jederzeit abrufen. Sie können die Optionen in den Menüs „Bild-/Tonsteuerung" und „Bildschirm einstellen" in den Speicher stellen. Auf diese Weise können Sie die Bildeinstellungen für bis zu zwanzig Eingangssignale speichern. Sie können einen Namen für die Einstellungen der Optionen eingeben (bis zu 6 Zeichen Länge).

Speichern der aktuellen Einstellungen

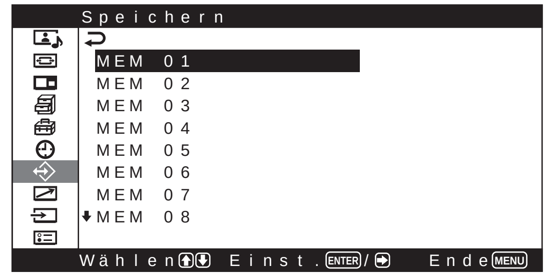
1 Drücken Sie MENU.
Das Hauptmenü erscheint auf dem Bildschirm.



2 Stellen Sie den Cursor (gelb) mit den Tasten ↑/↓ auf „Benutzerspeicher" und drücken Sie ENTER oder →.
Das Menü Benutzerspeicher erscheint auf dem Bildschirm.



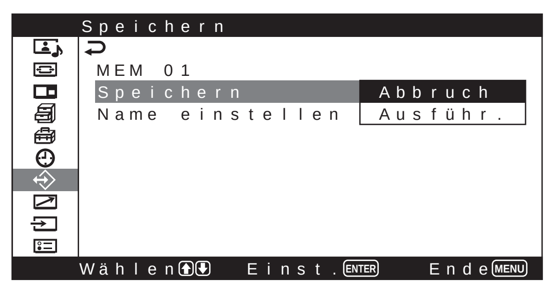
3 Stellen Sie den Cursor (gelb) mit den Tasten ↑/↓ auf „Speichern" und drücken Sie ENTER oder →.
Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



4 Wählen Sie mit ↑/↓ eine Speichernummer (01 bis 20) aus und drücken Sie ENTER oder →.
Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



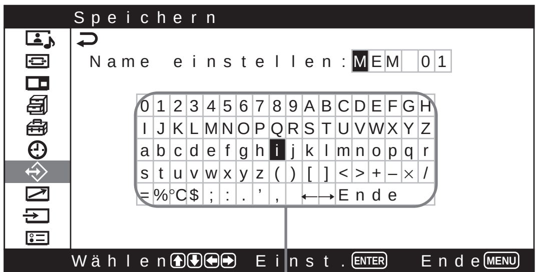
5 Stellen Sie den Cursor (gelb) mit den Tasten ↑/↓ auf „Speichern" und drücken Sie ENTER oder →.
Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



6 Stellen Sie den Cursor (gelb) mit den Tasten ↑/↓ auf „Ausführ." und drücken Sie ENTER.
Die aktuellen Einstellungen werden unter der ausgewählten Speichernummer im Gerät gespeichert.

Wenn Sie einen Namen für die Einstellungen eingeben wollen, gehen Sie wie im Folgenden erläutert vor.

7 Stellen Sie den Cursor (gelb) mit ↑/↓ auf „Name einstellen“ und drücken Sie erneut ENTER.
Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



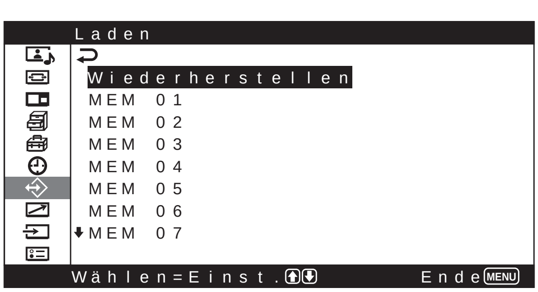
Zeichenliste

8 Wählen Sie mit ↑/↓/←/→ ein Zeichen oder Symbol in der Zeichenliste aus und drücken Sie ENTER. Das ausgewählte Zeichen wird eingegeben. Wenn Sie ein falsches Zeichen oder Symbol eingeben, wählen Sie „←“ auf dem Bildschirm, um den Cursor um ein Zeichen nach links zurückzusetzen. Wählen Sie dann das richtige Zeichen aus.
Wenn „MENU-Funktion“ (Seite 24 (DE)) im Menü Anfangseinstellungen auf „Zurück“ gesetzt wurde, können Sie mit den Tasten ↑/↓ auf der Fernbedienung den Cursor nach links bzw. rechts verschieben. Wenn Sie den Cursor mit den Tasten ↑/↓ nach oben bzw. unten verschieben wollen, setzen Sie „MENU-Funktion“ auf „Ein/Aus“.

9 Gehen Sie wie in Schritt **8** erläutert vor. Wenn Sie den Namen eingegeben haben, wählen Sie „Ende“ und drücken ENTER.
Nun erscheint wieder das Menü Speichern.

Aufrufen der gespeicherten Einstellungen

1 Stellen Sie im Menü Benutzerspeicher den Cursor (gelb) mit den Tasten ↑/↓ auf „Laden“ und drücken Sie ENTER oder →.
Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



2 Stellen Sie den Cursor mit den Tasten ↑/↓ auf die Speichernummer (01 bis 20) der Einstellung, die Sie abrufen wollen.
Der gespeicherte Einstellwert wird abgerufen.

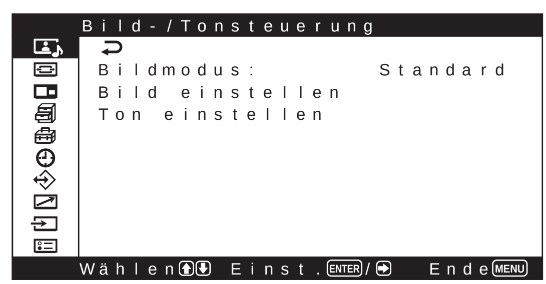
So stellen Sie den vorherigen Wert wieder her
Stellen Sie den Cursor auf „Wiederherstellen“.

3 Drücken Sie die Taste ENTER oder ←.
Auf dem Bildschirm erscheint wieder das Menü Benutzerspeicher.

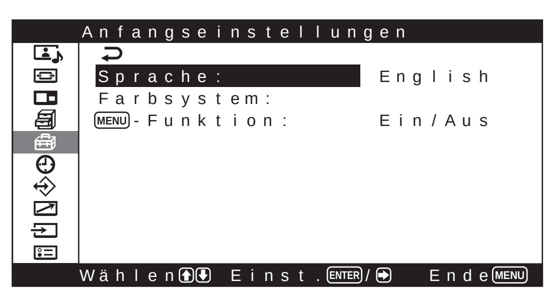
Auswählen der Menüsprache

Sie können als Sprache für die Bildschirmanzeigen Japanisch, Englisch, Deutsch, Französisch, Spanisch oder Italienisch auswählen.

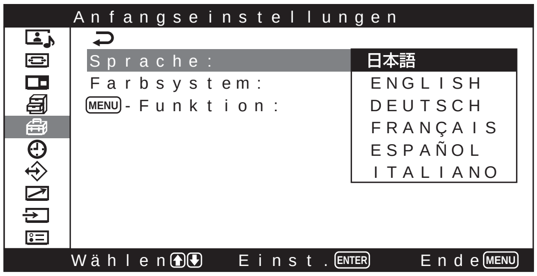
1 Drücken Sie MENU.
Das Hauptmenü erscheint auf dem Bildschirm.



2 Stellen Sie den Cursor (gelb) mit den Tasten ↑/↓ auf „Anfangseinstellungen“ und drücken Sie ENTER oder →.
Das Menü Anfangseinstellungen erscheint auf dem Bildschirm.



3 Stellen Sie den Cursor (gelb) mit ↑/↓ auf „Sprache“ und drücken Sie ENTER oder ➡.
Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



4 Stellen Sie den Cursor (gelb) mit ↑/↓ auf die gewünschte Sprache.
Nun erscheinen die Bildschirmmenüs in der ausgewählten Sprache.

日本語**:** Japanisch
ENGLISH: Englisch
DEUTSCH: Deutsch
FRANÇAIS: Französisch
ESPAÑOL: Spanisch
ITALIANO: Italienisch

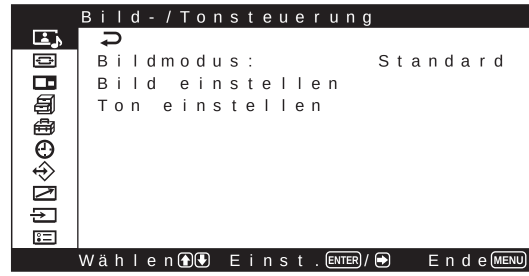
5 Schalten Sie mit ENTER oder ⬅ zum Menü Anfangseinstellungen zurück.

Bildschirmschoner-funktion

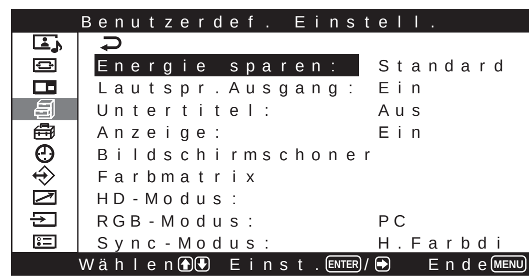
Wenn ein Bild, bei dem sich die Helligkeit nicht ändert, oder ein Standbild, wie zum Beispiel Computer-Bilder, lange Zeit angezeigt wird, kann das Bild auf dem Bildschirm einbrennen, so dass ständig ein Nachbild zu sehen ist.
Um dieses Problem zu beheben oder zumindest zu reduzieren, ist dieses Gerät mit einer Bildschirmschonerfunktion ausgestattet.
Es gibt drei Typen von Bildschirmschonern: Bei dem einen werden die Farben des Bildes umgekehrt (Bildumkehrung), beim zweiten wird das Bild in einem festgelegten Intervall auf dem Bildschirm verschoben (Bildverschiebung) und beim dritten wird die Helligkeit des Hintergrundbereichs ohne Videosignal eingestellt, wenn der Modus „4:3“ oder der Modus „Picture And Picture (PAP)“ ausgewählt ist (Hintergrund).

Umkehren der Bildfarben

1 Drücken Sie MENU.
Das Hauptmenü erscheint auf dem Bildschirm.



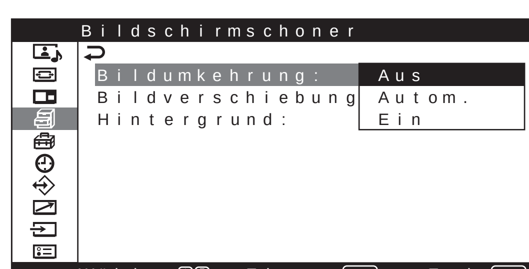
2 Stellen Sie den Cursor (gelb) mit den Tasten ↑/↓ auf „Benutzerdef. Einstell.“ und drücken Sie ENTER oder ➡.
Das Menü Benutzerdef. Einstell. erscheint auf dem Bildschirm.



3 Stellen Sie den Cursor (gelb) mit den Tasten ↑/↓ auf „Bildschirmschoner“ und drücken Sie ENTER oder ➡.
Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



4 Stellen Sie den Cursor (gelb) mit den Tasten ↑/↓ auf „Bildumkehrung“ und drücken Sie ENTER.
Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.

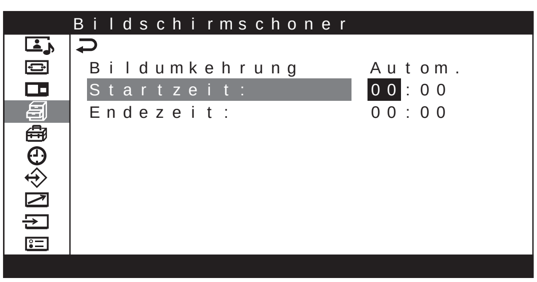


5 Wählen Sie mit ↑/↓ den Modus für die Bildumkehrung aus.
Aus: Die Bildumkehrung wird auf Aus gesetzt.
Autom.: Die Bildumkehrung wird einmal am Tag ausgeführt.
Ein: Die Bildfarben werden umgekehrt.

Wenn Sie „Autom.“ wählen und ENTER drücken, erscheint das folgende Menü.



(1) Stellen Sie den Cursor (gelb) mit den Tasten ↑/↓ auf „Startzeit“ und drücken Sie ENTER. Das folgende Menü erscheint und der Hintergrund der Stundenangabe wird gelb angezeigt.



(2) Stellen Sie mit ↑/↓ die Stunde ein, zu der das Bild umgekehrt werden soll, und drücken Sie ENTER.
Damit ist die Einstellung für die Stunde eingegeben und die Minuten werden mit gelbem Hintergrund angezeigt.

(3) Stellen Sie mit ↑/↓ die Minuten ein und drücken Sie ENTER. Damit ist die Einstellung für die Minuten eingegeben. Mit ← schalten Sie zurück zum Bildschirm aus Schritt **5**.
Wenn Sie mit den Tasten am Gerät arbeiten, schließen Sie das Menü mit der Taste MENU und setzen Sie „MENU-Funktion“ (Seite 24 (DE)) im Menü Anfangseinstellungen auf „Zurück“. Die Taste MENU am Gerät hat dann dieselbe Funktion wie die Taste ←.

(4) Stellen Sie genauso die Uhrzeit ein, zu der die Funktion Bildumkehrung enden soll.
Das Bild wird zur Startzeit umgekehrt und zur Endezeit wird es wieder wie ursprünglich angezeigt. Dieser Zyklus wird automatisch einmal am Tag ausgeführt.

Hinweis

Wenn Sie für Startzeit und Endezeit dieselbe Uhrzeit angeben, hat die Einstellung von Startzeit Priorität vor der der Endezeit. Zur Endezeit wird das Bild daher nicht wieder wie ursprünglich angezeigt.

Automatisches Verschieben der Bildposition

1 Stellen Sie im Menü Bildschirmschoner den Cursor (gelb) mit den Tasten ↑/↓ auf „Bildverschiebung“, und drücken Sie ENTER oder →.
Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



2 Stellen Sie den Cursor (gelb) mit den Tasten ↑/↓ auf „Verschiebung“ und drücken Sie ENTER oder →.
Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.

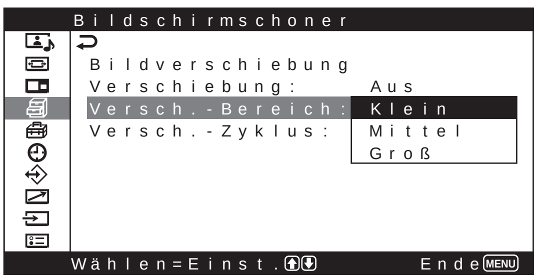


3 Wählen Sie mit ↑/↓ den Modus für die Verschiebung aus.
Aus: Die Funktion Bildverschiebung wird deaktiviert.
Ein: Die Funktion Bildverschiebung wird aktiviert.

4 Drücken Sie ENTER oder ←.
Das Menü Bildverschiebung wird wieder angezeigt.

5 Wählen Sie mit ↑/↓ die Option „Versch.-Bereich“ (Verschiebungsdistanz) oder „Versch.-Zyklus“ (Verschiebungsdauer) aus und drücken Sie ENTER.
Die folgenden Werte stehen zur Verfügung:
Versch.-Bereich: Klein, Mittel, Groß
Versch.-Zyklus: 10Sek, 30Sek, 1Min., 5Min.

Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm. (Wenn Sie „Versch.-Bereich“ auswählen)



6 Stellen Sie mit ↑/↓ die Option Versch.-Bereich bzw. Versch.-Zyklus ein.

7 Schalten Sie mit ENTER oder ← zum vorherigen Menü zurück.

Wenn Bildumkehrung und Bildverschiebung auf „Ein“ gesetzt werden

Wenn die Funktion Bildverschiebung aktiviert wird, während das Bild umgekehrt angezeigt wird, so wird das umgekehrte Bild verschoben.

Einstellen der Helligkeit des Hintergrundes (Bereich ohne Videosignal)

Wenn Sie den Modus „4:3“ oder den Modus „Picture And Picture (PAP)“ verwenden und die Helligkeit des Bildbereichs und des Hintergrundes (Bereich ohne Videosignal) sehr unterschiedlich ist, kommt es wahrscheinlich zu einem Einbrennen des Hintergrundes. Um dies zu vermeiden, können Sie die Helligkeit des Hintergrundes einstellen.

1 Stellen Sie im Menü „Bildschirmschoner“ den Cursor (gelb) mit ↑/↓ auf „Hintergrund“ und drücken Sie ENTER oder →.
Das folgende Menü wird auf dem Bildschirm angezeigt.



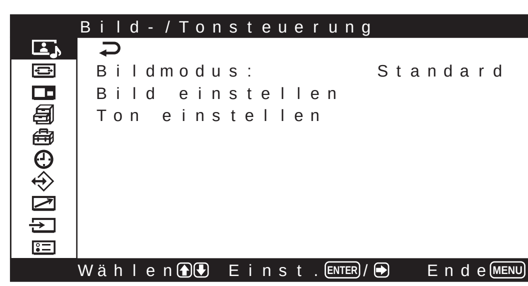
2 Wählen Sie mit ↑/↓ die Helligkeit des Hintergrundes aus.
Die Standardeinstellung ist „Grau“.

3 Schalten Sie mit ENTER oder ← zum vorherigen Menü zurück.

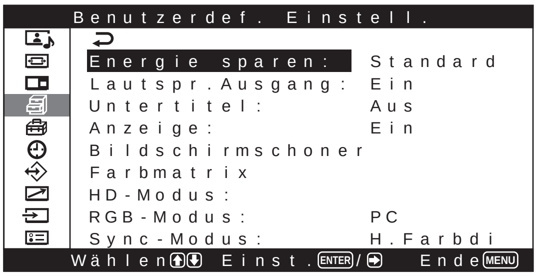
Einstellen der Farbmatrix

Sie können die Farbmatrix so einstellen, dass die Bilder in natürlichen Farben angezeigt werden, wenn ein Signal im Signalformat 480P (525P), 1080I (1125I) oder 720P (750P) am Farbdifferenzeingangssignaladapter eingespeist wird.

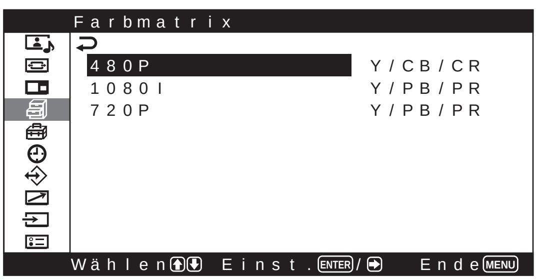
1 Drücken Sie MENU.
Das Hauptmenü erscheint auf dem Bildschirm.



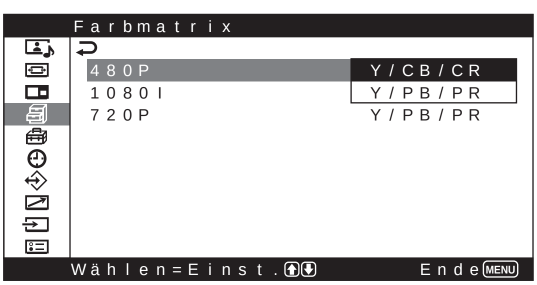
2 Stellen Sie den Cursor (gelb) mit ↑/↓ auf „Benutzerdef. Einstell“ und drücken Sie ENTER oder →.
Das Menü Benutzerdef. Einstell. erscheint auf dem Bildschirm.



3 Stellen Sie den Cursor (gelb) mit ↑/↓ auf „Farbmatrix“ und drücken Sie ENTER oder →.
Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



4 Wählen Sie mit ↑/↓ das Signalformat aus, und drücken Sie ENTER oder →.
Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



5 Wählen Sie mit ↑/↓ die Farbmatrix aus.
Y/CB/CR: Beim Signalformat 480P.
Y/PB/PR: Beim Signalformat 1080I oder 720P.

Einzelheiten zur richtigen Einstellung schlagen Sie bitte in der Bedienungsanleitung zum jeweiligen Gerät nach.

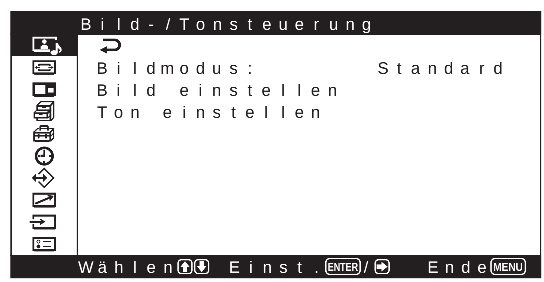
6 Schalten Sie mit ENTER oder ← zum vorherigen Menü zurück.

Automatisches Steuern des Ein-/Ausschaltens (Ein-/Ausschaltautomatik)

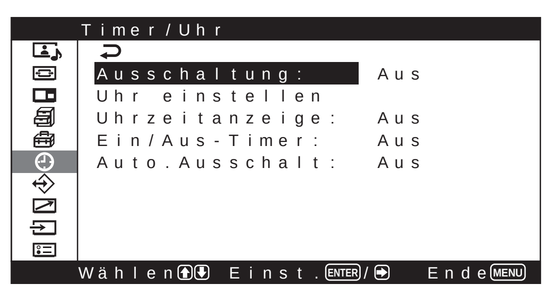
Dieser Monitor verfügt über zwei Funktionen zum automatischen Ein-/Ausschalten. Sie können ihn so einstellen, dass er sich automatisch ausschaltet, wenn kein Signal eingeht (Funktion Auto.Ausschalt). Und Sie können die Uhrzeit einstellen, zu der sich der Monitor automatisch ein- bzw. ausschaltet (Funktion Ein/Aus-Timer). Darüber hinaus steht eine Sleep-Funktion zur Verfügung, mit der das Gerät nach einer voreingestellten Zeitspanne ausgeschaltet wird, auch wenn Signale am Bildschirm eingehen.

Sleep-Funktion

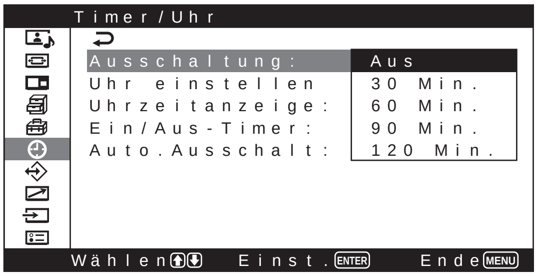
1 Drücken Sie MENU.
Das Hauptmenü erscheint auf dem Bildschirm.



2 Stellen Sie den Cursor (gelb) mit ↑/↓ auf „Timer/Uhr“ und drücken Sie ENTER oder →.
Das Menü Timer/Uhr erscheint auf dem Bildschirm.



3 Stellen Sie den Cursor (gelb) mit ↑/↓ auf „Ausschaltung“ und drücken Sie ENTER oder →.
Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.

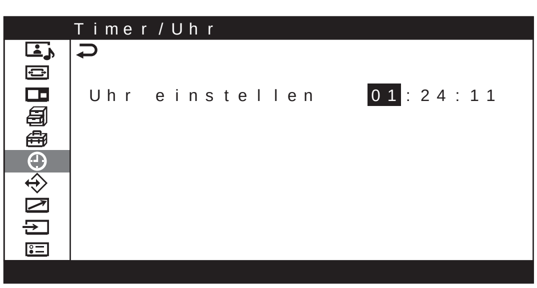


4 Wählen Sie mit ↑/↓ die Zeitspanne bis zum Ausschalten des Geräts aus.
Aus: Das Gerät wird nicht ausgeschaltet.
30 Min.: Das Gerät wird nach 30 Minuten ausgeschaltet.
60 Min.: Das Gerät wird nach 60 Minuten ausgeschaltet.
90 Min.: Das Gerät wird nach 90 Minuten ausgeschaltet.
120 Min.: Das Gerät wird nach 120 Minuten ausgeschaltet.

5 Schalten Sie mit ENTER oder ← zum vorherigen Menü zurück.

Einstellen der Uhrzeit

1 Stellen Sie im Menü Timer/Uhr den Cursor (gelb) mit ↑/↓ auf „Uhr einstellen“ und drücken Sie ENTER oder →.
Das folgende Menü wird angezeigt und die Hintergrundfarbe der Uhrzeit wechselt zu gelb.



2 Stellen Sie mit ↑/↓ die Stunde ein und drücken Sie ENTER.
Damit ist die Einstellung für die Stunde eingegeben und die Minuten werden mit gelbem Hintergrund angezeigt.

3 Stellen Sie die Minuten wie die Stunde ein und drücken Sie ENTER.
Die Einstellung für die Minuten ist damit eingegeben und die Hintergrundfarbe der Sekundenangabe wechselt zu Gelb.

4 Drücken Sie ENTER.
Die Sekunden werden auf 00 zurückgesetzt.

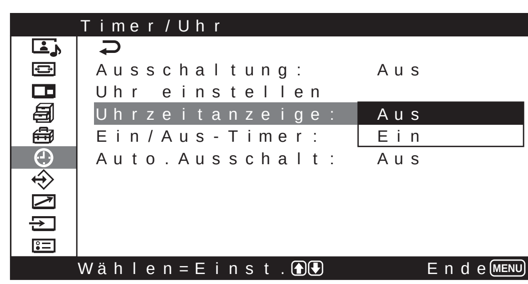
5 Drücken Sie MENU.
Der Monitor schaltet wieder zur normalen Anzeige. Wenn Sie weitere Einstellungen vornehmen oder Einstellungen erneut vornehmen müssen, gehen Sie wieder wie ab Schritt **1** erläutert vor.

Hinweis

Wenn die eingebaute Uhr nachgeht, ist der interne Akku möglicherweise erschöpft. Wenden Sie sich bitte an einen autorisierten Sony-Händler, um den Akku austauschen zu lassen.

Anzeigen der Uhrzeit

1 Stellen Sie im Menü Timer/Uhr den Cursor (gelb) mit ↑/↓ auf „Uhrzeitanzeige“ und drücken Sie ENTER.
Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.

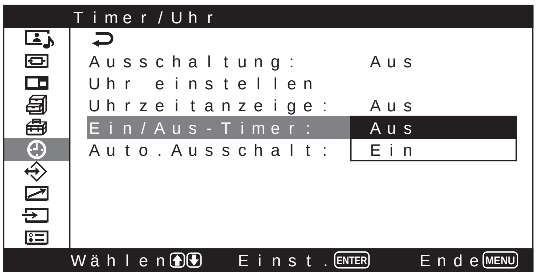


2 Wählen Sie mit ↑/↓ die Option „Ein“ aus.
Wenn das Menü nicht mehr angezeigt wird, erscheint die Uhr in der rechten unteren Ecke des Bildschirms.

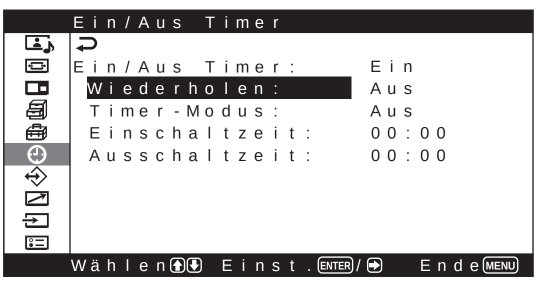
Wenn Sie die Taste DISPLAY auf der Fernbedienung drücken, wird die Uhr in der Ecke des Bildschirms ausgeblendet und stattdessen werden das gerade eingespeiste Signal und der Bildmodus angezeigt. Wenn Sie die Taste DISPLAY erneut drücken, erscheint wieder die Uhr in der Ecke des Bildschirms. Wenn die Information etwa 10 Sekunden lang ungestört angezeigt wird, wird sie automatisch ausgeblendet.
„Uhrzeitanzeige: Ein“ bleibt nicht gespeichert, wenn das Gerät ausgeschaltet wird.

Timer-Funktion zum Ein-/ Ausschalten

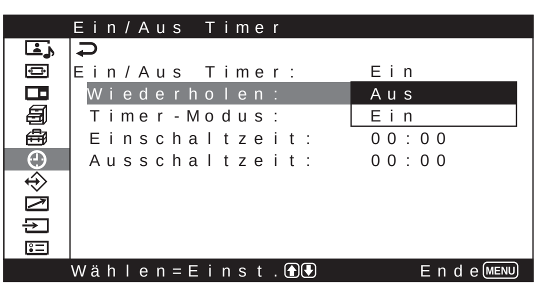
1 Stellen Sie im Menü Timer/Uhr den Cursor (gelb) mit den Tasten ↑/↓ auf „Ein/Aus-Timer“ und drücken Sie ENTER.
Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



2 Wählen Sie mit ↑/↓ die Option „Ein“ aus und drücken Sie ENTER.
Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



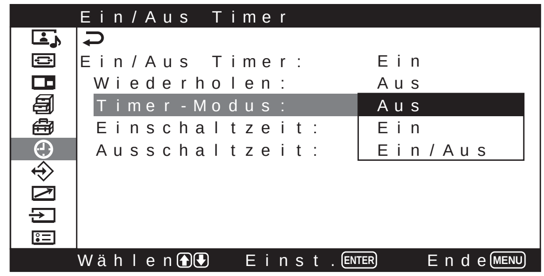
3 Wählen Sie mit ↑/↓ die Option „Wiederholen“ und drücken Sie ENTER oder →.
Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



4 Wählen Sie mit ↑/↓ den Wiederholmodus aus.
Aus: Das Gerät wird nur einmal ein-/ausgeschaltet.
Ein: Das Gerät wird jeden Tag zur voreingestellten Zeit ein-/ausgeschaltet.

5 Drücken Sie ENTER oder ←.
Nun erscheint wieder das Menü Ein/Aus-Timer.

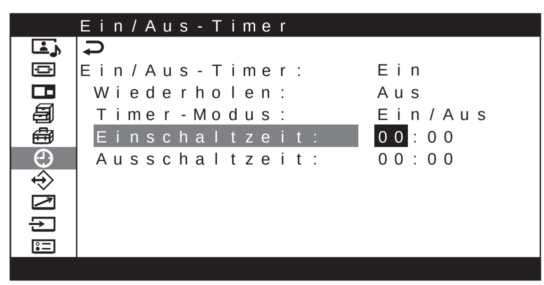
6 Wählen Sie mit ↑/↓ die Option „Timer-Modus“ aus und drücken Sie ENTER oder →.
Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



7 Wählen Sie mit ↑/↓ den Timer-Modus aus.
Aus: Das Gerät wird zu der unter Ausschaltzeit eingestellten Zeit ausgeschaltet.
Ein: Das Gerät wird zu der unter Einschaltzeit eingestellten Zeit eingeschaltet.
Ein/Aus: Das Gerät wird zu der unter Einschaltzeit eingestellten Zeit ein- und zu der unter Ausschaltzeit eingestellten Zeit ausgeschaltet.

8 Drücken Sie ENTER oder ←.
Nun erscheint wieder das Menü Ein/Aus-Timer.

9 Stellen Sie den Cursor (gelb) mit ↑/↓ auf „Einschaltzeit“ und drücken Sie ENTER oder →.
Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.
Die Hintergrundfarbe der Stundenangabe wechselt zu Gelb.



10 Stellen Sie mit ↑/↓ die Stunden ein und drücken Sie ENTER oder →.
Die Uhrzeit ist damit eingestellt und die Stunde ist damit eingegeben und die Hintergrundfarbe der Minutenangabe wechselt zu Gelb.

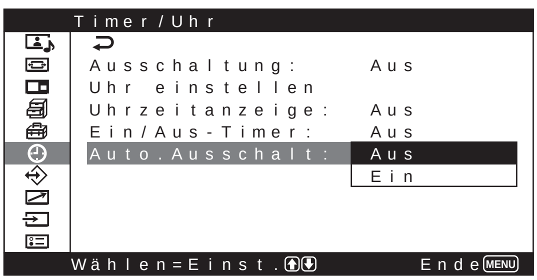
11 Stellen Sie mit ↑/↓ die Minuten ein und drücken Sie ENTER.
Mit ← schalten Sie zurück zum Bildschirm aus Schritt **2**.
Wenn Sie mit den Tasten am Gerät arbeiten, schließen Sie das Menü mit der Taste MENU und setzen Sie „MENU-Funktion“ (Seite 24 (DE)) im Menü Anfangseinstellungen auf „Zurück“. Die Taste MENU am Gerät hat dann dieselbe Funktion wie die Taste ←.

12 Stellen Sie den Cursor (gelb) mit ↑/↓ auf „Ausschaltzeit“ und drücken Sie ENTER. Stellen Sie wie oben erläutert die Stunden und Minuten ein.

Energiesparfunktion

Das Gerät wird automatisch ausgeschaltet, wenn kein Eingangssignal in die Anschlüsse INPUT1 oder INPUT2 eingespeist wird, wenn der Eingangsmodus auf RGB gestellt ist.

1 Stellen Sie im Menü Timer/Uhr den Cursor (gelb) mit ↑/↓ auf „Auto. Ausschalt“ und drücken Sie ENTER oder →.
Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



2 Wählen Sie mit ↑/↓ den Zeitraum aus, nach dem das Gerät in den Energiesparmodus wechselt.
Aus: Die Energiesparfunktion arbeitet nicht.
Ein: Der Energiesparmodus ist aktiv.

Hinweis
Die Eingangswahl steht im Stromsparbetrieb zur Verfügung.

Die Anzeige ON leuchtet orange, wenn sich das Gerät im Energiesparmodus befindet.

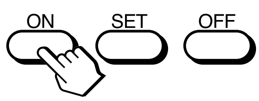
3 Schalten Sie mit ENTER oder ← zum vorherigen Menü zurück.

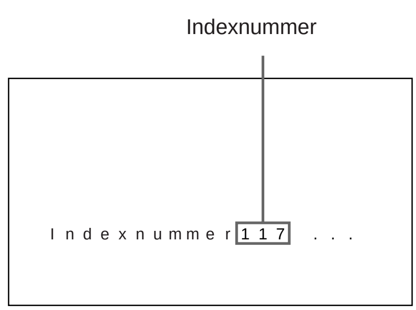
So beenden Sie die Energiesparfunktion
Legen Sie das Signal erneut an, oder drücken Sie den Schalter ⏻ am Bereich für Netzschalter ⏻ (Bereitschaft) / Netzanzeige oder den Schalter POWER ON auf der Fernbedienung.

Steuern eines bestimmten Monitors über die Fernbedienung

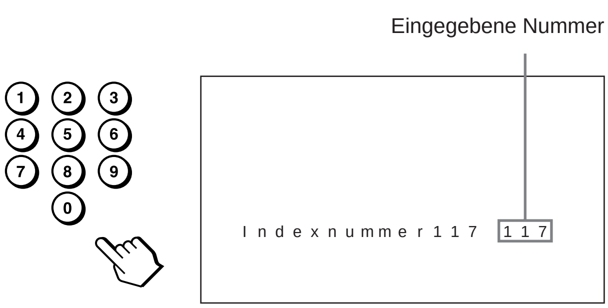
Mit der mitgelieferten Fernbedienung können Sie einen bestimmten Monitor steuern, ohne die anderen, ebenfalls angeschlossenen Monitore zu beeinflussen.

1 Drücken Sie die Taste ID MODE ON auf der Fernbedienung.
Die Indexnummern der Monitore werden auf allen Monitoren weiß angezeigt. Jedem Monitor ist werkseitig eine eigene Indexnummer zwischen 1 und 255 zugeordnet.
Näheres dazu finden Sie unter „So ändern Sie die Indexnummer“ auf Seite 51 (DE).

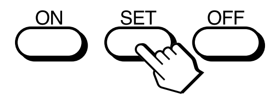




2 Geben Sie mit den Tasten 0 – 9 auf der Fernbedienung die Indexnummer des Monitors ein, den Sie steuern wollen.
Die eingegebene Nummer erscheint rechts neben der Indexnummer der einzelnen Monitore.

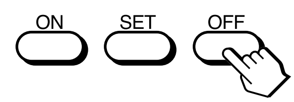


3 Drücken Sie ID MODE SET.
Die Zeichen auf dem ausgewählten Monitor werden nun grün angezeigt, die auf den anderen Monitoren rot.



Sie können jetzt nur noch den ausgewählten Monitor steuern.
(Das Einschalten bzw. das Schalten in den Bereitschaftsmodus wirkt sich allerdings auch auf die anderen Monitore aus.)

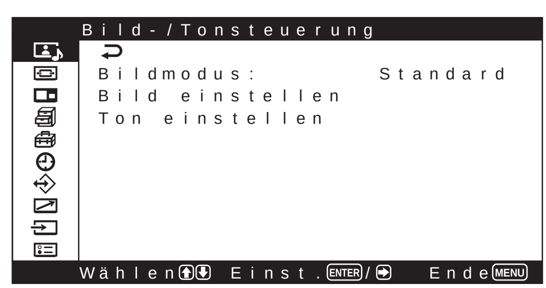
4 Nachdem Sie alle Einstellungen geändert haben, drücken Sie die Taste ID MODE OFF.
Der Monitor schaltet wieder in den normalen Modus.



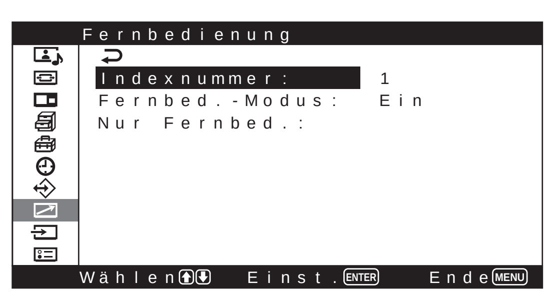
So ändern Sie die Indexnummer

Sie können die Indexnummer gegebenenfalls ändern. Verwenden Sie zum Ändern der Nummer die Tasten am Steuertastenbereich des Monitors.

1 Drücken Sie MENU.
Das Hauptmenü erscheint auf dem Bildschirm.



2 Stellen Sie den Cursor (gelb) mit den Tasten ⬆/⬇ auf „Fernbedienung“ und drücken Sie ENTER.
Das Menü „Fernbedienung“ erscheint auf dem Bildschirm.



3 Stellen Sie den Cursor (gelb) mit den Tasten ↑/↓ auf „Indexnummer" und drücken Sie ENTER.
Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.

```
Indexnummer:   1
```

4 Stellen Sie die Indexnummer mit ↑/↓ ein und drücken Sie ENTER.
Nun erscheint wieder das Menü „Fernbedienung".

Verwenden anderer Fernbedienungsmodelle

Folgende Funktionen können Sie mit anderen Fernbedienungsmodellen ausführen.

- Ein- und Ausschalten
- Eingangswahl
- Menüfunktionen
- Bildeinstellungen: Kontrast, Phase und Farbe
- Bildschirmanzeige ein/aus

Je nach Modell Ihrer Fernbedienung stehen nur bestimmte Tasten zur Verfügung und Sie können nur bestimmte Operationen ausführen. Eine Übersicht finden Sie in der Tabelle unten.

Modell der Fernbedienung		**RM-921**
Einstellung der Option FERNBED. MODUS		**Ein**
Eingangswahl	INPUT1	RGB1
	INPUT2	RGB2
	VIDEO	LINE
Menütasten	MENU	MENU
	ENTER	ENTER
	↑	↑
	↓	↓
Bildeinstellung	Kontrast	CONTRAST +/–
	Farbe	CHROMA
	Phase	—
Bildschirminformationen		DISPLAY

Technische Daten

Bildverarbeitung

Voreingestelltes Signal
siehe Seite 28 (DE)
Abtastrate 13,5 MHz bis 140 MHz
Bildschirmsystem Plasmabildschirm (Wechselstrom)
Anzeigeauflösung 1.024 Punkte (horizontal) × 768 Zeilen (vertikal)
Pixelgröße 0,90 (horizontal) × 0,676 (vertikal) mm
Bildgröße 920,1 (horizontal) × 518,4 (vertikal) mm
Bildschirmgröße 42 Zoll, Diagonale 1.058 mm

Eingänge und Ausgänge

INPUT1
RGB/YUV D-Sub, 15-polig (weiblich) (×1) *(siehe „Stiftbelegung" auf Seite 54 (DE))*
AUDIO Stereominibuchse (×1) 500 mV effektiver Mittelwert, hohe Impedanz

INPUT2[1)]
DVI DVI-HDCP (Konform mit der DVI-Spezifikation Rev. 1.0)
AUDIO Stereominibuchse (×1) 500 mV effektiver Mittelwert, hohe Impedanz

CONTROL S IN/OUT

AUDIO OUT
Stereominibuchse (×1)

REMOTE (RS-232C)
9-poliger D-Sub-Anschluss (×1)

VIDEO (NTSC, PAL, SECAM, NTSC4.43, PAL60, PAL-M, PAL-N)[2)]
COMPOSITE IN
BNC-Anschluss (×1)
FBAS-Videosignal, 1 Vp-p ±2 dB, sync-negativ, 75 Ohm (automatischer Anschluss)
COMPOSITE OUT
BNC-Durchschleifanschluss (×1)
Y/C IN Mini-DIN, 4-polig (×1)
Y-Signal (Luminanz): 1 Vp-p ±2 dB, sync-negativ, 75-Ohm-Abschlusswiderstand
C-Signal (Chrominanz): Burst 0,286 Vp-p ±2 dB (NTSC), 75-Ohm-Abschlusswiderstand
Burst 0,3 Vp-p ±2 dB (PAL), 75-Ohm-Abschlusswiderstand
AUDIO IN Stiftbuchse (×2) 500 mV effektiver Mittelwert, hohe Impedanz

SPEAKER 7 W + 7 W (6 Ohm), direkte unsymmetrische Impedanz: 6 – 16 Ohm

Farbdifferenz-/RGB-Eingangssignaladapter BKM-V11 (nicht mitgeliefert)

YUV/RGB IN
YUV/RGB BNC-Anschluss (×5)
AUDIO Stiftbuchse (×2) 500 mV effektiver Mittelwert, hohe Inpedanz

Aktiver Durchschleifadapter BKM-V12 für RGB-/Farbdifferenzsignale (nicht mitgeliefert)

RGB/YUV ACTIVE THROUGH
RGB/YUV IN D-Sub, 15-polig (weiblich) (×1)
AUDIO IN Stereominibuchse (×1) 500 mV effektiver Mittelwert, hohe Impedanz
RGB/YUV OUT D-Sub, 15-polig (weiblich) (×1)

Allgemeines

Betriebsspannung
100 bis 240 V Wechselstrom, 50/60 Hz, 4,2 bis 1,8 A
Leistungsaufnahme
400 W

1) Der PFM-42X1N ist nicht mit INPUT2-Anschlüssen ausgestattet.
2) Der PFM-42X1N ist nicht mit VIDEO-Anchlüssen ausgestattet. Beim PFM-42X1N können FBAS-Video- und Y/C-Signale in den Monitor eingespeist werden, wenn der Videoeingangsadapter BKM-V10 (nicht mitgeliefert) im Monitor installiert wird.

Betriebsbedingungen
Temperatur: 0 bis 35 °C
Luftfeuchtigkeit: 20 bis 90% (nicht kondensierend)
Atmosphärischer Druck: 800 bis 1.100 hPa

Lager-/Transportbedingungen
Temperatur: –10 °C bis +40 °C
Luftfeuchtigkeit: 20 bis 90% (nicht kondensierend)
Atmosphärischer Druck: 700 bis 1.100 hPa

Abmessungen 1.033 × 631 × 102 mm (B/H/T, ohne vorstehende Teile)

Gewicht 29,7 kg

Mitgeliefertes Zubehör
Netzkabel (1)
Netzsteckerhalter (2)
Digitales RGB-Signalkabel (DVI-D): TMDS (einfache Verbindung) (1)*
Kabelhalter (4)
Fernbedienung RM-971 (1)
R6-Batterien der Größe AA (2)
Bedienungsanleitung (1)
* außer beim PFM-42X1N

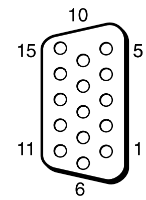
Gesondert erhältliches Zubehör
Monitorständer SU-42B
Lautsprecher SS-SP20B
Videoeingangsadapter BKM-V10 (nur für den PFM-42X1N)
Farbdifferenz-/RGB-Eingangssignaladapter BKM-V11
Aktiver Durchschleifadapter BKM-V12 für RGB-/Farbdifferenzsignale

Sicherheitsbestimmungen
UL1950, CSA Nr. 950 (c-UL), FCC Klasse B, IC Klasse B, EN60 950 (NEMKO), CE, C-Tick

Änderungen, die dem technischen Fortschritt dienen, bleiben vorbehalten.

Stiftbelegung

Anschluss RGB/YUV (D-Sub, 15-polig)



Stift Nr.	Signal
1	Videosignal Rot oder R-Y oder P_R
2	Videosignal Grün oder Y oder Grünsignal mit Synchronisation
3	Videosignal Blau oder B-Y oder P_B
4	Masse
5	Masse
6	Masse Rot
7	Masse Grün
8	Masse Blau
9	Nicht belegt
10	Masse
11	Masse
12	SDA
13	Horizontales oder zusammengesetztes Synchronisationssignal
14	Vertikales Synchronisationssignal
15	SCL

ADVERTENCIA

Nombre del producto : Pantalla de panel plano
Modelo : PFM42X1/42X1N

Para evitar el peligro de incendio o descargas eléctricas, no exponga la unidad a la lluvia ni a la humedad.

Presencia de alta tensión peligrosa en el interior de la unidad. No abra el aparato. Solicite asistencia técnica sólo a personal especializado.

Durante el transporte
Cuando transporte el monitor, sostenga la unidad, no los altavoces. Si no lo hace, los altavoces podrían separarse de la unidad y ésta podría caerse. Esto podría causar daños.

La toma mural debe estar instalada cerca del equipo y debe accederse a ésta con facilidad.

Precaución
Existe un riesgo de explosión si se sustituyen las pilas por unas nuevas diferentes.
Para desechar las pilas, proceda como se indica a continuación.

Índice

Precauciones

Seguridad

- Una placa de identificación que indica la tensión de funcionamiento, consumo de energía, etc. se encuentra en la parte posterior de la unidad.
- Si se introduce algún objeto sólido o líquido en la unidad, desenchúfela y haga que sea examinada por personal especializado antes de volver a utilizarla.
- Desenchufe la unidad de la toma mural si no va a utilizarla durante varios días o más.
- Para desconectar el cable de alimentación de ca, tire del enchufe. No tire nunca del propio cable.
- Para instalar la unidad en el suelo, asegúrese de utilizar el soporte opcional.

Instalación

- Con el fin de evitar el recalentamiento interno de la unidad, permita que reciba una ventilación adecuada. No la coloque sobre superficies (alfombras, mantas, etc.) ni cerca de materiales (cortinas, tapices) que puedan bloquear los orificios de ventilación.
- No instale la unidad en un lugar cerca de fuentes de calor como radiadores o salidas de aire caliente, ni en lugares expuestos a la luz solar directa, polvo excesivo o vibraciones o golpes mecánicos.
- Al instalar múltiples equipos con la unidad, pueden producirse problemas como un funcionamiento defectuoso del Control remoto, ruido de imagen o sonido, etc., según la posición de la unidad y de los demás equipos.
- Pueden producirse problemas de comunicación si el equipo de comunicación por infrarrojos (por ejemplo, cascos o micrófonos inalámbricos por infrarrojos) se utiliza cerca de la pantalla. Utilice cascos o micrófonos que no funcionen por infrarrojos. Además, si utiliza el equipo de comunicación por infrarrojos, aléjelo de la pantalla hasta que el ruido desaparezca o acerque el transmisor y el receptor del equipo de comunicación por infrarrojos.

PDP (panel de visualización de plasma)

- Es posible que vea en la pantalla cómo permanecen algunos puntos brillantes (rojos, azules o verdes) o cómo aparecen puntos negros. A pesar de que el panel de visualización de plasma está fabricado con tecnología de alta precisión, puede crear algunos píxeles negros o brillantes. Sin embargo, aunque aparezcan puntos negros en el borde del mismo o irregularidades de brillo o franjas de color, esto no indica un fallo de funcionamiento.
- No muestre la misma imagen fija en la pantalla durante mucho tiempo. En caso contrario, puede aparecer una imagen residual o fantasma en parte del panel. Utilice la función de protector de pantalla para igualar la visualización en pantalla.
- Debido al proceso de fabricación de esta pantalla de plasma, si se utiliza en sitios con baja presión atmosférica, por ejemplo a grandes alturas, la unidad puede emitir pitidos o zumbidos.
- Si visualiza la misma imagen en la pantalla durante un período largo de tiempo, una parte de la imagen quemará una parte del panel y dejará ver una imagen espectral tras de sí. Si visualiza la misma imagen durante un período largo de tiempo y desea evitar que la imagen queme el panel, utilice en toda la pantalla la función de pantalla que se suministra. Si se producen imágenes espectrales, utilice la función de protector de pantalla o bien algún tipo de software de imagen o vídeo para proporcionar un movimiento constante en la pantalla. Si se producen ligeras imágenes fantasma o espectrales (marcas de la imagen), resultará menos notable pero, una vez que se produzca el envejecimiento, nunca más desaparecerá por completo.
- Para proteger la pantalla de plasma, esta unidad no acepta comandos del mando a distancia ni de los botones de función de la unidad durante un intervalo de tiempo después de pulsar los botones ON o STANDBY. Después de pulsarlos, espere unos 8 segundos antes de introducir un comando.

Limpieza

Para mantener la unidad como nueva, límpiela periódicamente con una solución detergente poco concentrada. Nunca utilice disolventes concentrados como diluyentes o bencina ni limpiadores abrasivos, ya que pueden dañar el acabado. Como precaución de seguridad, desenchufe la unidad antes de limpiarla.

Acerca de la manipulación y la limpieza de la pantalla

La pantalla de este aparato requiere una serie de cuidados especiales de manipulación y limpieza. Para limpiar, utilice una paño de limpieza a fin de evitar tocar directamente el panel.

Embalaje

Conserve la caja y los materiales de embalaje, ya que son ideales para transportar la unidad. Al trasladar la unidad, embálela tal como se indica en la caja.

Si desea realizar alguna consulta referente a la unidad, póngase en contacto con un proveedor Sony autorizado.

Características

La serie PFM-42X1 son pantallas de 16:9 de panel plano de 42 pulgadas que utilizan un PDP (panel de visualización de plasma), y que pueden aceptar varios tipos de señales con el convertidor de de exploración incorporado.

Imágenes claras y brillantes

Las pantallas de la serie PFM-42X1 utilizan un panel de visualización de plasma de alta definición de 1.024 puntos × 768 líneas que reproduce imágenes claras y brillantes de una gran variedad de fuentes.

Circuito de imágenes digitales de alta calidad

El procesamiento digital coherente de todas las señales de imagen permite reproducir fielmente imágenes de alta calidad.

Amplificadores de audio y conectores de salida para altavoz

Esta pantalla está equipada con amplificadores de sonido digital de gran calidad que, combinados con unos altavoces opcionales, proporciona una presentación espectacular.

Otras características

- Conectores de salida para altavoz (I/D)
- Control S (IN/OUT)
- Entrada DVI-HDCP*
- Muestra la señal HDTV con señal de sincronización de tres niveles.
- Filtro de peine tridimensional para la separación NTSC Y/C.
- Filtro de peine por correlación de líneas para la separación PAL Y/C.
- Detección automática de señales de entrada con indicación en pantalla.
- Compatibilidad con Windows[1)]98/2000/ME/XP PnP (Plug and Play).
- Función de Imagen dinámica
- Menú en pantalla para realizar distintos ajustes
- Indicación en pantalla en seis idiomas para facilitar el acceso al usuario. (Idiomas: inglés, alemán, francés, italiano, español y japonés.)
- Ajuste fino del tamaño y posición de la imagen
- Función de memoria para el almacenamiento de hasta veinte ajustes de imagen.
- Control de ID
- Conector de control remoto (RS-232C) (D-sub de 9 pines)
- Permite emplear mandos a distancia Sony infrarrojos utilizando el código SIRCS.
- Decodificador de Closed caption (título)
- Protector de pantalla para reducir imágenes residuales o fantasma.
- Se proporciona una ranura de opción para las expansiones futuras. El adaptador opcional de ranuras permite realizar actualizaciones rápidas y fáciles del sistema.

* Excepto el modelo PFM-42X1N

Advertencia sobre la conexión de la alimentación

Utilice un cable de alimentación adecuado al suministro eléctrico local.

Serie PFM-42X1

	Estados Unidos, Canadá	Europa continental		Reino Unido, Irlanda, Australia, Nueva Zelanda	Japón
Tipo de enchufe	VM0233	COX-07	636	—[a)]	VM1296
Extremo hembra	VM0089	COX-02	VM0310B	VM0303B	VM1313
Tipo de cable	SVT	H05VV-F		CEE (13) 53rd (O.C)	HVCTF
Valor nominal mínimo del juego de cables	10A/125V	10A/250V		10A/250V	10A/125V
Aprobación de seguridad	UL/CSA	VDE		VDE	DENAN-HO

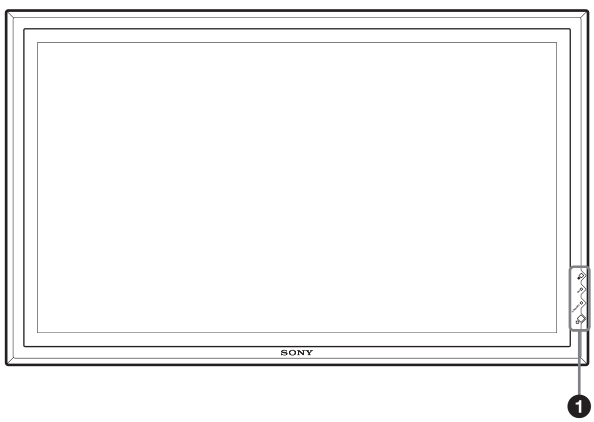
a) Nota: Utilice un enchufe de valor nominal adecuado que cumpla con las regulaciones locales.

1) Windows es una marca comercial registrada de Microsoft Corporation (en EE.UU. y otros países).

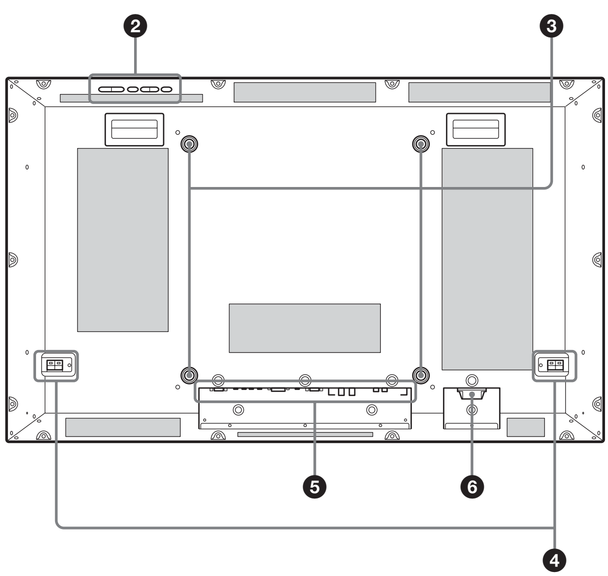
Ubicación y función de componentes y controles

Parte frontal / Parte posterior / Parte inferior

Parte frontal

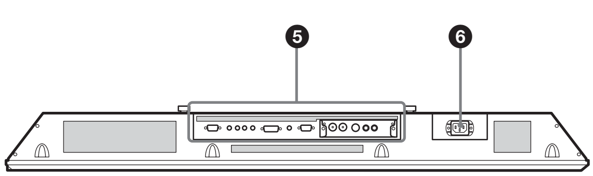


Parte posterior



Las partes sombreadas mostradas en la anterior ilustración son orificios de ventilación.

Parte inferior



❶ Sección de indicadores / interruptor ⏻ (de espera)
Para obtener información detallada sobre la sección de indicadores / interruptor ⏻ (de espera), consulte "Sección de indicadores / Interruptor ⏻ (de espera)" en la página 8 (ES).

❷ Sección de botones de control
Para obtener más información sobre la sección de botones de control, consulte "Sección de botones de control (parte superior)" en la página 8 (ES).

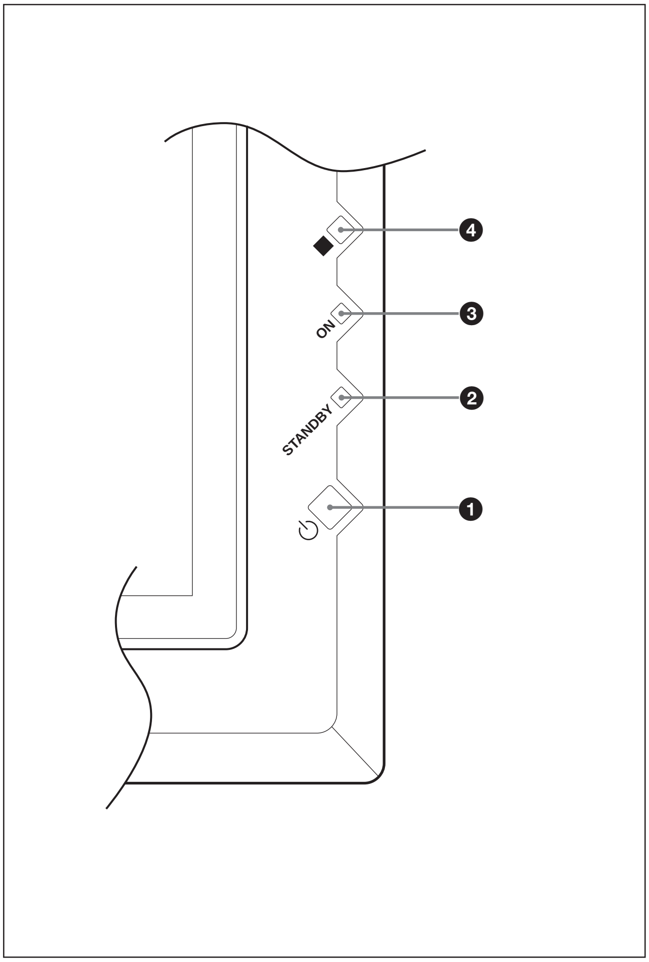
❸ Ganchos de instalación del soporte
Utilice estos ganchos para instalar el soporte (no suministrado).

❹ Toma SPEAKER (Salida de audio)
El componente audio de la señal que se muestra en pantalla se emite cuando se conectan a esta toma altavoces vendidos por separado.

❺ Panel de conectores
Para obtener más información sobre el panel de conectores, consulte "Panel de conectores" en la página 9 (ES).

❻ Toma ∿ ca IN
Conecte el cable de alimentación de ca suministrado a esta toma y a una toma mural. Una vez conectado el cable de alimentación de ca, el indicador STANDBY se ilumina en color rojo y el monitor cambia al modo de espera.
Si desea obtener más información acerca del cable de alimentación, consulte "Conexión del cable de alimentación de ca" en la página 15 (ES).

Sección de indicadores / Interruptor ⏻ (de espera)



❶ **Interruptor ⏻ (de espera)**
Púlselo para encender la pantalla. Vuelva a pulsarlo para volver al modo de espera.

Nota

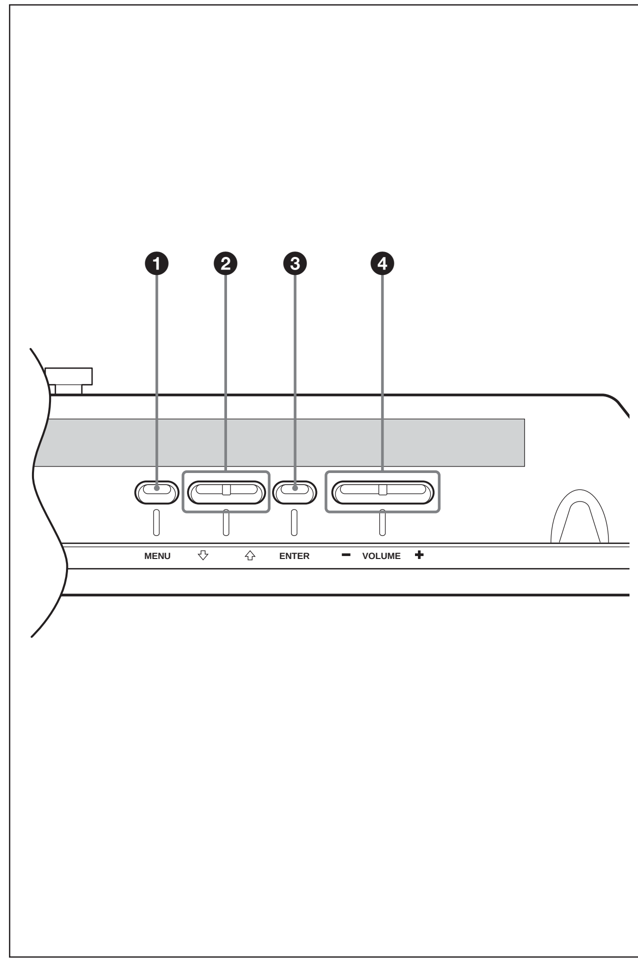
Para proteger el panel, es necesario cierto tiempo para activar la unidad o ponerla en modo de espera. Espere unos 8 segundos después de realizar cualquiera de estas operaciones antes de volver a pulsar este interruptor.

❷ **Indicador STANDBY**
Se ilumina en rojo en el modo de espera.

❸ **Indicador ON**
Se ilumina en verde cuando la unidad de visualización está activada. Se ilumina en naranja cuando la unidad de visualización se encuentra en el modo de ahorro de energía.
Para obtener más información sobre la función de ahorro de energía, consulte "Función de ahorro de energía" en la página 49 (ES).

❹ **Detector de control remoto**
Recibe la señal del Control remoto.

Sección de botones de control (parte superior)



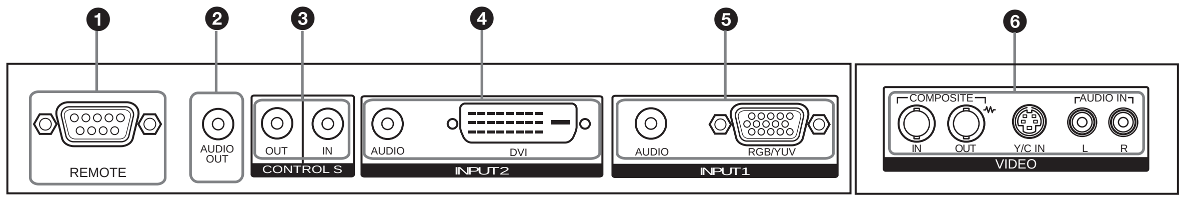
❶ **Botón MENU**
Púlselo para que aparezcan los menús. Púlselo de nuevo para ocultarlos.
Si utiliza el botón MENU para volver al nivel de menú anterior, consulte "Menú AJUSTE INICIAL" en la página 24 (ES).

❷ **Botones ⬆/⬇**
Púlselos para desplazar el cursor (amarillo) hasta un elemento que desee seleccionar o para ajustar un valor en un menú.

❸ **Botón ENTER**
Púlselo para establecer la selección.

❹ **Botón VOLUME +/–**
Púlselo para ajustar el volumen de los altavoces.

Panel de conectores



❶ Conector REMOTE (RS-232C) (D-sub de 9 pines)
Este conector permite realizar el control remoto de la pantalla mediante el protocolo RS-232C. Para obtener información detallada, póngase en contacto con un proveedor Sony autorizado.

❷ AUDIO OUT (minitoma estéreo)
Da salida al sonido de la señal actualmente indicada en la pantalla.

❸ Conector CONTROL S IN/OUT (Entrada/ salida de señal del control S) (minitoma)
Con un único mando a distancia es posible controlar múltiples aparatos si está conectado al conector CONTROL S de un aparato de vídeo u otra pantalla. Conecte el conector CONTROL S OUT de esta pantalla al conector CONTROL S IN del otro dispositivo y, a continuación, el conector CONTROL S IN de la pantalla al conector CONTROL S OUT del otro dispositivo.

❹ Conectores INPUT2 (entrada de señal RGB digital)*
DVI: Se conecta a la salida de señal RGB digital de un ordenador.
AUDIO (minitoma estéreo): Recibe la señal de audio. Se conecta a la salida de audio de un ordenador.

Conecte el cable suministrado al conector DVI.

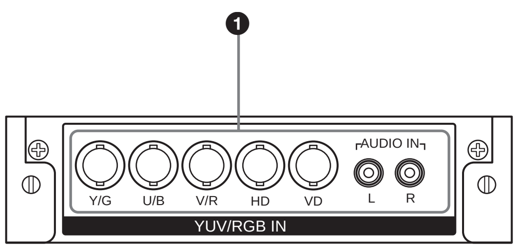
❺ Conectores INPUT1 (entrada de señal de componente/RGB analógico)
RGB/YUV (D-sub de 15 pines): Se conecta a la salida de señal RGB analógica o de componente (YUV) de un equipo de vídeo o de un ordenador.
AUDIO (minitoma estéreo): Recibe la señal de audio. Se conecta a la salida de audio de un equipo de vídeo o de un ordenador.

❻ Conectores VIDEO
El PFM-42X1N no dispone de conectores VIDEO. En este modelo, se pueden asignar las entradas Y/C y de vídeo compuesto si la unidad tiene instalado el adaptador de entrada de vídeo BKM-V10 (no suministrado).
COMPOSITE IN (tipo BNC): Se conecta a la salida de señal de vídeo compuesta de un componente de un equipo de vídeo.
COMPOSITE OUT (tipo BNC): Se conecta a la entrada de señal de vídeo compuesta de un componente de un equipo de vídeo.
Y/C IN (mini DIN de 4 pines): Se conecta a la salida de señal Y/C de un componente de un equipo de vídeo.
AUDIO IN L/R (toma para pines): Introduce una señal de audio. Se conecta a la salida de audio de un componente de un equipo de vídeo.

* El modelo PFM-42X1N no está equipado con los conectores INPUT2.

Adaptador de entrada de componente/ RGB BKM-V11 (no suministrado)

Los conectores de VIDEO son conectores de ranura. Puede sustituir los conectores de VIDEO (Adaptador de entrada de vídeo BKM-V10) por un adaptador de entrada de componente/RGB BKM-V11 (no suministrado).
Con el modelo PFM-42X1N puede instalar un adaptador BKM-V10, un BKM-V11 o un BKM-V12.
Para obtener más información sobre la instalación, póngase en contacto con su distribuidor Sony autorizado.



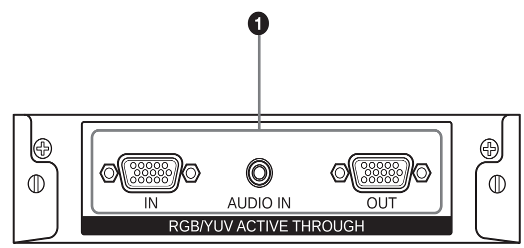
❶ **Conectores YUV/RGB IN**

YUV/RGB IN (tipo BNC) : Se conectan a la salida de señal RGB analógica o de componente (YUV) de un equipo de vídeo.

AUDIO IN L/R (toma para pines) : Introduce una señal de audio. Se conecta a la salida de audio de un componente de un equipo de vídeo.

Adaptador de componente/RGB BKM-V12 Active Through (no suministrado)

Los conectores de VIDEO son conectores de ranura. Puede sustituir los conectores de VIDEO (Adaptador de entrada de vídeo BKM-V10) por un adaptador de entrada de componente/RGB BKM-V12 Active Through (no suministrado).
Con el modelo PFM-42X1N puede instalar un adaptador BKM-V10, un BKM-V11 o un BKM-V12.
Para obtener más información sobre la instalación, póngase en contacto con su distribuidor Sony autorizado.



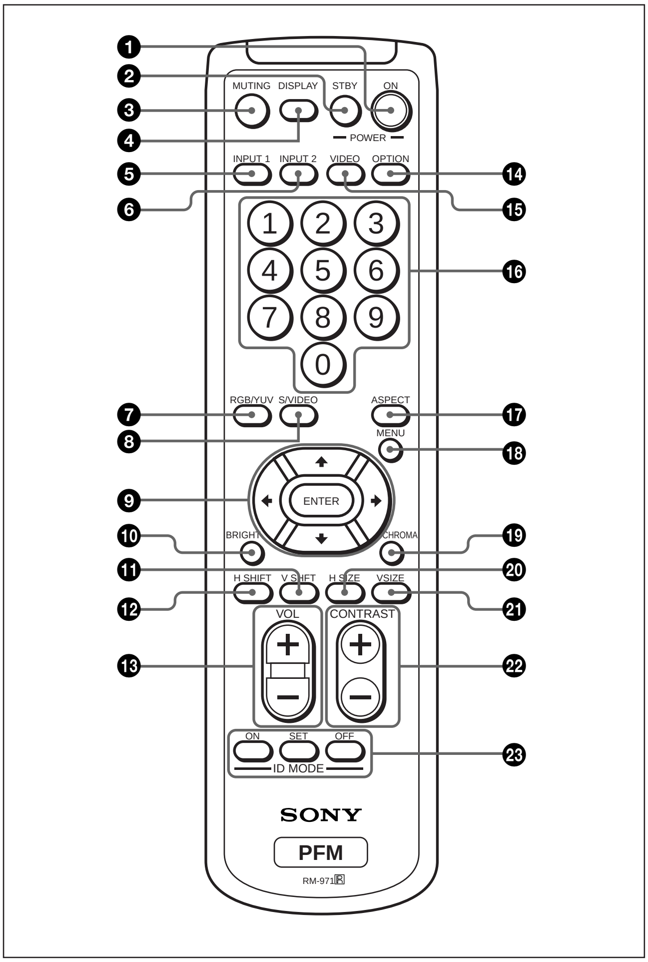
❶ **Conectores RGB/YUV ACTIVE THROUGH**

RGB/YUV IN (entrada de señal RGB analógica o de componente) (D-sub de 15 pines) : Se conecta a la salida de señal RGB analógica o de componente (YUV) de un equipo de vídeo o de un ordenador.

AUDIO IN (minitoma estéreo) : Recibe la señal de audio. Se conecta a la salida de audio de un equipo de vídeo o de un ordenador.

RGB/YUV OUT (salida de señal RGB analógica o de componente) (D-sub de 15 pines) : Emite la entrada de señal a través de los conectores RGB/ YUV IN (entrada de señal RGB analógica o de componente) de este adaptador.

Control remoto RM-971



❶ Interruptor POWER ON
Púlselo para encender la pantalla.

❷ Botón STANDBY
Púlselo para que la pantalla cambie al modo de espera.

❸ Botón MUTING
Silencia el sonido. Pulse este botón de nuevo para restablecer el sonido.

❹ Botón DISPLAY
Muestra la información sobre la señal de entrada y el modo de imagen en el panel de visualización. Púlselo de nuevo para borralos.
Pulse este botón de nuevo para.
Si deja que la información permanezca en pantalla, ésta desaparecerá automáticamente transcurrido un breve período de tiempo.

❺ Botón INPUT1
Selecciona la señal introducida desde los conectores INPUT1. Si utiliza este botón junto con el botón ENTER, puede cambiar al modo “Picture And Picture (PAP)” (Imagen e imagen) (visualización de dos imágenes a la vez) pulsando el botón ENTER y, a continuación, el botón INPUT1.

❻ Botón INPUT2
Selecciona la señal introducida desde los conectores INPUT2.

❼ Botón RGB/YUV
Púlselo para seleccionar el formato que coincida con el de la señal de entrada conectada al conector INPUT1. Con cada pulsación, se alterna entre RGB y YUV.

❽ Botón S/VIDEO
Púlselo para seleccionar la entrada de señal a los conectores de VIDEO cuando disponga de un equipo estándar o un adaptador opcional BKM-V10. Cada pulsación cambiará entre COMPOSITE IN y Y/C IN.

❾ Botones ↑/↓/←/→/ENTER
Los botones ↑/↓/←/→ desplazan el cursor del menú (amarillo) y ajustan los valores, etc. Si pulsa el botón ENTER se entra en el menú seleccionado o se fijan los ajustes. Si utiliza este botón junto con el botón INPUT1, puede cambiar al modo “Picture And Picture (PAP)” (Imagen e imagen) (visualización de dos imágenes a la vez) pulsando el botón ENTER y, a continuación, el botón INPUT1.

❿ Botón BRIGHT
Ajusta el brillo si el menú MODO IMAGEN se ajusta en uno de los valores “USUARIO1” a “USUARIO3”. Pulse este botón y, a continuación, ajuste el brillo mediante el botón ↑/↓ o ←/→ ❾.

⓫ Botón V SHIFT
Ajusta el centrado vertical. Pulse este botón y, a continuación, ajuste el centrado vertical con el botón ↑/↓ o ←/→ ❾.

⓬ Botón H SHIFT
Ajusta el centrado horizontal. Pulse este botón y, a continuación, ajuste el centrado horizontal con el botón ↑/↓ o ←/→ ❾.

⓭ Botón VOLUME +/–
Ajusta el volumen.

⓮ Botón OPTION
Selecciona la entrada de señal del adaptador opcional (excepto BKM-V10) cuando lo instala en la unidad.

⓯ Botón VIDEO
Púlselo para seleccionar la entrada de señal a COMPOSITE IN o Y/C IN de los conectores de VIDEO cuando disponga de un equipo estándar o un adaptador opcional BKM-V10.

⓰ Botones numéricos
Púlselos para introducir el número de índice.

⓱ Botón ASPECT
Selecciona la relación de aspecto de la imagen (MODO PANORÁMICO).

⓲ Botón MENU
Púlselo para que aparezca el menú. El menú ya no se muestra cuando pulsa de nuevo este botón.
Si utiliza el botón MENU para volver al nivel de menú anterior, consulte “Menú AJUSTE INICIAL” en la página 24 (ES).

⓳ Botón CHROMA
Ajusta la crominancia si el modo de imagen está fijado en uno de los valores “USUARIO1” a “USUARIO3”. Pulse este botón y, a continuación, ajuste el centrado horizontal con ↑/↓ o el botón ←/→ ❾.

⓴ Botón H SIZE
Ajusta el tamaño horizontal de la imagen. Pulse este botón y, a continuación, ajuste el tamaño horizontal de la imagen con el botón ↑/↓ o el botón ←/→ ❾.

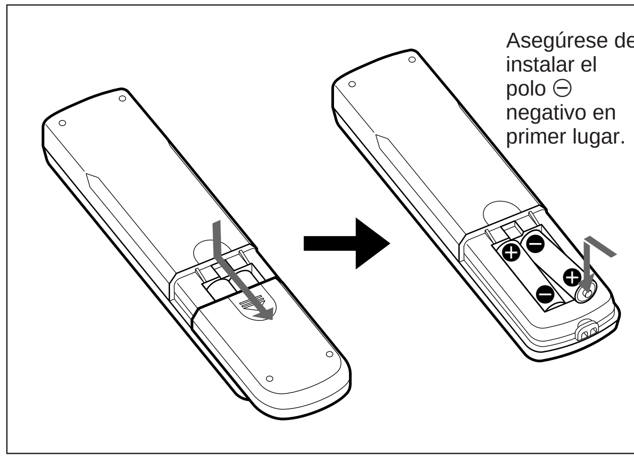
㉑ Botón V SIZE
Ajusta el tamaño vertical de la imagen. Pulse este botón y, a continuación, ajuste el tamaño vertical de la imagen con el botón ↑/↓ o el botón ←/→ ❾.

㉒ Botón CONTRAST +/–
Ajusta el contraste si el menú MODO IMAGEN está establecido en uno de los valores “USUARIO1” a “USUARIO3”.

㉓ Botones ID MODE (ON/SET/OFF)
Pulse el botón ON para que aparezca un número de índice en pantalla. A continuación, introduzca el número de índice de la pantalla que desee utilizar mediante los botones numéricos ⓰ y pulse el botón SET. Después de realizar esta operación, pulse el botón OFF para volver a cambiar del modo ID al modo normal.
Para obtener información detallada sobre el número de índice, consulte “Empleo de una pantalla específica con el Control remoto” en la página 50 (ES).

Instalación de pilas

Inserte dos pilas de tamaño AA (R6) con la polaridad correcta.



- Con un uso normal, las pilas pueden durar hasta medio año. Si el Control remoto no funciona correctamente, es posible que se hayan agotado antes las pilas. Sustitúyalas por otras nuevas.
- Para evitar daños producidos por posibles fugas, retire las pilas si no tiene previsto utilizar el Control remoto durante un periodo prolongado.

Precaución
Existe un riesgo de explosión si se sustituyen las pilas por unas nuevas diferentes.
Para desechar las pilas, proceda como se indica a continuación.

Si el mando a distancia no funciona
Compruebe que el indicador STANDBY se ilumina y que MODO REMOTO del menú CONTROL REMOTO no está ajustado en DES. Es posible controlar la pantalla mediante el Control remoto sólo si se cumplen las dos condiciones que se indican a continuación.
- La pantalla está encendida o en el modo de espera.
- El elemento MODO REMOTO del menú CONTROL REMOTO está ajustado en “ENCENDER”.

Para obtener información detallada sobre MODO REMOTO, consulte “Menú CONTROL REMOTO” en la página 25 (ES).

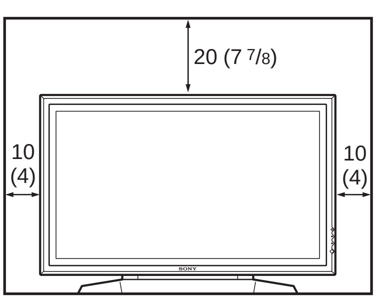
Precaución

Proporcionar una gran cantidad de espacio alrededor de la pantalla.

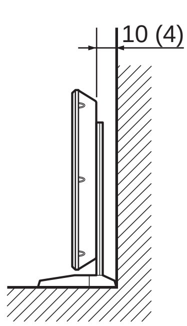
- Cuando utilice la pantalla, asegúrese de que el espacio existente a su alrededor es más grande que el que se muestra en la figura que aparece a continuación. Ello garantizará una adecuada ventilación.
- La temperatura ambiente debe ser de 0 °C a +35 °C (32 °F a 95 °F).
- Para montar la pantalla horizontalmente, utilice el soporte de pantalla SU-42B (no suministrado) como soporte.
- Con respecto a la instalación de accesorios de montaje, tales como ménsulas tornillos, o pernos, no podemos especificar los productos. La instalación real deberá encargarse a proveedores locales autorizados. Con respecto a la instalación, consulte a personal cualificado autorizado por Sony.
- Es posible que algunos componentes se calienten mientras la unidad está encendida, lo cual podría causar quemaduras. Con la pantalla encendida, o justo después de que ésta pase al modo de espera, no toque la parte superior ni posterior de la unidad.

Al utilizar el soporte (no suministrado)

Frontal



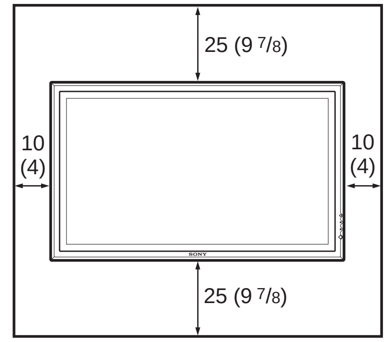
Lateral



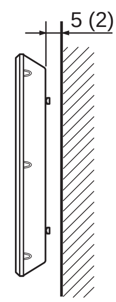
Unidades: cm (pulgadas)

Al montar la pantalla en horizontal

Frontal



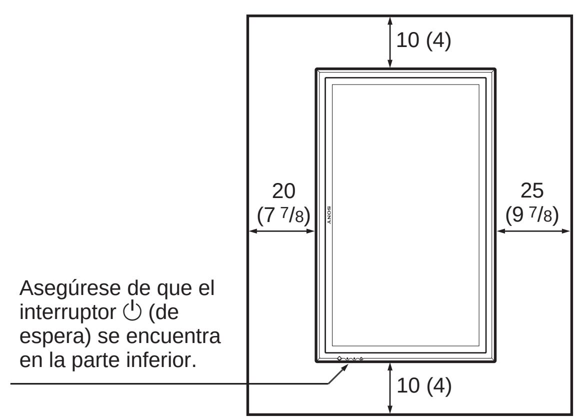
Lateral



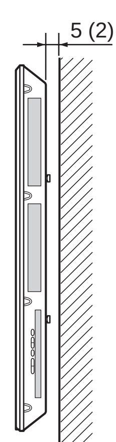
Unidades: cm (pulgadas)

Al montar la pantalla en vertical

Frontal



Lateral



Unidades: cm (pulgadas)

Notas sobre la retención de imágenes

Si se muestran las imágenes 1 – 5 (a continuación) durante un período de tiempo prolongado, puede producirse una retención de la imagen (imagen residual) en un área de la pantalla debido a las características del panel de la pantalla de plasma. Es posible reducir la retención de imágenes mediante los pasos A – D.

Situaciones que pueden provocar imágenes residuales o retención de imágenes

1 Barras negras en la parte superior e inferior que aparecen con una fuente de vídeo panorámica (imagen tipo buzón)
2 Barras negras a izquierda y derecha que aparecen con una fuente de vídeo 4:3 (emisión de TV convencional)
3 Fuentes de videojuegos
4 Visualizaciones de menú en pantalla de DVD
5 Menús en pantalla, números de canal, etc. de equipos conectados como DSS, decodificadores, unidades de video, etc.

Precauciones para evitar o reducir las imágenes residuales y la retención de imágenes

A Utilice la función automática SCREEN SAVER (protector de pantalla) en movimiento.
B Evite la visualización de números de canal, menús en pantalla, etc. de equipos conectados como, por ejemplo, DSS, decodificadores, unidades de video, etc. Para borrar los números de canal o menús en pantalla, consulte el manual del usuario del equipo conectado.
C Reduzca el brillo de la imagen y de la fuente de video en el modo “AMPL 4:3” o “16:9”.
D Cuando utilice el modo “4:3” o el modo “Picture And Picture (PAP)” (Imagen e imagen), podrá ajustar el brillo del fondo mediante la función “FONDO” de “PROTECTOR DE PANTALLA” para disminuir la diferencia de brillo entre el área de la imagen y el área del fondo sin señal de vídeo. Esto ayuda a prevenir la retención de imágenes y las imágenes residuales.
E Es posible reducir pequeñas retenciones de imagen mediante la función “INVERS. IMAG” (Inversión de imagen) de “PROTECTOR DE PANTALLA”, aunque no es posible eliminarlas por completo una vez que se han producido.

Notas acerca de “INVERS. IMAG (Inversión de la imagen)” de “PROTECTOR DE PANTALLA”

Si la imagen visualizada aparece como el negativo de una película, es posible que “INVERS. IMAG (Inversión de la imagen)” de “PROTECTOR DE PANTALLA” esté ajustado en “AUTO” u “ENCENDER”. Para volver a la imagen normal, seleccione “APAGAR” o restablezca la hora especificada en “Auto”.
INVERS. IMAG (Inversión de la imagen) invierte los colores de la imagen (ejemplo: de blanco a negro, de negro a blanco) y corrige la retención de imágenes (imagen residual) con la imagen de la pantalla activada. Durante la inversión de imágenes, la imagen tiene un aspecto similar al negativo de una película. No se trata de un fallo de funcionamiento.

Conexiones

Antes de comenzar

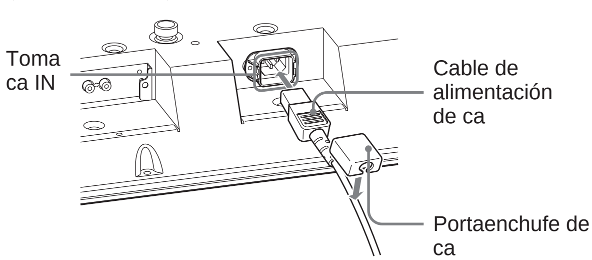
- En primer lugar, compruebe que ha desactivado la alimentación de todos los equipos.
- Emplee cables de conexión adecuados al equipo que va a conectar.
- Los conectores de cable deben insertarse por completo en las tomas. Una conexión floja puede producir zumbidos y otros ruidos.
- Para desconectar el cable, tire del enchufe, nunca del propio cable.
- Consulte el manual de instrucciones del equipo que vaya a conectar.
- Inserte el enchufe firmemente en la toma ca IN.
- Utilice uno de los dos portaenchufes de ca (suministrados) que mejor fije el enchufe de ca.

Conexión de los altavoces

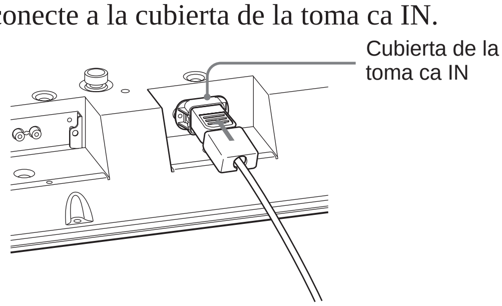
Podrá disfrutar de un visionado de mayor calidad conectando los altavoces (SS-SP20B, no suministrados). Asegúrese de que ha conectado los altavoces correctamente. Si desea obtener más información acerca de cómo conectar los altavoces, consulte el manual de instrucciones que se suministra con éstos.

Conexión del cable de alimentación de ca

1 Enchufe el cable de alimentación de ca en la toma ca IN. A continuación, conecte el portaenchufe de ca (suministrado) al cable de alimentación de ca.



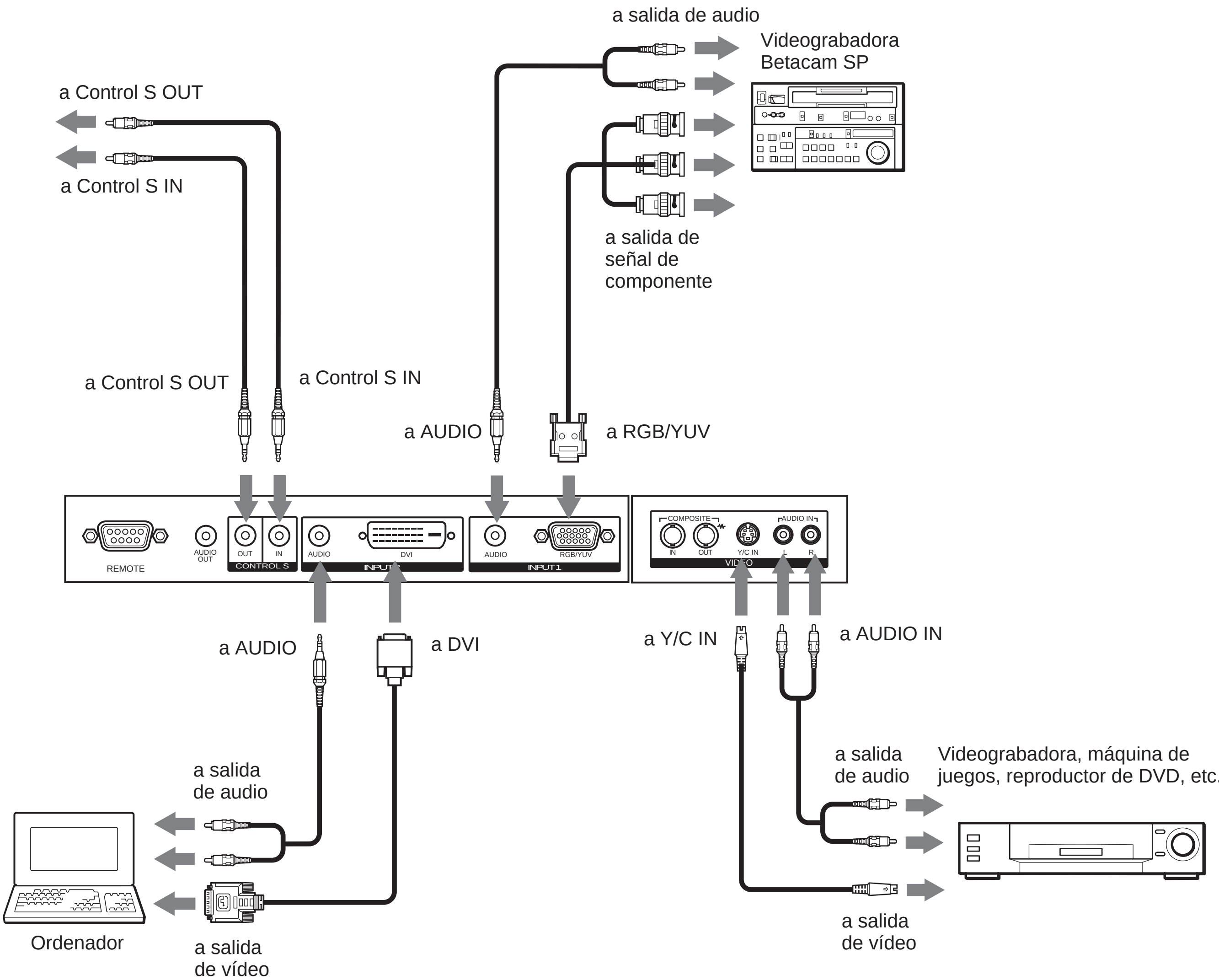
2 Deslice el portaenchufe de ca sobre el cable hasta que se conecte a la cubierta de la toma ca IN.



Para retirar el cable de alimentación de ca

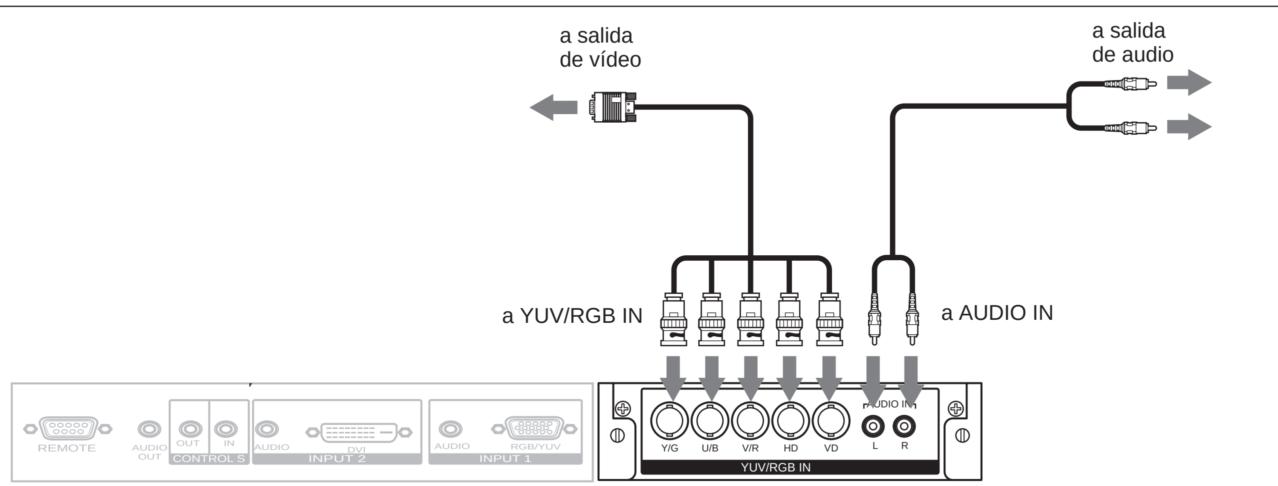
Tras apretar el portaenchufe de ca y liberarlo, agarre el enchufe y tire del cable de alimentación de ca.

Ejemplo de conexión

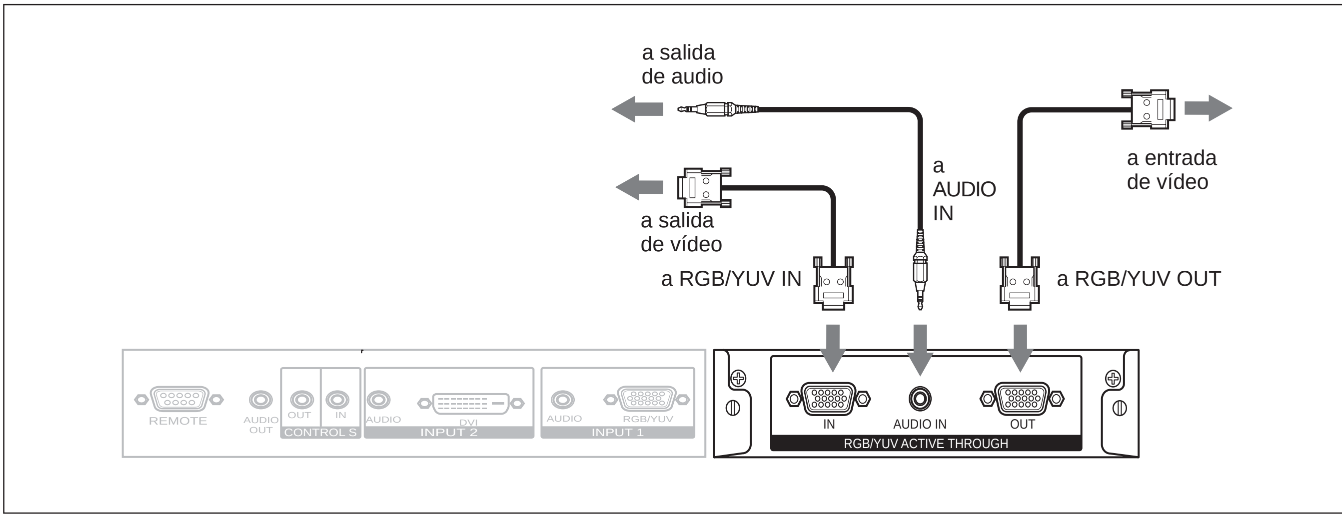


Con el modelo PFM-42X1N, el ejemplo de conexión es válido cuando se ha instalado un adaptador de entrada de vídeo BKM-V10.
El modelo PFM-42X1N no está equipado con los conectores INPUT2.

Si está provisto de un adaptador de entrada de componente/RGB BKM-V11 opcional

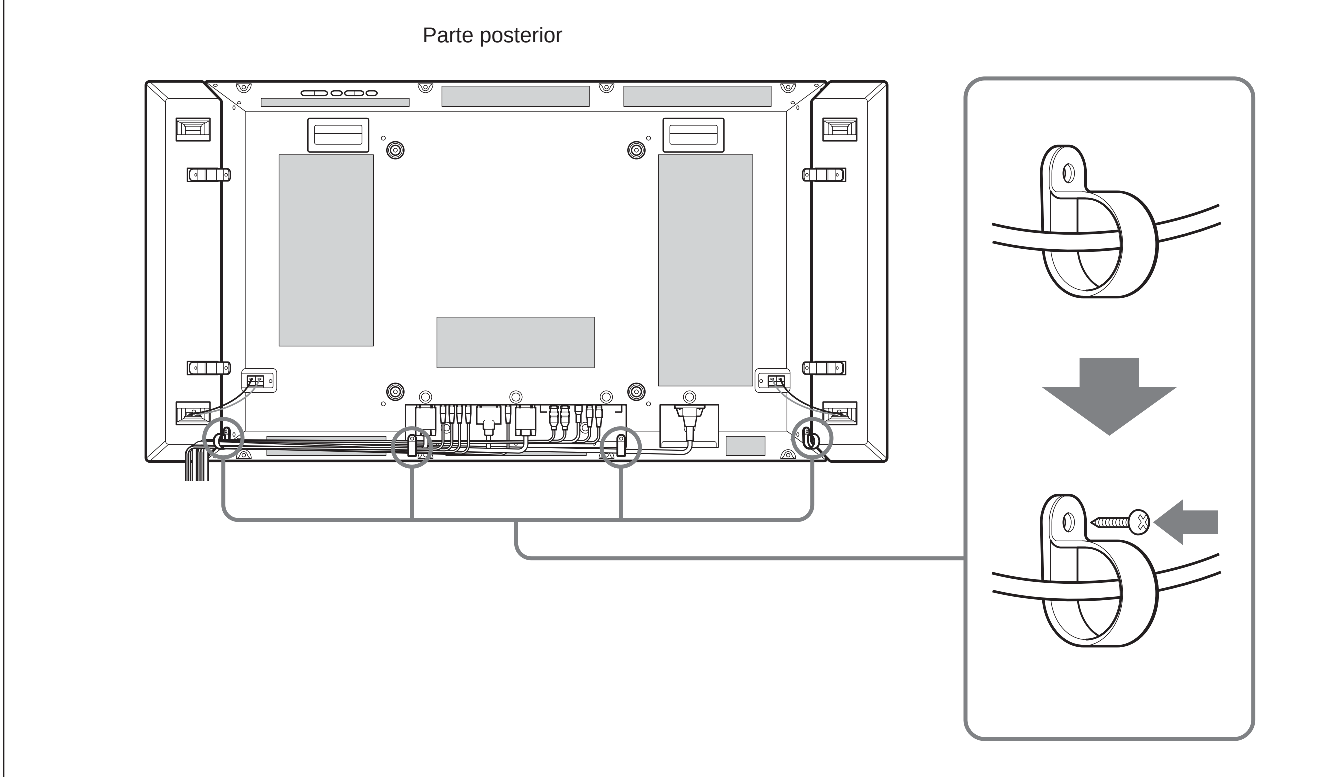


Si está provisto de un adaptador de componente/RGB BKM-V12 Active Through opcional



Uso de los portacables

Puede sujetar los cables de forma eficaz mediante los portacables (×4) suministrados. Conecte el portacables tal y como se muestra en la siguiente ilustración.

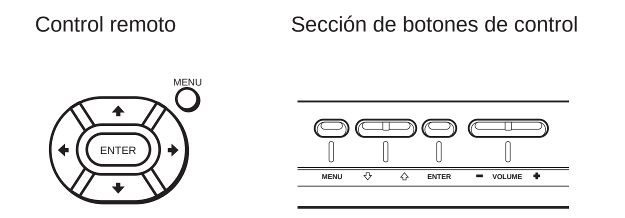


Uso de los menús en pantalla

Empleo mediante menús

Botones de empleo de menús

Utilice los botones de la unidad de visualización o del Control remoto para realizar operaciones con los menús.



Este manual de instrucciones explica el funcionamiento con Control remoto. Los botones ↑/↓ y ENTER del Control remoto tienen las mismas funciones que los botones ↑/↓ y ENTER de la pantalla.

Nota

El funcionamiento puede ser distinto en algunos casos, puesto que el botón ←/→ no aparece en la pantalla.

Configuración del menú

Para seleccionar el idioma utilizado en el menú, consulte “Selección del idioma en pantalla” en la página 43 (ES).

1 Pulse MENU.
El menú principal aparece en el panel de visualización.



2 Pulse ↑/↓ para desplazar el cursor (amarillo) al menú principal que desea seleccionar y, a continuación, pulse ENTER o →. El cursor se desplaza al siguiente menú.

3 Pulse ↑/↓ para desplazar el cursor (amarillo) al elemento que desea seleccionar y, a continuación, pulse ENTER o →.
Aparecerá el menú correspondiente al elemento seleccionado.
Para seleccionar otros elementos, repita este procedimiento.

4 Pulse ↑/↓ para ajustar o seleccionar el valor y ENTER para confirmar.
El ajuste se registra y vuelve a aparecer el menú anterior.

Para completar la configuración y regresar a la pantalla normal, pulse MENU.
Para regresar al nivel de menú anterior, pulse ↑/↓ para desplazar el cursor a ⮐ y, a continuación, pulse ENTER o ←.
Si desea utilizar el botón MENU para regresar al nivel de menú anterior, consulte “FUNC. MENU” en la página 24 (ES).

Guía de los menús

Nota

Los elementos que no puedan ejecutarse o ajustarse (en función del ajuste o del tipo de entrada de señal) aparecerán en color gris oscuro.

Menú CONTROL IMAGEN/SONIDO

Ajusta la calidad de imagen y de sonido de las imágenes que se muestran en la pantalla.



MODO IMAGEN

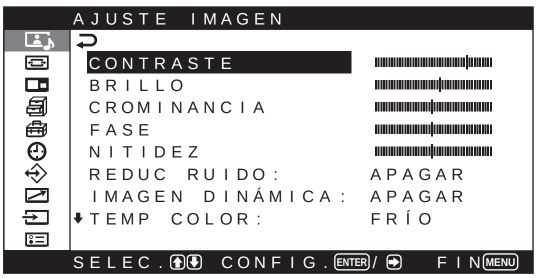
Ajusta la calidad de imagen apropiada para el tipo de imagen o la iluminación del lugar en el que se encuentra instalada la unidad.
Para obtener más detalles, consulte “Selección de la calidad de imagen” en la página 30 (ES).

Menú AJUSTE IMAGEN

Puede ajustar la imagen con precisión.
Ajuste en primer lugar MODO IMAGEN en uno de los valores “USUARIO1” a “USUARIO3”.

Nota

No podrá ajustar los siguientes elementos cuando MODO IMAGEN esté ajustado en “ESTÁNDAR” o “INTENSO”.





CONTRASTE
Pulse ↑/→ para aumentar el contraste y ↓/← para disminuirlo.

BRILLO
Pulse ↑/→ para aumentar el brillo de la imagen y ↓/← para disminuirlo.

CROMINANCIA
Pulse ↑/→ para aumentar la saturación de color y ↓/← para disminuirla.

FASE
Pulse ↑/→ para que toda la imagen adquiera un tono verdoso y ↓/← para que adquiera un tono púrpura.

NITIDEZ
Pulse ↑/→ para aumentar el nivel de corrección del contorno de la imagen y pulse ↓/← para disminuirlo.

REDUC RUIDO
Ajusta la reducción del nivel de granulación de la imagen y del ruido del color a uno de los cuatro niveles “APAGAR”, “BAJO”, “MEDIO” y “ALTO”.
Para obtener más detalles, consulte “REDUC RUIDO” en la página 31 (ES).

IMAGEN DINÁMICA
Aumenta el contraste haciendo que el color blanco sea más luminoso y el negro más oscuro.
Para obtener más detalles, consulte “IMAGEN DINÁMICA” en la página 32 (ES).

TEMP COLOR
Combia la temperatura del color.
Para obtener información detallada, consulte “TEMP COLOR (temperatura del color)” en la página 32 (ES).

CORREC. GAMA
Ajusta el balance de las porciones claras y oscuras de las imágenes a uno de los tres niveles existentes “ALTO”, “MEDIO” y “BAJO”.
Para obtener más detalles, consulte “CORREC. GAMA” en la página 33 (ES).

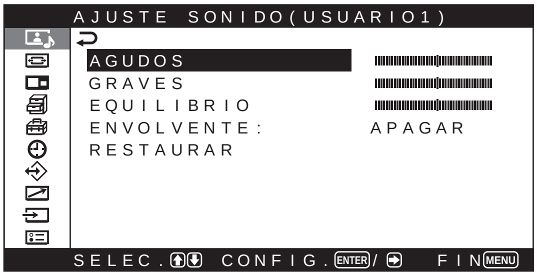
RESTAURAR
Restaura los elementos del menú AJUSTE IMAGEN a sus valores predeterminados de fábrica.
Para obtener más información sobre el uso de la función de restauración, consulte “Restauración de los valores originales de los elementos del menú AJUSTE IMAGEN” en la página 34 (ES).

Menú AJUSTE SONIDO

Puede ajustar el sonido con precisión.
Ajuste en primer lugar MODO IMAGEN en uno de los valores “USUARIO1” a “USUARIO3”.

Nota

No podrá ajustar los siguientes elementos cuando MODO IMAGEN esté ajustado en “ESTÁNDAR” o “INTENSO”.



AGUDOS
Pulse ↑/→ para aumentar los agudos y ↓/← para disminuirlos.

GRAVES
Pulse ↑/→ para aumentar los graves y ↓/← para disminuirlos.

EQUILIBRIO
Pulsando ↑/→ aumentará el volumen a la derecha y si pulsa ↓/← aumentará el volumen a la izquierda.

ENVOLVENTE
La función envolvente se puede ajustar en uno de los siguientes tres niveles “APAGAR”, “HALL”, “SIM”.
Para obtener más detalles, consulte “ENVOLVENTE” en la página 40 (ES).

RESTAURAR
Restaura los elementos del menú AJUSTE SONIDO a sus valores predeterminados de fábrica.
Para más detalles sobre la utilización de la función de restauración, consulte “Restauración de los elementos del menú de AJUSTE SONIDO a su ajuste original” en la página 41 (ES).

Menú CONTROL PANTALLA

Este menú se utiliza para dar a la imagen un nuevo tamaño y posición.
La pantalla y el modo de funcionamiento del menú de control del tamaño de imagen varían en función de los ajustes de la tecla Menu.
Para obtener más detalles, consulte “FUNC. MENU” en la página 24 (ES).

Cuando FUNC. MENU está ajustada en “ENC/APA” (valor predeterminado de fábrica)



Cuando FUNC. MENU está ajustada en “VOLVER”



AJUSTE PANORÁMICO
Ajusta la función de panorámico automático. La función de panorámico automático permite elegir entre emisiones de televisión normales o imágenes panorámicas, cada una con sus diferentes proporciones de visualización horizontal y vertical, para ampliar automáticamente la imagen a un formato de pantalla panorámica con una relación de aspecto de 16:9, de modo que ofrece la visualización óptima de los diferentes tipos de imagen.
Para obtener más detalles, consulte “Ajuste PANORÁMICO AUTO” en la página 35 (ES).

MODO PANORÁMICO
Cambia la pantalla de visualización panorámica para coincidir con el tamaño y tipo de imagen.
Para obtener más detalles, consulte “Ajuste del MODO PANORÁMICO” en la página 36 (ES).

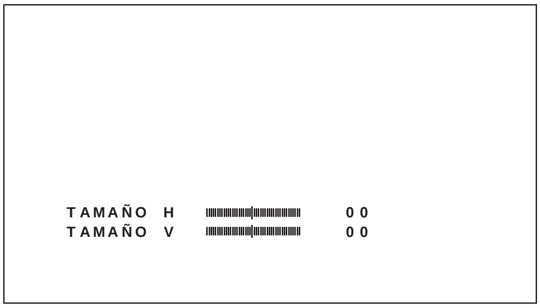
ZOOM PANTALLA
Amplia la imagen el doble (×2), el triple (×3) y el cuádruple (×4).

Nota

Los ajustes de ampliación sólo se pueden utilizar si el modo panorámico se ajusta en “16:9”.

Menú TAMAÑO DE LA PANTALLA

Este menú se utiliza para ajustar el tamaño de la imagen.
Cuando FUNC. MENU está ajustada en “ENC/APA”, aparece la pantalla siguiente.

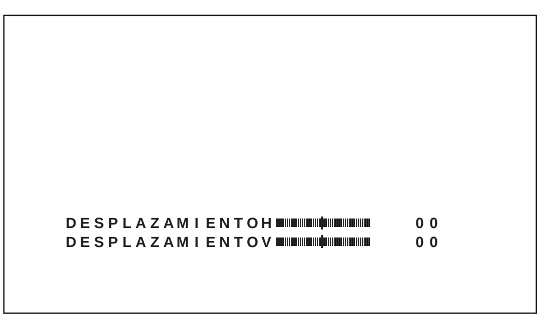


TAMAÑO H
Ajusta horizontalmente el tamaño de la imagen. Pulse ➡ para ampliar el tamaño horizontal y pulse ⬅ para reducirlo.

TAMAÑO V
Ajusta verticalmente el tamaño de la imagen. Pulse ⬆ para ampliar el tamaño vertical y pulse ⬇ para reducirlo.

Menú DESPLAZAMIENTO PANTALLA

Este menú se utiliza para ajustar el centrado de la imagen.
Cuando FUNC. MENU está ajustada en “ENC/APA”, aparece la pantalla siguiente.



DESPLAZAMIENTOH
Ajusta el centrado horizontal. Pulse ➡ para desplazar la imagen hacia la derecha y ⬅ para desplazarla hacia la izquierda.

DESPLAZAMIENTOV
Ajusta el centrado vertical. Pulse ⬆ para desplazar la imagen hacia arriba y ⬇ para desplazarla hacia abajo.

Menú AJUSTE PÍXEL

Este menú se utiliza para ajustar los píxeles de la imagen.
El ajuste sólo se puede realizar cuando se recibe una señal del ordenador.



AJUSTE AUTO
Ajusta automáticamente la fase punto y el número total de píxeles horizontales.
Para obtener más detalles, consulte “Ajuste de los píxeles” en la página 38 (ES).

FASE DE PUNTOS
Ajusta la fase de puntos. Pulse ⬆/➡ para aumentar la fase de puntos y ⬇/⬅ para disminuirla.

TOTAL PÍXELES H
Ajusta el número total de píxeles horizontales. Pulse ⬆/➡ para aumentar el número de píxeles y ⬇/⬅ para disminuirlos.

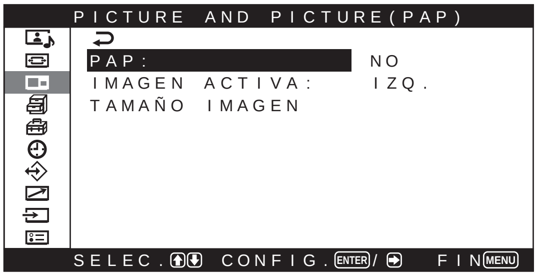
RESTAURAR
Restaura los elementos del menú AJUSTE PÍXEL a sus valores predeterminados de fábrica.
Para más detalles sobre la utilización de la función de restauración, consulte “Para restaurar los ajustes originales de los elementos del menú AJUSTE PÍXEL” en la página 38 (ES).

RESTAURAR

Restaura los elementos del menú CONTROL PANTALLA a sus valores predeterminados de fábrica.
Para obtener más detalles sobre la utilización de la función de restauración, consulte “Restauración de los valores originales de los elementos del menú CONTROL PANTALLA” en la página 39 (ES).

Menú PICTURE AND PICTURE (PAP) (Imagen e imagen)

Puede mostrar dos imágenes procedentes de diferentes tipos de señales contiguas al mismo tiempo.

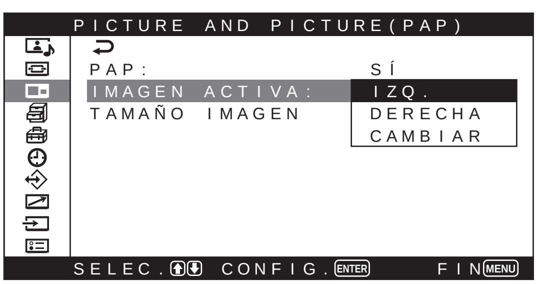


Para obtener más información, consulte “Visualización de dos imágenes a la vez” en la página 39 (ES).

PAP
Ajuste esta opción en “SÍ” para que se muestren dos imágenes a la vez.

Cuando PAP está ajustado en “SÍ”, están disponibles los siguientes menús.

Menú IMAGEN ACTIVA



IZQ.
Activa la imagen de la izquierda para su utilización.

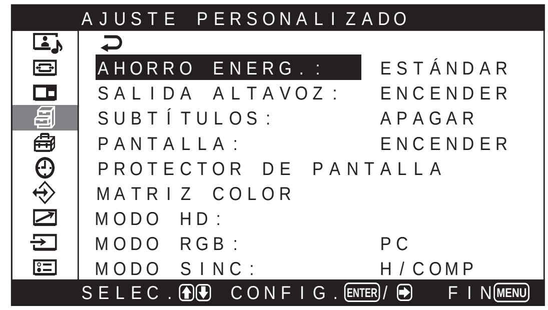
DERECHA
Activa la imagen de la derecha para su utilización.

CAMBIAR
Cambia la posición de las imágenes.

TAMAÑO IMAGEN
Amplía una de las imágenes.

Menú AJUSTE PERSONALIZADO

Reduce el consumo de energía o establece un protector de pantalla, entre otros.



AHORRO ENERG.
Se utiliza para visualizar la pantalla y ahorrar energía.
Para obtener más detalles, consulte “Función de ahorro de energía” en la página 29 (ES).

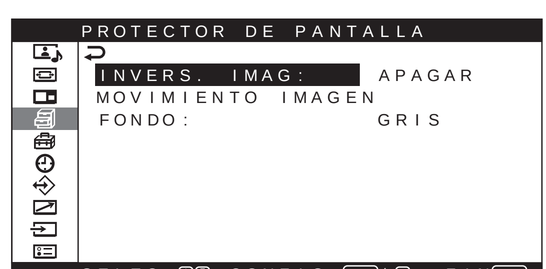
SALIDA ALTAVOZ
Ajuste esta opción en ENCENDER para que el sonido se emita a través de los altavoces SS-SP20B (no suministrados).

SUBTÍTULOS
Se visualizan los subtítulos.
Para obtener más detalles, consulte “Visualización du SUBTÍTULOS” en la página 29 (ES).

PANTALLA
Si selecciona ENCENDER, podrá ver información sobre la señal de entrada en la parte inferior del panel de visualización durante unos cinco segundos, cuando active la alimentación o cambie la señal de entrada.

Menú PROTECTOR DE PANTALLA

Corrige o disminuye los daños tales como imágenes fantasma o residuales, causados al mostrar la misma imagen en la pantalla durante períodos de tiempo prolongados.



INVERS. IMAG
Ajusta un protector de pantalla que invierte la tonalidad de las imágenes.
Para obtener más detalles, consulte "Función de protector de pantalla" en la página 43 (ES).

MOVIMIENTO IMAGEN
Ajusta un protector de pantalla que desplaza automáticamente la posición de visualización de las imágenes transcurrido un cierto tiempo.
Para obtener más detalles, consulte "Función de protector de pantalla" en la página 43 (ES).

FONDO
Ajusta el brillo del fondo (área sin señal de vídeo) cuando se utiliza el modo de relación de aspecto de 4:3 o el modo "Picture And Picture (PAP)" (Imagen e imagen).
Para obtener más detalles, consulte "Función de protector de pantalla" en la página 43 (ES).

MATRIZ COLOR
Ajusta la MATRIZ COLOR para que muestre imágenes en tonos de colores naturales cuando se recibe una señal de componente.
Para obtener más detalles, consulte "Ajuste de la matriz de colores" en la página 46 (ES).

MODO HD
Selecciona un modo en función de la señal de componente analógica HD que se recibe a través de los conectores YUV de INPUT1, un adaptador BKM-V11 o un BKM-V12.

1080I: Cuando se introduzca una señal 1080I
1035I: Cuando se introduzca una señal 1035I

MODO RGB
Ajusta el modo cuando un dispositivo que emite señales RGB se conecta a los conectores RGB/YUV IN.

DTV: Si está conectado a un sintonizador digital de señales RGB, etc.
PC: Si está conectado a un PC, etc.

MODO SINC
Ajusta el modo en función de la señal recibida en el pin número 13 del conector RGB/YUV IN. Las señales pueden ajustarse sólo en 575/50I o 480/60I.

H/COMP: Si se produce la entrada de una señal horizontal o una señal* de sincronización compuesta
VÍDEO: Cuando se introduzca una señal de vídeo.

*En función del nivel de la señal de sincronización compuesta, es posible que la imagen no se visualice correctamente. En ese caso, modifique el ajuste del MODO SINC.

Ajustes de la señal de entrada y del modo de sincronización

PIN	Entrada de señal por encima del D-sub	Ajuste del modo de sincronización
13	Vídeo compuesto de 480/60I, 575/50I	Señal de vídeo
13	Sincronización compuesta	Señal de sincronización
13/14	Sinc H/Sinc V	Señal de sincronización
2	Sincronización en verde	Señal de sincronización

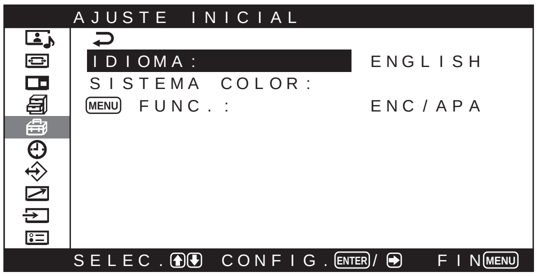
Consulte "Asignación de pines" en la página 54 (ES) para obtener más información acerca de la asignación de pines para el conector RGB/YUV IN.

Notas

- En el caso de algunas entradas sólo pueden seleccionarse señales de sincronización. En tal caso, no se visualizará la imagen incluso si se recibe una señal de vídeo a través del conector de 13 pines. Introduzca señales de sincronización vertical u horizontal a través de los conectores de 13 ó 14 pines, o bien señales Sync On Green (Sincronización en verde) a través del conector RGB.
- Con Sync On Green (Sincronización en verde), la imagen no se visualizará si no se ajusta la unidad para aceptar señales de sincronización.
- Los ajustes del MODO SINC no pueden realizarse mediante las tarjetas de opciones.
- Esta unidad no es compatible con la sincronización compuesta de tres valores ni con 576/60P.

Menú AJUSTE INICIAL

Es posible seleccionar el idioma de las indicaciones en pantalla y el sistema de color o ajustar la FUNC. MENU.



IDIOMA

Selecciona el idioma de pantalla (japonés, inglés, alemán, francés, español o italiano).
Para obtener más detalles, consulte “Selección del idioma en pantalla” en la página 43 (ES).

SISTEMA COLOR

Selecciona la señal de entrada.
AUTO: para ver señales NTSC, PAL, SECAM/ NTSC4.43 o NTSC/PAL-M/PAL-N
NTSC: para mostrar señales NTSC
NTSC4.43: para mostrar señales NTSC4.43
PAL: para mostrar señales PAL
SECAM: para mostrar señales SECAM
PAL-M: para mostrar señales PAL-M
PAL-N: para mostrar señales PAL-N
PAL60: para mostrar señales PAL60

Cuando el sistema de colores se ajusta en “Auto”, un sistema de colores adicional con capacidad de la detección automática se ajusta en el siguiente nivel.
- Detección automática de NTSC/PAL/SECAM/ NTSC4.43
- Detección automática de NTSC/PAL-M/PAL-N

Nota

Sólo se pueden ajustar cuando se recibe una señal de vídeo.

FUNC. MENU

Selecciona la operación cuando se pulsa una tecla del menú.
ENC/APA: La pantalla del menú cambia de encender a apagar cada vez que se pulsa la tecla del menú.
VOLVER: El cursor vuelve al nivel anterior cada vez que se pulsa la tecla del menú.

Menú TEMPORIZADOR/RELOJ

Es posible ajustar el temporizador, ajustar la hora, visualizar el reloj incorporado o hacer que la unidad se encienda o se apague a una hora predeterminada.



AUTOAPAGADO

Desconecta automáticamente la alimentación cuando pasa un cierto tiempo predeterminado. El tiempo de reposo puede ajustarse en 30, 60, 90 ó 120 minutos.
Para obtener más detalles, consulte “Función de Autoapagado” en la página 46 (ES).

CONFIG. RELOJ

Ajusta la hora.
Para obtener más detalles, consulte “Ajuste de la hora” en la página 47 (ES).

PANTALLA RELOJ

Muestra la hora ajustada en la pantalla cuando está ajustado en la posición ENCENDER.
Para obtener más detalles, consulte “Visualización de la hora” en la página 47 (ES).

TEMPOR ACT/DES

Ajusta la hora en que la alimentación se conecta y se desconecta automáticamente.
Para obtener más detalles, consulte “Función temporizador act/des” en la página 48 (ES).

APAGADO AUTO

La alimentación se desconectará automáticamente cuando no haya entrada de señal a través de los conectores INPUT1 o INPUT2 y el modo de entrada esté ajustado a RGB.
Para obtener más detalles, consulte “Función de ahorro de energía” en la página 49 (ES).

Menú MEMORIA USUARIO

Este menú se utiliza para almacenar o recuperar los ajustes de los menús CONTROL IMAGEN/SONIDO y CONTROL PANTALLA.



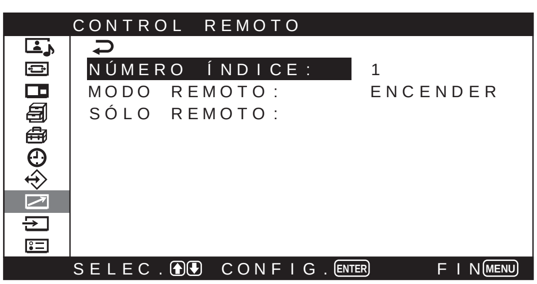
Para obtener información detallada, consulte "Uso de la función de memoria" en la página 41 (ES).

CARGAR
Recupera los ajustes almacenados.

GUARDAR
Guarda los ajustes.

Menú CONTROL REMOTO

Este menú se usa para los ajustes de control remoto.



NÚMERO ÍNDICE
Ajusta el número de índice de la pantalla.

Nota

Para ajustar el número, utilice los botones de la unidad de visualización.
El número de índice no se puede ajustar mediante el Control remoto.
Para obtener información detallada sobre el número de índice, consulte "Empleo de una pantalla específica con el Control remoto" en la página 50 (ES).

MODO REMOTO
Selecciona la función del Control remoto.
ENCENDER: El Control remoto de la pantalla Sony o TV
DES: Desactiva el control remoto.

Nota

Para cambiar el modo del Control remoto, utilice los botones de la unidad de visualización. No es posible cambiar dicho modo con el Control remoto.

Para obtener más información, consulte "Uso de otros modelos de Control remoto" en la página 52 (ES).

SÓLO REMOTO
Seleccione ACTIVADO para desactivar los botones de control de la unidad de visualización. La pantalla sólo puede controlarse con el Control remoto.
Para cancelar el modo SÓLO REMOTO, ajuste "SÓLO REMOTO" en "APA" con el Control remoto.

Nota

El ajuste de esta opción se conserva al desconectar el cable de alimentación de ca o cuando se enciende y apaga la pantalla con el Control remoto. Si pierde el mando a distancia, puede cancelar el modo Sólo remoto pulsando el botón POWER y el botón MENU del monitor al mismo tiempo.

Menú SELEC. ENTRADA

Este menú se utiliza para cambiar la señal de entrada.
Para obtener información detallada sobre el cambio de la señal de entrada, consulte "Conmutación de la señal de entrada" en la página 26 (ES).

Menú ESTADO UNIDAD

Este menú se utiliza para mostrar información sobre el estado interno de la pantalla.



NOMBRE MODELO
Indica el nombre del modelo.

NÚMERO SERIE
Indica el número de serie.

TIEMPO FUNCIÓN
Indica el número total de horas de uso.

Nota

El modo de espera no se contabiliza como parte del tiempo de funcionamiento.

VERSIÓN SOFT
Indica la versión de software del sistema.

Visualización de la imagen

Antes de comenzar

- Encienda la pantalla.
- Encienda el equipo conectado y reproduzca una fuente de vídeo.
- Para visualizar en pantalla la información sobre la señal de entrada al activar la alimentación o al cambiar dicha señal, ajuste el elemento “PANTALLA” del menú AJUSTE PERSONALIZADO en ACTIVADO.
- Para seleccionar el idioma utilizado en el menú, consulte “Selección del idioma en pantalla” en la página 43 (ES).

Conmutación de la señal de entrada

1 Pulse MENU.
El menú principal aparece en el panel de visualización.



2 Pulse ↑/↓ para desplazar el cursor (amarillo) a “SELEC. ENTRADA” y pulse ENTER o →.
El menú SELEC. ENTRADA aparecen en el panel de visualización.



3 Pulse ↑/↓ para desplazar el cursor (amarillo) a la fuente de entrada que vaya a mostrar y pulse ENTER.

INPUT1 RGB (ENTRADA1 RGB): Selecciona la señal (RGB analógica) recibida a través de los conectores INPUT1.

INPUT1 YUV (ENTRADA1 YUV): Selecciona la señal (de componente) recibida a través de los conectores INPUT1.

INPUT2 DVI (ENTRADA2 DVI)* : Selecciona la señal (RGB digital) recibida a través de los conectores INPUT2.

VIDEO COMPOSITE (VÍDEO COMPUE): Selecciona la señal recibida a través de COMPOSITE IN de los conectores VIDEO.

VIDEO Y/C (VÍDEO Y/C): Selecciona la señal recibida a través de Y/C IN de los conectores VIDEO.

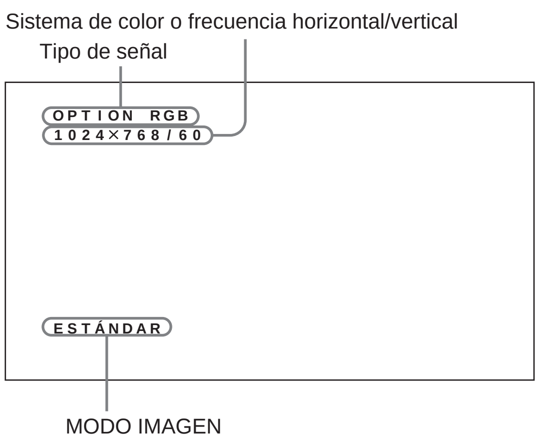
* Si utiliza el modelo PFM-42X1N, no podrá seleccionar este elemento porque no está equipado con los conectores INPUT2.

Si está provisto de un adaptador de entrada de componente/RGB BKM-V11 o un adaptador de componente/RGB BKM-V12 Active Through

OPTION YUV: Selecciona la señal (de componente) recibida a través de los conectores YUV/RGB IN.

OPTION RGB: Selecciona la señal (RGB analógica) recibida a través de los conectores YUV/RGB IN.

La señal de entrada seleccionada aparece en el panel de visualización.



Puede cambiar de señal de entrada mediante el Control remoto que se suministra con el panel de visualización.

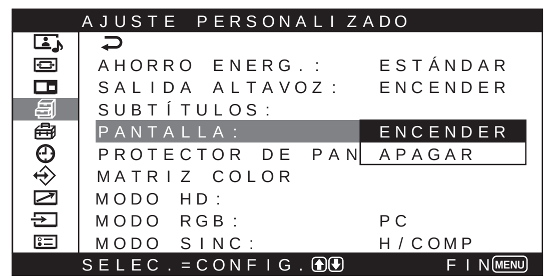
Notas

- Recomendamos que el equipo de vídeo que sirve de fuente de entrada esté equipado con TBC (corrector de base de tiempo). Si el monitor recibe una señal sin TBC, la imagen puede desaparecer debido a las perturbaciones de la señal de sincronización.
- Si se envían señales con el mismo formato desde diferentes sistemas, el ajuste Calidad de la imagen utilizará como valor por omisión el último valor ajustado (sólo cuando el formato de las señales sea idéntico).

Información sobre la señal de entrada, el modo de imagen y el estado de la visualización

La información sobre la señal de entrada y el MODO IMAGEN aparece en el panel de visualización durante aproximadamente cinco segundos al encender la unidad o cambiar la señal de entrada.
Para desactivar esta función, siga los pasos siguientes.

1 En el menú AJUSTE PERSONALIZADO, pulse ↑/↓ para desplazar el cursor (amarillo) hasta “PANTALLA” y pulse ENTER o ➡.
Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



2 Pulse ↑/↓ para ajustar “PANTALLA” en “APAGAR”.

Para visualizar la información

Ajuste “PANTALLA” en “ENCENDER” en el anterior paso **2**. El ajuste por omisión de fábrica es “ENCENDER”.

Nota

Puede visualizar la información sobre la señal de entrada y el modo de imagen en cualquier momento pulsando el botón DISPLAY del Control remoto, independientemente del ajuste anterior.

Señales de entrada predefinidas			
	Nombre de señal	Sistema de color o frecuencia horizontal/vertical	
	Señales de ordenador		
1	VGA[a]-1 (VGA 350)	31,5 kHz	70 Hz
2	640×480@60 Hz (VESA[b] STD)	31,5 kHz	60 Hz
3	Mac[c] 13"	35,0 kHz	67 Hz
4	VGA (VGA TEXT)	31,5 kHz	70 Hz
5	800×600@60 Hz (VESA STD)	37,9 kHz	60 Hz
6	Mac 16"	49,7 kHz	75 Hz
7	1024×768@60 Hz (VESA STD)	48,4 kHz	60 Hz
8	1024×768@75 Hz (VESA STD)	60,0 kHz	75 Hz
9	1024×768@85 Hz (VESA STD)	68,7 kHz	85 Hz
10	1152×864@75 Hz (VESA STD)	67,5 kHz	75 Hz
11	Mac 21"	68,7 kHz	75 Hz
12	1280×960@60 Hz (VESA STD)	60,0 kHz	60 Hz
13	1280×1024@60 Hz (VESA STD)	64,0 kHz	60 Hz
14	1600×1200@60 Hz (VESA STD)*	75,0 kHz	60 Hz
15	848×480@60 Hz (VESA STD)	29,8 kHz	60 Hz
16	848×480@60 Hz (VESA STD)	29,5 kHz	60 Hz
17	848×480@75 Hz	37,7 kHz	75 Hz
18	1280×768@60 Hz	47,8 kHz	60 Hz
19	1280×768@60 Hz	47,4 kHz	60 Hz
	SDTV/HDTV		
1	PAL	PAL	
2	NTSC	NTSC	
3	SECAM	SECAM	
4	NTSC4.43	NTSC4.43	
5	PAL60	PAL60	
6	PAL-M	PAL-M	
7	PAL-N	PAL-N	
8	575/50i	575/50I	
9	480/60i	480/60I	
10	1080/24psf	1080/48I	
11	1080/50i	1080/50I	
12	576/50p	576/50P	
13	480/60p	480/60P	
14	1080/60i	1080/60I	
15	720/60p	720/60P	
16	720/50p	720/50P	

a) VGA es una marca comercial registrada de International Business Machines Corporation, EE.UU.
b) VESA es una marca comercial registrada de Video Electronics Standards Association.
c) Mac (Macintosh) es una marca comercial registrada de Apple Computer, Inc.

Notas

- Cuando reciba una señal HDTV, asigne la señal de sincronización de tres niveles al pin número 2 de RGB/YUV (D-sub de 15 pines) del conector INPUT 1.
- Si los colores aparecen demasiado brillantes después de introducir una señal DVD a la serie PFM-42X1, ajuste “CROMINANCIA” en el menú AJUSTE IMAGEN.
- Una vez reajustada la fase, se reducirá la resolución.
- No es posible aplicar la señal indicada con * to DVI IN.

Indicaciones en pantalla sobre el estado de la unidad

Indicaciones en pantalla	Significado
640×480 / 60 (ej.)	La señal de entrada seleccionada es RGB de ordenador.
480 / 60P (ej.)	La señal de entrada seleccionada es de vídeo componente.
NTSC (ej.)	La señal de entrada seleccionada es NTSC.
FUERA AL CANCE	La señal de entrada está fuera del rango de captación.
SIN SINC	No hay ninguna señal de entrada.
INPUT1 RGB	El modo de señal de INPUT1 está ajustado en RGB.
INPUT1 YUV	El modo de señal de INPUT1 está ajustado en vídeo componente.
VIDEO COMPOSITE	La entrada de vídeo compuesta está seleccionada para VIDEO.
VIDEO Y/C	La entrada de vídeo Y/C está seleccionada para VIDEO.

Conmutación del modo de visualización

Visualización du SUBTÍTULOS

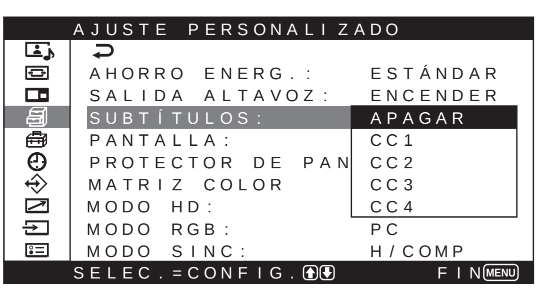
1 Pulse MENU.
El menú principal aparece en el panel de visualización.



2 Pulse ⬆/⬇ para desplazar el cursor (amarillo) hasta "AJUSTE PERSONALIZADO" y pulse ENTER o ➡.
Aparece el menú AJUSTE PERSONALIZADO en el panel de visualización.



3 Pulse ⬆/⬇ para desplazar el cursor (amarillo) hasta "SUBTÍTULOS" y pulse ENTER o ➡.
Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



4 Seleccione el tipo de título con ⬆/⬇.
APAGAR: El título no se muestra.
CC1 a 4 : Superpone los subtítulos.

5 Pulse ENTER o ⬅ para regresar al menú AJUSTE PERSONALIZADO.

Función de ahorro de energía

De este modo, puede ver la pantalla ahorrando energía.

1 Pulse MENU.
El menú principal aparece en el panel de visualización.



2 Pulse ⬆/⬇ para mover el cursor (amarillo) a "AJUSTE PERSONALIZADO" y pulse ENTER o ➡.
Aparece el menú AJUSTE PERSONALIZADO en el panel de visualización.



3 Pulse ⬆/⬇ para mover el cursor (amarillo) a "AHORRO ENERG." y pulse ENTER o ➡.
Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



4 Pulse ⬆/⬇ para encender o apagar el modo AHORRO ENERG.
ESTÁNDAR: Sin ahorro de energía
REDUCIR.: Ahorro de energía
Si selecciona "REDUCIR.", el brillo de la imagen se reducirá para poder ver imágenes a la vez que se ahorra energía eléctrica.

5 Pulse ENTER o ⬅ para regresar al menú AJUSTE PERSONALIZADO.

Notas

- “AHORRO ENERG.: REDUCIR.” se reactivará cuando vuelva a encender la unidad.
- Aunque AHORRO ENERG. esté ajustado en “REDUCIR.”, podrá seguir ajustando la calidad de la imagen. Sin embargo, tenga en cuenta que los resultados de ahorro de energía podrían perderse si aumenta los valores de CONTRASTE o BRILLO.

Selección de la calidad de imagen

Es posible ajustar la calidad de imagen apropiada para el tipo de imagen o la iluminación del lugar en el que se encuentra instalada la unidad.

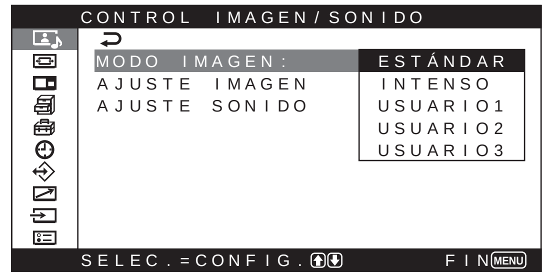
1 Pulse MENU.
El menú principal aparece en el panel de visualización.



2 Pulse ↑/↓ para desplazar el cursor (amarillo) a “CONTROL IMAGEN/SONIDO” y pulse ENTER o →.
El menú de CONTROL IMAGEN/SONIDO aparece en el panel de visualización.



3 Pulse ↑/↓ para desplazar el cursor (amarillo) a “MODO IMAGEN” y pulse ENTER o →.
Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



4 Seleccione el modo de imagen con ↑/↓.

ESTÁNDAR: Las imágenes cobran un aspecto más real con un contraste moderado y contorno de imagen.

INTENSO: Las imágenes cuentan con una nitidez intensa gracias al contorno de imagen y contraste maximizados.

USUARIO 1-3: Puede ajustar la calidad de la imagen según sus preferencias mediante el menú AJUSTE IMAGEN.

5 Pulse ENTER o ← para regresar al menú CONTROL IMAGEN/SONIDO.

Ajuste de la imagen

Mientras visualiza la imagen, puede ajustar el contraste, brillo, crominancia, fase, etc., según sus preferencias. Los ajustes pueden realizarse por separado para cada señal de entrada. También es posible almacenar en memoria los niveles ajustados. Ajuste el MODE IMAGEN en uno de los valores “USUARIO1” a “USUARIO3”.

Ajuste del contraste, brillo, crominancia, fase, etc.

Pulse MENU para que el menú principal aparezca en el panel de visualización y seleccione “CONTRASTE”, “BRILLO”, “CROMINANCIA”, “FASE”, “NITIDEZ”, “REDUC RUIDO”, “IMAGEN DINÁMICA”, “TEMP COLOR” o “CORREC. GAMA” desde el menú de AJUSTE IMAGEN.

CONTRASTE

Seleccione “CONTRASTE” con ↑/↓ y pulse ENTER.
Ajuste el contraste con ↑/↓/←/→ dentro del margen MÍN (0) a MÁX (100).

↑/→: para aumentar el contraste de la imagen
↓/←: para disminuir el contraste de la imagen

BRILLO

Seleccione “BRILLO” con ↑/↓ y pulse ENTER.
Ajuste el brillo con los botones ↑/↓/←/→ dentro del margen MÍN (–50) a MÁX (+50).

↑/→: para que la imagen sea más brillante
↓/←: para que la imagen sea más oscura

CROMINANCIA

Seleccione “CROMINANCIA” con ↑/↓ y pulse ENTER.
Ajuste la crominancia con ↑/↓/←/→ dentro del margen MÍN (–100) a MÁX (+100).

↑/→: para aumentar la intensidad del color
↓/←: para disminuir la intensidad del color

FASE

Seleccione “FASE” con ↑/↓ y pulse ENTER.
Ajuste la fase con ↑/↓/←/→ dentro del margen RMAX (50) a VMAX (50).

↑/→: para que el conjunto de la imagen adquiera un tono verdoso
↓/←: para que el conjunto de la imagen adquiera un tono púrpura

NITIDEZ

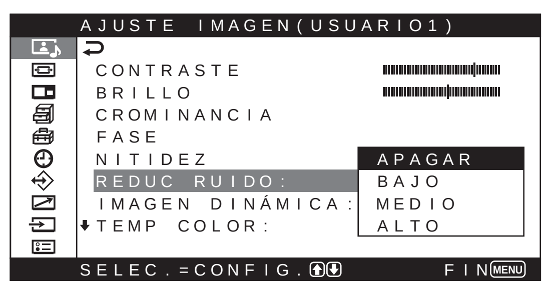
Seleccione “NITIDEZ” con ↑/↓ y pulse ENTER.
Ajuste la nitidez con ↑/↓/←/→ entre MÍN (–10) y MÁX (+10).

↑/→: para aumentar la nitidez de la imagen
↓/←: para disminuir la nitidez de la imagen

REDUC RUIDO

Reduce la granulación de la imagen y el ruido del color.

1 Seleccione “REDUC RUIDO” con ↑/↓ y pulse ENTER o →.
Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



2 Seleccione el modo de REDUC RUIDO con ↑/↓.

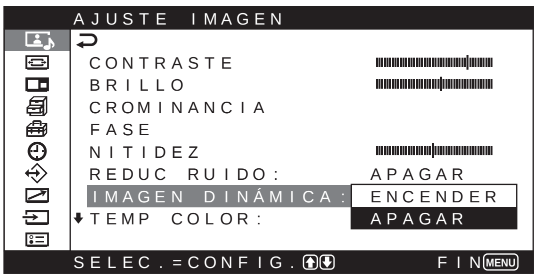
APAGAR: La señal de la imagen se muestra directamente.
BAJO: para ajustar el procesamiento de reducción del ruido en bajo
MEDIO: para ajustar el procesamiento de reducción del ruido en medio
ALTO: para ajustar el procesamiento de reducción del ruido en alto

3 Pulse ENTER o ← para regresar al menú AJUSTE IMAGEN.

IMAGEN DINÁMICA

Aumenta el contraste haciendo que el color blanco sea más luminoso y el negro más oscuro.

1 Seleccione “IMAGEN DINÁMICA” con ↑/↓ y pulse ENTER o →.
Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



2 Seleccione el modo de IMAGEN DINÁMICA con ↑/↓.
ENCENDER: La función IMAGEN DINÁMICA se utiliza
APAGAR: La función IMAGEN DINÁMICA no se utiliza

3 Pulse ENTER o ← para regresar al menú AJUSTE IMAGEN.

TEMP COLOR (temperatura del color)

También es posible ajustar la temperatura del color. Puede seleccionar “CÁLIDO”, “NEUTRO” o “FRÍO”, o bien ajustar cada ganancia de forma más precisa. Pueden registrarse hasta tres temperaturas del color ajustadas. También es posible cambiar su nombre (hasta seis caracteres).

1 Seleccione “TEMP COLOR” con ↑/↓ y pulse ENTER o →.

2 Seleccione la temperatura del color con ↑/↓ y pulse ENTER.
FRÍO: para ajustar la temperatura del color en alto
NEUTRO: para ajustar la temperatura de color en neutro
CÁLIDO: para ajustar la temperatura del color en bajo
USUARIO1 – 3: para ajustar los valores de cada ganancia por separado

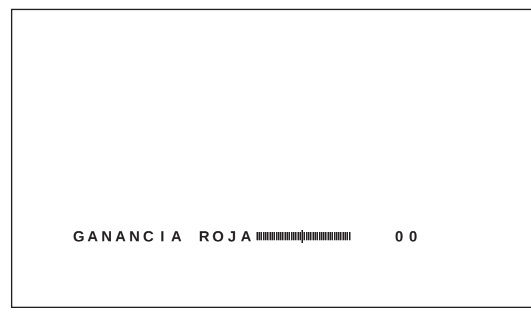
Cuando selecciona “CÁLIDO”, “NEUTRO” o “FRÍO”, vuelve a aparecer el menú AJUSTE IMAGEN.

Si selecciona “USUARIO1” a “USUARIO3”

Cuando selecciona “USUARIO1” a “USUARIO3”, aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



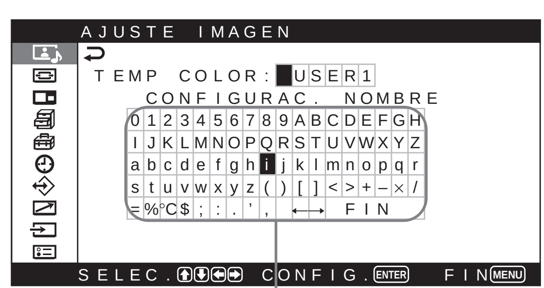
(1) Pulse ↑/↓ para desplazar el cursor (amarillo) hasta el elemento de ganancia que desea ajustar y pulse ENTER o →.
Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



(2) Ajuste la ganancia (–15 a +15) con ↑/↓/←/→ y pulse ENTER.
El menú vuelve al menú TEMP COLOR.

Para cambiar de nombre la temperatura del color que ha ajustado, siga los pasos que se describen a continuación.

(3) Pulse ↑/↓ para desplazar el cursor (amarillo) hasta “CONFIGURAC. NOMBRE” y pulse ENTER.
Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



Lista de caracteres

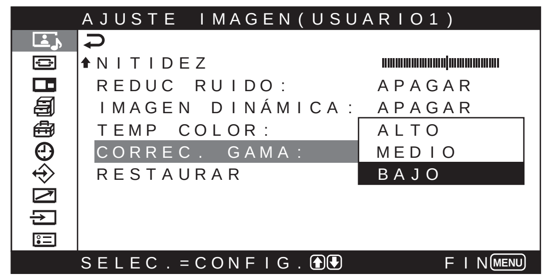
(4) Seleccione un carácter o símbolo de la lista de caracteres mediante ↑/↓/←/→ y pulse ENTER. Se seleccionará ese carácter. Si introduce un carácter o símbolo incorrecto, seleccione "←" en la pantalla para que el cursor retroceda un carácter y seleccione el correcto.
Si "FUNC. MENU" (página 24 (ES)) del menú AJUSTE INICIAL se ajusta en "VOLVER", los botones ↑/↓ del Control remoto desplazarán el cursor hacia la izquierda y hacia la derecha. Para que los botones ↑/↓ desplacen el cursor hacia arriba y hacia abajo, ajuste "FUNC. MENU" en "ENC/APA".

(5) Repita los pasos (4) y, una vez que haya introducido el nombre, seleccione "FIN" y pulse ENTER.
El menú vuelve al menú TEMP COLOR.

CORREC. GAMA

Ajusta automáticamente el balance entre las porciones de imágenes claras y las oscuras.

1 Seleccione "CORREC. GAMA" con ↑/↓ y pulse ENTER o →.
Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



2 Seleccione el modo corrección de gama con ↑/↓.
ALTO: para ajustar la corrección de gama en ALTO
MEDIO: para ajustar la corrección de gama en MEDIO
BAJO: para ajustar la corrección de gama en BAJO

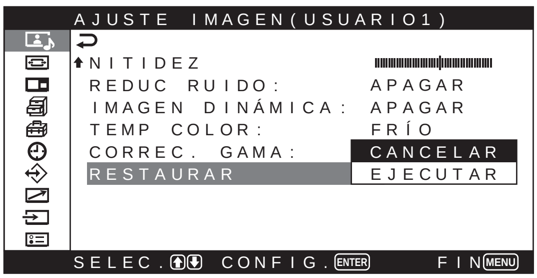
3 Pulse ENTER o ← para regresar al menú AJUSTE IMAGEN.

Notas

- Los controles CROMINANCIA y FASE no funcionan con una señal RVB.
- El control FASE no funciona con una señal de componente.
- El control FASE no funciona con una fuente de color PAL, PAL-M, PAL-N, PAL60 o SECAM.
- No es posible ajustar CROMINANCIA y FASE cuando se recibe una señal en blanco y negro.

Restauración de los valores originales de los elementos del menú AJUSTE IMAGEN

1 En el menú AJUSTE IMAGEN, pulse ↑/↓ para desplazar el cursor (amarillo) hasta "RESTAURAR" y pulse ENTER.
Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



2 Pulse ↑/↓ para desplazar el cursor (amarillo) hasta "EJECUTAR" y pulse ENTER.
Los elementos del menú AJUSTE IMAGEN regresan a sus valores predeterminados de fábrica.

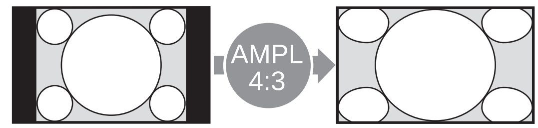
Para cancelar la función de restauración

Pulse MENU antes de pulsar ENTER.
Otra opción consiste en seleccionar "CANCELAR" mediante ↑/↓ y, a continuación, pulsar ENTER.

Ampliación de imágenes

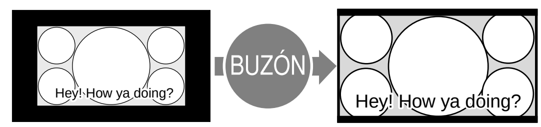
Puede ampliar las imágenes según sus preferencias.
El MODO PANORÁMICO ofrece las siguientes opciones.

Imágenes originales (tipo de imagen) | **Aumento de imágenes**



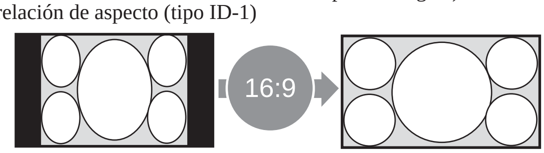
Permite que las imágenes comunes que tienen una relación de aspecto de 4:3 aparezcan de forma natural cuando se aumentan al tamaño de pantalla completa durante el ajuste en AMPL 4:3 (relación de aspecto y pantalla: 4:3).

Amplía las imágenes a un tamaño de pantalla completa.



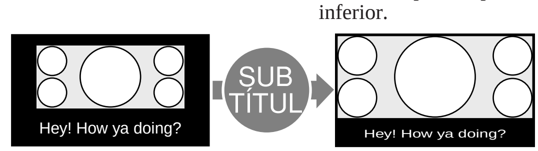
- Películas filmadas, por ejemplo, en VistaVision u otros que aparecen en sentido vertical en la dirección horizontal de la pantalla y que incluyen subtítulos en la imagen (relación de aspecto: 1.85:1)
- Imágenes del software de una cámara de vídeo o de DVD que contiene información sobre la relación de aspecto (tipo ID-1)

Las imágenes se aumentan al tamaño de pantalla completa cuando se alinean con los lados derecho e izquierdo de la pantalla. (Pueden permanecer barras negras en la parte superior o inferior de la pantalla, en función del tipo de imagen.)



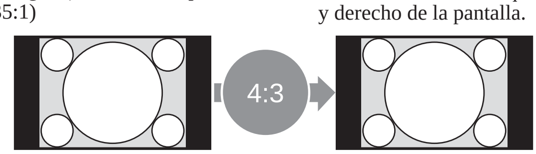
Imágenes del software de una cámara de vídeo o de DVD que contiene información sobre la relación de aspecto (tipo ID-1)

Los bordes izquierdo y derecho de la imagen se aumentan al tamaño de pantalla completa sin cambiar la parte superior ni la inferior.



Películas filmadas, por ejemplo, en CinemaVision u otros que aparecen en sentido vertical en la dirección horizontal de la pantalla y que incluyen subtítulos fuera de la imagen (relación de aspecto: 2.35:1)

La imagen se muestra en la pantalla comprimiendo sólo el área de los subtítulos, mientras que el tamaño se aumenta al de pantalla completa y se alinea con los lados izquierdo y derecho de la pantalla.



Las imágenes se muestran en la relación original de aspecto de 4:3 sin que aumenten al ajustar en "4:3" las imágenes con una relación de aspecto de 4:3 ("4:3" es el ajuste de fábrica) y PANORÁMICO AUTO está ajustado en ENCENDER.

Muestra la imagen sin ampliarla.

Ajuste PANORÁMICO AUTO

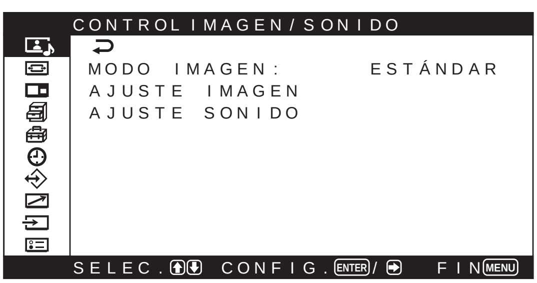
La función de panorámico auto reproduce con fidelidad imágenes basadas en esta señal de control de identificación o amplía varios tipos de imágenes hasta su tamaño óptimo, independientemente de la señal de control de identificación.

Señal de control de identificación

Es una señal de control para una reproducción exacta del formato de la imagen original en una pantalla de monitor. Las imágenes que contienen este tipo de señal son las siguientes:

- Imágenes grabadas con cámara de televisión que contiene información sobre el formato (formatos ID-1)
- Emisiones de televisión que contienen una señal para ajustar el formato en 4:3.

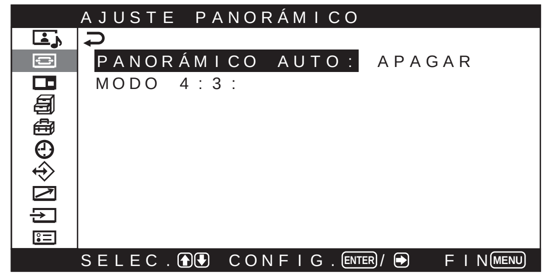
1 Pulse MENU.
El menú principal aparece en el panel de visualización.



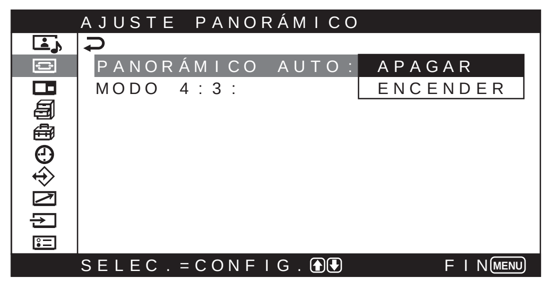
2 Pulse ↑/↓ para desplazar el cursor (amarillo) a "CONTROL PANTALLA" y pulse ENTER o →.
El menú CONTROL PANTALLA aparece en el panel de visualización.



3 Pulse ↑/↓ para desplazar el cursor (amarillo) a "AJUSTE PANORÁMICO" y pulse ENTER o →.
Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



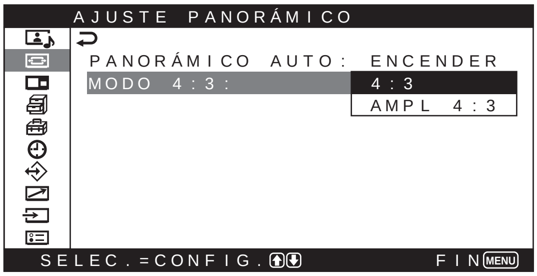
4 Pulse ↑/↓ para desplazar el cursor (amarillo) a "PANORÁMICO AUTO" y pulse ENTER o →.
Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



5 Seleccione un ajuste de panorámico automático mediante el botón ↑/↓.
APAGAR: Las imágenes se reproducirán tal cual aparecen.
ENCENDER: La imagen se amplía y muestra en la relación de aspecto más apropiada.

6 Pulse ENTER o ←.
El menú vuelve al menú de AJUSTE PANORÁMICO.

7 Seleccione "MODO 4:3" con ↑/↓ y pulse ENTER.
Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



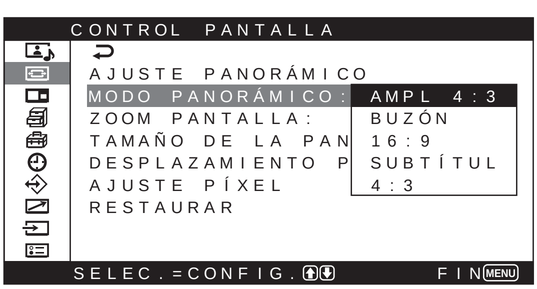
8 Seleccione el modo de MODO 4:3 con ↑/↓.
4:3 : Las imágenes con una relación de aspecto 4:3 se muestran tal cual aparecen.
AMPL 4:3: Las imágenes con una relación de aspecto 4:3 se reproducen después de ser ampliadas a una relación de aspecto 16:9. (Cuando no existe una señal de control discriminatoria.)

9 Pulse ENTER o ←.
El menú vuelve al menú CONTROL PANTALLA.

Ajuste del MODO PANORÁMICO

Las imágenes se pueden también ampliar al modo panorámico deseado independientemente del tipo de imagen. Si la señal se emite desde un ordenador, podrá seleccionar "16:9" ó "4:3".

1 En el menú CONTROL PANTALLA, pulse ↑/↓ para desplazar el cursor (amarillo) a "MODO PANORÁMICO" y pulse ENTER o →.
Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



2 Seleccione el modo de MODE PANORÁMICO con ↑/↓.
AMPL 4:3: Amplía imágenes 4:3 de pantalla completa a imágenes de 16:9.
BUZÓN: Amplía la imagen ocupando toda la pantalla de izquierda a derecha. (Las barras negras pueden permanecer en la parte superior o inferior de la pantalla, en función del tipo de imagen.)
16:9: Extiende los lados derecho e izquierdo de la imagen ocupando toda la pantalla pero sin cambiar la parte superior e inferior.
SUBTÍTUL: Amplia la imagen ocupando toda la pantalla de derecha e izquierda y comprime la zona donde se visualizan los subtítulos.
4:3: Muestra la imagen sin ampliarla.

3 Pulse ENTER o ←.
El menú vuelve al menú CONTROL PANTALLA.

Notas

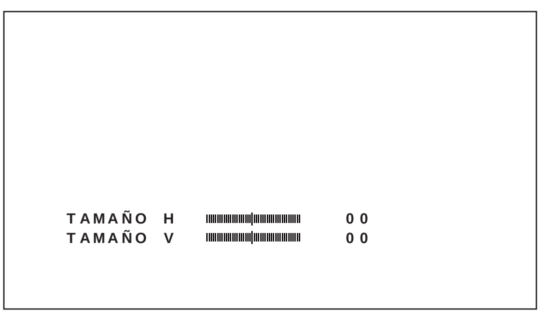
- Si selecciona el modo de MODE PANORÁMICO, se inhabilitará la función de PANORÁMICO AUTO. Si desea utilizar la función de PANORÁMICO AUTO, vuelva a seleccionar "ENCENDER".
- Dependiendo del tipo y del tamaño de imagen, las partes superior o inferior de la imagen pueden quedar cortadas o los subtítulos no se podrán ver completamente.
- Tenga en cuenta que la visualización de imágenes aumentadas o comprimidas para fines comerciales o exhibición pública en hoteles o cafés pueden infringir las leyes de copyright.

Cambio del tamaño y posición de la imagen

Es posible desplazar la posición de la imagen de forma que encaje en la pantalla, o ajustar el tamaño vertical y horizontal de la imagen por separado.
Este Manual de instrucciones explica el funcionamiento en caso de que FUNC. MENU se ajuste en "ENC/APA".
Consulte "Menú CONTROL PANTALLA" (página 20 (ES)) para obtener más información sobre el menú CONTROL PANTALLA.

Cambio de tamaño de la imagen

1 En el menú CONTROL PANTALLA, pulse ↑/↓ para desplazar el cursor (amarillo) hasta "TAMAÑO DE LA PANTALLA" y pulse ENTER.
Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.

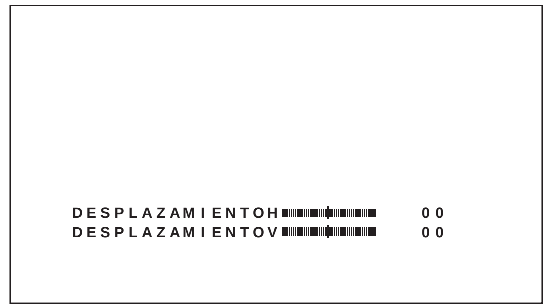


2 Ajuste el tamaño de la imagen vertical y horizontalmente mediante los botones ↑/↓/←/→.
←/→: Ajusta el tamaño de la imagen horizontalmente.
↑/↓: Ajusta el tamaño de la imagen verticalmente.
El tamaño de la imagen horizontal se muestra en la pantalla con valores de ajuste de MÍN (–30) a MÁX (+30). El tamaño de la imagen vertical se muestra en la pantalla con valores de ajuste de MÍN (–30) a MÁX (+30). El ajuste predeterminado en la fábrica es 00.

3 Pulse ENTER.
El menú vuelve al menú CONTROL PANTALLA.

Ajuste de la posición de la imagen

1 En el menú CONTROL PANTALLA, pulse ↑/↓ para desplazar el cursor (amarillo) hasta "DESPLAZAMIENTO PANTALLA" y pulse ENTER.
Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



2 Desplace la imagen vertical u horizontalmente mediante ↑/↓/←/→.
←/→: Mueve la imagen hacia la derecha y hacia la izquierda
↑/↓: Mueve la imagen arriba y abajo
La posición de la imagen horizontal se muestra en la pantalla con valores de ajuste de IMÁX (30) a DMÁX (30). El tamaño de la imagen vertical se muestra en la pantalla con valores de ajuste de IMÁX (30) a SMÁX (30). El ajuste predeterminado en la fábrica es 00.

3 Pulse ENTER.
El menú vuelve al menú CONTROL PANTALLA.

Ajuste de los píxeles

Si hay mucho ruido en los bordes de los caracteres o de las líneas verticales, puede ajustar la fase de puntos y el número total de píxeles horizontales.

Nota

Este elemento depende de la señal del ordenador que se utiliza.

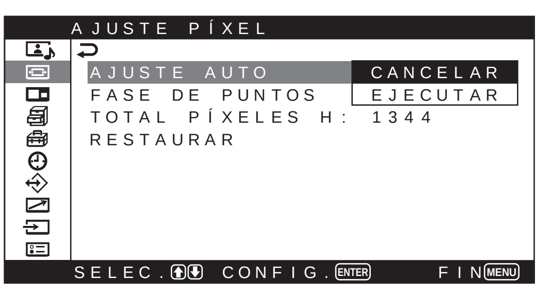
1 En el menú CONTROL PANTALLA, pulse ↑/↓ para desplazar el cursor (amarillo) hasta “AJUSTE PÍXEL” y pulse ENTER.
Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



2 Puede ajustar la fase de puntos y el número total de píxeles horizontales automática o manualmente.

Ajuste automático

(1) Seleccione “AJUSTE AUTO” con ↑/↓ y pulse ENTER.
Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



(2) Seleccione “EJECUTAR” con ↑/↓ y pulse ENTER.
La fase de puntos y el número total de píxeles horizontales se ajustan automáticamente.

Ajuste manual

(1) Seleccione “FASE DE PUNTOS” o “TOTAL PÍXELES H” con ↑/↓ o ←/→ y pulse ENTER.
Aparecerá la pantalla siguiente.(Cuando seleccione “FASE DE PUNTOS”)



(2) Ajuste la fase de puntos o el número total de píxeles horizontales con ↑/↓ o ←/→ y pulse ENTER.

Nota

Debido a los patrones de la imagen, es posible que, en ocasiones, el ruido continúe a pesar de haber utilizado la opción AJUSTE AUTO. En tal caso, ajuste la fase de puntos manualmente.

Para restaurar los ajustes originales de los elementos del menú AJUSTE PÍXEL

En el menú AJUSTE PÍXEL, pulse ↑/↓ para desplazar el cursor (amarillo) hasta “RESTAURAR” y pulse ENTER. A continuación seleccione “EJECUTAR” con ↑/↓ y pulse ENTER.

Restauración de los valores originales de los elementos del menú CONTROL PANTALLA

1 En el menú CONTROL PANTALLA, pulse ↑/↓ para desplazar el cursor (amarillo) hasta “RESTAURAR” y pulse ENTER.
Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



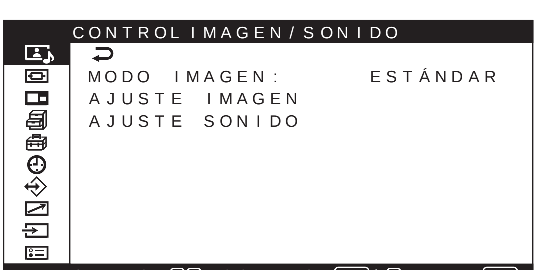
2 Pulse ↑/↓ para desplazar el cursor (amarillo) hasta “EJECUTAR” y pulse ENTER.
Se restauran los elementos del menú CONTROL PANTALLA.

Para cancelar la función de restauración
Pulse MENU antes de pulsar ENTER.
Otra opción consiste en seleccionar “CANCELAR” mediante ↑/↓ y, a continuación, pulsar ENTER.

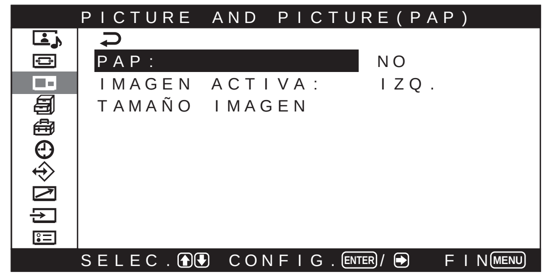
Visualización de dos imágenes a la vez

Puede mostrar dos imágenes procedentes de diferentes tipos de señales contiguas y al mismo tiempo. También puede cambiar al modo “Picture And Picture” (PAP) (Imagen e imagen) pulsando el botón ENTER y, a continuación, el botón INPUT1 en el mando a distancia.

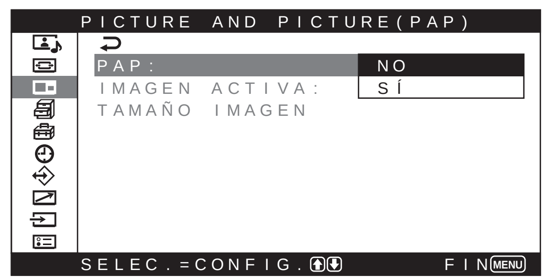
1 Pulse MENU.
El menú principal aparece en el panel de visualización.



2 Pulse ↑/↓ para desplazar el cursor (amarillo) a “PICTURE AND PICTURE (PAP)” (Imagen e imagen) y pulse ENTER o →.
El menú PICTURE AND PICTURE (PAP) aparecerá en la pantalla.



3 Pulse ↑/↓ para desplazar el cursor (amarillo) a “PAP” y pulse ENTER o →.
El menú siguiente aparece en pantalla.



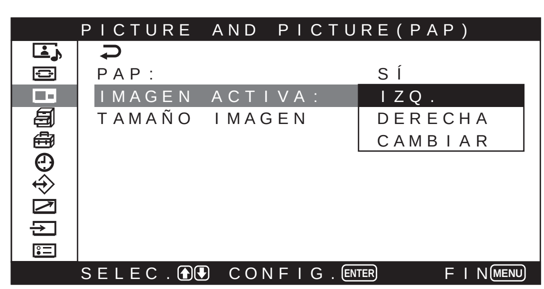
4 Seleccione “SÍ” con ↑/↓.

5 Pulse ENTER o ← para regresar a la pantalla anterior.

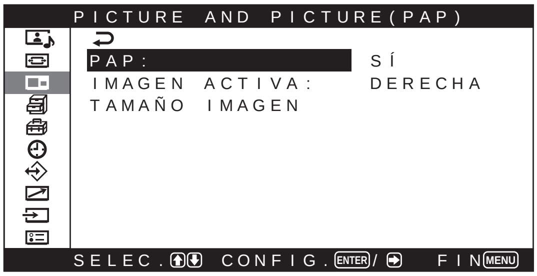
Activación de una imagen

Active una de las imágenes para su utilización. (Si desea utilizar la imagen de la derecha)

1 Pulse ↑/↓ para desplazar el cursor (amarillo) a “IMAGEN ACTIVA” y pulse ENTER o →.
El menú siguiente aparece en pantalla.

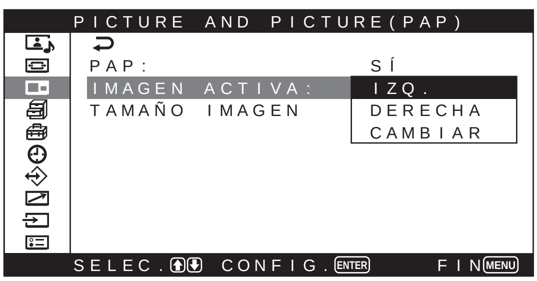


2 Seleccione “DERECHA” con ↑/↓ y pulse ENTER.
Ahora ya puede utilizar la imagen de la derecha.



Cambio de posición de las imágenes

1 Pulse ↑/↓ para desplazar el cursor (amarillo) a “IMAGEN ACTIVA” y pulse ENTER.
El menú siguiente aparece en pantalla.



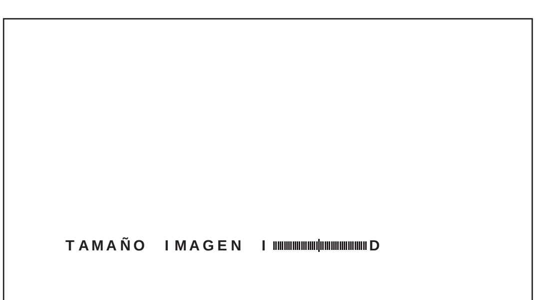
2 Seleccione “CAMBIAR” con ↑/↓ y pulse ENTER.
La posición de las imágenes cambia.

Nota

Observe que llamamos en todo momento “imagen de la izquierda” a la imagen que aparece a la izquierda e “imagen de la derecha” a la que aparece a la derecha.

Ampliación de una imagen

1 Pulse ↑/↓ para desplazar el cursor (amarillo) a “TAMAÑO IMAGEN” y pulse ENTER.



2 Para cambiar el tamaño de las imágenes, pulse ←/→.

3 Pulse ENTER para establecer el ajuste.

Notas

- Puede cambiar al modo Picture And Picture (PAP) (Imagen e imagen) pulsando el botón ENTER y, a continuación, el botón INPUT1 en el mando a distancia.
- A continuación, aparece la combinación de las señales de las imágenes que puede mostrar contiguas.

	RGB digital**	RGB analógico	Componente	Y/C	Compuesto
RGB digital**	-	-	Admitido	Admitido	Admitido
RGB analógico	-	-	Admitido*	Admitido	Admitido
Componente	Admitido	Admitido*	-	Admitido	Admitido
Y/C	Admitido	Admitido	Admitido	-	-
Compuesto	Admitido	Admitido	Admitido	-	-

* La combinación de entrada de las señales a través de INPUT1 en la unidad y a través del BKM-V11 o BKM-V12 opcional

** El modelo PFM-42X1N no está equipado con los conectores de entrada digital.

Ajuste de la calidad del sonido

Cuando instale altavoces SS-SP20B (no suministrado), podrá ajustar el nivel de graves, el nivel de agudos, y el equilibrio del volumen entre los altavoces (izquierdo y derecho). Igualmente se puede ajustar el modo envolvente.

Ajuste de agudos, bajos y equilibrio, etc.

Pulse MENU para que aparezca el menú principal en el panel de visualización y seleccione “AGUDOS”, “GRAVES”, “EQUILIBRIO” o “ENVOLVENTE” en el menú AJUSTE SONIDO.

AGUDOS

Seleccione “AGUDOS” con ↑/↓ y pulse ENTER.
Ajuste los agudos con ↑/↓/←/→ entre MÍN (–50) y MÁX (+50).
↑/→: para aumentar los agudos
↓/←: para disminuir los agudos

GRAVES

Seleccione “GRAVES” con ↑/↓ y pulse ENTER.
Ajuste los graves con ↑/↓/←/→ entre MÍN (–50) y MÁX (+50).
↑/→: para aumentar los graves
↓/←: para disminuir los graves

EQUILIBRIO

Seleccione "EQUILIBRIO" con ↑/↓ y pulse ENTER. Ajuste el balance con ↑/↓/←/→ entre IZQUIERDA (50) y DERECHA (50).

↑/→: para aumentar el volumen de la derecha
↓/←: para aumentar el volumen de la izquierda

ENVOLVENTE

Seleccione el modo de salida envolvente según el tipo de imagen.

1 Seleccione "ENVOLVENTE" con ↑/↓ y pulse ENTER.

2 Seleccione el modo envolvente con ↑/↓ y pulse ENTER.
APAGAR: Sin salida envolvente
HALL: Cuando desee proporcionar una calidad más realista al sonido en estéreo de películas o programas musicales.
SIM: Cuando desee dar a los programas monoaurales normales o a las noticias televisadas una calidad más realista mediante gracias a la simulación de sonido estéreo.

Restauración de los elementos del menú de AJUSTE SONIDO a su ajuste original

1 En el menú AJUSTE SONIDO, pulse ↑/↓ para desplazar el cursor (amarillo) a "RESTAURAR" y pulse ENTER o →.
Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



2 Pulse ↑/↓ para desplazar el cursor (amarillo) a "EJECUTAR" y pulse ENTER.
Los elementos del menú AJUSTE SONIDO regresan a sus valores predeterminados de fábrica.

Para cancelar la función de restauración

Pulse MENU antes de pulsar ENTER.
Otra opción consiste en seleccionar "CANCELAR" mediante ↑/↓ y, a continuación, pulsar ENTER.

Uso de la función de memoria

Con la función Memoria es posible almacenar el ajuste actual de la imagen de cada señal de entrada. Los ajustes almacenados pueden restablecerse cuando resulte necesario. Los elementos de los menús CONTROL IMAGEN/SONIDO y CONTROL PANTALLA pueden memorizarse. Es posible almacenar los ajustes de imagen de hasta veinte señales de entrada. También es posible asignar un nombre a los ajustes de los elementos (hasta 6 caracteres).

Almacenamiento del ajuste actual

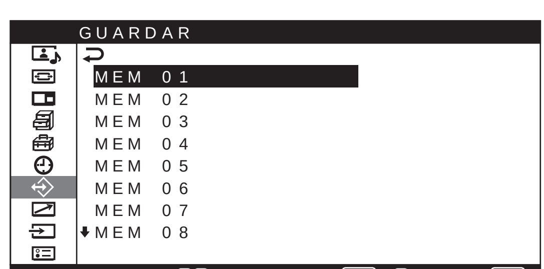
1 Pulse MENU.
El menú principal aparece en el panel de visualización.



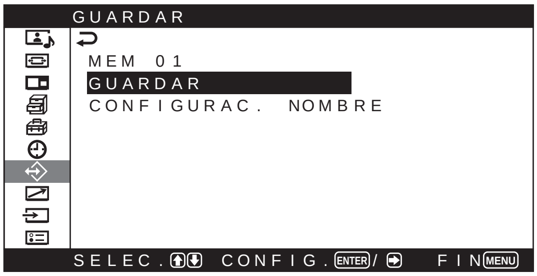
2 Pulse ↑/↓ para desplazar el cursor (amarillo) hasta "MEMORIA USUARIO" y pulse ENTER o →.
Aparece el menú MEMORIA USUARIO en el panel de visualización.



3 Pulse ↑/↓ para desplazar el cursor (amarillo) hasta "GUARDAR" y pulse ENTER o →.
Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



4 Seleccione un número de memoria (01 a 20) con ↑/↓ y pulse ENTER o →.
Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



5 Pulse ↑/↓ para desplazar el cursor (amarillo) hasta "GUARDAR" y pulse ENTER o →.
Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



6 Pulse ↑/↓ para desplazar el cursor (amarillo) hasta "EJECUTAR" y pulse ENTER.
Los datos actuales quedan almacenados en el número de memoria seleccionado.

Cuando asigne un nombre a un ajuste, siga el siguiente procedimiento.

7 Pulse ↑/↓ para desplazar el cursor (amarillo) a "CONFIGURAC. NOMBRE" y pulse ENTER de nuevo.
Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



Lista de caracteres

8 Seleccione un carácter o símbolo de la lista de caracteres mediante ↑/↓/←/→ y pulse ENTER.
Se seleccionará ese carácter. Si introduce un carácter o símbolo incorrecto, seleccione "←" en la pantalla para que el cursor retroceda un carácter y seleccione el correcto.
Si "FUNC. MENU" (página 24 (ES)) del menú AJUSTE INICIAL se ajusta en "VOLVER", los botones ↑/↓ del Control remoto desplazarán el cursor hacia la izquierda y hacia la derecha. Para que los botones ↑/↓ desplacen el cursor hacia arriba y hacia abajo, ajuste "FUNC. MENU" en "ENC/APA".

9 Repita el paso **8** y cuando haya terminado de introducir el nombre, seleccione "FIN" y pulse ENTER.
Vuelve a aparecer el menú GUARDAR.

Recuperación de un ajuste almacenado

1 En el menú MEMORIA USUARIO, pulse ↑/↓ para desplazar el cursor (amarillo) hasta "CARGAR" y pulse ENTER o →.
Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



2 Desplace el cursor hasta el número de la memoria (01-20) del ajuste que desea especificar mediante los botones ↑/↓.
Recupera el ajuste almacenado.

Para restaurar el valor anterior
Desplace el cursor a "RESTAURAR".

3 Pulse el botón ENTER o ←.
La pantalla regresará al menú MEMORIA USUARIO.

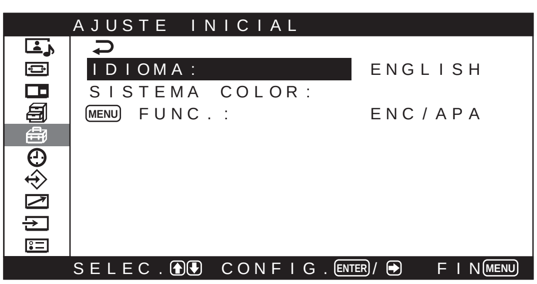
Selección del idioma en pantalla

Es posible seleccionar el idioma que desee para la pantalla entre japonés, inglés, alemán, francés, español o italiano.

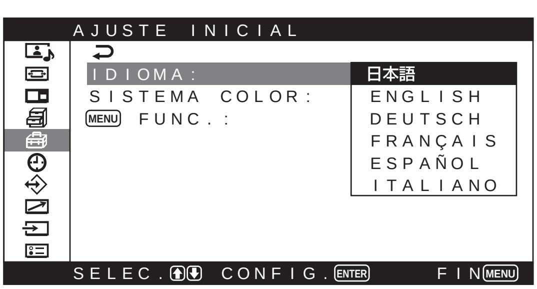
1 Pulse MENU.
El menú principal aparece en el panel de visualización.



2 Pulse ↑/↓ para desplazar el cursor (amarillo) hasta “AJUSTE INICIAL” y pulse ENTER o →.
Aparece el menú AJUSTE INICIAL en el panel de visualización.



3 Pulse ↑/↓ para desplazar el cursor (amarillo) a “IDIOMA” y pulse ENTER o →.
Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



4 Pulse ↑/↓ para desplazar el cursor (amarillo) hasta el idioma que desee.
El idioma en pantalla cambia por el que haya seleccionado.

日本語: japonés
ENGLISH: inglés
DEUTSCH: alemán
FRANÇAIS: francés
ESPAÑOL: español
ITALIANO: italiano

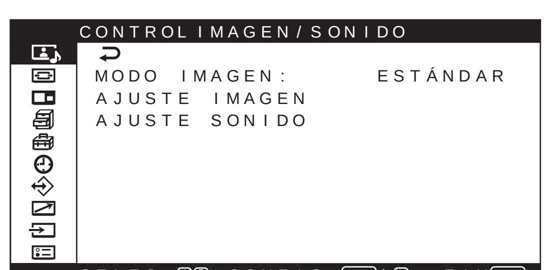
5 Pulse ENTER o ← para regresar al menú AJUSTE INICIAL.

Función de protector de pantalla

Si una imagen sin cambios de brillo o una imagen estática, como el tipo de imagen que se muestra en un ordenador, se visualiza durante largo tiempo, se marcará una imagen residual (fantasma) en el panel de visualización.
Para corregir o disminuir la gravedad del problema, esta unidad se suministra con una función de protección de pantalla.
Existen tres tipos de protector de pantalla:
uno que invierte los tonos de color de la imagen (INVERS. IMG), otro que mueve la imagen por la pantalla automáticamente durante un intervalo de tiempo predefinido (MOVIMIENTO IMAGEN), y otro que ajusta el brillo del área del fondo sin señal de vídeo cuando el modo “4:3” o el modo “Picture And Picture (PAP)” (Imagen e imagen) está en funcionamiento (FONDO).

Inversión de los tonos de color de la imagen

1 Pulse MENU.
El menú principal aparece en el panel de visualización.



2 Pulse ↑/↓ para desplazar el cursor (amarillo) hasta “AJUSTE PERSONALIZADO” y pulse ENTER o ➡.
Aparece el menú AJUSTE PERSONALIZADO en el panel de visualización.



3 Pulse ↑/↓ para desplazar el cursor (amarillo) hasta “PROTECTOR DE PANTALLA” y pulse ENTER o ➡.
El menú principal aparece en el panel de visualización.



4 Pulse ↑/↓ para desplazar el cursor (amarillo) hasta “INVERS. IMAG” y pulse ENTER.
El menú principal aparece en el panel de visualización.



5 Seleccione el modo Inversión imag con ↑/↓.
APAGAR: para ajustar Inversión imag en desactiv
AUTO: Lleva a cabo el proceso Inversión imag una vez al día.
ENCENDER: Invierte los tonos de color de la imagen

Cuando selecciona “AUTO” y pulsa ENTER, aparece el siguiente menú.



(1) Pulse ↑/↓ para desplazar el cursor (amarillo) hasta “HORA INÍCIO” y pulse ENTER.
Aparece el siguiente menú y el fondo de la hora aparece de color amarillo.



(2) Ajuste la hora en que se va a invertir la imagen con ↑/↓ y pulse ENTER.
El indicador muestra el ajuste de la hora y el fondo de los minutos aparece de color amarillo.

(3) Ajuste los minutos con ↑/↓ y pulse ENTER.
Se introduce el ajuste de los minutos. Pulse ⬅ para volver a la pantalla que se muestra en el paso **5**.
Cuando utilice los botones de la unidad, pulse el botón MENU para cerrar el menú y ajuste “FUNC. MENU” (página 24 (ES)) del menú AJUSTE INICIAL en “VOLVER”. De este modo, el botón MENU de la unidad tiene la misma función que el botón ⬅.

(4) De forma similar, ajuste la hora en que debe cancelarse la función INVERS. IMAG.
La imagen en pantalla se invertirá en la opción HORA INICIO y volverá a la imagen original en la opción HORA FIN. Este ciclo se lleva a cabo automáticamente una vez al día.

Nota

Si ajusta HORA INICIO y HORA FIN en la misma hora, el ajuste de HORA INICIO tiene prioridad sobre el de HORA FIN y la visualización no vuelve a su presentación original en HORA FIN.

Cambio automático de la posición de la imagen

1 En el menú PROTECTOR DE PANTALLA, pulse ↑/↓ para desplazar el cursor (amarillo) hasta “MOVIMIENTO IMAGEN” y pulse ENTER o →.
Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



2 Pulse ↑/↓ para desplazar el cursor (amarillo) hasta “MOVIMIENTO” y pulse ENTER o →.
Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



3 Seleccione el modo de MOVIMIENTO con ↑/↓.
APAGAR: Cancela la función MOVIMIENTO IMAGEN.
ENCENDER: Activa la función MOVIMIENTO IMAGEN.

4 Pulse ENTER o ←.
Vuelve a aparecer el menú MOVIMIENTO IMAGEN.

5 Seleccione “DISTANCIA MOVIM” (distancia de desplazamiento) o “CICLO MOVIM” (tiempo) con ↑/↓ y pulse ENTER.
Es posible seleccionar los siguientes valores:
DISTANCIA MOVIM: PEQUEÑO, MEDIO, GRANDE
CICLO MOVIM: 10SEG, 30SEG, 1MIN, 5MIN

Aparece el siguiente menú en el panel de visualización. (Si selecciona “DISTANCIA MOVIM”)



6 Ajuste la opción DISTANCIA MOVIM o CICLO MOVIM con ↑/↓.

7 Pulse ENTER o ← para regresar a la pantalla anterior.

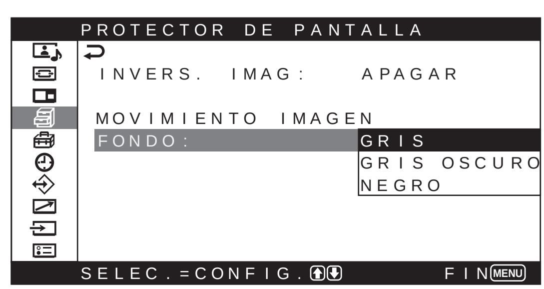
Si INVERS. IMAG y MOVIMIENTO IMAGEN están ajustadas en ENCENDER

Si se lleva a cabo la función MOVIMIENTO IMAGEN mientras se invierte la imagen, la imagen invertida se muestra cambiando la posición.

Ajuste del brillo del fondo (área sin señal de vídeo)

Cuando utiliza el modo “4:3” o el modo Picture And Picture (PAP) (Imagen e imagen), si el brillo del área de la imagen y del fondo (área sin señal de vídeo) varía mucho, es probable que se produzca una retención de imágenes. Para evitarlo, puede ajustar el brillo del fondo.

1 En el menú del protector de pantalla, pulse ↑/↓ para desplazar el cursor (amarillo) a “FONDO” y pulse ENTER o →.
El menú siguiente aparece en pantalla.



2 Seleccione el brillo del fondo con ↑/↓.
El ajuste predeterminado es Gris.

3 Pulse ENTER o ← para regresar a la pantalla anterior.

Ajuste de la matriz de colores

Puede ajustar la matriz de colores para que las imágenes se reproduzcan con colores naturales cuando el adaptador de entrada de componente recibe una señal con formato de señal (480P(525P), 1080I(1125I) o 720P(750P)).

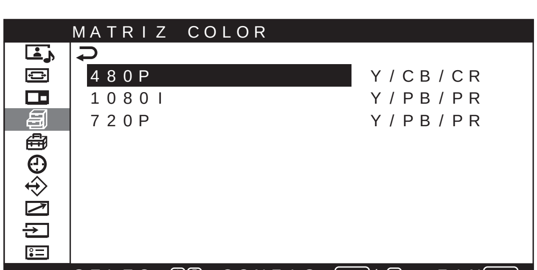
1 Pulse MENU.
El menú principal aparece en el panel de visualización.



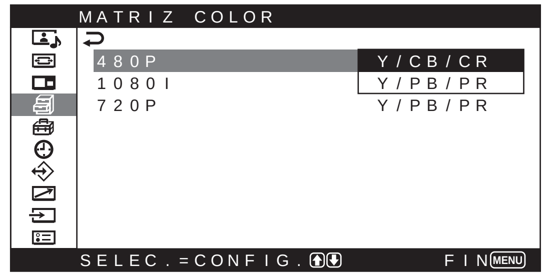
2 Pulse ↑/↓ para desplazar el cursor (amarillo) hasta “AJUSTE PERSONALIZADO” y pulse ENTER o →.
Aparece el menú AJUSTE PERSONALIZADO en el panel de visualización.



3 Pulse ↑/↓ para desplazar el cursor (amarillo) hasta “MATRIZ COLOR” y pulse ENTER o →.
Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



4 Seleccione el formato de la señal con ↑/↓ y pulse ENTER o →.
Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



5 Seleccione la matriz de colores con ↑/↓.
Y/CB/CR: Cuando el formato de la señal es 480P.
Y/PB/PR: Cuando el formato de la señal es 1080I o 720P.
Consulte el manual de instrucciones que se suministra con cada dispositivo para configurarlos correctamente.

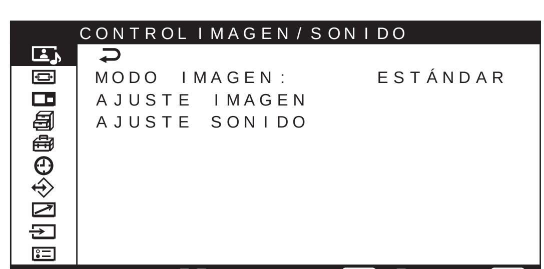
6 Pulse ENTER o ← para regresar a la pantalla anterior.

Control automático de la alimentación (función de temporizador)

Esta pantalla dispone de tres funciones de control de alimentación. Usted podrá ajustar para que la alimentación se desconecte automáticamente cuando no haya entrada de señal (función de ahorro de energía). Puede ajustar la hora en que se activa/desactiva automáticamente la alimentación (función TEMPOR ACT/DES). Adicionalmente, se proporciona una función de reposo que desconecta la alimentación automáticamente transcurrido un tiempo determinado, incluso si se está visualizando la pantalla.

Función de Autoapagado

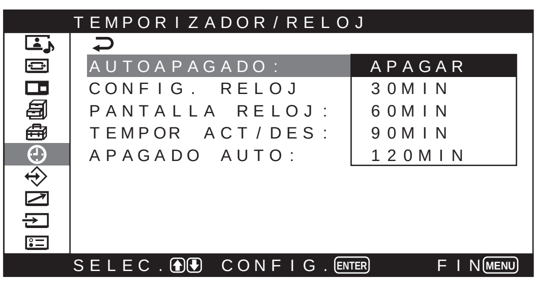
1 Pulse MENU.
El menú principal aparece en el panel de visualización.



2 Pulse ↑/↓ para desplazar el cursor (amarillo) a "TEMPORIZADOR/RELOJ" y pulse ENTER o →.
El menú TEMPORIZADOR/RELOJ aparece en el panel de visualización.



3 Pulse ↑/↓ para desplazar el cursor (amarillo) a "AUTOAPAGADO" y pulse ENTER o →.
Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



4 Seleccione el tiempo transcurrido antes de desconectar la alimentación con ↑/↓.
APAGAR: No se desconecta la alimentación.
30 MIN: Se desconecta la alimentación transcurridos 30 minutos.
60 MIN: Se desconecta la alimentación transcurridos 60 minutos.
90 MIN: Se desconecta la alimentación transcurridos 90 minutos.
120 MIN: Se desconecta la alimentación transcurridos 120 minutos.

5 Pulse ENTER o ← para regresar a la pantalla anterior.

Ajuste de la hora

1 En el menú TEMPORIZADOR/RELOJ, pulse ↑/↓ para desplazar el cursor (amarillo) hasta "CONFIG. RELOJ" y pulse ENTER o →.
Aparece el siguiente menú y el color de fondo de la hora aparece en amarillo.



2 Ajuste la hora con ↑/↓ y pulse ENTER.
El indicador muestra el ajuste de la hora y el fondo de los minutos aparece de color amarillo.

3 Ajuste también los minutos y pulse ENTER.
El indicador muestra el ajuste de los minutos y el fondo de los segundos aparece de color amarillo.

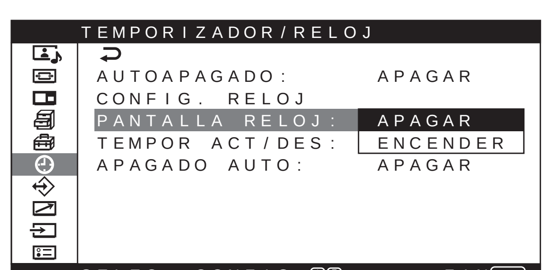
4 Pulse ENTER.
Los segundos se restablecen a 00.

5 Pulse MENU.
La pantalla vuelve a la pantalla normal. Si es necesario realizar más ajustes, o si debe realizarse el ajuste de nuevo, repita el proceso desde el paso **1**.

Nota
Si el reloj se atrasa significativamente, es posible que la pila interna se esté agotando. Póngase en contacto con un proveedor autorizado de Sony para cambiar la pila.

Visualización de la hora

1 En el menú TEMPORIZADOR/RELOJ, pulse ↑/↓ para desplazar el cursor (amarillo) a "PANTALLA RELOJ" y pulse ENTER.
Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



2 Seleccione “ENCENDER” con ↑/↓.
Cuando oculte el menú, el reloj aparecerá en la esquina inferior izquierda de la pantalla.

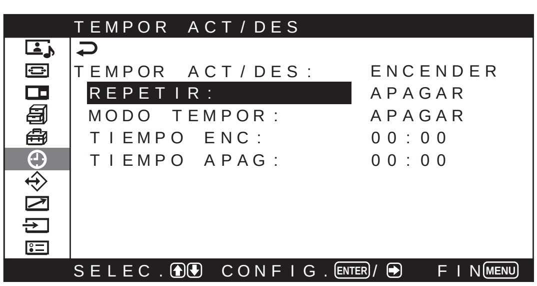
Cuando pulse el botón DISPLAY en el mando a distancia, desaparecerá el reloj que se muestra en la esquina de la pantalla del panel y, en su lugar, aparecerá la señal actualmente seleccionada y el MODO IMAGEN. Si vuelve a pulsar el botón DISPLAY, el reloj aparece de nuevo.
Si la información se visualiza sin perturbaciones durante unos 10 segundos, desaparecerá automáticamente. La opción “PANTALLA RELOJ: ENCENDER” no se guardará al apagar la unidad.

Función temporizador act/des

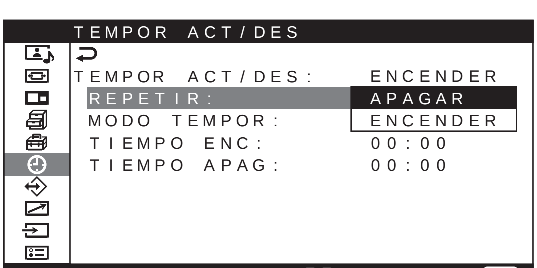
1 En el menú TEMPORIZADOR/RELOJ, pulse ↑/↓ para desplazar el cursor (amarillo) hasta “TEMPOR ACT/DES” y pulse ENTER.
El siguiente menú aparece en la pantalla del monitor.



2 Seleccione “ENCENDER” con ↑/↓ y pulse ENTER.
Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



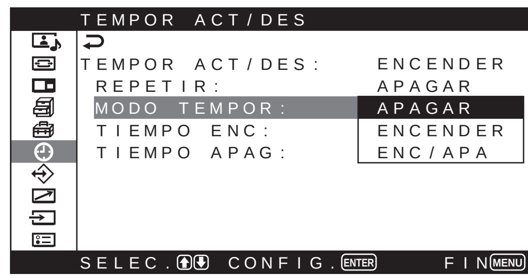
3 Seleccione “REPETIR” con ↑/↓ y pulse ENTER o →.
Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



4 Seleccione el modo de repetición con ↑/↓.
APAGAR: La alimentación se conecta y desconecta sólo una vez
ENCENDER: La alimentación se conecta y desconecta cada día a la hora seleccionada.

5 Pulse ENTER o ←.
El menú vuelve al menú TEMPOR ACT/DES.

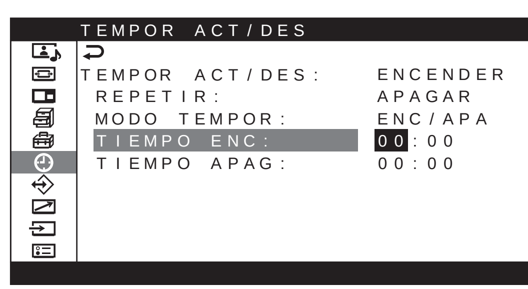
6 Seleccione “MODO TEMPOR” con ↑/↓ y pulse ENTER o →.
Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



7 Pulse ↑/↓ para seleccionar el modo del temporizador.
APAGAR: La alimentación se desconecta a la hora ajustada en Tiempo desact.
ENCENDER: La alimentación se conecta a la hora ajustada en Tiempo act.
ENC/APA: La alimentación se conecta a la hora ajustada en Tiempo act, y se desconecta a la hora ajustada en Tiempo desact.

8 Pulse ENTER o ←.
El menú vuelve al menú TEMPOR ACT/DES.

9 Pulse ↑/↓ para mover el cursor (amarillo) a “TIEMPO ENC” y pulse ENTER o →.
Aparece el menú siguiente en el panel de visualización. El fondo de la hora aparece de color amarillo.



10 Pulse ↑/↓ para ajustar la hora y pulse ENTER o →.
El indicador muestra el ajuste de la hora y el fondo de los minutos aparece de color amarillo.

11 Pulse ↑/↓ para ajustar los minutos y pulse ENTER.
Pulse ← para volver a la pantalla que se muestra en el paso **2**.
Cuando utilice los botones de la unidad, pulse el botón MENU para cerrar el menú y ajuste "FUNC. MENU" (página 24 (ES)) del menú AJUSTE INICIAL en "VOLVER". De este modo, el botón MENU de la unidad tiene la misma función que el botón ←.

12 Pulse ↑/↓ para mover el cursor (amarillo) a "TIEMPO APAG" y pulse ENTER. Realice el mismo proceso para la hora y minutos activados.

Función de ahorro de energía

La alimentación se desconectará automáticamente cuando no haya entrada de señal a través de los conectores INPUT1 o INPUT2 y el modo de entrada esté ajustado a RGB.

1 En el menú TEMPORIZADOR/RELOJ, pulse ↑/↓ para mover el cursor (amarillo) a "APAGADO AUTO" y pulse ENTER o →.
Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



2 Pulse ↑/↓ para seleccionar el tiempo que debe transcurrir hasta que se efectúe el cambio al modo de ahorro de energía.
APAGAR: La función de ahorro de energía no se activa.
ENCENDER: La función de ahorro de energía trabajará.

Nota

La selección de entrada estará disponible durante el modo de ahorro de energía.

El indicador ON se ilumina en naranja cuando la unidad se encuentra en el modo de ahorro de energía.

3 Pulse ENTER o ← para regresar a la pantalla anterior.

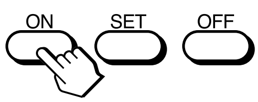
Para cancelar la función de ahorro de energía

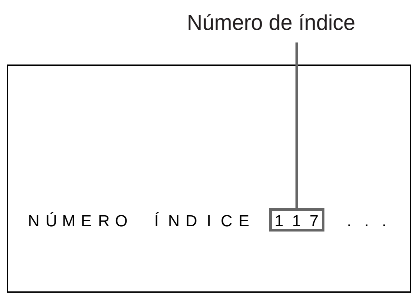
Vuelva a aplicar la señal, o pulse el interruptor ⏻ de la sección del interruptor ⏻ (espera)/indicador o el interruptor POWER ON del Control remoto.

Empleo de una pantalla específica con el Control remoto

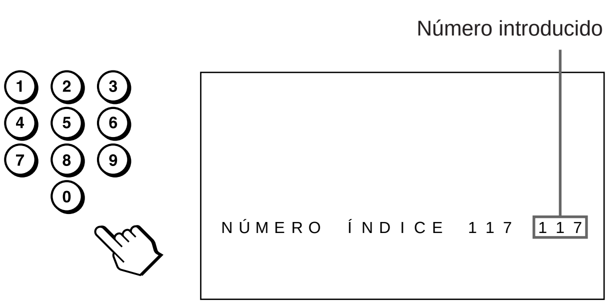
Con el mando a distancia suministrado, puede emplear una pantalla específica sin afectar a las demás pantallas instaladas a la vez.

1 Pulse ID MODE ON en el Control remoto.
Aparecen números de índice de monitor en caracteres blancos en todas las pantallas (a cada pantalla se le asigna un número de índice individual predefinido de 1 a 255.)
Para obtener más información, consulte “Para cambiar el número de índice” en la página 50 (ES).

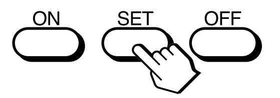




2 Introduzca el número de índice de la pantalla que desee emplear utilizando los botones 0 - 9 del Control remoto.
El número introducido aparece junto al número de índice de cada pantalla.

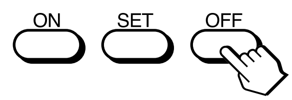


3 Pulse ID MODE SET.
Los caracteres de la pantalla seleccionada se tornan de color verde mientras los demás se vuelven roja.



Sólo podrá emplear la pantalla especificada. La activación de la alimentación y del modo de espera también se aplica a las otras pantallas.

4 Cuando se hayan completado todos los ajustes, pulse el botón ID MODE OFF.
La pantalla vuelve al modo normal.



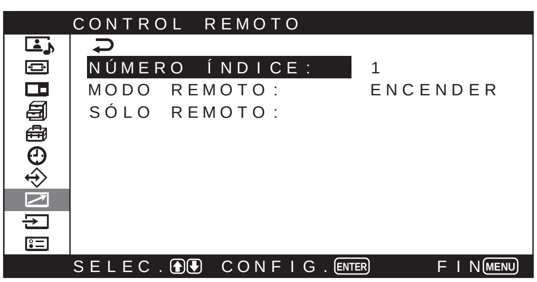
Para cambiar el número de índice

Puede cambiar el número de índice en caso necesario. Para cambiar el número, utilice los botones de la sección de botones de control de la unidad de visualización.

1 Pulse MENU.
El menú principal aparece en el panel de visualización.



2 Pulse ↑/↓ para desplazar el cursor (amarillo) hasta "CONTROL REMOTO" y pulse ENTER.
Aparece el menú CONTROL REMOTO en el panel de visualización.



3 Pulse ↑/↓ para desplazar el cursor (amarillo) hasta "NÚMERO ÍNDICE" y pulse ENTER.
Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



4 Seleccione el NÚMERO ÍNDICE con ↑/↓ y pulse ENTER.
Vuelve a aparecer el menú CONTROL REMOTO.

Uso de otros modelos de Control remoto

Las siguientes operaciones pueden realizarse con otros modelos de Control remoto.

- Activación y desactivación de la alimentación
- Selección de entrada
- Operaciones de menú
- Ajustes de imagen: contraste, fase y croma
- Activación y desactivación de indicaciones en pantalla

Las operaciones disponibles y los botones utilizados para cada operación están limitados en función de cada Control remoto. Consulte la tabla siguiente.

Modelo de Control remoto		**RM-921**
Ajuste de MODO REMOTO		**ENCENDER**
Selección de entrada	INPUT1	RGB1
	INPUT2	RGB2
	VIDEO	LINE
Operación de menú	MENU	MENU
	ENTER	ENTER
	↑	↑
	↓	↓
Ajuste de imagen	Contraste	CONTRAST +/–
	Crominancia	CHROMA
	Fase	—
Información en pantalla		DISPLAY

Especificaciones

Proceso de vídeo

Señal preajustada *Consulte la página 28 (ES)*
Índice de muestreo
13,5 MHz a 140 MHz
Sistema de paneles
Panel de visualización de plasma tipo ca
Resolución de pantalla
1.024 puntos (horizontal) × 768 líneas (vertical)
Densidad de píxel 0,90 (horizontal) × 0,676 (vertical) mm ($^{1}/_{16}$ × $^{1}/_{32}$ pulgadas)
Tamaño de imagen
920,1 (horizontal) × 518,4 (vertical) mm (36 $^{7}/_{32}$ × 20 $^{13}/_{32}$ pulgadas)
Tamaño de panel 42 pulgadas (diagonal: 1.058 mm)

Entradas y salidas

INPUT1
RGB/YUV D-sub de 15 pines (hembra) (×1) *(consulte "Asignación de pines" en la página 54 (ES))*
AUDIO Minitoma estéreo (×1)
500 mVrms, alta impedancia

INPUT2[1)]
DVI DVI-HDCP (Compatible con la especificación DVI Rev. 1.0)
AUDIO Minitoma estéreo (×1)
500 mVrms, alta impedancia

CONTROL S IN/OUT

AUDIO OUT
Minitoma estéreo (×1)

REMOTE (RS-232C)
Conector D-sub de 9 pines (×1)

VIDEO (NTSC, PAL, SECAM, NTSC4.43, PAL60, PAL-M, PAL-N)[2)]
COMPOSITE IN
Tipo BNC (×1)
Vídeo compuesta, 1 Vp-p ±2 dB sincronización negativa, 75 ohm (terminación automática)
COMPOSITE OUT
Tipo BNC (×1) Derivada
Y/C IN Tipo mini DIN de 4 pines (×1)
Y (luminancia): 1 Vp-p ±2 dB sincronización negativa, terminación de 75 ohm
C (crominancia): Señal subportadora de crominancia 0,286 Vp-p ±2 dB (NTSC), terminación de 75 ohm
Señal subportadora de crominancia 0,3 Vp-p ±2 dB (PAL), terminación de 75 ohm
AUDIO IN Toma para pines (×2)
500 mVrms, alta impedancia

ALTAVOZ 7 W + 7 W (6 ohm), impedancia directa no equilibrada: 6-16 ohm

Adaptador de entrada de componente/ RGB BKM-V11 (no suministrado)

YUV/RGB IN
YUV/RGB Tipo BNC (×5)
AUDIO Toma para pines (×2)
500 mVrms, alta impedancia

Adaptador de componente/RGB BKM-V12 Active Through (no suministrado)

RGB/YUV ACTIVE THROUGH
RGB/YUV IN D-sub de 15 pines (hembra) (×1)
AUDIO IN Minitoma estéreo (×1)
500 mVrms, alta impedancia
RGB/YUV OUT D-sub de 15 pines (hembra) (×1)

General

Requisitos de alimentación
100 a 240 V ca, 50/60 Hz, 4,2 A a 1,8 A
Consumo de energía
400 W

1) El modelo PFM-42X1N no está equipado con los conectores INPUT2.
2) El PFM-42X1N no dispone de conectores VIDEO. En este modelo, se pueden asignar las entradas Y/C y de vídeo compuesto si la unidad tiene instalado el adaptador de entrada de vídeo BKM-V10 (no suministrado).

Condiciones de funcionamiento
Temperatura: 0 °C a 35 °C (32 °F a 95 °F)
Humedad: 20% a 90% (sin condensación)
Presión atmosférica: 800 a 1.100 hPa

Condiciones de almacenamiento/transporte
Temperatura: –10 °C a +40 °C (14 °F a 104 °F)
Humedad: 20% a 90% (sin condensación)
Presión atmosférica: 700 a 1.100 hPa

Dimensiones 1.033 × 631 × 102 mm (40 ¾ × 24 ⅞ × 4 ⅛ pulgadas) (an/al/prf, partes salientes excluidas)

Peso 29,7 kg (65 lb 8 oz)

Accesorios suministrados
Cable de alimentación de ca (1)
Portaenchufe de ca (2)
Cable de señal digital RGB (DVI-D): TMDS (Enlace único) (1)*
Portacables (4)
Mando a distancia RM-971 (1)
Pilas de tamaño AA (R6) (2)
Manual de instrucciones (1)
* Excepto el modelo PFM-42X1N

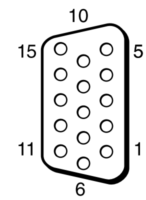
Accesorios opcionales
Soporte de pantalla SU-42B
Altavoz SS-SP20B
Adaptador de entrada de vídeo BKM-V10 (sólo para el PFM-42X1N)
Adaptador de entrada de componente/RGB BKM-V11
Adaptador de componente/RGB BKM-V12 Active Through

Normas de seguridad
UL1950, CSA nº 950 (c-UL), FCC Clase B, IC Clase B, EN60 950 (NEMKO), CE, C-Tick

Diseño y especificaciones sujetos a cambios sin previo aviso.

Asignación de pines

Conector RGB/YUV (D-sub de 15 pines)



Pin nº	Señal
1	Vídeo roja o R-Y o PR
2	Y o vídeo verde o Sincronización en verde
3	Vídeo azul o B-Y o PB
4	Masa
5	Masa
6	Masa roja
7	Masa verde
8	Masa azul
9	Sin uso
10	Masa
11	Masa
12	SDA
13	Sincronización H o compuesta
14	Sincronización V
15	SCL

AVVERTENZA

Par evitare rischi di incendi o scosse elettriche, non esporre l'apparecchio alla pioggia o all'umidità.

Voltaggi molto alti sono presenti all'interno dell'apparecchio. Non aprire il contenitore. Rivolgersi solo a personale qualificato.

Trasporto

Durante il trasporto del display, tenere l'apparecchio stesso, non i diffusori. Diversamente, è possibile che i diffusori fuoriescano dall'apparecchio e che quest'ultimo cada provocando ferite.

La presa di corrente deve essere situata vicino all'apparecchio e deve essere facilmente accessibile.

Avvertenza

Se le pile vengono sostituite con pile di tipo errato, potrebbe verificarsi il rischio di esplosioni.
Smaltire le pile usate in base alle istruzioni pertinenti.

Indice

Precauzioni

Sicurezza

- La targhetta indicante la tensione operativa, il consumo energetico, ecc. è situata nella parte posteriore dell'apparecchio.
- Se liquidi o oggetti solidi penetrano nel rivestimento, scollegare l'apparecchio e farlo controllare da personale qualificato prima di utilizzarlo ulteriormente.
- Se si prevede di non utilizzare l'apparecchio per un lungo periodo, scollegarlo dalla presa di rete.
- Per scollegare il cavo di alimentazione CA, tirarlo dalla spina e mai dal cavo stesso.
- Se l'apparecchio viene installato sul pavimento, assicurarsi di utilizzare il supporto opzionale.

Installazione

- Per evitare il surriscaldamento interno dell'apparecchio, consentire un'adeguata circolazione d'aria. Non collocare l'apparecchio su superfici quali coperte o tappeti né in prossimità di materiali quali tendaggi che potrebbero bloccarne le prese di ventilazione.
- Non collocare l'apparecchio in prossimità di fonti di calore quali radiatori o condotti dell'aria né in luoghi soggetti alla luce solare diretta, a polvere eccessiva, a vibrazioni di tipo meccanico o a urti.
- Se vengono installati diversi componenti collegandoli al presente apparecchio, è possibile che in base alle relative posizioni si verifichino problemi di funzionamento del telecomando, disturbi delle immagini e del suono e problemi simili.
- È possibile che si verifichino problemi di comunicazione nel caso in cui un apparecchio per la comunicazione a infrarossi (ad esempio, cuffie o microfoni senza fili a infrarossi) venga utilizzato in prossimità del display. Si consiglia di non utilizzare cuffie o microfoni senza fili a infrarossi. Inoltre, per utilizzare l'apparecchio per la comunicazione a infrarossi, allontanarlo dal display fino a quando il disturbo non scompare oppure avvicinare il trasmettitore e il ricevitore dell'apparecchio per la comunicazione a infrarossi.

Informazioni sul display al plasma (PDP - Plasma Display Panel)

- Sullo schermo potrebbero apparire punti neri o luminosi (rossi, blu o verdi). Non si tratta di problemi di funzionamento. Sebbene il pannello del display al plasma sia stato creato secondo una tecnologia di altissima precisione, potrebbero essere visualizzati alcuni pixel più chiari o più scuri degli altri. Eventuali punti scuri presenti sul bordo dello schermo o la visualizzazione di strisce e irregolarità di colore non costituiscono un problema di funzionamento.
- Non visualizzare lo stesso fermo immagine per un lungo periodo, diversamente su una parte dello schermo potrebbe rimanere un'immagine residua. Utilizzare la funzione salva schermo per uniformare lo schermo.
- Dato il tipo di fabbricazione, se il presente pannello del display al plasma viene utilizzato in luoghi in cui la pressione è estremamente bassa, quali altitudini elevate, potrebbe essere udito un disturbo.
- Se la stessa immagine viene visualizzata per un periodo di tempo prolungato, è possibile che una parte di tale immagine si imprima sullo schermo e lasci un'immagine residua. Per evitare tale fenomeno, utilizzare la funzione salvaschermo fornita per visualizzare un'immagine a schermo pieno. Nel caso di immagini residue, utilizzare la funzione salvaschermo oppure utilizzare un software video o di immagine in modo che sullo schermo sia sempre presente un'immagine in movimento. Sebbene le immagini residue di scarsa entità (immagini impresse) risultino meno evidenti, una volta verificatosi, il fenomeno non potrà essere risolto completamente.
- Per proteggere il display al plasma, il presente apparecchio non accetta i comandi del telecomando o dei tasti funzione per alcuni secondi successivi all'attivazione del modo di accensione/attesa. Pertanto, dopo avere effettuato tale operazione, attendere circa 8 secondi prima di inviare un comando.

Pulizia

Per mantenere in buone condizioni l'apparecchio, pulirlo saltuariamente con una soluzione detergente neutra. Non utilizzare in nessun caso solventi quali benzene né detergenti abrasivi onde evitare di danneggiare il rivestimento. Scollegare l'apparecchio prima di procedere alla pulizia.

Note sull'uso e sulla pulizia dello schermo

Lo speciale strato dello schermo deve essere trattato con cura quando si pulisce o si maneggia il TV. Per evitare di toccare lo schermo, pulire utilizzando un panno morbido.

Reimballaggio

Non gettare il materiale di imballaggio poiché potrebbe risultare utile per il trasporto dell'apparecchio. In tal caso, reimballare l'apparecchio come illustrato sulla confezione.

Per qualsiasi domanda o problema relativo all'apparecchio, contattare un rivenditore Sony autorizzato.

Caratteristiche

La PFM-42X1 è costituita da display a pannello piatto da 42 pollici con rapporto di formato 16:9 dotati di un display al plasma (PDP, Plasma Display Panel) in grado di accettare vari tipi di segnali grazie alla presenza di un convertitore di scansione incorporato.

Immagini luminose e nitide

La serie PFM-42X1 utilizza un display al plasma ad elevata definizione che impiega 1.024 punti × 768 linee che consente di riprodurre immagini luminose e nitide da più sorgenti di immagine.

Circuito digitale di qualità di immagine elevata

Elaborazione digitale elevata di tutti i segnali di immagine per una fedele riproduzione di immagini di qualità eccellente.

Diffusori amplificatore audio

Il presente display è dotato di amplificatori digitali di elevata qualità audio che, se utilizzati con diffusori opzionali, garantiscono una presentazione efficace.

Altre caratteristiche

- Prese uscita diffusori (L/R)
- Control S (IN/OUT)
- Ingresso DVI-HDCP*
- Visualizzazione del segnale HDTV con segnale sincronico a tre livelli.
- Filtro a pettine tridimensionale per la separazione del segnale NTSC Y/C.
- Filtro a pettine con correlazione della linea per la separazione del segnale PAL Y/C.
- Rilevamento automatico del segnale di ingresso con indicazione a schermo.
- Windows[1)]98/2000/ME/XP PnP (Plug and Play) compatibile.
- Funzione Dynamic picture
- Menu a schermo per effettuare varie regolazioni e impostazioni
- Indicazioni a schermo in sei lingue per un facile accesso alle funzioni: inglese, tedesco, francese, italiano, spagnolo e giapponese.
- Regolazione fine delle dimensioni e della posizione delle immagini.
- Funzione di memoria per un massimo di venti impostazioni di immagine.
- Controllo ID
- Connettore per il comando a distanza (RS-232C) (D-sub a 9 piedini)
- Accetta i telecomandi Sony a raggi infrarossi che utilizzano il codice SIRCS.
- Decodificatore sottotitoli
- Salva schermo per prevenire la formazione di immagini residue.
- Per eventuali espansioni è presente uno slot opzionale.

* Ad eccezione del modello PFM-42X1N

Avvertenza sul collegamento dell'alimentazione

Utilizzare un cavo di alimentazione adeguato alla tensione operativa locale.

PFM-42X1

	Stati Uniti, Canada	Europa continentale		Regno Unito, Irlanda, Australia, Nuova Zelanda	Giappone
Tipo di spina	VM0233	COX-07	636	—[a)]	VM1296
Estremità femmina	VM0089	COX-02	VM0310B	VM0303B	VM1313
Tipo di cavo	SVT	H05VV-F		CEE (13) 53rd (O.C)	HVCTF
Tensione e corrente nominali minime dei cavi	10A/125V	10A/250V		10A/250V	10A/125V
Approvazione delle norme di sicurezza	UL/CSA	VDE		VDE	DENAN-HO

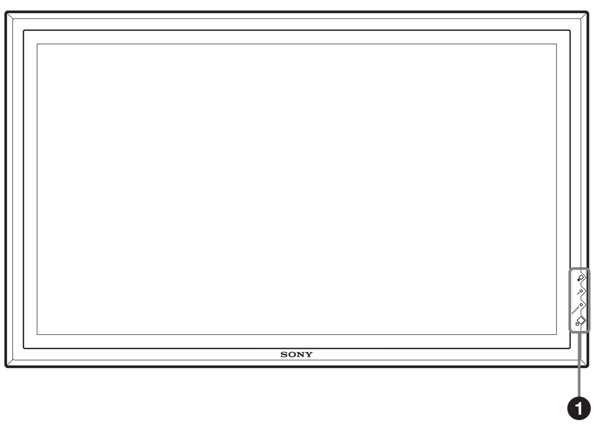
a) Nota: utilizzare una spina con potenza nominale che si adatti alle norme vigenti nel proprio paese.

1) Windows è un marchio di fabbrica registrato di Microsoft Corporation (U.S.A e altri paesi).

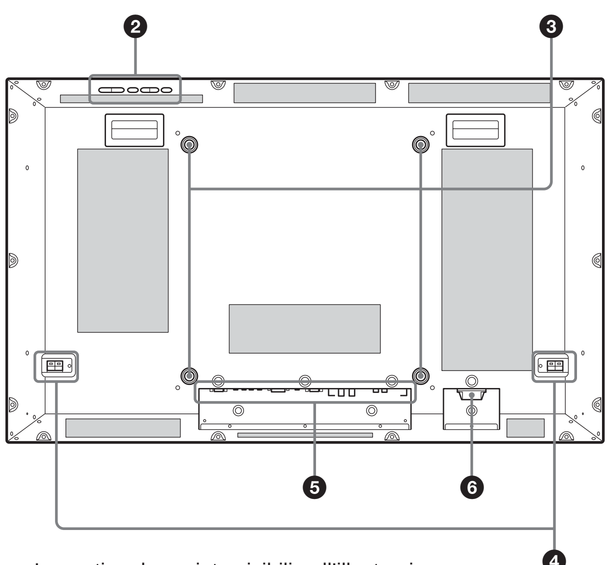
Posizione e funzione dei comandi e delle parti

Parte anteriore / Parte posteriore / Parte inferiore

Parte anteriore

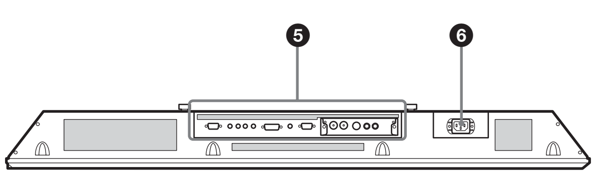


Parte posteriore



Le parti ombreggiate visibili nell'illustrazione sono le prese di ventilazione.

Parte inferiore



❶ **Sezione interruttore / indicatore ⏻ (attesa)**
Per ulteriori informazioni sulla sezione interruttore / indicatore ⏻ (attesa), vedere "Sezione interruttore / indicatore ⏻ (attesa)" a pagina 8 (IT).

❷ **Sezione tasti di controllo**
Per ulteriori informazioni sulla sezione tasti di controllo, vedere "Sezione tasti di controllo (Parte superiore)" a pagina 8 (IT).

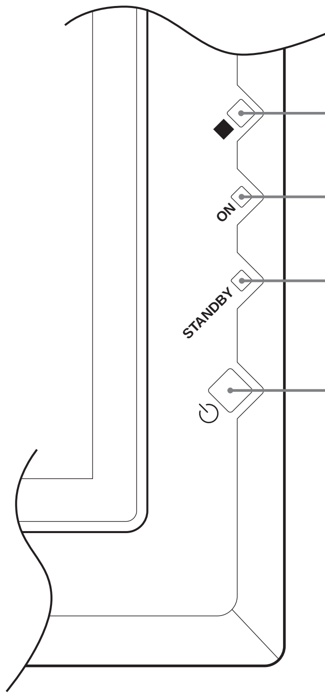
❸ **Ganci per l'installazione del supporto**
Per l'installazione del supporto utilizzare i ganci (non in dotazione).

❹ **Presa SPEAKER**
Se a questa presa vengono collegati diffusori opzionali venduti separatamente, viene trasmesso il componente audio del segnale visualizzato sullo schermo.

❺ **Pannello dei connettori**
Per ulteriori informazioni sul pannello dei connettori, vedere "Pannello dei connettori" a pagina 9 (IT).

❻ **Presa ∿AC IN**
Collegare il cavo di alimentazione CA in dotazione a questa presa, quindi alla presa di rete. Una volta collegato il cavo di alimentazione CA, l'indicatore STANDBY si illumina in rosso e il monitor entra nel modo di attesa.
Per ulteriori informazioni sul cavo di alimentazione, vedere "Collegamento del cavo di alimentazione CA" a pagina 15 (IT).

Sezione interruttore / indicatore ⏻ (attesa)



❶ Interruttore ⏻ (attesa)
Premere per attivare il display. Premere di nuovo per tornare al modo di attesa.

Nota

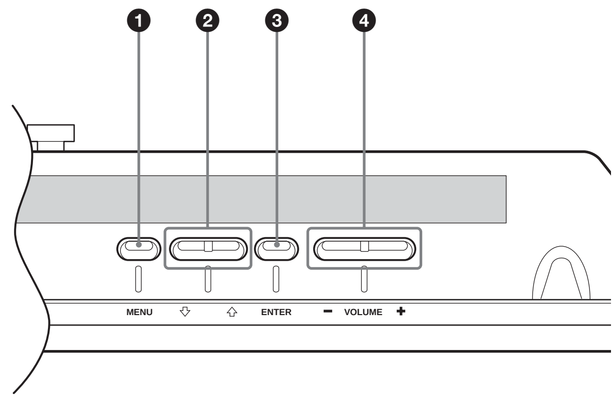
Per proteggere il pannello, è necessario attendere alcuni secondi per far sì che venga attivato il modo di accensione/attesa. Pertanto, dopo avere effettuato tale operazione attendere circa 8 secondi prima di premere nuovamente l'interruttore.

❷ Indicatore STANDBY
Si illumina in rosso se il monitor è nel modo di attesa.

❸ Indicatore ON
Si illumina in verde quando il display viene attivato. Si illumina in arancione quando l'apparecchio si trova nel modo di risparmio energetico.
Per ulteriori informazioni sulla funzione di risparmio energetico, vedere "Funzione di risparmio energetico" a pagina 49 (IT).

❹ Sensore del comando a distanza
Riceve il segnale dal telecomando.

Sezione tasti di controllo (Parte superiore)



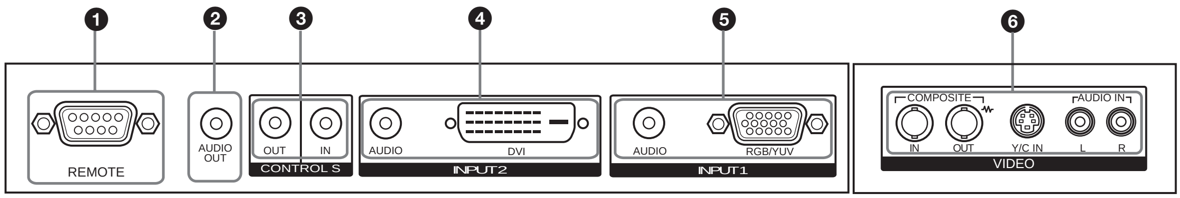
❶ Tasto MENU
Premere per visualizzare i menu. Premere di nuovo per disattivare la visualizzazione dei menu.
Se si utilizza il tasto MENU per tornare al livello di menu precedente, vedere "Menu Impostazione iniziale" a pagina 24 (IT).

❷ Tasti ⬇/⬆
Premere per spostare il cursore (giallo) sulla voce da selezionare o per regolare un valore all'interno di un menu.

❸ Tasto ENTER
Premere per effettuare l'impostazione.

❹ Tasto VOLUME +/–
Premere per regolare il volume dei diffusori.

Pannello dei connettori



❶ Connettore REMOTE (RS-232C) (D-sub a 9 piedini)
Questo connettore consente il controllo a distanza del display mediante il protocollo RS-232C. Per ulteriori informazioni, contattare un rivenditore Sony autorizzato.

❷ AUDIO OUT (minipresa stereo)
Emette l'audio del segnale correntemente indicato sullo schermo.

❸ Connettore (minipresa) CONTROL S IN/OUT (Controllo ingresso/uscita segnale S)
Mediante il collegamento al connettore CONTROL S di un dispositivo video o di un altro display, è possibile controllare più dispositivi con un solo telecomando. Collegare il connettore CONTROL S OUT del presente display al connettore CONTROL S IN dell'altro dispositivo, quindi collegare il connettore CONTROL S IN del presente display al connettore CONTROL S OUT dell'altro dispositivo.

❹ Connettori INPUT2 (ingresso del segnale RGB digitale)*
DVI: questo connettore consente di effettuare il collegamento all'uscita del segnale RGB digitale di un computer.
AUDIO (minipresa stereo): immette un segnale audio. Consente di effettuare il collegamento all'uscita audio di un computer.

Collegare il cavo in dotazione al connettore DVI.

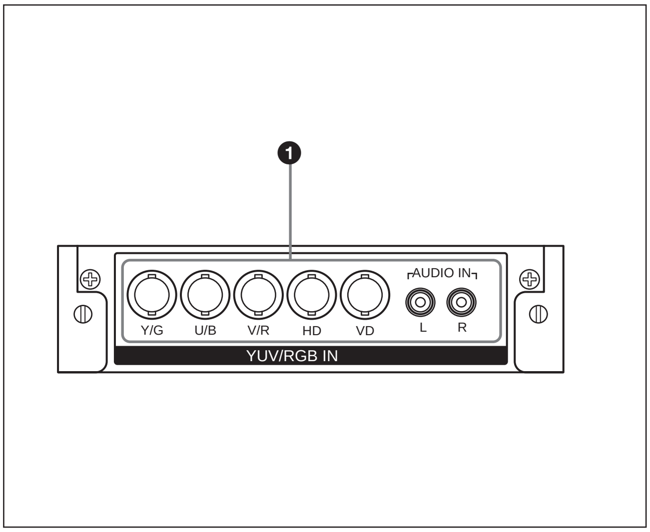
❺ Connettori INPUT1 (ingresso del segnale componente/RGB analogico)
RGB/YUV (D-sub a 15 piedini): questo connettore consente di effettuare il collegamento all'uscita del segnale RGB analogico o componente (YUV) di un dispositivo video o un computer.
AUDIO (minipresa stereo): trasmette i segnali audio. Consente di effettuare il collegamento all'uscita audio di un dispositivo video o di un computer.

❻ Connettori VIDEO
Il modello PFM-42X1N non è dotato di connettori VIDEO. Per PFM-42X1N, i segnali di ingresso video compositi e Y/C possono essere immessi nel caso in cui nell'apparecchio sia installato l'adattatore di ingresso video BKM-V10 (non in dotazione).
COMPOSITE IN (tipo BNC): collega all'uscita del segnale video composito di un apparecchio video.
COMPOSITE OUT (tipo BNC): collega all'ingresso del segnale video composito di un apparecchio video.
Y/C IN (mini DIN a 4 piedini): collega all'uscita del segnale Y/C di un apparecchio video.
AUDIO IN L/R (presa a piedini): immette un segnale audio e collega all'uscita audio di un apparecchio video.

* Il modello PFM-42X1N non è dotato di connettori INPUT2.

Adattatore di ingresso componente/RGB BKM-V11 (non in dotazione)

I connettori VIDEO sono ad inserimento. È possibile sostituire i connettori VIDEO (Adattatore di ingresso video BKM-V10) con un adattatore di ingresso componente/RGB BKM-V11 (non in dotazione).
Per la serie PFM-42X1N, è possibile installare un adattatore BKM-V11, BKM-V10 o BKM-V12.
Per ulteriori informazioni sull'installazione, rivolgersi al proprio rivenditore autorizzato Sony.



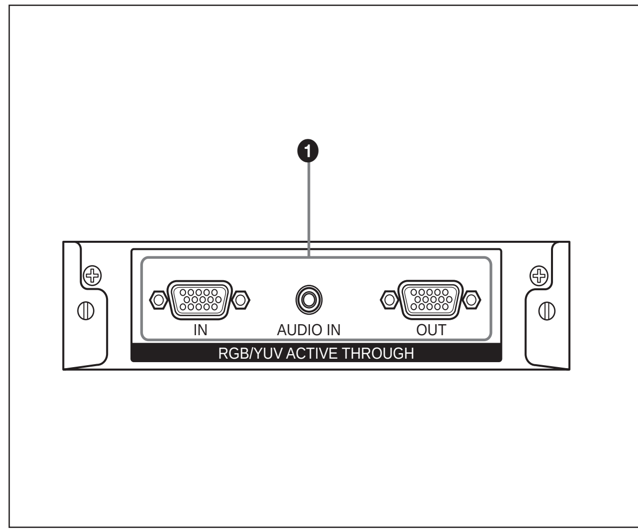
❶ **Connettori YUV/RGB IN**

YUV/RGB IN (ingresso del segnale componente/ RGB analogico) (tipo BNC) :questo connettore consente di effettuare il collegamento all'uscita del segnale RGB analogico o del segnale componente (YUV) di un apparecchio video.

AUDIO IN L/R (presa a piedini): immette un segnale audio e collega all'uscita audio di un apparecchio video.

Adattatore active-through componente/ RGB BKM-V12 (non in dotazione)

I connettori VIDEO sono ad inserimento. È possibile sostituire i connettori VIDEO (adattatore di ingresso video BKM-V10) con un adattatore active-through componente/RGB BKM-V12 (non in dotazione).
Per la serie PFM-42X1N, è possibile installare un adattatore BKM-V11, BKM-V10 o BKM-V12.
Per ulteriori informazioni sull'installazione, rivolgersi al proprio rivenditore autorizzato Sony.



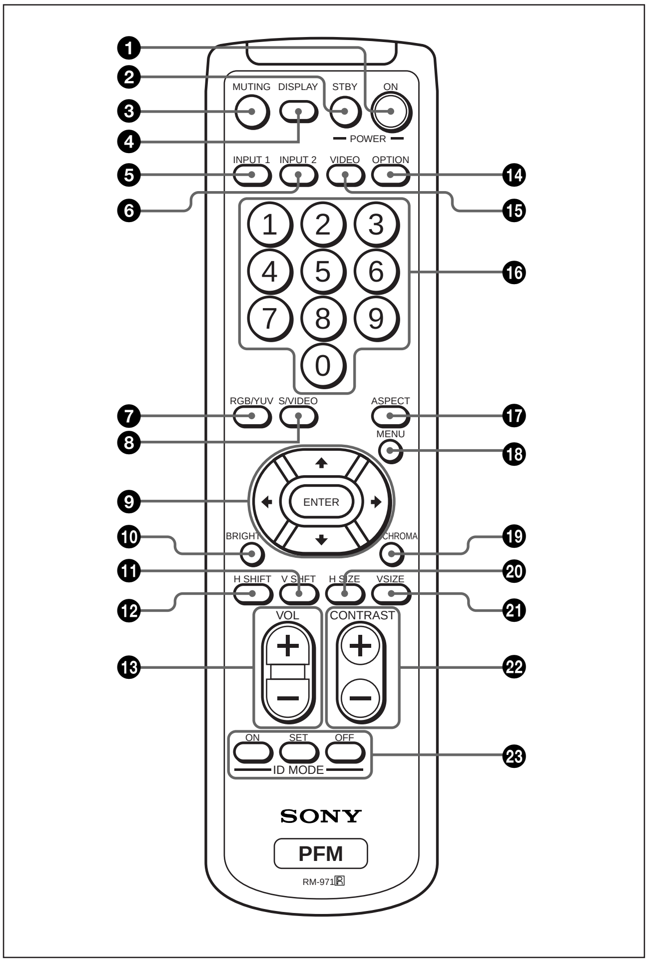
❶ **Connettori RGB/YUV ACTIVE THROUGH**

RGB/YUV IN (ingresso del segnale componente/ RGB analogico) (D-sub a 15 piedini) :questo connettore consente di effettuare il collegamento all'uscita del segnale RGB analogico o del segnale componente (YUV) di un dispositivo video o un computer.

AUDIO IN (minipresa stereo): trasmette i segnali audio. Consente di effettuare il collegamento all'uscita audio di un dispositivo video o di un computer.

RGB/YUV OUT (uscita active-through del segnale componente/RGB analogico) (D-sub a 15 piedini): questo connettore consente di trasmettere il segnale immesso tramite i connettori RGB/YUV IN (ingresso del segnale componente/RGB analogico) collegati all'adattatore.

Telecomando RM-971



❶ Interruttore POWER ON
Premere per attivare il display.

❷ Tasto STANDBY
Premere per impostare il display sul modo di attesa.

❸ Tasto MUTING
Consente di disattivare l'audio. Premere di nuovo per ripristinare il suono.

❹ Tasto DISPLAY
Premere questo tasto per visualizzare le informazioni relative ai segnali di ingresso e il modo immagine sullo schermo. Premere di nuovo per disattivare la visualizzazione.
Se dopo che questa informazione viene visualizzata non viene effettuata alcuna operazione entro alcuni secondi, l'informazione stessa scomparirà automaticamente.

❺ Tasto INPUT1
Premere per selezionare il segnale immesso dai connettori INPUT1. L'uso di questo tasto in combinazione con il tasto ENTER consente di passare al modo "Picture And Picture (PAP)" (Immagine e immagine) premendo il tasto ENTER, quindi il tasto INPUT1.

❻ Tasto INPUT2
Premere per selezionare il segnale immesso dai connettori INPUT2.

❼ Tasto RGB/YUV
Premere per selezionare il formato corrispondente a quello del segnale di ingresso collegato al connettore INPUT1. Ad ogni pressione del tasto, il formato passa da RGB a YUV e viceversa.

❽ Tasto S/VIDEO
Premere per selezionare il segnale trasmesso ai connettori VIDEO quando sono installati apparecchiature standard o un adattatore opzionale BKM-V10. Ad ogni pressione del tasto, il segnale passa da COMPOSITE IN a Y/C IN e viceversa.

❾ Tasti ↑/↓/←/→/ENTER
I tasti ↑/↓/←/→ consentono di spostare il cursore del menu (giallo) e di impostare i valori. Premendo il tasto ENTER, è possibile impostare le voci di impostazione o il menu selezionati. L'uso di questo tasto in combinazione con il tasto INPUT1 consente di passare al modo "Picture And Picture (PAP)" (Immagine e immagine) premendo il tasto ENTER, quindi il tasto INPUT1.

❿ Tasto BRIGHT
Regola la luminosità con il modo immagine impostato su "Utente1" a "Utente3".
Premere questo tasto, quindi regolare la luminosità utilizzando il tasto ❾ ↑/↓ o ←/→.

⓫ Tasto V SHIFT
Per regolare la centratura verticale. Premere questo tasto, quindi regolare la centratura verticale tramite il tasto ❾ ↑/↓ o ←/→.

⓬ Tasto H SHIFT
Per regolare la centratura orizzontale. Premere questo tasto, quindi regolare la centratura orizzontale tramite il tasto ❾ ↑/↓ o ←/→.

⓭ Tasto VOLUME +/–
Consente di regolare il volume.

⓮ Tasto OPTION
Seleziona il segnale immesso tramite l'adattatore opzionale (ad eccezione di BKM-V10), se installato sull'apparecchio.

⓯ Tasto VIDEO
Premere per selezionare il segnale trasmesso ai connettori VIDEO COMPOSITE IN o Y/C IN quando sono installati apparecchiature standard o un adattatore opzionale BKM-V10.

⓰ Tasti numerici
Premere per immettere il numero indice.

⓱ Tasto ASPECT
Seleziona il rapporto di formato dell'immagine (Modo ampio).

⓲ Tasto MENU
Premere per visualizzare il menu. Durante la visualizzazione del menu sul pannello del display, premere per tornare al menu precedente. Alla successiva pressione del tasto il menu scompare.
Se si utilizza il tasto MENU per tornare al livello di menu precedente, vedere "Menu Impostazione iniziale" a pagina 24 (IT).

⓳ Tasto CHROMA
Regola la saturazione del colore se il modo immagine è impostato su "Utente1" a "Utente3". Premere questo tasto, quindi regolare la centratura orizzontale con il tasto ❾ ⬆/⬇ o ⬅/➡.

⓴ Tasto H SIZE
Per regolare le dimensioni orizzontali delle immagini. Premere questo tasto, quindi regolare le dimensioni orizzontali delle immagini tramite il tasto ❾ ⬆/⬇ o ⬅/➡.

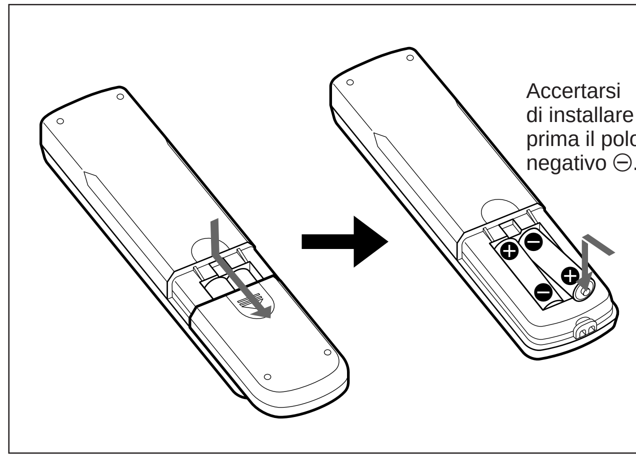
㉑ Tasto V SIZE
Per regolare le dimensioni verticali delle immagini. Premere questo tasto, quindi regolare le dimensioni verticali delle immagini tramite il tasto ❾ ⬆/⬇ o ⬅/➡.

㉒ Tasto CONTRAST +/–
Regola il contrasto se il modo immagine è impostato su "Utente1" a "Utente3".

㉓ Tasti ID MODE (ON/SET/OFF)
Premere il tasto ON per visualizzare sullo schermo un numero indice. Quindi immettere tramite i tasti numerici ⓰ il numero indice del display che si desidera utilizzare e premere il tasto SET. Una volta terminata l'operazione, premere il tasto OFF per passare dal modo ID al modo normale.
Per informazioni sul numero indice, vedere "Utilizzo di un display specifico tramite il telecomando" a pagina 50 (IT).

Installazione delle pile

Inserire due pile R6 (formato AA) rispettando la corretta polarità.



- Con un funzionamento normale, le pile durano circa sei mesi. Se il telecomando non funziona correttamente è possibile che le pile si siano scaricate in anticipo. In tal caso, sostituirle con altre nuove.
- Se si prevede di non utilizzare il telecomando per un lungo periodo, rimuovere le pile onde evitare danni dovuti a possibili perdite di elettrolita.

Avvertenza
Se le pile vengono sostituite con pile di tipo errato, potrebbe verificarsi il rischio di esplosioni.
Smaltire le pile usate in base alle istruzioni pertinenti.

Se il telecomando non funziona
Controllare che l'indicatore STANDBY si illumini e che Modo telecom. nel menu Telecomando non sia impostato su "Disatt.". Il telecomando funziona solo se vengono rispettate le due condizioni che seguono.
- Il display è acceso o si trova nel modo di attesa.
- Il Modo telecom. nel menu Telecomando è impostato su "Attivato".

Per informazioni su Modo telecom., vedere "Menu Telecomando" a pagina 25 (IT).

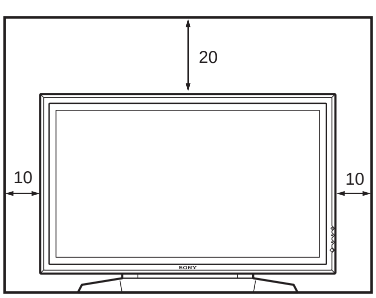
Avvertenza

Installare il display in un luogo spazioso

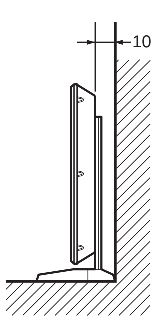
- Durante l’installazione del display, accertarsi che lo spazio che lo circonda sia maggiore rispetto a quanto indicato nell’immagine sotto riportata.
- La temperatura ambiente deve essere compresa tra 0 °C e +35 °C.
- Per installare il display in posizione orizzontale, utilizzare l’apposito supporto SU-42B (non in dotazione).
- Per l’eventuale installazione di altri materiali, quali staffe, viti o bulloni, non è specificare i nomi dei prodotti. Se si desidera installare tali materiali, rivolgersi ai rivenditori locali autorizzati. Per l’installazione, contattare personale qualificato Sony.
- Quando l’apparecchio è acceso, alcune parti potrebbero surriscaldarsi, causando eventuali ustioni. Quando il display è acceso, oppure appena è entrato nel modo di attesa, non toccare la parte superiore o quella posteriore dell’apparecchio.

Installazione con il supporto (non in dotazione)

Parte anteriore



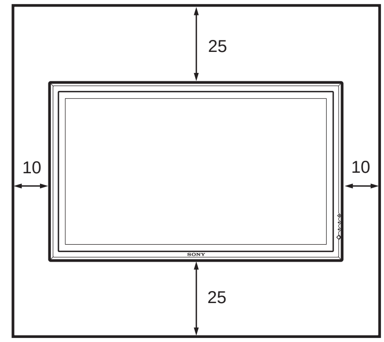
Parte laterale



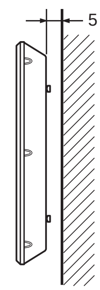
Unità: cm

Installazione orizzontale del display

Parte anteriore



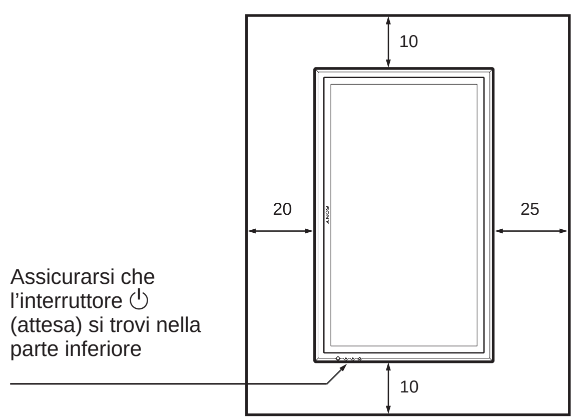
Parte laterale



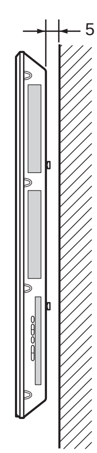
Unità: cm

Installazione verticale del display

Parte anteriore



Parte laterale



Unità: cm

Note relative al fenomeno dell’immagine residua

Se le immagini da [1] a [5], riportate di seguito, vengono visualizzate per un lungo periodo, è possibile che su parti dello schermo rimanga un’immagine residua dovuta alle caratteristiche del display al plasma. È possibile ridurre tale fenomeno seguendo i punti da [A] a [D] riportati di seguito.

Situazioni in cui appare un’immagine residua

[1] Bande nere nelle parti superiore e inferiore che appaiono con sorgenti video ampie (immagini in formato Letter box)
[2] Bande nere nelle parti sinistra e destra che appaiono con sorgenti video con formato 4:3 (trasmissioni televisive normali)
[3] Videogiochi
[4] Menu a schermo di DVD
[5] Menu a schermo, numeri di canale e simili di apparecchi collegati quali DSS, televisori via cavo, dispositivi video e così via.

Precauzioni per evitare/ridurre il fenomeno dell’immagine residua

[A] Utilizzare la funzione di salvaschermo in movimento automatico.
[B] Evitare di visualizzare numeri di canale, menu a schermo e simili di apparecchi collegati quali DSS, televisori via cavo, dispositivi video e così via. Per eliminare i numeri di canale e i menu a schermo, consultare il manuale dell’apparecchio collegato.
[C] Ridurre la luminosità dell’immagine e/o della sorgente video del display nei modo “Esp. 4:3” o modo “16:9”.
[D] Durante l’uso del modo “4:3” o “Picture And Picture (PAP)” (Immagine e immagine), è possibile regolare la luminosità dello sfondo utilizzando la funzione “Sfondo” di “Salva schermo” per ridurre la differenza di luminosità tra l’area dell’immagine e quella dello sfondo in assenza di segnale video, onde evitare che si verifichi l’effetto di persistenza delle immagini o immagini residue.
[E] È possibile ridurre il fenomeno di deboli immagini residue mediante la funzione “Inverti immag.” in “Salva schermo”, ma solo parzialmente se il fenomeno si è già verificato.

Note su “Inverti immag.” in “Salva schermo”

Se l’immagine visualizzata appare come il negativo di una pellicola, è possibile che “Inverti immag.” in “Salva schermo” sia impostato su “Auto” o su “Attivato”. Per tornare all’immagine normale, selezionare “Disatt.” o azzerare il tempo specificato in “Auto”.
La funzione di inversione dell’immagine inverte il colore dell’immagine (ad esempio, da bianco a nero, da nero a bianco) e corregge il fenomeno dell’immagine residua durante la visualizzazione delle immagini.
L’immagine appare come il negativo di una pellicola quando la funzione di inversione dell’immagine è attiva; ciò non costituisce un problema di funzionamento.

Collegamenti

Operazioni preliminari

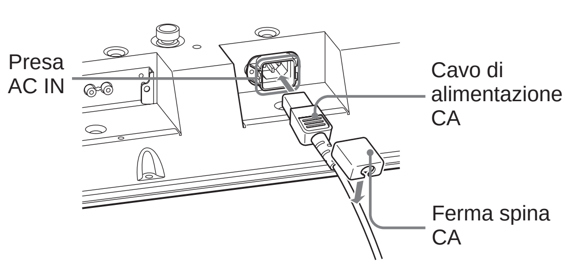
- Assicurarsi che l'alimentazione di ogni apparecchio sia disattivata.
- Utilizzare cavi di collegamento adatti agli apparecchi da collegare.
- I connettori dei cavi devono essere inseriti saldamente nelle prese, diversamente si potrebbero verificare disturbi.
- Per scollegare il cavo, tirarlo dalla spina e mai dal cavo stesso.
- Fare riferimento al manuale delle istruzioni dell'apparecchio da collegare.
- Inserire saldamente la spina nella presa AC IN.
- Per mantenere saldamente in posizione la spina CA, utilizzare uno dei due appositi fermi (in dotazione).

Collegamento dei diffusori

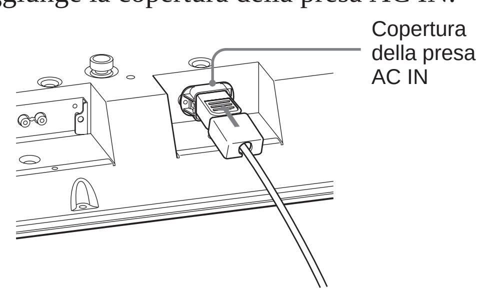
È possibile ottenere una visione delle immagini più realistica collegando i diffusori (SS-SP20B, non in dotazione). È necessario accertarsi di effettuare correttamente il collegamento dei diffusori. Per ulteriori dettagli sul collegamento dei diffusori consultare le istruzioni per l'uso in dotazione con i diffusori.

Collegamento del cavo di alimentazione CA

1 Inserire il cavo di alimentazione CA nella presa AC IN. Quindi fissare il ferma spina CA (in dotazione) al cavo di alimentazione CA.



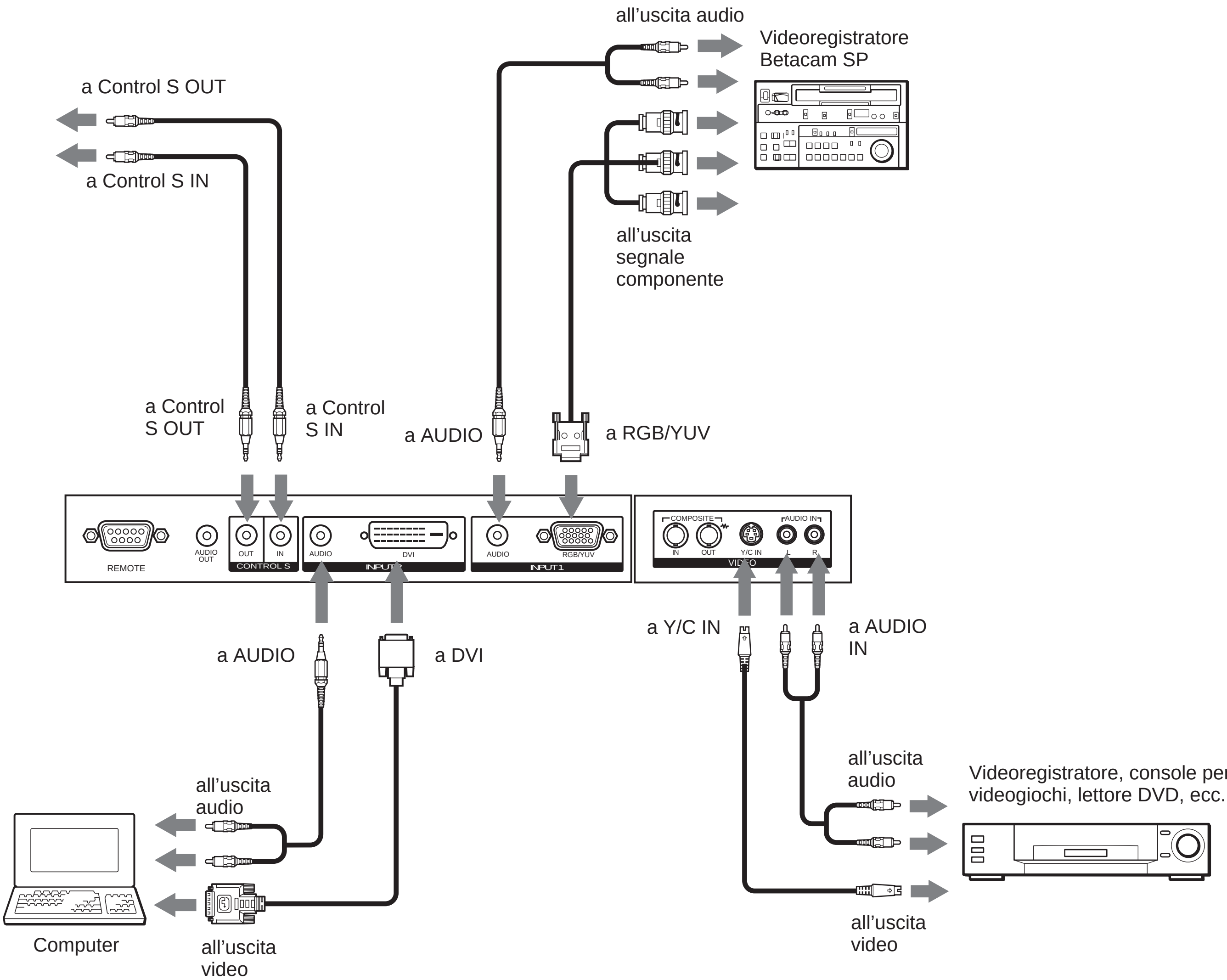
2 Fare scorrere il ferma spina CA sul cavo finché non raggiunge la copertura della presa AC IN.



Per rimuovere il cavo di alimentazione CA

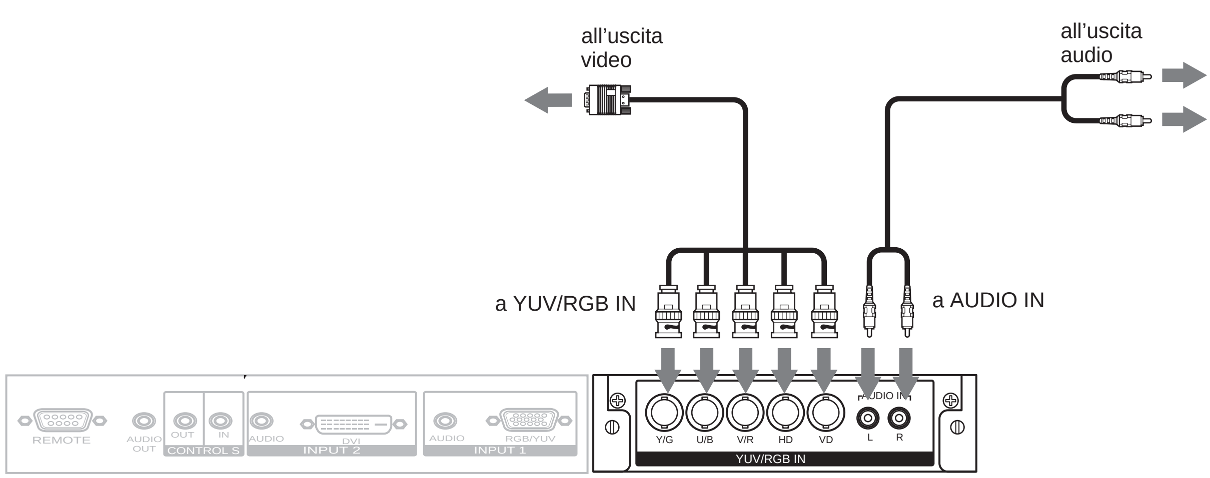
Dopo avere premuto ai lati e sbloccato il fermaspina CA, afferrare la spina ed estrarre il cavo di alimentazione CA.

Esempio di collegamento

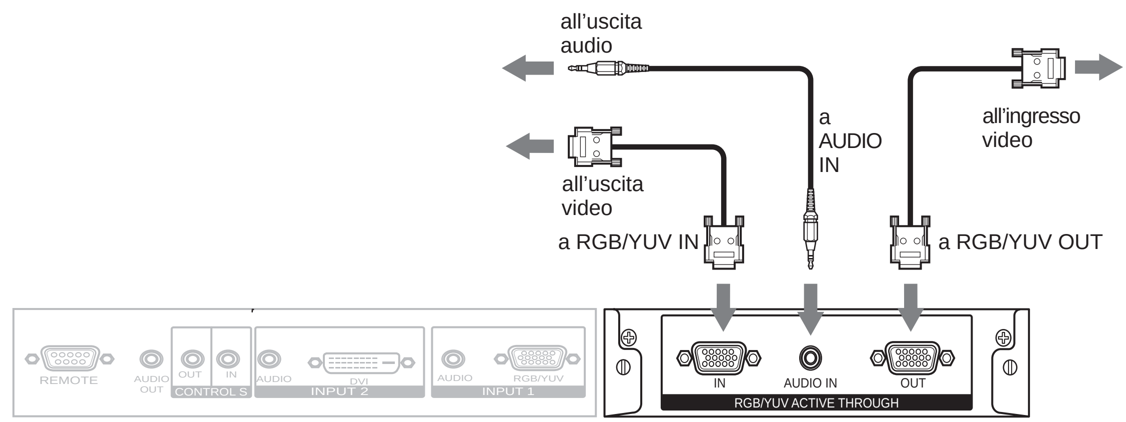


Per PFM-42X1N, il presente esempio di collegamento si riferisce al caso in cui sia installato un adattatore di ingresso video BKM-V10.
Il modello PFM-42X1N non è dotato di connettori INPUT2.

Se è installato un adattatore di ingresso componente/RGB opzionale BKM-V11

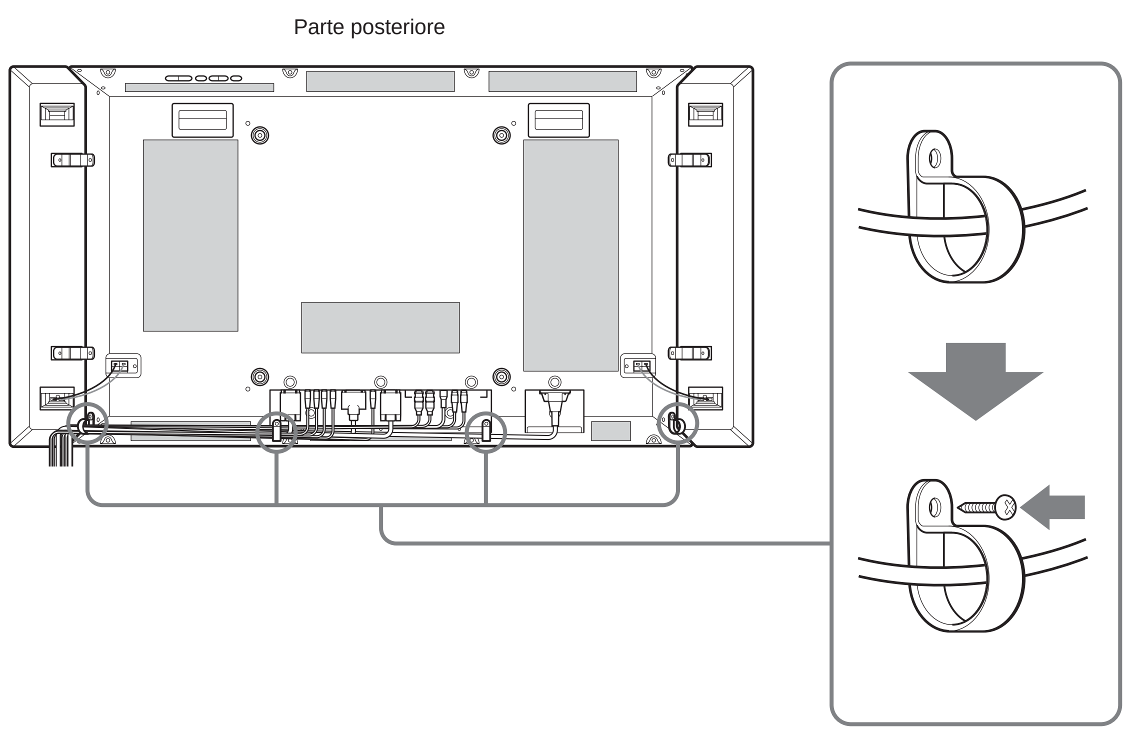


Se è installato un adattatore active-through componente/RGB opzionale BKM-V12



Uso dei fermacavi

È possibile fissare in modo pratico i cavi utilizzando gli appositi fermacavi (×4) in dotazione. Applicare i fermacavi come raffigurato di seguito.

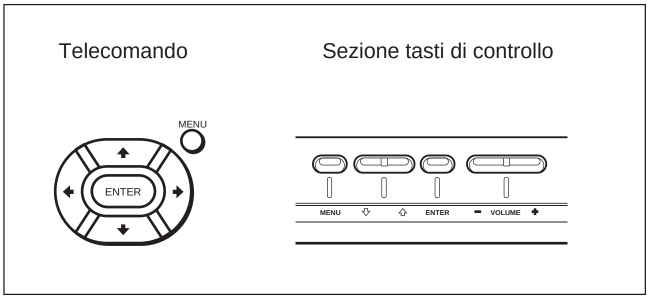


Utilizzo dei menu a schermo

Funzionamento tramite i menu

Tasti di funzionamento dei menu

Per il funzionamento dei menu, utilizzare i tasti sul display e sul telecomando.



Nel presente manuale sono riportate le istruzioni per l'uso relative all'utilizzo dell'apparecchio mediante il telecomando. I tasti ↑/↓ e ENTER del telecomando, hanno la stessa funzione dei tasti ↑/↓ e ENTER del display.

Nota

In alcuni casi il funzionamento potrebbe variare poiché il display non è dotato del tasto ←/→.

Configurazione del menu

Per selezionare la lingua utilizzata nel menu, vedere "Selezione della lingua per le indicazioni a schermo" a pagina 43 (IT).

1 Premere MENU.
Sul panello del display appare il menu principale.



2 Premere ↑/↓ per spostare il cursore (giallo) sul menu principale da selezionare, quindi premere ENTER o →. Il cursore passa al menu successivo.

3 Premere ↑/↓ per spostare il cursore (giallo) sulla voce da selezionare, quindi premere ENTER o →.
Viene visualizzato il menu relativo alla voce selezionata.
Per selezionare altre voci, ripetere la stessa procedura.

4 Premere ↑/↓ per effettuare la regolazione o selezionare l'impostazione, quindi premere ENTER.
L'impostazione viene registrata e viene visualizzato il menu precedente.

Per completare la configurazione e tornare alla schermata normale, premere MENU.
Per tornare al livello di menu precedente, premere ↑/↓ per spostare il cursore su ↩, quindi premere ENTER o ←.
Se si desidera utilizzare il tasto MENU per tornare al livello di menu precedente, vedere "Funzione MENU" a pagina 24 (IT).

Guida dei menu

Nota

Le voci che non è possibile impostare o regolare (a seconda dell'impostazione o del tipo di ingresso del segnale) sono di colore grigio scuro.

Menu Controllo immagine/ audio

Regola la qualità dell'immagine e del suono delle immagini visualizzate sul display.



Mode immagine

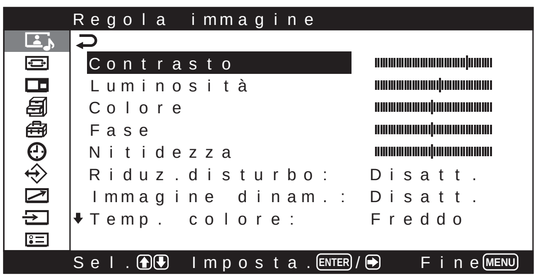
Imposta la qualità dell'immagine adatta al tipo di immagine o all'illuminazione del luogo in cui è installato l'apparecchio.
Per ulteriori informazioni, vedere "Selezione della qualità dell'immagine" a pagina 30 (IT).

Menu Regola immagine

È possibile effettuare la regolazione fine dell'immagine.
Innanzitutto, impostare "Modo immagine" su "Utente1" a "Utente3".

Nota

Non è possibile regolare la qualità audio se "Mode immagine" è impostato su "Standard" o "Vivido".





Contrasto
Premere ↑/→ per aumentare il contrasto e ↓/← per diminuirlo.

Luminosità
Premere ↑/→ per rendere più luminosa l'immagine e ↓/← per renderla più scura.

Colore
Premere ↑/→ per aumentare la saturazione del colore e ↓/← per diminuirla.

Fase
Premere ↑/→ per rendere l'intera immagine di colore verdastro e ↓/← per renderla di colore rossastro.

Nitidezza
Premere ↑/→ per aumentare il livello di correzione del contorno dell'immagine; premere ↓/← per diminuirlo.

Riduz. disturbo
Imposta il livello di riduzione del disturbo della granulosità e del colore per ciascuna immagine in base a uno dei quattro livelli inclusi tra "Disatt.", "Basso", "Medio" e "Alto.".
Per ulteriori informazioni, vedere "Riduz. disturbo (Noise Reduction, riduzione del disturbo)" a pagina 31 (IT).

Immagine dinam.
Aumenta il contrasto rendendo più luminoso il bianco e più scuro il nero.
Per ulteriori informazioni, vedere "Immagine dinam." a pagina 32 (IT).

Temp. colore
Per modificare la temperatura di colore.
Per ulteriori informazioni, vedere "Temp. colore (temperatura di colore)" a pagina 32 (IT).

Correz. gamma
Imposta il bilanciamento delle aree chiare e scure delle immagini su uno dei tre livelli inclusi tra "Alto", "Medio" e "Basso".
Per ulteriori informazioni, vedere "Correz. gamma" a pagina 33 (IT).

Ripristina
Ripristina sui valori predefiniti le voci del menu Regola immagine.
Per ulteriori informazioni sulla funzione di ripristino, vedere "Ripristino delle voci del menu Regola immagine alle impostazioni originali" a pagina 34 (IT).

Menu Regola audio

È possibile effettuare la regolazione fine dell'audio.
Innanzitutto, impostare "Modo immagine" su "Utente1" a "Utente3".

Nota

Non è possibile regolare la qualità audio se “Mode immagine” è impostato su “Standard” o “Vivido”.



Acuti

Premere ↑/→ per aumentare gli acuti e ↓/← per diminuirli.

Bassi

Premere ↑/→ per aumentare i bassi e ↓/← per diminuirli.

Bilanciamento

Premendo ↑/→ il volume emesso dal lato destro viene aumentato, premendo ↓/← viene aumentato quello emesso dal lato sinistro.

Surround

La funzione surround può essere impostata su uno dei quattro livelli compresi tra “Disatt.”, “Hall”, “Simulaz.”.
Per ulteriori informazioni, vedere “Surround” a pagina 41 (IT).

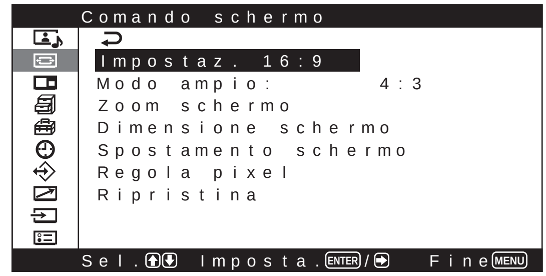
Ripristina

Ripristina sui valori predefiniti le voci del menu Regola audio.
Per ulteriori informazioni sull’uso della funzione di ripristino, vedere “Ripristino delle voci del menu Regola audio sulle impostazioni iniziali” a pagina 41 (IT).

Menu Comando schermo

Questo menu viene utilizzato per impostare le dimensioni e la posizione dell’immagine.
Il display e il modo d’uso del menu Comando schermo variano in base all’impostazione della voce Funzione MENU.
Per ulteriori informazioni, vedere “Funzione MENU” a pagina 24 (IT).

Se Funzione MENU è impostato su “Att/Dis” (impostazione predefinita)



Se Funzione MENU è impostato su “Indietro”



Impostaz. 16:9

Imposta la funzione modo a 16:9. La funzione Auto Wide (modo ampio automatico) consente di scegliere fra trasmissioni televisive ordinarie o immagini a schermo ampio, ciascuna delle quali possiede differenti proporzioni per la visualizzazione orizzontale e verticale; tale funzione consente inoltre di ingrandire automaticamente l’immagine a schermo ampio con rapporto di formato 16:9, rendendo possibile la visualizzazione appropriata per i vari tipi di immagine.
Per ulteriori informazioni, vedere “Impostazione di Auto Wide” a pagina 35 (IT).

Modo ampio

Seleziona la visualizzazione a schermo ampio in modo che corrisponda al tipo e alla dimensione dell’immagine.
Per ulteriori informazioni, vedere “Impostazione del Modo ampio” a pagina 36 (IT).

Zoom schermo

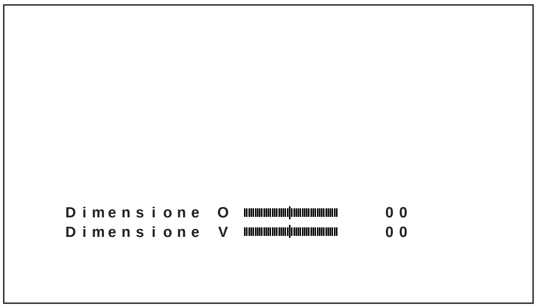
Ingrandisce l’immagine rispettivamente del doppio (×2), triplo (×3) e quadruplo (×4).

Nota

È possibile utilizzare le impostazioni di ingrandimento se il Modo ampio è impostato su “16:9”.

Menu Dimensione schermo

Questo menu viene utilizzato per regolare le dimensioni dell’immagine.
La schermata riportata di seguito viene visualizzata se la funzione MENU è impostata su “Att/Dis”.

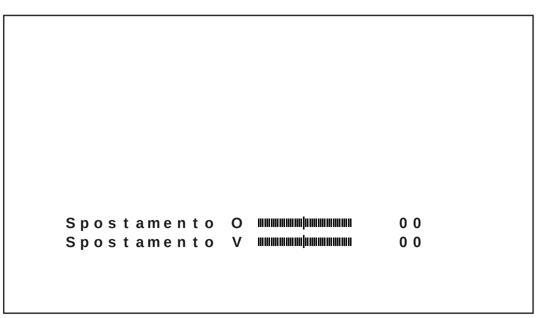


Dimensione O
Consente di regolare la dimensione orizzontale. Premere → per aumentare la dimensione orizzontale e premere ← per diminuirla.

Dimensione V
Consente di regolare la dimensione verticale. Premere ↑ per aumentare la dimensione verticale e premere ↓ per diminuirla.

Menu Spostamento schermo

Questo menu viene utilizzato per regolare la centratura dell’immagine.
La schermata riportata di seguito viene visualizzata se la funzione MENU è impostata su “Att/Dis”.



Spostamento O
Consente di regolare la centratura orizzontale. Premere → per spostare l’immagine verso destra e premere ← per spostarla verso sinistra.

Spostamento V
Consente di regolare la centratura verticale. Premere ↑ per spostare l’immagine verso l’alto e premere ↓ per spostarla verso il basso.

Menu Regola pixel

Consente di regolare i pixel dell’immagine.
È possibile effettuare la regolazione solo durante il ricevimento del segnale del computer.



Regolaz. autom.
Effettua la regolazione automatica della fase punto e del totale di pixel orizzontali.
Per ulteriori informazioni, vedere “Regolazione dei pixel” a pagina 38 (IT).

Fase punto
Consente di regolare la fase punto. Premere ↑/→ per aumentare la fase punto e premere ↓/← per diminuirla.

Tot pixel orizz
Consente di regolare il totale di pixel orizzontali. Premere ↑/→ per aumentare il totale di pixel e premere ↓/← per diminuirlo.

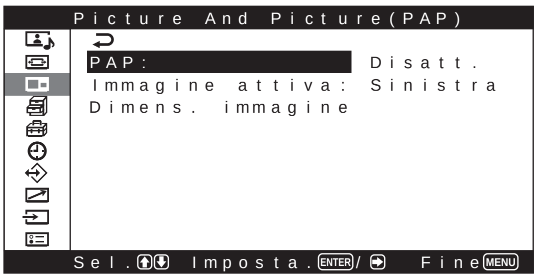
Ripristina
Ripristina sui valori predefiniti le voci del menu Regola pixel.
Per ulteriori informazioni sull’uso della funzione di ripristino, vedere “Ripristino delle voci del menu Regola pixel alle impostazioni originali” a pagina 38 (IT).

Ripristina

Ripristina sui valori predefiniti le voci del menu Comando schermo.
Per ulteriori dettagli sull’utilizzo della funzione di ripristino, vedere “Ripristino delle voci del menu Comando schermo alle impostazioni originali” a pagina 38 (IT).

Menu Picture and Picture (PAP) (Immagine e immagine)

È possibile visualizzare contemporaneamente una accanto all’altra due immagini provenienti da sorgenti di diverso tipo.

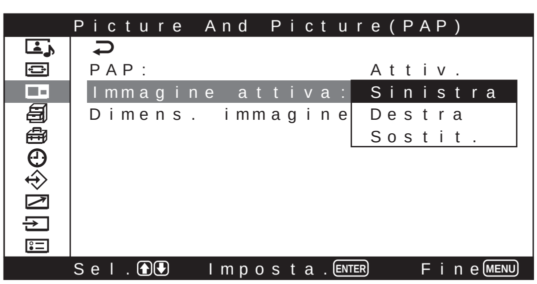


Per ulteriori informazioni, vedere “Visualizzazione di due immagini contemporaneamente” a pagina 39 (IT).

PAP
Impostare questa voce su “Attiv.” per visualizzare due immagini contemporaneamente.

Di seguito sono riportati i menu disponibili se PAP è impostato su “Attiv.”.

Attivare il menu Picture



Sinistra
Consente di attivare l’immagine sinistra per utilizzarla.

Destra
Consente di attivare l’immagine destra per utilizzarla.

Sostit.
Consente di scambiare la posizione delle due immagini.

Dimens. immagine
Consente di ingrandire una delle due immagini.

Menu Impostazione personalizz.

Consente di ridurre il consumo energetico o di impostare uno screen saver e così via.



Risparmio ener.
Utilizzato per visualizzare lo schermo nel modo di risparmio energetico.
Per ulteriori informazioni, vedere “Funzione di risparmio energetico” a pagina 29 (IT).

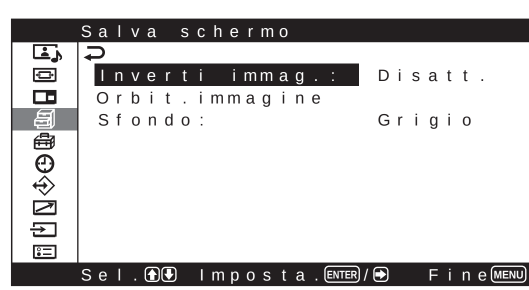
Uscita diffus.
Impostare questa voce su Attivato affinché l’audio venga emesso dai diffusori SS-SP20B (non in dotazione).

Sottotitolo
Consente di visualizzare i sottotitoli.
Per ulteriori informazioni, vedere “Visualizzazione dei sottotitoli” a pagina 29 (IT).

Display
Selezionando Attivato è possibile visualizzare per circa cinque secondi le informazioni relative al segnale di ingresso nell’angolo superiore sinistro del pannello del display quando l’alimentazione è attivata o durante la commutazione del segnale di ingresso.

Menu Salva schermo

Riduce o previene il fenomeno delle immagini residue conseguente alla visualizzazione della stessa immagine sullo schermo per un periodo prolungato.



Inverti immag.
Imposta il salva schermo per l'inversione della tonalità dell'immagine.
Per ulteriori informazioni, vedere "Funzione salva schermo" a pagina 44 (IT).

Orbit. immagine
Imposta il salva schermo in modo che la posizione dell'immagine visualizzata sul display venga automaticamente spostata allo scadere di un intervallo di tempo impostato.
Per ulteriori informazioni, vedere "Funzione salva schermo" a pagina 44 (IT).

Sfondo
Regola la luminosità dello sfondo (area in assenza di segnale video) durante l'uso dei modi 4:3 o "Picture And Picture (PAP)" (Immagine e immagine).
Per ulteriori informazioni, vedere "Funzione salva schermo" a pagina 44 (IT).

Matrice colore
Imposta la Matrice colore in modo da visualizzare le immagini in tonalità di colore naturali durante l'immissione di un segnale componente.
Per ulteriori informazioni, vedere "Regolazione della matrice di colore" a pagina 46 (IT).

Modo HD
Seleziona il modo in base al segnale componente analogico HD immesso ai connettori YUV in INPUT1 oppure all'adattatore BKM-V11 o BKM-V12.
1080I: se viene immesso un segnale 1080I
1035I: se viene immesso un segnale 1035I

Modo RGB
Seleziona il modo in base al segnale componente analogico HD trasmesso dai connettori YUV a INPUT1 o BKM-V11.
DTV: se viene immesso un segnale 1080I
PC: se viene immesso un segnale 1035I

Modo sincron.
Imposta il modo in base al segnale trasmesso al 13° piedino di RGB/YUV IN. È possibile impostare i segnali unicamente su 575/50I o 480/60I.
O/Comp: se viene immesso un segnale orizzontale o un segnale di sincronizzazione composito.*
Video: se viene immesso un segnale video
*A seconda del livello del segnale di sincronizzazione composito, è possibile che l'immagine non venga visualizzata correttamente. In questo caso, modificare l'impostazione del Modo sincron.

Segnale di ingresso e impostazioni del modo di sincronizzazione

PIN	Segnale immesso con D-sub	Impostazione del modo di sincronizzazione
13	Video composito 480/60I, 575/50I	Segnale video
	Sincronico composito	Segnale di sincronizzazione
13/14	Sincronico O/Sincronico V	
2	Sincronia su verde	

Per ulteriori informazioni sull'assegnazione dei piedini ai connettori RGB/YUV IN, vedere "Assegnazione dei piedini" a pagina 54 (IT).

Note

- Esistono alcuni segnali di immagine per cui è possibile selezionare soltanto i segnali di sincronizzazione. In tal caso, anche se mediante il connettore a 13 piedini viene immesso un segnale video, l'immagine non viene visualizzata. Immettere i segnali di sincronizzazione orizzontale/verticale attraverso i connettori a 13 o 14 piedini oppure immettere i segnali di sincronismo su verde mediante il connettore RGB.
- Con il segnale di sincronismo su verde, se l'apparecchio non è stato impostato per accettare i segnali di sincronizzazione, l'immagine non viene visualizzata.
- Non è possibile attivare le impostazioni del Modo sincron. utilizzando schede opzionali.
- Questo apparecchio non supporta i tre valori dei segnali sincronici compositi e 576/60P.

Menu Impostazione iniziale

È possibile selezionare la lingua delle informazioni a schermo e il sistema di colore oppure impostare la Funzione MENU.



Lingua

Seleziona la lingua delle indicazioni a schermo (giapponese, inglese, tedesco, francese, spagnolo o italiano).
Per ulteriori informazioni, vedere "Selezione della lingua per le indicazioni a schermo" a pagina 43 (IT).

Sistema colore

Seleziona il segnale di ingresso.

Auto: per visualizzare i segnali NTSC, PAL, SECAM/NTSC4.43 o NTSC/PAL-M/PAL-N
NTSC: per visualizzare i segnali NTSC
NTSC4.43: per visualizzare i segnali NTSC4.43
PAL: per visualizzare i segnali PAL
SECAM: per visualizzare i segnali SECAM
PAL-M: per visualizzare i segnali PAL-M
PAL-N: per visualizzare i segnali PAL-N
PAL60: per visualizzare i segnali PAL60

Se il sistema di colore è impostato su "Auto", nel livello successivo viene impostato un sistema di colore aggiuntivo in grado di effettuare la rilevazione automatica.

- Rilevazione automatica di NTSC/PAL/SECAM/NTSC4.43
- Rilevazione automatica di NTSC/PAL-M/PAL-N

Nota

Impostabile solo durante la ricezione di un segnale video.

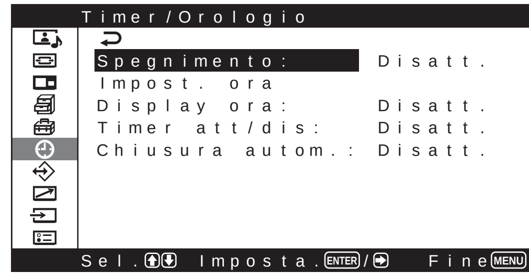
Funzione MENU

Seleziona l'operazione relativa alla pressione del tasto menu.

Att/Dis: il display del menu viene attivato e disattivato ad ogni pressione del tasto menu.
Indietro: il cursore torna al livello precedente ad ogni pressione del tasto menu.

Menu Timer/Orologio

Consente di impostare il timer, regolare l'ora, visualizzare l'orologio incorporato o impostare l'accensione/spegnimento automatici dell'apparecchio ad un'ora preimpostata.



Spegnimento

Imposta la disattivazione automatica dell'alimentazione allo scadere di un intervallo impostato. L'ora di spegnimento è impostabile tra 30, 60, 90 o 120 minuti.
Per ulteriori informazioni, vedere "Funzione spegnimento" a pagina 47 (IT).

Impost. ora

Consente di impostare l'ora.
Per ulteriori informazioni, vedere "Regolazione dell'ora" a pagina 47 (IT).

Display ora

Se impostata, questa voce consente di visualizzare l'ora sullo schermo.
Per ulteriori informazioni, vedere "Visualizzazione dell'ora" a pagina 48 (IT).

Timer att/dis

Consente di impostare l'ora di attivazione e disattivazione dell'alimentazione.
Per ulteriori informazioni, vedere "Funzione Timer att/dis" a pagina 48 (IT).

Chiusura autom.

Disattiva l'alimentazione automaticamente se nessun segnale viene immesso ai connettori INPUT1 o INPUT2 quando il modo di ingresso è impostato su RGB.
Per ulteriori informazioni, vedere "Funzione di risparmio energetico" a pagina 49 (IT).

Menu Memoria utente

Questo menu viene utilizzato per memorizzare o richiamare le impostazioni e i menu Controllo immagine/audio e Comando schermo.



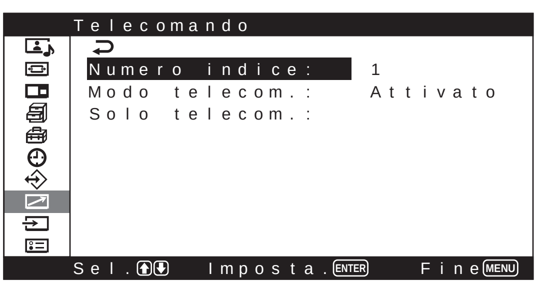
Per ulteriori informazioni, vedere "Utilizzo della funzione di memoria" a pagina 41 (IT).

Carica
Consente di richiamare le impostazioni effettuate.

Salva
Consente di salvare le impostazioni.

Menu Telecomando

Questo menu viene utilizzato per le impostazioni del telecomando.



Numero indice
Per impostare il numero indice del display.

Nota

Per impostare i numeri, utilizzare i tasti sul display. Non è possibile impostare il numero di indice mediante il telecomando.
Per ulteriori informazioni sui numeri indice, vedere "Utilizzo di un display specifico tramite il telecomando" a pagina 50 (IT).

Modo telecom.
Consente di selezionare la funzione del telecomando.
Attivato: telecomando del display Sony o del televisore
Disatt.: per disattivare l'utilizzo del telecomando.

Nota

Per cambiare il modo del telecomando, utilizzare i tasti sul display. Non è possibile cambiare il modo del telecomando mediante il telecomando stesso.

Per ulteriori informazioni, vedere "Utilizzo di altri modelli di telecomando" a pagina 52 (IT).

Solo telecom.
Per disattivare i tasti di comando sul display, selezionare Attivato. In questo modo il display può essere controllato solo tramite il telecomando. Impostare "Solo telecom." su "Dis" mediante il telecomando per annullare il modo solo telecomando.

Nota

L'impostazione di questa voce viene mantenuta anche se il cavo di alimentazione CA viene scollegato o se si attiva/disattiva il display utilizzando il telecomando. In caso di smarrimento del telecomando, è possibile disattivare il modo Solo telecom. premendo contemporaneamente i tasti POWER e MENU sul display.

Menu Selezione ingresso

Questo menu viene utilizzato per cambiare il segnale di ingresso.
Per ulteriori dettagli sul cambiamento del segnale di ingresso, vedere "Cambiamento del segnale di ingresso" a pagina 26 (IT).

Menu Stato apparecchio

Questo menu viene utilizzato per visualizzare le informazioni relative alle condizioni interne del display.



Nome Modello
Indica il nome del modello.

Numero di Serie
Indica il numero di serie.

Tempo funzionam.
Indica il numero totale delle ore di funzionamento.

Nota

Il modo di attesa non viene preso in considerazione nel Tempo funzionam.

Vers. software
Indica la versione del software del sistema.

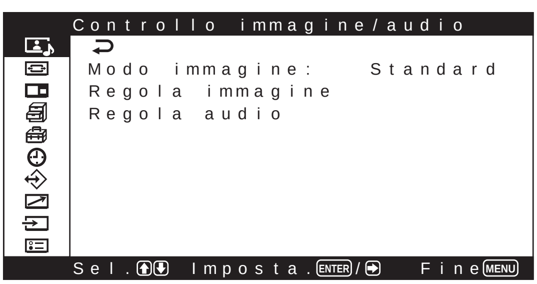
Riproduzione dell’immagine

Operazioni preliminari

- Accendere il display.
- Accendere l’apparecchio collegato e riprodurre una sorgente video.
- Quando si attiva l’alimentazione o si cambia segnale di ingresso, se si desidera visualizzare le informazioni relative al segnale di ingresso impostare “Display” nel menu Impostazione personalizz. su Attivato.
- Per selezionare la lingua utilizzata nel menu, vedere “Selezione della lingua per le indicazioni a schermo” a pagina 43 (IT).

Cambiamento del segnale di ingresso

1 Premere MENU.
Sul pannello del display viene visualizzato il menu principale.



2 Premere ↑/↓ per spostare il cursore (giallo) su “Selezione ingresso”, quindi premere ENTER o →.
Sul pannello del display vengono visualizzati il menu Selezione ingresso.



3 Premere ↑/↓ per spostare il cursore (giallo) sulla sorgente di ingresso da visualizzare, quindi premere ENTER.

INPUT1 RGB (INGRESSO RGB): per selezionare il segnale (RGB analogico) trasmesso ai connettori INPUT1.

INPUT1 YUV (INGRESSO YUV): per selezionare il segnale (componente) trasmesso ai connettori INPUT1.

INPUT2 DVI (INGRESSO DVI)* : per selezionare il segnale (RGB digitale) trasmesso ai connettori INPUT2.

VIDEO COMPOSITE: per selezionare il segnale trasmesso a COMPOSITE IN dei connettori VIDEO.

VIDEO Y/C: per selezionare il segnale trasmesso a Y/C IN dei connettori VIDEO.

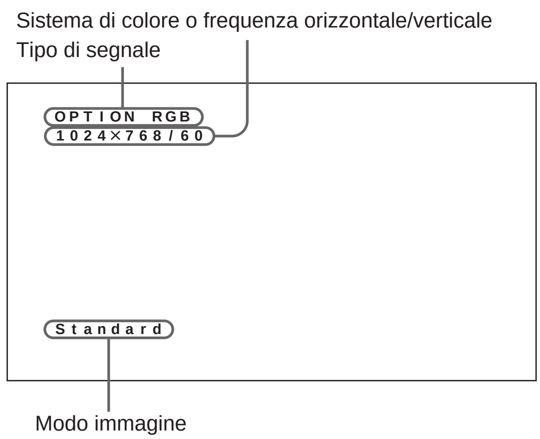
* Se viene utilizzato il PFM-42X1N, non è possibile selezionare questa voce poiché tale modello non è dotato di connettori INPUT2.

Se è installato un adattatore di ingresso RGB/ componente BKM-V11 o un adattatore active-through componente/RGB BKM-V12

OPTION YUV: per selezionare il segnale (componente) trasmesso ai connettori YUV/RGB IN.

OPTION RGB: per selezionare il segnale (RGB analogico) trasmesso ai connettori YUV/ RGB IN.

Sul pannello del display viene visualizzato il segnale di ingresso selezionato.



È possibile modificare il segnale di ingresso utilizzando il telecomando in dotazione con il display.

Note

- Come sorgente di ingresso, si consiglia di utilizzare un apparecchio video dotato di TBC (time base corrector). Se il monitor riceve un segnale privo di TBC, l'immagine potrebbe sparire a causa di disturbi generati dal segnale sincronico.
- Se da più sistemi vengono trasmessi segnali nello stesso formato, l'impostazione relativa alla qualità dell'immagine viene ripristinata sull'ultimo valore impostato (solo se i formati del segnale sono identici).

Informazioni relative al segnale di ingresso, al modo immagine e alle condizioni del display

Le informazioni relative al segnale di ingresso e al modo immagine vengono visualizzate sul pannello del display per circa cinque secondi quando l'alimentazione viene attivata o quando si cambia il segnale di ingresso.
Per disattivare questa funzione, seguire la procedura descritta di seguito.

1 Nel menu Impostazine personalizz., premere ↑/↓ per spostare il cursore (giallo) su "Display", quindi premere ENTER o ➡.
Sul pannello del display appare il seguente menu.



2 Premere ↑/↓ per impostare "Display" su "Disatt".

Per visualizzare le informazioni

Impostare "Display" su "Attivato" al punto **2** di cui sopra. L'impostazione di fabbrica è "Attivato".

Nota

È possibile visualizzare le informazioni relative al segnale di ingresso e al modo immagine ogni volta che lo si desidera premendo il tasto DISPLAY sul telecomando, senza tenere conto delle impostazioni eseguite.

Segnali di ingresso preselezionati			
	Segnale	Sistema di colore o frequenza orizzontale/verticale	
Segnali computer			
1	VGA[a)]-1 (VGA 350)	31,5 kHz	70 Hz
2	640×480@60 Hz (VESA[b)] STD)	31,5 kHz	60 Hz
3	Mac[c)] 13"	35,0 kHz	67 Hz
4	VGA (VGA TEXT)	31,5 kHz	70 Hz
5	800×600@60 Hz (VESA STD)	37,9 kHz	60 Hz
6	Mac 16"	49,7 kHz	75 Hz
7	1024×768@60 Hz (VESA STD)	48,4 kHz	60 Hz
8	1024×768@75 Hz (VESA STD)	60,0 kHz	75 Hz
9	1024×768@85 Hz (VESA STD)	68,7 kHz	85 Hz
10	1152×864@75 Hz (VESA STD)	67,5 kHz	75 Hz
11	Mac 21"	68,7 kHz	75 Hz
12	1280×960@60 Hz (VESA STD)	60,0 kHz	60 Hz
13	1280×1024@60 Hz (VESA STD)	64,0 kHz	60 Hz
14	1600×1200@60 Hz (VESA STD)*	75,0 kHz	60 Hz
15	848×480@60 Hz (VESA STD)	29,8 kHz	60 Hz
16	848×480@60 Hz (VESA STD)	29,5 kHz	60 Hz
17	848×480@75 Hz	37,7 kHz	75 Hz
18	1280×768@60 Hz	47,8 kHz	60 Hz
19	1280×768@60 Hz	47,4 kHz	60 Hz
SDTV/HDTV			
1	PAL	PAL	
2	NTSC	NTSC	
3	SECAM	SECAM	
4	NTSC4.43	NTSC4.43	
5	PAL60	PAL60	
6	PAL-M	PAL-M	
7	PAL-N	PAL-N	
8	575/50i	575/50I	
9	480/60i	480/60I	
10	1080/24psf	1080/48I	
11	1080/50i	1080/50I	
12	576/50p	576/50P	
13	480/60p	480/60P	
14	1080/60i	1080/60I	
15	720/60p	720/60P	
16	720/50p	720/50P	

a) VGA è un marchio di fabbrica registrato di International Business Machines Corporation, USA.
b) VESA è un marchio di fabbrica registrato di Video Electronics Standards Association.
c) Mac (Macintosh) è un marchio di fabbrica registrato di Apple Computer, Inc.

Note

- Se viene trasmesso un segnale HDTV, trasmettere il segnale sincronico a tre livelli al 2° piedino di RGB/YUV (D-sub a 15 piedini) del connettore INPUT 1.
- Se dopo avere trasmesso un segnale DVD alla serie PFM-42X1 il colore risulta eccessivamente chiaro, regolare l'impostazione "Colore" nel menu Regola immagine.
- Una volta effettuata la regolazione della fase, la risoluzione viene ridotta.
- Non è possibile immettere i segnali contrassegnati con * a DVI IN.

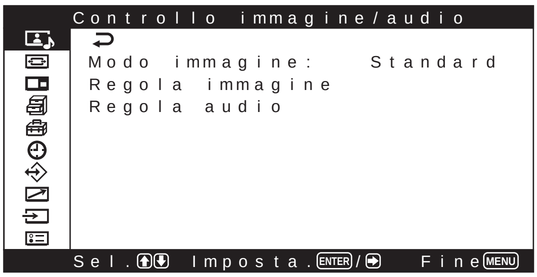
Indicazioni a schermo relative alle condizioni effettive del display

Indicazione a schermo	Significato
640×480 / 60 (eg.)	Il segnale di ingresso selezionato è computer RGB.
480 / 60P (eg.)	Il segnale di ingresso selezionato è video componente.
NTSC (eg.)	Il segnale di ingresso selezionato è NTSC.
Fuori gamma	Il segnale di ingresso non rientra nel campo di cattura.
No sincronizz.	Non vi sono segnali di ingresso.
INPUT1 RGB	Il modo del segnale di INPUT1 è impostato su RGB.
INPUT1 YUV	Il modo del segnale di INPUT1 è impostato su video componente.
VIDEO COMPOSITE	Per VIDEO è selezionato l'ingresso video composito.
VIDEO Y/C	Per VIDEO è selezionato l'ingresso video Y/C.

Modifica del modo di visualizzazione

Visualizzazione dei sottotitoli

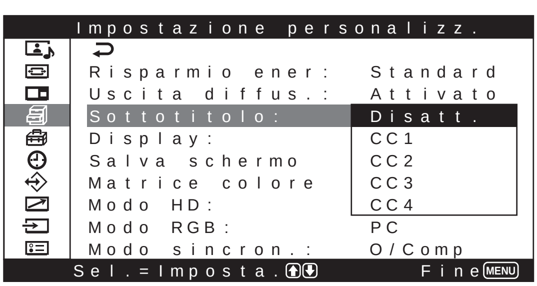
1 Premere MENU.
Sul pannello del display appare il menu principale.



2 Premere ↑/↓ per spostare il cursore (giallo) su “Impostazione personalizz.”, quindi premere ENTER o →.
Sul pannello del display appare il menu Impostazione personalizz.



3 Premere ↑/↓ per spostare il cursore (giallo) su “Sottotitolo”, quindi premere ENTER o →.
Sul pannello del display appare il seguente menu.



4 Selezionare il tipo di sottotitolo tramite ↑/↓.
Disatt.: per non visualizzare i sottotitoli.
CC1-4 : consente di visualizzare i sottotitoli.

5 Premere ENTER o ← per tornare al menu Impostazione personalizz.

Funzione di risparmio energetico

È possibile visualizzare le immagini riducendo contemporaneamente il consumo energetico.

1 Premere MENU.
Sul pannello del display viene visualizzato il menu principale.



2 Premere ↑/↓ per spostare il cursore (giallo) su “Impostazione personalizz.”, quindi premere ENTER o →.
Sul pannello del display viene visualizzato il menu Impostazione personalizz.



3 Premere ↑/↓ per spostare il cursore (giallo) su “Risparmio ener.”, quindi premere ENTER o →.
Sul pannello del display viene visualizzato il seguente menu.



4 Premere ↑/↓ per selezionare il modo Risparmio ener.
Standard: funzione di risparmio energetico disattivata
Riduci: funzione di risparmio energetico attivata
Selezionando “Riduci”, la luminosità dell’immagine viene ridotta in modo da consentire la visualizzazione delle immagini durante l’attivazione della funzione di risparmio energetico.

5 Premere ENTER o ← per tornare al menu Impostazione personalizz.

Note

- "Risparmio ener.: Riduci" viene ripristinato alla successiva accensione dell'apparecchio.
- È possibile regolare la qualità dell'immagine, anche se Risparmio ener è impostato su "Riduci". Tuttavia, se si aumenta il contrasto o la luminosità, è possibile che la funzione di risparmio energetico venga disattivata.

Selezione della qualità dell'immagine

È possibile impostare la qualità dell'immagine corretta per il tipo di immagine o di illuminazione del luogo in cui è installato l'apparecchio.

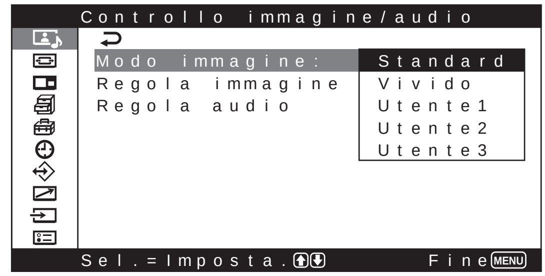
1 Premere MENU.
Sul pannello del display viene visualizzato il menu principale.



2 Premere ↑/↓ per spostare il cursore (giallo) su "Controllo immagine/audio", quindi premere ENTER o →.
Sul pannello del display viene visualizzato il menu Controllo immagine/audio.



3 Premere ↑/↓ per spostare il cursore (giallo) su "Modo immagine", quindi premere ENTER o →.
Sul pannello del display viene visualizzato il menu riportato di seguito.



4 Selezionare il modo di immagine utilizzando ↑/↓.
Standard: consente di ottenere immagini realistiche con contrasto e contorno dell'immagine moderati.
Vivido: se il contorno dell'immagine e il contrasto vengono impostati sui valori massimi, le immagini risultano più nitide.
Utente1-3: È possibile impostare la qualità dell'immagine come desiderato utilizzando il menu per la regolazione dell'immagine.

5 Premere ENTER o ← per tornare al menu Controllo immagine/audio.

Regolazione dell'immagine

Durante la visualizzazione dell'immagine è possibile regolarne il contrasto, la luminosità, il colore, la fase e così via come desiderato. Le regolazioni possono essere effettuate separatamente per ogni segnale di ingresso ed è inoltre possibile memorizzarle. Impostare il Modo immagine su una delle impostazioni "Utente1" a "Utente3".

Regolazione di contrasto, luminosità, colore, fase e così via

Premere MENU per visualizzare il menu principale sul pannello del display e selezionare "Contrasto", "Luminosità", "Colore", "Fase", "Nitidezza", "Riduz. disturbo", "Immagine dinam.", "Temp. colore" o "Correz. gamma" nel menu di regolazione dell'immagine.

Contrasto

Selezionare "Contrasto" tramite ↑/↓, quindi premere ENTER.
Regolare il contrasto tramite ↑/↓/←/→ su un livello compreso tra MIN (0) e MAX (100).

↑/→: per aumentare il contrasto dell'immagine
↓/←: per diminuire il contrasto dell'immagine

Luminosità

Selezionare "Luminosità" tramite ↑/↓, quindi premere ENTER.
Regolare la luminosità tramite ↑/↓/←/→ su un livello compreso tra MIN (–50) e MAX (+50).

↑/→: per rendere più luminosa l'immagine
↓/←: per rendere più scura l'immagine

Colore

Selezionare "Colore" tramite ↑/↓, quindi premere ENTER.
Regolare il colore tramite ↑/↓/←/→ su un livello compreso tra MIN (–100) e MAX (+100).

↑/→: per aumentare l'intensità del colore
↓/←: per diminuire l'intensità del colore

Fase

Selezionare "Fase" tramite ↑/↓, quindi premere ENTER.
Regolare la fase tramite ↑/↓/←/→ su un livello compreso tra RMax (50) e VMax (50).

↑/→: per rendere verdastra l'intera immagine
↓/←: per rendere rossastra l'intera immagine

Nitidezza

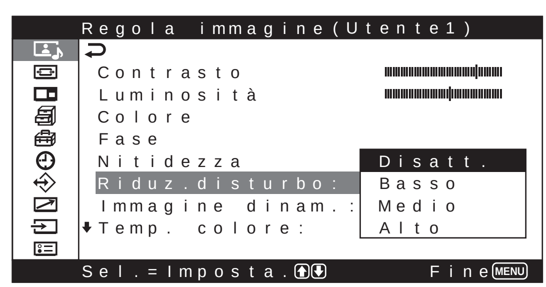
Selezionare "Nitidezza" utilizzando ↑/↓, quindi premere ENTER.
Regolare la nitidezza utilizzando ↑/↓/←/→ secondo la gamma compresa tra MIN (–10) e MAX (+10).

↑/→: per aumentare la nitidezza dell'immagine
↓/←: per diminuire la nitidezza dell'immagine

Riduz. disturbo (Noise Reduction, riduzione del disturbo)

Consente di ridurre i disturbi della granulosità e del colore dell'immagine.

1 Selezionare "Riduz. disturbo" utilizzando ↑/↓, quindi premere ENTER o →.
Sul pannello del display viene visualizzato il-seguente menu.



2 Selezionare il modo Riduz.disturbo tramite ↑/↓.
Disatt.: il segnale dell'immagine viene visualizzato direttamente.
Basso: per impostare l'elaborazione Riduz.disturbo su un livello basso
Medio: per impostare l'elaborazione Riduz.disturbo su un livello medio
Alto: per impostare l'elaborazione Riduz.disturbo su un livello alto

3 Premere ENTER o ← per tornare al menu Regola immagine.

Immagine dinam.

Aumenta il contrasto rendendo più luminoso il bianco e più scuro il nero.

1 Selezionare "Immagine dinam." utilizzando ↑/↓, quindi premere ENTER o →.
Sul pannello del display viene visualizzato il seguente menu.



2 Selezionare il modo Immagine dinam. tramite ↑/↓.
Attivato: la funzione Immagine dinam. viene utilizzata
Disatt.: la funzione Immagine dinam. non viene utilizzata

3 Premere ENTER o ← per tornare al menu Regola immagine.

Temp. colore (temperatura di colore)

Per impostare la temperatura di colore è possibile selezionare "Freddo", "Neutro" o "Caldo" oppure regolare con maggiore accuratezza ogni guadagno. È possibile registrare fino a sei temperature di colore regolate e rinominarle con nomi di un massimo di sei caratteri.

1 Selezionare "Temp colore" tramite ↑/↓, quindi premere ENTER o →.

2 Selezionare la temperatura di colore tramite ↑/↓, quindi premere ENTER.
Freddo: per impostare una temperatura di colore elevata
Neutro: per impostare la temperatura di colore su un valore neutro
Caldo: per impostare una temperatura di colore bassa
Utente1 – 3: per impostare i valori relativi a ciascun guadagno separatamente

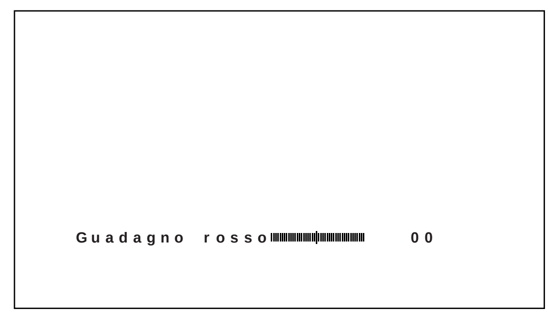
Se si seleziona "Caldo", "Neutro" o "Freddo", il monitor torna al menu Regola immagine.

Se si seleziona da "Utente1" a "Utente3"

Se si seleziona da "Utent1" a "Utente3", sul pannello del display appare il seguente menu.



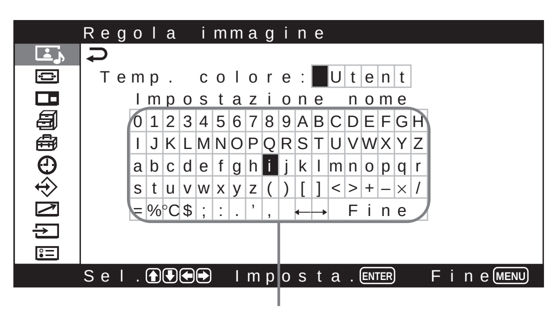
(1) Premere ↑/↓ per spostare il cursore (giallo) sulla voce di guadagno che si desidera impostare, quindi premere ENTER o →.
Viene visualizzato il seguente menu sul display.



(2) Regolare il guadagno (da –15 a +15) mediante ↑/↓/←/→, quindi premere ENTER.
Il menu torna al menu Temp. colore.

Se si assegna un nuovo nome alla temperatura di colore regolata, seguire la procedura descritta nei punti seguenti.

(3) Premere ↑/↓ per spostare il cursore (giallo) su "Impostazione nome", quindi premere ENTER.
Viene visualizzato il seguente menu sul display.



Elenco dei caratteri

(4) Selezionare un carattere o un simbolo nell'elenco dei caratteri mediante ↑/↓/←/→, quindi premere ENTER. Il carattere selezionato viene inserito. Se viene immesso un carattere o un simbolo errato, selezionare "←" sullo schermo per spostare il cursore indietro di un carattere, quindi selezionare di nuovo il carattere o il simbolo corretto.
Se "Funzione MENU" (pagina 24 (IT)) nel menu Impostazione iniziale è stato impostato su "Indietro", mediante i tasti ↑/↓ del telecomando è possibile spostare il cursore verso sinistra e verso destra. Per spostare il cursore verso l'alto e verso il basso mediante i tasti ↑/↓, impostare "Funzione MENU" su "Att/Dis".

(5) Ripetere le operazioni dei punti (4), selezionare "Fine" dopo aver immesso il nome, quindi premere ENTER.
Viene di nuovo visualizzato il menu Temp. colore.

Correz. gamma

Consente di regolare in modo automatico il bilanciamento tra le parti luminose e scure delle immagini.

1 Selezionare "Correz. gamma" utilizzando ↑/↓, quindi premere ENTER o →.
Sul pannello del display viene visualizzato il seguente menu.



2 Selezionare il modo relativo alla correzione della gamma tramite ↑/↓.
Alto: per impostare la correzione della gamma su un valore alto
Medio: per impostare la correzione della gamma su un valore medio
Basso: per impostare la correzione della gamma su un valore basso

3 Premere ENTER o ← per tornare al menu Regola immagine.

Note
- Le impostazioni di Colore e Fase non sono disponibili con il segnale RGB.
- L'impostazione di Fase non è disponibile con un segnale componente.
- L'impostazione di Fase non è disponibile con una sistema di colore PAL, PAL-M, PAL-N, PAL60 o SECAM.
- Non è possibile regolare Colore e Fase se viene trasmesso un segnale in bianco e nero.

Ripristino delle voci del menu Regola immagine alle impostazioni originali

1 Nel menu Regola immagine, premere ↑/↓ per spostare il cursore (giallo) su "Ripristina", quindi premere ENTER.
Sul pannello del display appare il seguente menu.



2 Premere ↑/↓ per spostare il cursore (giallo) su "Esegui", quindi premere ENTER.
Le voci del menu Regola immagine vengono ripristinate sui valori predefiniti.

Per annullare la funzione di ripristino

Premere MENU prima di ENTER.
In alternativa, selezionare "Annulla" utilizzando ↑/↓, quindi premere ENTER.

Ingrandimento dell'immagine

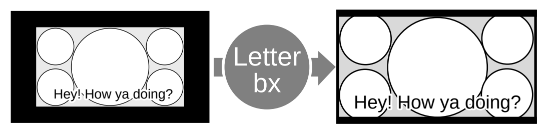
Consente di ingrandire l'immagine in base alle proprie esigenze.
Per il Modo ampio sono disponibili le seguenti possibilità di selezione.

Immagini originali (tipo immagine)	**Immagini ingrandite**



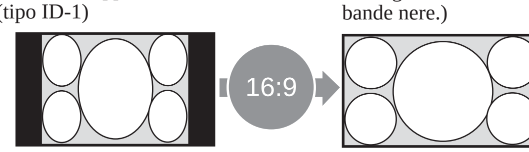
Le immagini con rapporto di formato 4:3 appaiono naturali se ingrandite a schermo pieno quando viene utilizzata la funzione di zoom ampio (rapporto di formato: 4:3).

Ingrandisce le immagini a schermo pieno con rapporto di formato 4:3 in immagini con rapporto di formato 16:9.



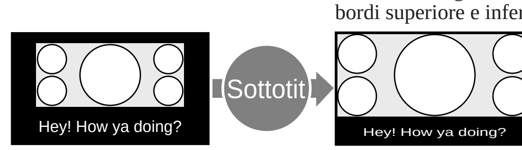
- Film girati in VistaVision e così via che appaiono allungati nel senso orizzontale dello schermo e contengono sottotitoli all'interno dell'immagine (rapporto di formato: 1,85:1)
- Immagini di video camere o DVD contenenti informazioni relative al rapporto di formato (tipo ID-1)

Durante l'allineamento con i lati destro e sinistro dello schermo, le immagini vengono ingrandite a schermo pieno. (A seconda dell'immagine, è possibile che sulle parti inferiore e superiore dello schermo rimangano visualizzate delle bande nere.)



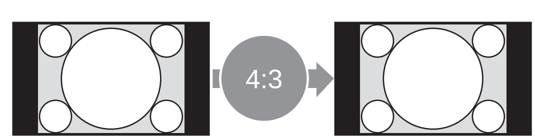
Immagini di video camere o DVD contenenti informazioni relative al rapporto di formato (tipo ID-1)

I bordi destro e sinistro dell'immagine vengono ingranditi a schermo pieno senza che vengano modificati i bordi superiore e inferiore.



Film girati in CinemaVision e così via che appaiono allungati nel senso orizzontale dello schermo e contengono sottotitoli all'esterno dell'immagine (rapporto di formato: 2,35:1)

L'immagine viene visualizzata sullo schermo comprimendo unicamente l'area di visualizzazione delle sottotitoli ingrandendo a schermo pieno le dimensioni ed effettuando l'allineamento con i bordi destro e sinistro dello schermo.



Le immagini vengono visualizzate nel formato originale 4:3 senza essere ingrandite quando vengono impostare su "4:3" ("4:3" è l'impostazione di fabbrica) e la funzione 16:9 autom. è impostata su Attivato.

Consente di visualizzare l'immagine senza effettuare ingrandimenti.

Impostazione di Auto Wide

La funzione Auto Wide consente di riprodurre immagini in base al segnale di controllo di identificazione o di ingrandire in modo ottimale vari tipi di immagine, indipendentemente da tale segnale.

Segnale di controllo di identificazione

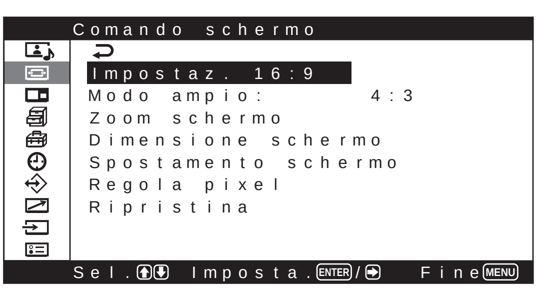
Si tratta di un segnale di controllo per la riproduzione fedele del rapporto di formato dell'immagine orginale su uno schermo. Di seguito vengono riportate le immagini contenenti questo tipo di segnale:

- Immagini registrate mediante una videocamera contenente informazioni sul rapporto di formato (formato ID-1)
- Trasmissioni televisive contenenti un segnale che consente di impostare il rapporto di formato su 4:3.

1 Premere MENU.
Sul pannello del display viene visualizzato il menu principale.



2 Premere ↑/↓ per spostare il cursore (giallo) su "Comando Schermo", quindi premere ENTER o →.
Sul pannello del display viene visualizzato il menu Comando schermo.



3 Premere ↑/↓ per spostare il cursore (giallo) su "Impostaz. 16:9", quindi premere ENTER o →.
Sul pannello del display viene visualizzato il seguente menu.



4 Premere ↑/↓ per spostare il cursore (giallo) su "16:9 autom.", quindi premere ENTER o →.
Sul pannello del display viene visualizzato il seguente menu.



5 Selezionare un'impostazione di 16:9 autom. (modo ampio automatico) utilizzando il tasto ↑/↓.
Disatt.: Le immagini vengono riprodotte fedelmente.
Attivato: L'immagine viene ingrandita e visualizzata nel rapporto di formato più appropriato.

6 Premere ENTER o ←.
Viene visualizzato di nuovo il menu Impostaz. 16:9.

7 Selezionare "Modo 4:3" utilizzando ↑/↓, quindi premere ENTER.
Sul pannello del display viene visualizzato il seguente menu.



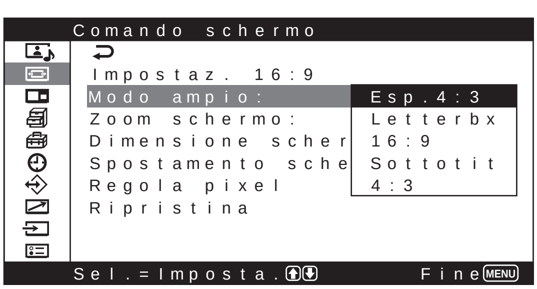
8 Selezionare il Modo 4:3 utilizzando ↑/↓.
4:3: Le immagini con rapporto di formato 4:3 vengono visualizzate fedelmente.
Esp. 4:3: Le immagini con rapporto di formato 4:3 vengono visualizzate dopo essere state ingrandite in immagini con rapporto di formato 16:9. (in assenza di un segnale di controllo discriminante).

9 Premere ENTER o ←.
Viene visualizzato di nuovo il Impostaz. 16:9.

Impostazione del Modo ampio

È inoltre possibile ingrandire le immagini in base al modo zoom desiderato, indipendentemente dal tipo di immagine. Se il segnale viene immesso da un computer, è possibile selezionare "16:9" o "4:3".

1 Nel menu Comando schermo, premere ↑/↓ per spostare il cursore (giallo) su "Modo ampio", quindi premere ENTER o →.
Sul pannello del display viene visualizzato il seguente menu.



2 Selezionare il Modo ampio utilizzando ↑/↓.
Esp. 4:3: ingrandisce le immagini a schermo pieno con rapporto di formato 4:3 in immagini con rapporto di formato 16:9.
Letterbx: consente di ingrandire completamente l'immagine sui bordi sinistro e destro dello schermo. (A seconda dell'immagine, è possibile che sulle parti inferiore e superiore dello schermo rimangano visualizzate delle bande nere.)
16:9: consente di ingrandire i lati sinistro e destro dell'immagine su tutto lo schermo senza modificare le parti superiore e inferiore.
Sottotit: consente di ingrandire completamente l'immagine sui bordi sinistro e destro dello schermo e di ridurre l'area in cui sono visualizzate i sottotitoli.
4:3: consente di visualizzare l'immagine senza effettuare ingrandimenti.

3 Premere ENTER o ←.
Viene visualizzato di nuovo il menu Comando schermo.

Note

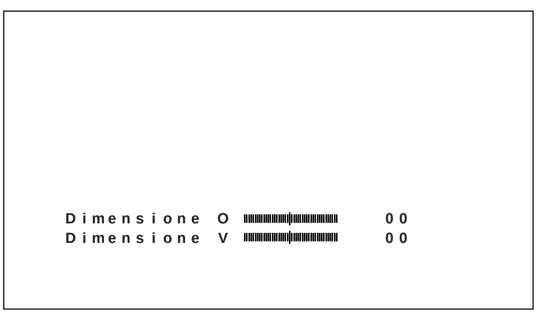
- Se si imposta il Modo ampio, la funzione 16:9 autom. (modo ampio automatico) viene disattivata. Se si desidera utilizzare la funzione 16:9 autom., reimpostarla su "Attivato" .
- A seconda del tipo e delle dimensioni dell'immagine, è possibile che la parte superiore o inferiore dell'immagine venga tagliata.
- L'uso di immagini ingrandite/ridotte a fini commerciali o per la visione pubblica in hotel o caffetterie potrebbe violare le normative sul copyright definite nel Copyright Act.

Modifica delle dimensioni e della posizione dell’immagine

È possibile spostare la posizione dell’immagine in modo che si adatti allo schermo oppure regolarne separatamente le dimensioni verticali e orizzontali.
Il funzionamento indicato nel presente manuale è relativo allo stato in cui il tasto Menu è impostato su “Att/Dis”. Per ulteriori informazioni, vedere “Menu Comando schermo” a pagina 20 (IT).

Modifica delle dimensioni dell’immagine

1 Nel menu Comando schermo, premere ↑/↓ per spostare il cursore (giallo) su “Dimensione schermo”, quindi premere ENTER.
Sul pannello del display appare il seguente menu.

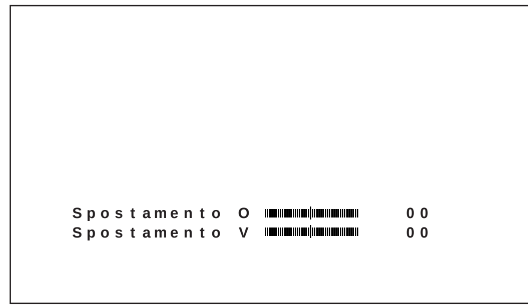


2 Regolare le dimensioni verticale e orizzontale dell’immagine utilizzando i tasti ↑/↓/←/→.
←/→: regola la dimensione orizzontale dell’immagine
↑/↓: regola la dimensione verticale dell’immagine
La dimensione orizzontale dell’immagine viene visualizzata sullo schermo secondo i valori di regolazione compresi tra Min (–30) e Max (+30).
La dimensione verticale dell’immagine viene visualizzata sullo schermo secondo i valori di regolazione compresi tra Min (–30) e Max (+30).
L’impostazione predefinita è 00.

3 Premere ENTER.
Viene visualizzato di nuovo il menu Comando schermo.

Regolazione della posizione dell’immagine

1 Nel menu Comando schermo, premere ↑/↓ per spostare il cursore (giallo) su “Spostamento schermo”, quindi premere ENTER.
Sul pannello del display appare il seguente menu.



2 Spostare l’immagine verticalmente o orizzontalmente utilizzando ↑/↓/←/→.
←/→: sposta l’immagine verso sinistra e verso destra
↑/↓: sposta l’immagine verso l’alto e verso il basso
La posizione orizzontale dell’immagine viene visualizzata sullo schermo secondo i valori di regolazione compresi tra SMax (30) e DMax (30).
La posizione verticale dell’immagine viene visualizzata sullo schermo secondo i valori di regolazione compresi tra BMax (30) e AMax (30).
L’impostazione predefinita è 00.

3 Premere ENTER.
Viene visualizzato di nuovo il menu Comando schermo.

Regolazione dei pixel

Se i bordi dei caratteri o delle linee verticali risultano eccessivamente disturbati, è possibile regolare la fase dei punti e il numero totale di pixel orizzontali.

Nota

Questa voce dipende dal segnale del computer utilizzato.

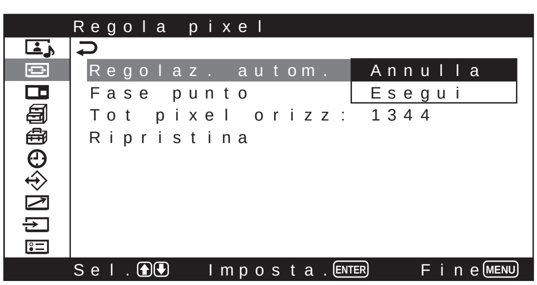
1 Nel menu Comando schermo, premere ↑/↓ per spostare il cursore (giallo) su “Regola pixel”, quindi premere ENTER.
Sul pannello del display appare il seguente menu.



2 È possibile regolare la fase dei punti e il numero totale di pixel orizzontali automaticamente o manualmente.

Regolazione automatica

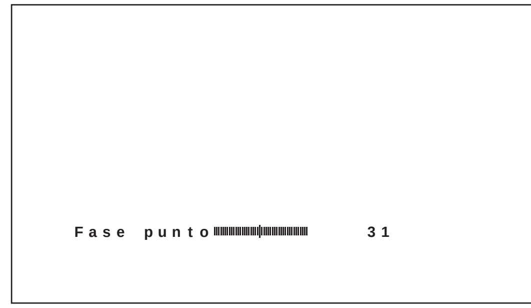
(1) Selezionare “Regolaz. autom.” tramite ↑/↓, quindi premere ENTER.
Sul pannello del display appare il seguente menu.



(2) Selezionare “Esegui” tramite ↑/↓, quindi premere ENTER.
La fase dei punti e il numero totale di pixel orizzontali vengono regolati automaticamente.

Regolazione manuale

(1) Selezionare “Fase punto” o “Tot pixel orizz” tramite ↑/↓ o ←/→, quindi premere ENTER.
Sullo schermo viene visualizzato quanto segue (se viene selezionato “Fase punto”).



(2) Regolare la fase dei punti o il numero totale di pixel orizzontali tramite ↑/↓ o ←/→, quindi premere ENTER.

Nota

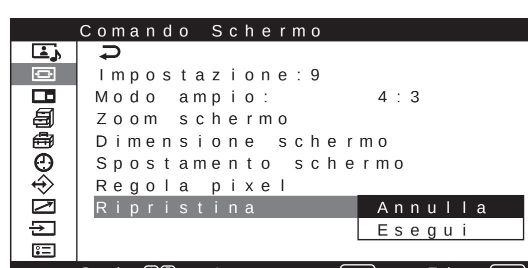
A causa dei motivi dell’immagine, è possibile che i disturbi proseguano anche se viene utilizzata la funzione Regolaz. autom. In tal caso, tentare di regolare la fase dei punti manualmente.

Ripristino delle voci del menu Regola pixel alle impostazioni originali

Nel menu Regola pixel, premere ↑/↓ per spostare il cursore (giallo) su “Ripristina”, quindi premere ENTER. Selezionare “Esegui” tramite ↑/↓, quindi premere ENTER.

Ripristino delle voci del menu Comando schermo alle impostazioni originali

1 Nel menu Comando schermo, premere ↑/↓ per spostare il cursore (giallo) su “Ripristina”, quindi premere ENTER.
Sul pannello del display appare il seguente menu.



2 Premere ↑/↓ per spostare il cursore (giallo) su "Esegui", quindi premere ENTER.
Le voci del menu Comando schermo vengono riportate ai valori iniziali.

Per annullare la funzione di ripristino
Premere MENU prima di ENTER.
In alternativa, selezionare "Annulla" utilizzando ↑/↓, quindi premere ENTER.

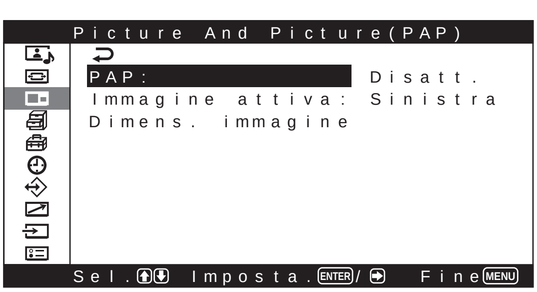
Visualizzazione di due immagini contemporaneamente

È possibile visualizzare contemporaneamente una accanto all'altra due immagini provenienti da sorgenti di diverso tipo. È inoltre possibile passare al modo "Picture And Picture (PAP)" (Immagine e immagine) premendo il tasto ENTER, quindi il tasto INPUT1 sul telecomando.

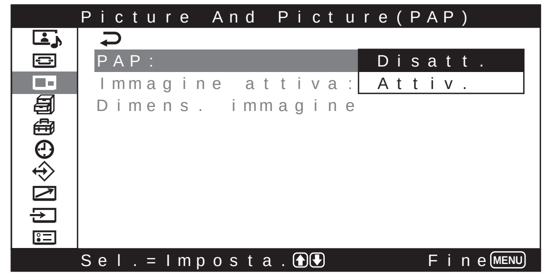
1 Premere MENU.
Sul panello del display appare il menu principale.



2 Premere ↑/↓ per spostare il cursore (giallo) su "Picture And Picture (PAP)" (Immagine e immagine), quindi premere ENTER o →.
Il menu Picture And Picture (PAP) viene visualizzato sullo schermo.



3 Premere ↑/↓ per spostare il cursore (giallo) su "PAP", quindi premere ENTER o →.
Sullo schermo appare il seguente menu.



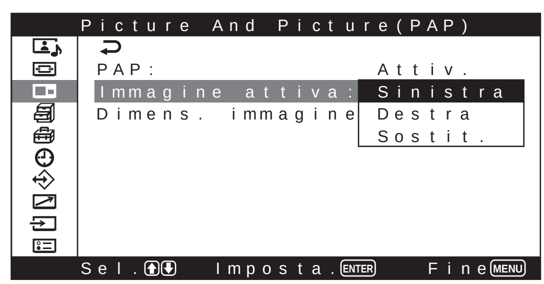
4 Selezionare "Attiv." utilizzando ↑/↓.

5 Premere ENTER o ← per tornare alla schermata precedente.

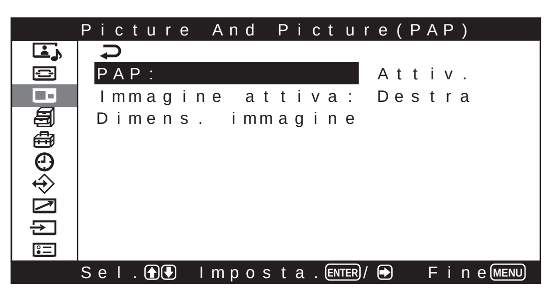
Attivazione di un'immagine

Attivare una delle due immagini per utilizzarla (se si desidera utilizzare l'immagine destra).

1 Premere ↑/↓ per spostare il cursore (giallo) su "Immagine attiva", quindi premere ENTER o →.
Sullo schermo appare il seguente menu.

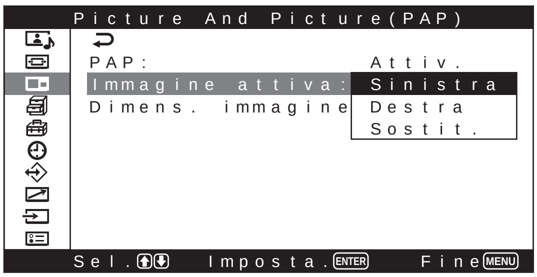


2 Selezionare "Destra" utilizzando ↑/↓, quindi premere ENTER.
È ora possibile utilizzare l'immagine destra.



Inversione della posizione di due immagini

1 Premere ↑/↓ per spostare il cursore (giallo) su “Immagine attiva”, quindi premere ENTER.
Sullo schermo appare il seguente menu.



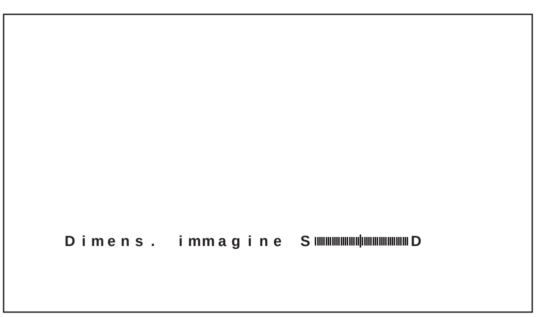
2 Selezionare “Sostit.” utilizzando ↑/↓, quindi premere ENTER.
La posizione delle due immagini viene invertita.

Nota

Convenzionalmente, l’immagine visualizzata a sinistra è definita “immagine sinistra”, mentre quella visualizzata a destra “immagine destra”.

Ingrandimento di un’immagine

1 Premere ↑/↓ per spostare il cursore (giallo) su “Dimens. immagine”, quindi premere ENTER.



2 Tenere premuto ←/→ per modificare le dimensioni delle immagini.

3 Premere ENTER per effettuare l’impostazione.

Note

- È possibile passare al modo “Picture And Picture (PAP)” (Immagine e immagine) premendo il tasto ENTER, quindi il tasto INPUT1 sul telecomando.
- Di seguito viene mostrata la combinazione dei segnali le cui immagini possono essere visualizzate una accanto all’altra.

	RGB digitale**	RGB analogico	Componente	Y/C	Composito
RGB digitale**	-	-	Supportata	Supportata	Supportata
RGB analogico	-	-	Supportata*	Supportata	Supportata
Componente	Supportata	Supportata*	-	Supportata	Supportata
Y/C	Supportata	Supportata	Supportata	-	-
Composito	Supportata	Supportata	Supportata	-	-

* Combinazione dei segnali trasmessi tramite il connettore INPUT1 dell’apparecchio e gli adattatori BKM-V11 o BKM-V12 opzionali

** Il modello PFM-42X1N non è dotato di connettori di ingresso digitale.

Regolazione della qualità dell’audio

Se è installato un diffusore SS-SP20B (non in dotazione), è possibile regolare il livello degli acuti e dei bassi, nonché il bilanciamento del volume del diffusore (parti sinistra e destra). Inoltre, è possibile impostare il modo surround.

Regolazione degli acuti, dei bassi, del bilanciamento e così via

Premere MENU per visualizzare il menu principale sul pannello del display, selezionare “Acuti”, “Bassi”, “Bilanciamento” o “Surround” nel menu Regola audio.

Acuti

Selezionare “Acuti” utilizzando ↑/↓, quindi premere ENTER.
Utilizzando ↑/↓/←/→, regolare gli acuti entro la gamma compresa tra MIN (–50) e MAX (+50).
↑/→: per aumentare gli acuti
↓/←: per diminuire gli acuti

Bassi

Selezionare “Bassi” utilizzando ↑/↓, quindi premere ENTER.
Utilizzando ↑/↓/←/→, regolare i bassi entro la gamma compresa tra MIN (–50) e MAX (+50).
↑/→: per aumentare i bassi
↓/←: per diminuire i bassi

Bilanciamento

Selezionare "Bilanciamento" utilizzando ↑/↓, quindi premere ENTER.
Utilizzando ↑/↓/←/→, regolare il bilanciamento entro la gamma compresa tra LEFT (50) e RIGHT (50).
↑/→: per aumentare il volume nella parte destra
↓/←: per aumentare il volume nella parte sinistra

Surround

Selezionare il modo surround in base al tipo di immagine.

1 Selezionare "Surround" utilizzando ↑/↓, quindi premere ENTER.

2 Selezionare il modo surround utilizzando ↑/↓, quindi premere ENTER.
Disatt.: nessun modo surround
Hall: per ottenere un effetto audio stereo per programmi musicali o film.
Simulaz.: per dare ai programmi monofonici ordinari o ai notiziari un senso di realismo grazie ad un audio stereo simulato.

Ripristino delle voci del menu Regola audio sulle impostazioni iniziali

1 Nel menu Regola audio, premere ↑/↓ per spostare il cursore (giallo) su "Ripristina", quindi premere ENTER o →.
Sul pannello del display viene visualizzato il seguente menu.



2 Premere ↑/↓ per spostare il cursore (giallo) su "Esegui", quindi premere ENTER.
Le voci del menu Regola audio vengono ripristinate sui valori predefiniti.

Per annullare la funzione di ripristino
Premere MENU prima di ENTER.
In alternativa, selezionare "Annulla" utilizzando ↑/↓, quindi premere ENTER.

Utilizzo della funzione di memoria

È possibile salvare le impostazioni dell'immagine corrente per ciascun segnale di ingresso utilizzando la funzione Memoria. Se necessario, le impostazioni salvate possono essere ripristinate. È possibile memorizzare le impostazioni effettuate nei menu Controllo immagine/audio e Comando schermo.
Le impostazioni delle immagini possono essere salvate per un massimo di venti segnali di ingresso ed è inoltre possibile assegnare nomi di un massimo di 6 caratteri alle impostazioni delle voci.

Memorizzazione dell'impostazione corrente

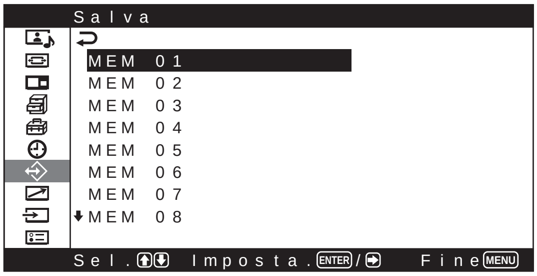
1 Premere MENU.
Sul pannello del display viene visualizzato il menu principale.



2 Premere ↑/↓ per spostare il cursore (giallo) su "Memoria utente", quindi premere ENTER o →.
Sul pannello del display appare il menu Memoria utente.



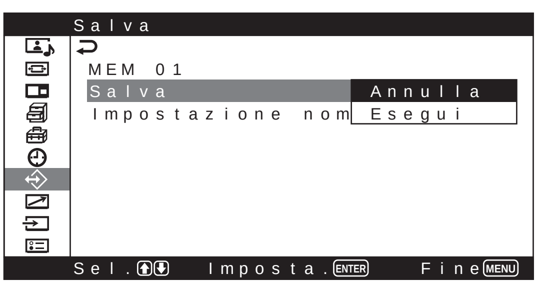
3 Premere ↑/↓ per spostare il cursore (giallo) su "Salva", quindi premere ENTER o →.
Sul pannello del display appare il seguente menu.



4 Selezionare un numero di memoria (da 01 a 20) tramite ↑/↓, quindi premere ENTER o →.
Sul pannello del display appare il seguente menu.



5 Premere ↑/↓ per spostare il cursore (giallo) su "Salva", quindi premere ENTER o →.
Sul pannello del display appare il seguente menu.



6 Premere ↑/↓ per spostare il cursore (giallo) su "Esegui", quindi premere ENTER.
I dati correnti vengono memorizzati in corrispondenza del numero di memoria selezionato.

Per assegnare un nome alle impostazioni, seguire la procedura descritta di seguito.

7 Premere ↑/↓ per spostare il cursore (giallo) su "Impostazione nome", quindi premere di nuovo ENTER.
Sullo schermo del monitor appare il seguente menu.



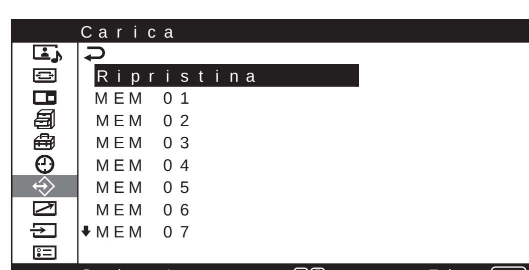
Elenco dei caratteri

8 Selezionare un carattere o un simbolo nell'elenco dei caratteri mediante ↑/↓/←/→, quindi premere ENTER. Il carattere selezionato viene inserito. Se viene immesso un carattere o un simbolo errato, selezionare "←" sullo schermo per spostare il cursore indietro di un carattere, quindi selezionare di nuovo il carattere o il simbolo corretto.
Se "Funzione MENU" (pagina 24 (IT)) nel menu Impostazione iniziale è stato impostato su "Indietro", mediante i tasti ↑/↓ del telecomando è possibile spostare il cursore verso sinistra e verso destra. Per spostare il cursore verso l'alto e verso il basso mediante i tasti ↑/↓, impostare "Funzione MENU" su "Att/Dis".

9 Ripetere il punto **8**, selezionare "Fine" dopo avere terminato l'inserimento del nome, quindi premere ENTER.
Viene nuovamente visualizzato il menu Salva.

Richiamo delle impostazioni memorizzate

1 Nel menu Memoria utente, premere ↑/↓ per spostare il cursore (giallo) su "Carica", quindi premere ENTER o →.
Sul pannello del display appare il seguente menu.



2 Spostare il cursore sul numero di memoria (da 01 a 20) dell'impostazione che si desidera richiamare utilizzando i tasti ↑/↓.
Il valore di regolazione memorizzato viene richiamato.

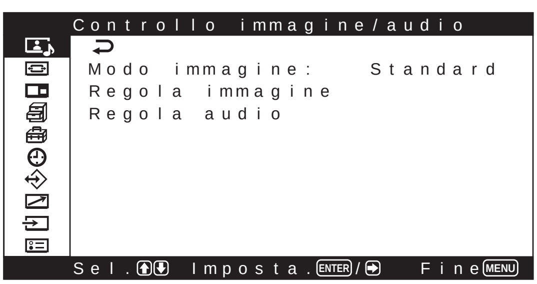
Per ripristinare il valore precedente
Spostare il cursore su "Ripristina".

3 Premere il tasto ENTER o ←.
Viene nuovamente visualizzato il menu Memoria utente.

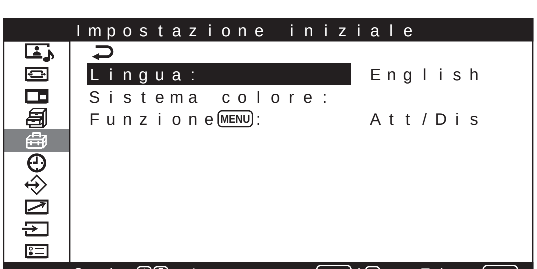
Selezione della lingua per le indicazioni a schermo

Le lingue disponibili per le indicazioni a schermo sono il giapponese, l'inglese, il tedesco, il francese, lo spagnolo e l'italiano.

1 Premere MENU.
Sul pannello del display viene visualizzato il menu principale.



2 Premere ↑/↓ per spostare il cursore (giallo) su "Impostazione iniziale", quindi premere ENTER o →.
Sul pannello del display appare il menu Impostazione iniziale.



3 Premere ↑/↓ per spostare il cursore (giallo) su "Lingua", quindi premere ENTER o →.
Sul pannello del display appare il seguente menu.



4 Premere ↑/↓ per spostare il cursore (giallo) sulla lingua desiderata.
Le indicazioni a schermo vengono visualizzate nella lingua selezionata.
日本語**:** giapponese
ENGLISH: inglese
DEUTSCH: tedesco
FRANÇAIS: francese
ESPAÑOL: spagnolo
ITALIANO: italiano

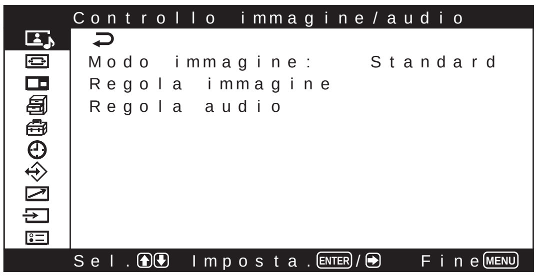
5 Premere ENTER o ← per tornare al menu Impostazione iniziale.

Funzione salva schermo

Se viene visualizzata per un lungo periodo di tempo un'immagine con luminosità costante o un fermo immagine, come accade con le immagini visualizzate su un computer, un'immagine residua potrebbe imprimersi sul display.
Per correggere o limitare questo fenomeno, l'apparecchio è dotato di una funzione di salvaschermo.
Sono disponibili tre tipi di salvaschermo:
uno inverte i toni del colore dell'immagine (Inverti Immag.), uno sposta automaticamente l'immagine sullo schermo ad intervalli preimpostati (Orbit. immagine) e l'altro regola la luminosità dello sfondo in assenza di segnale video durante l'uso del modo "4:3" o "Picture And Picture (PAP)" (Immagine e immagine) (Sfondo).

Inversione dei toni di colore dell'immagine

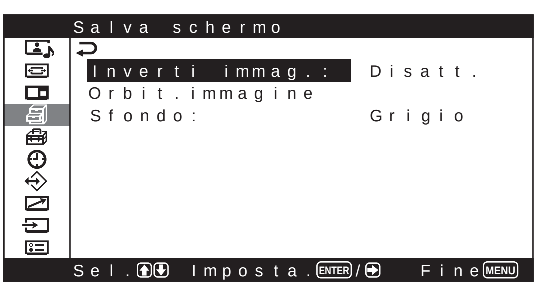
1 Premere MENU.
Sul pannello del display viene visualizzato il menu principale.



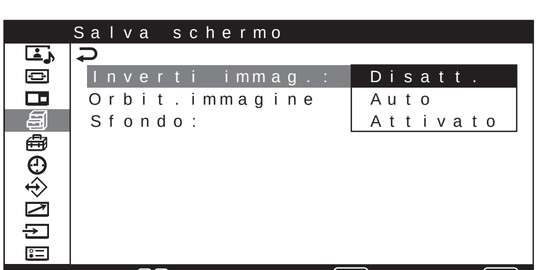
2 Premere ↑/↓ per spostare il cursore (giallo) su "Impostazione personalizz.", quindi premere ENTER o →.
Sul pannello del display appare il menu Impostazione personalizz.



3 Premere ↑/↓ per spostare il cursore (giallo) su "Salva Schermo", quindi premere ENTER o →.
Sul pannello del display appare il seguente menu.



4 Premere ↑/↓ per spostare il cursore (giallo) su "Inverti immag.", quindi premere ENTER.
Sul pannello del display appare il seguente menu.

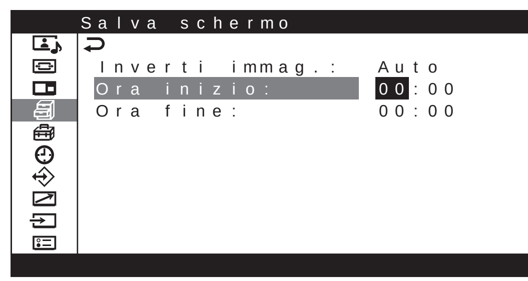


5 Selezionare il modo Inverti immag. tramite ↑/↓.
Disatt.: per impostare Inverti immag. su Disatt.
Auto: per eseguire automaticamente la funzione Inverti immag. una volta al giorno.
Attivato: Inverte i toni di colore dell'immagine

Se viene selezionato "Auto", quindi viene premuto ENTER, verrà visualizzato il seguente menu.



(1) Premere ↑/↓ per spostare il cursore (giallo) su "Ora inizio", quindi premere ENTER. Viene visualizzato il seguente menu e lo sfondo dell'ora viene visualizzato in giallo.



(2) Impostare l'ora in cui si desidera che l'immagine venga capovolta tramite ↑/↓, quindi premere ENTER.
Viene immessa l'impostazione dell'ora e lo sfondo dei minuti viene visualizzato in giallo.

(3) Impostare i minuti tramite ↑/↓, quindi premere ENTER. I minuti vengono impostati. Premere ← per tornare alla schermata visualizzata al punto **5**.
Se vengono utilizzati i tasti sull'apparecchio, premere il tasto MENU per chiudere il menu e impostare "Funzione MENU" (pagina 24 (IT)) nel menu Impostazione iniziale su "Indietro". Il tasto MENU sull'apparecchio ha la stessa funzione del tasto ←.

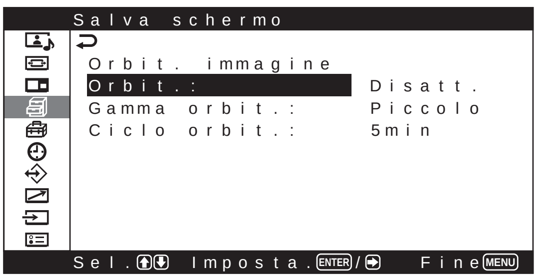
(4) Allo stesso modo, impostare l'ora in cui si desidera che la funzione Inverti immag. venga disattivata.
L'immagine visualizzata viene capovolta all'ora impostata in Ora inizio e torna alla posizione originale all'ora impostata in Ora fine. Questo ciclo viene eseguito automaticamente una volta al giorno.

Nota

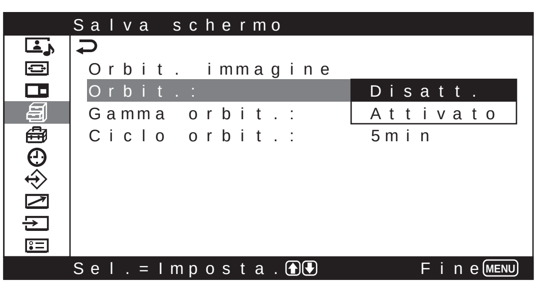
Se si impostano Ora inizio e Ora fine sulla stessa ora, l'impostazione di Ora inizio ha priorità su quella di Ora fine e il display non torna alla posizione originale all'ora preimpostata in Ora fine.

Modifica automatica della posizione dell'immagine visualizzata

1 Nel menu Salva schermo, premere ↑/↓ per spostare il cursore (giallo) su "Orbit. immagine", quindi premere ENTER o ➡.
Sul pannello del display appare il seguente menu.



2 Premere ↑/↓ per spostare il cursore (giall) su "Orbit.", quindi premere ENTER o ➡.
Sul pannello del display appare il seguente menu.

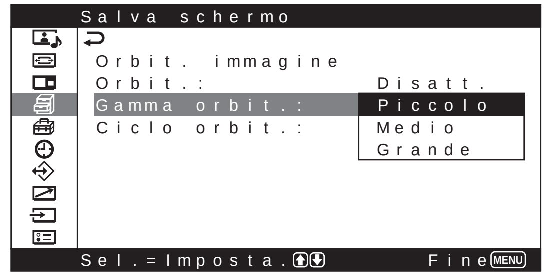


3 Selezionare il modo Orbit. tramite ↑/↓.
Disatt.: per annullare la funzione Orbit. immagine.
Attivato: per impostare la funzione Orbit. immagine.

4 Premere ENTER o ⬅.
Il monitor torna al menu Orbit. immagine.

5 Selezionare "Gamma orbit." (distanza di movimento) o "Ciclo orbit." (tempo) tramite ↑/↓, quindi premere ENTER.
È possibile selezionare i seguenti valori:
Gamma orbit.: Piccolo, Medio, Grande
Ciclo orbit.: 10sec, 30sec, 1min, 5min

Sul pannello del display appare il seguente menu (Se viene selezionato "Gamma orbit.")



6 Regolare Gamma orbit. o Ciclo orbit. tramite ↑/↓.

7 Premere ENTER o ⬅ per tornare alla schermata precedente.

Quando Inverti immag. e Orbit. immagine sono impostati su Attivato

Se la funzione Orbit. immagine è attivata mentre l'immagine è capovolta, questa viene visualizzata mentre cambia posizione.

Regolazione della luminosità dello sfondo (area in assenza di segnale video)

Durante l'uso del modo "4:3" o "Picture And Picture (PAP)" (Immagine e immagine), se vi è un'eccessiva differenza tra la luminosità dell'area dell'immagine e quella dello sfondo (area in assenza di segnale video), è possibile che si verifichi l'effetto di persistenza delle immagini. Onde evitare tale fenomeno, è possibile regolare la luminosità dello sfondo.

1 Nel menu Salva Schermo, premere ↑/↓ per spostare il cursore (giallo) su "Sfondo", quindi premere ENTER ➡.
Sul pannello del display viene visualizzato il seguente menu.



2 Selezionare la luminosità dello sfondo tramite ↑/↓.
L'impostazione predefinita è il colore grigio.

3 Premere ENTER o ⬅ per tornare alla schermata precedente.

Regolazione della matrice di colore

È possibile impostare la matrice di colore in modo che le immagini vengano visualizzate con colori naturali se all’adattatore di ingresso componente viene trasmesso un segnale in formato 480P(525P), 1080I(1125I) o 720P(750P).

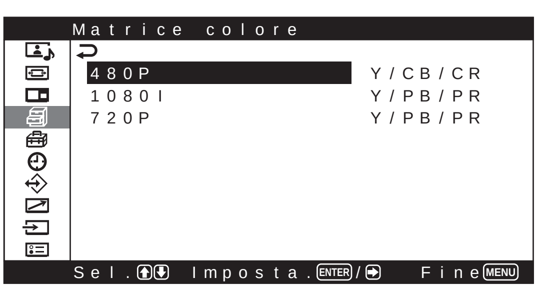
1 Premere MENU.
Il menu principale compare sul display.



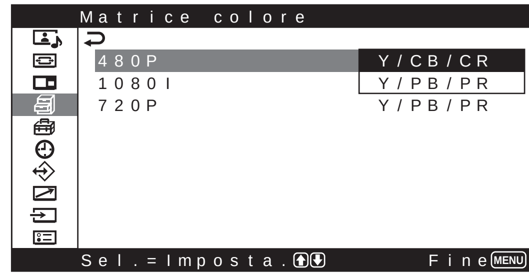
2 Premere ↑/↓ per spostare il cursore (giallo) su “Impostazione personalizz.”, quindi premere ENTER o →.
Il menu Impostazione personalizz. compare sul display.



3 Premere ↑/↓ per spostare il cursore (giallo) su “Matrice colore”, quindi premere ENTER o →.
Viene visualizzato il seguente menu sul display.



4 Selezionare il formato del segnale mediante ↑/↓, quindi premere ENTER o →.
Viene visualizzato il seguente menu sul display.



5 Selezionare la matrice di colore mediante ↑/↓.
Y/CB/CR: se il formato del segnale è 480P.
Y/PB/PR: se il formato del segnale è 1080I o 720P.

Consultare le istruzioni per l’uso in dotazione con ciascun dispositivo per ulteriori dettagli relativi all’impostazione corretta.

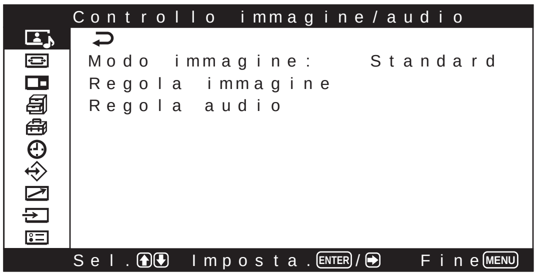
6 Premere ENTER o ← per tornare alla schermata precedente.

Controllo automatico dell’alimentazione attivata/disattivata (funzione di controllo dell’alimentazione)

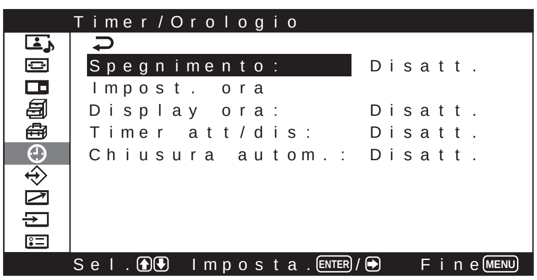
Il presente display dispone di tre funzioni di controllo dell’alimentazione. È possibile impostarlo in modo che l’alimentazione venga disattivata automaticamente se non vi è alcun segnale in ingresso (funzione di risparmio energetico).; oppure è possibile impostare l’ora di attivazione o disattivazione automatica del monitor (Timer att/dis). Inoltre, è possibile utilizzare una funzione di risparmio energetico che consente di disattivare automaticamente l’alimentazione dopo un periodo di tempo prestabilito anche durante l’uso dello schermo.

Funzione spegnimento

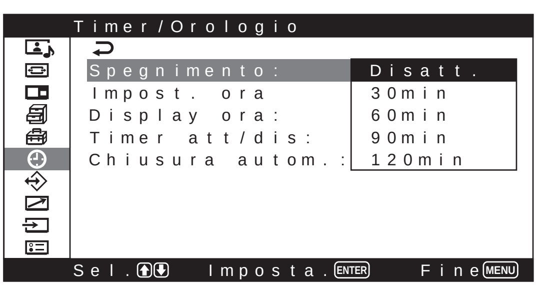
1 Premere MENU.
Sul pannello del display viene visualizzato il menu principale.



2 Premere ↑/↓ per spostare il cursore (giallo) su “Timer/Orologio”, quindi premere ENTER o →.
Sul pannello del display viene visualizzato il menu Timer/Orologio.



3 Premere ↑/↓ per spostare il cursore (giallo) su “Spegnimento”, quindi premere ENTER o →.
Sul pannello del display viene visualizzato il seguente menu.

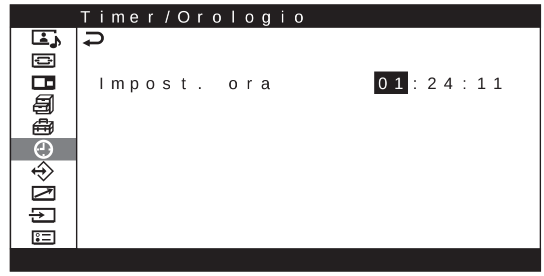


4 Utilizzando ↑/↓, selezionare il periodo di tempo dopo il quale si desidera che l’alimentazione venga disattivata.
Disatt.: l’alimentazione non viene disattivata.
30 min: l’alimentazione viene disattivata dopo 30 minuti.
60 min: l’alimentazione viene disattivata dopo 60 minuti.
90 min: l’alimentazione viene disattivata dopo 90 minuti.
120 min: l’alimentazione viene disattivata dopo 120 minuti.

5 Premere ENTER o ← per tornare alla schermata precedente.

Regolazione dell’ora

1 Nel menu Timer/Orologio, premere ↑/↓ per spostare il cursore (giallo) su “Impost. ora”, quindi premere ENTER o →.
Viene visualizzato il seguente menu e il colore dello sfondo dell’orologio diventa giallo.



2 Regolare l’ora mediante ↑/↓, quindi premere ENTER.
L’impostazione per l’ora viene effettuata e lo sfondo dei minuti viene visualizzato in giallo.

3 Regolare nello stesso modo i minuti, quindi premere ENTER.
Vengono impostati i minuti e lo sfondo dei secondi diventa giallo.

4 Premere ENTER.
I secondi vengono azzerati.

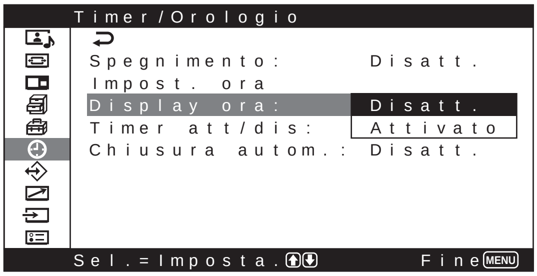
5 Premere MENU.
Il display torna alla schermata normale. Se è necessario effettuare ulteriori regolazioni, oppure se è necessario effettuare di nuovo l’impostazione, ripetere la procedura descritta a partire dal punto **1**.

Nota

Se la visualizzazione dell’ora appare troppo lenta, è possibile che la batteria interna si stia scaricando. Per sostituire la batteria, rivolgersi al proprio rivenditore Sony autorizzato.

Visualizzazione dell’ora

1 Nel menu Timer/Orologio, premere ↑/↓ per spostare il cursore (giallo) su “Display ora”, quindi premere ENTER.
Sul pannello del display viene visualizzato il seguente menu.



2 Selezionare “Attivato” tramite ↑/↓.
Quando il menu non viene visualizzato, l’orologio appare nell’angolo inferiore destro del pannello.

Se viene premuto il tasto DISPLAY sul telecomando, l’orologio visualizzato nell’angolo dello schermo del pannello scompare e vengono visualizzati nella stessa posizione il segnale di ingresso corrente e il Modo immagine. Se viene premuto di nuovo il tasto DISPLAY, viene nuovamente visualizzato l’orologio. Se le informazioni rimangono visualizzate senza alcuna azione per circa 10 secondi, scompaiono automaticamente.
“Display ora : Attivato” non viene salvato dopo che l’apparecchio viene spento.

Funzione Timer att/dis

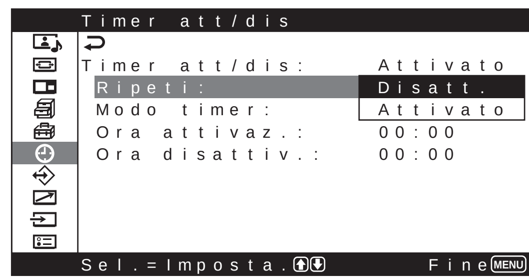
1 Nel menu Timer/Orologio, premere ↑/↓ per spostare il cursore (giallo) su “Timer att/dis”, quindi premere ENTER.
Sul pannello del display appare il seguente menu.



2 Selezionare “Attivato” tramite ↑/↓, quindi premere ENTER.
Sul pannello del display appare il seguente menu.



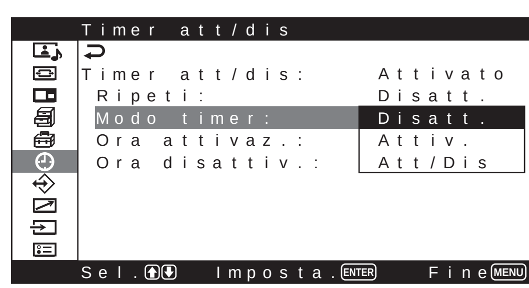
3 Selezionare “Ripeti” tramite ↑/↓, quindi premere ENTER o →.
Sul pannello del display viene visualizzato il seguente menu.



4 Selezionare il modo di ripetizione utilizzando ↑/↓.
Disatt.: l’alimentazione viene attivata/disattivata solo una volta
Attivato: l’alimentazione viene attivata/disattivata alla stessa ora preimpostata ogni giorno.

5 Premere ENTER o ←.
Viene visualizzato di nuovo il menu Timer att/dis.

6 Selezionare “Modo timer” tramite ↑/↓, quindi premere ENTER o →.
Sul pannello del display viene visualizzato il seguente menu.



7 Premere ↑/↓ per selezionare il modo del timer.
Disatt.: l'alimentazione viene disattivata all'ora impostata utilizzando Ora disattiv.
Attiv.: l'alimentazione viene attivata all'ora impostata utilizzando Ora attivaz.
Att/Dis: l'alimentazione viene attivata all'ora impostata utilizzando Ora attivaz. e disattivata all'ora impostata utilizzando Ora disattiv.

8 Premere ENTER o ←.
Viene visualizzato di nuovo il menu Timer att/dis.

9 Premere ↑/↓ per spostare il cursore (giallo) su "Ora attivaz.", quindi premere ENTER o →.
Sul pannello del display viene visualizzato il seguente menu.
Lo sfondo delle ore diventa giallo.



10 Premere ↑/↓ per impostare l'ora, quindi premere ENTER o →.
L'ora viene impostata e lo sfondo dei minuti diventa giallo.

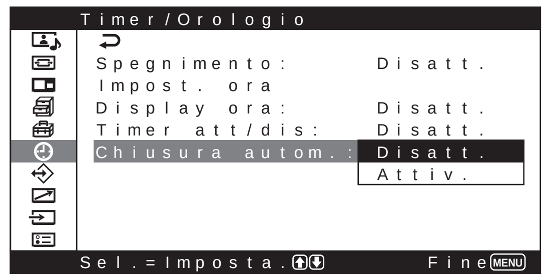
11 Premere ↑/↓ per impostare i minuti, quindi premere ENTER.
Premere ← per tornare alla schermata visualizzata al punto **2**.
Se vengono utilizzati i tasti sull'apparecchio, premere il tasto MENU per chiudere il menu e impostare "Funzione MENU" (pagina 24 (IT)) nel menu Impostazione iniziale su "Indietro". Il tasto MENU sull'apparecchio ha la stessa funzione del tasto ←.

12 Premere ↑/↓ per spostare il cursore (giallo) su "Ora disattiv.", quindi premere ENTER.
Effettuare la stessa procedura per impostare l'ora e i minuti per l'attivazione dell'alimentazione.

Funzione di risparmio energetico

Disattiva automaticamente l'alimentazione se non vi è alcun segnale in ingresso ai connettori INPUT1 o INPUT2 quando il modo di ingresso è impostato su RGB.

1 Nel menu Timer/Orologio, premere ↑/↓ per spostare il cursore (giallo) su "Chiusura autom.", quindi premere ENTER o →.
Sul pannello del display appare il seguente menu.



2 Premere ↑/↓ per selezionare l'intervallo di tempo che deve trascorrere prima dell'attivazione del modo di risparmio energetico.
Disatt.: per non attivare la funzione di risparmio energetico.
Attiv.: la funzione di risparmio energetico si attiva.

Nota

È possibile selezionare l'ingresso durante il modo di risparmio energetico.

L'indicatore ON si illumina in arancione quando l'apparecchio si trova nel modo di risparmio energetico.

3 Premere ENTER o ← per tornare alla schermata precedente.

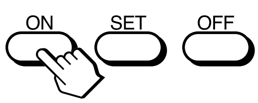
Per disattivare la funzione di risparmio energetico

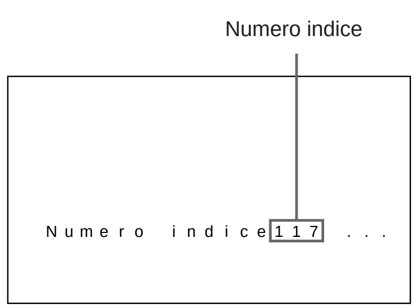
Immettere di nuovo il segnale o premere l'interruttore ⏻ nella sezione interruttore / indicatore ⏻ (attesa) oppure l'interruttore POWER ON sul telecomando.

Utilizzo di un display specifico tramite il telecomando

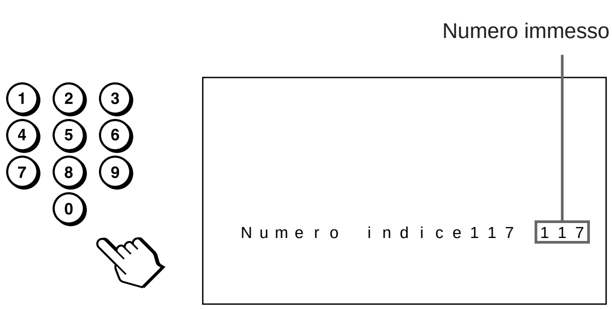
Tramite il telecomando in dotazione è possibile utilizzare un display specifico senza influenzare altri display installati contemporaneamente.

1 Premere ID MODE ON sul telecomando.
I numeri di indice del display vengono visualizzati in caratteri bianchi su tutti i display (ad ogni display viene assegnato un numero indice preimpostato da 1 a 255).
Per ulteriori informazioni, vedere “Modifica del numero indice” a pagina 51 (IT).

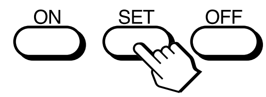




2 Inserire il numero indice del display che si desidera utilizzare utilizzando i tasti da 0 a 9 sul telecomando.
Il numero inserito viene visualizzato accanto al numero indice di ciascun display.

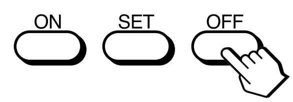


3 Premere ID MODE SET.
I caratteri sul display selezionato diventano verdi mentre gli altri caratteri diventano rossi.



È possibile utilizzare solo il display specificato. (Il modo di accensione/attesa si riferisce anche agli altri display.)

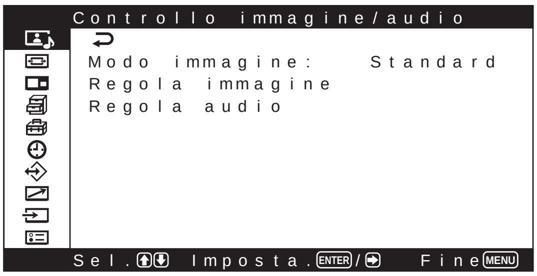
4 Una volta completate tutte le modifiche delle impostazioni, premere il tasto ID MODE OFF.
Il display torna al modo normale.



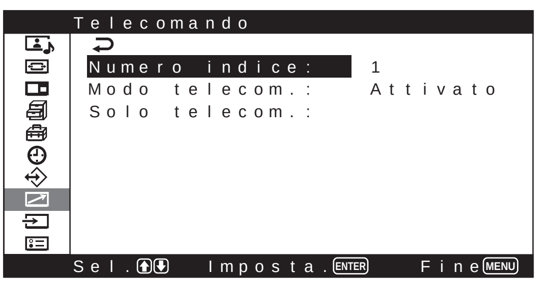
Modifica del numero indice

Se necessario è possibile cambiare il numero indice. Per cambiare il numero, utilizzare i tasti presenti sulla sezione tasti di controllo del display.

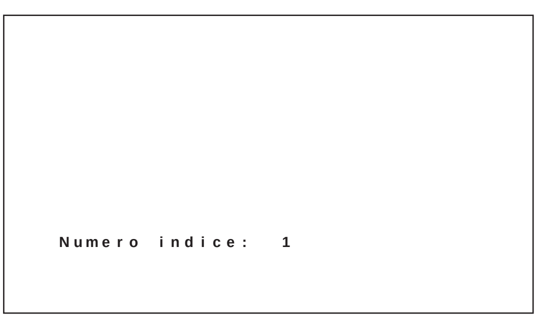
1 Premere MENU.
Sul pannello del display viene visualizzato il menu principale.



2 Premere ↑/↓ per spostare il cursore (giallo) su "Telecomando", quindi premere ENTER.
Sul pannello del display appare il menu Telecomando.



3 Premere ↑/↓ per spostare il cursore (giallo) su "Numero indice", quindi premere ENTER.
Sul pannello del display appare il seguente menu.



4 Selezionare il numero indice tramite ↑/↓, quindi premere ENTER.
Il monitor torna al menu Telecomando.

Utilizzo di altri modelli di telecomando

Quanto descritto di seguito può essere effettuato utilizzando altri modelli di telecomando.
- Attivazione/disattivazione dell'alimentazione
- Selezione dell'ingresso
- Utilizzo dei menu
- Regolazione dell'immagine: contrasto, fase e colore
- Attivazione/disattivazione delle indicazioni a schermo

Le funzioni disponibili e i tasti da utilizzare dipendono da ciascun telecomando che si utilizza. Vedere la seguente tabella.

Modello telecomando		**RM-921**
Impostazione MODO TELEC		**Attivato**
Selezione dell'ingresso	INPUT1	RGB1
	INPUT2	RGB2
	VIDEO	LINE
Utilizzo dei menu	MENU	MENU
	ENTER	ENTER
	⬆	⬆
	⬇	⬇
Regolazione dell'immagine	Contrasto	CONTRAST +/–
	Colore	CHROMA
	Fase	—
Informazioni a schermo		DISPLAY

Caratteristiche tecniche

Elaborazione video

Segnali preimpostati
vedere a pagina 28 (IT).
Frequenza di campionamento
da 13,5 MHz a 140 MHz
Pannello Pannello con display al plasma tipo CA
Risoluzione del display
1.024 punti (orizzontale) × 768 linee (verticale)
Passo dei pixel 0,90 (orizzontale) × 0,676 (verticale) mm
Dimensioni dell'immagine
920,1 (orizzontale) × 518,4 (verticale) mm
Dimensioni del pannello
42 pollici (diagonale 1.058 mm)

Ingressi e uscite

INPUT1
RGB/YUV D-sub a 15 piedini (femmina) (×1) *(vedere "Assegnazione dei piedini" a pagina 54 (IT).)*
AUDIO Minipresa stereo (×1) 500 mVrms, alta impedenza

INPUT2[1)]
DVI DVI-HDCP (conforme alle specifiche del software DVI Rev. 1.0)
AUDIO Minipresa stereo (×1) 500 mVrms, alta impedenza

CONTROL S IN/OUT

AUDIO OUT
Minipresa stereo (×1)

REMOTE (RS-232C)
D-sub a 9 piedini (×1)

VIDEO (NTSC, PAL, SECAM, NTSC4.43, PAL60, PAL-M, PAL-N)[2)]
COMPOSITE IN
Tipo BNC (×1)
Video composito, 1 Vp-p ±2 dB sincronismo negativo, a 75 ohm (terminazione automatica)
COMPOSITE OUT
Tipo BNC (×1) a ciclo aperto
Y/C IN Mini DIN a 4 piedini (×1)
Y (luminanza): 1 Vp-p ±2 dB sincronismo negativo, con terminazione a 75 ohm
C (crominanza): segnale di sincronizzazione 0,286 Vp-p ±2 dB (NTSC), con terminazione a 75 ohm
Segnale di sincronizzazione 0,3 Vp-p ±2 dB (PAL), con terminazione a 75 ohm
AUDIO IN Presa a piedini (×2) 500 mVrms, alta impedenza

DIFFUSORE 7 W + 7 W (6 ohm), impedenza non bilanciata diretta : 6-16 ohm

Adattatore di ingresso componente/RGB BKM-V11 (Non in dotazione)

YUV/RGB IN
YUV/RGB Tipo BNC (×5)
AUDIO Presa a piedini (×2) 500 m Vrms, alta impedenza

Adattatore active-through componente/ RGB BKM-V12 (non in dotazione)

RGB/YUV ACTIVE THROUGH
RGB/YUV IN D-sub a 15 piedini (femmina) (×1)
AUDIO IN Minipresa stereo (×1) 500 m Vrms, alta impedenza
RGB/YUV OUT D-sub a 15 piedini (femmina) (×1)

Generali

Requisiti di alimentazione
da 100 a 240 V CA, 50/60 Hz, 4,2 a 1,8 A
Consumo energetico
400 W

1) Il modello PFM-42X1N non è dotato di connettori INPUT2.
2) Il modello PFM-42X1N non è dotato di connettori VIDEO. Per PFM-42X1N, i segnali di ingresso video compositi e Y/C possono essere immessi nel caso in cui nell'apparecchio sia installato l'adattatore di ingresso video BKM-V10 (non in dotazione).

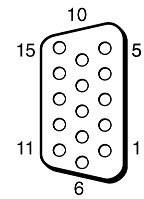
Condizioni di utilizzo
Temperatura: da 0 °C a 35 °C
Umidità: da 20% a 90% (senza formazione di condensa)
Pressione atmosferica: da 800 a 1.100 hPa
Condizioni di conservazione/trasporto
Temperatura: da –10 °C a +40 °C
Umidità: da 20% a 90% (senza formazione di condensa)
Pressione atmosferica: da 700 a 1.100 hPa
Dimensioni 1.033 × 631 × 102 mm (l/a/p, escluse le parti sporgenti)
Peso 29,7 kg

Accessori in dotazione
Cavo di alimentazione CA (1)
Ferma spina CA (2)
Cavo del segnale RGB (DVI-D) digitale: TMDS (a collegamento singolo) (1)*
Fermacavo (4)
Telecomando RM-971 (1)
Pile R6 (formato AA) (2)
Istruzioni per l'uso (1)
* Ad eccezione del modello PFM-42X1N

Accessori opzionali
Supporto SU-42B per display
Diffusore SS-SP20B
Adattatore di ingresso video BKM-V10
Adattatore di ingresso componente/RGB BKM-V11
Adattatore active-through componente/RGB BKM-V12

Normative sulla sicurezza
UL1950, CSA N. 950 (c-UL), FCC Class B, IC Class B, EN60 950 (NEMKO), CE, C-Tick

Il design e le caratteristiche tecniche sono soggetti a modifiche senza preavviso.



N. piedino	Segnale
1	Video rosso oppure R-Y o P_R
2	Video verde o Y o Sinc su verde
3	Video blu oppure B-Y o P_B
4	Terra
5	Terra
6	Terra rosso
7	Terra verde
8	Terra blu
9	Non in uso
10	Terra
11	Terra
12	SDA
13	Sincronismo H o composito
14	Sincronismo V
15	SCL

警告

为避免引发意外的火灾或遭受雷击的危险，请勿将本机置于雨点所及或者潮湿的地方。

输出插座应安装于装置附近使用方便的地方。

关于搬运

搬运本机时请抓住显示器本身，切勿抓住扬声器。否则，扬声器可能会脱落，而本机也可能随之落下。这会导致受伤。

注意

如果用错误型号的电池进行更换会有爆炸的危险。请按照说明处理用过的电池。

目录

CS
中文

使用前须知

安全方面

- 指示工作电压、功耗等的铭牌位于本机背面。
- 万一有异物或液体进入机内，请拔下本机的电源插头，并经维修人员检查之后方可继续使用。
- 如果数日以上不使用本机，请从墙上电源输出插座拔下本机的电源插头。
- 拔取电源线时，请拿住插头拔出，切勿拉扯电源线。
- 将本机落地安装时，务必使用选购的支架。

安装方面

- 保证良好的空气流通以防内部积热。请勿将本机放在地毯、毛毯等上面或窗帘、帏幔旁边，否则通风孔会受阻。
- 请勿将本机安装在靠近散热器或排气管等热源之处，以及受阳光直射、多尘、有机械振动或冲击之处。
- 在本机周围安装多台装置时，根据本机和其他装置的位置，可能会发生遥控器误操作、图像杂波、噪声等问题。
- 如果在显示器附近使用红外线装置（如红外线无绳耳机或麦克风），则通信可能发生故障。请使用非红外线无绳耳机或麦克风。同样，如果您要使用红外线通信装置，请将它从显示器附近移开直至噪音消除，或者使红外线通信装置的发射机和接收机互相靠近。

PDP（等离子体显示面板）

- 有些暗点或亮点（红、蓝或绿）残留在屏幕上，但这并非故障。虽然等离子显示屏是精密装置，但仍会出现若干暗的或亮的像素点。屏幕的边缘有暗点，或不规则彩色和亮的条纹并不表示故障。
- 请勿在屏幕上长时间显示相同的图像，否则，图像的某部分可能出现残影和重影。请使用屏幕保护功能补偿屏幕显示器的使用。
- 因为此等离子体显示面板的制造方法，当将它用于高海拔等低气压的地方时，可能会从本机发出嗡嗡的噪音。
- 如果长时间在屏幕上显示相同的图像，图像的某部分可能出现残影和重影。为避免出现此现象，请使用屏幕保护功能以补偿整个屏幕的使用。如果出现重影，请使用屏幕保护功能，或使用某些视频软件或图像软件以在屏幕上提供连续的动作。如果出现轻微重影（残影），效果可能不明显，一旦出现残影，将不会完全消失。
- 为保护等离子显示，在切换至 ON/STANDBY（开／待机）后的一段时间内，本机不从遥控器或本机上的功能键接收指令。操作结束后，请等待大约 8 秒钟再输入指令。

清洁方面

为保持机壳一往如新，请定期用中性洗涤液进行清洁。切勿使用诸如稀释剂或汽油等烈性溶剂或研磨粉，否则会损伤机壳。为安全起见，请在清洁本机前拔下电源插头。

关于显示屏的使用和清洁

当使用或清洁电视机时应特别当心显示屏特殊的表面涂层。清洁时，请用干净的软布擦拭，避免直接接触显示屏。

重新包装方面

请保存原装的纸箱和包装填料，它们是您搬运本机的理想包装箱。将本机搬运到其他地方时，请按照纸箱上的图示重新包装。

如果有关于本机的任何问题，请与授权的 Sony 经销商联系。

特性

PFM-42X1 是采用 PDP（等离子体显示面板）的 16:9 42 英寸平面显示器，它利用内置扫描转换器可以接收各种类型的信号。

明亮而清晰的图像

PFM-42X1 使用明亮的等离子体显示面板（1024 点 × 768 行），可以从各种图像源再现明亮而清晰的图像。

数字高图像质量电路

对所有图像信号进行一致的数字处理，实现高质量图像的可靠再现。

音频放大器和扬声器输入插座

此显示器装备高音质数字式放大器，与选购的扬声器配合使用时，将向您提供更为有效的演示。

其他特性

- 扬声器输出（L/R）插座
- 控制 S（IN/OUT）
- DVI-HDCP 输入*
- 显示带三级同步信号的 HDTV 信号。
- 三维空间梳状滤波器用于 NTSC Y/C 分离。
- 行相关梳状滤波器用于 PAL Y/C 分离。
- 带屏幕指示的自动输入信号检测。
- 与 Windows[1)] 98/2000/ME/XP PnP（即插即用）兼容。
- 动态图像功能。
- 屏幕菜单用于各种调整和设定
- 六种语言的屏幕显示便于用户使用。（语言：英语、德语、法语、意大利语、西班牙语和日语）
- 图像尺寸和位置的微调
- 存储功能用于存储多达二十个图像设定。
- ID 控制
- 遥控（RS-232C）连接器（D 副 9 芯）
- 接受使用 SIRCS 代码的 Sony 红外光遥控器。
- 封闭字幕解码器
- 屏幕保护功能减少残像或重影。
- 有一个选择插槽供将来扩展用。
  插槽选择的转接器便于快速和方便的系统升级。

* PFM-42X1N 除外

电源连接警告

请使用适合当地电源的电源线。

PFM-42X1

	美国、加拿大	欧共体		英国、爱尔兰、澳大利亚、新西兰	日本
插头类型	VM0233	COX-07	636	—[a)]	VM1296
阴性端子	VM0089	COX-02	VM0310B	VM0303B	VM1313
电线类型	SVT	H05VV-F		CEE (13) 53rd (O.C)	HVCTF
额定电流和电压	10A/125V	10A/250V		10A/250V	10A/125V
安全合格标准	UL/CSA	VDE		VDE	DENAN-HO

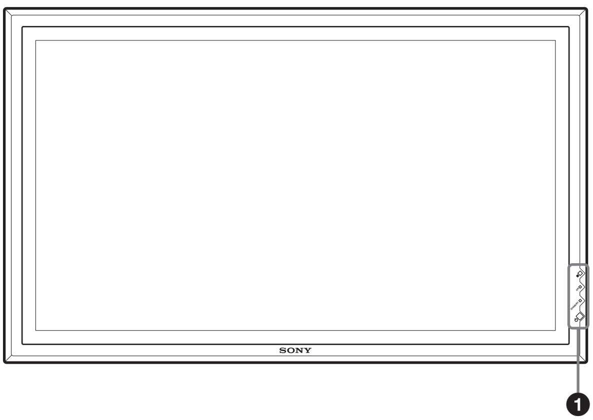
a) 注：请使用适合所在国用的电源插头。

1) Windows 是微软公司的注册商标（美国和其他国家）。

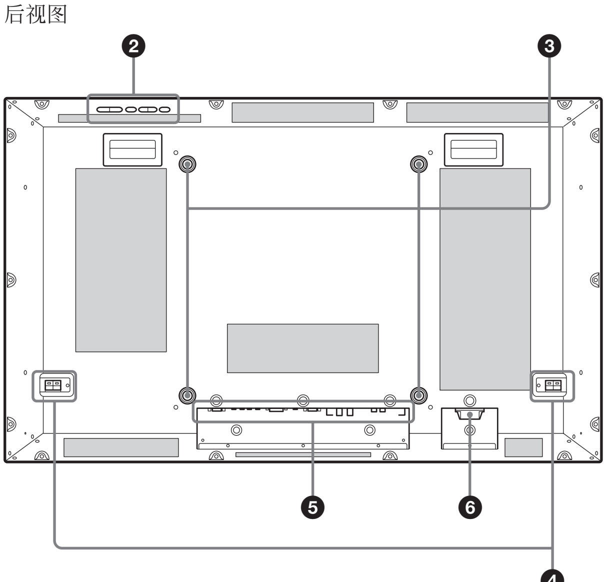
部件和控制器的位置和功能

前视图／后视图／底视图

前视图

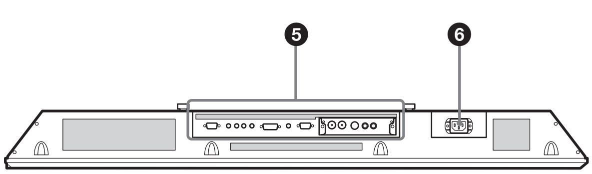


后视图



以上插图的阴影部分均为通风孔。

底视图



❶ ⏻（待机）开关／指示灯部分

有关 ⏻（待机）开关／指示灯部分的详细说明，请参见第 8 页（CS）上的 “⏻（待机）开关／指示灯部分”。

❷ 控制键部分

有关控制键部分的详细说明，请参见第 8 页（CS）上的“控制键部分（顶视图）”。

❸ 支架安装挂钩

用这些挂钩安装支架（未附带）。

❹ SPEAKER（扬声器输出）插座

当将扬声器（未附带）连接至此插座时，则输出显示于屏幕上的音频信号。

❺ 连接器面板

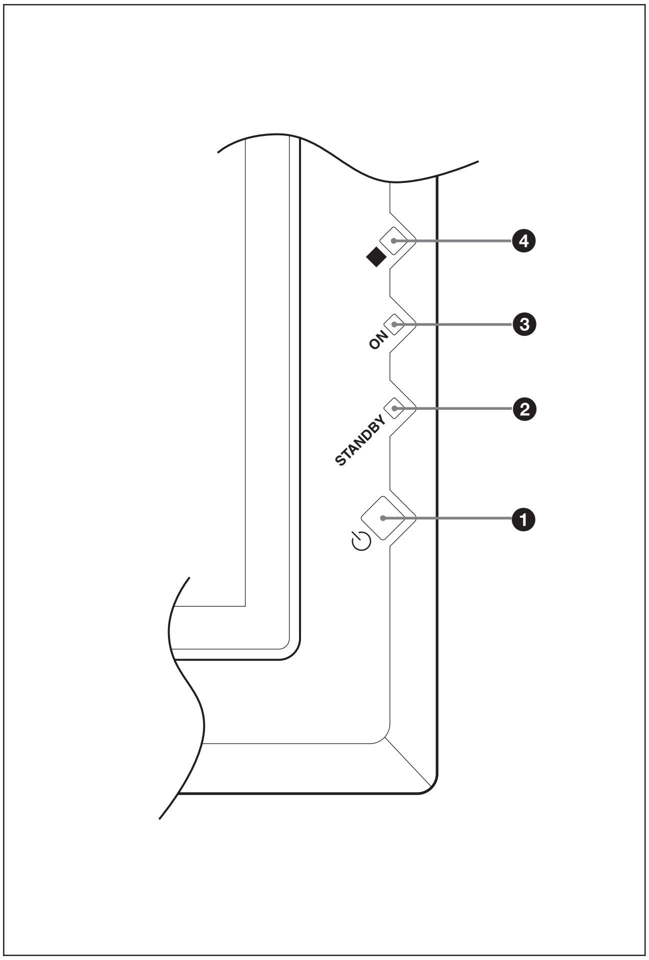
有关连接器面板的详细说明，请参见第 9 页（CS）上的“连接器面板”。

❻ ～ AC IN（交流输入）插座

将附带的交流电源线连接至此插座和墙上插座。一旦连接了交流电源线，STANDBY 指示灯点亮为红色，本显示器处于待机模式。

有关电源线的详细说明，请参见第 15 页（CS）上的“连接交流电源线”。

⏻（待机）开关／指示灯部分



❶ ⏻（待机）开关

按此键打开显示器。再按一下回到待机模式。

注

为保护显示面板，将本机转换为 ON/STANDBY（开／待机）模式需经过一段时间。一项操作结束约 8 秒钟后，再按此键。

❷ STANDBY（待机）指示灯

在待机模式下点亮为红色。

❸ ON（开）指示灯

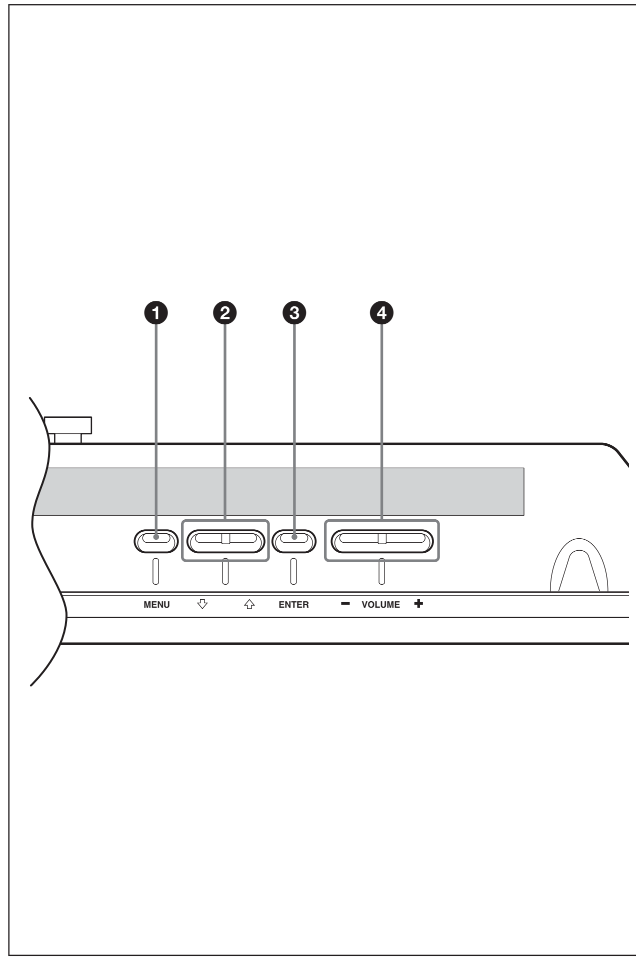
当显示器打开时点亮为绿色。当显示器处于节电模式时点亮为橙色。

有关节电功能的更多详情，请参见第 48（GB）页上的“节电功能”。

❹ 遥控检测器

接收来自遥控器的信号。

控制键部分（顶视图）



❶ MENU（菜单）键

按此键使菜单出现，再按一次此键使菜单隐藏。

使用 MENU 键返回到上一级菜单时，请参见第 23 页（CS）上的“Initial Setup（初始设定）菜单”。

❷ ⬇/⬆ 键

按此键在菜单上将光标（黄色）移到要选择的某个项目或调整数值。

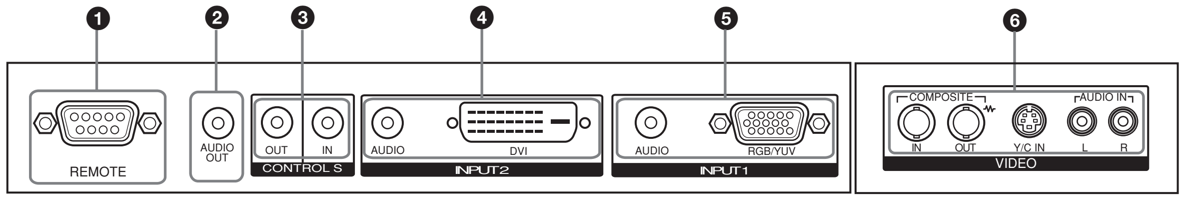
❸ ENTER（执行）键

按此键选择项目。

❹ VOLUME（音量）+/−键

按此键调节扬声器音量。

连接器面板



❶ **REMOTE（遥控）（RS-232C）连接器（D 副 9 芯）**

此连接器允许用 RS-232C 规程遥控本显示器。有关详细说明，请与授权的 Sony 经销商联系。

❷ **AUDIO OUT（音频输出）（立体声微型插孔）**

输出屏幕上当前所显示信号的声音。

❸ **CONTROL S IN/OUT（控制 S 信号输入／输出）连接器（微型插孔）**

当连接至视频装置或其他显示器的 CONTROL S 连接器时，可用单个遥控器控制多台装置。连接本显示器的 CONTROL S OUT 端子和其他装置的 CONTROL S IN 端子、本显示器的 CONTROL S IN 端子和其他装置的 CONTROL S OUT 端子。

❹ **INPUT2（输入 2）连接器（数字 RGB 信号输入）***

DVI：连接电脑的数字 RGB 信号输出。

AUDIO（音频）（立体声微型插孔）：输入音频信号。连接电脑的音频输出。

将附带的电缆连接至 DVI 连接器。

❺ **INPUT1（输入 1）连接器（模拟 RGB／分量信号输入）**

RGB/YUV（D 副 15 芯）：连接一台视频装置或计算机的模拟 RGB 信号或分量（YUV）信号输出。

AUDIO（音频）（立体声微型插孔）：输入音频信号。连接一台视频装置或计算机的音频输出。

❻ **VIDEO（视频）连接器**

PFM-42X1N 未配备 VIDEO 连接器。对于 PFM-42X1N，当 BKM-V10 视频输入转接器（未附带）安装在显示器上时，复合视频和 Y/C 输入信号可以被输入到显示器。

COMPOSITE IN（复合输入）连接器（BNC 型）：连接至视频装置上的复合视频信号输出连接器。

COMPOSITE OUT（复合输出）连接器（BNC 型）：连接至视频装置上的复合视频信号输入连接器。

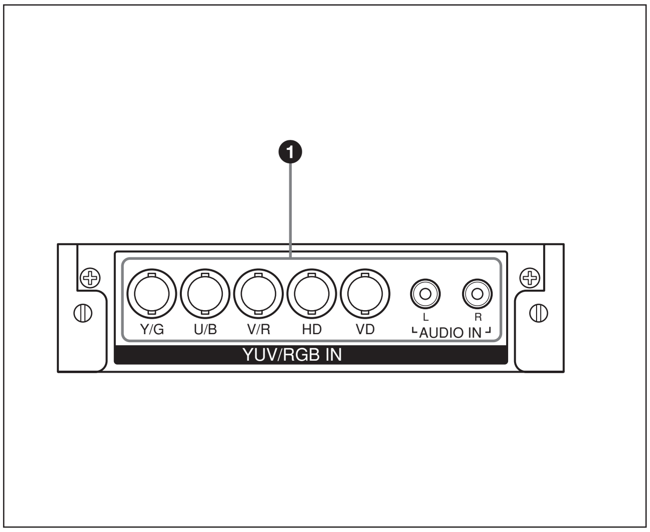
Y/C IN（Y/C 输入）连接器（微型 DIN 4 芯）：连接至视频装置上的 Y/C 信号输出连接器。

AUDIO IN L/R（音频输入左／右）连接器（管脚插孔）：输入音频信号。连接至视频装置上的音频输出连接器。

* PFM-42X1N 未配备 INPUT2 连接器。

分量／RGB 输入转接器 BKM-V11（未附带）

VIDEO 连接器为内槽型连接器。可用 BKM-V11 分量／RGB 输入转接器（未附带）更换 VIDEO 连接器 BKM-V10 视频输入转接器。
对于 PFM-42X1N，可以安装 BKM-V11，BKM-V10 或 BKM-V12。
有关安装的详细说明，请向经授权的 Sony 经销店询问。



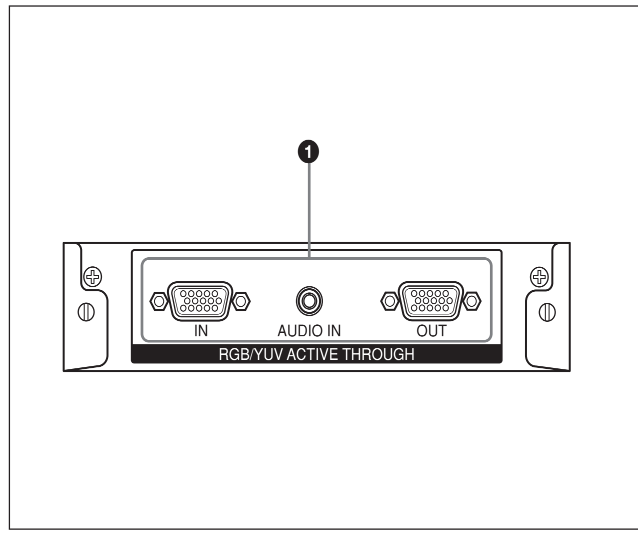
❶ **YUV/RGB IN（YUV/RGB 输入）连接器**

YUV/RGB IN（分量／模拟 RGB 信号输入）连接器（BNC 型）：连接一台视频装置的模拟 RGB 信号或分量（YUV）信号输出。

AUDIO IN L/R（音频输入左／右）连接器（管脚插孔）：输入音频信号。连接至视频装置上的音频输出连接器。

RGB／分量有源直通转接器 BKM-V12（未附带）

VIDEO 连接器为内槽型连接器。可用 RGB／分量有源直通转接器 BKM-V12（未附带）替换 VIDEO 连接器（视频输入转接器 BKM-V10）。
对于 PFM-42X1N，可以安装 BKM-V11 、BKM-V10 或 BKM-V12。
有关安装的详情，请与经授权的Sony经销商联系。



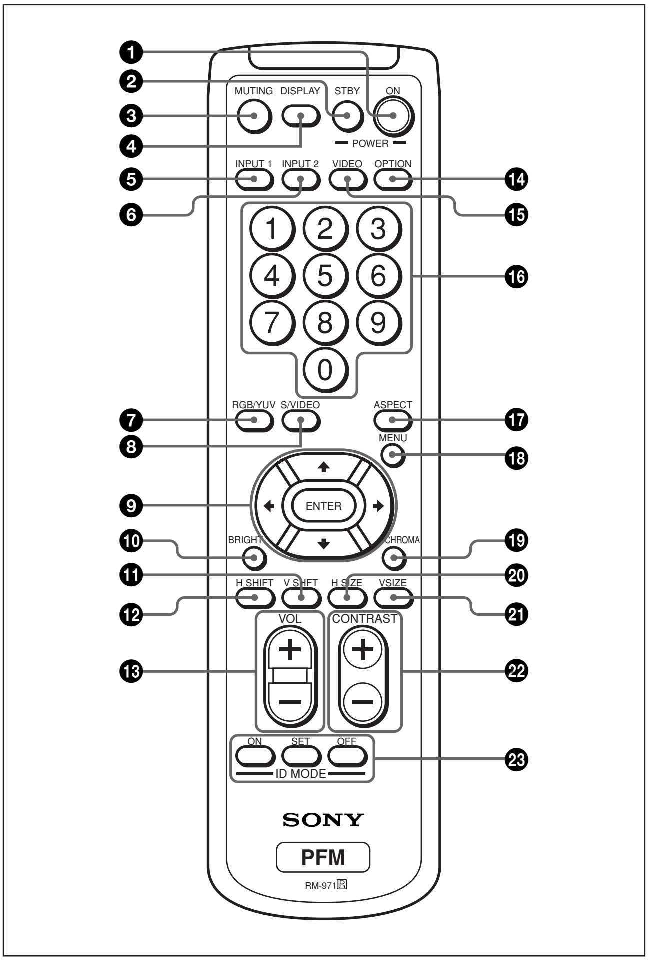
❶ **RGB/YUV 有源直通连接器**

RGB/YUV IN（模拟 RGB／分量信号输入）（D副 15 芯）：连接一台视频装置或计算机的模拟 RGB 信号或分量（YUV）信号输出。

AUDIO IN（立体声微型插孔）：输入音频信号。连接一台视频装置或计算机的音频输出。

RGB/YUV OUT（模拟 RGB／分量信号有源直通输出）（D 副 15 芯）：输出通过该转接器上的RGB/YUV IN（模拟 RGB 信号／分量信号输入）连接器输入的信号。

遥控器 RM-971



❶ POWER ON（电源接通）开关
按此键接通显示器的电源。

❷ STANDBY（待机）键
按此键使显示器进入待机模式。

❸ MUTING（消音）键
再按一下此键恢复声音。

❹ DISPLAY（显示）键
在显示器屏幕显示输入信号信息和图像模式。
再按一下清除。
如果此信息持续显示片刻而未进行任何操作，信息将自动消失。

❺ INPUT1（输入 1）键
按此键选择输入到 INPUT1 连接器的信号。该键与 ENTER 键一同使用，按 ENTER 键，然后按 INPUT1 键，可切换到 “Picture And Picture (PAP)（图像和图像）”（双画面显示）模式。

❻ INPUT2（输入 2）键
按此键选择输入到 INPUT2 连接器的信号。

❼ RGB/YUV 键
按此键选择连接于 INPUT1 连接器的匹配输入信号的格式。每按一次此键在 RGB 和 YUV 之间转换。

❽ S/VIDEO（视频）键
当装有标准设备或选购的转接器 BKM-V10 时，按此键选择输入到 VIDEO 连接器的信号。
每按一次此键在 COMPOSITE IN 和 Y/C IN 之间转换。

❾ ↑/↓/←/→/ENTER（↑/↓/←/→/执行）键
↑/↓/←/→ 键用于移动菜单光标（黄色）和设置设定值等。按 ENTER 键执行所选菜单或设定内容。
该键与 INPUT1 键一同使用，按 ENTER 键，然后按 INPUT1 键，可切换到 “Picture And Picture (PAP)（图像和图像）”（双画面显示）模式。

❿ BRIGHT（亮度）键
图像模式为 “User 1-3” 时，调整亮度。
按此键，然后用 ↑/↓ 或 ←/→ 键 ❾ 调节亮度。

⓫ V SHIFT（垂直偏移）键
调整垂直对中。按此键并用 ↑/↓ 或 ←/→ 键 ❾ 调整垂直对中。

⓬ H SHIFT（水平偏移）键
调整水平对中。按此键并用 ↑/↓ 或 ←/→ 键 ❾ 调整水平对中。

⓭ VOLUME（音量）+/−键
按此键调节音量。

⓮ OPTION（选择）键
在本机上安装选购的转接器（BKM-V10 除外）时，请选择输入到此转接器的信号。

⓯ VIDEO（视频）键
当装有标准设备或选购的转接器 BKM-V10 时，按此键选择输入到 VIDEO 连接器 COMPOSITE IN 或 Y/C IN 的信号。

⓰ 数字键
按键输入索引号码。

⑰ ASPECT（纵横比）键
按此键改变画面的纵横比（宽屏幕模式）。

⑱ MENU（菜单）键
按此键使菜单出现，再按一下此键使菜单隐藏。
使用 MENU 键返回到上一级菜单时，请参见第 23 页（CS）上的 “Initial Setup（初始设定）菜单”。

⑲ CHROMA（色度）键
当图像模式设定为 “User 1-3” 时，用此键调节色度。按此键并用 ↑/↓ 或 ←/→ 键 ⑨ 调节色度。

⑳ H SIZE（水平尺寸）键
调整水平图像尺寸。按此键并用 ↑/↓ 或 ←/→ 键 ⑨ 调整水平图像尺寸。

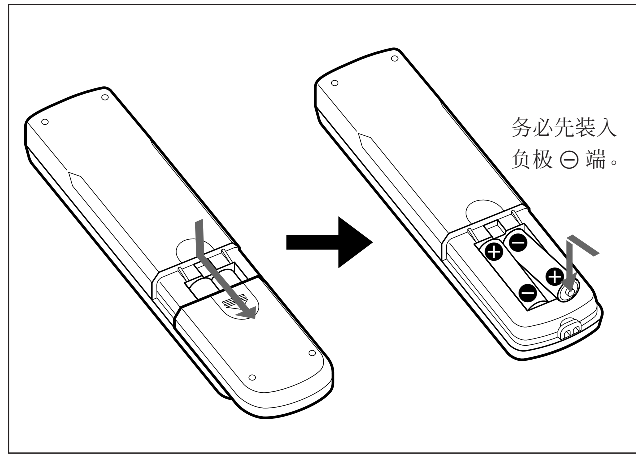
㉑ V SIZE（垂直尺寸）键
调整垂直图像尺寸。按此键并用 ↑/↓ 或 ←/→ 键 ⑨ 调整垂直图像尺寸。

㉒ CONTRAST（对比度）+/－键
图像模式为 “User 1-3” 时，用于调整对比度。

㉓ ID MODE（ID 模式）（ON/SET/OFF）（开／设定／关）键
按 ON 键使索引号码出现在屏幕上。然后使用数字键 ⑯ 输入所要操作的本显示器的索引号码并按 SET 键。结束操作后，按 OFF 键恢复到普通模式。
有关索引号码的详细说明，请参见第 49 页（CS）上的 “用遥控器操作指定的显示器”。

安装电池

按正确的极性装入两节 AA 尺寸（R6）电池。



- 在通常操作下，电池最长可使用半年。如果遥控器操作异常，电池可能即将耗尽。请更换新电池。
- 为避免因电池漏液而造成损坏，如果长时间不使用遥控器，请取出电池。

注意
如果用错误型号的电池进行更换会有爆炸的危险。
请按照说明处理用过的电池。

遥控器不起作用时
检查 STANDBY 指示灯是否点亮；Remote 菜单中的 Remote Mode 是否未设定为 Off。只有在具备以下两个条件下遥控器才能操作显示器。
- 显示器电源接通，或其处于待机状态。
- Remote 菜单中的 Remote Mode 被设定为 “On”。

有关 Remote Mode 的详细说明，请参见第 24 页（CS）上的 “Remote（遥控）菜单”。

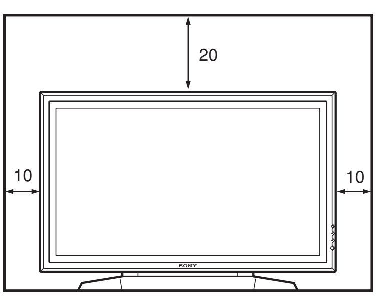
小心

在显示器周围留出足够的空间

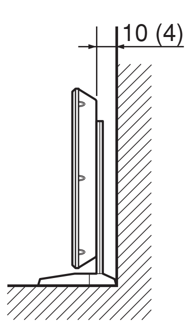
- 使用显示器时，请确保在本机周围有比下列图示尺寸大的空间。这将保证正常通风。
- 环境温度必须在 0°C 至 +35°C 范围中。
- 当水平安装显示器时，请使用 SU-42B 显示器支架（未附带）。
- 有关支架、螺丝和螺栓等硬件的安装，我们无法指定应使用的规格，因为其安装是由当地经授权的经销店进行的。有关安装的事宜，请与有资格的 Sony 经销店联系。
- 本机电源打开时，有些零件可能会发热，会导致烫烧。显示器电源打开时，或刚进入待机状态后，请勿触摸本机的顶部或背面。

使用支架（未附带）时

前视图



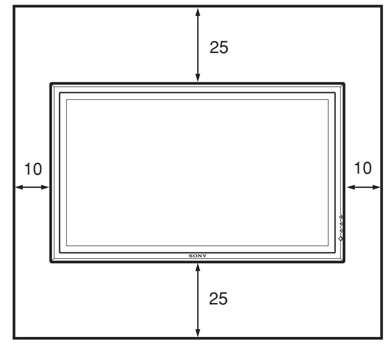
侧视图



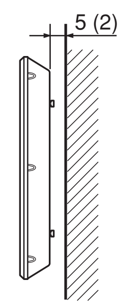
单位：cm

水平安装显示器时

前视图



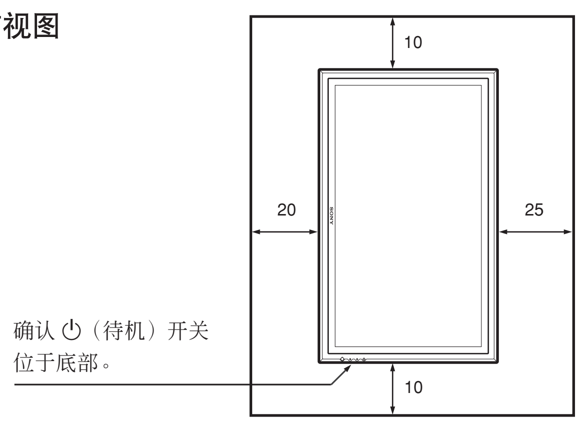
侧视图



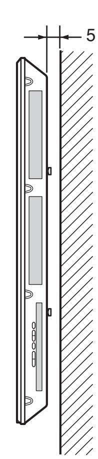
单位：cm

垂直安装显示器时

前视图



侧视图



单位：cm

关于图像残影

如果长时间地显示 1 – 5 图像，因等离子体显示面板的特点，在屏幕的局部将会产生残影（重影）。在以下 A – D 步骤可能会减少重影的产生。

可能造成内部烧毁和图像残影的情况

1 输入宽幅视频时黑色条带出现在顶部和底部（信箱图像）

2 4:3 纵横比视频输入时左侧和右侧出现黑色条带（正常电视播放）

3 输入游戏图像

4 显示 DVD 屏幕菜单

5 如 DSS、电缆箱、录像机等的连接装置的屏幕菜单、频道号码等

避免造成内部烧毁和图像残影须知

A 使用自动入轨的 “Screen Saver” 功能。

B 避免出现如 DSS、电缆箱、录像机等的连接装置的屏幕菜单、频道号码等。要消除频道号码、屏幕菜单，详情请参阅所连接的装置的使用指南。

C 用 “Expd. 4:3” 或 “16:9” 功能以减小图像和／或视频输入显示的亮度。

D 当使用 “4:3” 模式或 “Picture And Picture (PAP)（图像和图像）” 模式时，可以使用 “Screen Saver” 的 “Background（背景）” 功能来调整背景亮度，以减小图像区域与无视频信号背景区域之间的亮度差别。这有助于防止屏幕老化或出现图像残影。

E 用 “Screen Saver” 的 “Pic.Inversion”（图像倒置）功能可能会减少镜像重影，但一旦产生镜像重影，则无法完全消除。

关于 “Screen Saver” 的 “Pic.Inversion（图像倒置）”

如果显示的图像如同胶卷的底片，“Screen Saver” 的 “Pic.Inversion（图像倒置）” 可能设定为 “Auto” 或 “On”。要恢复为正常图像，选择 “Off” 或在 “Auto” 中重新设定具体时间。
图像打开时，Pic.Inversion（图像倒置）图像的色彩倒转（白变成黑，黑变成白）并且纠正图像残影（残影）。图像倒置时图像看起来像胶卷的底片。这并非故障。

连接

开始之前

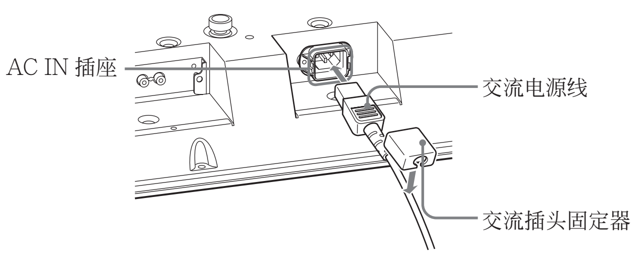
- 首先请确认各装置的电源已关闭。
- 请使用适合所连接装置的连接电缆。
- 电缆连接器应完全插入插孔。松动的连接可能引起啸叫和其他噪音。
- 要拔下电缆时，请拿住插头拔，切勿拉扯电缆。
- 请参阅所连接装置的使用说明书。
- 请将插头牢固地插入 AC IN 插座。
- 请使用其中一个交流插头固定器（附带）以便稳固地固定交流插头。

连接扬声器

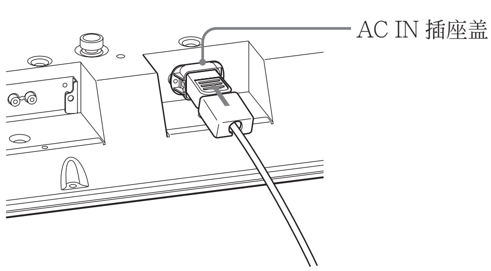
连接扬声器 SS-SP20B（未附带），可欣赏到更有临场感的图像。
务请正确连接扬声器。有关连接扬声器的详细说明，请参见扬声器附带的使用说明书。

连接交流电源线

1 将交流电源线插入 AC IN 插座。然后，将交流插头固定器（附带）装在交流电源线上。



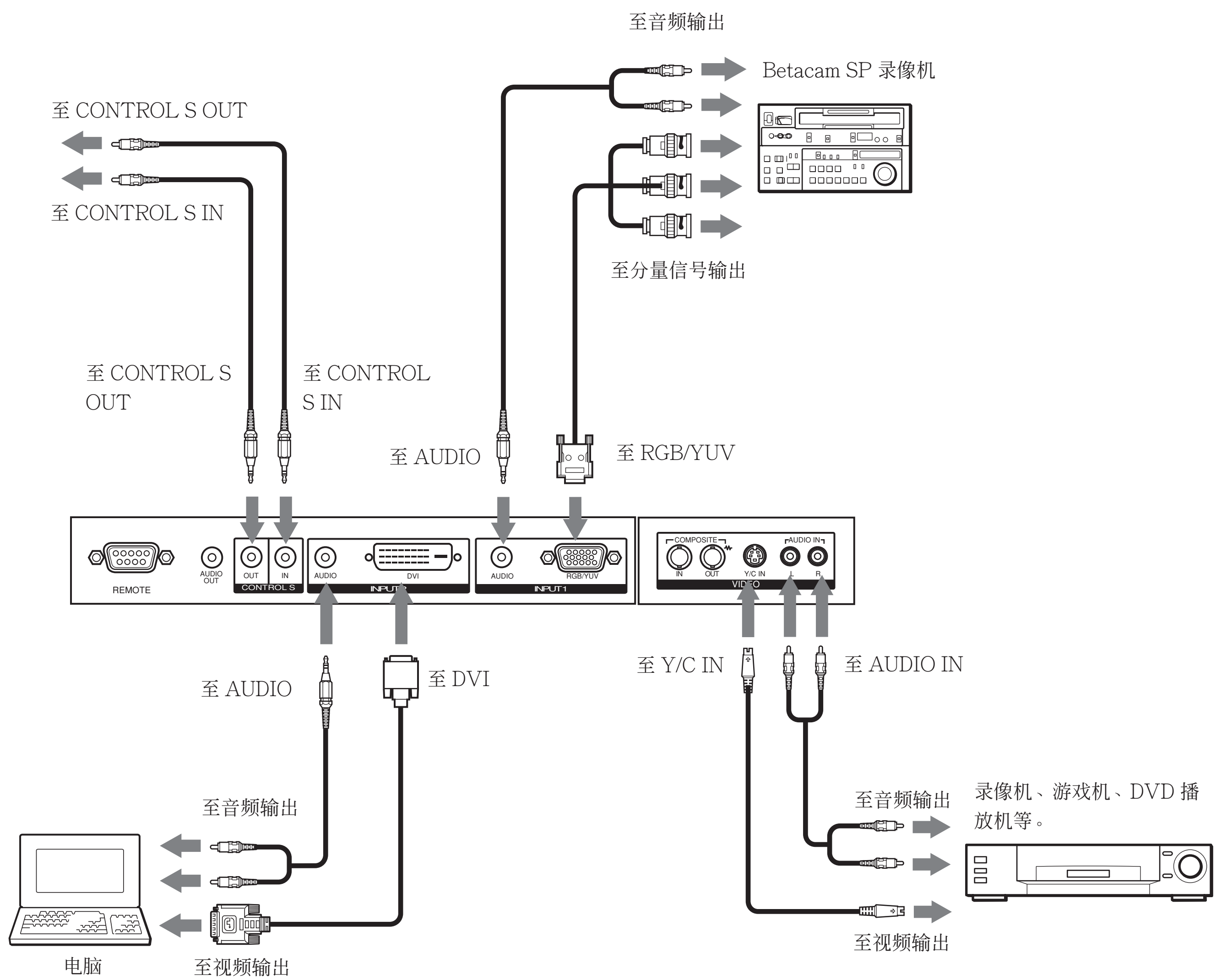
2 将交流插头固定器沿着电源线滑动直至连接到 AC IN 插座盖上。



要拔下交流电源线时

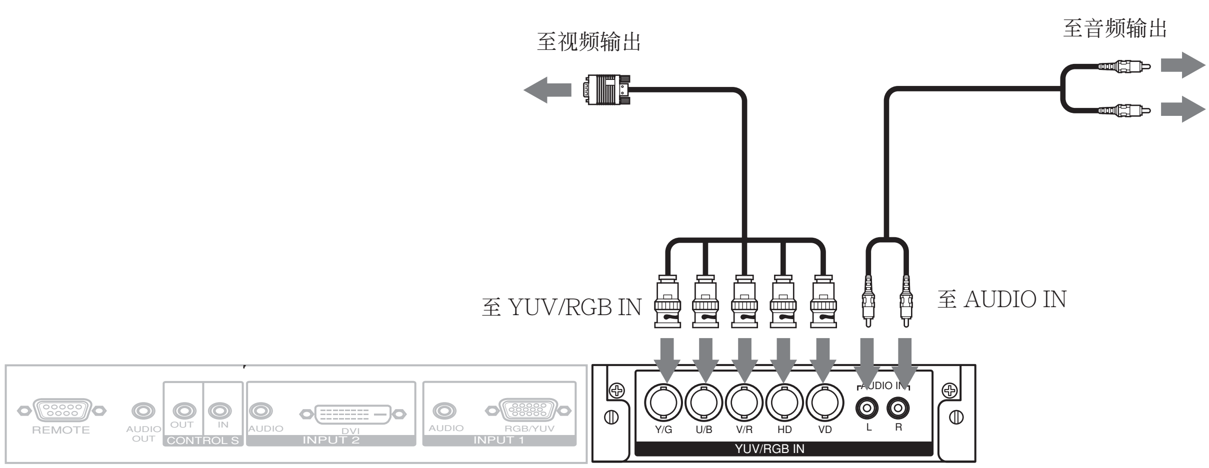
捏住交流插头固定器并将其释放，然后抓住插头并拔下交流电源线。

连接实例

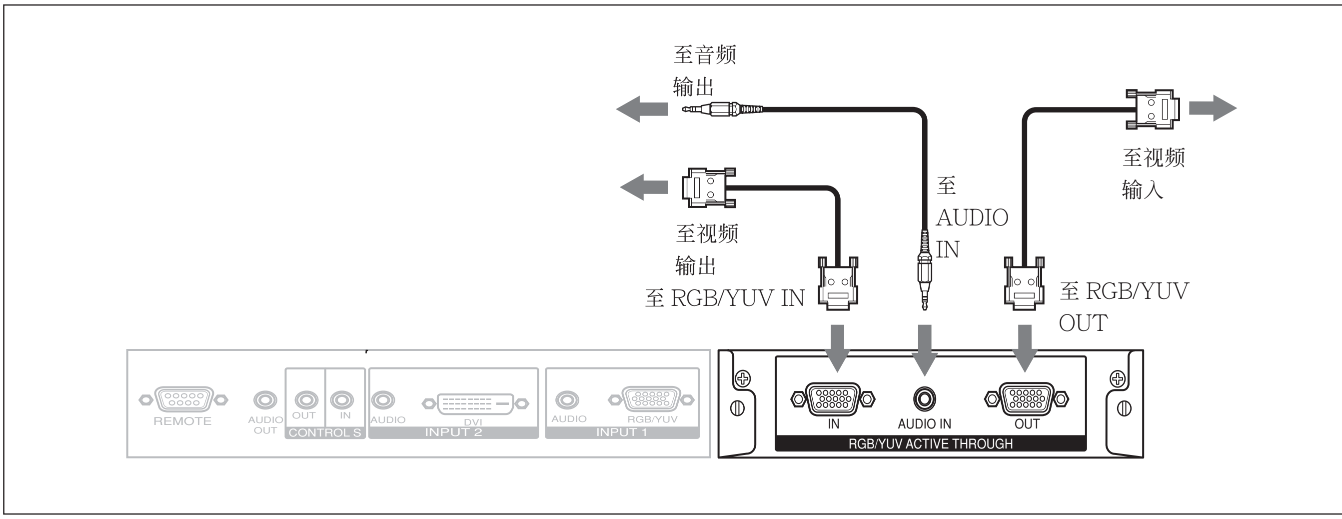


对于 PFM-42X1N，当装有视频输入转接器 BKM-V10 时适用此连接实例。
PFM-42X1N 未配备 INPUT2 连接器。

当装有选购的分量／RGB 信号输入转接器 BKM-V11 时

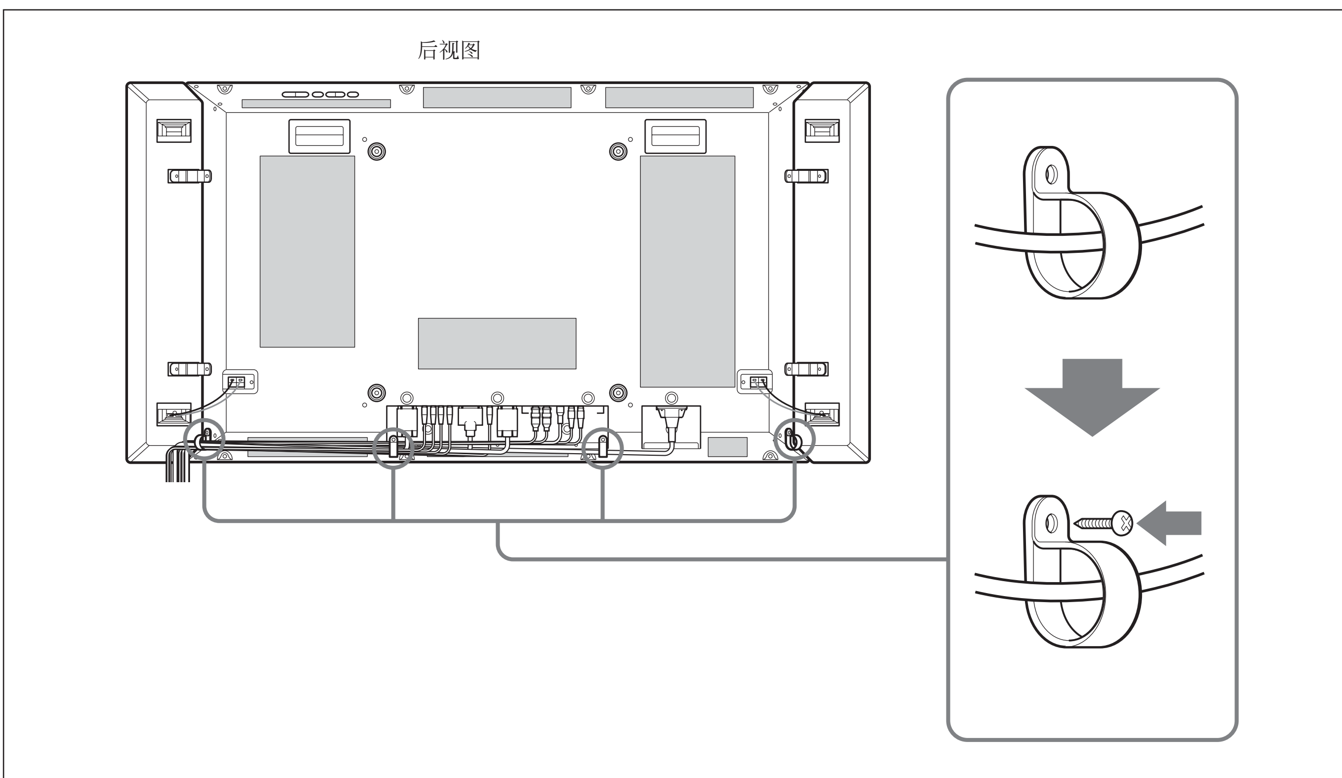


当装有选购的 RGB／分量有源直通转接器 BKM-V12 时



使用电缆夹

可用附带的电缆夹（×4）干净利索地捆扎电缆。请按下图所示的方法安装电缆夹。

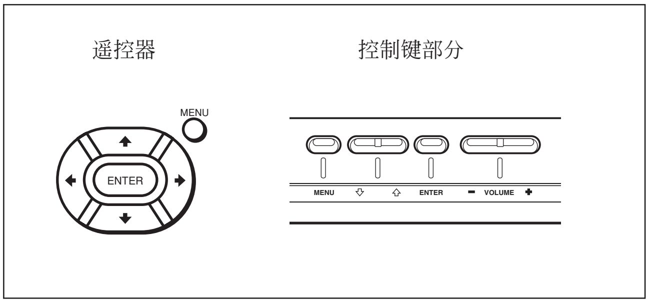


使用屏幕菜单

通过菜单操作

菜单操作键

使用显示器或遥控器上的键用于菜单操作。



本使用说明书用遥控器进行操作说明。遥控器上的 ⬆/⬇ 键及 ENTER 键与主机上的 ⬆/⬇ 键及 ENTER 键具有相同的功能。

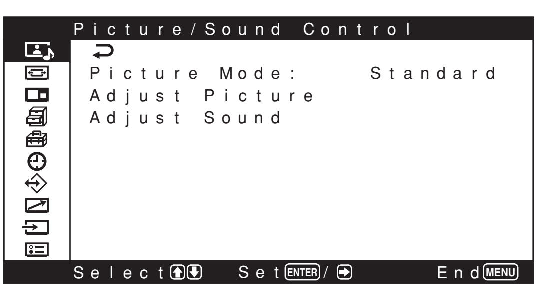
注

主机上没有 ⬅/➡ 键，因此，部分操作有不同之处。

菜单结构

要选择用于菜单的语言时，请参见第 42 页（CS）上的“选择屏幕语言”。

1 按 MENU 键。
主菜单出现在显示器屏幕上。



2 按 ⬆/⬇ 键将光标（黄色）移至要选择的主菜单并按 ENTER 键或 ➡ 键。
光标移至下一个菜单。

3 按 ⬆/⬇ 键移动光标（黄色）至要选择的项目并按 ENTER 键或 ➡ 键。
所选项目的菜单出现。
重复此步骤选择其他项目。

4 按 ⬆/⬇ 键调整或选择设定并按 ENTER 键设定。
设定被登记而且菜单返回到前面的菜单。

要完成登记并返回到普通屏幕时，请按 MENU 键。
要回到前面的菜单级时，请按 ⬆/⬇ 键将光标移至 ↩ 并按 ENTER 键或 ⬅ 键。
若要使用 MENU 键回到前面的菜单级，请参见第 23 页（CS）上的“菜单功能”。

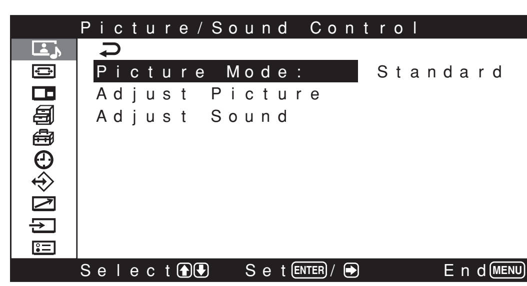
菜单指南

注

无法设定或调整的项目（依输入信号的设定或类型而异）用灰黑色显示。

Picture/Sound Control（图像／声音控制）菜单

调节声音和图像的质量。



Picture Mode（图像模式）

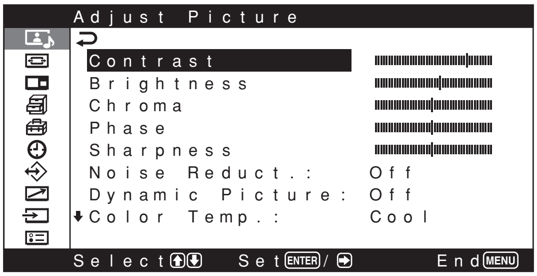
设定符合图像式样或环境亮度的图像质量。
有关详细说明，请参见第 30 页（CS）上的“选择图像质量”。

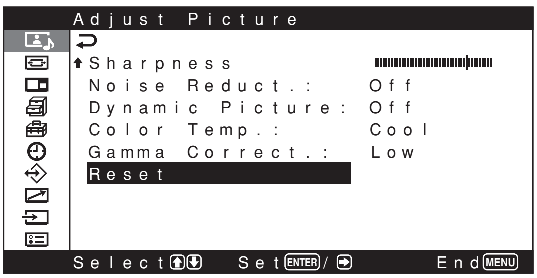
Adjust Picture（图像调整）菜单

可对图像进行微调。
首先将 Picture Mode（图像模式）设定为 User 1 或 3。

注

Picture Mode（图像模式）为 “Standard” （标准）或 “Vivid” （逼真）时无法调整以下项目。





Contrast（对比度）

按 ↑/→ 键增大对比度，按 ↓/← 键减小对比度。

Brightness（亮度）

按 ↑/→ 键使图像变亮，按 ↓/← 键使图像变暗。

Chroma（色度）

按 ↑/→ 键增大色彩饱和度，按 ↓/← 键减小彩色饱和度。

Phase（相位）

按 ↑/→ 键使整个图像发绿，按 ↓/← 键使其发红。

Sharpness（锐度）

按 ↑/→ 键增大图像的轮廓校正值，按 ↓/← 键减小该值。

Noise Reduct.（减噪）

设定等级以将图像颗粒和色彩噪音减至四个等级（“Off”，“Low”，“Mid”，和 “High”）之一。

有关详细说明，请参见第 31 页（CS）上的 “Noise Reduct.”。

Dynamic Picture（动态图像）

增强对比度，使白色更亮，黑色更暗。

有关详细说明，请参见第 31 页（CS）上的 “Dynamic Picture”。

Color Temp.（色温）

改变色温。

有关详细说明，请参见第 31 页（CS）上的 “Color Temp.”。

Gamma Correct.（伽马校正）

可将图像亮部和暗部的均衡设为三个等级（“High”，“Mid” 和 “Low”）之一。

有关详细说明，请参见第 33 页（CS）上的 “Gamma Correct.”。

Reset（复位）

将出厂设定恢复至 Adjust Picture（调整图像）菜单项目。

有关使用复位功能的详细说明，请参见第 33 页（CS）上的 “将 Adjust Picture 菜单项目恢复到初始设定”。

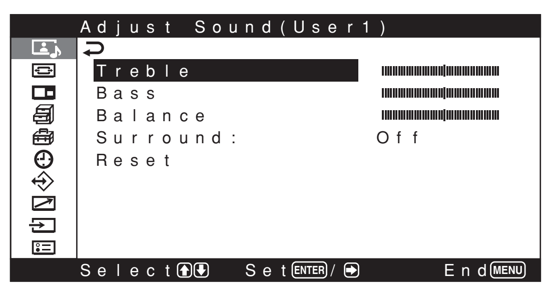
Adjust Sound（调整声音）菜单

可对音质进行微调。

首先将 Picture Mode（图像模式）设定为 User 1 或 3。

注

Picture Mode（图像模式）为 “Standard” （标准）或 “Vivid” （逼真）时无法调整以下项目。



Treble（高音）

按 ↑/→ 键增强高音，按 ↓/← 键减弱高音。

Bass（低音）

按 ↑/→ 键增强低音，按 ↓/← 键减弱低音。

Balance（均衡）

在按 ↑/→ 键增大右侧音量的同时，按 ↓/← 键增大左侧音量。

Surround（环绕声）

可将环绕声功能设定为三种音响效果（“Off”，“Hall”和“Simul.”）之一。

有关详细说明，请参见第 40 页（CS）上的“Surround”。

Reset（复位）

将出厂设定恢复至 Adjust Sound（调整音质）菜单项目。

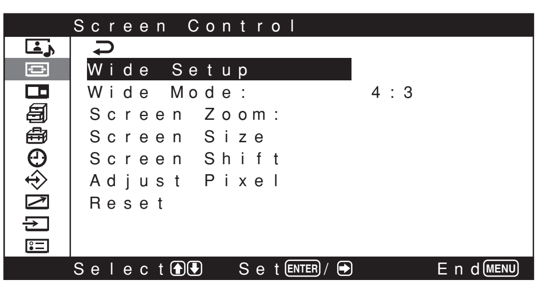
有关使用复位功能的详细说明，请参见第 40 页（CS）上的“将 Adjust Sound（调整音质）菜单项目恢复到其初始设定”。

Screen Control（画面控制）菜单

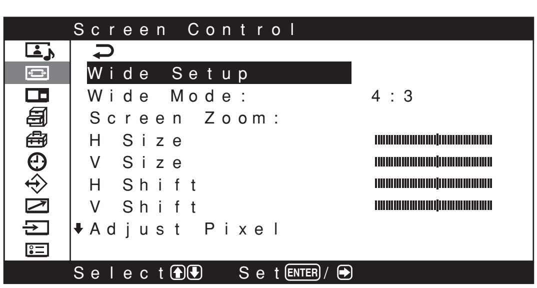
此菜单用于重新确定图像的尺寸和位置。
画面控制菜单的画面和操作方法依 MENU Function（菜单功能）的设定而异。

有关详细说明，请参见第 23 页（CS）上的“MENU Function（菜单功能）”。

MENU Function（菜单功能）设为“On/Off”（开／关）（出厂设定）时



MENU Function（菜单功能）设为“Return”（返回）时



Wide Setup（宽屏幕设定）

设定自动宽屏幕功能。利用自动宽屏幕功能可令您从普通电视广播或宽屏幕图像（均有不同比例的水平和垂直显示）中进行选择，并以 16:9 纵横比自动地将图像放大到宽屏幕图像，以最恰当地显示不同类型的图像。

有关详细说明，请参见第 34 页（CS）上的“设定自动宽屏幕”。

Wide Mode（宽屏幕模式）

切换宽屏幕显示以符合图像的尺寸和类型。

有关详细说明，请参见第 35 页（CS）上的“设定宽屏幕模式”。

Screen Zoom（屏幕画面变焦）

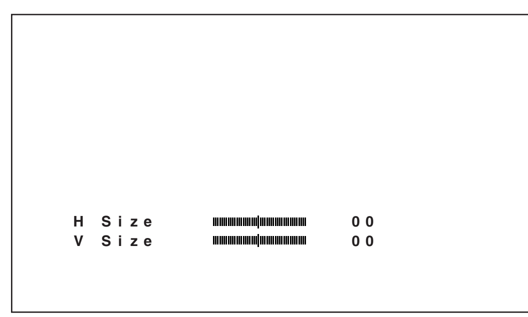
依次将图像放大 2 倍、3 倍和 4 倍。

注

仅在 Wide Mode（宽屏幕模式）设为“16:9”时才能扩大。

Screen Size （画面尺寸）菜单

此菜单用于调整图像尺寸。
以下画面在 MENU Function（菜单功能）设为“On/Off（开／关）时才出现。



H Size（水平尺寸）

调整水平图像尺寸。按 ➡ 键放大水平尺寸，按 ⬅ 键缩小水平尺寸。

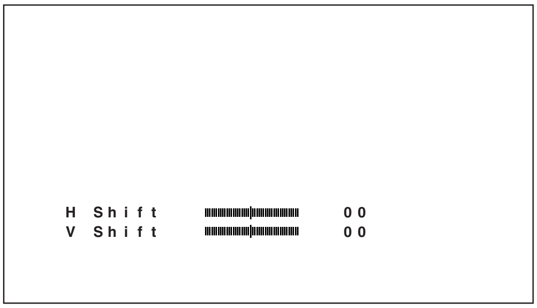
V Size（垂直尺寸）

调整垂直图像尺寸。按 ⬆ 键放大垂直尺寸，按 ⬇ 键缩小垂直尺寸。

Screen Shift（画面偏移）菜单

此菜单用于调整图像对中。

以下画面在 MENU Function（菜单功能）设为“On/Off （开／关）时才出现。



H Shift（水平偏移）

调整水平对中。按 ➡ 键向右移动图像，按 ⬅ 键向左移动图像。

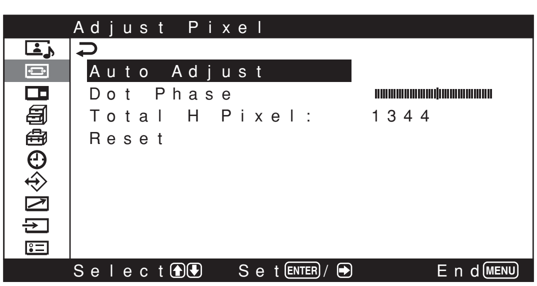
V Shift（垂直偏移）

调整垂直对中。按 ⬆ 键向上移动图像，按 ⬇ 键向下移动图像。

Adjust Pixel（调整像素）菜单

此菜单用于调整图像像素。

仅在接收到电脑信号时才能调整。



Auto Adjust（自动调整）

自动调整点相位和水平像素的总数。

有关详细说明，请参见第 37 页（CS）上的“调整像素”。

Dot Phase（点相位）

调整点相位。按 ⬆/➡ 键增加点相位，按 ⬇/⬅ 键减少点相位。

Total H Pixel（总水平像素）

调整水平像素的总数。按 ⬆/➡ 键增加像素数，按 ⬇/⬅ 键减少像素数。

Reset（复位）

将出厂设定恢复至 Adjust Pixel（调整像素）菜单项目。

有关使用复位功能的详细说明，请参见第 37 页（CS）上的“将 Adjust Pixel（调整像素）菜单项目恢复到其初始设定”。

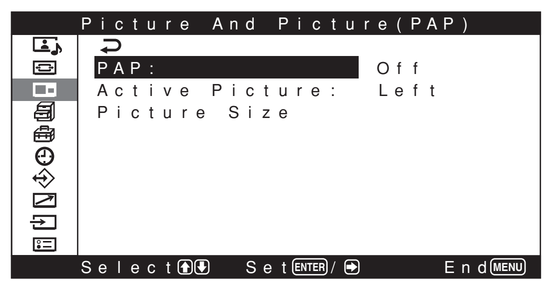
Reset（复位）

将出厂设定恢复至 Screen Control（画面控制）菜单项目。

有关使用复位功能的详细说明，请参见第 37 页（CS）上的“恢复画面控制菜单调整值”。

Picture And Picture (PAP)（图像和图像）菜单

可同时并排显示来自不同信号源的两幅图像。



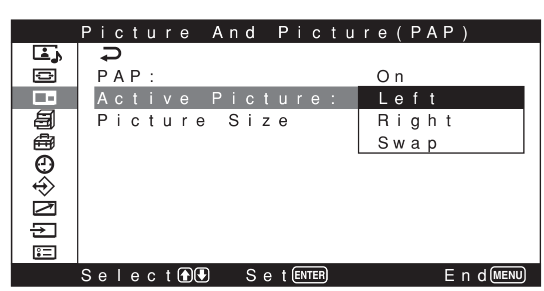
有关详细说明，请参见第 38 页（CS）上的“同时观看两幅图像”。

PAP

将此项目设为“On”，以同时显示两幅图像。

当 PAP 设定于“On”时，可使用以下菜单。

Active Picture（启动图像）菜单



Left（左侧）

启动左侧图像进行操作。

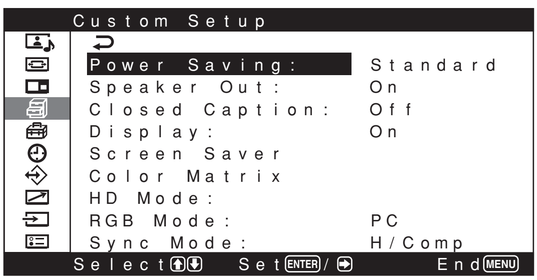
Right（右侧）
启动右侧图像进行操作。

Swap（调换）
转换两幅图像的位置。

Picture Size（图像尺寸）
放大两幅图像中的一幅。

Custom Setup（用户设定）菜单

可减少电源消耗或设定屏幕保护等等。



Power Saving（节电）
用于在节电状态下观看屏幕。

有关详细说明，请参见第 29 页（CS）上的“节能功能”。

Speaker Out（扬声器输出）
将此项目设为 On 时，扬声器 SS-SP20B（未附带）便发出声音。

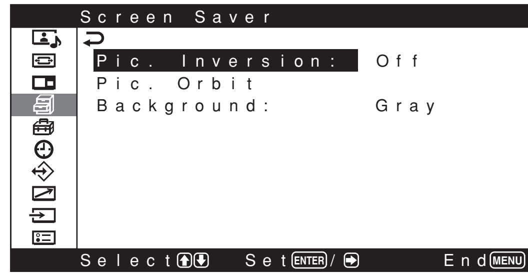
Closed Caption（封闭字幕）
显示封闭字幕。

有关详细说明，请参见第 29 页（CS）上的“显示封闭字幕”。

Display（显示器）
打开电源或切换输入信号时，选择 On 在显示面板的左上角显示输入信号信息和 Picture Mode 约 5 秒钟。

Screen Saver（屏幕保护）菜单

校正或减少因在屏幕上长时间显示相同图像而导致的重影或残像引起的损坏。



Pic. Inversion（图像翻转）
设定屏幕保护功能以翻转图像的色调。

有关详细说明，请参见第 42 页（CS）上的“屏幕保护功能”。

Pic. Orbit（图像移动）
设定屏幕保护功能，在已过预定时间后自动移动图像的显示位置。

有关详细说明，请参见第 42 页（CS）上的“屏幕保护功能”。

Background（背景）
当使用 4:3 宽高比模式或“Picture And Picture (PAP)（图像和图像）”模式时，应调整背景（无视频信号区域）的亮度。

详情请参见第 42（GB）页上的“屏幕保护功能”。

Color Matrix（色彩矩阵）
设定 Color Matrix，以使输入分量信号时以自然的色调显示图像。

有关详细说明，请参见第 44 页（CS）上的“调整色彩矩阵”。

HD 模式
根据输入到 INPUT1、BKM-V11 或 BKM-V12 上的 YUV 连接器的 HD 模拟分量信号来选择模式。

1080I：输入 1080I 信号时

1035I：输入 1035I 信号时

RGB 模式
当输出 RGB 信号的装置连接于 RGB/YUV IN 端子时，设定模式。

DTV：连接至 RGB 信号数字调谐器等时

PC：连接至电脑时

Sync（同步）模式

根据在 RGB/YUV 端子的芯 13 所输入的信号设定模式。信号只能设定为 575/50I 或 480/60I。

H/Comp：当输入水平信号或复合同步信号*时

Video：当输入视频信号时

*根据复合信号电平，图像显示可能不正常。遇此情况时，请改变同步模式设定。

输入信号和同步模式设定

<table>
<tr><th>芯</th><th>D－Sub 的信号输入</th><th>同步模式设定</th></tr>
<tr><td rowspan="2">13</td><td>480/60I，575/50I 复合视频</td><td>视频信号</td></tr>
<tr><td>复合同步</td><td rowspan="3">同步信号</td></tr>
<tr><td>13/14</td><td>H 同步/V 同步</td></tr>
<tr><td>2</td><td>绿色同步</td></tr>
</table>

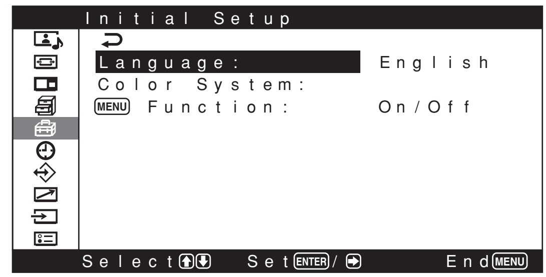
有关 RGB/Y UN IN 接口的管脚配置详情，请参见第 52 页（CS）上的“管脚配置”。

注

- 有些输入只能选择同步信号。这时，即使通过 13 芯连接器输入视频信号，图像也无法显示。通过 13 或 14 芯连接器输入水平／垂直同步信号，或通过 RGB 连接器输入 Sync On Green 信号。
- 采用 Sync On Green 时，如果本机未设定为接收同步信号，图像将不显示。
- 同步模式设定不能用选购板进行。
- 本机未提供三值同步复合同步和 576/60P。

Initial Setup（初始设定）菜单

可选择屏幕语言和彩色制式，或设定 MENU Function（菜单功能）。



Language（语言）

选择屏幕语言（日语，英语，德语，法语，西班牙语或意大利语）。

有关详细说明，请参见第 42 页（CS）上的“选择屏幕语言”。

Color System（彩色制式）

选择输入信号。

Auto（自动）：显示 NTSC、PAL、SECAM/NTSC4.43 或 NTSC/PAL-M/PAL-N 信号

NTSC：显示 NTSC 信号

NTSC4.43：显示 NTSC4.43 信号

PAL：显示 PAL 信号

SECAM：显示 SECAM 信号

PAL-M：显示 PAL-M 信号

PAL-N：显示 PAL-N 信号

PAL60：显示 PAL60 信号

彩色制式设为“Auto”（自动）时，设定在下一级可进一步进行自动检测的 Color System（彩色制式）。

- 自动检测 NTSC/PAL/SECAM/NTSC4.43。
- 自动检测 NTSC/PAL-M/PAL-N。

注

仅当接收视频信号时才能进行此项设定。

MENU Function（菜单功能）

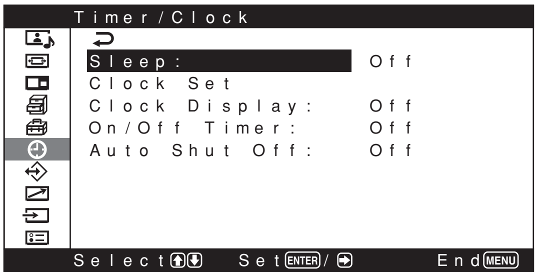
按菜单键时选择操作。

On/Off（开／关）：每次按菜单键，菜单显示均会在“开”和“关”之间切换。

Return（返回）：每次按菜单键，光标均会返回上一级。

Timer/Clock（定时器／时钟）菜单

可设定定时器、调节时间、显示内置时钟或使本机在预定时间自动打开或关闭电源。



Sleep（睡眠）

当已过预设时间时自动关闭电源。睡眠时间可设为 30、60、90 或 120 分钟。

有关详细说明，请参见第 45 页（CS）上的“睡眠功能”。

Clock Set（时钟设定）

设定时间。

有关详细说明，请参见第 46 页（CS）上的“调整时间”。

Clock Display（时钟显示）

设为启动时在屏幕上显示设定时间。

有关详细说明，请参见第 46 页（CS）上的“显示时间”。

On/Off Timer（开／关定时器）

设定电源自动打开或关闭的时间。

有关详细说明，请参见第 47 页（CS）上的“开／关定时器功能”。

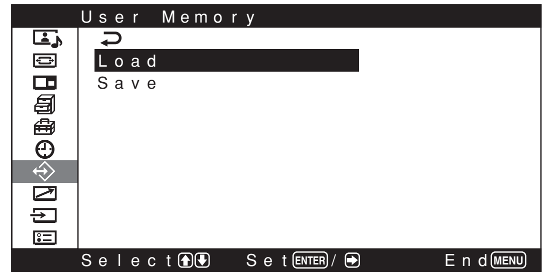
Auto Shut off（自动关机）

当输入模式设为 RGB 时，若 INPUT1 或 INPUT2 连接器无输入信号，则显示器会自动关闭电源。

有关详细说明，请参见第 48 页（CS）上的“节电功能”。

User Memory（用户存储）菜单

此菜单用于保存或调用 Picture/Sound Control（图像／声音控制）和 Screen Control（画面控制）菜单中的设定。



有关详细说明，请参见第 40 页（CS）上的“使用存储功能”。

Load（调用）

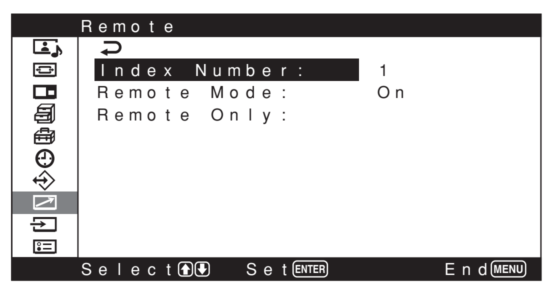
调用您的设定。

Save（保存）

保存您的设定。

Remote（遥控）菜单

此菜单用于遥控设定。



Index Number（索引号码）

设定显示器的索引号码。

注

设定号码时，使用显示器上的键。无法使用遥控器设定 Index Number（索引号码）。

有关索引号码的详细说明，请参见第 49 页（CS）上的“用遥控器操作指定的显示器”。

Remote Mode（遥控模式）

选择 Remote Commander（遥控器）的功能。

On（开）：启动显示器或电视机附带的遥控器。

Off（关）：遥控器不起作用。

注

改变遥控器模式时，请使用显示器上的键。无法用遥控器上的键改变遥控器模式。

有关详细说明，请参见第 50 页（CS）上的“使用其他型号遥控器”。

Remote Only（仅限于遥控器）

选择 On 使显示器前面板控制键无效。显示器只能由遥控器控制。

要取消 Remote Only 模式时，请用遥控器将“Remote Only”设定为“Off”。

注

拔下交流电源线或用遥控器打开／关闭显示器时此项目的设定仍然保留。

如果遥控器丢失，可同时按下显示器上的 POWER 键和 MENU 键。

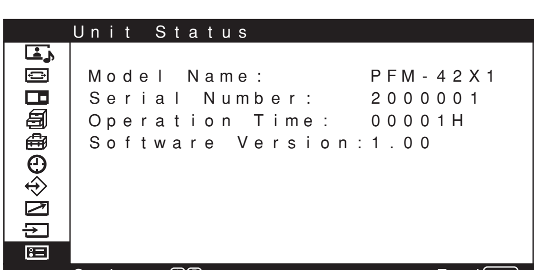
Input Select Menu（输入选择菜单）

此菜单用于切换输入信号。

有关切换输入信号的详细说明，请参见第 26 页（CS）上的“切换输入信号”。

Unit Status（显示器状态）菜单

此菜单用于显示显示器的内部状态。



Model Name（机型名称）

指出机型名称。

Serial Number（序号）

指出序号。

Operation Time（工作时间）

指出工作的总小时数。

注

待机模式不计为工作时间的一部分。

Software Version（软件版本）

指出系统软件版本。

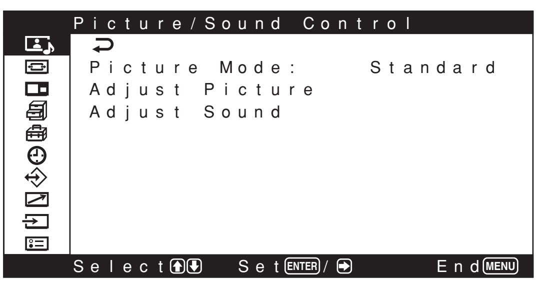
观看图像

开始之前

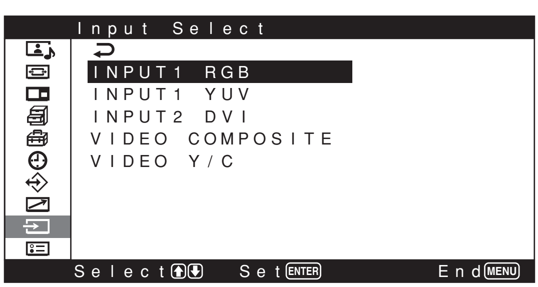
- 接通显示器的电源。
- 接通所连接装置的电源并播放视频源。
- 若要在接通电源或切换输入信号时在屏幕上显示输入信号信息和图象模式，将 Custom Setup（用户设定）菜单中的 “Display” 项目设定为 On。
- 要选择用于菜单的语言时，请参见第 42 页（CS）上的 “选择屏幕语言” 。

切换输入信号

1 按 MENU 键。
主菜单出现在显示器屏幕上。



2 按 ↑/↓ 键将光标（黄色）移到 “Input Select” 处并按 ENTER 键或 ➡ 键。
Input Select 菜单出现在显示器屏幕上。



3 按 ↑/↓ 键将光标（黄色）移到所要显示的输入源处并按 ENTER 键。

INPUT1 RGB（输入 1 RGB）：选择输入到 INPUT1 连接器的信号（模拟 RGB）。

INPUT1 YUV（输入 1 YUV）：选择输入到 INPUT1 连接器的信号（分量）。

INPUT2 DVI（输入 2 DVI）*：选择输入到 INPUT2 连接器的信号（数字 RGB）。

VIDEO COMPOSITE（视频复合）：选择输入到 VIDEO 连接器中 COMPOSITE IN 接口的信号。

VIDEO (Y/C)(视频（Y/C）)：选择输入到 VIDEO 连接器中 Y/C IN 接口的信号。

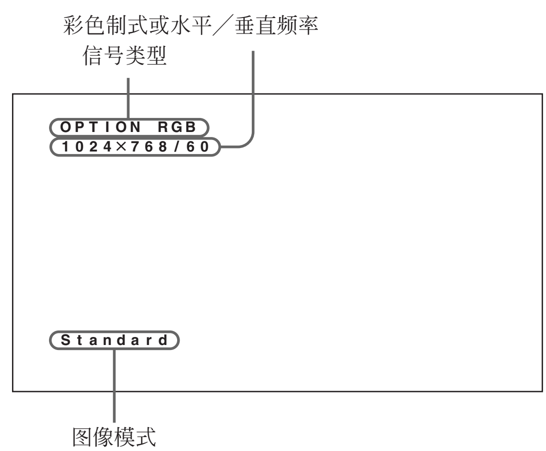
* 使用 PFM-42X1N 时，不能选择此项，因为该型号未配备 INPUT2 连接器。

当装有分量／RGB 输入转接器 BKM-V11 或装有 RGB／分量有源直通转接器 BKM-V12 时

OPTION YUV（可选 YUV）：选择输入到 YUV/RGB IN 的信号（分量）。

OPTION RGB（可选 RGB）：选择输入到 YUV/RGB IN 的信号（模拟 RGB）。

所选的输入信号出现在显示器屏幕上。



您也可以用附带的遥控器切换输入信号。

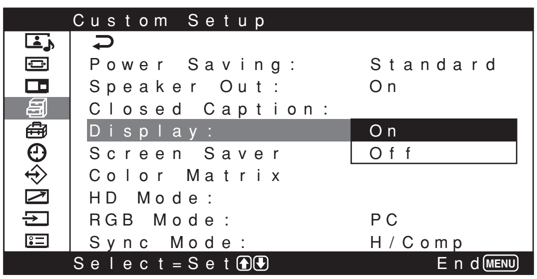
注

- 我们建议输入源视频装置装备 TBC（时基校正器）。如果显示器接收不带 TBC 的信号，则图像可能会因同步信号的干扰而消失。
- 如果从多台系统输入相同格式的信号，Picture Quality（图像质量）设定将预设至最近的设定值（仅当信号格式相同时）。

输入信号、图像模式和显示器状态信息

在接通电源或切换输入信号时，输入信号、图像模式和显示器状态信息在显示器屏幕上显示约 5 秒钟。
要取消此功能时，按以下步骤操作。

1 在 Custom Setup（用户设定）菜单上，按 ↑/↓ 键将光标（黄色）移到 “Display” 处并按 ENTER 键或 → 键。
以下菜单出现在显示器屏幕上。



2 按 ↑/↓ 键将 “Display” 设定为 “Off” 。

要显示信息时

在上述步骤 **00** 中将 “Display” 设定为 “On” 。出厂设定为 “On” 。

注

无论上述设定如何，只要按遥控器上的 DISPLAY 键，随时可以显示输入信号信息和时间。

	预设输入信号		
	信号名称	彩色制式或水平／垂直频率	
	电脑信号		
1	VGA[a]-1 (VGA 350)	31.5 kHz	70 Hz
2	640×480@60 Hz (VESA[b] STD)	31.5 kHz	60 Hz
3	Mac[c] 13″	35.0 kHz	67 Hz
4	VGA (VGA TEXT)	31.5 kHz	70 Hz
5	800×600@60 Hz (VESA STD)	37.9 kHz	60 Hz
6	Mac 16″	49.7 kHz	75 Hz
7	1024×768@60 Hz (VESA STD)	48.4 kHz	60 Hz
8	1024×768@75 Hz (VESA STD)	60.0 kHz	75 Hz
9	1024×768@85 Hz (VESA STD)	68.7 kHz	85 Hz
10	1152×864@75 Hz (VESA STD)	67.5 kHz	75 Hz
11	Mac 21″	68.7 kHz	75 Hz
12	1280×960@60 Hz (VESA STD)	60.0 kHz	60 Hz
13	1280×1024@60 Hz (VESA STD)	64.0 kHz	60 Hz
14	1600×1200@60 Hz (VESA STD)*	75.0 kHz	60 Hz
15	848×480@60 Hz (VESA STD)	29.8 kHz	60 Hz
16	848×480@60 Hz (VESA STD)	29.5 kHz	60 Hz
17	848×480@75 Hz	37.7 kHz	75 Hz
18	1280×768@60 Hz	47.8 kHz	60 Hz
19	1280×768@60 Hz	47.4 kHz	60 Hz
	SDTV/HDTV		
1	PAL	PAL	
2	NTSC	NTSC	
3	SECAM	SECAM	
4	NTSC4.43	NTSC4.43	
5	PAL60	PAL60	
6	PAL-M	PAL-M	
7	PAL-N	PAL-N	
8	575/50i	575/50I	
9	480/60i	480/60I	
10	1080/24psf	1080/48I	
11	1080/50i	1080/50I	
12	576/50p	576/50P	
13	480/60p	480/60P	
14	1080/60i	1080/60I	
15	720/60p	720/60P	
16	720/50p	720/50P	

a) VGA 是美国国际商用机器公司的注册商标。
b) VESA 是视频电子标准协会的注册商标。
c) Mac（Macintosh）是苹果电脑公司的注册商标。

注

- 输入 HDTV 信号时，将三级同步信号输入至 INPUT1 连接器上 RGB/YUV（D 副 15 芯）的第 2 管脚。
- 将 DVD 信号输入到 PFM-42X1 系列后如果色彩太亮，请调整 Adjust Picture（调整图像）菜单中的“Chroma”设定值。
- 当调整相位时，分辨率将下降。
- 无法用 * 将信号输入至 DVI IN。

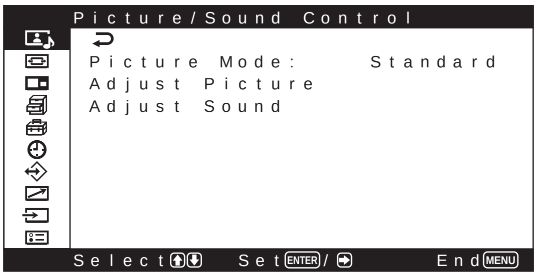
显示器状态的实际屏幕显示

屏幕显示	含义
640×480 / 60（例）	所选的输入信号为电脑 RGB。
480 / 60P（例）	所选的输入信号为分量视频。
NTSC（例）	所选的输入信号为 NTSC。
Out of Range	输入信号超出获取范围。
No Sync	无输入信号。
INPUT1 RGB	INPUT1 的信号模式被设定为 RGB。
INPUT1 YUV	INPUT1 的信号模式被设定为分量视频。
VIDEO COMPOSITE	选择用于 VIDEO 的复合视频输入。
VIDEO Y/C	选择用于 VIDEO 的 Y/C 视频输入。

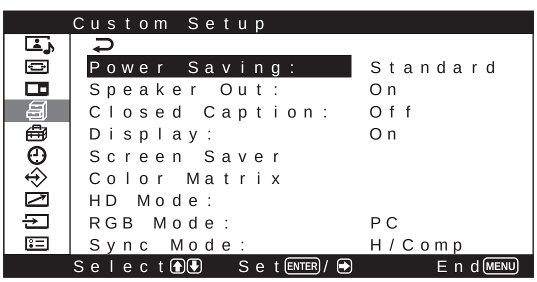
切换显示模式

显示封闭字幕

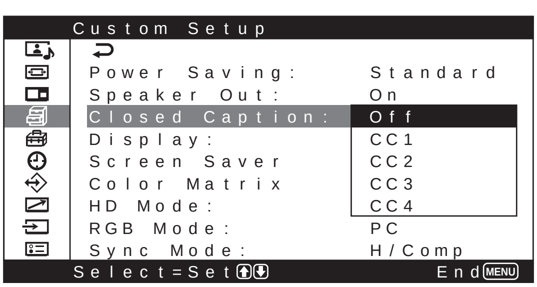
1 按 MENU 键。
主菜单出现在显示器屏幕上。



2 按 ↑/↓ 键将光标（黄色）移到 “Custom Setup” 处并按 ENTER 键或 ➡ 键。
Custom Setup（用户设定）菜单出现在显示器屏幕上。



3 按 ↑/↓ 键将光标（黄色）移到 “Closed Caption” 处并按 ENTER 键或 ➡ 键。
以下菜单出现在显示器屏幕上。



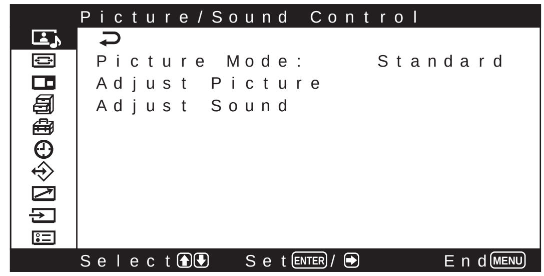
4 用 ↑/↓ 键选择字幕类型。
Off（关）：不显示字幕。
CC1-4（封闭字幕 1-4）：添加字幕 1-4。

5 按 ENTER 键或 ⬅ 键恢复至 Custom Setup（用户设定）菜单。

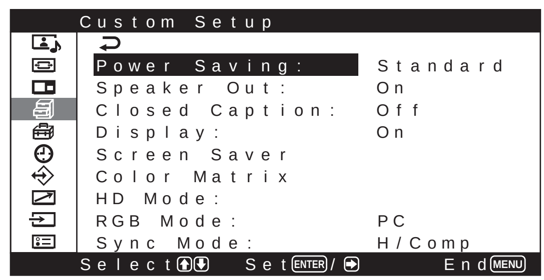
节能功能

此功能可以使您在节能时观看图像。

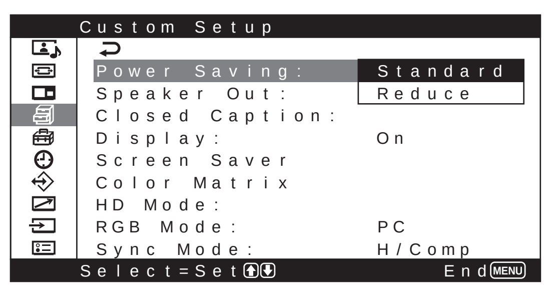
1 按 MENU 键。
主菜单出现在显示器屏幕上。



2 按 ↑/↓ 键将光标（黄色）移到 “Custom Setup” 处并按 ENTER 键或 ➡ 键。
Custom Setup（用户设定）菜单出现在显示器屏幕上。



3 按 ↑/↓ 键将光标（黄色）移动 “Power Saving” 处并按 ENTER 键或 ➡ 键。
以下菜单出现在显示器屏幕上。



4 按 ↑/↓ 键选择节电模式。
Standard：不节能
Reduce：节能
选择 “Reduce” （降低）时，图像亮度会降低，在节能时可以观看图像。

5 按 ENTER 键或 ⬅ 键恢复至 Custom Setup（用户设定）菜单。

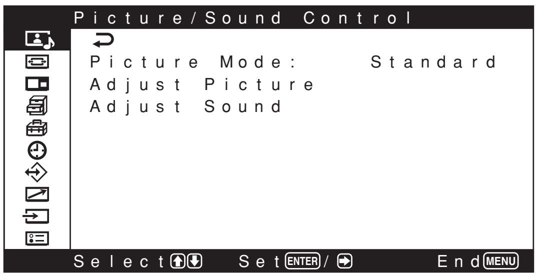
注

- 再次打开本机电源时， “Power Saving: Reduce” 将恢复。
- 即使 Power Saving 设定为 “Reduce” ，仍可调整图像质量。但若提高 Contrast（对比度）或 Brightness（亮度），则可能会使节电功能失效。

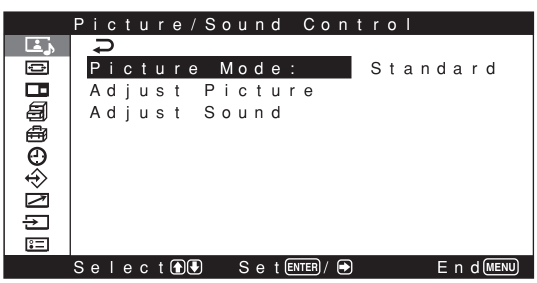
选择图像质量

可设定适合图像类型或本机环境亮度的图像质量。

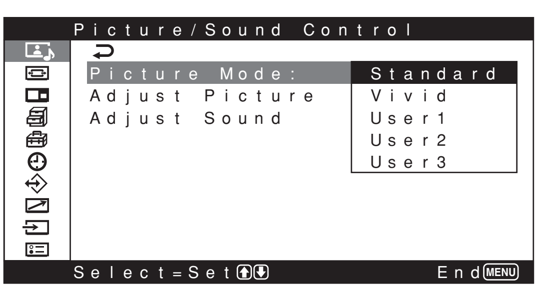
1 按 MENU 键。
主菜单出现在显示器屏幕上。



2 按 ↑/↓ 键将光标（黄色）移到“Picture/Sound Control”处并按 ENTER 键或 ➡ 键。
Picture/Sound Control（图像／声音控制）菜单出现在显示器屏幕上。



3 按 ↑/↓ 键将光标（黄色）移到“Picture Mode”处并按 ENTER 键或 ➡ 键。
以下菜单出现在显示器屏幕上。



4 用 ↑/↓ 键选择 Picture Mode（图像模式）。
Standard：具有适当的对比度和轮廓，图像显得自然。
Vivid：将图像轮廓和对比度设为其最大值，图像具有很强的锐度。
User1-3：可用 Adjust Picture（调整图像）菜单根据需要设定图像质量。

5 按 ENTER 键或 ⬅ 键恢复至 Picture/Sound Control（图像／声音控制）菜单。

调整图像

可以在观看图像的同时调整对比度、亮度、色度、相位等以适合您的喜好。可以分别对各个输入信号进行调整。也可以将调整值存储在存储器中。
请将 Picture Mode（图像模式）设为“User 1-3”中的一种。

调整对比度、亮度、色度和相位等

按 MENU 键使主菜单出现在显示器屏幕上并从 Adjust Picture（调整图像）菜单调整“Contrast”、“Brightness”、“Chroma”、“Phase”、“Sharpness”、“Noise Reduct.”、“Dynamic Picture”、“Color Temp.”、或“Gamma Correct.”。

Contrast

用 ↑/↓ 键选择“Contrast”并按 ENTER 键。
用 ↑/↓/⬅/➡ 键在 MIN（0）至 MAX（100）的范围中调整对比度。
↑/➡：增大图像对比度
↓/⬅：减小图像对比度

Brightness

用 ↑/↓ 键选择“Brightness”并按 ENTER 键。
用 ↑/↓/⬅/➡ 键在 MIN（－50）至 MAX（＋50）的范围中调整亮度。
↑/➡：使图像变亮
↓/⬅：使图像变暗

Chroma

用 ↑/↓ 键选择 “Chroma” 并按 ENTER 键。
用 ↑/↓/←/→ 键在 MIN（−100）至 MAX（+100）的范围中调整色度。
↑/→：增大图像色度
↓/←：减小图像色度

Phase

用 ↑/↓ 键选择 “Phase” 并按 ENTER 键。
用 ↑/↓/←/→ 键在 RMax（红最大）（50）至 GMax（绿最大）（50）的范围中调整相位。
↑/→：使整个图像发绿
↓/←：使整个图像发红

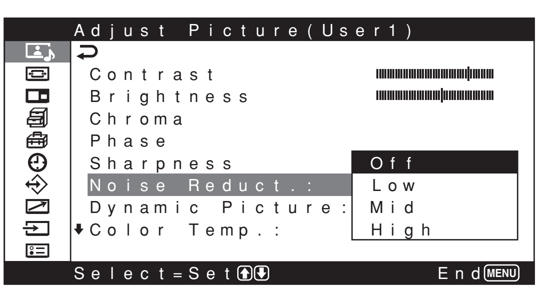
Sharpness

用 ↑/↓ 键选择 “Sharpness” 并按 ENTER 键。
用 ↑/↓/←/→ 键在 MIN（−10）至 MAX（+10）的范围中调整锐度。
↑/→：增强图像锐度
↓/←：减弱图像锐度

Noise Reduct.

减少图像颗粒和色彩噪音。

1 用 ↑/↓ 键选择 “Noise Reduct.” 并按 ENTER 键或 → 键。
以下菜单出现在显示器屏幕上。



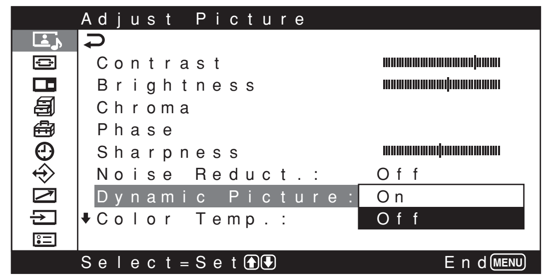
2 用 ↑/↓ 键选择 Noise Reduct.。
Off：直接显示图像信号。
Low：将 Noise Reduct. 处理设为弱。
Mid：将 Noise Reduct. 处理设为中。
High：将 Noise Reduct. 处理设为强。

3 按 ENTER 键或 ← 键恢复至 Adjust Picture（调整图像）菜单。

Dynamic Picture

使白色更白，黑色更黑以提高对比度。

1 用 ↑/↓ 键选择 “Dynamic Picture” 并按 ENTER 键或 → 键。
以下菜单出现在显示器屏幕上。



2 用 ↑/↓ 键选择 Dynamic Picture（动态图像）模式。
On：使用 Dynamic Picture（动态图像）功能
Off：不使用 Dynamic Picture（动态图像）功能

3 按 ENTER 键或 ← 键恢复至 Adjust Picture（调整图像）菜单。

Color Temp.

您也可以设定色温。可以选择 “Cool” 、 “Neutral” 或 “Warm” 、或者单独设定各增益值。最多可以登记三个所调整的色温。可以将它们重新命名（长度最多为六个字符）。

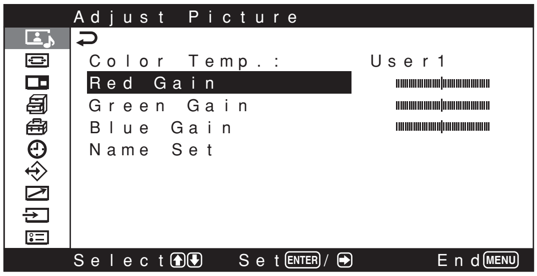
1 用 ↑/↓ 键选择 “Color Temp.” 并按 ENTER 键或 → 键。

2 用 ↑/↓ 键选择色温并按 ENTER 键。
Cool（冷）：将色温设定为高
Neutral（中性）：将色温设为中性
Warm（暖）：将色温设定为低
User1−3：单独设定各增益值

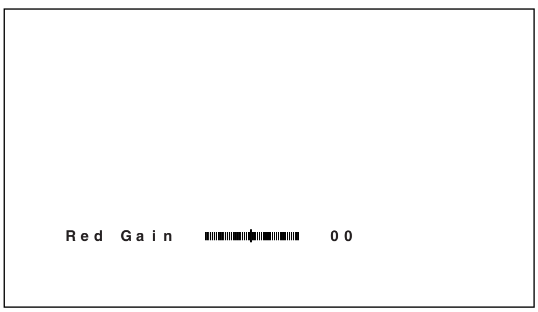
选择 “Warm” 、 “Neutral” 或 “Cool” 时，菜单恢复至 Adjust Picture（调整图像）菜单。

选择“User1”至“User3”时

选择“User1”至“User3”时，以下菜单出现在显示器屏幕上。



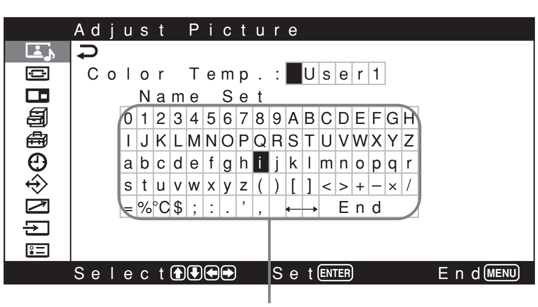
(1) 按 ↑/↓ 键将光标（黄色）移到所要调整的增益项目并按 ENTER 键或 → 键。
以下菜单出现在显示器屏幕上。



(2) 用 ↑/↓/←/→ 键调整增益（−15 至 +15）并按 ENTER 键。
菜单恢复到 Color Temp.（色温）菜单。

对所调整的色温重新命名时，按以下步骤进行。

(3) 按 ↑/↓ 键将光标（黄色）移到“Name Set”处并按 ENTER 键。
以下菜单出现在显示器屏幕上。



字符一览表

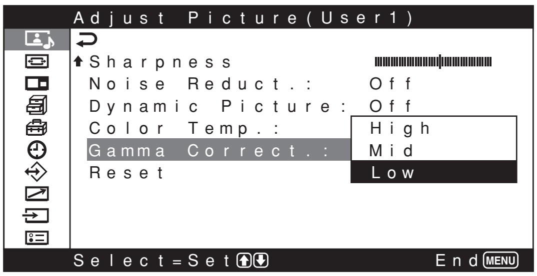
(4) 用 ↑/↓/←/→ 键在字符一览表中选择字符或符号并按 ENTER 键。所选的字符被输入。若输入的字符或符号有误，则选择画面上的“←”，将光标退回一个字符，然后更正错误。
当 Initial Setup 菜单上的“MENU Function”（第 23 页（CS））被设定于“Return”位置时，可用遥控器上的 ↑/↓ 键将光标左移或右移。要用 ↑/↓ 键将光标上移或下移时，请将“MENU Function”设于“On/Off”位置。

(5) 重复步骤（4）并在结束输入名称后，选择“End”并按 ENTER 键。
菜单恢复到 Color Temp. 菜单。

Gamma Correct.

自动调整图像明亮部分和阴暗部分之间的均衡。

1 用 ↑/↓ 键选择 “Gamma Correct.” 并按 ENTER 键或 → 键。
以下菜单出现在显示器屏幕上。



2 用 ↑/↓ 键选择 Gamma Correct. 模式。
High（高）：将伽马校正设为高
Mid（中）：将伽马校正设为中
Low（低）：将伽马校正设为低

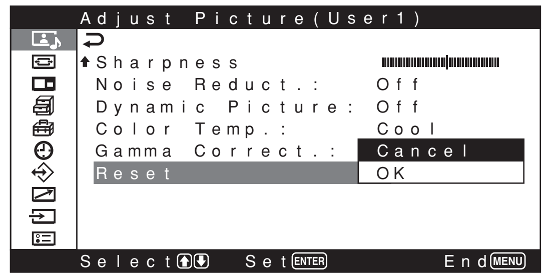
3 按 ENTER 键或 ← 键恢复至 Adjust Picture（调整图像）菜单。

注

- 输入 RGB 信号时，无法调整 Chroma 和 Phase。
- 输入分量信号时，无法调整 Phase。
- 无法调整 PAL、PAL-M、PAL-N、PAL60 或 SECAM 彩色制式的 Phase。
- 输入黑白信号时，无法调整 Chroma 和 Phase。

将 Adjust Picture 菜单项目恢复到初始设定

1 在 Adjust Picture （调整图像）菜单上，按 ↑/↓ 键将光标（黄色）移到 “Reset” 处并按 ENTER 键。
以下菜单出现在显示器屏幕上。



2 按 ↑/↓ 键将光标（黄色）移到 “OK” 处并按 ENTER 键。
Adjust Picture（调整图像）菜单项目恢复其出厂设定。

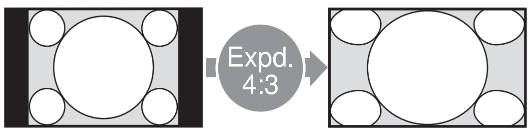
要取消复位功能时

在按 ENTER 键之前按 MENU 键。或者，用 ↑/↓ 键选择 “Cancel” ，然后按 ENTER 键。

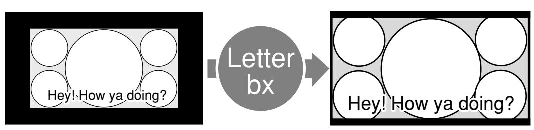
图像放大

可按照自己的喜好放大图像。
对于宽屏幕模式，可进行以下选择。

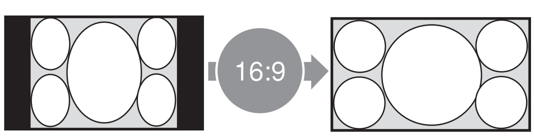
原图像（图像种类）	放大的图像



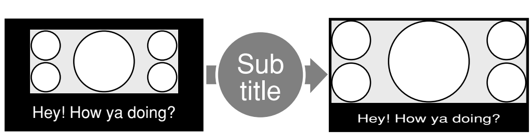
使原图像具有 4:3 纵横比以设定为宽屏幕变焦（屏幕纵横比：4:3）。	图像被自然地放大到整个屏幕大小



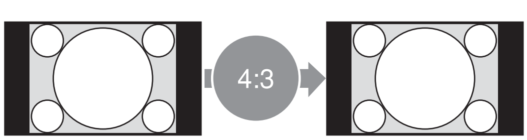
•以可视图像等拍摄的电影长时间出现在屏幕水平方向并在图像（1.85:1）中含有字幕 •来自摄像机或含有纵横比信息（ID-1 格式）的 DVD 软件的图像	对准屏幕的左右两侧，图像被放大到整个屏幕大小。（根据图像种类，可能会在屏幕的上部和下部留下黑条）



来自摄像机或含有纵横比信息（ID-1 格式）的 DVD 软件的图像	图像的左右边缘被放大到整个屏幕大小，而不改变上部和下部。



以电影图像等拍摄的电影长时间出现在屏幕水平方向并在图像（纵横比：2.35:1）中含有字幕	在将图像放大到整个屏幕大小并对准屏幕左右侧的同时，通过仅压缩显示字幕的区域将图像显示在屏幕上。



当纵横比为 4:3 的图像被设定为“4:3”（“4:3”为出厂设定），并且 Auto Wide 设定为 On 时。	图像以原来的 4:3 纵横比显示图像而不放大图像

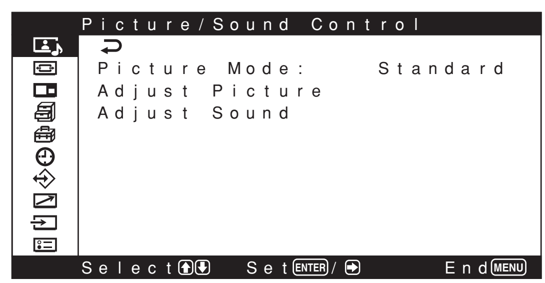
设定自动宽屏幕

自动宽屏幕功能将根据此识别控制信号如实地再现图像，或无视此识别控制信号将各种类型的图像放大至最佳尺寸。

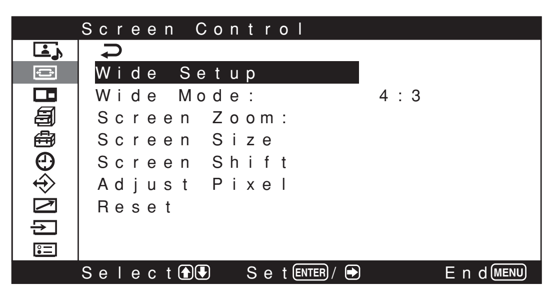
识别控制信号

此控制信号可在显示器屏幕上如实地再现原图像的纵横比。含有此信号的图像由以下组成：
•用包含纵横比信息（ID-1 格式）的摄像机拍摄的图像。
•包含将纵横比设为 4:3 的信号的电视广播。

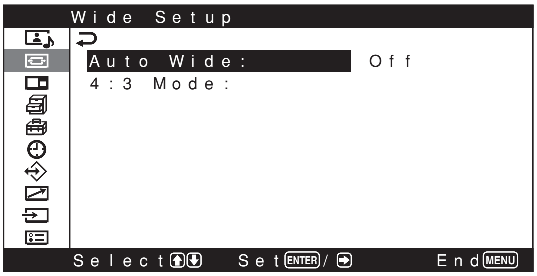
1 按 MENU 键。
主菜单出现在显示器屏幕上。



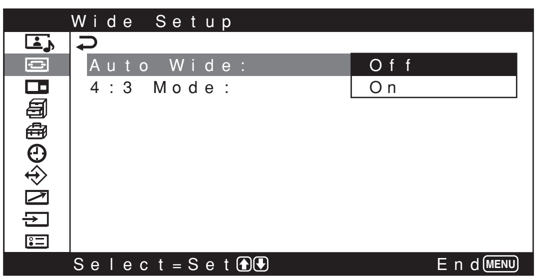
2 按 ↑/↓ 键将光标（黄色）移到“Screen Control”处并按 ENTER 键或 ➡ 键。
Screen Control（画面控制）菜单出现在显示器屏幕上。



3 按 ↑/↓ 键将光标（黄色）移到 “Wide Setup” 处并按 ENTER 键或 ➡ 键。
以下菜单出现在显示器屏幕上。



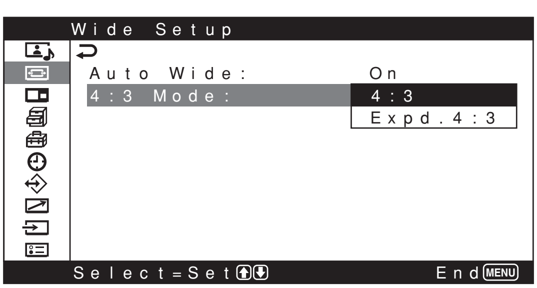
4 按 ↑/↓ 键将光标（黄色）移到 “Auto Wide” 处并按 ENTER 键或 ➡ 键。
以下菜单出现在显示器屏幕上。



5 用 ↑/↓ 键选择 Auto Wide（自动宽屏幕）设定。
Off：图像按其原样再现。
On：图像以最适当的纵横比被放大和显示。

6 按 ENTER 键或 ⬅ 键。
菜单恢复到 Wide Setup（宽屏幕设定）菜单。

7 用 ↑/↓ 键选择 “4:3 Mode” 并按 ENTER 键。
以下菜单出现在显示器屏幕上。



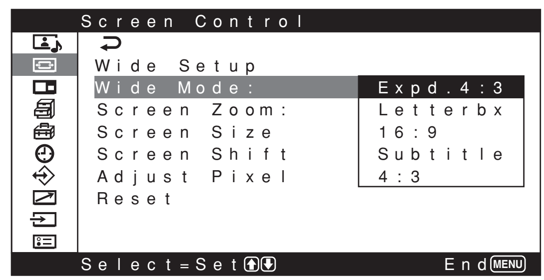
8 用 ↑/↓ 键选择 4:3 Mode。
4:3：4:3 纵横比的图像按原样显示。
Expd.4:3：放大到 16:9 纵横比后，显示 4:3 纵横比的图像。（无识别控制信号时）

9 按 ENTER 键或 ⬅ 键。
菜单恢复到 Wide Setup 菜单。

设定宽屏幕模式

也可无视图像类型而以所需的宽屏幕模式放大图像。当从计算机输入信号时，仅可选择 “16:9” 或 “4:3” 。

1 在 Screen Control（画面控制）菜单上，按 ↑/↓ 键将光标（黄色）移到 “Wide Mode” 处并按 ENTER 键或 ➡ 键。
以下菜单出现在显示器屏幕上。



2 用 ↑/↓ 键选择 Wide Mode。
Expd.4:3：将全屏幕 4:3 图像放大到 16:9 图像。
Letterbx：将图像放大至屏幕的所有左右边缘。（根据图像的种类，可能会在屏幕的上部和下部留下黑条）
16:9：将图像的左右侧扩大至整个屏幕而不改变顶部和底部。
Subtitle：将图像放大至屏幕的所有左右边缘，并仅压缩显示字幕的区域。
4:3：显示未放大的图像。

3 按 ENTER 键或 ⬅ 键。
菜单恢复到 Screen Control（画面控制）菜单。

注

- 若设定 Wide Mode，则无法使用 Auto Wide 功能。若要使用 Auto Wide 功能，请将其重新设定为 “On” 。
- 根据图像的类型和尺寸，图像的顶部或底部可能被切除或者字幕可能不完全显示在屏幕上。
- 请注意，若将放大或压缩的画面用于商业目的，或在咖啡店或旅馆用于公开放演，则可能会侵害受版权法保护的版权。

调整图像的尺寸和位置

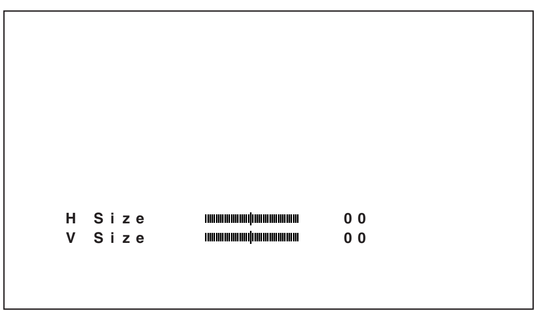
可以移动图像的位置以适合屏幕，或分别调整图像的垂直和水平尺寸。

本使用说明书说明在 MENU Function（菜单功能）被设为 “On/Off” 的状态下的操作。

有关 Screen Control（画面控制）的详情，请参见第 20 页（CS）上的 “Screen Control （画面控制）菜单”。

调整图像的尺寸

1 在 Screen Control（画面控制）菜单上，按 ↑/↓ 键将光标（黄色）移到 “Screen Size” 处并按 ENTER 键。
以下菜单出现在显示器屏幕上。

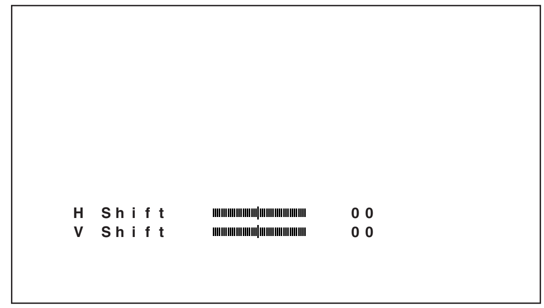


2 用 ↑/↓/←/→ 键水平和垂直调整图像尺寸。
←/→：水平调整图像尺寸
↑/↓：垂直调整图像尺寸
图像水平方向的尺寸在画面上以最小（—30）～最大（+30）的调整值来显示。垂直方向的尺寸以最小（—30）～最大（+30）的调整值来显示。出厂预设值为 00。

3 按 ENTER 键。
菜单恢复到 Screen Control（画面控制）菜单。

调整图像的位置

1 在 Screen Control（画面控制）菜单上，按 ↑/↓ 键将光标（黄色）移到 “Screen Shift” 处并按 ENTER 键。
以下菜单出现在显示器屏幕上。



2 用 ↑/↓/←/→ 键可垂直和水平移动图像。
←/→：向左侧和右侧移动图像
↑/↓：向上和向下移动图像
图像的水平位置在画面上以 LMax（左最大）（30）～RMax（右最大）（30）的调整值来显示。垂直位置在画面上以 BMax（下最大）（30）～TMax（上最大）（30）的调整值显示。出厂预设值为 00。

3 按 ENTER 键。
菜单恢复到 Screen Control（画面控制）菜单。

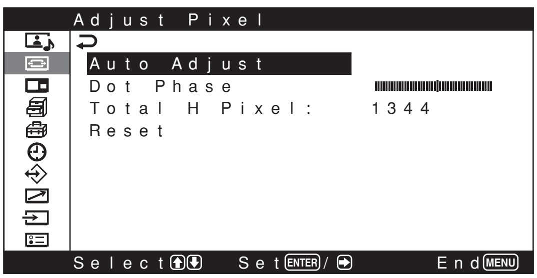
调整像素

如果字符边缘有许多杂波或垂直线条，可以调整点相位和水平像素的总数。

注

此项目依所使用的电脑信号而异。

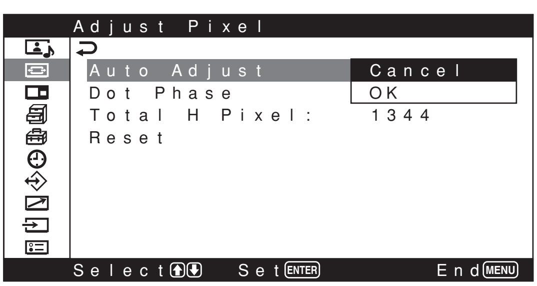
1 在 Screen Control（画面控制）菜单上，按 ↑/↓ 键将光标（黄色）移到 “Adjust Pixel” 处并按 ENTER 键。
以下菜单出现在显示器屏幕上。



2 可以自动或手动调整点相位和水平像素的总数。

自动调整

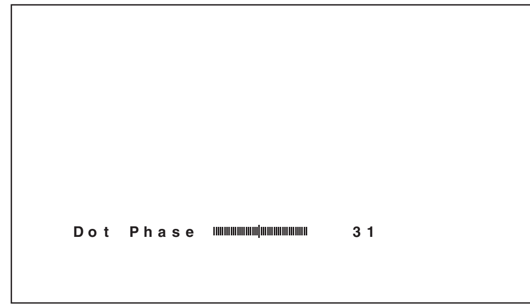
(1) 用 ↑/↓ 键选择 “Auto Adjust” 并按 ENTER 键。
以下菜单出现在显示器屏幕上。



(2) 用 ↑/↓ 键选择 “OK” 并按 ENTER 键。
点相位和水平像素的总数被自动调整。

手动调整

(1) 用 ↑/↓ 或 ←/→ 键选择 “Dot Phase” 或 “Total H Pixel” 并按 ENTER 键。
以下菜单出现在显示器屏幕上。（选择 “Dot Phase” 时）



(2) 用 ↑/↓ 或 ←/→ 键调整点相位或水平像素的总数并按 ENTER 键。

注

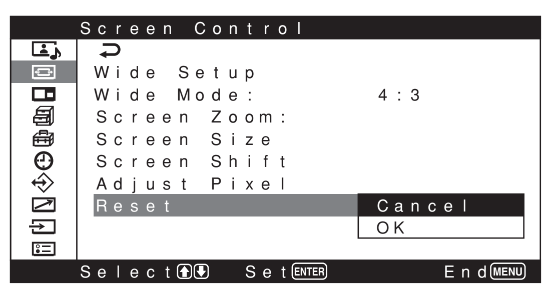
由于图像上的图案，有时即使使用 Auto Adjust（自动调整）后仍有噪音发生。这时，请手动调整点相位。

将 Adjust Pixel（调整像素）菜单项目恢复到其初始设定

在 Adjust Pixel（调整像素）菜单上，按 ↑/↓ 键将光标（黄色）移到 “Reset” 处并按 ENTER 键。然后用 ↑/↓ 键选择 “OK” 并按 ENTER 键。

恢复画面控制菜单调整值

1 在 Screen Control（画面控制）菜单上，按 ↑/↓ 键将光标（黄色）移到 “Reset” 处并按 ENTER 键。
以下菜单出现在显示器屏幕上。



2 按 ↑/↓ 键将光标（黄色）移到 “OK” 处并按 ENTER 键。
Screen Control（画面控制）菜单项目被恢复。

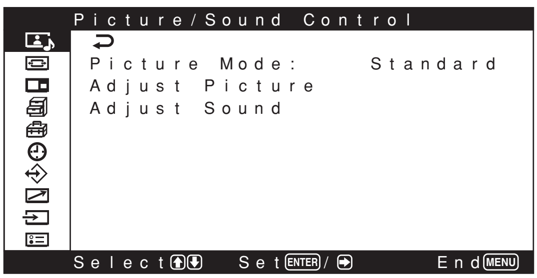
要取消复位功能时

在按 ENTER 键之前按 MENU 键。或者，用 ↑/↓ 选择 “Cancel”，然后按 ENTER 键。

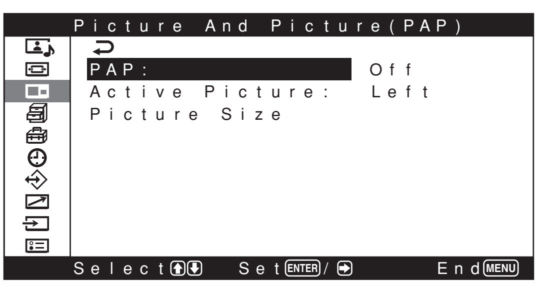
同时观看两幅图像

可同时并排显示来自不同信号源的两幅图像。此外，在遥控器上按 ENTER 键，然后按 INPUT1 键，还可切换到 “Picture And Picture (PAP)（图像和图像）” 模式。

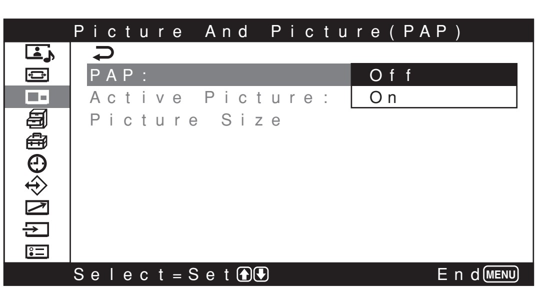
1 按 MENU 键。
主菜单出现在显示器屏幕上。



2 按 ↑/↓ 键将光标（黄色）移到 “Picture And Picture（PAP）”（图像和图像）处并按 ENTER 键或 ➡ 键。
Picture And Picture（PAP）菜单出现在显示器屏幕上。



3 按 ↑/↓ 键将光标（黄色）移到 “PAP” 处并按 ENTER 键或 ➡ 键。
以下菜单出现在显示器屏幕上。



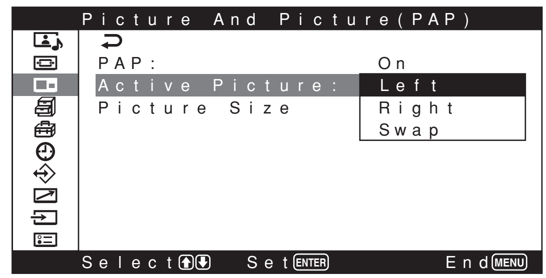
4 用 ↑/↓ 键选择 “On” 。

5 按 ENTER 键或 ⬅ 键回到前面的画面。

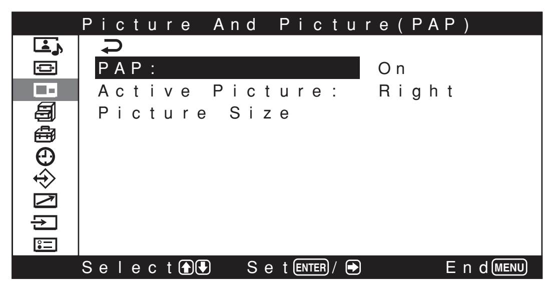
启动图像

启动两幅图像中的一幅进行操作。（想要操作右侧图像时）

1 按 ↑/↓ 键将光标（黄色）移到 “Active Picture” 处并按 ENTER 键或 ➡ 键。
以下菜单出现在显示器屏幕上。

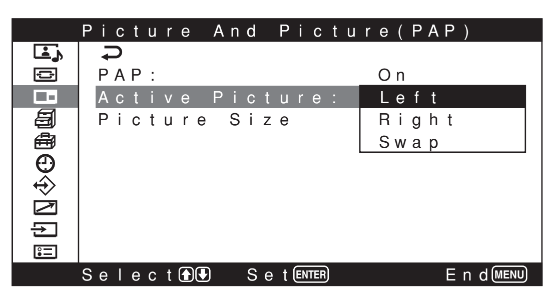


2 用 ↑/↓ 键选择 “Right” 并按 ENTER 键。现在便可操作右侧图像。



切换两幅图像的位置

1 按 ↑/↓ 键将光标（黄色）移到 “Active Picture” 处并按 ENTER 键。
以下菜单出现在显示器屏幕上。



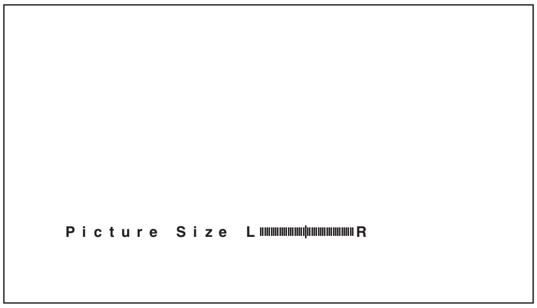
2 用 ↑/↓ 键选择 “Swap” 并按 ENTER 键。
两幅图像的位置被切换。

注

请注意，将显示在左侧的图像称为 “左侧图像”，将显示在右侧的图像称为 “右侧图像” 。

局部放大图像

1 按 ↑/↓ 键将光标（黄色）移到 “Picture Size” 处并按 ENTER 键。



2 按住 ←/→ 键改变图像尺寸。

3 按 ENTER 键进行设定。

注

- 在遥控器上按ENTER键，然后按 INPUT1 键，可切换到 “Picture And Picture (PAP)（图像和图像）” 模式。
- 下面列出的是可以并排显示的图像信号组合。

	数字 RGB 信号**	模拟 RGB 信号	分量信号	Y/C 信号	复合信号
数字RGB信号**	-	-	支持	支持	支持
模拟 RGB 信号	-	-	支持*	支持	支持
分量信号	支持	支持*	-	支持	支持
Y/C 信号	支持	支持	支持	-	-
复合信号	支持	支持	支持	-	-

* 通过本机 INPUT1 和通过选购的 BKM-V11 或 BKM-V12 输入的信号的组合。

** PFM-42X1N 未配备数字输入连接器。

调整音质

安装 SS-SP20B 扬声器（未附带）后，可调整高音等级、低音等级或扬声器音量的平衡（左侧和右侧）。还可设定环绕声模式。

调整高音、低音和均衡等

按 MENU 键使主菜单出现在显示器屏幕上，然后从 Adjust Sound（调整音质）菜单选择 “Treble”、“Bass”、“Balance” 或 “Surround”。

Treble

用 ↑/↓ 键选择 “Treble” 并按 ENTER 键。
用 ↑/↓/←/→ 键在 MIN（−50）至 MAX（+50）的范围内调整高音。
↑/→：增加高音
↓/←：减少高音

Bass

用 ↑/↓ 键选择 “Bass” 并按 ENTER 键。
用 ↑/↓/←/→ 键在 MIN（−50）至 MAX（+50）的范围内调整低音。
↑/→：增加低音
↓/←：减少低音

Balance

用 ↑/↓ 键选择 “Balance” 并按 ENTER 键。
用 ↑/↓/←/→ 键在 LEFT（50）至 RIGHT（50）的范围内调整均衡。
↑/→：增加右侧音量
↓/←：增加左侧音量

Surround

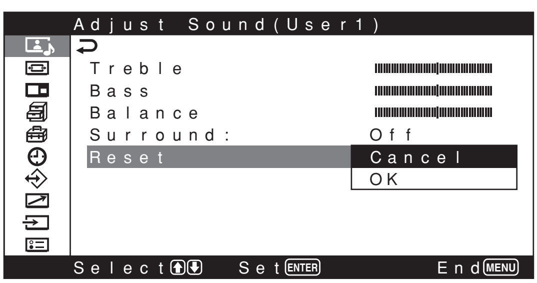
根据图像类型选择环绕声模式。

1 用 ↑/↓ 键选择 “Surround” 并按 ENTER 键。

2 用 ↑/↓ 键选择环绕声模式并按 ENTER 键。
Off：无环绕声信号输出
Hall：使电影和音乐等的立体声更具临场感
Simul.：将普通电视广播和新闻节目的单声变为模拟立体声，增强其临场感

将 Adjust Sound（调整音质）菜单项目恢复到其初始设定

1 在 Adjust Sound（调整音质）菜单上，按 ↑/↓ 键将光标（黄色）移到 “Reset” 处并按 ENTER 键或 ➡ 键。
以下菜单出现在显示器屏幕上。



2 按 ↑/↓ 键将光标（黄色）移到 “OK” 处并按 ENTER 键。
Adjust Sound 菜单项目恢复其出厂设定。

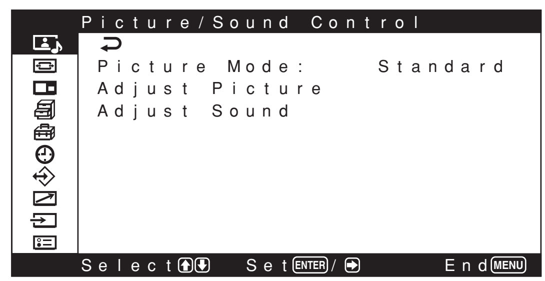
要取消复位功能时
在按 ENTER 键之前按 MENU 键。或者，用 ↑/↓ 键选择 “Cancel” 并按 ENTER 键。

使用存储功能

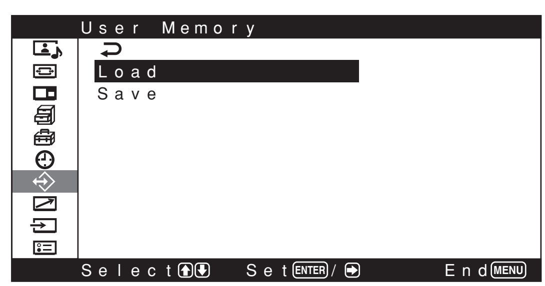
可以用 Memory 功能保存各输入信号的设定。保存的设定可以随时恢复。可以存储 Picture/Sound Control（图像／声音控制）和 Screen Control（画面控制）菜单中的项目。最多可以保存二十个输入信号的图像设定。可以对项目的设定命名（长度最多为 6 字符）。

存储当前设定

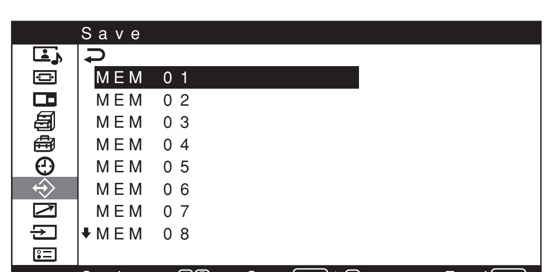
1 按 MENU 键。
主菜单出现在显示器屏幕上。



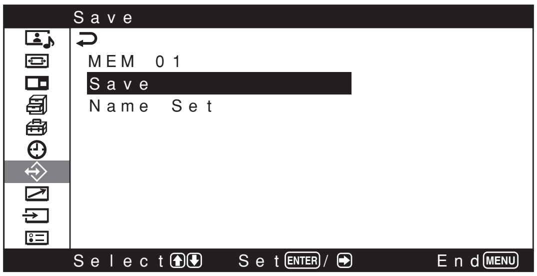
2 按 ↑/↓ 键将光标（黄色）移到 “User Memory” 处并按 ENTER 键或 ➡ 键。
User Memory（用户存储）菜单出现在显示器屏幕上。



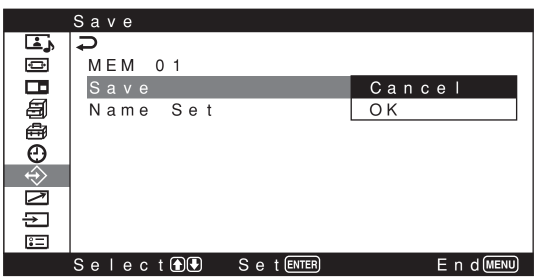
3 按 ↑/↓ 键将光标（黄色）移到 “Save” 处并按 ENTER 键或 ➡ 键。
以下菜单出现在显示器屏幕上。



4 用 ↑/↓ 键选择存储号码（01 至 20）并按 ENTER 键或 → 键。
以下菜单出现在显示器屏幕上。



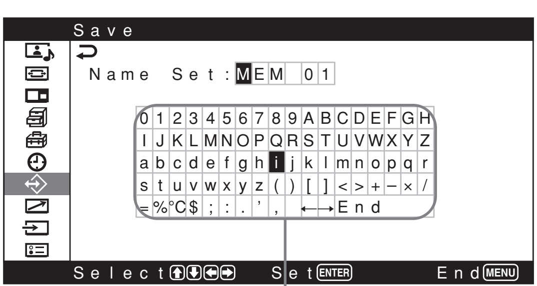
5 按 ↑/↓ 键将光标（黄色）移到“Save”处并按 ENTER 键或 → 键。
以下菜单出现在显示器屏幕上。



6 按 ↑/↓ 键将光标（黄色）移到“OK”处并按 ENTER 键。
当前的数据被存储在所选存储号码中。

当给设定命名时，按照下列步骤进行。

7 按 ↑/↓ 键将光标（黄色）移到“Name Set”并按 ENTER 键。
以下菜单出现在显示器屏幕上。



字符一览表

8 用 ↑/↓/←/→ 键在字符一览表中选择字符或符号并按 ENTER 键。所选的字符被输入。若输入的字符或符号有误，则选择画面上的“←”，将光标退回一个字符，然后更正错误。
当 Initial Setup 菜单上的“MENU Function”（第 23 页（CS））被设定于“Return”位置时，可用遥控器上的 ↑/↓ 键将光标左移或右移。要用 ↑/↓ 键将光标上移或下移时，请将“MENU Function”设于“On/Off”位置。

9 重复步骤 **8** 的操作，输入完名称后选择“End”并按 ENTER 键。
菜单恢复到 Save（保存）菜单。

调用存储的设定

1 在 User Memory（用户储存）菜单上，按 ↑/↓ 键将光标（黄色）移到“Load”处并按 ENTER 键或 → 键。
以下菜单出现在显示器屏幕上。



2 用 ↑/↓ 键将光标移到想要调用设定的 Memory Number（01 至 20）处。
所存储的调整值被调用。

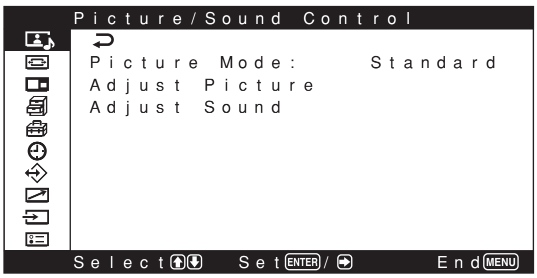
要恢复前面的设定值
将光标移到“Restore”。

3 按 ENTER 键或 ← 键。
显示返回到 User Memory 菜单。

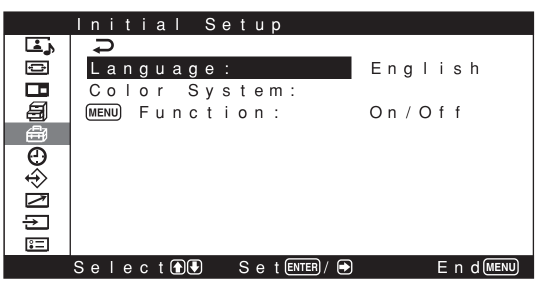
选择屏幕语言

可以从日语、英语、德语、法语、西班牙语或意大利语中选择屏幕语言。

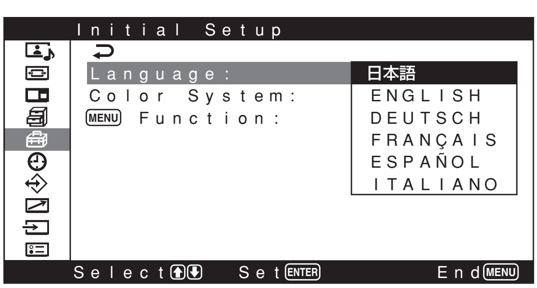
1 按 MENU 键。
主菜单出现在显示器屏幕上。



2 按 ↑/↓ 键将光标（黄色）移到 “Initial Setup” 处并按 ENTER 键或 ➡ 键。
Initial Setup（初始设定）菜单出现在显示器屏幕上。



3 按 ↑/↓ 键将光标（黄色）移到 “Language” 菜单处并按 ENTER 键或 ➡ 键。
以下菜单出现在显示器屏幕上。



4 按 ↑/↓ 键将光标（黄色）移到所选的语言处。
屏幕语言切换为所选的语言。

日本語: 日语
ENGLISH: 英语
DEUTSCH: 德语
FRANÇAIS: 法语
ESPAÑOL: 西班牙语
ITALIANO: 意大利语

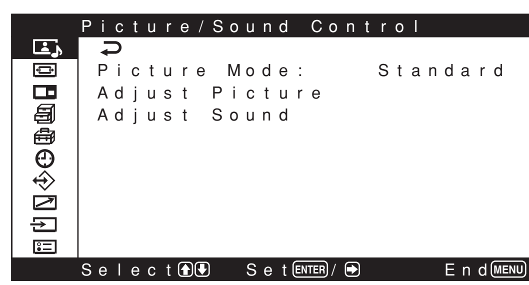
5 按 ENTER 键或 ⬅ 键恢复至 Initial Setup（初始设定）菜单。

屏幕保护功能

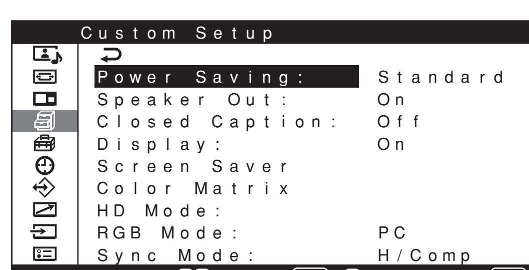
如果长时间显示不改变亮度的图像或静止图像（如电脑上显示的图像），显示器上则可能出现残像。为了修正或减小此现象的严重性，本显示器具有屏幕保护功能。
有三种屏幕保护方式：一种是反转图像色调（Pic. Inversion），另一种是以预设的时间间隔自动在屏幕上移动图像（Pic. Orbit），还有一种是当使用 “4:3” 模式或 “Picture And Picture (PAP)（图像和图像）” 模式时，调整无视频信号背景区域的亮度 (Background)。

反转图像的色调

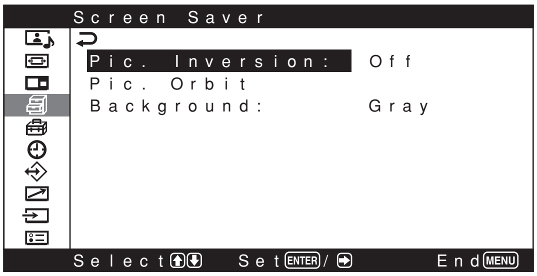
1 按 MENU 键。
主菜单出现在显示器屏幕上。



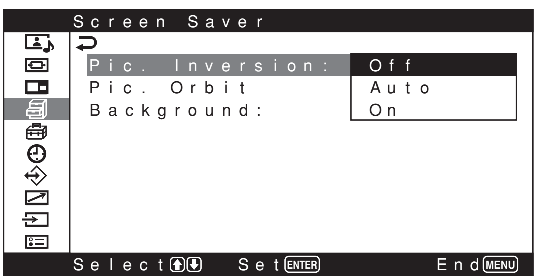
2 按 ↑/↓ 键将光标（黄色）移到 “Custom Setup” 处并按 ENTER 键或 ➡ 键。
Custom Setup（用户设定）菜单出现在显示器屏幕上。



3 按 ↑/↓ 键将光标（黄色）移到“Screen Saver”处并按 ENTER 键或 ➡ 键。
以下菜单出现在显示器屏幕上。

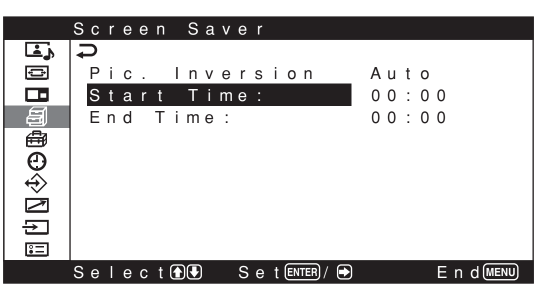


4 按 ↑/↓ 键将光标（黄色）移到“Pic. Inversion”处并按 ENTER 键。
以下菜单出现在显示器屏幕上。

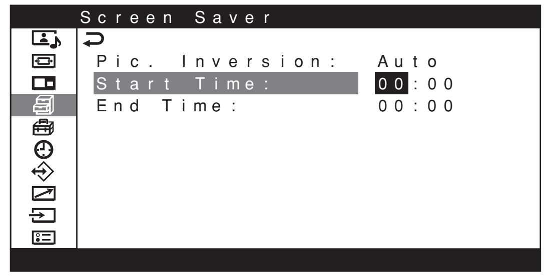


5 用 ↑/↓ 键选择 Pic. Inversion 模式。
Off（关）：将 Pic. Inversion 设定为 Off
Auto（自动）：一天进行一次 Pic. Inversion 处理
On（开）：反转图像的色调

选择“Auto”后按 ENTER 键时，以下菜单出现。



(1) 按 ↑/↓ 键将光标（黄色）移到“Start Time”处并按 ENTER 键。
以下菜单出现，小时的背景显示为黄色。



(2) 用 ↑/↓ 键设定图像翻转时的小时并按 ENTER 键。
小时的设定被输入，而且分钟的背景色变为黄色。

(3) 用 ↑/↓ 键设定分钟并按 ENTER 键。分钟的设定被输入。按 ⬅ 键恢复到步骤 **5** 中所显示的画面。
当用装置上的键钮时，按 MENU 键以关闭菜单。请将 Initial Setup（初始设定）菜单上的“MENU Function”（第 23 页（CS））设为“Return”。这样，装置上的 MENU 键将具有与 ⬅ 键相同的功能。

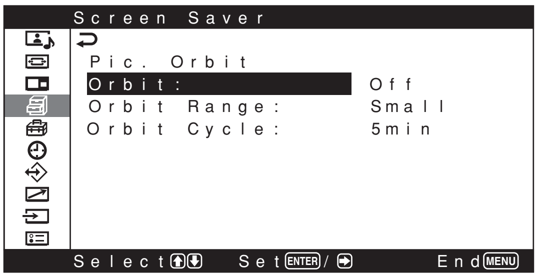
(4) 同时，设定 Pic. Inversion 的 End Time。图像将在 Start Time 翻转并在 End Time 恢复到原来的显示图像。此过程一天中自动进行一次。

注

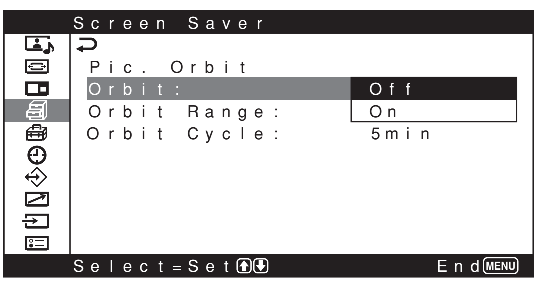
若将 Start Time 和 End Time 设定为相同时间，则 Start Time 的设定比 End Time 优先，显示图像不会在 End Time 恢复到原来的图像。

自动改变图像位置

1 在 Screen Saver 菜单上，按 ↑/↓ 键将光标（黄色）移到 “Pic. Orbit” 处并按 ENTER 键或 ➡ 键。
以下菜单出现在显示器屏幕上。



2 按 ↑/↓ 键将光标（黄色）移到 “Orbit” 处并按 ENTER 键或 ➡ 键。
以下菜单出现在显示器屏幕上。

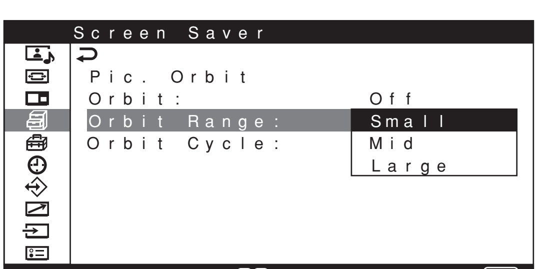


3 用 ↑/↓ 键选择 Orbit 模式。
Off（关）：取消 Pic. Orbit 功能。
On（开）：设定 Pic. Orbit 功能。

4 按 ENTER 键或 ⬅ 键。
菜单恢复到 Pic. Orbit（图像移动）菜单。

5 用 ↑/↓ 键选择 “Orbit Range” （移动距离）或 Orbit Cycle（时间）并按 ENTER 键。
可以选择以下数值：
Orbit Range：Small、Mid、Large
Orbit Cycle：10sec、30sec、1min、5min

以下菜单出现在显示器屏幕上。（选择 “Orbit Range” 时）



6 用 ↑/↓ 键调整 Orbit Range 或 Orbit Cycle。

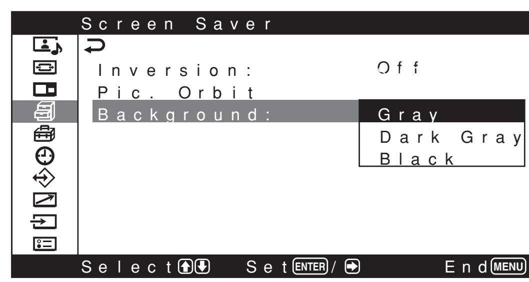
7 按 ENTER 键或 ⬅ 键恢复至前面的画面。

Pic. Inversion 和 Pic. Orbit 均设定为 ON 时
如果 Pic. Orbit 功能在图像翻转时启动，则翻转图像的显示位置改变。

调整背景（无视频信号区域）亮度

当使用 “4:3” 模式或 Picture And Picture (PAP)（图像和图像）模式时，如果图像区域和背景（无视频信号区域）的亮度反差较大，很可能造成屏幕老化。可调整背景的亮度，以防发生这种情况。

1 在 Screen Saver 菜单中，按 ↑/↓ 将光标（黄色）移动到 “Background” 处，然后按 ENTER 键或 ➡。
以下菜单出现在显示器屏幕上。



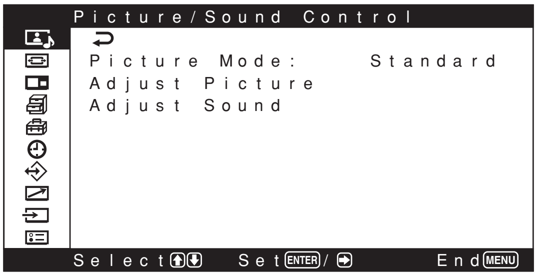
2 用 ↑/↓ 选择背景亮度。
缺省设定为 Gray（灰色）。

3 按 ENTER 或 ⬅ 返回到前一画面。

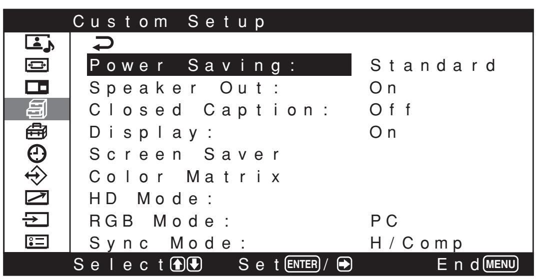
调整色彩矩阵

当带信号方式（480P(525P),1080I(1125I)或 720P (750P)）的信号输入到分量输入转接器时，可设定 Color Matrix 以使显示的图像色彩自然。

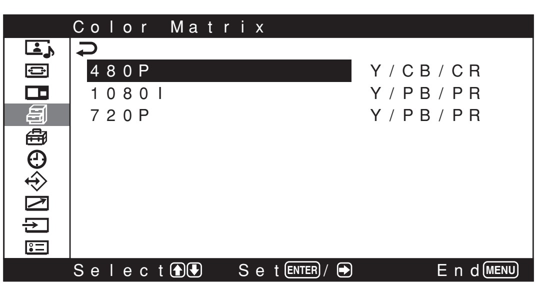
1 按 MENU 键。
主菜单出现在显示器屏幕上。



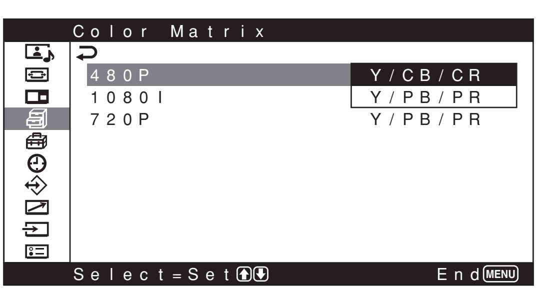
2 按 ↑/↓ 键将光标（黄色）移动 “Custom Setup” 处并按 ENTER 键或 ➡ 键。
Custom Setup（用户设定）菜单出现在显示器屏幕上。



3 按 ↑/↓ 键将光标（黄色）移动 “Color Matrix” 处并按 ENTER 键或 ➡ 键。
以下菜单出现在显示器屏幕上。



4 用 ↑/↓ 键选择信号方式并按 ENTER 键或 ➡ 键。
以下菜单出现在显示器屏幕上。



5 用 ↑/↓ 键选择色彩矩阵。
Y/CB/CR：信号方式为 480P 时。
Y/PB/PR：信号方式为 1080I 或 720P 时。
有关正确设定的详细说明，请参见各装置附带的使用说明书。

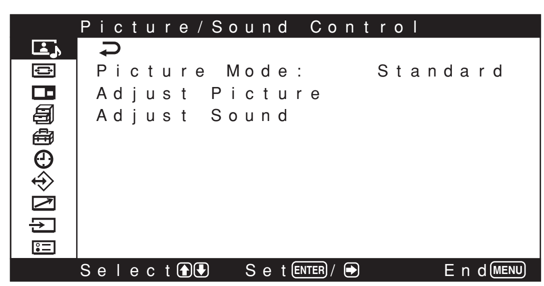
6 按 ENTER 键或 ⬅ 键恢复至前面的画面。

自动控制电源开／关（定时器功能）

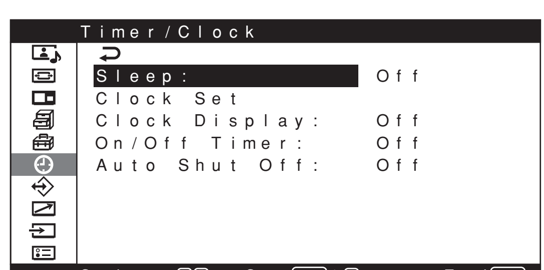
本显示器有三种电源控制功能。一种是可以将其设定为若无输入信号，则会自动关闭电源（Power Saving 功能）。另一种是可以设定电源自动开／关（On/Off 定时器功能）的时间。此外，还具有睡眠功能：即使在屏幕显示期间，预设时间过后也会自动关闭电源。

睡眠功能

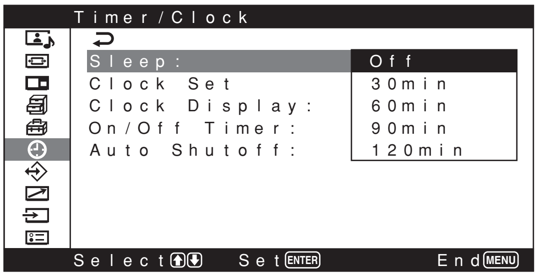
1 按 MENU 键。
主菜单出现在显示器屏幕上。



2 按 ↑/↓ 键将光标（黄色）移到 “Timer/Clock” 处并按 ENTER 键或 ➡ 键。
Timer/Clock（定时器／时钟）菜单出现在显示器屏幕上。



3 按 ⬆/⬇ 键将光标（黄色）移到 “Sleep” 处并按 ENTER 键或 ➡ 键。
以下菜单出现在显示器屏幕上。

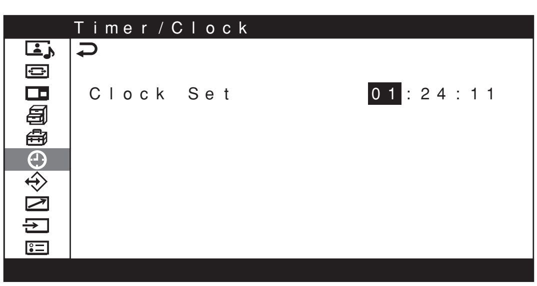


4 用 ⬆/⬇ 键选择关闭电源的时间。
Off：不关闭电源。
30 min：30 分钟后关闭电源。
60 min：60 分钟后关闭电源。
90 min：90 分钟后关闭电源。
120 min：120 分钟后关闭电源。

5 按 ENTER 键或 ⬅ 键恢复至前面的画面。

调整时间

1 在 Timer/Clock（定时器/时钟）菜单上，按 ⬆/⬇ 键将光标（黄色）移动 “Clock Set” 处并按 ENTER 键或 ➡ 键。
显示以下菜单，时间的背景色变为黄色。



2 用 ⬆/⬇ 键调整小时并按 ENTER 键。小时的设定被输入，分钟的背景显示呈黄色。

3 同样，调整分钟并按 ENTER 键。分钟的设定被输入，秒钟的背景变为黄色。

4 按 ENTER 键。
秒钟复位到 00。

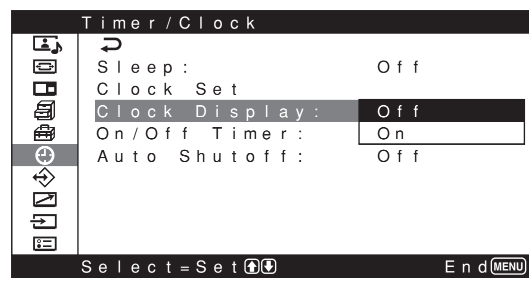
5 按 MENU 键。
显示回到普通画面。如果必须进一步调整，或再进行设定，使显示将恢复至正常画面，请从步骤 **1** 进行操作。

注

如果内置时钟明显变慢，可能是内部电池已耗尽。请与 Sony 授权的经销商联系以更换电池。

显示时间

1 在 Timer/Clock（定时器/时钟）菜单上，按 ⬆/⬇ 键将光标（黄色）移到 “Clock Display” 处并按 ENTER 键。
以下菜单出现在显示器屏幕上。

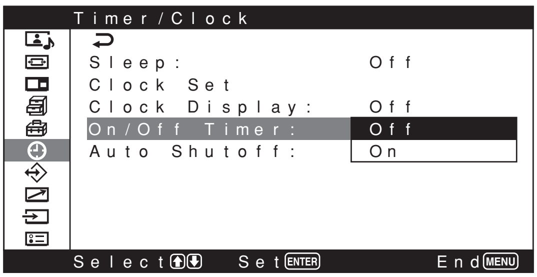


2 用 ⬆/⬇ 键选择 “On” 。
菜单消失时，在显示器右下角显示出时钟。

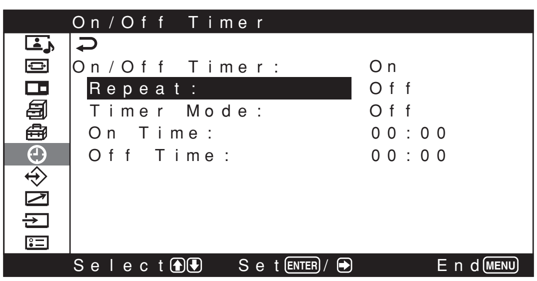
按遥控器上的 DISPLAY 键时，时钟消失，现在输入的信号和 Picture Mode 出现。若再次按 DISPLAY 键，时钟再次出现。
如果此信息持续显示约 10 秒钟，将自动消失。
另外，关闭本机电源时，电源打开时的 Clock Display 设定将不保存。

开／关定时器功能

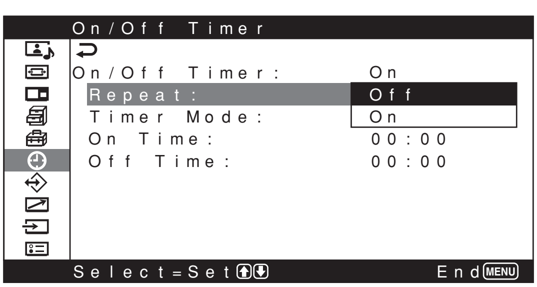
1 在 Timer/Clock（定时器／时钟）菜单上，按 ⬆/⬇ 键将光标（黄色）移到 “On/Off Timer” 处并按 ENTER 键。
以下菜单出现在显示器屏幕上。



2 用 ⬆/⬇ 键选择 “On” 并按 ENTER 键。
以下菜单出现在显示器屏幕上。



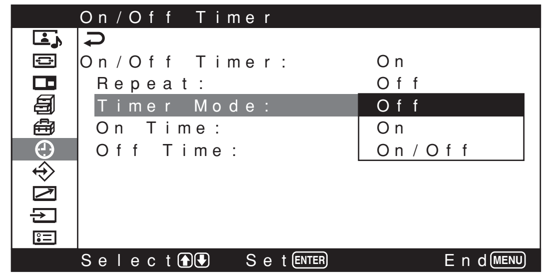
3 用 ⬆/⬇ 键选择 “Repeat” 并按 ENTER 键或 ➡ 键。
以下菜单出现在显示器屏幕上。



4 用 ⬆/⬇ 键选择重复模式。
Off：电源仅开／关一次
On：电源在预设的每天同一时间开／关。

5 按 ENTER 键或 ⬅ 键。
菜单恢复到 On/Off Timer（开／关定时器）菜单。

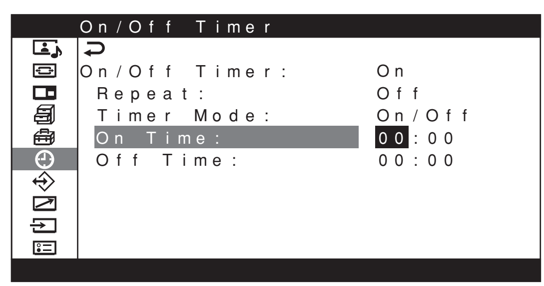
6 用 ⬆/⬇ 键选择 “Timer Mode” 键并按 ENTER 键或 ➡ 键。
以下菜单出现在显示器屏幕上。



7 按 ⬆/⬇ 键选择 Timer Mode。
Off：在用 Off Time 设定的时间关闭电源。
On：在用 On Time 设定的时间打开电源。
On/Off：在用 On Time 设定的时间打开电源，在用 Off Time 设定的时间关闭电源。

8 按 ENTER 键或 ⬅ 键。
菜单恢复到 On/Off Timer（开／关定时器）菜单。

9 按 ⬆/⬇ 键将光标（黄色）移到 “On Time” 处并按 ENTER 键或 ➡ 键。
以下菜单出现在显示器屏幕上。
小时的背景显示为黄色。



10 按 ⬆/⬇ 键设定小时并按 ENTER 键或 ➡ 键。
时间被输入，分钟的背景色变为黄色。

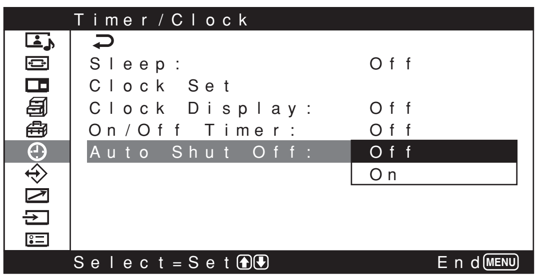
11 按 ⬆/⬇ 键设定分钟并按 ENTER 键。
按 ⬅ 键恢复到步骤 **2** 中所显示的画面。
当用装置上的键钮时，按 MENU 键关闭菜单。请将 Initial Setup（初始设定）菜单上的 “MENU Function” （第 23 页（CS））设为 “Return” 。这样，装置上的 MENU 键将具有与 ⬅ 键相同的功能。

12 按 ⬆/⬇ 键将光标（黄色）移到 “Off Time” 处并按 ENTER 键。请对电源开小时和分钟进行相同的操作。

节电功能

当输入模式设为 RGB 时，若 INPUT1 或 INPUT2 连接器无输入信号，则显示器会自动关闭电源。

1 在 Timer/Clock（定时器／时钟）菜单中，按 ⬆/⬇ 键将光标（黄色）移到 “Auto Shutoff” 处并按 ENTER 键或 ➡ 键。
以下菜单出现在显示器屏幕上。



2 按 ⬆/⬇ 键选择改变至节电模式前的时间长度。
Off（关）：节电功能不起作用。
On（开）：节电功能启动。

注

在节电模式下可选择输入信号。

本机处于节电模式时，ON（开）指示灯亮起为橙色。

3 按 ENTER 键或 ⬅ 键恢复至前面的画面。

要取消节电功能时

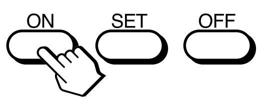
再次输入信号，或按 ⏻（待机）开关／指示灯部分上的 ⏻ 开关或遥控器上的 POWER ON 开关。

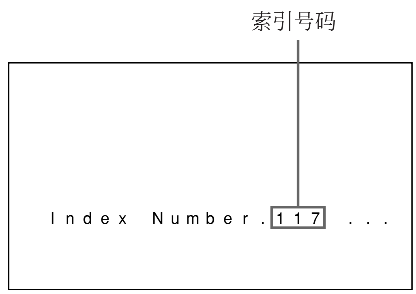
用遥控器操作指定的显示器

可以用附带的遥控器操作指定的显示器，而不影响同时安装的其他显示器。

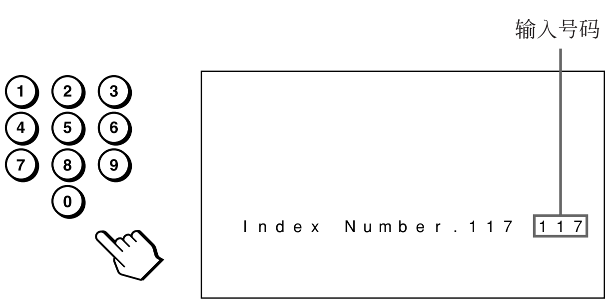
1 按遥控器上的 ID MODE ON 键。监视在所有显示器上以白色字符出现的索引号码。（各显示器分配到一个 1 至 255 之间的独特预设索引号码。）

有关详细说明，请参见第 49 页（CS）上的“改变索引号码”。

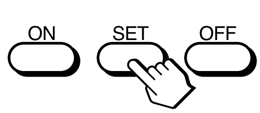




2 用遥控器上的 0 至 9 键输入您要操作的显示器的索引号码。
输入号码出现在各显示器索引号码的右侧。

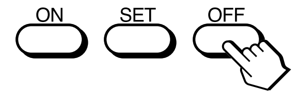


3 按 ID MODE SET 键。
所选的显示器上的字符变成绿色，其他的变成红色。



您只能操作所指定的显示器。
（电源 ON/STANDBY 也适于其他显示。）

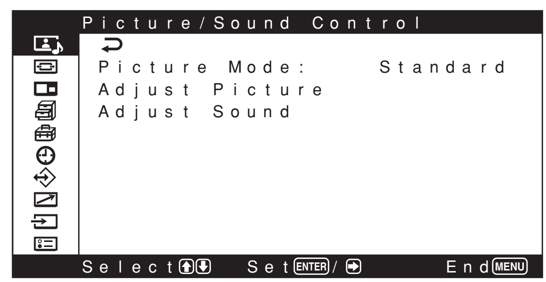
4 当所有设定改变已经完成时，按 ID MODE OFF 键。
显示器恢复到普通模式。



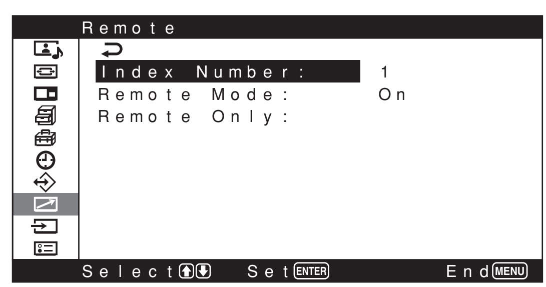
改变索引号码

若有必要，可以改变索引号码。
改变号码时，请使用显示器控制键部分上的键。

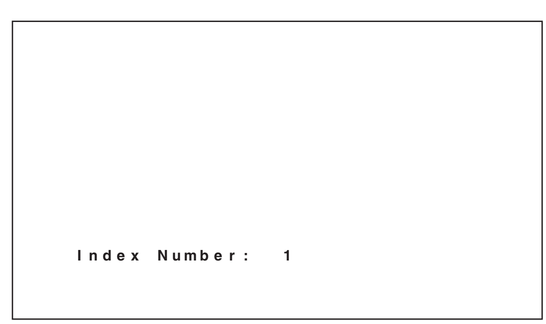
1 按 MENU 键。
主菜单出现在显示器屏幕上。



2 按 ↑/↓ 键将光标（黄色）移到“Remote”处并按 ENTER 键。
Remote（遥控）菜单出现在显示器屏幕上。



3 按 ↑/↓ 键将光标（黄色）移到“Index Number”处并按 ENTER 键。
以下菜单出现在显示器屏幕上。



4 用 ↑/↓ 键选择索引号码并按 ENTER 键。
菜单恢复到 Remote（遥控）菜单。

使用其他型号遥控器

使用其他型号遥控器可以进行以下操作。
•电源开／关
•输入选择
•菜单操作
•图像调整：对比度、相位和色度
•屏幕显示开／关

可以进行的操作和各操作中所使用的键受各遥控器的限制。请参见下表。

遥控器型号		RM-921
REMOTE MODE 设定		On
输入选择	INPUT1	RGB1
	INPUT2	RGB2
	VIDEO	LINE
菜单操作	MENU	MENU
	ENTER	ENTER
	⬆	⬆
	⬇	⬇
图像调整	对比度	CONTRAST+/−
	色度	CHROMA
	相位	—
屏幕信息		DISPLAY

规格

视频操作

预设信号　参见第 28 页（CS）。
采样率　13.5 至 140 MHz
面板系统　交流型等离子体显示面板
显示分辨率　1024 点（水平）× 768 行（垂直）
像素间距　0.90（水平）× 0.676（垂直）mm
图像尺寸　920.1（水平）× 518.4（垂直）mm
面板尺寸　42 英寸（对角线 1058 mm）

输入和输出

INPUT1

RGB/YUV　D 副 15 芯（内插式）（×1）（参见第 52 页（CS）上的"管脚配置"。）
AUDIO　立体声微型插孔（×1）500 mVrms，高阻抗

INPUT2[1]

DVI　DVI-HDCP（DVI 规格 Rev. 1.0 兼容）
AUDIO　立体声微型插孔（×1）500 mVrms，高阻抗

CONTROL S IN/OUT

AUDIO OUT　立体声微型插孔（×1）

REMOTE（RS-232C）

D 副 9 芯型（×1）

VIDEO (NTSC, PAL, SECAM, NTSC4.43, PAL60, PAL-M, PAL-N)[2]

COMPOSITE IN　BNC 型（×1）复合视频，1 Vp-p ±2 dB 同步负，75 Ω（自动终端）
COMPOSITE OUT　BNC 型（×1）环通
Y/C IN　微型 DIN 4 芯型（×1）
Y（亮度）：1 Vp-p ±2 dB 同步负，75 Ω 终端
C（色度）：脉冲 0.286 Vp-p ±2 dB (NTSC)，75 Ω 终端
脉冲 0.3 Vp-p ±2 dB (PAL)，75 Ω 终端
AUDIO IN　管脚插孔（×2）500 m Vrms，高阻抗

SPEAKER　7 W＋7 W（6 Ω），直接不平衡阻抗：6-16 Ω

BKM-V11 分量／RGB 输入转接器（未附带）

YUV/RGB IN

YUV/RGB　BNC 型（×5）
AUDIO　管脚插孔（×2）500 mVrms，高阻抗

RGB／分量有源直通转接器 BKM-V12（未附带）

RGB/YUV 有源直通

RGB/YUV IN　D 副 15 芯（内插式）（×1）
AUDIO IN　立体声微型插孔（×1）500 mVrms，高阻抗
RGB/YUV OUT　D 副 15 芯（内插式）（×1）

总体

电源　100 至 240 V 交流，50/60 Hz，4.2 A 至 1.8 A
电源消耗　400 W

工作条件　温度：0 °C 至 35 °C
湿度：20% 至 90%（无湿气凝结）
气压：800 至 1100 hPa
贮存／搬运条件　温度：−10 °C 至 ＋40 °C
湿度：20% 至 90%（无湿气凝结）
气压：700 至 1100 hPa

1) PFM-42X1N未 配备 INPUT2 连接器。
2) PFM-42X1N 未配备 VIDEO 连接器。对于 PFM-42X1N，当显示器装有视频输入转接器 BKM-V10（未附带）时，复合视频和 Y/C 输入信号便可输入到显示器上。

尺寸　1033 × 631 × 102 mm
（宽／高／厚，不包括突出部分）

重量　29.7 kg

附件　交流电源线（1）
交流插头固定器（2）
数码 RGB（DVI-D）信号电缆：
TMDS（单连接）（1）*
电缆夹（4）
遥控器 RM-971（1）
AA 尺寸（R6）电池（2）
使用说明书（1）
* PFM-42X1N 除外

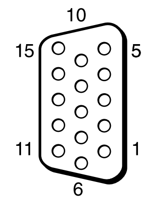
选购件　显示器支架 SU-42B
扬声器 SS-SP20B
BKM-V10 视频输入转接器
（仅限于 PFM-42X1N）
BKM-V11 分量／RGB 输入转接器
RGB／分量有源直通转接器
BKM-V12

安全规则　UL 1950, CSA No. 950 (c-UL),
FCC Class B, IC Class B,
EN60 950 (NEMKO), CE,
C-Tick

设计和规格若有变更，恕不另行通知。

管脚配置

RGB/YUV 连接器（D 副 15 芯）



管脚号	信号
1	红色视频或 R-Y 或 P_R
2	绿色视频或 Y 或绿色同步
3	蓝色视频或 B-Y 或 P_B
4	接地
5	接地
6	红色接地
7	绿色接地
8	蓝色接地
9	未使用
10	接地
11	接地
12	SDA
13	H 同步或复合同步
14	V 同步
15	SCL

http://www.sony.net/

お問い合わせは
「ソニー業務用製品ご相談窓口のご案内」にある窓口へ

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35

Sony Corporation Printed in Korea